

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 使用済燃料ピットのスロッシング後の機能維持に関する設計方針</p> <p>使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量の算出に当たっては、基準地震動による地震力によって生じるスロッシング現象を3次元流動解析により評価し、使用済燃料ピット外へ漏えいする水量を考慮する。また、使用済燃料ピットの初期水位等の評価条件は保守的となるように設定する。算出した溢水量からスロッシング後の使用済燃料ピット水位を求め、使用済燃料ピットの冷却機能（水温65℃以下）及び使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能（水面の設計基準線量率$\leq 0.02\text{mSv/h}$）の維持に必要な水位が確保される設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-68～75、396～414）】</p>	<p>1.7.5.5 使用済燃料プールのスロッシング後の機能維持に関する設計方針</p> <p>基準地震動S_sによる地震力によって生じるスロッシング現象を三次元流動解析により評価し、使用済燃料プール外へ漏えいする水量を考慮する。その際、使用済燃料プールの初期水位は、スキマサージタンクへのオーバーフロー水位として評価する。算出した溢水量からスロッシング後の使用済燃料プールの水位低下を考慮しても、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能が確保されるため、それらを用いることにより適切な水温（水温65℃以下）及び遮蔽水位を維持できる設計とする。</p>	<p>1.7.5.5 使用済燃料ピットのスロッシング後の機能維持に関する設計方針</p> <p>基準地震動による地震力によって生じるスロッシング現象を3次元流動解析により評価し、使用済燃料ピット外へ漏えいする水量を考慮する。その際、使用済燃料ピットの初期水位は、使用済燃料ピット水位高警報設定値（H.W.L）として評価する。算出した溢水量からスロッシング後の使用済燃料ピットの水位低下を考慮しても、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能が確保されるため、それらを用いることにより適切な水温（水温65℃以下）及び遮蔽機能（水面の設計基準線量率$\leq 0.01\text{mSv/h}$）の維持に必要な水位を維持できる設計とする。</p>	<p>【女川】 設備名称の相違 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違により、三次元流動解析に用いる初期水位が異なる。なお、泊では初期条件として、使用済燃料ピットと接続されている燃料検査ピット、燃料取替キャナル及びキャスクピットのすべてが水張りされた状態として評価する。 記載方針の相違 泊では遮蔽水位について、使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能（水面の設計基準線量率）を明記している。 （記載は大飯の審査実績を反映）</p>
<p>1.8.2.5 海水ポンプエリアにおける溢水評価に関する設計方針</p> <p>海水ポンプエリア内にある防護対象設備が海水ポンプエリア内及びエリア外で発生する溢水の影響を受けて、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>具体的には、海水ポンプエリア外で発生する溢水が、海水ポンプエリアに伝播しないことを確認する方針とする。</p> <p>海水ポンプエリア内で発生する想定破損による低エネルギー配管の貫通クラックによる溢水、消火水の放水による溢水及び降水による溢水を海水ポンプエリアから海水ポンプエリア浸水防止蓋によって排出できる設計とし、海水ポンプエリア内の防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。なお、溢水ガイドに基づき、海水ポンプエリア浸水防止蓋のうち排出量が最も大きい1箇所からの流出は期待しないものとして排出量を算出する。</p> <p>また、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-80～81、450～454）】</p>	<p>1.7.5.6 海水ポンプ室補機ポンプエリアの溢水評価に関する設計方針</p> <p>海水ポンプ室補機ポンプエリア（以下1.7.5.6では「海水ポンプ室」という。）内にある溢水防護対象設備が海水ポンプ室内及び室外で発生する溢水の影響を受けて、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>具体的には、波及的影響防止及び津波の浸水を防止する目的での低耐震設備の耐震補強対策に加え、海水ポンプ室外で発生する地震に起因する屋外タンク破損による溢水が、海水ポンプ室へ流入しないようにするために、壁、扉、堰等による溢水伝播防止対策を図る設計とする。</p> <p>海水ポンプ室内で発生する想定破損による溢水、消火水の放水による溢水及び降水による溢水についても、壁、扉、堰等による溢水伝播防止対策を図る設計とする。さらに、海水ポンプ室内の多重性を有する溢水防護対象設備を別区画に設置することにより、没水により同時に機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、溢水防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p>		<p>【女川・大飯】 設計方針の相違 女川及び大飯の海水ポンプ室は屋外にあるため海水ポンプ室の設計方針について記載しているが、泊の海水ポンプ室は建屋内であるため、これまでの設計方針の中に包絡される。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.8.2.6 防護対象設備設置建屋外からの溢水評価に関する設計方針</p> <p>防護対象設備が設置されている建屋に隣接する廃棄物処理建屋及びタービン建屋からの溢水並びに屋外タンク及び地下水からの溢水について、防護対象設備が設置されている建屋に対する溢水経路を特定し、壁、扉、堰等又はそれらの組合せにより溢水が流入しない設計とする。</p> <p>(1) 廃棄物処理建屋からの溢水影響に対する設計方針</p> <p>廃棄物処理建屋で発生する溢水が、原子炉周辺建屋へ流入しない設計とするために、以下の対策を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理建屋から防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋への流入経路に原子炉周辺建屋堰及び原子炉周辺建屋水密扉を設置する。 <p>【別添資料1 (2-9-別1 1-76~79、415~449) (2-9-別1 補-482~496)】</p> <p>(2) タービン建屋からの溢水影響に関する設計方針</p> <p>タービン建屋で発生する溢水が、防護対象設備が設置されている制御建屋へ流入しない設計とする。</p> <p>タービン建屋における溢水評価では、想定破損及び地震起因による影響を考慮し、循環水管の伸縮継手部の全周円状の破損及び2次系機器の破損を想定した溢水量を評価する。循環水ポンプを停止するまでの間に生じる溢水量、2次系機器の保有水による溢水量及び屋外タンクからの溢水量を合算した溢水量が、タービン建屋空間部に滞留するものとして溢水水位を算出する。上記に加え、循環水管の損傷箇所からの津波による海水の流入については、別途実施する「1.6 耐津波設計」の津波浸水量を考慮する。なお、取水側又は放水側からタービン建屋への流入を想定しても、津波到達前のタービン建屋内の溢水による水頭圧により、津波の流入がないことを確認する方針とする。</p>	<p>1.7.6 溢水防護区画を内包するエリア外及び建屋外からの流入防止に関する設計方針</p> <p>溢水防護区画を内包するエリア外及び建屋外で発生を想定する溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包するエリア内及び建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、地下水に対しては、揚水ポンプの停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定し、建屋外周部における壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包する建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。なお、地下水位低下設備については、基準地震動 S_s による地震力に対して耐震性を確保する設計とする。</p>	<p>1.7.6 溢水防護区画を内包する建屋外からの流入防止に関する設計方針</p> <p>溢水防護区画を内包する建屋外で発生を想定する溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包する建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、地下水に対しては、湧水ビットポンプの停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定し、建屋外周部（湧水ビットポンプ設置床を含む）における壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包する建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。なお、地下水排水設備については、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とする。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川では海水ポンプ室が建屋外にあるのに対し、泊では海水ポンプ室は建屋内にあるため「エリア外」の記載は不要である。</p> <p>設備名称の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は溢水防護対象設備を内包する原子炉補助建屋の最下階に湧水ビットが設置されており、湧水ビット上部の湧水ビットポンプ設置床を介した建屋内への地下水の流入を防止する設計としている。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>タービン建屋で発生する溢水が、防護対象設備が設置されている制御建屋へ流入しないことを確認する方針とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-82～85、455～465）】</p> <p>(3) 屋外タンクからの溢水影響に対する設計方針 自然現象による屋外タンクからの溢水影響については、地震、設計竜巻、地滑り及び降水による溢水を考慮する。</p> <p>地震については、基準地震動による地震力に対して耐震性を有していない屋外タンクからの溢水が、防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋及び制御建屋へ流入しない設計とする。</p> <p>地滑りについては、「1.2.7.1「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（平成25年6月19日制定）」に対する適合 第六条 外部からの衝撃による損傷の防止 第1項 (8) 地滑り」に示す地滑り地形に対して、地滑りにより溢水が発生しない設計とする。</p> <p>設計竜巻については、「1.9 竜巻防護に関する基本方針」において設定した設計竜巻による飛来物により、屋外タンクが破損した場合に発生する溢水が、防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋及び制御建屋に流入しない設計とする。</p> <p>降水については、「1.2.7.1「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（平成25年6月19日制定）」に対する適合 第六条外部からの衝撃による損傷の防止 第1項 (5) 降水」において設定した降水による溢水が、防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋及び制御建屋に流入しない設計とする。</p> <p>自然現象による屋外タンクからの溢水の影響については、竜巻による飛来物、地滑り及び降水による溢水を除き、地震時の評価に含まれるが、防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋及び制御建屋へ流入しないようにするために、以下の対策を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淡水タンク、2次系純水タンク等の水位を制限する。 			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>・屋外タンクから防護対象設備が設置されている建屋への流入経路には、原子炉周辺建屋水密扉及び制御建屋水密扉を設置する。</p> <p>・鯨谷タンクエリアに立坑及び排水トンネルを設置し、溢水を構外へ排水する。</p> <p>また、地表面以下にある燃料油貯蔵タンク及び建屋との貫通部は、屋外タンクからの溢水の影響を受けても安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>【別添資料1 (2-9-別1-86~91、466~535) (2-9-別1 補-520~546)】</p> <p>(4) 地下水による溢水影響に対する設計方針</p> <p>地下水は、建屋基礎下に設置している集水管により、建屋最下層にある湧水サンプルに集水する設計とする。また、周囲の地下水水位を考慮しても防護対象設備が設置されている建屋へ地下水が流入しない設計とする。</p> <p>湧水サンプルポンプ、湧水サンプルポンプ電源及び吐出ラインは、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保するとともに、湧水サンプルポンプ電源は非常用母線に接続することにより、その機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>【別添資料1 (2-9-別1-92、538~540)】</p> <p>1.8.4 溢水防護に関する設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水及び地震起因による溢水が発生した場合においても、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、壁、扉、堰等により浸水を防止するための対策を実施する。</p> <p>(1) 原子炉周辺建屋堰</p> <p>廃棄物処理建屋で発生する溢水が原子炉周辺建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、原子炉周辺建屋堰を原子炉周辺建屋に設置する。堰の配置図を第1.8.3図に示す。</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 原子炉周辺建屋水密扉</p> <p>廃棄物処理建屋、燃料取替用水ビット及び復水ビットで発生する溢水、屋外タンクからの溢水等が原子炉周辺建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、原子炉周辺建屋水密扉を原子炉周辺建屋に設置する。</p> <p>(3) 制御建屋水密扉</p> <p>屋外タンクからの溢水等が制御建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、制御建屋水密扉を制御建屋に設置する。</p> <p>水密扉の配置図を第1.8.4図に示す。</p>	<p>1.7.7 放射性物質を含んだ液体の管理区域外への漏えいを防止するための設計方針</p> <p>管理区域内で発生した溢水の管理区域外への伝播経路となる箇所については、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行うことにより、機器の破損等により生じた放射性物質を内包する液体が管理区域外に漏えいすることを防止する設計とする。</p> <p>1.7.8 溢水によって発生する外乱に対する評価方針</p> <p>溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とし、これらの機能を維持するために必要な設備（溢水防護対象設備）が、没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計）とする。</p>	<p>1.7.7 放射性物質を含んだ液体の管理区域外への漏えいを防止するための設計方針</p> <p>管理区域内で発生した溢水の管理区域外への伝播経路となる箇所については、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行うことにより、機器の破損等により生じた放射性物質を内包する液体が管理区域外に漏えいすることを防止する設計とする。</p> <p>1.7.8 溢水によって発生する外乱に対する評価方針</p> <p>溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とし、これらの機能を維持するために必要な設備（溢水防護対象設備）が、没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計）とする。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>10.6.2.6 手順等</p> <p>溢水評価において、期待する壁、扉、堰等の浸水防護設備、保護カバー、防護カバー、立坑、排水トンネル等の設備については、継続的な保守管理、水密扉閉止等の運用を適切に実施するためにその手順を明確にする。</p> <p>また、溢水評価において、溢水量を制限するために漏えい停止操作に期待する場合は、その手順を明確にする。さらに、それらの手順を確実に実施するために、継続的な教育訓練を実施する。</p> <p>(10) 配管の想定破損評価において、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを確認するために継続的な肉厚管理を実施する。</p> <p>(1) 配管の想定破損による溢水、スプリンクラーからの放水による溢水及び地震による溢水が発生する場合には、的確に操作を行うために手順等を整備する。</p> <p>(2) 溢水防護区画において、各種対策設備の追加、資機材の持込み等により評価条件としている可燃性物質の量及び滞留面積に見直しがある場合は、溢水評価への影響確認を行う。</p> <p>【別添資料1 (2-9-別1 補-588～592)】</p> <p>(3) 水密扉については、開放後の確実な閉止操作、中央制御室における閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作を的確に行うために手順を整備する。また、水密扉の閉止状態を的確に管理するために社内ルール等の運用を適切に実施する。</p>	<p>1.7.9 手順等</p> <p>溢水評価に関して、以下の内容を含む手順を定め、適切な管理を行う。</p> <p>(1) 配管の想定破損評価において、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを継続的な肉厚管理で確認する。</p> <p>(2) 配管の想定破損による溢水が発生する場合及び基準地震動 S_s による地震力により耐震B、Cクラスの機器が破損し溢水が発生する場合には、隔離手順を定める。</p>	<p>1.7.9 手順等</p> <p>溢水評価に関して、以下の内容を含む手順を定め、適切な管理を行う。</p> <p>(1) 配管の想定破損評価において、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを継続的な肉厚管理で確認する。</p> <p>(2) 配管の想定破損による溢水が発生する場合及び基準地震動による地震力により耐震B、Cクラスの機器が破損し溢水が発生する場合には、隔離手順を定める。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 <p>【大飯】 記載箇所の相違</p> <p>項目の記載順序が異なるが、比較のため大飯の記載を入れ替えた。</p> <p>【大飯】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は防護対象設備が設置される建屋内にスプリンクラーが設置されているが、女川及び泊には設置されていない。 <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は(6)、泊は(10)に記載している。 <p>【大飯】 記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は(9)、泊は(13)に記載している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4) 運転実績（高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さい。）により、低エネルギー配管としている設備の運転時間実績管理を行う。</p> <p>(5) 機能喪失高さが低い防護対象設備が消火水の放水による溢水により機能喪失することのないよう、消火水放水時の注意事項を現場に表示する。 【別添資料1（2-9-別1 補-328）】</p> <p>(6) 火災時に消火水を放水した場合は、消火水による防護対象設備の安全機能への影響の有無を確認するために、防護対象設備の安全機能が損なわれていないことを保守管理で確認する。</p> <p>(7) 消火活動の結果を踏まえ、放水後の放水量の内部溢水評価に係る妥当性について検証を行う。</p> <p>(8) 配管の想定破損により、防護対象設備が蒸気環境に曝された場合は、防護対象設備の安全機能が損なわれていないことを保守管理で確認する。</p> <p>(9) 海水ポンプエリア内及びエリア外の溢水を受けて、海水ポンプエリア内の防護対象設備が機能喪失しないよう海水ポンプエリア浸水防止蓋の適切な保守管理を実施する。</p> <p>(11) 浸水防護設備及び「1.8 溢水防護に関する基本方針」で示す防護対象設備の機能維持に必要な設備に対して、要求される機能を維持するため、適切な保守管理を実施する。また、故障時においては補修を実施する。</p>	<p>(3) 運転実績（高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さい）により低エネルギー配管としている設備については、運転時間管理を行う。</p> <p>(4) 内部溢水評価で用いる屋外タンクの水量を管理する。</p>	<p>(3) 運転実績（高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さい）により低エネルギー配管としている設備については、運転時間管理を行う。</p> <p>(4) 機能喪失高さが低い防護対象設備が消火水の放水による溢水により機能喪失することのないよう、消火水放水時の注意事項を現場に表示する。</p> <p>(5) 火災時に消火水を放水した場合は、消火水による防護対象設備の安全機能への影響の有無を確認するために、防護対象設備の安全機能が損なわれていないことを保守管理で確認する。</p> <p>(6) 消火活動の結果を踏まえ、放水後の放水量の内部溢水評価に係る妥当性について検証を行う。</p> <p>(7) 配管の想定破損により、防護対象設備が蒸気環境に曝された場合は、防護対象設備の安全機能が損なわれていないことを保守管理で確認する。</p> <p>(8) 浸水防護設備及び防護対象設備の機能維持に必要な設備に対して、要求される機能を維持するため、適切な保守管理を実施する。また、故障時においては補修を実施する。</p> <p>(9) 内部溢水評価で用いる屋外タンクの水量を管理する。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 運用の相違 泊は消火水放水に係る運用手順について、(4)～(6)の通り具体的な内容を定めている。(大飯の審査実績反映)</p> <p>【女川】 運用の相違 泊は防護対象設備が蒸気環境に曝された場合に保守管理を行うことを手順として定めている。(大飯の審査実績反映)</p> <p>【大飯】 運用の相違 泊には該当する設備が無い。</p> <p>【女川】 運用の相違 泊は浸水防護設備及び防護対象設備の機能維持に必要な設備に対する保守管理について手順として定めている。 (大飯の審査実績反映) 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【伊方3号炉】1.7.7 手順等 (抜粋) p9条-17</p> <p>溢水防護区画において、各種対策設備の追加及び資機材の持込み等により評価条件としている可燃性物質の量及び滞留面積に見直しがある場合は、予め定めた手順により溢水評価への影響確認を行う。</p>	<p>(5) 地震起因による溢水において、溢水源となる機器のうち運用によって溢水を考慮しない機器について、プラント運転中及び停止中において系統運用を停止し、隔離（水抜き）する。</p> <p>(6) 溢水防護区画において、各種対策設備の追加、資機材の持込み等により評価条件としている床面積に見直しがある場合は、あらかじめ定めた手順により溢水評価への影響確認を行う。</p> <p>(7) 排水を期待する箇所からの排水を阻害する要因に対し、それを防止するための運用を実施する。</p> <p>(8) 施設定期検査作業に伴う溢水防護対象設備の不待機や扉の開放等、影響評価上設定したプラント状態の一時的な変更時においても、その状態を踏まえた必要な安全機能が損なわれない運用とする。</p> <p>(9) 水密扉については、開放後の確実な閉止操作、閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作の手順等を定める。</p> <p>(10) 溢水発生後の滞留区画等での排水作業手順を定める。</p> <p>(11) 溢水防護対象設備に対する消火水の影響を最小限に止めるため、消火活動における運用及び留意事項と、それらに関する教育について「火災防護計画」に定める。</p>	<p>(10) 溢水防護区画において、各種対策設備の追加、資機材の持込み等により評価条件としている可燃性物質の量及び床面積に見直しがある場合は、あらかじめ定めた手順により溢水評価への影響確認を行う。</p> <p>(11) 排水を期待する箇所からの排水を阻害する要因に対し、それを防止するための運用を実施する。</p> <p>(12) 定期事業者検査作業に伴う溢水防護対象設備の不待機や扉の開放等、影響評価上設定したプラント状態の一時的な変更時においても、その状態を踏まえた必要な安全機能が損なわれない運用とする。</p> <p>(13) 水密扉については、開放後の確実な閉止操作、閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作の手順等を定める。</p> <p>(14) 溢水発生後の滞留区画等での排水作業手順を定める。</p> <p>(15) 溢水防護対象設備に対する消火水の影響を最小限に止めるため、消火活動における運用及び留意事項と、それらに関する教育について「火災防護計画」に定める。</p>	<p>【女川】 <u>運用の相違</u> 泊は地震起因による溢水において、運用によって溢水源から除外している機器はない。</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u> 泊では、火災荷重及び等価時間に基づき消火水の放水量を算定しており、放水量の算定に用いた各区画の火災荷重を上回る量の可燃物が持ち込まれないよう現場管理している。(伊方3号炉と同様)</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p>(12) 内部溢水全般（評価内容並びに溢水経路、防護対象設備、水密扉、堰等の設置の考え方等）について教育を定期的を実施する。</p> <p>(13) 火災が発生した場合の初期消火活動及び自衛消防隊による消火活動時の放水に関する注意事項について、教育を定期的を実施する。</p> <p>(14) 運転員が内部溢水発生時に的確な判断、操作等が実施できるよう、内部溢水発生時の対処に係る訓練を定期的を実施する。</p> <p>(15) タンクにおいて、水位制限を設ける場合は手順等を整備する。</p>	<p>(12) 燃料プール冷却浄化系、燃料プール補給水系が機能喪失した場合における、残留熱除去系による使用済燃料プールの冷却及び給水手順を定める。</p>	<p>(16) 内部溢水全般（評価内容並びに溢水経路、防護対象設備、水密扉、堰等の設置の考え方等）について教育を定期的を実施する。</p> <p>(17) 火災が発生した場合の初期消火活動及び自衛消防隊による消火活動時の放水に関する注意事項について、教育を定期的を実施する。</p> <p>(18) 運転員が内部溢水発生時に的確な判断、操作等が実施できるよう、内部溢水発生時の対処に係る訓練を定期的を実施する。</p>	<p>【女川】 <u>運用の相違</u> 泊は、(16)～(18)の通り内部溢水に係る教育及び訓練の実施について運用手順を定めている。(大飯の審査実績反映)</p> <p>【大飯】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【大飯】 <u>記載箇所の相違</u> ・女川は(4)、泊は(9)に記載している。</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・女川は使用済燃料プールのスロッシング後、燃料プールの水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、燃料プール冷却ポンプが停止し、使用済燃料プール冷却機能が喪失する。そのため、系統切替操作によるプールへの給水が必要であることから、スロッシング後の使用済燃料プール冷却・給水に係る手順を定めている。</p> <p>・泊では、使用済燃料プールのスロッシング後においても使用済燃料プールの冷却機能が喪失することはないため、女川のようなプールの冷却・給水機能を維持するための運用手順は不要である。</p>																																																
<p>第1.8.1表 耐震強度評価又は耐震対策工事により耐震性が確保される機器</p> <table border="1" data-bbox="246 726 582 1284"> <thead> <tr> <th>設備名称</th> <th>耐震対策工事^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>使用済燃料ピット脱塩塔</td><td>○</td></tr> <tr><td>使用済燃料ピットフィルタ</td><td>—</td></tr> <tr><td>ブローダウンタンク</td><td>○</td></tr> <tr><td>貯水冷却器</td><td>—</td></tr> <tr><td>体積制御タンク</td><td>—</td></tr> <tr><td>ほう酸補給タンク</td><td>○</td></tr> <tr><td>非再生冷却器</td><td>○</td></tr> <tr><td>試料冷却器</td><td>○</td></tr> <tr><td>ブローダウン試料冷却器</td><td>○</td></tr> <tr><td>使用済燃料ピット冷却器</td><td>—</td></tr> <tr><td>空調用冷水膨張タンク</td><td>—</td></tr> <tr><td>出入管理室温水タンク</td><td>○</td></tr> <tr><td>空調用冷凍機</td><td>—</td></tr> <tr><td>格納容器冷却ユニット</td><td>—</td></tr> <tr><td>安全補機室冷却ユニット</td><td>—</td></tr> <tr><td>中央制御室空調ユニット</td><td>—</td></tr> <tr><td>安全補機室空調ユニット</td><td>—</td></tr> <tr><td>放射線管理室冷却ユニット</td><td>—</td></tr> <tr><td>使用済燃料ピットポンプ</td><td>—</td></tr> <tr><td>空調用冷水ポンプ</td><td>—</td></tr> <tr><td>出入管理室温水ポンプ</td><td>—</td></tr> <tr><td>1次系純水タンク^{※2}</td><td>○</td></tr> <tr><td>廃液蒸留水タンク^{※2}</td><td>○</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 耐震対策工事を実施するものを「○」、実施しないものを「—」とする。 ※2 耐震性確保には水位制限を含む。</p>	設備名称	耐震対策工事 ^{※1}	使用済燃料ピット脱塩塔	○	使用済燃料ピットフィルタ	—	ブローダウンタンク	○	貯水冷却器	—	体積制御タンク	—	ほう酸補給タンク	○	非再生冷却器	○	試料冷却器	○	ブローダウン試料冷却器	○	使用済燃料ピット冷却器	—	空調用冷水膨張タンク	—	出入管理室温水タンク	○	空調用冷凍機	—	格納容器冷却ユニット	—	安全補機室冷却ユニット	—	中央制御室空調ユニット	—	安全補機室空調ユニット	—	放射線管理室冷却ユニット	—	使用済燃料ピットポンプ	—	空調用冷水ポンプ	—	出入管理室温水ポンプ	—	1次系純水タンク ^{※2}	○	廃液蒸留水タンク ^{※2}	○			
設備名称	耐震対策工事 ^{※1}																																																		
使用済燃料ピット脱塩塔	○																																																		
使用済燃料ピットフィルタ	—																																																		
ブローダウンタンク	○																																																		
貯水冷却器	—																																																		
体積制御タンク	—																																																		
ほう酸補給タンク	○																																																		
非再生冷却器	○																																																		
試料冷却器	○																																																		
ブローダウン試料冷却器	○																																																		
使用済燃料ピット冷却器	—																																																		
空調用冷水膨張タンク	—																																																		
出入管理室温水タンク	○																																																		
空調用冷凍機	—																																																		
格納容器冷却ユニット	—																																																		
安全補機室冷却ユニット	—																																																		
中央制御室空調ユニット	—																																																		
安全補機室空調ユニット	—																																																		
放射線管理室冷却ユニット	—																																																		
使用済燃料ピットポンプ	—																																																		
空調用冷水ポンプ	—																																																		
出入管理室温水ポンプ	—																																																		
1次系純水タンク ^{※2}	○																																																		
廃液蒸留水タンク ^{※2}	○																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
<p style="text-align: center;">第 1.8.2 表 溢水評価上想定する起回事象 (運転時の異常な過渡変化)</p> <table border="1" data-bbox="161 236 667 970"> <thead> <tr> <th>原子炉外乱の事象</th> <th>考慮 要否</th> <th>スクリーンアウトする理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御棒の落下及び不整合</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量の部分喪失</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材系の停止ループの誤起動</td> <td>—</td> <td>誤起動の場合、停止ループの低温の冷却材が炉心に注入され、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は低下し整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要</td> </tr> <tr> <td>外部電源喪失</td> <td>○</td> <td>外部電源喪失により常用電源が喪失するが、常用電源喪失は「主給水流量喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」に包絡</td> </tr> <tr> <td>主給水流量喪失</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気負荷の異常な増加</td> <td>—</td> <td>蒸気負荷が増加した場合、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は抑制され整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要</td> </tr> <tr> <td>2次冷却系の異常な減圧</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器への過剰給水</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負荷の喪失</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材系の異常な減圧</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力運転中の非常用炉心冷却系の誤起動</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	原子炉外乱の事象	考慮 要否	スクリーンアウトする理由	原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	○		出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○		制御棒の落下及び不整合	○		原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	○		原子炉冷却材流量の部分喪失	○		原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	—	誤起動の場合、停止ループの低温の冷却材が炉心に注入され、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は低下し整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要	外部電源喪失	○	外部電源喪失により常用電源が喪失するが、常用電源喪失は「主給水流量喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」に包絡	主給水流量喪失	○		蒸気負荷の異常な増加	—	蒸気負荷が増加した場合、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は抑制され整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要	2次冷却系の異常な減圧	○		蒸気発生器への過剰給水	○		負荷の喪失	○		原子炉冷却材系の異常な減圧	○		出力運転中の非常用炉心冷却系の誤起動	○				<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・泊は補足説明資料4「防護対象設備の選定について」に記載している。</p>
原子炉外乱の事象	考慮 要否	スクリーンアウトする理由																																														
原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	○																																															
出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○																																															
制御棒の落下及び不整合	○																																															
原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	○																																															
原子炉冷却材流量の部分喪失	○																																															
原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	—	誤起動の場合、停止ループの低温の冷却材が炉心に注入され、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は低下し整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要																																														
外部電源喪失	○	外部電源喪失により常用電源が喪失するが、常用電源喪失は「主給水流量喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」に包絡																																														
主給水流量喪失	○																																															
蒸気負荷の異常な増加	—	蒸気負荷が増加した場合、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は抑制され整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要																																														
2次冷却系の異常な減圧	○																																															
蒸気発生器への過剰給水	○																																															
負荷の喪失	○																																															
原子炉冷却材系の異常な減圧	○																																															
出力運転中の非常用炉心冷却系の誤起動	○																																															
<p style="text-align: center;">第 1.8.3 表 溢水評価上想定する起回事象 (設計基準事故)</p> <table border="1" data-bbox="161 1050 667 1380"> <thead> <tr> <th>原子炉外乱の事象</th> <th>考慮 要否</th> <th>スクリーンアウトする理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却材喪失 (LOCA)</td> <td>○*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量の喪失</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材ポンプの軸固着</td> <td>—</td> <td>溢水の発生によって原子炉冷却材ポンプの回転軸は固着しない。</td> </tr> <tr> <td>主給水管破断</td> <td>○*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気管破断</td> <td>○*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御棒飛び出し</td> <td>○*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器伝熱管破損</td> <td>—</td> <td>溢水の発生によって蒸気発生器の伝熱管は破損しない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※溢水事象であるため対象として考慮する。</p>	原子炉外乱の事象	考慮 要否	スクリーンアウトする理由	原子炉冷却材喪失 (LOCA)	○*		原子炉冷却材流量の喪失	○		原子炉冷却材ポンプの軸固着	—	溢水の発生によって原子炉冷却材ポンプの回転軸は固着しない。	主給水管破断	○*		主蒸気管破断	○*		制御棒飛び出し	○*		蒸気発生器伝熱管破損	—	溢水の発生によって蒸気発生器の伝熱管は破損しない。			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・泊は補足説明資料4「防護対象設備の選定について」に記載している。</p>																					
原子炉外乱の事象	考慮 要否	スクリーンアウトする理由																																														
原子炉冷却材喪失 (LOCA)	○*																																															
原子炉冷却材流量の喪失	○																																															
原子炉冷却材ポンプの軸固着	—	溢水の発生によって原子炉冷却材ポンプの回転軸は固着しない。																																														
主給水管破断	○*																																															
主蒸気管破断	○*																																															
制御棒飛び出し	○*																																															
蒸気発生器伝熱管破損	—	溢水の発生によって蒸気発生器の伝熱管は破損しない。																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p>第1.8.4表 溢水評価上想定する事象とその対処系統</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>溢水評価上想定する事象</th> <th>左記事象に対する対処機能</th> <th>対処系統</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①「原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き」「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」「制御棒の落下及び不整合」</td> <td>・原子炉トリップ ・補助給水</td> <td>・安全保護系 ・原子炉停止系 ・補助給水系</td> </tr> <tr> <td>②「原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈」（ほう素濃度制御系異常）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③「原子炉冷却材流量の部分喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」（1次冷却材ポンプ停止）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④蒸気発生器への過剰給水（主給水制御弁開他^{※1}）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤主給水流量喪失（主給水ポンプ停止他^{※2}）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥負荷の喪失（主蒸気隔離弁開他^{※3}）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦出力運転中の非常用炉心冷却系の再起動</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧主給水管破断</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨外部電源喪失</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑩2次冷却系の異常な減圧（タービンバイパス弁開他^{※4}）</td> <td>上記機能に加え、 ・高圧注入</td> <td>上記系統に加え、 ・高圧注入系</td> </tr> <tr> <td>⑪原子炉冷却材系の異常な減圧（加圧器遮断がし弁開他^{※5}）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑫主蒸気管破断</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑬「原子炉冷却材喪失（LOCA）」及び「制御棒飛び出し」</td> <td>上記機能に加え、 ・低圧注入 ・格納容器スプレー ・格納容器隔離</td> <td>上記系統に加え、 ・低圧注入系 ・格納容器スプレー系 ・アニュラス循環系 ・原子炉格納容器隔離弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 主給水バイパス制御弁開 ※2 復水ポンプ停止、主給水制御弁・隔離弁開 ※3 タービントリップ ※4 主蒸気遮断がし弁開、タービン蒸気加減弁開 ※5 加圧器スプレー弁開、加圧器補助スプレー弁開</p>	溢水評価上想定する事象	左記事象に対する対処機能	対処系統	①「原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き」「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」「制御棒の落下及び不整合」	・原子炉トリップ ・補助給水	・安全保護系 ・原子炉停止系 ・補助給水系	②「原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈」（ほう素濃度制御系異常）			③「原子炉冷却材流量の部分喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」（1次冷却材ポンプ停止）			④蒸気発生器への過剰給水（主給水制御弁開他 ^{※1} ）			⑤主給水流量喪失（主給水ポンプ停止他 ^{※2} ）			⑥負荷の喪失（主蒸気隔離弁開他 ^{※3} ）			⑦出力運転中の非常用炉心冷却系の再起動			⑧主給水管破断			⑨外部電源喪失			⑩2次冷却系の異常な減圧（タービンバイパス弁開他 ^{※4} ）	上記機能に加え、 ・高圧注入	上記系統に加え、 ・高圧注入系	⑪原子炉冷却材系の異常な減圧（加圧器遮断がし弁開他 ^{※5} ）			⑫主蒸気管破断			⑬「原子炉冷却材喪失（LOCA）」及び「制御棒飛び出し」	上記機能に加え、 ・低圧注入 ・格納容器スプレー ・格納容器隔離	上記系統に加え、 ・低圧注入系 ・格納容器スプレー系 ・アニュラス循環系 ・原子炉格納容器隔離弁			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・泊は補足説明資料4「防護対象設備の選定について」に記載している。</p>
溢水評価上想定する事象	左記事象に対する対処機能	対処系統																																											
①「原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き」「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」「制御棒の落下及び不整合」	・原子炉トリップ ・補助給水	・安全保護系 ・原子炉停止系 ・補助給水系																																											
②「原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈」（ほう素濃度制御系異常）																																													
③「原子炉冷却材流量の部分喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」（1次冷却材ポンプ停止）																																													
④蒸気発生器への過剰給水（主給水制御弁開他 ^{※1} ）																																													
⑤主給水流量喪失（主給水ポンプ停止他 ^{※2} ）																																													
⑥負荷の喪失（主蒸気隔離弁開他 ^{※3} ）																																													
⑦出力運転中の非常用炉心冷却系の再起動																																													
⑧主給水管破断																																													
⑨外部電源喪失																																													
⑩2次冷却系の異常な減圧（タービンバイパス弁開他 ^{※4} ）	上記機能に加え、 ・高圧注入	上記系統に加え、 ・高圧注入系																																											
⑪原子炉冷却材系の異常な減圧（加圧器遮断がし弁開他 ^{※5} ）																																													
⑫主蒸気管破断																																													
⑬「原子炉冷却材喪失（LOCA）」及び「制御棒飛び出し」	上記機能に加え、 ・低圧注入 ・格納容器スプレー ・格納容器隔離	上記系統に加え、 ・低圧注入系 ・格納容器スプレー系 ・アニュラス循環系 ・原子炉格納容器隔離弁																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																					
<p>第1.8.5表 溢水から防護すべき系統設備</p> <table border="1"> <tr><td>補助給水系</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td></tr> <tr><td>安全注入系</td></tr> <tr><td>主蒸気系</td></tr> <tr><td>余熱除去系</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却系</td></tr> <tr><td>制御用空気系</td></tr> <tr><td>換気空調系</td></tr> <tr><td>非常用電源系（ディーゼル発電機を含む。）</td></tr> <tr><td>格納容器スプレイ系</td></tr> <tr><td>冷水系</td></tr> <tr><td>電気盤</td></tr> <tr><td>燃料ビット冷却浄化系</td></tr> <tr><td>燃料取替用水系</td></tr> </table>	補助給水系	化学体積制御系	安全注入系	主蒸気系	余熱除去系	原子炉補機冷却系	制御用空気系	換気空調系	非常用電源系（ディーゼル発電機を含む。）	格納容器スプレイ系	冷水系	電気盤	燃料ビット冷却浄化系	燃料取替用水系	<p>第1.7-1表 溢水から防護すべき系統</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度 分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉の緊急停止機能</td> <td>制御棒及び制御棒駆動系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>未臨界維持機能</td> <td>ほう酸水注入系 制御棒及び制御棒駆動系</td> <td>PS-1 MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁 (安全弁機能)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能</td> <td>残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) 高圧炉心スプレイ系 主蒸気逃がし安全弁 (逃がし弁機能、自動減圧系)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</td> <td>残留熱除去系 (サブプレッションプール冷却モード) 原子炉隔離時冷却系 主蒸気逃がし安全弁 (逃がし弁機能、自動減圧系)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</td> <td>原子炉隔離時冷却系 高圧炉心スプレイ系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁 (逃がし弁機能、自動減圧系)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能</td> <td>高圧炉心スプレイ系 主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧系) 低圧炉心スプレイ系 主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧系) (低圧注水モード)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能</td> <td>低圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系 残留熱除去系 (低圧注水モード)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能</td> <td>自動減圧系</td> <td>MS-1</td> </tr> </tbody> </table>	機 能	対象系統・機器	重要度 分類	原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1	未臨界維持機能	ほう酸水注入系 制御棒及び制御棒駆動系	PS-1 MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	主蒸気逃がし安全弁 (安全弁機能)	MS-1	原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) 高圧炉心スプレイ系 主蒸気逃がし安全弁 (逃がし弁機能、自動減圧系)	MS-1	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	残留熱除去系 (サブプレッションプール冷却モード) 原子炉隔離時冷却系 主蒸気逃がし安全弁 (逃がし弁機能、自動減圧系)	MS-1	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉隔離時冷却系 高圧炉心スプレイ系	MS-1	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	主蒸気逃がし安全弁 (逃がし弁機能、自動減圧系)	MS-1	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	高圧炉心スプレイ系 主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧系) 低圧炉心スプレイ系 主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧系) (低圧注水モード)	MS-1	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	低圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系 残留熱除去系 (低圧注水モード)	MS-1	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	自動減圧系	MS-1	<p>第1.7.1表 溢水から防護すべき系統</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度 分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉の緊急停止機能</td> <td>原子炉停止系 (制御棒及び制御棒駆動系)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>未臨界維持機能</td> <td>原子炉停止系 (制御棒及び制御棒駆動系) (化学体積制御設備のほう酸注入機能)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>1次冷却系 (加圧器安全弁)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止後における除熱のための</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去機能</td> <td>余熱除去設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>二次系からの除熱機能</td> <td>主蒸気設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>二次系への補給水機能</td> <td>補助給水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉内高圧時における注水機能</td> <td>非常用炉心冷却設備 (高圧注入系)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉内低圧時における注水機能</td> <td>非常用炉心冷却設備 (蓄圧注入系・低圧注入系)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> <td>格納容器隔離弁 換気空調設備 (アニュラス空気浄化設備) 原子炉格納容器スプレイ設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器の冷却機能</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用所内電源系（交流）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用所内電源系（直流）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の交流電源機能</td> <td>ディーゼル発電機</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の直流電源機能</td> <td>直流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> </tbody> </table>	機 能	対象系統・機器	重要度 分類	原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系 (制御棒及び制御棒駆動系)	MS-1	未臨界維持機能	原子炉停止系 (制御棒及び制御棒駆動系) (化学体積制御設備のほう酸注入機能)	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	1次冷却系 (加圧器安全弁)	MS-1	原子炉停止後における除熱のための			残留熱除去機能	余熱除去設備	MS-1	二次系からの除熱機能	主蒸気設備	MS-1	二次系への補給水機能	補助給水設備	MS-1	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための			原子炉内高圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備 (高圧注入系)	MS-1	原子炉内低圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備 (蓄圧注入系・低圧注入系)	MS-1	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	格納容器隔離弁 換気空調設備 (アニュラス空気浄化設備) 原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1	格納容器の冷却機能	原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1	格納容器内の可燃性ガス制御機能			非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（交流）	MS-1	非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（直流）	MS-1	非常用の交流電源機能	ディーゼル発電機	MS-1	非常用の直流電源機能	直流電源設備	MS-1	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
補助給水系																																																																																																								
化学体積制御系																																																																																																								
安全注入系																																																																																																								
主蒸気系																																																																																																								
余熱除去系																																																																																																								
原子炉補機冷却系																																																																																																								
制御用空気系																																																																																																								
換気空調系																																																																																																								
非常用電源系（ディーゼル発電機を含む。）																																																																																																								
格納容器スプレイ系																																																																																																								
冷水系																																																																																																								
電気盤																																																																																																								
燃料ビット冷却浄化系																																																																																																								
燃料取替用水系																																																																																																								
機 能	対象系統・機器	重要度 分類																																																																																																						
原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1																																																																																																						
未臨界維持機能	ほう酸水注入系 制御棒及び制御棒駆動系	PS-1 MS-1																																																																																																						
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	主蒸気逃がし安全弁 (安全弁機能)	MS-1																																																																																																						
原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) 高圧炉心スプレイ系 主蒸気逃がし安全弁 (逃がし弁機能、自動減圧系)	MS-1																																																																																																						
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	残留熱除去系 (サブプレッションプール冷却モード) 原子炉隔離時冷却系 主蒸気逃がし安全弁 (逃がし弁機能、自動減圧系)	MS-1																																																																																																						
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉隔離時冷却系 高圧炉心スプレイ系	MS-1																																																																																																						
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	主蒸気逃がし安全弁 (逃がし弁機能、自動減圧系)	MS-1																																																																																																						
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	高圧炉心スプレイ系 主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧系) 低圧炉心スプレイ系 主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧系) (低圧注水モード)	MS-1																																																																																																						
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	低圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系 残留熱除去系 (低圧注水モード)	MS-1																																																																																																						
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	自動減圧系	MS-1																																																																																																						
機 能	対象系統・機器	重要度 分類																																																																																																						
原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系 (制御棒及び制御棒駆動系)	MS-1																																																																																																						
未臨界維持機能	原子炉停止系 (制御棒及び制御棒駆動系) (化学体積制御設備のほう酸注入機能)	MS-1																																																																																																						
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	1次冷却系 (加圧器安全弁)	MS-1																																																																																																						
原子炉停止後における除熱のための																																																																																																								
残留熱除去機能	余熱除去設備	MS-1																																																																																																						
二次系からの除熱機能	主蒸気設備	MS-1																																																																																																						
二次系への補給水機能	補助給水設備	MS-1																																																																																																						
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための																																																																																																								
原子炉内高圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備 (高圧注入系)	MS-1																																																																																																						
原子炉内低圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備 (蓄圧注入系・低圧注入系)	MS-1																																																																																																						
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	格納容器隔離弁 換気空調設備 (アニュラス空気浄化設備) 原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1																																																																																																						
格納容器の冷却機能	原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1																																																																																																						
格納容器内の可燃性ガス制御機能																																																																																																								
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（交流）	MS-1																																																																																																						
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（直流）	MS-1																																																																																																						
非常用の交流電源機能	ディーゼル発電機	MS-1																																																																																																						
非常用の直流電源機能	直流電源設備	MS-1																																																																																																						

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

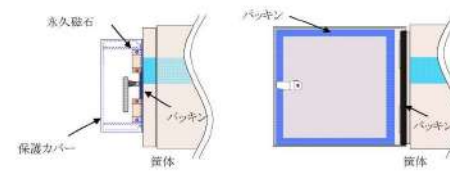

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																
	<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> <td>非常用ガス処理系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器の冷却機能</td> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> <td>可燃性ガス濃度制御系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用直流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の交流電源機能</td> <td>非常用ディーゼル発電機 (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の直流電源機能</td> <td>蓄電池 (非常用)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の計測制御用直流電源機能</td> <td>計測制御用電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>補機冷却機能</td> <td>原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>冷却用海水供給機能</td> <td>原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> <td>中央制御室換気空調系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気供給機能</td> <td>主蒸気過熱し安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉格納容器隔離弁</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止系に対する作動信号 (常用系として作動させるものを除く) の発生機能</td> <td>原子炉保護系の安全保護回路</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> <td>非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 主蒸気隔離の安全保護回路 原子炉格納容器隔離の安全保護回路 非常用ガス処理系作動の安全保護回路</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> <td>起動領域モニタ* 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び制御棒位置</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系	MS-1	格納容器の冷却機能	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	MS-1	格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系	MS-1	非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用交流電源設備	MS-1	非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用直流電源設備	MS-1	非常用の交流電源機能	非常用ディーゼル発電機 (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。)	MS-1	非常用の直流電源機能	蓄電池 (非常用)	MS-1	非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1	補機冷却機能	原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系	MS-1	冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系	MS-1	原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室換気空調系	MS-1	圧縮空気供給機能	主蒸気過熱し安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁	PS-1	原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1	原子炉停止系に対する作動信号 (常用系として作動させるものを除く) の発生機能	原子炉保護系の安全保護回路	MS-1	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 主蒸気隔離の安全保護回路 原子炉格納容器隔離の安全保護回路 非常用ガス処理系作動の安全保護回路	MS-1	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	起動領域モニタ* 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び制御棒位置	MS-2	<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用の計測制御用直流電源機能</td> <td>計測制御用電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>補機冷却機能</td> <td>原子炉補機冷却水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>冷却用海水供給機能</td> <td>原子炉補機冷却海水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> <td>換気空調設備 (中央制御室空調装置)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気供給機能</td> <td>制御用圧縮空気設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>1次冷却系 (原子炉冷却材圧力バウンダリ)</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>格納容器隔離弁</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止系に対する作動信号 (常用系として作動させるものを除く) の発生機能</td> <td>安全保護系 (原子炉保護設備)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> <td>安全保護系 (工学的安全施設作動設備)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>直接関連系</td> <td>空調用冷水設備 換気空調設備 電気盤 等</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> <td>原子炉トリップシャ断器の状態 ほう素濃度 (サンプリング分析)*</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> <td>1次冷却材圧力* 1次冷却材高圧側/低圧側温度 (広域)* 加圧器水位*</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> <td>格納容器圧力* 格納容器高レンジエリアモニタ (低レンジ/高レンジ)*</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1	補機冷却機能	原子炉補機冷却水設備	MS-1	冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水設備	MS-1	原子炉制御室非常用換気空調機能	換気空調設備 (中央制御室空調装置)	MS-1	圧縮空気供給機能	制御用圧縮空気設備	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	1次冷却系 (原子炉冷却材圧力バウンダリ)	PS-1	原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	格納容器隔離弁	MS-1	原子炉停止系に対する作動信号 (常用系として作動させるものを除く) の発生機能	安全保護系 (原子炉保護設備)	MS-1	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	安全保護系 (工学的安全施設作動設備)	MS-1	直接関連系	空調用冷水設備 換気空調設備 電気盤 等	MS-1	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	原子炉トリップシャ断器の状態 ほう素濃度 (サンプリング分析)*	MS-2	事故時の炉心冷却状態の把握機能	1次冷却材圧力* 1次冷却材高圧側/低圧側温度 (広域)* 加圧器水位*	MS-2	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	格納容器圧力* 格納容器高レンジエリアモニタ (低レンジ/高レンジ)*	MS-2	
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																	
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系	MS-1																																																																																																	
格納容器の冷却機能	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	MS-1																																																																																																	
格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系	MS-1																																																																																																	
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用交流電源設備	MS-1																																																																																																	
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用直流電源設備	MS-1																																																																																																	
非常用の交流電源機能	非常用ディーゼル発電機 (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。)	MS-1																																																																																																	
非常用の直流電源機能	蓄電池 (非常用)	MS-1																																																																																																	
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1																																																																																																	
補機冷却機能	原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系	MS-1																																																																																																	
冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系	MS-1																																																																																																	
原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室換気空調系	MS-1																																																																																																	
圧縮空気供給機能	主蒸気過熱し安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源	MS-1																																																																																																	
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁	PS-1																																																																																																	
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1																																																																																																	
原子炉停止系に対する作動信号 (常用系として作動させるものを除く) の発生機能	原子炉保護系の安全保護回路	MS-1																																																																																																	
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 主蒸気隔離の安全保護回路 原子炉格納容器隔離の安全保護回路 非常用ガス処理系作動の安全保護回路	MS-1																																																																																																	
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	起動領域モニタ* 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び制御棒位置	MS-2																																																																																																	
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																	
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1																																																																																																	
補機冷却機能	原子炉補機冷却水設備	MS-1																																																																																																	
冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水設備	MS-1																																																																																																	
原子炉制御室非常用換気空調機能	換気空調設備 (中央制御室空調装置)	MS-1																																																																																																	
圧縮空気供給機能	制御用圧縮空気設備	MS-1																																																																																																	
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	1次冷却系 (原子炉冷却材圧力バウンダリ)	PS-1																																																																																																	
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	格納容器隔離弁	MS-1																																																																																																	
原子炉停止系に対する作動信号 (常用系として作動させるものを除く) の発生機能	安全保護系 (原子炉保護設備)	MS-1																																																																																																	
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	安全保護系 (工学的安全施設作動設備)	MS-1																																																																																																	
直接関連系	空調用冷水設備 換気空調設備 電気盤 等	MS-1																																																																																																	
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	原子炉トリップシャ断器の状態 ほう素濃度 (サンプリング分析)*	MS-2																																																																																																	
事故時の炉心冷却状態の把握機能	1次冷却材圧力* 1次冷却材高圧側/低圧側温度 (広域)* 加圧器水位*	MS-2																																																																																																	
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	格納容器圧力* 格納容器高レンジエリアモニタ (低レンジ/高レンジ)*	MS-2																																																																																																	
	<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> <td>原子炉水位 (広帯域)* 原子炉水位 (燃料域)* 原子炉圧力*</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> <td>ドライウェル圧力* 圧力抑留室圧力* サブプレッションプール水温度* 格納容器内雰囲気放射線モニタ*</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>原子炉水位 (広帯域)* 原子炉水位 (燃料域)* 原子炉圧力* ドライウェル圧力* 圧力抑留室圧力* サブプレッションプール水温度* 格納容器内雰囲気水素濃度* 格納容器内雰囲気酸素濃度* 気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタ*</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>直接関連系</td> <td>計測制御室換気空調系 原子炉補機室換気空調系 換気空調補機非常用冷却水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>プール冷却機能</td> <td>燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度*</td> <td>PS-3</td> </tr> <tr> <td>プールへの給水機能</td> <td>燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位*</td> <td>MS-2 MS-3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位 (広帯域)* 原子炉水位 (燃料域)* 原子炉圧力*	MS-2	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	ドライウェル圧力* 圧力抑留室圧力* サブプレッションプール水温度* 格納容器内雰囲気放射線モニタ*	MS-2	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉水位 (広帯域)* 原子炉水位 (燃料域)* 原子炉圧力* ドライウェル圧力* 圧力抑留室圧力* サブプレッションプール水温度* 格納容器内雰囲気水素濃度* 格納容器内雰囲気酸素濃度* 気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタ*	MS-2	直接関連系	計測制御室換気空調系 原子炉補機室換気空調系 換気空調補機非常用冷却水系	MS-1	プール冷却機能	燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度*	PS-3	プールへの給水機能	燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位*	MS-2 MS-3	<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>ほう酸タンク水位* 蒸気発生器水位 (広域、狭域)* 主蒸気ライン圧力* 補助給水ライン流量* 補助給水ピット水位* 燃料取扱替水ピット水位* 格納容器再循環サンプル水位 (広域、狭域)*</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>異常状態の緩和機能</td> <td>加圧器逃がし弁 (手動閉閉機能)</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>制御室外からの安全停止機能</td> <td>中央制御室外原子炉停止盤</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>ピット冷却機能</td> <td>使用済燃料ピット 設備使用済燃料ピット温度*</td> <td>PS-2 PS-3</td> </tr> <tr> <td>ピット給水機能</td> <td>燃料取扱替水ピット 燃料取扱替水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位*</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	ほう酸タンク水位* 蒸気発生器水位 (広域、狭域)* 主蒸気ライン圧力* 補助給水ライン流量* 補助給水ピット水位* 燃料取扱替水ピット水位* 格納容器再循環サンプル水位 (広域、狭域)*	MS-2	異常状態の緩和機能	加圧器逃がし弁 (手動閉閉機能)	MS-2	制御室外からの安全停止機能	中央制御室外原子炉停止盤	MS-2	ピット冷却機能	使用済燃料ピット 設備使用済燃料ピット温度*	PS-2 PS-3	ピット給水機能	燃料取扱替水ピット 燃料取扱替水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位*	MS-2																																																										
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																	
事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位 (広帯域)* 原子炉水位 (燃料域)* 原子炉圧力*	MS-2																																																																																																	
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	ドライウェル圧力* 圧力抑留室圧力* サブプレッションプール水温度* 格納容器内雰囲気放射線モニタ*	MS-2																																																																																																	
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉水位 (広帯域)* 原子炉水位 (燃料域)* 原子炉圧力* ドライウェル圧力* 圧力抑留室圧力* サブプレッションプール水温度* 格納容器内雰囲気水素濃度* 格納容器内雰囲気酸素濃度* 気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタ*	MS-2																																																																																																	
直接関連系	計測制御室換気空調系 原子炉補機室換気空調系 換気空調補機非常用冷却水系	MS-1																																																																																																	
プール冷却機能	燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度*	PS-3																																																																																																	
プールへの給水機能	燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位*	MS-2 MS-3																																																																																																	
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																	
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	ほう酸タンク水位* 蒸気発生器水位 (広域、狭域)* 主蒸気ライン圧力* 補助給水ライン流量* 補助給水ピット水位* 燃料取扱替水ピット水位* 格納容器再循環サンプル水位 (広域、狭域)*	MS-2																																																																																																	
異常状態の緩和機能	加圧器逃がし弁 (手動閉閉機能)	MS-2																																																																																																	
制御室外からの安全停止機能	中央制御室外原子炉停止盤	MS-2																																																																																																	
ピット冷却機能	使用済燃料ピット 設備使用済燃料ピット温度*	PS-2 PS-3																																																																																																	
ピット給水機能	燃料取扱替水ピット 燃料取扱替水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位*	MS-2																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																														
<p>第1.8.6表 機器と機能喪失高さの考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ダンパ</td> <td>各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ（操作盤含む）</td> <td>①ポンプ又はモータでいずれか低い箇所 ②ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い部位</td> </tr> <tr> <td>ファン</td> <td>モータは下端部又は端子箱下端の低い部位</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>盤内の計器類の最下部</td> </tr> <tr> <td>計器</td> <td>計器本体又は伝送器の下端部</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ（操作盤含む）	①ポンプ又はモータでいずれか低い箇所 ②ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い部位	ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い部位	盤	盤内の計器類の最下部	計器	計器本体又は伝送器の下端部	<p>第1.7-2表 溢水防護対象設備の機能喪失高さ設定における考え方（例示）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>電気盤類</td> <td>対象機器の設置レベル</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電気盤類	対象機器の設置レベル	計器関係	計器下端レベル	<p>第1.7.2表 溢水防護対象設備の機能喪失高さ設定における考え方（例示）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器</th> <th colspan="2">機能喪失高さ</th> </tr> <tr> <th>基本設定箇所*</th> <th>個別測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>電動機の下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>電気盤類（操作盤含む）</td> <td>対象機器の設置レベル</td> <td>盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）</td> <td>計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 保守的に機能喪失すると仮定した部位</p>	機器	機能喪失高さ		基本設定箇所*	個別測定箇所	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方	電気盤類（操作盤含む）	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部	計器関係	計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方	<p>【女川】 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 ・上記の機能喪失高さの設定方針は、先行審査プラントである柏崎6、7号炉及び島根2号炉で実績があり、女川2号炉においても、溢水水位に対して防護対象設備の機能喪失高さの裕度が小さい場合には、実際の機能喪失高さを実測することによって十分な裕度が確保されていることを確認している。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・泊は補足説明資料16「防滴仕様の被水評価における妥当性について」に記載している。</p>
機器	機能喪失高さ																																																
弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																
ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																
ポンプ（操作盤含む）	①ポンプ又はモータでいずれか低い箇所 ②ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い部位																																																
ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い部位																																																
盤	盤内の計器類の最下部																																																
計器	計器本体又は伝送器の下端部																																																
機器	機能喪失高さ																																																
弁類	弁が設置される配管の中心レベル																																																
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ																																																
ファン類	コンクリート基礎の高さ																																																
電気盤類	対象機器の設置レベル																																																
計器関係	計器下端レベル																																																
機器	機能喪失高さ																																																
	基本設定箇所*	個別測定箇所																																															
弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部																																															
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部																																															
ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方																																															
電気盤類（操作盤含む）	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部																																															
計器関係	計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方																																															
<p>第1.8.7表 蒸気影響評価における配管の想定破損評価条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系</th> <th>系統</th> <th>破損想定</th> <th>隔離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">補助蒸気系</td> <td>一般部（25Aを超える。）</td> <td rowspan="2">異音クラック</td> <td rowspan="2">自動／手動</td> </tr> <tr> <td>ターミナルエンド部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化学体積制御系（抽出）</td> <td>一般部（25A以下）</td> <td rowspan="2">完全全周破断</td> <td rowspan="2">手動</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウンサンプル系</td> </tr> </tbody> </table>	系	系統	破損想定	隔離	補助蒸気系	一般部（25Aを超える。）	異音クラック	自動／手動	ターミナルエンド部	化学体積制御系（抽出）	一般部（25A以下）	完全全周破断	手動	蒸気発生器ブローダウンサンプル系	<p>【島根2号炉】（抜粋）p9条-17</p> <p>第2.5.1-1表 溢水防護対象設備の機能喪失高さの考え方（例示）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備</th> <th colspan="2">機能喪失高さ</th> </tr> <tr> <th>基本設定箇所*</th> <th>個別設定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポンプ／電動機</td> <td>・ポンプベース高さ</td> <td>・電動機下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>空気作動弁／電動弁</td> <td>・取付け配管中心高さ</td> <td>・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>・盤ベース高さ</td> <td>・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>計器ラック</td> <td>・計器ドレン弁高さ</td> <td>・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 保守的に機能喪失すると仮定した部位</p>	設備	機能喪失高さ		基本設定箇所*	個別設定箇所	ポンプ／電動機	・ポンプベース高さ	・電動機下端部 ・電線管接続部下端部	空気作動弁／電動弁	・取付け配管中心高さ	・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部	盤	・盤ベース高さ	・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部	計器ラック	・計器ドレン弁高さ	・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部																	
系	系統	破損想定	隔離																																														
補助蒸気系	一般部（25Aを超える。）	異音クラック	自動／手動																																														
	ターミナルエンド部																																																
化学体積制御系（抽出）	一般部（25A以下）	完全全周破断	手動																																														
	蒸気発生器ブローダウンサンプル系																																																
設備	機能喪失高さ																																																
	基本設定箇所*	個別設定箇所																																															
ポンプ／電動機	・ポンプベース高さ	・電動機下端部 ・電線管接続部下端部																																															
空気作動弁／電動弁	・取付け配管中心高さ	・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部																																															
盤	・盤ベース高さ	・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部																																															
計器ラック	・計器ドレン弁高さ	・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部																																															
<p>第1.8.1図 保護カバー等の概要</p>  <p>第1.8.2図 防護カバーの概要</p> 																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="206 162 600 737" style="border: 1px solid black; height: 360px; width: 176px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="349 737 461 751" style="font-size: 8px;">第1.8.3図 線配置図</div> <div data-bbox="264 756 622 775" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: 8px;">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="183 826 600 1343" style="border: 1px solid black; height: 324px; width: 186px; margin-top: 10px;"></div> <div data-bbox="322 1356 461 1370" style="font-size: 8px;">第1.8.4図 水密扉配置図</div> <div data-bbox="264 1375 622 1394" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: 8px;">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・泊は、添付資料9「溢水影響評価において止水を期待できる設備」に記載している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 適合性説明</p> <p>第九条 溢水による損傷の防止等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>1 安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない。</p> <p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管の破損によって当該容器又は配管から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものでなければならない。</p> </div> <p>適合のための設計方針</p> <p>第1項について</p> <p>安全施設は、<u>原子炉施設内</u>における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>そのために、<u>原子炉施設内</u>における溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。</p> <p>また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。</p> <p>なお、<u>原子炉施設内</u>における溢水として、<u>原子炉施設内</u>に設置された機器、配管の破損（地震起因を含む。）、消火水系（<u>スプリンクラーを含む。</u>）等の動作又は使用済燃料ピットのスロッシングにより発生した溢水を考慮する。</p> <p style="text-align: right;">【別添資料1（2-9-別1-4）】</p>	<p>(3) 適合性説明</p> <p>1.10 発電用原子炉設置変更許可申請に係る安全設計の方針</p> <p>1.10.3 発電用原子炉設置変更許可申請（平成25年12月27日申請）に係る実用発電用原子炉及びその附属施設的位置、構造及び設備の基準に関する規則への適合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（溢水による損傷の防止等）</p> <p>第九条 安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない。</p> <p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものでなければならない。</p> </div> <p>適合のための設計方針</p> <p>第1項について</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料プールにおいては、<u>使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。</u></p> <p>なお、発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）、消火系統等の作動、<u>使用済燃料プール</u>等のスロッシングその他の事象により発生した溢水を考慮する。</p>	<p>(3) 適合性説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（溢水による損傷の防止等）</p> <p>第九条 安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない。</p> <p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものでなければならない。</p> </div> <p>適合のための設計方針</p> <p>第1項について</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料ピットにおいては、<u>使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。</u></p> <p>なお、発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）、消火系等の作動、<u>使用済燃料ピット</u>等のスロッシングその他の事象により発生した溢水を考慮する。</p>	<p>【女川・大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川・大飯】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 設計方針の相違</p> <p>・大飯は防護対象設備が設置される建屋内にスプリンクラーが設置されているが、女川及び泊には設置されていない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第2項について</p> <p>設計基準対象施設は、原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管の破損によって当該容器又は配管から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1 補-573~587)】</p>	<p>第2項について</p> <p>設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p>	<p>第2項について</p> <p>設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.3 気象等 該当なし</p> <p>1.4 設備等</p> <p>10.6.2 内部溢水に対する防護設備</p> <p>10.6.2.1 概要</p> <p>原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、原子炉施設内に設ける壁、扉、堰等により、防護対象設備がその安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>溢水評価に当たっては、溢水防護区画を設定し溢水防護区画の水位が最も高くなるように保守的に溢水経路を設定する。発生を想定する溢水に対し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>【別添資料1 (2-9-別1-4)】</p> <p>10.6.2.2 設計方針</p>	<p>1.3 気象等 該当なし。</p> <p>1.4 設備等</p> <p>10. その他発電用原子炉の附属施設</p> <p>10.6.2 内部溢水に対する防護設備</p> <p>10.6.2.1 概要</p> <p>発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、施設内に設ける壁、扉、堰等の浸水防護設備により、溢水防護対象設備が、その安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>10.6.2.2 設計方針</p> <p>浸水防護設備は、以下の方針で設計する。</p> <p>(1) 浸水防止堰は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 S_s による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。また、浸水防止堰の高さは、溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>(2) 水密扉は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 S_s による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(3) 止水壁は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 S_s による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(4) (1)～(3)以外の浸水防護設備についても、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 S_s による地震力等の溢水の要</p>	<p>1.3 気象等 該当なし</p> <p>1.4 設備等</p> <p>10. その他発電用原子炉の附属施設</p> <p>10.6.2 内部溢水に対する防護設備</p> <p>10.6.2.1 概要</p> <p>発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、施設内に設ける壁、扉、堰等の浸水防護設備により、溢水防護対象設備が、その安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>10.6.2.2 設計方針</p> <p>浸水防護設備は、以下の方針で設計する。</p> <p>(1) 浸水防止堰は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。また、浸水防止堰の高さは、溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>(2) 水密扉は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(3) (1)～(2)以外の浸水防護設備についても、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因</p>	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊には対象となる設備は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉施設内で溢水が発生した場合において、原子炉施設内に設ける壁、扉、堰等の浸水防護設備により、防護対象設備がその安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。さらに、海水ポンプエリア及び防護対象設備が設置されている建屋外の溢水源については、地震、津波、竜巻、地滑り等を考慮する。具体的には、「10.6.2.2.3 海水ポンプエリアにおける溢水評価に関する設計方針」及び「10.6.2.2.4 防護対象設備設置建屋外からの溢水評価に関する設計方針」にて説明する。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管が破損することにより、当該容器又は配管から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">【別添資料1 (2-9-別1-4) (2-9-別1 補-4、520～541、573～587)】</p> <p>10.6.2.2.1 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針 (1) 溢水源及び溢水量の想定 溢水源及び溢水量としては、発生要因別に分類した以下の溢水を想定して評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水（以下「想定破損による溢水」という。） b. 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水（以下「消火水の放水による溢水」という。） c. 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（以下「地震起因による溢水」という。） d. その他要因（地下水の流入、地震以外の自然現象、機器の誤動作等）により生じる溢水 <p>防護対象設備が設置されている建屋内において、流体を内包する容器及び配管を溢水源となり得る機器</p>	<p>因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>として抽出する。ここで抽出された機器のうち、上記 a. 又は c. の評価において破損を想定するものは、それぞれの評価での溢水源として考慮する。</p> <p style="text-align: center;">【別添資料1 (2-9-別1-6、7)】</p> <p>(2) 防護対象設備の設定</p> <p>防護対象設備は、原子炉施設内で発生した溢水に対して、重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を損なうことのない設計（原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計。）とするために必要な設備とする。</p> <p>さらに、原子炉施設の安全評価に関する審査指針に基づき、運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故を対象として、溢水により発生し得る原子炉外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱に対処する設備を抽出する。抽出に当たっては溢水事象となり得る運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故も評価対象とする。</p> <p style="text-align: center;">【別添資料1 (2-9-別1-8～12、97～125) (2-9-別1 補-4～53、508～519)】</p> <p>(3) 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>溢水防護に対する溢水防護区画は、防護対象設備が設置されているすべての区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定する。溢水防護区画は壁、扉、堰等又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離される区画として設定し、溢水防護区画の水位が最も高くなるように保守的に溢水経路を設定する。</p> <p style="text-align: center;">【別添資料1 (2-9-別1-13～15、126～155)】</p> <p>(4) 防護対象設備設置建屋内における溢水評価に関する設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水に対して、防護対象設備が以下に示す浸水、被水及び蒸気の影響を受けて、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対</p>			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>しては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <p>a. 想定破損による溢水影響に対する設計方針 想定される配管の破損形状に基づいた溢水の影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>b. 消火水の放水による溢水影響に対する設計方針 火災時の消火水系（スプリンクラーを含む。）等からの放水による溢水を想定し、溢水の影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、格納容器スプレイ系については原子炉格納容器内でのみ生じ、防護対象設備は耐環境性があることから格納容器スプレイ系の動作により発生する溢水により原子炉格納容器内の防護対象設備が安全機能を損なうことはない。</p> <p>c. 地震起因による溢水影響に対する設計方針(使用済燃料ピットのスロッシングを含む。) 溢水源となり得る機器（流体を内包する機器）のうち、基準地震動による地震力によって破損が生じる機器を溢水源として想定し、溢水の影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>d. その他の溢水影響に対する設計方針 その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知システム等により早期に検知し、防護対象設備の安全機能が損なわれない程度の溢水に抑える設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-22～54、156～414） （2-9-別1 補-76～171、196～407、459～481）】</p> <p>10.6.2.2.2 使用済燃料ピットの溢水評価に関する設計方針</p> <p>(1) 溢水源及び溢水量の想定 溢水源及び溢水量は、「10.6.2.2.1 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針」と同じ想定とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-55）】</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 防護対象設備の設定</p> <p>防護対象設備は、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能の維持に必要な設備とする。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1-57)】</p> <p>(3) 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>溢水防護区画及び溢水経路は、「10.6.2.2.1 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針」と同じ設定とする。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1-57～60)】</p> <p>(4) 溢水評価に関する設計方針</p> <p>溢水評価に対する設計方針は、「10.6.2.2.1 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針」と同様とする。</p> <p>なお、基準地震動での使用済燃料ピットのスロッシングにより、使用済燃料ピット外へ漏えいする溢水量を考慮しても、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能の維持に必要な水位が確保される設計とする。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1-4、55、60～75、396～414)(2-9-別1 補-547～554)】</p> <p>10.6.2.2.3 海水ポンプエリアにおける溢水評価に関する設計方針</p> <p>海水ポンプエリア内にある防護対象設備が、海水ポンプエリア内及びエリア外で発生する溢水の影響を受けて、安全機能を損なうことのない設計とする。また、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1-80～81、450～454)】</p> <p>10.6.2.2.4 防護対象設備設置建屋外からの溢水評価に関する設計方針</p> <p>防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、廃棄物処理建屋からの溢水、タービン建屋からの溢水及び屋外タンクからの溢水は、防護対象設備が設置される建屋へ流入しない設計とする。</p> <p>鯨谷タンクエリアで発生する溢水は、立坑及び排水</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>トンネルを設置し、構外へ排水する設計とする。</p> <p>地下水は建屋基礎下に設置している集水管により、建屋最下層にある湧水サンプに集水する設計とする。また、地下水水位を考慮しても防護対象設備が設置されている建屋へ地下水が流入しない設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-76～79、82～92、415～449、450～540）（2-9-別1 補-520～546）】</p> <p>10.6.2.3 主要設備</p> <p>(1) 原子炉周辺建屋堰</p> <p>廃棄物処理建屋で発生する溢水が原子炉周辺建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、原子炉周辺建屋堰を原子炉周辺建屋に設置する。</p> <p>原子炉周辺建屋堰の設計においては、基準地震動による地震力に対して溢水の伝播を防止する機能が十分に保持できる設計とする。</p> <p>堰の配置図を第1.8.3図に示す。</p> <p>(2) 原子炉周辺建屋水密扉</p> <p>廃棄物処理建屋、燃料取替用水ビット及び復水ビットで発生する溢水、屋外タンクからの溢水等が原子炉周辺建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、原子炉周辺建屋水密扉を原子炉周辺建屋に設置する。</p> <p>原子炉周辺建屋水密扉の設計においては、基準地震動による地震力に対して浸水を防止する機能が十分に保持できる設計とする。また、溢水により発生する水圧に対して水密性を有する設計とする。</p> <p>(3) 制御建屋水密扉</p> <p>屋外タンクからの溢水等が制御建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、制御建屋水密扉を制御建屋に設置する。</p> <p>制御建屋水密扉の設計においては、基準地震動による地震力に対して浸水を防止する機能が十分に保持できる設計とする。また、溢水により発生する水圧に対して水密性を有する設計とする。</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>水密扉の配置図を第1.8.4図に示す。</p> <p>10.6.2.4 主要仕様 主要設備の仕様を第10.6.2.1表に示す。</p> <p>10.6.2.5 試験検査 浸水防護設備は、健全性及び性能を確認するため、原子炉の運転中又は停止中に、定期的に試験又は検査を実施する。</p> <p>第10.6.2.1表 浸水防護設備の設備仕様</p> <p>(1) 原子炉周辺建屋堰 種類 堰 材料 炭素鋼又は鉄筋コンクリート 個数 7</p> <p>(2) 原子炉周辺建屋水密扉 種類 片開扉 材料 炭素鋼又はステンレス鋼 個数 17</p> <p>(3) 制御建屋水密扉 種類 片開扉 材料 炭素鋼又はステンレス鋼 個数 4</p>	<p>10.6.2.3 試験検査 浸水防護設備は、健全性及び性能を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に、定期的に試験又は検査を実施する。</p>	<p>10.6.2.3 試験検査 浸水防護設備は、健全性及び性能を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に、定期的に試験又は検査を実施する。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">別添資料1</p> <p style="text-align: center;">大阪3号炉及び4号炉 内部溢水の影響評価について</p>	<p style="text-align: right;">別添資料1</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 内部溢水の影響評価について</p>	<p style="text-align: right;">別添資料1</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 内部溢水の影響評価について</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">目次</p> <p>1 原子炉施設の安全確保</p> <p>1.1 溢水源の想定</p> <p>1.2 防護対象設備の設定</p> <p>1.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>1.4 評価に用いる各項目の溢水影響評価</p> <p>1.4.1 想定破損による溢水</p> <p>1.4.1.1 想定破損による溢水源</p> <p>1.4.1.2 想定破損による溢水影響評価</p> <p>1.4.1.2.1 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>1.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価</p> <p>1.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価</p> <p>1.4.2 放水による溢水</p> <p>1.4.2.1 放水による溢水源</p> <p>1.4.2.2 放水による溢水影響評価</p> <p>1.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>1.4.3 地震による溢水</p> <p>1.4.3.1 地震による溢水源</p> <p>1.4.3.2 地震による溢水影響評価</p> <p>1.4.3.2.1 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>1.4.3.2.2 地震による溢水影響評価のうち被水影響評価</p> <p>1.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価</p> <p>1.4.4 その他の溢水</p>	<p style="text-align: center;">目次</p> <p>1. 評価の概要</p> <p>1.1 溢水防護に関する基本方針</p> <p>1.2 溢水影響評価フロー</p> <p>2. 溢水源の想定</p> <p>3. 防護対象設備の設定</p> <p>3.1 溢水防護に必要な機能を有する系統の抽出</p> <p>3.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出</p> <p>3.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定</p> <p>3.4 防護対象設備を防護するための設計方針</p> <p>3.4.1 没水の影響に対する設計方針</p> <p>3.4.2 被水の影響に対する設計方針</p> <p>3.4.3 蒸気の影響に対する設計方針</p> <p>3.4.4 その他の溢水に対する設計方針</p> <p>4. 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>4.1 溢水防護区画の設定</p> <p>4.2 滞留面積の算出</p> <p>4.3 溢水経路</p> <p>5. 想定破損評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>5.1 想定破損による溢水源</p> <p>5.2 想定破損による没水影響評価</p> <p>5.3 想定破損による被水影響評価</p> <p>5.4 想定破損による蒸気影響評価</p> <p>6. 消火水の放水評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>6.1 消火水の放水による溢水源</p> <p>6.2 消火水の放水による没水影響評価</p> <p>6.3 消火水の放水による被水影響評価</p>	<p style="text-align: center;">目次</p> <p>1 評価の概要</p> <p>1.1 溢水防護に関する基本方針</p> <p>1.2 溢水影響評価フロー</p> <p>2 溢水源の想定</p> <p>3 防護対象設備の設定</p> <p>3.1 溢水防護に必要な機能を有する系統の抽出</p> <p>3.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出</p> <p>3.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定</p> <p>3.4 防護対象設備を防護するための設計方針</p> <p>3.4.1 没水の影響に対する設計方針</p> <p>3.4.2 被水の影響に対する設計方針</p> <p>3.4.3 蒸気の影響に対する設計方針</p> <p>3.4.4 その他の溢水に対する設計方針</p> <p>4 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>4.1 溢水防護区画の設定</p> <p>4.2 滞留面積の算出</p> <p>4.3 溢水経路</p> <p>5 想定破損評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>5.1 想定破損による溢水源</p> <p>5.2 想定破損による没水影響評価</p> <p>5.3 想定破損による被水影響評価</p> <p>5.4 想定破損による蒸気影響評価</p> <p>6 消火水の放水評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>6.1 消火水の放水による溢水源</p> <p>6.2 消火水の放水による没水影響評価</p> <p>6.3 消火水の放水による被水影響評価</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映により資料構成が相違している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
2 使用済燃料ピットの安全確保 2.1 溢水源の想定 2.2 防護対象設備の設定 2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定 2.4 評価に用いる各項目の溢水影響評価 2.4.1 想定破損による溢水 2.4.1.1 想定破損による溢水源 2.4.1.2 想定破損による溢水影響評価 2.4.1.2.1 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価 2.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価 2.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 2.4.2 放水による溢水 2.4.2.1 放水による溢水源 2.4.2.2 放水による溢水影響評価 2.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価 2.4.3 地震による溢水 2.4.3.1 地震による溢水源 2.4.3.2 地震による溢水影響評価 2.4.3.2.1 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価 2.4.3.2.2 地震による溢水影響評価のうち被水影響評価 2.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 2.4.4 使用済燃料ピットのスロッシングによる水位低下の評価 2.4.5 使用済燃料ピットのスロッシングに対する冷却機能及び給水機能の維持の確認 3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価 4 海水ポンプエリアの溢水影響評価 5 防護対象設備が設置されている建屋の外からの溢水影響評価 6 経年劣化事象の検討 7 溢水影響評価の判定	7. 地震時評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 7.1 地震起因による溢水源 7.2 地震起因による没水影響評価 7.2.1 地震起因による没水影響評価の前提条件 7.2.2 地震起因による没水影響評価 7.3 地震起因による被水影響評価 7.4 地震起因による蒸気影響評価 8. 使用済燃料プール等のスロッシング後の機能維持評価 8.1 解析評価 8.2 スロッシングによる溢水量(解析結果) 8.3 使用済燃料プール等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認 9. タービン建屋からの溢水影響評価 9.1 評価条件 9.2 評価に用いる各項目の算出 9.2.1 タービン建屋における溢水源 9.2.2 タービン建屋における溢水量 9.2.3 タービン建屋における溢水経路 9.3 評価結果 9.3.1 タービン建屋からの溢水影響評価結果 9.3.2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容 10. 原子炉建屋付属棟(廃棄物処理エリア(管理区域))からの溢水影響評価 11. 補助ボイラー建屋からの溢水影響評価 12. 1号炉制御建屋からの溢水影響評価 13. 屋外タンクからの溢水影響評価 14. 地下水による影響評価 15. 放射性物質を含む液体の漏えいの防止	7 地震時評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 7.1 地震起因による溢水源 7.2 地震起因による没水影響評価 7.2.1 地震起因による没水影響評価の前提条件 7.2.2 地震起因による没水影響評価 7.3 地震起因による被水影響評価 7.4 地震起因による蒸気影響評価 8 使用済燃料ピット等のスロッシング後の機能維持評価 8.1 解析評価 8.2 スロッシングによる溢水量(解析結果) 8.3 使用済燃料ピット等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認 9 タービン建屋からの溢水影響評価 9.1 評価条件 9.2 評価に用いる各項目の算出 9.2.1 タービン建屋における溢水源 9.2.2 タービン建屋における溢水量 9.2.3 タービン建屋における溢水経路 9.3 評価結果 9.3.1 タービン建屋からの溢水影響評価結果 9.3.2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容 10 電気建屋からの溢水影響評価 11 出入管理建屋からの溢水影響評価 12 屋外タンクからの溢水影響評価 13 地下水による影響評価 14 放射性物質を含む液体の漏えいの防止 15 経年劣化事象の検討 16 溢水影響評価の判定	【女川】 設備名称の相違 【女川】 建屋名称の相違 建屋名称の相違 【女川】 記載方針の相違 最新PWR審査実績の反映として、大飯の記載項目を反映した。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
添付資料	添付資料1 発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源	添付資料1 発生要因及び評価項目ごとに想定する溢水源	【大飯・女川】 記載方針の相違 添付資料及び補足説明資料の差異 説明については、各資料の相違理 由欄にて説明する。	
1.1 溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）	添付資料2 溢水源となりうる機器のリスト	添付資料2 溢水源となりうる機器のリスト		
1.2-1 重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料	添付資料3 想定する溢水量一覧	添付資料3 想定する溢水量一覧		
ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統	添付資料4 防護対象設備一覧	添付資料4 防護対象設備一覧		
1.2-2 防護対象設備と機能喪失高さ一覧	添付資料5 機能喪失高さの考え方	添付資料5 機能喪失高さの考え方		
1.3-1 溢水防護区画の設定	添付資料6 溢水影響評価の対象外とした設備について	添付資料6 溢水影響評価の対象外とした設備について		
1.3-2 溢水経路と溢水経路概念図	添付資料7 溢水防護区画図	添付資料7 溢水防護区画図		
1.3-3 溢水影響評価で止水を期待できる設備	添付資料8 滞留面積の算出について	添付資料8 滞留面積の算出について		
1.4.1-1 想定破損による溢水源	添付資料9 溢水影響評価において止水を期待できる設備	添付資料9 溢水影響評価において止水を期待できる設備		
1.4.1-2 想定破損による溢水影響評価(没水影響評価)	添付資料10 溢水伝播経路図(平面図)	添付資料10 溢水伝播経路図(平面図)		
1.4.1-3 想定破損による溢水影響評価(被水影響評価)	添付資料12 開口部等からの流出流量の評価	添付資料11 開口部等からの流出流量の評価		
1.4.1-4 想定破損による溢水影響評価(蒸気影響評価)	添付資料13 溢水源となる対象系統について	添付資料12 溢水源となる対象系統について		
1.4.2-1 消火活動に係る時間設定の考え方	添付資料14 高エネルギー配管の想定破損除外について	添付資料13 高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて		
1.4.2-2 消火活動に係る放水による溢水影響評価	添付資料15 低エネルギー配管の想定破損除外について	添付資料14 低エネルギー配管の想定破損除外について		
1.4.2-3 消火活動に係る放水による溢水経路図(代表)	添付資料16 減肉等による破損評価について	添付資料15 減肉等による破損評価について		
1.4.3-1 地震時の溢水源(原子炉周辺建屋、制御建屋)	添付資料17 系統別溢水量算出結果	添付資料16 系統別溢水量算出結果		
1.4.3-2 耐震B、Cクラスの機器の耐震強度評価方法及び評価結果	添付資料18 想定破損による没水影響評価結果	添付資料17 想定破損による没水影響評価結果		
1.4.3-3 地震に起因する溢水影響評価結果及び溢水経路図	添付資料20 想定破損による被水影響評価結果	添付資料18 被水影響評価結果		
1.4.4 その他の溢水に対する確認について	添付資料22 想定破損による蒸気影響評価結果	添付資料19 想定破損による蒸気影響評価結果		
2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価	添付資料24 消火水の放水による溢水影響評価対象区画	添付資料20 消火水の放水による溢水影響評価対象区画		
3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価	添付資料25 消火水の放水における放水量について	添付資料21 消火水の放水における放水量について		
4 海水ポンプエリアの溢水影響評価	添付資料26 消火水の放水による溢水影響評価結果	添付資料22 消火水の放水による溢水影響評価結果		
5.1 タービン建屋からの溢水影響評価	添付資料27 地震に起因する溢水源リスト	添付資料23 地震に起因する溢水源リスト		
5.2 屋外タンクからの溢水影響評価	添付資料28 地震起因による没水影響評価結果	添付資料24 地震起因による没水影響評価結果		
5.3 湧水サンプからの溢水影響評価	添付資料29 耐震B、Cクラス機器の耐震評価	添付資料25 耐震B、Cクラス機器の耐震評価		
6 経年劣化事象の検討	添付資料30 タービン建屋における溢水経路図	添付資料26 タービン建屋における溢水経路について		
参考 原子力発電所の内部溢水影響評価ガイドへの適合確認	添付資料31 原子炉建屋付属棟(廃棄物処理エリア(管理区域))における溢水経路図	添付資料27 電気建屋における溢水経路図		【女川】 建屋名称の相違
	添付資料32 補助ボイラー建屋における溢水経路図	添付資料28 出入管理建屋における溢水経路図		
	添付資料33 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備の設置場所	添付資料29 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備の設置場所		
	添付資料34 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」への適合状況	添付資料30 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」への適合状況		
	添付資料11 溢水伝播フロー図	添付資料31 溢水伝播フロー図		
	添付資料19 想定破損による没水影響評価結果から必要となる設備対策について			
	添付資料21 想定破損による被水影響評価結果から必要となる設備対策について			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>補足説明資料 27 内部溢水影響評価における評価の保守性について</p> <p>補足説明資料 7 保有水量・系統別溢水量算出要領</p> <p>補足説明資料 25 内部溢水により想定される事象の確認及び解析確認結果</p> <p>補足説明資料 37 気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタの内部溢水に対する防護について</p> <p>補足説明資料 2 溢水影響評価上の防護対象設備の配置について</p> <p>補足説明資料 3 溢水影響評価の対象外とした設備に関する補足</p> <p>補足説明資料 16 止水を期待する設備の止水性能等について</p> <p>補足説明資料 17 溢水防護対策の主要な施工対象範囲</p> <p>補足説明資料 9 運転員のアクセス性</p> <p>補足説明資料 8 想定破損評価における隔離時間の妥当性について</p> <p>補足説明資料 36 漏えい検知性について</p> <p>補足説明資料 34 貫通クラック等微小漏えい時の影響について</p> <p>補足説明資料 6 防滴仕様の被水評価における妥当性について</p> <p>補足説明資料 4 原子炉建屋原子炉棟（二次格納施設）内防護対象設備の蒸気影響について</p> <p>補足説明資料 5 耐蒸気仕様の確認について</p> <p>補足説明資料 20 耐震B、Cクラス機器の補強工事の実施内容について</p>	<p>添付資料 23 想定破損による蒸気影響評価結果から必要となる設備対策について</p> <p>補足説明資料 27 内部溢水影響評価における評価の保守性について</p> <p>補足説明資料 7 保有水量・系統別溢水量算出要領</p> <p>補足説明資料 25 内部溢水により想定される事象の確認及び解析確認結果</p> <p>補足説明資料 37 気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタの内部溢水に対する防護について</p> <p>補足説明資料 2 溢水影響評価上の防護対象設備の配置について</p> <p>補足説明資料 3 溢水影響評価の対象外とした設備に関する補足</p> <p>補足説明資料 16 止水を期待する設備の止水性能等について</p> <p>補足説明資料 17 溢水防護対策の主要な施工対象範囲</p> <p>補足説明資料 9 運転員のアクセス性</p> <p>補足説明資料 8 想定破損評価における隔離時間の妥当性について</p> <p>補足説明資料 36 漏えい検知性について</p> <p>補足説明資料 34 貫通クラック等微小漏えい時の影響について</p> <p>補足説明資料 6 防滴仕様の被水評価における妥当性について</p> <p>補足説明資料 4 原子炉建屋原子炉棟（二次格納施設）内防護対象設備の蒸気影響について</p> <p>補足説明資料 5 耐蒸気仕様の確認について</p> <p>補足説明資料 20 耐震B、Cクラス機器の補強工事の実施内容について</p>	<p>補足説明資料 1 内部溢水影響評価における評価の保守性について</p> <p>補足説明資料 2 保有水量・系統別溢水量算出要領</p> <p>補足説明資料 3 内部溢水により想定される事象の確認及び解析確認結果</p> <p>補足説明資料 4 防護対象設備の選定について</p> <p>補足説明資料 5 タービントリップ機能を有するMS-3設備の内部溢水に対する防護について</p> <p>補足説明資料 6 溢水影響評価上の防護対象設備の配置について</p> <p>補足説明資料 7 溢水影響評価の対象外とした設備に関する補足</p> <p>補足説明資料 8 止水を期待する設備の止水性能等について</p> <p>補足説明資料 9 溢水防護対策の主要な施工対象範囲</p> <p>補足説明資料 10 A、B、C充てんポンプの没水影響評価</p> <p>補足説明資料 11 運転員のアクセス性</p> <p>補足説明資料 12 想定破損評価における隔離時間の妥当性について</p> <p>補足説明資料 13 漏えい検知性について</p> <p>補足説明資料 14 地震時溢水評価における隔離時間の妥当性について</p> <p>補足説明資料 15 貫通クラック等微小漏えい時の影響について</p> <p>補足説明資料 16 防滴仕様の被水評価における妥当性について</p> <p>補足説明資料 17 想定破損による溢水影響評価（蒸気影響評価）</p> <p>補足説明資料 18 原子炉格納容器及び主蒸気管室内防護対象設備の溢水影響について</p> <p>補足説明資料 19 GOTHICコードについて</p> <p>補足説明資料 20 蒸気拡散解析による蒸気影響評価結果</p> <p>補足説明資料 21 蒸気漏えいの自動検知及び遠隔隔離について</p> <p>補足説明資料 22 防護対象設備の耐蒸気性能について</p> <p>補足説明資料 23 配管破損箇所と防護対象設備との位置関係による影響について</p> <p>補足説明資料 24 補助蒸気系の耐震強度評価及び貫通クラックの大きさについて</p> <p>補足説明資料 25 補助蒸気系隔離時のドレンの処置について</p> <p>補足説明資料 26 抽出配管の漏えい時の放射線影響について</p> <p>補足説明資料 27 耐震B、Cクラス機器の補強工事の実施内容について</p>	<p>【大阪・女川】 記載方針の相違 添付資料及び補足説明資料の差異説明については、各資料の相違理由欄にて説明する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>補足説明資料 22 溢水影響評価における耐震B、Cクラス機器の抽出方法について</p> <p>補足説明資料 24 内部溢水評価における耐震壁等の確認について</p> <p>補足説明資料 19 定ピッチスパン法に基づく配管の耐震評価</p> <p>補足説明資料 30 ほう酸水等薬品の漏えいによる影響について</p> <p>補足説明資料 23 使用済燃料プール等のスロッシング評価における保守性について</p> <p>補足説明資料 21 スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要</p> <p>補足説明資料 11 タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について</p> <p>補足説明資料 31 屋外タンクからの溢水影響評価について</p> <p>補足説明資料 33 その他の漏えい事象に対する確認について</p> <p>補足説明資料 28 別のハザードからの溢水影響について</p> <p>補足説明資料 29 過去の不具合事例への対応について</p> <p>補足説明資料 35 溢水発生後の復旧について</p> <p>補足説明資料 26 内部溢水影響評価における確認内容について</p> <p>補足説明資料 15 防護対象設備における機能喪失高さの裕度が小さい場合のゆらぎ影響評価</p> <p>補足説明資料 13 溢水伝播フロー図について</p> <p>補足説明資料 38 重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針について</p> <p>補足説明資料 1 防護区画内の溢水源となりうる系統</p> <p>補足説明資料 10 スロッシング後の使用済燃料プール冷却機能維持のための現場操作</p> <p>補足説明資料 12 循環水系及びタービン補機冷却海水系におけるインターロックの追加について</p> <p>補足説明資料 14 内部溢水影響評価における判定表</p> <p>補足説明資料 18 配管の耐震評価の考え方</p> <p>補足説明資料 32 ハッチ開放時における溢水影響について</p> <p>主な系統及び略語 (省略)</p>	<p>補足説明資料 22 溢水影響評価における耐震B、Cクラス機器の抽出方法について</p> <p>補足説明資料 24 内部溢水評価における耐震壁等の確認について</p> <p>補足説明資料 19 定ピッチスパン法に基づく配管の耐震評価</p> <p>補足説明資料 30 ほう酸水等薬品の漏えいによる影響について</p> <p>補足説明資料 23 使用済燃料プール等のスロッシング評価における保守性について</p> <p>補足説明資料 21 スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要</p> <p>補足説明資料 11 タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について</p> <p>補足説明資料 31 屋外タンクからの溢水影響評価について</p> <p>補足説明資料 33 その他の漏えい事象に対する確認について</p> <p>補足説明資料 28 別のハザードからの溢水影響について</p> <p>補足説明資料 29 過去の不具合事例への対応について</p> <p>補足説明資料 35 溢水発生後の復旧について</p> <p>補足説明資料 26 内部溢水影響評価における確認内容について</p> <p>補足説明資料 15 防護対象設備における機能喪失高さの裕度が小さい場合のゆらぎ影響評価</p> <p>補足説明資料 13 溢水伝播フロー図について</p> <p>補足説明資料 38 重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針について</p> <p>補足説明資料 1 防護区画内の溢水源となりうる系統</p> <p>補足説明資料 10 スロッシング後の使用済燃料プール冷却機能維持のための現場操作</p> <p>補足説明資料 12 循環水系及びタービン補機冷却海水系におけるインターロックの追加について</p> <p>補足説明資料 14 内部溢水影響評価における判定表</p> <p>補足説明資料 18 配管の耐震評価の考え方</p> <p>補足説明資料 32 ハッチ開放時における溢水影響について</p> <p>主な系統及び略語 (省略)</p>	<p>補足説明資料 28 溢水影響評価における耐震B、Cクラス機器の抽出方法について</p> <p>補足説明資料 29 内部溢水評価における耐震壁等の確認について</p> <p>補足説明資料 30 標準支持間隔法に基づく配管の耐震評価</p> <p>補足説明資料 31 ほう酸水等薬品の漏えいによる影響について</p> <p>補足説明資料 32 使用済燃料ピット等のスロッシング評価における保守性について</p> <p>補足説明資料 33 スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要</p> <p>補足説明資料 34 循環水ポンプ建屋における溢水影響評価について</p> <p>補足説明資料 35 タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について</p> <p>補足説明資料 36 屋外タンクからの溢水影響評価について</p> <p>補足説明資料 37 その他の漏えい事象に対する確認について</p> <p>補足説明資料 38 別のハザードからの溢水影響について</p> <p>補足説明資料 39 過去の不具合事例への対応について</p> <p>補足説明資料 40 溢水発生後の復旧について</p> <p>補足説明資料 41 内部溢水影響評価における確認内容について</p> <p>補足説明資料 42 内部溢水影響評価における継続的な管理</p> <p>補足説明資料 43 防護対象設備における機能喪失高さの裕度が小さい場合のゆらぎ影響評価</p> <p>補足説明資料 44 経年劣化事象の検討</p> <p>補足説明資料 45 溢水伝播経路図及び没水影響評価結果整理表について</p> <p>補足説明資料 46 重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針について</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 添付資料及び補足説明資料の差異説明については、各資料の相違理由欄にて説明する。</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>「大阪3号炉及び4号炉の内部溢水影響評価」の概要</p> <p>大阪3号炉及び4号炉については、溢水影響を考慮した設計を実施している。具体的には系統の独立した区画への分散配置、区画の入口堰、機器の基礎高さ等の考慮、各建屋最下層に設置されたサンプへの集積及び排水が可能な設計としている。</p> <p>今回、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下、「溢水ガイド」という。）にしたがい、発電用原子炉施設（以下、「原子炉施設」という。）内に設置された機器及び配管の想定破損、火災時の消火水の放水、地震による機器の破損（使用済燃料ピットのスロッシング含む。）により発生する溢水により設計基準対象施設が安全機能を損なうことのないよう防護措置その他適切な措置が講じられていることを確認するものである。</p>	<p>1. 評価の概要</p> <p>女川原子力発電所2号炉については、発電所建設の設計段階において溢水影響を考慮した機器配置、配管設計を実施している。具体的には、独立した区画への分散配置、区画の入口堰及び機器の基礎高さ等の考慮、各建屋最下層に設置されたサンプに集積し排水が可能な設計としている。</p> <p>本資料は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（以下「設置許可基準規則」という。）第九条（溢水による損傷の防止等）」の要求事項を踏まえ、安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのないように防護措置、その他適切な措置が講じられていることを確認するものである。</p>	<p>1. 評価の概要</p> <p>泊発電所3号炉については、発電所建設の設計段階において溢水影響を考慮した機器配置、配管設計を実施している。具体的には、独立した区画への分散配置、区画の入口堰及び機器の基礎高さ等の考慮、各建屋最下層に設置されたサンプに集積し排水が可能な設計としている。</p> <p>本資料は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（以下「設置許可基準規則」という）第九条（溢水による損傷の防止等）」の要求事項を踏まえ、安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのないように防護措置、その他適切な措置が講じられていることを確認するものである。</p>	<p>【女川・大阪】 設備名称の相違 【大阪】 記載表現の相違 【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 【女川】 記載表現の相違</p>
<p>溢水防護に関する基本方針</p> <p>原子炉施設内における溢水による損傷を防止するために、以下のような措置を講じる設計とする。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水により、原子炉施設の安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水により、原子炉施設の安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(3) 地震による機器の破損等により生じる溢水（使用済燃料ピットのスロッシングを含む。）により、原子炉施設の安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(4) その他の溢水については、地下水の流入、竜巻による飛来物の衝突による屋外タンクの破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p>	<p>1. 1 溢水防護に関する基本方針</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とするために、溢水が発生した場合でも、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料プールにおいては、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。ここで、これらの機能を維持するために必要な設備を、以下「防護対象設備」という。設置許可基準規則第九条及び第十二条並びに「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下「溢水ガイド」という。）の要求事項を踏まえ、以下の設備を防護対象設備とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備 ・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備 	<p>1. 1 溢水防護に関する基本方針</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とするために、溢水が発生した場合でも、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。ここで、これらの機能を維持するために必要な設備を、以下「防護対象設備」という。設置許可基準規則第九条及び第十二条並びに「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下「溢水ガイド」という）の要求事項を踏まえ、以下の設備を防護対象設備とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備 ・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備 	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 【女川】 設備名称の相違 【女川】 記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損(地震起因を含む。)、消火系統等の作動又は使用済燃料プール等のスロッシング、その他の事象により発生した溢水を考慮し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計(多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計)とする。</p> <p>地震、津波、竜巻、降水等の自然現象による波及的影響により生じる溢水に関しては、防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置を踏まえて最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p> <p>溢水防護を考慮した設計にあたり、基本設計方針を以下のとおりとする。</p> <p>(1) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止し、引き続き低温停止、並びに放射性物質の閉じ込め機能を維持するために必要となる設備、原子炉が停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するために必要となる設備、使用済燃料プールの冷却及び給水機能を維持するための設備について、以下の設計上の配慮を行う。</p> <p>a. 内部溢水の発生を防止するため、発電用原子炉施設内の系統及び機器は、その内部流体の種類や温度、圧力等に従い、適切な構造、強度を有するよう設計する。</p> <p>b. 発電用原子炉施設内での溢水事象(地震に起因するものを含む。)を想定し、発電用原子炉施設内での溢水の伝播経路及び滞留を考慮して、機器の多重性、多様性、各系統相互の隔離距離の確保、障壁等の設置により、同時に複数区分の安全機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）、消火系統等の作動又は使用済燃料ピット等のスロッシング、その他の事象により発生した溢水を考慮し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計）とする。</p> <p>地震、津波、竜巻、降水等の自然現象による波及的影響により生じる溢水に関しては、防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置を踏まえて最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p> <p>溢水防護を考慮した設計に当たり、基本設計方針を以下のとおりとする。</p> <p>(1) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止し、引き続き低温停止、並びに放射性物質の閉じ込め機能を維持するために必要となる設備、原子炉が停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するために必要となる設備、使用済燃料ピットの冷却及び給水機能を維持するための設備について、以下の設計上の配慮を行う。</p> <p>a. 内部溢水の発生を防止するため、発電用原子炉施設内の系統及び機器は、その内部流体の種類や温度、圧力等に従い、適切な構造、強度を有するよう設計する。</p> <p>b. 発電用原子炉施設内での溢水事象(地震に起因するものを含む。)を想定し、発電用原子炉施設内での溢水の伝播経路及び滞留を考慮して、機器の多重性、多様性、各系統相互の隔離距離の確保、障壁等の設置により、同時に複数区分の安全機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>さらに、溢水の影響により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」（以下、「安全評価指針」という。）に基づき発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心が損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。なお、安全解析にあたっては、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故を収束させるために必要な設備の単一故障を考慮する。</p> <p>(2) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合において、放射性物質によって汚染された液体が管理されない状態で管理区域外へ漏えいしないよう、以下のような設計とする。</p> <p>a. 放射性物質を含む液体を扱う大容量ポンプの設置区域や、廃液処理設備の設置区域に対して、放射性液体の管理区域外への流出、拡大を防止する設計とする。</p> <p>b. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、伝播経路となる箇所について、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行う設計とする。</p> <p>c. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、床勾配及び側溝を設置し、漏えいした放射性液体を床ドレンに確実に導く設計とする。</p>	<p>さらに、溢水の影響により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」（以下「安全評価指針」という）に基づき発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心が損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。なお、安全解析にあたっては、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故を収束させるために必要な設備の単一故障を考慮する。</p> <p>(2) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合において、放射性物質によって汚染された液体が管理されない状態で管理区域外へ漏えいしないよう、以下のような設計とする。</p> <p>a. 放射性物質を含む液体を扱う大容量ポンプの設置区域や、放射性廃棄物の処理施設及び貯蔵施設の設置区域に対して、放射性液体の管理区域外への流出、拡大を防止する設計とする。</p> <p>b. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、伝播経路となる箇所について、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行う設計とする。</p> <p>c. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、床勾配及び側溝を設置し、漏えいした放射性液体を床ドレンに確実に導く設計とする。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1 原子炉施設の安全確保</p> <p>溢水ガイドにしたがい、以下のフローにて溢水影響評価を行った。</p>	<p>1. 2 溢水影響評価フロー</p> <p>以下のフローにて溢水影響評価を行う。</p> <p>※ 5～8は防護対象設備が設置されているエリアに対する評価を、 9～14は防護対象設備が設置されているエリア外及び建屋外からの評価をそれぞれ示す。</p>	<p>1. 2 溢水影響評価フロー</p> <p>以下のフローにて溢水影響評価を行う。</p> <p>※ 5～8は防護対象設備が設置されているエリアに対する評価を、 9～13は防護対象設備が設置されている建屋外からの評価をそれぞれ示す。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川、大飯】 建屋名称の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映</p>
<p>図1-1 溢水影響評価の全体（原子炉施設の安全確保）</p>	<p>図1-1 溢水影響評価フロー</p>	<p>図1-1 溢水影響評価フロー</p>	

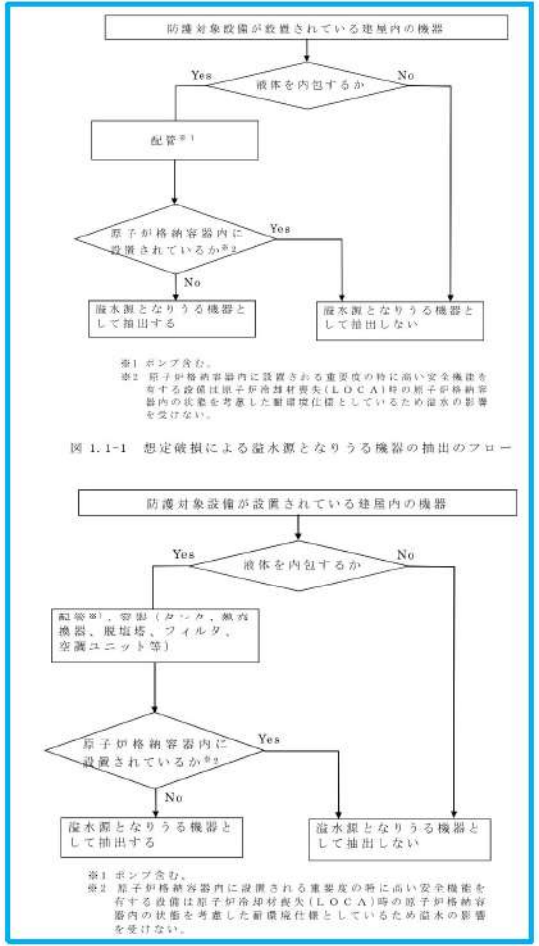
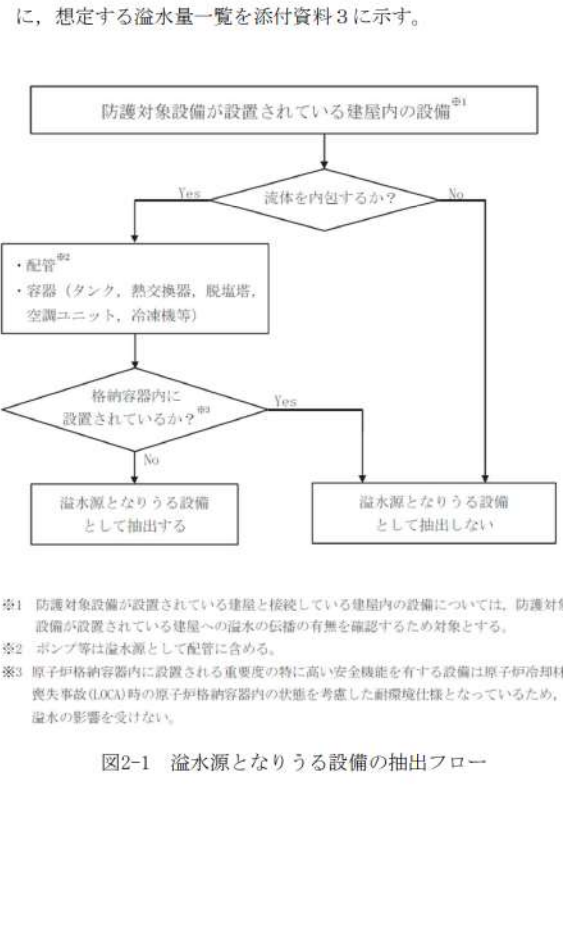
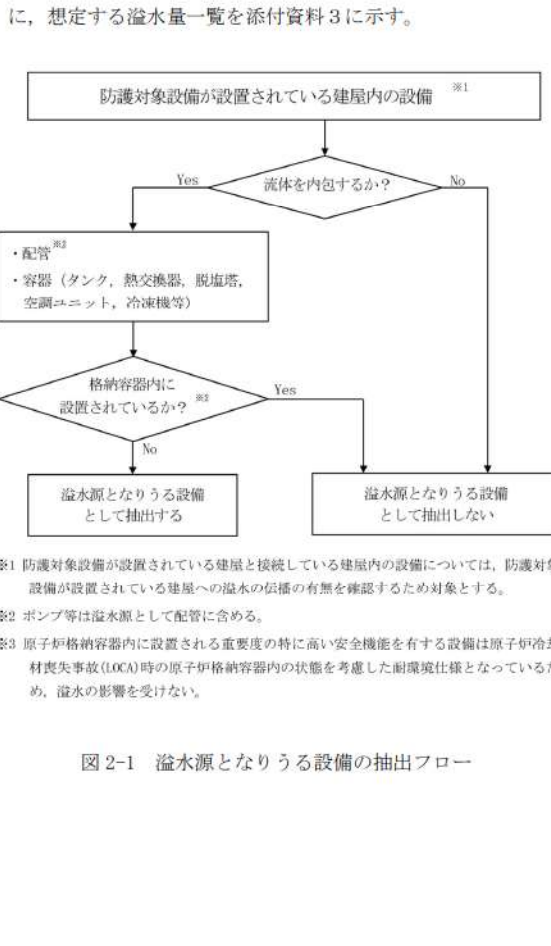
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.1 溢水源の想定</p> <p>溢水ガイドに記載のとおり、溢水の発生要因別に以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>溢水源となりうる機器の抽出フローを図1.1-1、2に示す。なお、放水による溢水は、消火栓、スプリンクラーからの放水とする。</p>	<p>2. 溢水源の想定</p> <p>溢水源としては、発生要因別に分類した以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水（以下「想定破損による溢水」という。）</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災含む）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水（以下「消火水の放水による溢水」という。）</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（以下「地震起因による溢水」という。）</p> <p>(4) その他の要因（地下水、地震以外の自然現象、機器の誤作動等）により生じる溢水（以下「その他の溢水」という。）</p> <p>防護対象設備の設置建屋内において流体を内包する配管及び容器を、溢水源となりうる設備として配管計装線図(P&ID)より抽出した。ここで抽出された設備が想定破損時及び地震時の評価において破損する場合、それぞれの評価での溢水源となる。想定破損による溢水源の想定に当たっては、一系統における単一の機器の破損とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定した。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定した。地震時の評価においては、使用済燃料プール等のスロッシングについても溢水源として想定した。</p> <p>火災時における溢水源としては、自動作動するスプリンクラーは設置されていないことから、消火栓からの放水を考慮する。</p> <p>格納容器スプレイについては、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから（インターロック等の誤作動や運転員の人的過誤がそれぞれ単独で発生しても誤動作しない）、溢水源として考慮しない。</p> <p>その他の溢水については、地下水、降水、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p> <p>溢水源となりうる設備の抽出フローを図2-1に、溢水源の全体像を図2-2に、発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源を添付資料1に、溢水源となりうる機器のリストを添付資料2</p>	<p>2. 溢水源の想定</p> <p>溢水源としては、発生要因別に分類した以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水（以下「想定破損による溢水」という）</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災含む）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水（以下「消火水の放水による溢水」という）</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（以下「地震起因による溢水」という）</p> <p>(4) その他の要因（地下水、地震以外の自然現象、機器の誤作動等）により生じる溢水（以下「その他の溢水」という）</p> <p>防護対象設備の設置建屋内において流体を内包する配管及び容器を、溢水源となりうる設備として系統図より抽出した。ここで抽出された設備が想定破損時及び地震時の評価において破損する場合、それぞれの評価での溢水源となる。想定破損による溢水源の想定に当たっては、一系統における単一の機器の破損とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定した。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定した。地震時の評価においては、使用済燃料ピット等のスロッシングについても溢水源として想定した。</p> <p>火災時における溢水源としては、自動作動するスプリンクラーは設置されていないことから、消火栓からの放水を考慮する。</p> <p>格納容器スプレイについては、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから（インターロック等の誤作動や運転員の人的過誤がそれぞれ単独で発生しても誤動作しない）、溢水源として考慮しない。</p> <p>その他の溢水については、地下水、降水、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p> <p>溢水源となりうる設備の抽出フローを図2-1に、溢水源の全体像を図2-2に、発生要因及び評価項目ごとに想定する溢水源を添付資料1に、溢水源となりうる機器のリストを添付資料2</p>	<p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

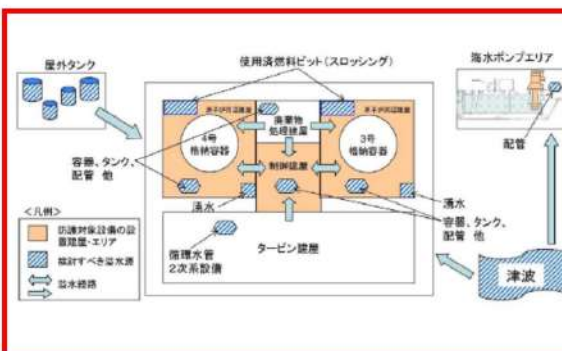
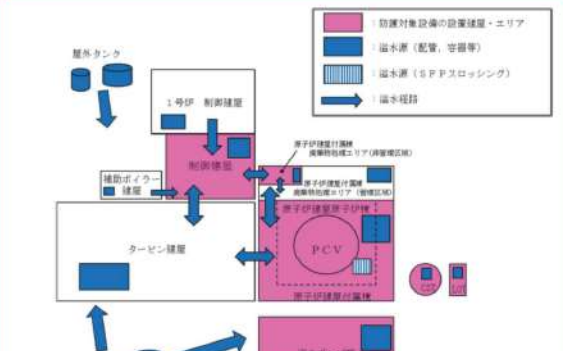
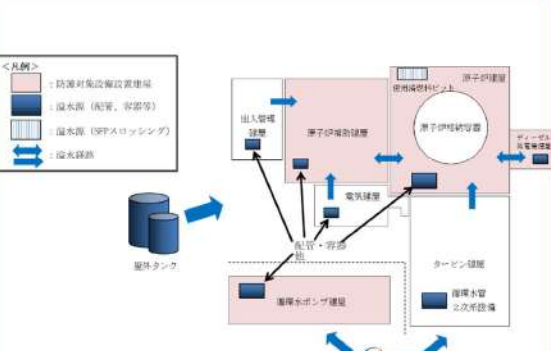
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p>  <p>図 1.1-1 想定破損による溢水源となりうる機器の抽出のフロー</p> <p>図 1.1-2 地震起因による溢水源となりうる機器の抽出のフロー</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>に、想定する溢水量一覧を添付資料3に示す。</p>  <p>図2-1 溢水源となりうる設備の抽出フロー</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>に、想定する溢水量一覧を添付資料3に示す。</p>  <p>図 2-1 溢水源となりうる設備の抽出フロー</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・泊は想定破損と地震起因による溢水を合わせた抽出フローとしている。</p>
<p>溢水源の候補は原子炉周辺建屋、制御建屋、海水ポンプエリア、廃棄物処理建屋、タービン建屋及び屋外にある。</p> <p>このうち、廃棄物処理建屋から原子炉周辺建屋への流入経路は止水されていることを確認し、「3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価」に検討内容と結果を記載した。</p> <p>海水ポンプエリアについては「4 海水ポンプエリアの溢水影響評価」に記載した。</p> <p>また、タービン建屋（循環水管、津波）、屋外タンク、湧水（原子炉周辺建屋）については「5 防護対象設備が設置されている建屋の外からの溢水影響評価」に記載した。</p>	<p>溢水源は原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア）、1号及び2号炉制御建屋、海水ポンプ室、復水貯蔵タンク（CST）エリア、軽油タンク（LOT）エリア、タービン建屋、補助ボイラー建屋及び屋外にある。</p>	<p>溢水源は原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋、循環水ポンプ建屋、タービン建屋、出入管理建屋、電気建屋及び屋外にある。</p>	<p>【大飯、女川】 建屋名称の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図1.1-2 溢水源の全体像</p>	 <p>図2-2 溢水源の全体像</p>	 <p>図2-2 溢水源の全体像</p>	<p>【大阪・女川】 設計方針の相違 ・プラント設計の相違による。</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・泊は補足説明資料4「防護対象設備の選定について」に記載している。</p>
<p>（添付資料1.1）溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）</p> <p>1.2 防護対象設備の設定</p> <p>溢水ガイドは、(1)重要度の特に高い安全機能を有する系統がその安全機能を適切に維持するために必要な設備並びに(2)使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を適切に維持するために必要な設備を防護対象設備とすることを求めている。また、防護対象設備は重要度の特に高い安全機能を有する設備が内部溢水により原子炉に外乱が生じ、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合に、それを達成するために必要な設備についても抽出する。</p>	<p>3. 防護対象設備の設定</p> <p>設置許可基準規則第九条において、「発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない」と規定されている。</p> <p>上記の「安全機能を損なわないもの」とは、同規則の解釈において、「発電用原子炉施設内部で発生が想定される溢水に対し、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できること、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できることをいう。さらに、使用済燃料貯蔵槽においては、プール冷却機能及びプールへの給水機能を維持できること」と解されている。</p> <p>また、溢水ガイドにおいては、「重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備」及び「「プール冷却」及び「プールへの給水」の機能を適切に維持するために必要な設備」を防護対象設備として選定している。さらに設置許可基準規則第十二条では、安全施設が安全機能を果たすための要求が記載されている。</p> <p>上記の要求事項を踏まえ、以下の手順により防護対象設備を選定する。</p>	<p>3. 防護対象設備の設定</p> <p>設置許可基準規則第九条において、「発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない」と規定されている。</p> <p>上記の「安全機能を損なわないもの」とは、同規則の解釈において、「発電用原子炉施設内部で発生が想定される溢水に対し、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できること、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できることをいう。さらに、使用済燃料貯蔵槽においては、プール冷却機能及びプールへの給水機能を維持できること」と解されている。</p> <p>また、溢水ガイドにおいては、「重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備」及び「「プール冷却」及び「プールへの給水」の機能を適切に維持するために必要な設備」を防護対象設備として選定している。さらに設置許可基準規則第十二条では、安全施設が安全機能を果たすための要求が記載されている。</p> <p>上記の要求事項を踏まえ、以下の手順により防護対象設備を選定する。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>以下に、それぞれに対応する防護対象設備の選定方法を示す。</p> <p>なお、検討する防護対象設備が設置されている建屋及びエリアは原子炉周辺建屋、制御建屋及び海水ポンプエリアである。</p> <p>(1) 重要度の特に高い安全機能を有する系統</p> <p>原子炉停止、高温停止、低温停止及びその維持に必要な以下の機能、系統を抽出し、これらの機能を達成するために必要な設備を防護対象設備として選定した。</p> <p>①原子炉停止：原子炉停止系</p> <p>②ほう酸添加：原子炉停止系（化学体積制御系のほう酸注入機能等）</p> <p>③崩壊熱除去：補助給水系、主蒸気系、余熱除去系</p> <p>④1次系減圧：1次冷却系の減圧機能</p> <p>⑤上記系統の関連系：原子炉補機冷却系、制御用空気系、換気空調系、非常用電源系、冷水系、電気盤</p> <p>⑥その他</p> <p>上記系統に加え、原子炉施設の安全評価に関する審査指針に基づき、運転時の異常な過度変化又は設計基準事故を対象として、溢水により発生し得る原子炉の外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱に対処する設備を抽出する。抽出に当たっては溢水事象となり得る運転時の異常な過度変化及び設計基準事故も評価対象とする。</p> <p>原子炉外乱としては、以下の溢水により発生し得る原子炉外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱を考慮する。地震に対しては溢水だけでなく、地震に起因する原子炉外乱（主給水流量喪失、外部電源喪失等）も考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定破損による溢水（単一機器の破損を想定） ・消火水の放水による溢水（単一の溢水源を想定） ・地震起因による溢水（耐震B、Cクラスの機器の破損を想定） <p>なお、原子炉格納容器内に設置される重要度の特に高い安全機能を有する設備は、原子炉冷却材喪失（以下、「LOCA」という。）を考慮した耐環境仕様としているため、これ以降の検討から除外した。</p>	<p>3. 1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出</p> <p>溢水防護上必要な機能を有する系統として、安全施設のうち、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するため、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持するため、並びに使用済燃料プールにおいてはプール冷却機能及びプールへの給水機能を維持するために必要となる、発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針(以下「重要度分類審査指針」という。)における分類でクラス1及び2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>その上で、「重要度の特に高い安全機能を有する系統」として、重要度分類審査指針及び設置許可基準規則第十二条より、表3-1のとおり抽出する。</p>	<p>3. 1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出</p> <p>溢水防護上必要な機能を有する系統として、安全施設のうち、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するため、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持するため、並びに使用済燃料ピットにおいてはピット冷却機能及びピットへの給水機能を維持するために必要となる、発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針（以下「重要度分類審査指針」という）における分類でクラス1及び2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>その上で、「重要度の特に高い安全機能を有する系統」として、重要度分類審査指針及び設置許可基準規則第十二条より、表3-1のとおり抽出する。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・泊は補足説明資料4「防護対象設備の選定について」に記載している。</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 使用済燃料ビットの冷却機能及び給水機能を有する系統</p> <p>使用済燃料ビットを保安規定で定められた水温(65℃以下)に維持する必要があるため、使用済燃料ビットの冷却機能の維持に必要な設備を防護対象設備として選定した。</p> <p>また、使用済燃料からの放射線に対する遮蔽機能の維持に必要な水位が確保されるように、使用済燃料ビットの給水機能の維持に必要な設備を防護対象設備として選定した。</p>	<p>また使用済燃料プールについて、「プール冷却」及び「プールへの給水」機能を有する系統を表3-2のとおり抽出する。</p> <p>なお、安全施設の全体像は、重要度分類審査指針における分類でクラス1, 2, 3に該当する構築物, 系統及び機器であり、これら安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性について表3-3に示す。また、クラス1, 2及び安全評価上その機能を期待するクラス3に該当する安全施設であって、重要度の特に高い安全機能を有する系統に該当しないものについては、溢水防護上必要な機能を有する系統として考慮するもの、溢水により損傷した場合であっても代替手段があること等により安全機能が損なわれないことが確認できることから後段の影響評価の対象から除外することとし、各構築物・系統又は機器について溢水影響評価上の扱いを整理した結果についても表3-3にて示す。</p>	<p>また使用済燃料ビットについて、「ビット冷却」及び「ビットへの給水」機能を有する系統を表3-2のとおり抽出する。</p> <p>なお、安全施設の全体像は、重要度分類審査指針における分類でクラス1, 2, 3に該当する構築物, 系統及び機器であり、これら安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性について表3-3に示す。また、クラス1, 2及び安全評価上その機能を期待するクラス3に該当する安全施設であって、重要度の特に高い安全機能を有する系統に該当しないものについては、溢水防護上必要な機能を有する系統として考慮すること等により安全機能が損なわれないことが確認できることから後段の影響評価の対象から除外することとし、各構築物・系統又は機器について溢水影響評価上の扱いを整理した結果についても表3-3にて示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 【女川】 設備名称の相違</p>
<p>(3) 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定について</p> <p>防護対象設備として選定した設備のうち、溢水影響評価を行う設備のスクリーニングの考え方について、図1.2-1に溢水影響評価対象の選定フローを、表1.2-1に溢水影響評価の対象外とする理由についてまとめた。</p> <p>防護対象設備としては、LOCAのような溢水事象そのものによって安全解析上の事故や異常な過渡変化が発生した場合に、プラントを安全停止させるために必要な設備は、防護対象設備として抽出し、溢水の影響を受けても必要な安全機能を損なわないものを除き評価対象とした。</p> <p>なお、防護対象設備リストにはプラント停止の対処設備を明確にするために該当する系統の容器（タンク）、熱交換器、フィルタ等の主要な静的機器についても記載したが、これらの設備は溢水影響を受けないため、機能喪失高さは「-」と記載した。</p>	<p>3. 2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出</p> <p>3. 1で抽出した各系統について、系統図等に基づき、当該系統の機能を維持する上で必要な設備を抽出する。以上により抽出された設備を防護対象設備とする。</p> <p>3. 3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定</p> <p>3. 2で抽出した防護対象設備について、溢水による設備機能への影響の有無(設備の種別、耐環境仕様等)を考慮したスクリーニングを行い、溢水影響評価上の防護対象設備として選定した。評価対象選定フロー及びスクリーニング理由を、それぞれ図3-1及び表3-4に示す。なお、以下ではこの“溢水影響評価上の防護対象設備”を単に“防護対象設備”と読み替えることとする。抽出した防護対象設備を添付資料4に、防護対象設備の機能喪失高さ(溢水の影響を受けて、溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ)の考え方について添付資料5に、溢水影響評価対象外とした設備を添付資料6にそれぞれ示す。</p>	<p>3. 2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出</p> <p>3. 1で抽出した各系統について、系統図等に基づき、当該系統の機能を維持する上で必要な設備を抽出する。以上により抽出された設備を防護対象設備とする。</p> <p>3. 3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定</p> <p>3. 2で抽出した防護対象設備について、溢水による設備機能への影響の有無(設備の種別、耐環境仕様等)を考慮したスクリーニングを行い、溢水影響評価上の防護対象設備として選定した。評価対象選定フロー及びスクリーニング理由を、それぞれ図3-1及び表3-4に示す。なお、以下ではこの“溢水影響評価上の防護対象設備”を単に“防護対象設備”と読み替えることとする。抽出した防護対象設備を添付資料4に、防護対象設備の機能喪失高さ(溢水の影響を受けて、溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ)の考え方について添付資料5に、溢水影響評価対象外とした設備を添付資料6にそれぞれ示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																					
	<p>表3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果（1/3）</p> <table border="1" data-bbox="703 252 1265 1070"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉の緊急停止機能</td> <td>制御棒及び制御棒駆動系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">未臨界維持機能</td> <td>ほう酸水注入系</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>制御棒及び制御棒駆動系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能</td> <td>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）</td> <td rowspan="5">MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</td> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td rowspan="3">MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能</td> <td>低圧炉心スプレイ系</td> <td rowspan="3">MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系（低圧注水モード）</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能</td> <td>自動減圧系</td> <td>MS-1</td> </tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1	未臨界維持機能	ほう酸水注入系	PS-1	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）	MS-1	原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）	MS-1	高圧炉心スプレイ系	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）	原子炉隔離時冷却系	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	高圧炉心スプレイ系	MS-1	高圧炉心スプレイ系	MS-1	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	MS-1	高圧炉心スプレイ系	MS-1	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）	低圧炉心スプレイ系	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	低圧炉心スプレイ系	MS-1	高圧炉心スプレイ系	残留熱除去系（低圧注水モード）	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能	自動減圧系	MS-1	<p>表3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="1285 252 1848 1054"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉の緊急停止機能</td> <td>原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">未臨界維持機能</td> <td>原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）（化学体積制御設備のほう酸注入機能）</td> <td rowspan="2">MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止後における除熱のための</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去機能</td> <td>加圧器安全弁（開機能）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>二次系からの除熱機能</td> <td>余熱除去設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>二次系への補給水機能</td> <td>主蒸気設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための</td> <td>補助給水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉内高圧時における注水機能</td> <td>非常用炉心冷却設備（高圧注入系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉内低圧時における注水機能</td> <td>非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 ニュラス空気浄化設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器の冷却機能</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用所内電源系（交流）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用所内電源系（直流）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の交流電源機能</td> <td>ディーゼル発電機</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の直流電源機能</td> <td>直流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の計測制御用直流電源機能</td> <td>計測制御用電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>補機冷却機能</td> <td>原子炉補機冷却水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）	MS-1	未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）（化学体積制御設備のほう酸注入機能）	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	原子炉停止後における除熱のための			残留熱除去機能	加圧器安全弁（開機能）	MS-1	二次系からの除熱機能	余熱除去設備	MS-1	二次系への補給水機能	主蒸気設備	MS-1	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための	補助給水設備	MS-1	原子炉内高圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）	MS-1	原子炉内低圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）	MS-1	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	原子炉格納容器スプレイ設備 ニュラス空気浄化設備	MS-1	格納容器の冷却機能	原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1	格納容器内の可燃性ガス制御機能			非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（交流）	MS-1	非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（直流）	MS-1	非常用の交流電源機能	ディーゼル発電機	MS-1	非常用の直流電源機能	直流電源設備	MS-1	非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1	補機冷却機能	原子炉補機冷却水設備	MS-1	<p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 ・プラント設計の相違による。</p>
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																						
原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1																																																																																																						
未臨界維持機能	ほう酸水注入系	PS-1																																																																																																						
	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1																																																																																																						
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）	MS-1																																																																																																						
原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）	MS-1																																																																																																						
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																							
	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）																																																																																																							
	残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）																																																																																																							
	原子炉隔離時冷却系																																																																																																							
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	高圧炉心スプレイ系	MS-1																																																																																																						
	高圧炉心スプレイ系	MS-1																																																																																																						
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	MS-1																																																																																																						
	高圧炉心スプレイ系	MS-1																																																																																																						
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）																																																																																																							
	低圧炉心スプレイ系																																																																																																							
	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）																																																																																																							
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	低圧炉心スプレイ系	MS-1																																																																																																						
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																							
	残留熱除去系（低圧注水モード）																																																																																																							
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能	自動減圧系	MS-1																																																																																																						
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																						
原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）	MS-1																																																																																																						
未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）（化学体積制御設備のほう酸注入機能）	MS-1																																																																																																						
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能																																																																																																							
原子炉停止後における除熱のための																																																																																																								
残留熱除去機能	加圧器安全弁（開機能）	MS-1																																																																																																						
二次系からの除熱機能	余熱除去設備	MS-1																																																																																																						
二次系への補給水機能	主蒸気設備	MS-1																																																																																																						
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための	補助給水設備	MS-1																																																																																																						
原子炉内高圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）	MS-1																																																																																																						
原子炉内低圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）	MS-1																																																																																																						
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	原子炉格納容器スプレイ設備 ニュラス空気浄化設備	MS-1																																																																																																						
格納容器の冷却機能	原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1																																																																																																						
格納容器内の可燃性ガス制御機能																																																																																																								
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（交流）	MS-1																																																																																																						
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（直流）	MS-1																																																																																																						
非常用の交流電源機能	ディーゼル発電機	MS-1																																																																																																						
非常用の直流電源機能	直流電源設備	MS-1																																																																																																						
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1																																																																																																						
補機冷却機能	原子炉補機冷却水設備	MS-1																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																				
	<p>表3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果(2/3)</p> <table border="1" data-bbox="734 252 1240 943"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場合の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> <td>非常用ガス処理系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器の冷却機能</td> <td>残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> <td>可燃性ガス濃度制御系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用直流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の交流電源機能</td> <td>非常用ディーゼル発電機（高圧回転スプレイ系ディーゼル発電機を含む）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の直流電源機能</td> <td>蓄電池（非常用）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の計測制御用直流電源機能</td> <td>計測制御用電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>補機冷却機能</td> <td>原子炉補機冷却水系 高圧回転スプレイ補機冷却水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>冷却用水供給機能</td> <td>原子炉補機冷却水系 高圧回転スプレイ補機冷却水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> <td>中央制御室換気空調系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気供給機能</td> <td>主蒸気遠がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉格納容器隔離弁</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止系に対する作動信号（常用系として作動させるものを除く）の発生機能</td> <td>原子炉保護系の安全保護回路</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> <td>・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主蒸気隔離の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> <td>起動領域モニタ^{※1} 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び制御棒位置</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果(3/3)</p> <table border="1" data-bbox="734 1029 1240 1422"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> <td>原子炉水位（広帯域）^{※1}</td> <td rowspan="3">MS-2</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（燃料域）^{※1}</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力^{※1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> <td>ドライウェル圧力^{※1}</td> <td rowspan="4">MS-2</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室圧力^{※1}</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温度^{※1}</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線モニタ^{※1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>原子炉水位（広帯域）^{※1}</td> <td rowspan="6">MS-2</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（燃料域）^{※1}</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力^{※1}</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル圧力^{※1}</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室圧力^{※1}</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温度^{※1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>格納容器内雰囲気水素濃度^{※1}</td> <td rowspan="4">MS-3</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気気酸濃度^{※1}</td> </tr> <tr> <td>気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタ^{※1}</td> </tr> <tr> <td>計測制御電源室換気空調系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直接関連系</td> <td>原子炉補機室換気空調系</td> <td rowspan="2">MS-1</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機非常用冷却水系</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載 ※2 「緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能」に属する設備であるが、設計基準事故の放射性気体廃棄物処理施設の破損時において期待していることから「事故時のプラント操作のための情報の把握機能」に分類。詳細な評価を補足説明資料37にて実施した。</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場合の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系	MS-1	格納容器の冷却機能	残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）	MS-1	格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系	MS-1	非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用交流電源設備	MS-1	非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用直流電源設備	MS-1	非常用の交流電源機能	非常用ディーゼル発電機（高圧回転スプレイ系ディーゼル発電機を含む）	MS-1	非常用の直流電源機能	蓄電池（非常用）	MS-1	非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1	補機冷却機能	原子炉補機冷却水系 高圧回転スプレイ補機冷却水系	MS-1	冷却用水供給機能	原子炉補機冷却水系 高圧回転スプレイ補機冷却水系	MS-1	原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室換気空調系	MS-1	圧縮空気供給機能	主蒸気遠がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁	PS-1	原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1	原子炉停止系に対する作動信号（常用系として作動させるものを除く）の発生機能	原子炉保護系の安全保護回路	MS-1	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主蒸気隔離の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	MS-1	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	起動領域モニタ ^{※1} 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び制御棒位置	MS-2	機能	対象系統・機器	重要度分類	事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位（広帯域） ^{※1}	MS-2	原子炉水位（燃料域） ^{※1}	原子炉圧力 ^{※1}	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	ドライウェル圧力 ^{※1}	MS-2	圧力抑制室圧力 ^{※1}	サブプレッションプール水温度 ^{※1}	格納容器内雰囲気放射線モニタ ^{※1}	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉水位（広帯域） ^{※1}	MS-2	原子炉水位（燃料域） ^{※1}	原子炉圧力 ^{※1}	ドライウェル圧力 ^{※1}	圧力抑制室圧力 ^{※1}	サブプレッションプール水温度 ^{※1}	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	格納容器内雰囲気水素濃度 ^{※1}	MS-3	格納容器内雰囲気気酸濃度 ^{※1}	気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタ ^{※1}	計測制御電源室換気空調系	直接関連系	原子炉補機室換気空調系	MS-1	換気空調補機非常用冷却水系	<p>表3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="1294 252 1839 997"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷却用海水供給機能</td> <td>原子炉補機冷却海水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> <td>中央制御室空調装置</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気供給機能</td> <td>制御用圧縮空気設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ（隔離弁）</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉格納容器隔離弁</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止系に対する作動信号（常用系として作動させるものを除く）の発生機能</td> <td>安全保護系（原子炉保護設備）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> <td>安全保護系（工学的安全施設作動設備）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> <td>原子炉トリップ遮断器の状態</td> <td rowspan="2">MS-2</td> </tr> <tr> <td>ほう酸濃度（サンプリング分析）^{※1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> <td>1次冷却材圧力^{※1}</td> <td rowspan="3">MS-2</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材高温側/低温側温度（広域）^{※1}</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位^{※1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> <td>格納容器圧力^{※1}</td> <td rowspan="2">MS-2</td> </tr> <tr> <td>格納容器高レンジエリアモニタ（低レンジ/高レンジ）^{※1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>ほう酸タンク水位^{※1}</td> <td rowspan="7">MS-2</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（広域、狭域）^{※1}</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力^{※1}</td> </tr> <tr> <td>補助給水ライン流量^{※1}</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット水位^{※1}</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ビット水位^{※1}</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンパ水位（広域、狭域）^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水設備	MS-1	原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室空調装置	MS-1	圧縮空気供給機能	制御用圧縮空気設備	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ（隔離弁）	PS-1	原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1	原子炉停止系に対する作動信号（常用系として作動させるものを除く）の発生機能	安全保護系（原子炉保護設備）	MS-1	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	安全保護系（工学的安全施設作動設備）	MS-1	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	原子炉トリップ遮断器の状態	MS-2	ほう酸濃度（サンプリング分析） ^{※1}	事故時の炉心冷却状態の把握機能	1次冷却材圧力 ^{※1}	MS-2	1次冷却材高温側/低温側温度（広域） ^{※1}	加圧器水位 ^{※1}	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	格納容器圧力 ^{※1}	MS-2	格納容器高レンジエリアモニタ（低レンジ/高レンジ） ^{※1}	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	ほう酸タンク水位 ^{※1}	MS-2	蒸気発生器水位（広域、狭域） ^{※1}	主蒸気ライン圧力 ^{※1}	補助給水ライン流量 ^{※1}	補助給水ビット水位 ^{※1}	燃料取扱用水ビット水位 ^{※1}	格納容器再循環サンパ水位（広域、狭域） ^{※1}	<p>【女川】 <u>記載表現の相違</u> 【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・プラント設計の相違による。</p>
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																																					
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場合の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系	MS-1																																																																																																																																					
格納容器の冷却機能	残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）	MS-1																																																																																																																																					
格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系	MS-1																																																																																																																																					
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用交流電源設備	MS-1																																																																																																																																					
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用直流電源設備	MS-1																																																																																																																																					
非常用の交流電源機能	非常用ディーゼル発電機（高圧回転スプレイ系ディーゼル発電機を含む）	MS-1																																																																																																																																					
非常用の直流電源機能	蓄電池（非常用）	MS-1																																																																																																																																					
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1																																																																																																																																					
補機冷却機能	原子炉補機冷却水系 高圧回転スプレイ補機冷却水系	MS-1																																																																																																																																					
冷却用水供給機能	原子炉補機冷却水系 高圧回転スプレイ補機冷却水系	MS-1																																																																																																																																					
原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室換気空調系	MS-1																																																																																																																																					
圧縮空気供給機能	主蒸気遠がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源	MS-1																																																																																																																																					
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁	PS-1																																																																																																																																					
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1																																																																																																																																					
原子炉停止系に対する作動信号（常用系として作動させるものを除く）の発生機能	原子炉保護系の安全保護回路	MS-1																																																																																																																																					
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主蒸気隔離の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	MS-1																																																																																																																																					
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	起動領域モニタ ^{※1} 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び制御棒位置	MS-2																																																																																																																																					
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																																					
事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位（広帯域） ^{※1}	MS-2																																																																																																																																					
	原子炉水位（燃料域） ^{※1}																																																																																																																																						
	原子炉圧力 ^{※1}																																																																																																																																						
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	ドライウェル圧力 ^{※1}	MS-2																																																																																																																																					
	圧力抑制室圧力 ^{※1}																																																																																																																																						
	サブプレッションプール水温度 ^{※1}																																																																																																																																						
	格納容器内雰囲気放射線モニタ ^{※1}																																																																																																																																						
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉水位（広帯域） ^{※1}	MS-2																																																																																																																																					
	原子炉水位（燃料域） ^{※1}																																																																																																																																						
	原子炉圧力 ^{※1}																																																																																																																																						
	ドライウェル圧力 ^{※1}																																																																																																																																						
	圧力抑制室圧力 ^{※1}																																																																																																																																						
	サブプレッションプール水温度 ^{※1}																																																																																																																																						
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	格納容器内雰囲気水素濃度 ^{※1}	MS-3																																																																																																																																					
	格納容器内雰囲気気酸濃度 ^{※1}																																																																																																																																						
	気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタ ^{※1}																																																																																																																																						
	計測制御電源室換気空調系																																																																																																																																						
直接関連系	原子炉補機室換気空調系	MS-1																																																																																																																																					
	換気空調補機非常用冷却水系																																																																																																																																						
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																																					
冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水設備	MS-1																																																																																																																																					
原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室空調装置	MS-1																																																																																																																																					
圧縮空気供給機能	制御用圧縮空気設備	MS-1																																																																																																																																					
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ（隔離弁）	PS-1																																																																																																																																					
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1																																																																																																																																					
原子炉停止系に対する作動信号（常用系として作動させるものを除く）の発生機能	安全保護系（原子炉保護設備）	MS-1																																																																																																																																					
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	安全保護系（工学的安全施設作動設備）	MS-1																																																																																																																																					
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	原子炉トリップ遮断器の状態	MS-2																																																																																																																																					
	ほう酸濃度（サンプリング分析） ^{※1}																																																																																																																																						
事故時の炉心冷却状態の把握機能	1次冷却材圧力 ^{※1}	MS-2																																																																																																																																					
	1次冷却材高温側/低温側温度（広域） ^{※1}																																																																																																																																						
	加圧器水位 ^{※1}																																																																																																																																						
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	格納容器圧力 ^{※1}	MS-2																																																																																																																																					
	格納容器高レンジエリアモニタ（低レンジ/高レンジ） ^{※1}																																																																																																																																						
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	ほう酸タンク水位 ^{※1}	MS-2																																																																																																																																					
	蒸気発生器水位（広域、狭域） ^{※1}																																																																																																																																						
	主蒸気ライン圧力 ^{※1}																																																																																																																																						
	補助給水ライン流量 ^{※1}																																																																																																																																						
	補助給水ビット水位 ^{※1}																																																																																																																																						
	燃料取扱用水ビット水位 ^{※1}																																																																																																																																						
	格納容器再循環サンパ水位（広域、狭域） ^{※1}																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<p>表 3-2 「プール冷却」及び「プールへの給水」機能を有する系統の抽出結果</p> <table border="1" data-bbox="703 295 1265 486"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プール冷却機能</td> <td>燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度^{※1}</td> <td>PS-3</td> </tr> <tr> <td>プール給水機能</td> <td>燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位^{※1}</td> <td>MS-2 MS-3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	プール冷却機能	燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度 ^{※1}	PS-3	プール給水機能	燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位 ^{※1}	MS-2 MS-3	<p>表 3-2 「ピット冷却」及び「ピットへの給水」機能を有する系統の抽出結果</p> <table border="1" data-bbox="1285 295 1848 486"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・設備</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ピット冷却機能</td> <td>使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット温度[※]</td> <td>PS-2 PS-3</td> </tr> <tr> <td>ピット給水機能</td> <td>燃料取替用本ピット 燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位[※]</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載</p>	機能	対象系統・設備	重要度分類	ピット冷却機能	使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット温度 [※]	PS-2 PS-3	ピット給水機能	燃料取替用本ピット 燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位 [※]	MS-2	<p>【女川】 設備名称の相違 【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計の相違による。</p>						
機能	対象系統・機器	重要度分類																									
プール冷却機能	燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度 ^{※1}	PS-3																									
プール給水機能	燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位 ^{※1}	MS-2 MS-3																									
機能	対象系統・設備	重要度分類																									
ピット冷却機能	使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット温度 [※]	PS-2 PS-3																									
ピット給水機能	燃料取替用本ピット 燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位 [※]	MS-2																									
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (1/17)</p> <table border="1" data-bbox="703 662 1265 1268"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="17">PS-1</td> <td rowspan="17">その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="17">1) 原子炉冷却材圧力パウンダリ機能 2) 過剰反応度の増加防止機能 3) 炉心形状の維持機能</td> <td rowspan="17">原子炉冷却材圧力パウンダリ構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。） 原子炉冷却材圧力パウンダリ隔離弁 制御棒駆動機構ハウジング 中性子束計測ハウジング 制御棒カップリング 制御棒駆動機構カップリング 炉心シールド シュワウトサポート 上部格子板 炉心支持格 燃料支持金具 制御棒案内管 制御棒駆動機構ハウジング 燃料集合体（上部タイプアレー） 燃料集合体（下部タイプアレー） 燃料集合体（スベーパー） 燃料集合体（燃料集合体）</td> <td rowspan="17">原子炉冷却材圧力パウンダリ機能として、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、漏れによる影響を受けない。 原子炉冷却材圧力パウンダリを構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。） 原子炉冷却材圧力パウンダリを構成する配管の隔離機能 原子炉冷却材圧力パウンダリ機能として、左記機器は静的機器であるため、漏れによる影響を受けない。 中性子束計測ハウジング 未臨界維持機能 （炉心形状の維持機能としては、左記機器は原子炉圧力容器内にあり、また静的機器であるため、漏れによる影響を受けない） 燃料集合体（スベーパー） 燃料集合体（燃料集合体）</td> <td rowspan="17">重要度が特に高い安全機能^{※1}</td> </tr> </tbody> </table>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材圧力パウンダリ機能 2) 過剰反応度の増加防止機能 3) 炉心形状の維持機能	原子炉冷却材圧力パウンダリ構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。） 原子炉冷却材圧力パウンダリ隔離弁 制御棒駆動機構ハウジング 中性子束計測ハウジング 制御棒カップリング 制御棒駆動機構カップリング 炉心シールド シュワウトサポート 上部格子板 炉心支持格 燃料支持金具 制御棒案内管 制御棒駆動機構ハウジング 燃料集合体（上部タイプアレー） 燃料集合体（下部タイプアレー） 燃料集合体（スベーパー） 燃料集合体（燃料集合体）	原子炉冷却材圧力パウンダリ機能として、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、漏れによる影響を受けない。 原子炉冷却材圧力パウンダリを構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。） 原子炉冷却材圧力パウンダリを構成する配管の隔離機能 原子炉冷却材圧力パウンダリ機能として、左記機器は静的機器であるため、漏れによる影響を受けない。 中性子束計測ハウジング 未臨界維持機能 （炉心形状の維持機能としては、左記機器は原子炉圧力容器内にあり、また静的機器であるため、漏れによる影響を受けない） 燃料集合体（スベーパー） 燃料集合体（燃料集合体）	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (1/13)</p> <table border="1" data-bbox="1285 662 1848 1268"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">PS-1</td> <td rowspan="13">その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="13">1) 原子炉冷却材圧力パウンダリ機能 2) 過剰反応度の増加防止機能 3) 炉心形状の維持機能</td> <td rowspan="13">原子炉冷却材圧力パウンダリ構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。） 制御棒駆動機構ハウジング 中性子束計測ハウジング 炉心支持構造物（炉心槽、上部炉心支持板、上部炉心支持柱、上部炉心支持格、下部炉心支持格、燃料集合体（ただし、燃料集合体） 燃料集合体（燃料集合体）</td> <td rowspan="13">原子炉冷却材圧力パウンダリ機能として、左記機器は静的機器であるため、漏れによる影響を受けない。 原子炉冷却材圧力パウンダリを構成する配管の隔離機能 （原子炉冷却材圧力パウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏れによる影響を受けない） 過剰反応度の増加防止機能として、左記機器は静的機器であるため、漏れによる影響を受けない。 炉心支持構造物（炉心槽、上部炉心支持板、上部炉心支持柱、上部炉心支持格、下部炉心支持格、下部炉心支持柱、下部炉心支持格、燃料集合体（ただし、燃料集合体） 燃料集合体（燃料集合体）</td> <td rowspan="13">重要度が特に高い安全機能^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、漏れ影響評価上の扱いを（ ）内に整理</p>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材圧力パウンダリ機能 2) 過剰反応度の増加防止機能 3) 炉心形状の維持機能	原子炉冷却材圧力パウンダリ構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。） 制御棒駆動機構ハウジング 中性子束計測ハウジング 炉心支持構造物（炉心槽、上部炉心支持板、上部炉心支持柱、上部炉心支持格、下部炉心支持格、燃料集合体（ただし、燃料集合体） 燃料集合体（燃料集合体）	原子炉冷却材圧力パウンダリ機能として、左記機器は静的機器であるため、漏れによる影響を受けない。 原子炉冷却材圧力パウンダリを構成する配管の隔離機能 （原子炉冷却材圧力パウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏れによる影響を受けない） 過剰反応度の増加防止機能として、左記機器は静的機器であるため、漏れによる影響を受けない。 炉心支持構造物（炉心槽、上部炉心支持板、上部炉心支持柱、上部炉心支持格、下部炉心支持格、下部炉心支持柱、下部炉心支持格、燃料集合体（ただし、燃料集合体） 燃料集合体（燃料集合体）	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	<p>【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計の相違による。</p>
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																						
PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材圧力パウンダリ機能 2) 過剰反応度の増加防止機能 3) 炉心形状の維持機能	原子炉冷却材圧力パウンダリ構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。） 原子炉冷却材圧力パウンダリ隔離弁 制御棒駆動機構ハウジング 中性子束計測ハウジング 制御棒カップリング 制御棒駆動機構カップリング 炉心シールド シュワウトサポート 上部格子板 炉心支持格 燃料支持金具 制御棒案内管 制御棒駆動機構ハウジング 燃料集合体（上部タイプアレー） 燃料集合体（下部タイプアレー） 燃料集合体（スベーパー） 燃料集合体（燃料集合体）	原子炉冷却材圧力パウンダリ機能として、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、漏れによる影響を受けない。 原子炉冷却材圧力パウンダリを構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。） 原子炉冷却材圧力パウンダリを構成する配管の隔離機能 原子炉冷却材圧力パウンダリ機能として、左記機器は静的機器であるため、漏れによる影響を受けない。 中性子束計測ハウジング 未臨界維持機能 （炉心形状の維持機能としては、左記機器は原子炉圧力容器内にあり、また静的機器であるため、漏れによる影響を受けない） 燃料集合体（スベーパー） 燃料集合体（燃料集合体）	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																						
						分類	定義							機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}										
						PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器							1) 原子炉冷却材圧力パウンダリ機能 2) 過剰反応度の増加防止機能 3) 炉心形状の維持機能	原子炉冷却材圧力パウンダリ構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。） 制御棒駆動機構ハウジング 中性子束計測ハウジング 炉心支持構造物（炉心槽、上部炉心支持板、上部炉心支持柱、上部炉心支持格、下部炉心支持格、燃料集合体（ただし、燃料集合体） 燃料集合体（燃料集合体）	原子炉冷却材圧力パウンダリ機能として、左記機器は静的機器であるため、漏れによる影響を受けない。 原子炉冷却材圧力パウンダリを構成する配管の隔離機能 （原子炉冷却材圧力パウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏れによる影響を受けない） 過剰反応度の増加防止機能として、左記機器は静的機器であるため、漏れによる影響を受けない。 炉心支持構造物（炉心槽、上部炉心支持板、上部炉心支持柱、上部炉心支持格、下部炉心支持格、下部炉心支持柱、下部炉心支持格、燃料集合体（ただし、燃料集合体） 燃料集合体（燃料集合体）	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																						
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(2/17)</p> <table border="1" data-bbox="703 279 1265 912"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉の緊急停止機能</td> <td colspan="2"> 制御室 制御室内管 制御棒駆動機構 制御棒駆動機構カップリング 直接関連系（制御棒駆動系（スクラム機能）） </td> <td>原子炉の緊急停止機能</td> </tr> <tr> <td>2) 未臨界維持機能</td> <td colspan="2"> 制御室 制御棒カップリング 直接関連系（制御棒駆動系（制御棒駆動系（制御棒駆動機構ハウジング））） ほう酸水注入系（ポンプ、注入弁、タンク出口弁、貯蔵タンク、ポンプ後込配管及び弁） </td> <td>未臨界維持機能</td> </tr> <tr> <td>2) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td colspan="2"> 逃がし安全弁（安全弁としての機能） 主要気逃がし安全弁（安全弁としての機能） </td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> </tr> <tr> <td>4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td colspan="2"> 残留熱除去系（ポンプ、熱交換器、原子炉停止時冷却モードのルートとなる配管及び弁） 直接関連系（残留熱除去系） </td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	制御室 制御室内管 制御棒駆動機構 制御棒駆動機構カップリング 直接関連系（制御棒駆動系（スクラム機能））		原子炉の緊急停止機能	2) 未臨界維持機能	制御室 制御棒カップリング 直接関連系（制御棒駆動系（制御棒駆動系（制御棒駆動機構ハウジング））） ほう酸水注入系（ポンプ、注入弁、タンク出口弁、貯蔵タンク、ポンプ後込配管及び弁）		未臨界維持機能	2) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	逃がし安全弁（安全弁としての機能） 主要気逃がし安全弁（安全弁としての機能）		原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱除去系（ポンプ、熱交換器、原子炉停止時冷却モードのルートとなる配管及び弁） 直接関連系（残留熱除去系）		原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(2/13)</p> <table border="1" data-bbox="1285 279 1854 853"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MS-1</td> <td rowspan="3">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉の緊急停止機能</td> <td colspan="2"> 制御室 原子炉停止系の制御棒による系（制御棒駆動系（スクラム機能）） 制御棒駆動機構 制御棒駆動機構ハウジング 直接関連系（制御棒駆動系（スクラム機能）） </td> <td>原子炉の緊急停止機能</td> </tr> <tr> <td>2) 未臨界維持機能</td> <td colspan="2"> 制御室 制御棒カップリング 直接関連系（制御棒駆動系（制御棒駆動系（制御棒駆動機構ハウジング））） ほう酸水注入系（ポンプ、注入弁、タンク出口弁、貯蔵タンク、ポンプ後込配管及び弁） </td> <td>未臨界維持機能</td> </tr> <tr> <td>2) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td colspan="2"> 逃がし安全弁（安全弁としての機能） 主要気逃がし安全弁（安全弁としての機能） </td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	制御室 原子炉停止系の制御棒による系（制御棒駆動系（スクラム機能）） 制御棒駆動機構 制御棒駆動機構ハウジング 直接関連系（制御棒駆動系（スクラム機能））		原子炉の緊急停止機能	2) 未臨界維持機能	制御室 制御棒カップリング 直接関連系（制御棒駆動系（制御棒駆動系（制御棒駆動機構ハウジング））） ほう酸水注入系（ポンプ、注入弁、タンク出口弁、貯蔵タンク、ポンプ後込配管及び弁）		未臨界維持機能	2) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	逃がし安全弁（安全弁としての機能） 主要気逃がし安全弁（安全弁としての機能）		原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計の相違による。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																				
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																						
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	制御室 制御室内管 制御棒駆動機構 制御棒駆動機構カップリング 直接関連系（制御棒駆動系（スクラム機能））		原子炉の緊急停止機能																																																				
		2) 未臨界維持機能	制御室 制御棒カップリング 直接関連系（制御棒駆動系（制御棒駆動系（制御棒駆動機構ハウジング））） ほう酸水注入系（ポンプ、注入弁、タンク出口弁、貯蔵タンク、ポンプ後込配管及び弁）		未臨界維持機能																																																				
		2) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	逃がし安全弁（安全弁としての機能） 主要気逃がし安全弁（安全弁としての機能）		原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能																																																				
		4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱除去系（ポンプ、熱交換器、原子炉停止時冷却モードのルートとなる配管及び弁） 直接関連系（残留熱除去系）		原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能																																																				
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																				
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																						
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	制御室 原子炉停止系の制御棒による系（制御棒駆動系（スクラム機能）） 制御棒駆動機構 制御棒駆動機構ハウジング 直接関連系（制御棒駆動系（スクラム機能））		原子炉の緊急停止機能																																																				
		2) 未臨界維持機能	制御室 制御棒カップリング 直接関連系（制御棒駆動系（制御棒駆動系（制御棒駆動機構ハウジング））） ほう酸水注入系（ポンプ、注入弁、タンク出口弁、貯蔵タンク、ポンプ後込配管及び弁）		未臨界維持機能																																																				
		2) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	逃がし安全弁（安全弁としての機能） 主要気逃がし安全弁（安全弁としての機能）		原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能																																																				

*1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器については、漏水影響評価上の扱いを（ ）内に記載。

赤字:設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字:記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字:記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (3/17)</p> <table border="1" data-bbox="696 170 1274 1005"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>残留熱を除去する系統 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系)</td> <td>原子炉隔離時冷却系 (ポンプ、サブプレッショントラップ、タービン、サブプレッショントラップから注水先までの配管、弁)</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (原子炉隔離時冷却系)</td> <td>タービンへの蒸気供給配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッショントラップ内のストレーナ 復水貯蔵タンク</td> <td>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス系 (ポンプ、サブプレッショントラップ、タービン、サブプレッショントラップからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバレーブ)</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッショントラップ内のストレーナ 復水貯蔵タンク</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (高圧炉心スプレイス系)</td> <td>ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">5) 炉心冷却機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能)</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))</td> <td>原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管</td> <td>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> </tr> </tbody> </table>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系)	原子炉隔離時冷却系 (ポンプ、サブプレッショントラップ、タービン、サブプレッショントラップから注水先までの配管、弁)	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能	直接関連系 (原子炉隔離時冷却系)	タービンへの蒸気供給配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッショントラップ内のストレーナ 復水貯蔵タンク	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	高圧炉心スプレイス系 (ポンプ、サブプレッショントラップ、タービン、サブプレッショントラップからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバレーブ)	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッショントラップ内のストレーナ 復水貯蔵タンク	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	直接関連系 (高圧炉心スプレイス系)	ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能)	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))	原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (3/13)</p> <table border="1" data-bbox="1279 170 1861 1005"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>残留熱を除去する系統 (残留熱除去系、高圧炉心スプレイス系、主蒸気逃がし弁 (手動逃がし機能))</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス系 (ポンプ、サブプレッショントラップ、タービン、サブプレッショントラップからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバレーブ)</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッショントラップ内のストレーナ 復水貯蔵タンク</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (高圧炉心スプレイス系)</td> <td>ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能)</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">5) 炉心冷却機能</td> <td>直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))</td> <td>原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管</td> <td>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> </tr> </tbody> </table>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統 (残留熱除去系、高圧炉心スプレイス系、主蒸気逃がし弁 (手動逃がし機能))	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能	高圧炉心スプレイス系 (ポンプ、サブプレッショントラップ、タービン、サブプレッショントラップからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバレーブ)	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッショントラップ内のストレーナ 復水貯蔵タンク	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	直接関連系 (高圧炉心スプレイス系)	ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能)	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))	原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	<p>泊発電所3号炉</p> <p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (3/13)</p> <table border="1" data-bbox="1279 170 1861 1005"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>残留熱を除去する系統 (残留熱除去系、高圧炉心スプレイス系、主蒸気逃がし弁 (手動逃がし機能))</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス系 (ポンプ、サブプレッショントラップ、タービン、サブプレッショントラップからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバレーブ)</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッショントラップ内のストレーナ 復水貯蔵タンク</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (高圧炉心スプレイス系)</td> <td>ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能)</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">5) 炉心冷却機能</td> <td>直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))</td> <td>原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管</td> <td>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> </tr> </tbody> </table>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統 (残留熱除去系、高圧炉心スプレイス系、主蒸気逃がし弁 (手動逃がし機能))	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能	高圧炉心スプレイス系 (ポンプ、サブプレッショントラップ、タービン、サブプレッショントラップからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバレーブ)	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッショントラップ内のストレーナ 復水貯蔵タンク	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	直接関連系 (高圧炉心スプレイス系)	ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能)	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))	原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	<p>相違理由</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>・プラント設計の相違による。</p>
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																															
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系)	原子炉隔離時冷却系 (ポンプ、サブプレッショントラップ、タービン、サブプレッショントラップから注水先までの配管、弁)	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能																																																																														
			直接関連系 (原子炉隔離時冷却系)	タービンへの蒸気供給配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッショントラップ内のストレーナ 復水貯蔵タンク	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能																																																																														
			高圧炉心スプレイス系 (ポンプ、サブプレッショントラップ、タービン、サブプレッショントラップからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバレーブ)	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッショントラップ内のストレーナ 復水貯蔵タンク	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能																																																																														
			直接関連系 (高圧炉心スプレイス系)	ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能																																																																														
MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能)	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能																																																																															
			直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))	原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能																																																																														
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																															
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統 (残留熱除去系、高圧炉心スプレイス系、主蒸気逃がし弁 (手動逃がし機能))	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能																																																																															
			高圧炉心スプレイス系 (ポンプ、サブプレッショントラップ、タービン、サブプレッショントラップからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバレーブ)	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッショントラップ内のストレーナ 復水貯蔵タンク	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能																																																																														
			直接関連系 (高圧炉心スプレイス系)	ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能																																																																														
			主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能)	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能																																																																															
MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能																																																																															
			直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))	原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能																																																																														
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																															
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統 (残留熱除去系、高圧炉心スプレイス系、主蒸気逃がし弁 (手動逃がし機能))	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能																																																																															
			高圧炉心スプレイス系 (ポンプ、サブプレッショントラップ、タービン、サブプレッショントラップからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバレーブ)	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッショントラップ内のストレーナ 復水貯蔵タンク	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能																																																																														
			直接関連系 (高圧炉心スプレイス系)	ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能																																																																														
			主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能)	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能																																																																															
MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能																																																																															
			直接関連系 (主蒸気逃がし安全弁 (手動逃がし機能))	原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能																																																																														
<p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、仮に影響範囲上の扱いを()内に整理。</p>																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																										
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (4/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1)}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>残留熱を除去する系統 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス、過がし安全弁 (手動過がし機能)、自動減圧系 (手動過がし機能))</td> <td>自動減圧系 (手動過がし機能)</td> <td>・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能</td> </tr> <tr> <td>5) 炉心冷却機能</td> <td>非常用炉心冷却系 (低圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系、自動減圧系)</td> <td>直接関連系 (自動減圧系 (手動過がし機能)) 駆動用蒸気源 (アキムレータ、アキムレータから主蒸気過がし安全弁までの配管、弁) 圧縮空気供給機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">5) 炉心冷却機能</td> <td>残留熱除去系 (低圧注水モード) (ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁 (熱交換器バイパスライン含む)、注水ヘッド)</td> <td>直接関連系 (残熱除去系 (低圧注水モード))</td> <td>・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時に於ける注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時に於ける注水機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (残熱除去系 (低圧注水モード))</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (低圧炉心スプレイス系)</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス系 (ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバージヤ)</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレート 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1)}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス、過がし安全弁 (手動過がし機能)、自動減圧系 (手動過がし機能))	自動減圧系 (手動過がし機能)	・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能	5) 炉心冷却機能	非常用炉心冷却系 (低圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系、自動減圧系)	直接関連系 (自動減圧系 (手動過がし機能)) 駆動用蒸気源 (アキムレータ、アキムレータから主蒸気過がし安全弁までの配管、弁) 圧縮空気供給機能	MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	残留熱除去系 (低圧注水モード) (ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁 (熱交換器バイパスライン含む)、注水ヘッド)	直接関連系 (残熱除去系 (低圧注水モード))	・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時に於ける注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時に於ける注水機能	直接関連系 (残熱除去系 (低圧注水モード))	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレート		直接関連系 (低圧炉心スプレイス系)	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレート		高圧炉心スプレイス系 (ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバージヤ)	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレート 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁		<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (4/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1)}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能</td> <td>原子炉格納容器、原子炉格納容器本体、貫通部 (ネットレション)、エアロック、機器出入口、アニュラス</td> <td>原子炉格納容器 ・格納容器本体 ・貫通部 (ネットレション) ・エアロック ・機器出入口 アニュラス</td> <td>(放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記機器は静的機器であるため、過剰による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器 (低圧注水モード) (ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁 (熱交換器バイパスライン含む)、注水ヘッド)</td> <td>原子炉格納容器スプレイス設備 ・燃料取扱用注水ビッド ・格納容器スプレイスポンプ ・格納容器スプレイス冷却器 ・よう蒸気発生タンク ・スプレイスダクタ ・スプレイスリング ・スプレイスノズル ・配管及び弁 (燃料取扱用注水ビッド及び格納容器貯蔵タンクから格納容器スプレイスポンプ、格納容器スプレイス冷却器を経てスプレイスダクタからスプレイスダクタを経て格納容器スプレイス配管までの範囲) アニュラス空気浄化設備 ・アニュラス空気浄化フィルタユニット ・アニュラス空気浄化ファン ・ダクト、ダンパ及び弁</td> <td>原子炉格納容器パウンダリ配管 格納容器の冷却機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">7) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能</td> <td>原子炉格納容器、アニュラス、原子炉格納容器、格納容器、原子炉格納容器スプレイス、アニュラス、放射線の遮蔽及び放出低減機能</td> <td>原子炉格納容器、アニュラス、原子炉格納容器、格納容器、原子炉格納容器スプレイス、アニュラス、放射線の遮蔽及び放出低減機能</td> <td>格納容器内の放射線物質が格納容器内から漏れ出す場所の発生気中の放射性物質の濃度を低減機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (アニュラス空気浄化設備)</td> <td>排気筒</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">3) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">7) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能</td> <td>外部遮蔽、外部遮へい壁</td> <td></td> <td>(放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記機器は静的機器であるため、過剰による影響を受けない)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、図表影響評価上の扱いを () 内に整理。</p>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1)}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能	原子炉格納容器、原子炉格納容器本体、貫通部 (ネットレション)、エアロック、機器出入口、アニュラス	原子炉格納容器 ・格納容器本体 ・貫通部 (ネットレション) ・エアロック ・機器出入口 アニュラス	(放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記機器は静的機器であるため、過剰による影響を受けない)	原子炉格納容器 (低圧注水モード) (ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁 (熱交換器バイパスライン含む)、注水ヘッド)	原子炉格納容器スプレイス設備 ・燃料取扱用注水ビッド ・格納容器スプレイスポンプ ・格納容器スプレイス冷却器 ・よう蒸気発生タンク ・スプレイスダクタ ・スプレイスリング ・スプレイスノズル ・配管及び弁 (燃料取扱用注水ビッド及び格納容器貯蔵タンクから格納容器スプレイスポンプ、格納容器スプレイス冷却器を経てスプレイスダクタからスプレイスダクタを経て格納容器スプレイス配管までの範囲) アニュラス空気浄化設備 ・アニュラス空気浄化フィルタユニット ・アニュラス空気浄化ファン ・ダクト、ダンパ及び弁	原子炉格納容器パウンダリ配管 格納容器の冷却機能	MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器	7) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能	原子炉格納容器、アニュラス、原子炉格納容器、格納容器、原子炉格納容器スプレイス、アニュラス、放射線の遮蔽及び放出低減機能	原子炉格納容器、アニュラス、原子炉格納容器、格納容器、原子炉格納容器スプレイス、アニュラス、放射線の遮蔽及び放出低減機能	格納容器内の放射線物質が格納容器内から漏れ出す場所の発生気中の放射性物質の濃度を低減機能	直接関連系 (アニュラス空気浄化設備)	排気筒		MS-1	3) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器	7) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能	外部遮蔽、外部遮へい壁		(放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記機器は静的機器であるため、過剰による影響を受けない)	<p>【女川】 記載表現の相違 【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計の相違による。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1)}																																																																							
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																									
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス、過がし安全弁 (手動過がし機能)、自動減圧系 (手動過がし機能))	自動減圧系 (手動過がし機能)	・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能																																																																								
			5) 炉心冷却機能	非常用炉心冷却系 (低圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系、自動減圧系)	直接関連系 (自動減圧系 (手動過がし機能)) 駆動用蒸気源 (アキムレータ、アキムレータから主蒸気過がし安全弁までの配管、弁) 圧縮空気供給機能																																																																								
MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	残留熱除去系 (低圧注水モード) (ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁 (熱交換器バイパスライン含む)、注水ヘッド)	直接関連系 (残熱除去系 (低圧注水モード))	・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時に於ける注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時に於ける注水機能																																																																								
			直接関連系 (残熱除去系 (低圧注水モード))	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレート																																																																									
			直接関連系 (低圧炉心スプレイス系)	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレート																																																																									
			高圧炉心スプレイス系 (ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバージヤ)	ポンプミニマムフローラインの配管、弁 サブプレッションチェンバ内のストレート 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの吸込配管、弁																																																																									
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1)}																																																																							
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																									
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能	原子炉格納容器、原子炉格納容器本体、貫通部 (ネットレション)、エアロック、機器出入口、アニュラス	原子炉格納容器 ・格納容器本体 ・貫通部 (ネットレション) ・エアロック ・機器出入口 アニュラス	(放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記機器は静的機器であるため、過剰による影響を受けない)																																																																								
			原子炉格納容器 (低圧注水モード) (ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁 (熱交換器バイパスライン含む)、注水ヘッド)	原子炉格納容器スプレイス設備 ・燃料取扱用注水ビッド ・格納容器スプレイスポンプ ・格納容器スプレイス冷却器 ・よう蒸気発生タンク ・スプレイスダクタ ・スプレイスリング ・スプレイスノズル ・配管及び弁 (燃料取扱用注水ビッド及び格納容器貯蔵タンクから格納容器スプレイスポンプ、格納容器スプレイス冷却器を経てスプレイスダクタからスプレイスダクタを経て格納容器スプレイス配管までの範囲) アニュラス空気浄化設備 ・アニュラス空気浄化フィルタユニット ・アニュラス空気浄化ファン ・ダクト、ダンパ及び弁	原子炉格納容器パウンダリ配管 格納容器の冷却機能																																																																								
MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器	7) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能	原子炉格納容器、アニュラス、原子炉格納容器、格納容器、原子炉格納容器スプレイス、アニュラス、放射線の遮蔽及び放出低減機能	原子炉格納容器、アニュラス、原子炉格納容器、格納容器、原子炉格納容器スプレイス、アニュラス、放射線の遮蔽及び放出低減機能	格納容器内の放射線物質が格納容器内から漏れ出す場所の発生気中の放射性物質の濃度を低減機能																																																																								
			直接関連系 (アニュラス空気浄化設備)	排気筒																																																																									
MS-1	3) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の影響を防止する構築物、系統及び機器	7) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能	外部遮蔽、外部遮へい壁		(放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記機器は静的機器であるため、過剰による影響を受けない)																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																				
<p>大阪発電所3/4号炉</p>	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (5/17)</p> <table border="1" data-bbox="703 252 1265 1013"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MG-1</td> <td rowspan="3">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">5) 炉心冷却機能</td> <td colspan="2">自動減圧系 (主蒸気過熱し安全弁)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常用炉心冷却系 (低圧炉心スプレイス系、低圧注水系、高圧炉心スプレイス系、自動減圧系)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器から主蒸気過熱し安全弁までの主蒸気配管 駆動用蒸気源 (アキムレータ、アキムレータから主蒸気過熱し安全弁までの配管、弁) </td> </tr> <tr> <td colspan="2">直接関連系 (自動減圧系 (主蒸気過熱し安全弁))</td> <td>圧縮空気供給機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">MG-1</td> <td rowspan="3">6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能</td> <td rowspan="3">原子炉格納容器、原子炉格納容器スプレイス冷却系、原子炉格納容器バウンダリ配管、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系</td> <td colspan="2">原子炉格納容器 (格納容器本体、貫通部、所外用エアロップ、機器搬出入用ハッチ)</td> <td rowspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> (真空破壊弁及び原子炉格納容器閉弁については、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として考慮。それ以外は特種機器であるため、溢水による影響を受けない) </td> </tr> <tr> <td colspan="2">直接関連系 (原子炉格納容器)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ベント管 スプレイス管 真空破壊弁 主蒸気過熱し安全弁排気管のモニタリング </td> </tr> <tr> <td colspan="2">原子炉格納容器 (原子炉格納容器)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器 (原子炉格納容器) 原子炉格納容器 (原子炉格納容器) </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">MG-1</td> <td rowspan="3">7) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能</td> <td colspan="2">原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイス冷却系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器バウンダリ配管 原子炉格納容器バウンダリ配管 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">直接関連系 (原子炉格納容器隔離弁及び原子炉格納容器バウンダリ配管)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器バウンダリ配管 圧縮空気供給機能 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">主蒸気隔離弁駆動用空気又は蒸気源 (アキムレータ、アキムレータから主蒸気過熱し安全弁までの配管、弁)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記機器は特種機器であるため、溢水による影響を受けない </td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器			MG-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	自動減圧系 (主蒸気過熱し安全弁)		<ul style="list-style-type: none"> 事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能 	非常用炉心冷却系 (低圧炉心スプレイス系、低圧注水系、高圧炉心スプレイス系、自動減圧系)		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器から主蒸気過熱し安全弁までの主蒸気配管 駆動用蒸気源 (アキムレータ、アキムレータから主蒸気過熱し安全弁までの配管、弁) 	直接関連系 (自動減圧系 (主蒸気過熱し安全弁))		圧縮空気供給機能	MG-1	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	原子炉格納容器、原子炉格納容器スプレイス冷却系、原子炉格納容器バウンダリ配管、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系	原子炉格納容器 (格納容器本体、貫通部、所外用エアロップ、機器搬出入用ハッチ)		<ul style="list-style-type: none"> (真空破壊弁及び原子炉格納容器閉弁については、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として考慮。それ以外は特種機器であるため、溢水による影響を受けない) 	直接関連系 (原子炉格納容器)		<ul style="list-style-type: none"> ベント管 スプレイス管 真空破壊弁 主蒸気過熱し安全弁排気管のモニタリング 	原子炉格納容器 (原子炉格納容器)		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器 (原子炉格納容器) 原子炉格納容器 (原子炉格納容器) 	MG-1	7) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイス冷却系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器バウンダリ配管 原子炉格納容器バウンダリ配管 	直接関連系 (原子炉格納容器隔離弁及び原子炉格納容器バウンダリ配管)		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器バウンダリ配管 圧縮空気供給機能 	主蒸気隔離弁駆動用空気又は蒸気源 (アキムレータ、アキムレータから主蒸気過熱し安全弁までの配管、弁)		<ul style="list-style-type: none"> 放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記機器は特種機器であるため、溢水による影響を受けない 	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (5/13)</p> <table border="1" data-bbox="1285 252 1854 893"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MG-1</td> <td rowspan="3">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">2) 安全上特に重要な関連機能</td> <td colspan="2">安全保護系</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉保護設備 原子炉トリップの安全保護回路 工学的安全施設作動設備 非常用炉心冷却設備作動の安全保護回路 格納容器スプレイス作動の安全保護回路 主蒸気ライン隔離の安全保護回路 格納容器隔離の安全保護回路 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常用炉内電源系</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ディーゼル機関 発電機 発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線 燃料系 給気系 給動用空気系 (給動用空気ため (自動燃焼) からディーゼル機関まで) 潤滑油系 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">直接関連系 (非常用炉内電源系)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉保護設備 原子炉格納容器隔離弁 原子炉格納容器スプレイス冷却系 配管及び弁 (MG-1関連機器への冷却水ラインの配管) 直接関連系 (原子炉格納容器) 原子炉格納容器バウンダリ配管 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">MG-1</td> <td rowspan="3">3) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">3) 安全上特に重要な関連機能</td> <td colspan="2">中央制御室及び中央制御室連へい</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> (安全上特に重要な関連機能として、中央制御室及び中央制御室は溢水影響評価上の放射線防護区画に設定し、室内の運転コンソール等は防護対象設備として抽出。中央制御室連へいは特種機器であるため、溢水による影響を受けない) </td> </tr> <tr> <td colspan="2">中央制御室空調装置</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 中央制御室給気ファン 中央制御室排気ファン 中央制御室非常用排気ファン 中央制御室給気ユニット 中央制御室非常用排気フィルタユニット ダクト及びダクト </td> </tr> <tr> <td colspan="2">原子炉格納容器隔離弁</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器隔離弁 原子炉格納容器隔離弁 配管及び弁 (MG-1関連機器への冷却水ラインの配管) 直接関連系 (原子炉格納容器) 原子炉格納容器バウンダリ配管 </td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器			MG-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上特に重要な関連機能	安全保護系		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉保護設備 原子炉トリップの安全保護回路 工学的安全施設作動設備 非常用炉心冷却設備作動の安全保護回路 格納容器スプレイス作動の安全保護回路 主蒸気ライン隔離の安全保護回路 格納容器隔離の安全保護回路 	非常用炉内電源系		<ul style="list-style-type: none"> ディーゼル機関 発電機 発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線 燃料系 給気系 給動用空気系 (給動用空気ため (自動燃焼) からディーゼル機関まで) 潤滑油系 	直接関連系 (非常用炉内電源系)		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉保護設備 原子炉格納容器隔離弁 原子炉格納容器スプレイス冷却系 配管及び弁 (MG-1関連機器への冷却水ラインの配管) 直接関連系 (原子炉格納容器) 原子炉格納容器バウンダリ配管 	MG-1	3) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	3) 安全上特に重要な関連機能	中央制御室及び中央制御室連へい		<ul style="list-style-type: none"> (安全上特に重要な関連機能として、中央制御室及び中央制御室は溢水影響評価上の放射線防護区画に設定し、室内の運転コンソール等は防護対象設備として抽出。中央制御室連へいは特種機器であるため、溢水による影響を受けない) 	中央制御室空調装置		<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室給気ファン 中央制御室排気ファン 中央制御室非常用排気ファン 中央制御室給気ユニット 中央制御室非常用排気フィルタユニット ダクト及びダクト 	原子炉格納容器隔離弁		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器隔離弁 原子炉格納容器隔離弁 配管及び弁 (MG-1関連機器への冷却水ラインの配管) 直接関連系 (原子炉格納容器) 原子炉格納容器バウンダリ配管 	<p>相違理由</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・プラント設計の相違による。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																																		
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																																				
MG-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	自動減圧系 (主蒸気過熱し安全弁)		<ul style="list-style-type: none"> 事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能 																																																																																		
			非常用炉心冷却系 (低圧炉心スプレイス系、低圧注水系、高圧炉心スプレイス系、自動減圧系)		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器から主蒸気過熱し安全弁までの主蒸気配管 駆動用蒸気源 (アキムレータ、アキムレータから主蒸気過熱し安全弁までの配管、弁) 																																																																																		
			直接関連系 (自動減圧系 (主蒸気過熱し安全弁))		圧縮空気供給機能																																																																																		
MG-1	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	原子炉格納容器、原子炉格納容器スプレイス冷却系、原子炉格納容器バウンダリ配管、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系	原子炉格納容器 (格納容器本体、貫通部、所外用エアロップ、機器搬出入用ハッチ)		<ul style="list-style-type: none"> (真空破壊弁及び原子炉格納容器閉弁については、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として考慮。それ以外は特種機器であるため、溢水による影響を受けない) 																																																																																		
			直接関連系 (原子炉格納容器)			<ul style="list-style-type: none"> ベント管 スプレイス管 真空破壊弁 主蒸気過熱し安全弁排気管のモニタリング 																																																																																	
			原子炉格納容器 (原子炉格納容器)			<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器 (原子炉格納容器) 原子炉格納容器 (原子炉格納容器) 																																																																																	
MG-1	7) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイス冷却系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器バウンダリ配管 原子炉格納容器バウンダリ配管 																																																																																		
			直接関連系 (原子炉格納容器隔離弁及び原子炉格納容器バウンダリ配管)		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器バウンダリ配管 圧縮空気供給機能 																																																																																		
			主蒸気隔離弁駆動用空気又は蒸気源 (アキムレータ、アキムレータから主蒸気過熱し安全弁までの配管、弁)		<ul style="list-style-type: none"> 放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記機器は特種機器であるため、溢水による影響を受けない 																																																																																		
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																																		
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																																				
MG-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上特に重要な関連機能	安全保護系		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉保護設備 原子炉トリップの安全保護回路 工学的安全施設作動設備 非常用炉心冷却設備作動の安全保護回路 格納容器スプレイス作動の安全保護回路 主蒸気ライン隔離の安全保護回路 格納容器隔離の安全保護回路 																																																																																		
			非常用炉内電源系		<ul style="list-style-type: none"> ディーゼル機関 発電機 発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線 燃料系 給気系 給動用空気系 (給動用空気ため (自動燃焼) からディーゼル機関まで) 潤滑油系 																																																																																		
			直接関連系 (非常用炉内電源系)		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉保護設備 原子炉格納容器隔離弁 原子炉格納容器スプレイス冷却系 配管及び弁 (MG-1関連機器への冷却水ラインの配管) 直接関連系 (原子炉格納容器) 原子炉格納容器バウンダリ配管 																																																																																		
MG-1	3) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	3) 安全上特に重要な関連機能	中央制御室及び中央制御室連へい		<ul style="list-style-type: none"> (安全上特に重要な関連機能として、中央制御室及び中央制御室は溢水影響評価上の放射線防護区画に設定し、室内の運転コンソール等は防護対象設備として抽出。中央制御室連へいは特種機器であるため、溢水による影響を受けない) 																																																																																		
			中央制御室空調装置		<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室給気ファン 中央制御室排気ファン 中央制御室非常用排気ファン 中央制御室給気ユニット 中央制御室非常用排気フィルタユニット ダクト及びダクト 																																																																																		
			原子炉格納容器隔離弁		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器隔離弁 原子炉格納容器隔離弁 配管及び弁 (MG-1関連機器への冷却水ラインの配管) 直接関連系 (原子炉格納容器) 原子炉格納容器バウンダリ配管 																																																																																		

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(6/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{a)}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td>1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td>6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能</td> <td>原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレッド冷却系、原子炉格納容器スプレッド加熱系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系</td> <td> <p>格納容器系（格納容器スプレッド冷却モード）（ポンプ、蒸気機、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレッド先（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ配管間）までの配管、弁、スプレッド管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ））</p> <p>直接関係系（残留熱除去）（格納容器スプレッド冷却モード）</p> <p>非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉排気出口から排気筒までの配管、弁）</p> <p>直接関係系（非常用ガス処理系）（乾燥装置（乾燥機能部分））</p> <p>可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）</p> <p>直接関係系（可燃性ガス濃度制御系）</p> <p>再結合装置（原子炉建屋、二次再燃室）</p> </td> <td> <p>格納容器の冷却機能</p> <p>格納容器内又は放射線物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射線物質の濃度低減機能</p> <p>格納容器内の可燃性ガス制御機能</p> <p>（放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能）</p> <p>原子炉建屋（原子炉建屋、一次再燃室、二次再燃室）</p> </td> </tr> <tr> <td>2) 安全上の重要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td>1) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能</td> <td>安全保護系</td> <td> <p>原子炉保護系への作動信号の発生機構・原子炉保護系の安全保護回路</p> <p>工学的安全施設への作動信号の発生機構・非常用心冷却系作動の安全保護回路・主要隔離の安全保護回路・原子炉格納容器隔離の安全保護回路・非常用ガス処理系作動の安全保護回路</p> </td> <td> <p>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</p> </td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{a)}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレッド冷却系、原子炉格納容器スプレッド加熱系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系	<p>格納容器系（格納容器スプレッド冷却モード）（ポンプ、蒸気機、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレッド先（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ配管間）までの配管、弁、スプレッド管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ））</p> <p>直接関係系（残留熱除去）（格納容器スプレッド冷却モード）</p> <p>非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉排気出口から排気筒までの配管、弁）</p> <p>直接関係系（非常用ガス処理系）（乾燥装置（乾燥機能部分））</p> <p>可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）</p> <p>直接関係系（可燃性ガス濃度制御系）</p> <p>再結合装置（原子炉建屋、二次再燃室）</p>	<p>格納容器の冷却機能</p> <p>格納容器内又は放射線物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射線物質の濃度低減機能</p> <p>格納容器内の可燃性ガス制御機能</p> <p>（放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能）</p> <p>原子炉建屋（原子炉建屋、一次再燃室、二次再燃室）</p>	2) 安全上の重要なその他の構築物、系統及び機器	1) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	安全保護系	<p>原子炉保護系への作動信号の発生機構・原子炉保護系の安全保護回路</p> <p>工学的安全施設への作動信号の発生機構・非常用心冷却系作動の安全保護回路・主要隔離の安全保護回路・原子炉格納容器隔離の安全保護回路・非常用ガス処理系作動の安全保護回路</p>	<p>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</p>	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (6/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{a)}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2) 安全上の重要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">2) 安全上の重要な関連機能</td> <td rowspan="2">非常用市内地原系、新製道及びその配管、換気装置系、原子炉格納容器冷却水系、非常用圧縮空気設備（いずれも、MS-1関連のもの）</td> <td> <p>原子炉格納容器冷却水設備</p> <p>非常用圧縮空気設備（いずれも、MS-1関連のもの）</p> </td> <td> <p>冷却用海水供給機能</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>非常用市内地原系、新製道及びその配管、換気装置系、原子炉格納容器冷却水系、非常用圧縮空気設備（いずれも、MS-1関連のもの）</p> </td> <td> <p>原子炉格納容器冷却水設備</p> <p>非常用圧縮空気設備（いずれも、MS-1関連のもの）</p> </td> <td> <p>非常用の直流電源機能</p> <p>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</p> <p>非常用の計測制御用直流電源機能</p> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PS-2</td> <td rowspan="2">1) その根拠又は故障により発生する事象によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破損を防止するに引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射線物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">1) 原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている蒸気等の小口径のもの及びプログラシ管類に接続されていないものは除く。）</td> <td> <p>化学体積制御設備の抽出・浄化系、浄化系</p> </td> <td> <p>（原子炉冷却材を内蔵する機能）として、左記機材は影の機能又は動作機能に影射しないため、面水による影響を受けにくい）</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>化学体積制御設備の抽出・浄化系、浄化系</p> <p>抽出・浄化ファン</p> <p>再生熱交換器</p> <p>余剰抽出冷却器</p> <p>再生冷却器</p> <p>冷却材過熱式乾燥器</p> <p>冷却材過熱式乾燥器</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> </td> <td> <p>化学体積制御設備の抽出・浄化ファン</p> <p>再生熱交換器</p> <p>余剰抽出冷却器</p> <p>再生冷却器</p> <p>冷却材過熱式乾燥器</p> <p>冷却材過熱式乾燥器</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> </td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{a)}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	2) 安全上の重要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上の重要な関連機能	非常用市内地原系、新製道及びその配管、換気装置系、原子炉格納容器冷却水系、非常用圧縮空気設備（いずれも、MS-1関連のもの）	<p>原子炉格納容器冷却水設備</p> <p>非常用圧縮空気設備（いずれも、MS-1関連のもの）</p>	<p>冷却用海水供給機能</p>	<p>非常用市内地原系、新製道及びその配管、換気装置系、原子炉格納容器冷却水系、非常用圧縮空気設備（いずれも、MS-1関連のもの）</p>	<p>原子炉格納容器冷却水設備</p> <p>非常用圧縮空気設備（いずれも、MS-1関連のもの）</p>	<p>非常用の直流電源機能</p> <p>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</p> <p>非常用の計測制御用直流電源機能</p>	PS-2	1) その根拠又は故障により発生する事象によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破損を防止するに引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射線物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器		1) 原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている蒸気等の小口径のもの及びプログラシ管類に接続されていないものは除く。）	<p>化学体積制御設備の抽出・浄化系、浄化系</p>	<p>（原子炉冷却材を内蔵する機能）として、左記機材は影の機能又は動作機能に影射しないため、面水による影響を受けにくい）</p>	<p>化学体積制御設備の抽出・浄化系、浄化系</p> <p>抽出・浄化ファン</p> <p>再生熱交換器</p> <p>余剰抽出冷却器</p> <p>再生冷却器</p> <p>冷却材過熱式乾燥器</p> <p>冷却材過熱式乾燥器</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p>	<p>化学体積制御設備の抽出・浄化ファン</p> <p>再生熱交換器</p> <p>余剰抽出冷却器</p> <p>再生冷却器</p> <p>冷却材過熱式乾燥器</p> <p>冷却材過熱式乾燥器</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p>	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 【女川】 記載表現の相違 【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計の相違による。
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{a)}																																																	
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																		
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレッド冷却系、原子炉格納容器スプレッド加熱系、非常用再循環ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系	<p>格納容器系（格納容器スプレッド冷却モード）（ポンプ、蒸気機、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレッド先（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ配管間）までの配管、弁、スプレッド管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ））</p> <p>直接関係系（残留熱除去）（格納容器スプレッド冷却モード）</p> <p>非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉排気出口から排気筒までの配管、弁）</p> <p>直接関係系（非常用ガス処理系）（乾燥装置（乾燥機能部分））</p> <p>可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）</p> <p>直接関係系（可燃性ガス濃度制御系）</p> <p>再結合装置（原子炉建屋、二次再燃室）</p>	<p>格納容器の冷却機能</p> <p>格納容器内又は放射線物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射線物質の濃度低減機能</p> <p>格納容器内の可燃性ガス制御機能</p> <p>（放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能）</p> <p>原子炉建屋（原子炉建屋、一次再燃室、二次再燃室）</p>																																																	
	2) 安全上の重要なその他の構築物、系統及び機器	1) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	安全保護系	<p>原子炉保護系への作動信号の発生機構・原子炉保護系の安全保護回路</p> <p>工学的安全施設への作動信号の発生機構・非常用心冷却系作動の安全保護回路・主要隔離の安全保護回路・原子炉格納容器隔離の安全保護回路・非常用ガス処理系作動の安全保護回路</p>	<p>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</p>																																																	
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{a)}																																																	
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																		
MS-1	2) 安全上の重要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上の重要な関連機能	非常用市内地原系、新製道及びその配管、換気装置系、原子炉格納容器冷却水系、非常用圧縮空気設備（いずれも、MS-1関連のもの）	<p>原子炉格納容器冷却水設備</p> <p>非常用圧縮空気設備（いずれも、MS-1関連のもの）</p>	<p>冷却用海水供給機能</p>																																																	
				<p>非常用市内地原系、新製道及びその配管、換気装置系、原子炉格納容器冷却水系、非常用圧縮空気設備（いずれも、MS-1関連のもの）</p>	<p>原子炉格納容器冷却水設備</p> <p>非常用圧縮空気設備（いずれも、MS-1関連のもの）</p>	<p>非常用の直流電源機能</p> <p>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</p> <p>非常用の計測制御用直流電源機能</p>																																																
PS-2	1) その根拠又は故障により発生する事象によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破損を防止するに引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射線物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器		1) 原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている蒸気等の小口径のもの及びプログラシ管類に接続されていないものは除く。）	<p>化学体積制御設備の抽出・浄化系、浄化系</p>	<p>（原子炉冷却材を内蔵する機能）として、左記機材は影の機能又は動作機能に影射しないため、面水による影響を受けにくい）</p>																																																	
				<p>化学体積制御設備の抽出・浄化系、浄化系</p> <p>抽出・浄化ファン</p> <p>再生熱交換器</p> <p>余剰抽出冷却器</p> <p>再生冷却器</p> <p>冷却材過熱式乾燥器</p> <p>冷却材過熱式乾燥器</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p>	<p>化学体積制御設備の抽出・浄化ファン</p> <p>再生熱交換器</p> <p>余剰抽出冷却器</p> <p>再生冷却器</p> <p>冷却材過熱式乾燥器</p> <p>冷却材過熱式乾燥器</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材フィルター</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p> <p>冷却材注入フィルタ</p>																																																	

a) 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器については、後述審査指針上の扱いを（ ）内に整理。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																													
表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (7/17)	表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (7/13)	表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (7/13)																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する調査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MS-1</td> <td>2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td>2)安全上に重要な関連機能</td> <td>非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流通電系（いずれも、MS-1関連のもの）</td> <td>非常用交流電源設備（ディーゼルの発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 起動用空気系（空気のためディーゼルの機器まで） 直流通電系（非常用交流電源設備） 吸気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系（軽油タンクからダイヤタンクまで） 軽油タンク 中央制御室及び中央制御室連絡 中央制御室換気空調系（放射線防護機能及び有毒ガス防護機能）（再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排気機、ダクト及びダンパ） 原子炉補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、非常用負荷冷却ライン配置、弁（弁-1関連）） 直流通電系（原子炉補給冷却水系） 高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、配管、弁） 直流通電系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）</td> <td>燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 起動用空気系（空気のためディーゼルの機器まで） 吸気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系（軽油タンクからダイヤタンクまで） 軽油タンク （安全上特に重要な関連機能として、中央制御室は溢水影響評価上の防護対策として抽出。中央制御室連絡は静的機器であるため、溢水による影響を受けない） 原子炉制御室非常用換気空調機能 補給冷却機能</td> <td>・非常用の交流電源機能 ・非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する調査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器			MS-1	2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2)安全上に重要な関連機能	非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流通電系（いずれも、MS-1関連のもの）	非常用交流電源設備（ディーゼルの発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 起動用空気系（空気のためディーゼルの機器まで） 直流通電系（非常用交流電源設備） 吸気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系（軽油タンクからダイヤタンクまで） 軽油タンク 中央制御室及び中央制御室連絡 中央制御室換気空調系（放射線防護機能及び有毒ガス防護機能）（再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排気機、ダクト及びダンパ） 原子炉補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、非常用負荷冷却ライン配置、弁（弁-1関連）） 直流通電系（原子炉補給冷却水系） 高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、配管、弁） 直流通電系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 起動用空気系（空気のためディーゼルの機器まで） 吸気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系（軽油タンクからダイヤタンクまで） 軽油タンク （安全上特に重要な関連機能として、中央制御室は溢水影響評価上の防護対策として抽出。中央制御室連絡は静的機器であるため、溢水による影響を受けない） 原子炉制御室非常用換気空調機能 補給冷却機能	・非常用の交流電源機能 ・非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する調査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PS-Q</td> <td>1) その根拠文は故障により発生する事象に上つて、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の崩壊を防止に引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射性物質の放出がそのおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td>2) 放射性物質の放出の防止機能</td> <td>燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで）</td> <td>放射性物質貯蔵設備（放射性物質貯蔵タンク） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク</td> </tr> <tr> <td>MS-2</td> <td>2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td>2) 安全上に重要な関連機能</td> <td>非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流通電系（いずれも、MS-1関連のもの）</td> <td>非常用交流電源設備（ディーゼルの発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 起動用空気系（空気のためディーゼルの機器まで） 直流通電系（非常用交流電源設備） 吸気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系（軽油タンクからダイヤタンクまで） 軽油タンク 中央制御室及び中央制御室連絡 中央制御室換気空調系（放射線防護機能及び有毒ガス防護機能）（再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排気機、ダクト及びダンパ） 原子炉補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、非常用負荷冷却ライン配置、弁（弁-1関連）） 直流通電系（原子炉補給冷却水系） 高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、配管、弁） 直流通電系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）</td> <td>燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する調査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器			PS-Q	1) その根拠文は故障により発生する事象に上つて、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の崩壊を防止に引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射性物質の放出がそのおそれのある構築物、系統及び機器	2) 放射性物質の放出の防止機能	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで）	放射性物質貯蔵設備（放射性物質貯蔵タンク） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	MS-2	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上に重要な関連機能	非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流通電系（いずれも、MS-1関連のもの）	非常用交流電源設備（ディーゼルの発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 起動用空気系（空気のためディーゼルの機器まで） 直流通電系（非常用交流電源設備） 吸気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系（軽油タンクからダイヤタンクまで） 軽油タンク 中央制御室及び中央制御室連絡 中央制御室換気空調系（放射線防護機能及び有毒ガス防護機能）（再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排気機、ダクト及びダンパ） 原子炉補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、非常用負荷冷却ライン配置、弁（弁-1関連）） 直流通電系（原子炉補給冷却水系） 高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、配管、弁） 直流通電系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する調査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PS-Q</td> <td>1) その根拠文は故障により発生する事象に上つて、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の崩壊を防止に引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射性物質の放出がそのおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td>2) 放射性物質の放出の防止機能</td> <td>燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで）</td> <td>放射性物質貯蔵設備（放射性物質貯蔵タンク） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク</td> </tr> <tr> <td>MS-2</td> <td>2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td>2) 安全上に重要な関連機能</td> <td>非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流通電系（いずれも、MS-1関連のもの）</td> <td>非常用交流電源設備（ディーゼルの発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 起動用空気系（空気のためディーゼルの機器まで） 直流通電系（非常用交流電源設備） 吸気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系（軽油タンクからダイヤタンクまで） 軽油タンク 中央制御室及び中央制御室連絡 中央制御室換気空調系（放射線防護機能及び有毒ガス防護機能）（再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排気機、ダクト及びダンパ） 原子炉補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、非常用負荷冷却ライン配置、弁（弁-1関連）） 直流通電系（原子炉補給冷却水系） 高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、配管、弁） 直流通電系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）</td> <td>燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する調査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器			PS-Q	1) その根拠文は故障により発生する事象に上つて、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の崩壊を防止に引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射性物質の放出がそのおそれのある構築物、系統及び機器	2) 放射性物質の放出の防止機能	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで）	放射性物質貯蔵設備（放射性物質貯蔵タンク） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	MS-2	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上に重要な関連機能	非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流通電系（いずれも、MS-1関連のもの）	非常用交流電源設備（ディーゼルの発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 起動用空気系（空気のためディーゼルの機器まで） 直流通電系（非常用交流電源設備） 吸気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系（軽油タンクからダイヤタンクまで） 軽油タンク 中央制御室及び中央制御室連絡 中央制御室換気空調系（放射線防護機能及び有毒ガス防護機能）（再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排気機、ダクト及びダンパ） 原子炉補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、非常用負荷冷却ライン配置、弁（弁-1関連）） 直流通電系（原子炉補給冷却水系） 高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、配管、弁） 直流通電系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>・プラント設計の相違による。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する調査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																										
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																												
MS-1	2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2)安全上に重要な関連機能	非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流通電系（いずれも、MS-1関連のもの）	非常用交流電源設備（ディーゼルの発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 起動用空気系（空気のためディーゼルの機器まで） 直流通電系（非常用交流電源設備） 吸気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系（軽油タンクからダイヤタンクまで） 軽油タンク 中央制御室及び中央制御室連絡 中央制御室換気空調系（放射線防護機能及び有毒ガス防護機能）（再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排気機、ダクト及びダンパ） 原子炉補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、非常用負荷冷却ライン配置、弁（弁-1関連）） 直流通電系（原子炉補給冷却水系） 高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、配管、弁） 直流通電系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 起動用空気系（空気のためディーゼルの機器まで） 吸気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系（軽油タンクからダイヤタンクまで） 軽油タンク （安全上特に重要な関連機能として、中央制御室は溢水影響評価上の防護対策として抽出。中央制御室連絡は静的機器であるため、溢水による影響を受けない） 原子炉制御室非常用換気空調機能 補給冷却機能	・非常用の交流電源機能 ・非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																										
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する調査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																										
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																												
PS-Q	1) その根拠文は故障により発生する事象に上つて、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の崩壊を防止に引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射性物質の放出がそのおそれのある構築物、系統及び機器	2) 放射性物質の放出の防止機能	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで）	放射性物質貯蔵設備（放射性物質貯蔵タンク） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク																																																																										
MS-2	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上に重要な関連機能	非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流通電系（いずれも、MS-1関連のもの）	非常用交流電源設備（ディーゼルの発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 起動用空気系（空気のためディーゼルの機器まで） 直流通電系（非常用交流電源設備） 吸気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系（軽油タンクからダイヤタンクまで） 軽油タンク 中央制御室及び中央制御室連絡 中央制御室換気空調系（放射線防護機能及び有毒ガス防護機能）（再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排気機、ダクト及びダンパ） 原子炉補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、非常用負荷冷却ライン配置、弁（弁-1関連）） 直流通電系（原子炉補給冷却水系） 高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、配管、弁） 直流通電系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク																																																																										
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する調査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																										
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																												
PS-Q	1) その根拠文は故障により発生する事象に上つて、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の崩壊を防止に引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射性物質の放出がそのおそれのある構築物、系統及び機器	2) 放射性物質の放出の防止機能	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで）	放射性物質貯蔵設備（放射性物質貯蔵タンク） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク																																																																										
MS-2	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上に重要な関連機能	非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流通電系（いずれも、MS-1関連のもの）	非常用交流電源設備（ディーゼルの発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び配線） 燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 起動用空気系（空気のためディーゼルの機器まで） 直流通電系（非常用交流電源設備） 吸気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系（軽油タンクからダイヤタンクまで） 軽油タンク 中央制御室及び中央制御室連絡 中央制御室換気空調系（放射線防護機能及び有毒ガス防護機能）（再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排気機、ダクト及びダンパ） 原子炉補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、非常用負荷冷却ライン配置、弁（弁-1関連）） 直流通電系（原子炉補給冷却水系） 高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、熱交換機、配管、弁） 直流通電系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	燃料系（ダイヤタンクからディーゼルの機器まで） 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク																																																																										

※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器については、溢水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																												
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(8/17)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1265 667"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MS-1</td> <td rowspan="3">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">2) 安全上特に重要な関連機能</td> <td rowspan="3">非常用内電源系、制御系及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流電源系（いずれも、MS-1関連のもの）</td> <td colspan="2">原子炉補給冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ（MS-1関連））</td> <td rowspan="3">冷却用海水供給機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">直接関連系（原子炉補給冷却水系）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">MS-2</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上特に重要な関連機能</td> <td rowspan="3">非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））</td> <td colspan="2">直接関連系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）</td> <td rowspan="3">・非常用の直流電源機能 ・非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">冷却用海水供給機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">PS-3</td> <td rowspan="3">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">計装配管、試料採取管</td> <td colspan="2">計装配管、試料採取管</td> <td rowspan="3">計装配管、試料採取管</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計装配管、試料採取管</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計装配管、試料採取管</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上特に重要な関連機能	非常用内電源系、制御系及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流電源系（いずれも、MS-1関連のもの）	原子炉補給冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ（MS-1関連））		冷却用海水供給機能	直接関連系（原子炉補給冷却水系）		高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ）		MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	2) 異常状態への対応上特に重要な関連機能	非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））	直接関連系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）		・非常用の直流電源機能 ・非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	冷却用海水供給機能		非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））		PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	計装配管、試料採取管	計装配管、試料採取管		計装配管、試料採取管	計装配管、試料採取管		計装配管、試料採取管		<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(8/13)</p> <table border="1" data-bbox="1285 280 1854 954"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MS-1</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上特に重要な関連機能</td> <td rowspan="3">非常用内電源系、制御系及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流電源系（いずれも、MS-1関連のもの）</td> <td colspan="2">原子炉補給冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ（MS-1関連））</td> <td rowspan="3">冷却用海水供給機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">直接関連系（原子炉補給冷却水系）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">MS-2</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上特に重要な関連機能</td> <td rowspan="3">非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））</td> <td colspan="2">直接関連系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）</td> <td rowspan="3">・非常用の直流電源機能 ・非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">冷却用海水供給機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">PS-3</td> <td rowspan="3">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">計装配管、試料採取管</td> <td colspan="2">計装配管、試料採取管</td> <td rowspan="3">計装配管、試料採取管</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計装配管、試料採取管</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計装配管、試料採取管</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	2) 異常状態への対応上特に重要な関連機能	非常用内電源系、制御系及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流電源系（いずれも、MS-1関連のもの）	原子炉補給冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ（MS-1関連））		冷却用海水供給機能	直接関連系（原子炉補給冷却水系）		高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ）		MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	2) 異常状態への対応上特に重要な関連機能	非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））	直接関連系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）		・非常用の直流電源機能 ・非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	冷却用海水供給機能		非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））		PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	計装配管、試料採取管	計装配管、試料採取管		計装配管、試料採取管	計装配管、試料採取管		計装配管、試料採取管		<p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・プラント設計の相違による。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																																									
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																											
MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上特に重要な関連機能	非常用内電源系、制御系及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流電源系（いずれも、MS-1関連のもの）	原子炉補給冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ（MS-1関連））		冷却用海水供給機能																																																																																									
				直接関連系（原子炉補給冷却水系）																																																																																											
				高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ）																																																																																											
MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	2) 異常状態への対応上特に重要な関連機能	非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））	直接関連系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）		・非常用の直流電源機能 ・非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																																									
				冷却用海水供給機能																																																																																											
				非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））																																																																																											
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	計装配管、試料採取管	計装配管、試料採取管		計装配管、試料採取管																																																																																									
				計装配管、試料採取管																																																																																											
				計装配管、試料採取管																																																																																											
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																																									
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																											
MS-1	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	2) 異常状態への対応上特に重要な関連機能	非常用内電源系、制御系及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流電源系（いずれも、MS-1関連のもの）	原子炉補給冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ（MS-1関連））		冷却用海水供給機能																																																																																									
				直接関連系（原子炉補給冷却水系）																																																																																											
				高圧炉心スプレイ補給冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ）																																																																																											
MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	2) 異常状態への対応上特に重要な関連機能	非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））	直接関連系（高圧炉心スプレイ補給冷却水系）		・非常用の直流電源機能 ・非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																																									
				冷却用海水供給機能																																																																																											
				非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））																																																																																											
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	計装配管、試料採取管	計装配管、試料採取管		計装配管、試料採取管																																																																																									
				計装配管、試料採取管																																																																																											
				計装配管、試料採取管																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																										
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(9/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">PS-2</td> <td rowspan="4">1) その損傷又は故障により発生する事象によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破壊を直ちに引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている許容範囲の小さいもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く。）</td> <td>主蒸気系、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている許容範囲の小さいもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く。）</td> <td colspan="2">原子炉冷却材浄化系（原子炉冷却材圧力バウンダリ以外の部分） 主蒸気系（原子炉冷却材圧力バウンダリ以外の部分）</td> <td>（原子炉冷却材を内蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）</td> </tr> <tr> <td>2) 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能</td> <td>放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリを減らすための）、使用済燃料プール（使用済燃料貯蔵ラックを含む）、新燃料貯蔵庫（臨界を防止する機能）（新燃料貯蔵ラックを含む）、燃料交換機</td> <td>気体廃棄物処理系（活性炭式希ガスホールドアップ装置） 使用済燃料プール（使用済燃料貯蔵ラックを含む） 新燃料貯蔵庫（臨界を防止する機能）（新燃料貯蔵ラックを含む） 燃料交換機</td> <td colspan="2">（放射性物質を貯蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3) 燃料を安全に取り扱う機能</td> <td>燃料取扱設備</td> <td>原子炉建屋クレーン</td> <td colspan="2">燃料取扱設備（燃料取扱設備） 原子炉ウエル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2) 通常運転時及び運転の異常な過渡変化時に作動を要求されるものであって、その故障により、炉心冷却が損なわれる可能性の高い構築物、系統及び機器</td> <td>1) 安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能 2) 安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能に関連する部分</td> <td>過がし安全弁（吹き止まり機能） 過がし安全弁（吹き止まり機能）</td> <td colspan="2">主蒸気過がし安全弁（吹き止まり機能）</td> <td>（安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能として、安全弁機能は外部からの電源供給や電気信号を必要とせず、溢水による影響を受けない。過がし弁機能はフェイル・セーフ設計のため溢水による影響を受けない）</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器			PS-2	1) その損傷又は故障により発生する事象によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破壊を直ちに引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている許容範囲の小さいもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く。）	主蒸気系、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている許容範囲の小さいもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く。）	原子炉冷却材浄化系（原子炉冷却材圧力バウンダリ以外の部分） 主蒸気系（原子炉冷却材圧力バウンダリ以外の部分）		（原子炉冷却材を内蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）	2) 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能	放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリを減らすための）、使用済燃料プール（使用済燃料貯蔵ラックを含む）、新燃料貯蔵庫（臨界を防止する機能）（新燃料貯蔵ラックを含む）、燃料交換機	気体廃棄物処理系（活性炭式希ガスホールドアップ装置） 使用済燃料プール（使用済燃料貯蔵ラックを含む） 新燃料貯蔵庫（臨界を防止する機能）（新燃料貯蔵ラックを含む） 燃料交換機	（放射性物質を貯蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）			3) 燃料を安全に取り扱う機能	燃料取扱設備	原子炉建屋クレーン	燃料取扱設備（燃料取扱設備） 原子炉ウエル			2) 通常運転時及び運転の異常な過渡変化時に作動を要求されるものであって、その故障により、炉心冷却が損なわれる可能性の高い構築物、系統及び機器	1) 安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能 2) 安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能に関連する部分	過がし安全弁（吹き止まり機能） 過がし安全弁（吹き止まり機能）	主蒸気過がし安全弁（吹き止まり機能）		（安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能として、安全弁機能は外部からの電源供給や電気信号を必要とせず、溢水による影響を受けない。過がし弁機能はフェイル・セーフ設計のため溢水による影響を受けない）	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(9/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">PS-3</td> <td rowspan="4">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器</td> <td>2) 原子炉冷却材の構成機能</td> <td>1次冷却材ポンプ及びその関連系</td> <td colspan="2">1次冷却材ポンプ 化学体積制御設備の針水注入ライン ・1次冷却材ポンプスタックパイプ ・配管及び弁 加圧器過がしタンク 液体廃棄物処理設備（貯蔵機能を有する範囲） ・格納容器ポンプ ・廃液貯蔵タンク ・冷却材貯蔵タンク ・格納容器冷却材ドレンタンク ・補助建屋ポンプタンク ・洗浄排水タンク ・高圧洗浄水蒸気装置 ・洗浄排水蒸気タンク ・洗浄排水蒸気供給タンク ・洗浄排水蒸気脱液貯蔵タンク ・廃液ドレンタンク ・濃縮脱液タンク</td> <td>（左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する）</td> </tr> <tr> <td>3) 放射性物質の貯蔵機能</td> <td>放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリを減らすための）</td> <td>放射性廃棄物処理施設（貯蔵機能を有する範囲） ・使用済燃料貯蔵タンク ・固体廃棄物貯蔵庫 ・ペイジ 新燃料貯蔵庫 新燃料ラック</td> <td>（放射性物質の貯蔵機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）</td> </tr> <tr> <td>1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器</td> <td></td> <td>固体廃棄物処理設備（貯蔵機能を有する範囲） ・使用済燃料貯蔵タンク ・固体廃棄物貯蔵庫 ・ペイジ 新燃料貯蔵庫 新燃料ラック 発電機及び励磁機設備（発電機異常閉鎖を含む。） 直接関連系（発電機及び励磁機設備） ・絶縁封込装置 ・励磁系（励磁機、AVR） 蒸気タービン設備（主蒸気隔離弁以後） ・主タービン ・主要弁、配管 蒸気関連系（蒸気タービン設備） ・タービン制御系 ・タービン潤滑油系 主蒸気設備（主蒸気隔離弁以後） 給水設備（主給水隔離弁以前） ・電動主給水ポンプ ・タービン駆動給水ポンプ ・給水加熱器 ・配管及び弁 直接関連系（給水設備） ・電動用蒸気</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4) 電源供給機能（非常用を除く。）</td> <td></td> <td>主蒸気系（隔離弁以後）、給水系（隔離弁以前）、発電機、変圧器、開閉器 主蒸気設備（主蒸気隔離弁以後） 給水設備（主給水隔離弁以前） ・電動主給水ポンプ ・タービン駆動給水ポンプ ・給水加熱器 ・配管及び弁 直接関連系（給水設備） ・電動用蒸気</td> <td></td> <td>（左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する）</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器			PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	2) 原子炉冷却材の構成機能	1次冷却材ポンプ及びその関連系	1次冷却材ポンプ 化学体積制御設備の針水注入ライン ・1次冷却材ポンプスタックパイプ ・配管及び弁 加圧器過がしタンク 液体廃棄物処理設備（貯蔵機能を有する範囲） ・格納容器ポンプ ・廃液貯蔵タンク ・冷却材貯蔵タンク ・格納容器冷却材ドレンタンク ・補助建屋ポンプタンク ・洗浄排水タンク ・高圧洗浄水蒸気装置 ・洗浄排水蒸気タンク ・洗浄排水蒸気供給タンク ・洗浄排水蒸気脱液貯蔵タンク ・廃液ドレンタンク ・濃縮脱液タンク		（左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する）	3) 放射性物質の貯蔵機能	放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリを減らすための）	放射性廃棄物処理施設（貯蔵機能を有する範囲） ・使用済燃料貯蔵タンク ・固体廃棄物貯蔵庫 ・ペイジ 新燃料貯蔵庫 新燃料ラック	（放射性物質の貯蔵機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器		固体廃棄物処理設備（貯蔵機能を有する範囲） ・使用済燃料貯蔵タンク ・固体廃棄物貯蔵庫 ・ペイジ 新燃料貯蔵庫 新燃料ラック 発電機及び励磁機設備（発電機異常閉鎖を含む。） 直接関連系（発電機及び励磁機設備） ・絶縁封込装置 ・励磁系（励磁機、AVR） 蒸気タービン設備（主蒸気隔離弁以後） ・主タービン ・主要弁、配管 蒸気関連系（蒸気タービン設備） ・タービン制御系 ・タービン潤滑油系 主蒸気設備（主蒸気隔離弁以後） 給水設備（主給水隔離弁以前） ・電動主給水ポンプ ・タービン駆動給水ポンプ ・給水加熱器 ・配管及び弁 直接関連系（給水設備） ・電動用蒸気			4) 電源供給機能（非常用を除く。）		主蒸気系（隔離弁以後）、給水系（隔離弁以前）、発電機、変圧器、開閉器 主蒸気設備（主蒸気隔離弁以後） 給水設備（主給水隔離弁以前） ・電動主給水ポンプ ・タービン駆動給水ポンプ ・給水加熱器 ・配管及び弁 直接関連系（給水設備） ・電動用蒸気		（左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する）	<p>【女川】 記載表現の相違 【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計の相違による。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																							
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																									
PS-2	1) その損傷又は故障により発生する事象によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破壊を直ちに引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている許容範囲の小さいもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く。）	主蒸気系、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている許容範囲の小さいもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く。）	原子炉冷却材浄化系（原子炉冷却材圧力バウンダリ以外の部分） 主蒸気系（原子炉冷却材圧力バウンダリ以外の部分）		（原子炉冷却材を内蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）																																																																							
		2) 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能	放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリを減らすための）、使用済燃料プール（使用済燃料貯蔵ラックを含む）、新燃料貯蔵庫（臨界を防止する機能）（新燃料貯蔵ラックを含む）、燃料交換機	気体廃棄物処理系（活性炭式希ガスホールドアップ装置） 使用済燃料プール（使用済燃料貯蔵ラックを含む） 新燃料貯蔵庫（臨界を防止する機能）（新燃料貯蔵ラックを含む） 燃料交換機	（放射性物質を貯蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）																																																																								
		3) 燃料を安全に取り扱う機能	燃料取扱設備	原子炉建屋クレーン	燃料取扱設備（燃料取扱設備） 原子炉ウエル																																																																								
		2) 通常運転時及び運転の異常な過渡変化時に作動を要求されるものであって、その故障により、炉心冷却が損なわれる可能性の高い構築物、系統及び機器	1) 安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能 2) 安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能に関連する部分	過がし安全弁（吹き止まり機能） 過がし安全弁（吹き止まり機能）	主蒸気過がし安全弁（吹き止まり機能）		（安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能として、安全弁機能は外部からの電源供給や電気信号を必要とせず、溢水による影響を受けない。過がし弁機能はフェイル・セーフ設計のため溢水による影響を受けない）																																																																						
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																							
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																									
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	2) 原子炉冷却材の構成機能	1次冷却材ポンプ及びその関連系	1次冷却材ポンプ 化学体積制御設備の針水注入ライン ・1次冷却材ポンプスタックパイプ ・配管及び弁 加圧器過がしタンク 液体廃棄物処理設備（貯蔵機能を有する範囲） ・格納容器ポンプ ・廃液貯蔵タンク ・冷却材貯蔵タンク ・格納容器冷却材ドレンタンク ・補助建屋ポンプタンク ・洗浄排水タンク ・高圧洗浄水蒸気装置 ・洗浄排水蒸気タンク ・洗浄排水蒸気供給タンク ・洗浄排水蒸気脱液貯蔵タンク ・廃液ドレンタンク ・濃縮脱液タンク		（左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する）																																																																							
		3) 放射性物質の貯蔵機能	放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリを減らすための）	放射性廃棄物処理施設（貯蔵機能を有する範囲） ・使用済燃料貯蔵タンク ・固体廃棄物貯蔵庫 ・ペイジ 新燃料貯蔵庫 新燃料ラック	（放射性物質の貯蔵機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）																																																																								
		1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器		固体廃棄物処理設備（貯蔵機能を有する範囲） ・使用済燃料貯蔵タンク ・固体廃棄物貯蔵庫 ・ペイジ 新燃料貯蔵庫 新燃料ラック 発電機及び励磁機設備（発電機異常閉鎖を含む。） 直接関連系（発電機及び励磁機設備） ・絶縁封込装置 ・励磁系（励磁機、AVR） 蒸気タービン設備（主蒸気隔離弁以後） ・主タービン ・主要弁、配管 蒸気関連系（蒸気タービン設備） ・タービン制御系 ・タービン潤滑油系 主蒸気設備（主蒸気隔離弁以後） 給水設備（主給水隔離弁以前） ・電動主給水ポンプ ・タービン駆動給水ポンプ ・給水加熱器 ・配管及び弁 直接関連系（給水設備） ・電動用蒸気																																																																									
		4) 電源供給機能（非常用を除く。）		主蒸気系（隔離弁以後）、給水系（隔離弁以前）、発電機、変圧器、開閉器 主蒸気設備（主蒸気隔離弁以後） 給水設備（主給水隔離弁以前） ・電動主給水ポンプ ・タービン駆動給水ポンプ ・給水加熱器 ・配管及び弁 直接関連系（給水設備） ・電動用蒸気		（左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する）																																																																							

※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																	
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(10/17)</p> <table border="1" data-bbox="703 252 1265 944"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-2</td> <td rowspan="2">1) PS-2 の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により緊急周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくするようにする構築物、系統及び機器</td> <td>1) 燃料プール水の補給機能</td> <td>非常用補給水系</td> <td> 高圧配管系 (ポンプ、サブプレッショナルチェンバ、サブプレッショナルチェンバ内のストレーナから燃料プールまでの配管、弁) 直接関連系 (残留熱除去系) ボンプニウムフローラインの配管、弁 サプレッショナルチェンバ内のストレーナ (燃料プール水の補給機能として、溢水影響評価上の防護対象設備として抽出) </td> <td></td> </tr> <tr> <td>2) 放射性物質放出の防止機能</td> <td>放射性気体廃棄物処理系の隔離弁、排気装置 (非常用ガス処理系排気管の支持機能以外)</td> <td> 放射性物質放出の隔離弁 排気装置 燃料プール冷却浄化系の燃料プール投入防止弁 原子炉建屋 (原子炉建屋原子炉棟 (プローアウト/ネル付き)) </td> <td> (放射性物質放出の防止機能としては、放射性気体廃棄物処理系隔離弁は主要気隔離弁により代替が可能であり、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (放射性物質放出の防止機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-2</td> <td rowspan="2">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td>燃料集合体高下事象時放射能放出を低減する系</td> <td> 直接関連系 (原子炉建屋、原子炉棟) 非常用ガス処理系 (乾燥装置、排気機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟吸込口から排気管までの配管、弁) 直接関連系 (非常用ガス処理系) </td> <td> 原子炉棟給排気隔離弁 (非常用ガス処理系としてMS-1で抽出済み) </td> <td></td> </tr> <tr> <td>1) 事故時のプラント状態の把握機能</td> <td>事故時監視計器の一部</td> <td> ・中性子束 (起動領域モニタ) ・原子炉スクラム用電磁接触器の状態 ・制御棒位置 ・原子炉水位 (正常域) ・原子炉圧力 ・圧力制御室圧力 ・ドライウェル圧力 ・サブプレッショナルプール水温度 ・格納容器内常圧放射線モニタ </td> <td> 事故時の原子炉の停止状態の把握機能 事故時の炉心冷却状態の把握機能 事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-2	1) PS-2 の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により緊急周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくするようにする構築物、系統及び機器	1) 燃料プール水の補給機能	非常用補給水系	高圧配管系 (ポンプ、サブプレッショナルチェンバ、サブプレッショナルチェンバ内のストレーナから燃料プールまでの配管、弁) 直接関連系 (残留熱除去系) ボンプニウムフローラインの配管、弁 サプレッショナルチェンバ内のストレーナ (燃料プール水の補給機能として、溢水影響評価上の防護対象設備として抽出)		2) 放射性物質放出の防止機能	放射性気体廃棄物処理系の隔離弁、排気装置 (非常用ガス処理系排気管の支持機能以外)	放射性物質放出の隔離弁 排気装置 燃料プール冷却浄化系の燃料プール投入防止弁 原子炉建屋 (原子炉建屋原子炉棟 (プローアウト/ネル付き))	(放射性物質放出の防止機能としては、放射性気体廃棄物処理系隔離弁は主要気隔離弁により代替が可能であり、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (放射性物質放出の防止機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	燃料集合体高下事象時放射能放出を低減する系	直接関連系 (原子炉建屋、原子炉棟) 非常用ガス処理系 (乾燥装置、排気機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟吸込口から排気管までの配管、弁) 直接関連系 (非常用ガス処理系)	原子炉棟給排気隔離弁 (非常用ガス処理系としてMS-1で抽出済み)		1) 事故時のプラント状態の把握機能	事故時監視計器の一部	・中性子束 (起動領域モニタ) ・原子炉スクラム用電磁接触器の状態 ・制御棒位置 ・原子炉水位 (正常域) ・原子炉圧力 ・圧力制御室圧力 ・ドライウェル圧力 ・サブプレッショナルプール水温度 ・格納容器内常圧放射線モニタ	事故時の原子炉の停止状態の把握機能 事故時の炉心冷却状態の把握機能 事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能		<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (10/13)</p> <table border="1" data-bbox="1285 284 1854 858"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td rowspan="2">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器</td> <td>4) 電網供給機能 (非常用を除く。)</td> <td> 主変圧系 (保線後)、給水系統 (隔離弁以前)、送電線、変圧器、開閉器 制御棒駆動装置用電源設備 送電線設備 送電線 変圧器設備 炉内変圧器 起動変圧器 予備変圧器 電路 直接関連系 (変圧器設備) 炉心冷却装置 制御棒駆動装置 送電線 変圧器 電路 </td> <td> (左記機器が機能喪失した場合において、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する) </td> </tr> <tr> <td>5) プラント計器、制御機能 (安全保護機能を除く。)</td> <td> 原子炉建屋、原子炉棟、プロセス計器 原子炉計器の一部 プロセス計器の一部 </td> <td> (左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する) </td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器	4) 電網供給機能 (非常用を除く。)	主変圧系 (保線後)、給水系統 (隔離弁以前)、送電線、変圧器、開閉器 制御棒駆動装置用電源設備 送電線設備 送電線 変圧器設備 炉内変圧器 起動変圧器 予備変圧器 電路 直接関連系 (変圧器設備) 炉心冷却装置 制御棒駆動装置 送電線 変圧器 電路	(左記機器が機能喪失した場合において、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	5) プラント計器、制御機能 (安全保護機能を除く。)	原子炉建屋、原子炉棟、プロセス計器 原子炉計器の一部 プロセス計器の一部	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	<p>相違理由</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント設計の相違による。
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																	
MS-2	1) PS-2 の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により緊急周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくするようにする構築物、系統及び機器	1) 燃料プール水の補給機能	非常用補給水系	高圧配管系 (ポンプ、サブプレッショナルチェンバ、サブプレッショナルチェンバ内のストレーナから燃料プールまでの配管、弁) 直接関連系 (残留熱除去系) ボンプニウムフローラインの配管、弁 サプレッショナルチェンバ内のストレーナ (燃料プール水の補給機能として、溢水影響評価上の防護対象設備として抽出)																																																
		2) 放射性物質放出の防止機能	放射性気体廃棄物処理系の隔離弁、排気装置 (非常用ガス処理系排気管の支持機能以外)	放射性物質放出の隔離弁 排気装置 燃料プール冷却浄化系の燃料プール投入防止弁 原子炉建屋 (原子炉建屋原子炉棟 (プローアウト/ネル付き))	(放射性物質放出の防止機能としては、放射性気体廃棄物処理系隔離弁は主要気隔離弁により代替が可能であり、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (放射性物質放出の防止機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)																																															
MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	燃料集合体高下事象時放射能放出を低減する系	直接関連系 (原子炉建屋、原子炉棟) 非常用ガス処理系 (乾燥装置、排気機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟吸込口から排気管までの配管、弁) 直接関連系 (非常用ガス処理系)	原子炉棟給排気隔離弁 (非常用ガス処理系としてMS-1で抽出済み)																																																
		1) 事故時のプラント状態の把握機能	事故時監視計器の一部	・中性子束 (起動領域モニタ) ・原子炉スクラム用電磁接触器の状態 ・制御棒位置 ・原子炉水位 (正常域) ・原子炉圧力 ・圧力制御室圧力 ・ドライウェル圧力 ・サブプレッショナルプール水温度 ・格納容器内常圧放射線モニタ	事故時の原子炉の停止状態の把握機能 事故時の炉心冷却状態の把握機能 事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能																																															
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																	
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器	4) 電網供給機能 (非常用を除く。)	主変圧系 (保線後)、給水系統 (隔離弁以前)、送電線、変圧器、開閉器 制御棒駆動装置用電源設備 送電線設備 送電線 変圧器設備 炉内変圧器 起動変圧器 予備変圧器 電路 直接関連系 (変圧器設備) 炉心冷却装置 制御棒駆動装置 送電線 変圧器 電路	(左記機器が機能喪失した場合において、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																																
		5) プラント計器、制御機能 (安全保護機能を除く。)	原子炉建屋、原子炉棟、プロセス計器 原子炉計器の一部 プロセス計器の一部	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(11/17)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1265 671"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MS-2</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td>1) 事故時のプラント状態の把握機能</td> <td>事故時監視計器の一部</td> <td> 【緊急停止への移行】 ・原子炉圧力 ・原子炉水位（広帯域） 【ドライウェルズブレイ】 ・原子炉水位（広帯域） ・原子炉水位（燃料域） ・原子炉水位（燃料域） ・圧力抑制室圧力 ・ドライウェルズ圧力 【サブプレッションチェンバ冷却】 ・原子炉水位（広帯域） ・原子炉水位（燃料域） ・サブプレッションプール水温度 【可燃性ガス濃度制御系起動】 ・格納容器内雰囲気気体濃度 ・格納容器内雰囲気気体濃度 </td> <td>事故時のプラント操作のための構築物の把握機能</td> </tr> <tr> <td>2) 異常状態の緩和機能</td> <td>3) 制御室外からの安全停止機能として関連するもの</td> <td> 3) 制御室外からの安全停止機能として、左記機器は漏洩影響評価上の防護対象設備として抽出 </td> <td> (対象外) (対象外) </td> </tr> <tr> <td>3) 制御室外からの安全停止機能</td> <td>制御室外原子炉停止装置（安全停止に関連するもの）</td> <td>中央制御室外原子炉停止装置</td> <td>(制御室外からの安全停止機能として、左記機器は漏洩影響評価上の防護対象設備として抽出)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	事故時監視計器の一部	【緊急停止への移行】 ・原子炉圧力 ・原子炉水位（広帯域） 【ドライウェルズブレイ】 ・原子炉水位（広帯域） ・原子炉水位（燃料域） ・原子炉水位（燃料域） ・圧力抑制室圧力 ・ドライウェルズ圧力 【サブプレッションチェンバ冷却】 ・原子炉水位（広帯域） ・原子炉水位（燃料域） ・サブプレッションプール水温度 【可燃性ガス濃度制御系起動】 ・格納容器内雰囲気気体濃度 ・格納容器内雰囲気気体濃度	事故時のプラント操作のための構築物の把握機能	2) 異常状態の緩和機能	3) 制御室外からの安全停止機能として関連するもの	3) 制御室外からの安全停止機能として、左記機器は漏洩影響評価上の防護対象設備として抽出	(対象外) (対象外)	3) 制御室外からの安全停止機能	制御室外原子炉停止装置（安全停止に関連するもの）	中央制御室外原子炉停止装置	(制御室外からの安全停止機能として、左記機器は漏洩影響評価上の防護対象設備として抽出)	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (11/13)</p> <table border="1" data-bbox="1285 284 1854 783"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td rowspan="2">2) 原子炉高圧炉中放射物質濃度を適度なレベルに抑える構築物、系統及び機器</td> <td>1) 燃料生成物の取り出し装置</td> <td>燃料補償管</td> <td> 燃料補償管及び燃料 燃料補償管及び燃料 </td> <td>(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>2) 原子炉冷却剤の浄化機能</td> <td>化学体積制御設備の浄化系(浄化機能)</td> <td> 化学体積制御設備の浄化系(浄化機能) ・体積制御タンク ・体積制御タンク(制御) ・非再生熱交換器(管側) ・冷却材脱気装置(管側) ・冷却材脱イオン装置 ・冷却材脱塩素入口フィルタ ・冷却材フィルタ ・抽出設備配管及び弁 </td> <td>(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器については、漏洩影響評価上の扱いを()内に記載。</p>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉	重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		PS-3	2) 原子炉高圧炉中放射物質濃度を適度なレベルに抑える構築物、系統及び機器	1) 燃料生成物の取り出し装置	燃料補償管	燃料補償管及び燃料 燃料補償管及び燃料	(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	2) 原子炉冷却剤の浄化機能	化学体積制御設備の浄化系(浄化機能)	化学体積制御設備の浄化系(浄化機能) ・体積制御タンク ・体積制御タンク(制御) ・非再生熱交換器(管側) ・冷却材脱気装置(管側) ・冷却材脱イオン装置 ・冷却材脱塩素入口フィルタ ・冷却材フィルタ ・抽出設備配管及び弁	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計の相違による。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能*																																														
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																															
MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	事故時監視計器の一部	【緊急停止への移行】 ・原子炉圧力 ・原子炉水位（広帯域） 【ドライウェルズブレイ】 ・原子炉水位（広帯域） ・原子炉水位（燃料域） ・原子炉水位（燃料域） ・圧力抑制室圧力 ・ドライウェルズ圧力 【サブプレッションチェンバ冷却】 ・原子炉水位（広帯域） ・原子炉水位（燃料域） ・サブプレッションプール水温度 【可燃性ガス濃度制御系起動】 ・格納容器内雰囲気気体濃度 ・格納容器内雰囲気気体濃度	事故時のプラント操作のための構築物の把握機能																																														
		2) 異常状態の緩和機能	3) 制御室外からの安全停止機能として関連するもの	3) 制御室外からの安全停止機能として、左記機器は漏洩影響評価上の防護対象設備として抽出	(対象外) (対象外)																																														
		3) 制御室外からの安全停止機能	制御室外原子炉停止装置（安全停止に関連するもの）	中央制御室外原子炉停止装置	(制御室外からの安全停止機能として、左記機器は漏洩影響評価上の防護対象設備として抽出)																																														
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉	重要度が特に高い安全機能*																																														
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																															
PS-3	2) 原子炉高圧炉中放射物質濃度を適度なレベルに抑える構築物、系統及び機器	1) 燃料生成物の取り出し装置	燃料補償管	燃料補償管及び燃料 燃料補償管及び燃料	(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)																																														
		2) 原子炉冷却剤の浄化機能	化学体積制御設備の浄化系(浄化機能)	化学体積制御設備の浄化系(浄化機能) ・体積制御タンク ・体積制御タンク(制御) ・非再生熱交換器(管側) ・冷却材脱気装置(管側) ・冷却材脱イオン装置 ・冷却材脱塩素入口フィルタ ・冷却材フィルタ ・抽出設備配管及び弁	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(12/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">PS-3</td> <td rowspan="4">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉冷却材圧力バウンス抑制機能 (PS-1、PS-2以外のもの)</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンス抑制機能 (PS-1、PS-2以外のもの) 許容配管、弁 燃料採取系配管、弁 ドレン配管、弁 ベント配管、弁</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンス抑制機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>2) 原子炉冷却材の循環機能</td> <td>原子炉再循環ポンプ、配管、弁、ライザー管 (RPI)、ジェットポンプ (JP)</td> <td>(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> <tr> <td>3) 放射性物質の貯蔵機能</td> <td>サブプレッショングループ排水系、排水貯蔵タンク、放射性廃棄物貯蔵施設 (放射能インベントリの小さいもの)</td> <td>(放射性物質の貯蔵機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>4) 電源供給機能 (非常用を除く)</td> <td>タービン、発電機及びその励磁装置、復水系 (復水器を含む)、給水系、循環水系、送電線、変圧器、開閉所</td> <td>タービン発電機固定子巻線冷却水系 タービン発電機ガス系 タービン発電機密封油系 励磁装置 蒸気タービン (主タービン、主要弁、配管) 主蒸気系 (主蒸気/駆動炉) タービン制御系 タービン潤滑油系 復水系 (復水器、復水ポンプ、配管/弁) 復水空気抽出系 (蒸気式空気抽出機)</td> <td>(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針	女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材圧力バウンス抑制機能 (PS-1、PS-2以外のもの)	原子炉冷却材圧力バウンス抑制機能 (PS-1、PS-2以外のもの) 許容配管、弁 燃料採取系配管、弁 ドレン配管、弁 ベント配管、弁	原子炉冷却材圧力バウンス抑制機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない	2) 原子炉冷却材の循環機能	原子炉再循環ポンプ、配管、弁、ライザー管 (RPI)、ジェットポンプ (JP)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	3) 放射性物質の貯蔵機能	サブプレッショングループ排水系、排水貯蔵タンク、放射性廃棄物貯蔵施設 (放射能インベントリの小さいもの)	(放射性物質の貯蔵機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	4) 電源供給機能 (非常用を除く)	タービン、発電機及びその励磁装置、復水系 (復水器を含む)、給水系、循環水系、送電線、変圧器、開閉所	タービン発電機固定子巻線冷却水系 タービン発電機ガス系 タービン発電機密封油系 励磁装置 蒸気タービン (主タービン、主要弁、配管) 主蒸気系 (主蒸気/駆動炉) タービン制御系 タービン潤滑油系 復水系 (復水器、復水ポンプ、配管/弁) 復水空気抽出系 (蒸気式空気抽出機)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (12/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MS-3</td> <td rowspan="3">1) 運転時の異常な過渡変化があっても、MS-1、MS-2とあいまわって、事象を緩和する構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能</td> <td>加圧器遮断弁 (自動操作) 加圧器送り弁 (自動操作) 直接関連系</td> <td>(原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機器は自動減圧弁により代替が可能である) 加圧器から加圧器送り弁までの配管</td> </tr> <tr> <td>2) 出力上昇の抑制機能</td> <td>タービンスラック系、射撃弁引当用インターロック</td> <td>タービンスラックインターロック 射撃弁引当用インターロック</td> <td>(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> <tr> <td>3) 原子炉冷却材の補給機能</td> <td>化学体積制御設備の充てんライン、1次冷却系補給水設備</td> <td>化学体積制御設備の充てんライン及びほう筒補給ライン ほう筒補給タンク ほう筒混合器 化学体積制御設備の充てんライン 1次冷却系補給水設備 配管及び弁 1次系補給水ポンプ</td> <td>(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>タービン保安装置</td> <td>(運行期間中の「運転時の異常な過渡変化」のうち「蒸気発生部への過熱伝熱」の解除において「タービントリップ」を影響緩和のための安全機能として維持しているが、溢水防護上、原子炉の運転停止及び格納炉を確保し、維持するために必要な機能には該当しない。) (補足説明資料1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 安全施設のうち重要度の特に高い安全機能に該当しない「構築物、系統又は機器」について、溢水影響評価上の扱いを()内に整理。</p>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針	泊発電所3号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	MS-3	1) 運転時の異常な過渡変化があっても、MS-1、MS-2とあいまわって、事象を緩和する構築物、系統及び機器	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	加圧器遮断弁 (自動操作) 加圧器送り弁 (自動操作) 直接関連系	(原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機器は自動減圧弁により代替が可能である) 加圧器から加圧器送り弁までの配管	2) 出力上昇の抑制機能	タービンスラック系、射撃弁引当用インターロック	タービンスラックインターロック 射撃弁引当用インターロック	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	3) 原子炉冷却材の補給機能	化学体積制御設備の充てんライン、1次冷却系補給水設備	化学体積制御設備の充てんライン及びほう筒補給ライン ほう筒補給タンク ほう筒混合器 化学体積制御設備の充てんライン 1次冷却系補給水設備 配管及び弁 1次系補給水ポンプ	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)				タービン保安装置	(運行期間中の「運転時の異常な過渡変化」のうち「蒸気発生部への過熱伝熱」の解除において「タービントリップ」を影響緩和のための安全機能として維持しているが、溢水防護上、原子炉の運転停止及び格納炉を確保し、維持するために必要な機能には該当しない。) (補足説明資料1)	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計の相違による。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針	女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																														
分類	定義	機能																																														
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材圧力バウンス抑制機能 (PS-1、PS-2以外のもの)	原子炉冷却材圧力バウンス抑制機能 (PS-1、PS-2以外のもの) 許容配管、弁 燃料採取系配管、弁 ドレン配管、弁 ベント配管、弁	原子炉冷却材圧力バウンス抑制機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない																																												
		2) 原子炉冷却材の循環機能	原子炉再循環ポンプ、配管、弁、ライザー管 (RPI)、ジェットポンプ (JP)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																																												
		3) 放射性物質の貯蔵機能	サブプレッショングループ排水系、排水貯蔵タンク、放射性廃棄物貯蔵施設 (放射能インベントリの小さいもの)	(放射性物質の貯蔵機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)																																												
		4) 電源供給機能 (非常用を除く)	タービン、発電機及びその励磁装置、復水系 (復水器を含む)、給水系、循環水系、送電線、変圧器、開閉所	タービン発電機固定子巻線冷却水系 タービン発電機ガス系 タービン発電機密封油系 励磁装置 蒸気タービン (主タービン、主要弁、配管) 主蒸気系 (主蒸気/駆動炉) タービン制御系 タービン潤滑油系 復水系 (復水器、復水ポンプ、配管/弁) 復水空気抽出系 (蒸気式空気抽出機)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																																											
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針	泊発電所3号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																														
分類	定義	機能																																														
MS-3	1) 運転時の異常な過渡変化があっても、MS-1、MS-2とあいまわって、事象を緩和する構築物、系統及び機器	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	加圧器遮断弁 (自動操作) 加圧器送り弁 (自動操作) 直接関連系	(原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機器は自動減圧弁により代替が可能である) 加圧器から加圧器送り弁までの配管																																												
		2) 出力上昇の抑制機能	タービンスラック系、射撃弁引当用インターロック	タービンスラックインターロック 射撃弁引当用インターロック	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																											
		3) 原子炉冷却材の補給機能	化学体積制御設備の充てんライン、1次冷却系補給水設備	化学体積制御設備の充てんライン及びほう筒補給ライン ほう筒補給タンク ほう筒混合器 化学体積制御設備の充てんライン 1次冷却系補給水設備 配管及び弁 1次系補給水ポンプ	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																											
			タービン保安装置	(運行期間中の「運転時の異常な過渡変化」のうち「蒸気発生部への過熱伝熱」の解除において「タービントリップ」を影響緩和のための安全機能として維持しているが、溢水防護上、原子炉の運転停止及び格納炉を確保し、維持するために必要な機能には該当しない。) (補足説明資料1)																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																													
<p>大飯発電所3/4号炉</p>	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(13/17)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1265 1075"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">PS-3</td> <td rowspan="3">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">4) 電源供給機能 (非常用を除く。)</td> <td rowspan="3">タービンの発電機及びその励磁装置、復水系 (復水器を含む)、給水系、凝縮水系、送電線、変圧器、開閉所</td> <td>給水系 (電動機駆動原子炉給水ポンプ、タービン駆動原子炉給水ポンプ、給水加熱器、配管/弁)</td> <td rowspan="3">(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (給水系)</td> <td>駆動用蒸気 (給水系)</td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (凝縮水系)</td> <td>取水設備 (屋外トレンチを含む)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">PS-3</td> <td rowspan="3">5) プラント計画・制御機能 (安全保護機能を除く。)</td> <td rowspan="3">原子炉制御系 (制御棒駆動装置 (制御棒駆動ミニマイザを含む)、原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計装の一部)</td> <td>原子炉制御系 (制御棒駆動ミニマイザを含む)</td> <td rowspan="3">(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> <tr> <td>原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計装の一部</td> <td>原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計装の一部</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラ設備 (補助ボイラ、給水タンク、給水ポンプ、配管/弁)</td> <td>直接関連系 (補助ボイラ)</td> <td>電気設備 (変圧器)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">PS-3</td> <td rowspan="3">6) プラント運転補助機能</td> <td rowspan="3">新内ボイラ設備、計装用圧縮空気系</td> <td>加熱蒸気系及び復水戻り系 (ポンプ、配管/弁)</td> <td rowspan="3">(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> <tr> <td>計装用圧縮空気系 (空気圧縮機、中間冷却器、配管、弁)</td> <td>直接関連系 (復水器冷却器)</td> <td>計装用圧縮空気系 (空気圧縮機)</td> </tr> <tr> <td>計装用圧縮空気系 (空気圧縮機、中間冷却器、配管、弁)</td> <td>直接関連系 (復水器冷却器)</td> <td>計装用圧縮空気系 (空気圧縮機)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器	4) 電源供給機能 (非常用を除く。)	タービンの発電機及びその励磁装置、復水系 (復水器を含む)、給水系、凝縮水系、送電線、変圧器、開閉所	給水系 (電動機駆動原子炉給水ポンプ、タービン駆動原子炉給水ポンプ、給水加熱器、配管/弁)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	直接関連系 (給水系)	駆動用蒸気 (給水系)	直接関連系 (凝縮水系)	取水設備 (屋外トレンチを含む)	PS-3	5) プラント計画・制御機能 (安全保護機能を除く。)	原子炉制御系 (制御棒駆動装置 (制御棒駆動ミニマイザを含む)、原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計装の一部)	原子炉制御系 (制御棒駆動ミニマイザを含む)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計装の一部	原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計装の一部	補助ボイラ設備 (補助ボイラ、給水タンク、給水ポンプ、配管/弁)	直接関連系 (補助ボイラ)	電気設備 (変圧器)	PS-3	6) プラント運転補助機能	新内ボイラ設備、計装用圧縮空気系	加熱蒸気系及び復水戻り系 (ポンプ、配管/弁)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	計装用圧縮空気系 (空気圧縮機、中間冷却器、配管、弁)	直接関連系 (復水器冷却器)	計装用圧縮空気系 (空気圧縮機)	計装用圧縮空気系 (空気圧縮機、中間冷却器、配管、弁)	直接関連系 (復水器冷却器)	計装用圧縮空気系 (空気圧縮機)	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (13/13)</p> <table border="1" data-bbox="1285 288 1854 916"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">DB-3</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">1) 緊急時対策の対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td>緊急時対策系</td> <td rowspan="3">(左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (原子炉発電用緊急時対策系)</td> <td>・燃料収束設備 ・送電連絡設備 ・資材及び器材</td> </tr> <tr> <td>重気発生器ブローダウンライン (サンプリング機を含む)</td> <td>・燃料収束設備 ・送電連絡設備 ・資材及び器材</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">DB-3</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">1) 緊急時対策の対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td>原子炉発電用緊急時対策系、燃料収束設備、放射線監視設備、事故時監視計装の一部、消火設備、非常用照明</td> <td rowspan="3">(左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> <tr> <td>放射線監視設備の一部</td> <td>・1つの専用回路を含む複数の回路を有する送電連絡設備 ・送電連絡設備</td> </tr> <tr> <td>原子炉計装の一部</td> <td>・1つの専用回路を含む複数の回路を有する送電連絡設備 ・送電連絡設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">DB-3</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">1) 緊急時対策の対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td>原子炉計装の一部</td> <td rowspan="3">(左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> <tr> <td>プロセス計装の一部</td> <td>・ボンプ冷却水 ・給水タンク ・火災検出装置 (受信機を含む) ・防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁 (消火設備の故障を補償するための必要なもの)</td> </tr> <tr> <td>消火設備 ・水消火設備 ・泡消火設備 ・二酸化炭素消火設備</td> <td>・ボンプ冷却水 ・給水タンク ・火災検出装置 (受信機を含む) ・防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁 (消火設備の故障を補償するための必要なもの)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">DB-3</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">1) 緊急時対策の対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td>安全避難通路</td> <td rowspan="3">(左記機能が静的機器のため溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (安全避難通路)</td> <td>安全避難通路</td> </tr> <tr> <td>非常用照明</td> <td>安全避難通路</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを()内に記載。</p>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		DB-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策の対応上必要な構築物、系統及び機器	緊急時対策系	(左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	直接関連系 (原子炉発電用緊急時対策系)	・燃料収束設備 ・送電連絡設備 ・資材及び器材	重気発生器ブローダウンライン (サンプリング機を含む)	・燃料収束設備 ・送電連絡設備 ・資材及び器材	DB-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策の対応上必要な構築物、系統及び機器	原子炉発電用緊急時対策系、燃料収束設備、放射線監視設備、事故時監視計装の一部、消火設備、非常用照明	(左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	放射線監視設備の一部	・1つの専用回路を含む複数の回路を有する送電連絡設備 ・送電連絡設備	原子炉計装の一部	・1つの専用回路を含む複数の回路を有する送電連絡設備 ・送電連絡設備	DB-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策の対応上必要な構築物、系統及び機器	原子炉計装の一部	(左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	プロセス計装の一部	・ボンプ冷却水 ・給水タンク ・火災検出装置 (受信機を含む) ・防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁 (消火設備の故障を補償するための必要なもの)	消火設備 ・水消火設備 ・泡消火設備 ・二酸化炭素消火設備	・ボンプ冷却水 ・給水タンク ・火災検出装置 (受信機を含む) ・防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁 (消火設備の故障を補償するための必要なもの)	DB-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策の対応上必要な構築物、系統及び機器	安全避難通路	(左記機能が静的機器のため溢水による影響を受けない)	直接関連系 (安全避難通路)	安全避難通路	非常用照明	安全避難通路	<p>相違理由</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>・プラント設計の相違による。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																																										
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																												
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器	4) 電源供給機能 (非常用を除く。)	タービンの発電機及びその励磁装置、復水系 (復水器を含む)、給水系、凝縮水系、送電線、変圧器、開閉所	給水系 (電動機駆動原子炉給水ポンプ、タービン駆動原子炉給水ポンプ、給水加熱器、配管/弁)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																																																																																											
				直接関連系 (給水系)		駆動用蒸気 (給水系)																																																																																										
				直接関連系 (凝縮水系)		取水設備 (屋外トレンチを含む)																																																																																										
PS-3	5) プラント計画・制御機能 (安全保護機能を除く。)	原子炉制御系 (制御棒駆動装置 (制御棒駆動ミニマイザを含む)、原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計装の一部)	原子炉制御系 (制御棒駆動ミニマイザを含む)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																																																																																												
			原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計装の一部		原子炉設計の一部、原子炉プラントプロセス計装の一部																																																																																											
			補助ボイラ設備 (補助ボイラ、給水タンク、給水ポンプ、配管/弁)		直接関連系 (補助ボイラ)	電気設備 (変圧器)																																																																																										
PS-3	6) プラント運転補助機能	新内ボイラ設備、計装用圧縮空気系	加熱蒸気系及び復水戻り系 (ポンプ、配管/弁)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																																																																																												
			計装用圧縮空気系 (空気圧縮機、中間冷却器、配管、弁)		直接関連系 (復水器冷却器)	計装用圧縮空気系 (空気圧縮機)																																																																																										
			計装用圧縮空気系 (空気圧縮機、中間冷却器、配管、弁)		直接関連系 (復水器冷却器)	計装用圧縮空気系 (空気圧縮機)																																																																																										
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																																										
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																												
DB-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策の対応上必要な構築物、系統及び機器	緊急時対策系	(左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																																																																												
			直接関連系 (原子炉発電用緊急時対策系)		・燃料収束設備 ・送電連絡設備 ・資材及び器材																																																																																											
			重気発生器ブローダウンライン (サンプリング機を含む)		・燃料収束設備 ・送電連絡設備 ・資材及び器材																																																																																											
DB-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策の対応上必要な構築物、系統及び機器	原子炉発電用緊急時対策系、燃料収束設備、放射線監視設備、事故時監視計装の一部、消火設備、非常用照明	(左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																																																																												
			放射線監視設備の一部		・1つの専用回路を含む複数の回路を有する送電連絡設備 ・送電連絡設備																																																																																											
			原子炉計装の一部		・1つの専用回路を含む複数の回路を有する送電連絡設備 ・送電連絡設備																																																																																											
DB-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策の対応上必要な構築物、系統及び機器	原子炉計装の一部	(左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																																																																												
			プロセス計装の一部		・ボンプ冷却水 ・給水タンク ・火災検出装置 (受信機を含む) ・防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁 (消火設備の故障を補償するための必要なもの)																																																																																											
			消火設備 ・水消火設備 ・泡消火設備 ・二酸化炭素消火設備		・ボンプ冷却水 ・給水タンク ・火災検出装置 (受信機を含む) ・防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁 (消火設備の故障を補償するための必要なもの)																																																																																											
DB-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策の対応上必要な構築物、系統及び機器	安全避難通路	(左記機能が静的機器のため溢水による影響を受けない)																																																																																												
			直接関連系 (安全避難通路)		安全避難通路																																																																																											
			非常用照明		安全避難通路																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(14/17)</p> <table border="1" data-bbox="703 252 1272 774"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>構造物、系統又は機能</th> <th>構造物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td>1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構造物、系統及び機器</td> <td>4) プラント運転補助機能</td> <td>炉内ボイラ設備、計装用圧縮空気系</td> <td> 原子炉補機冷却水系 (MS-1 関連以外) (配管/弁) タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却ポンプ、熱交換器、配管/弁) 直接戻水系 (タービン補機冷却水系) タービン補機冷却海水系 (タービン補機冷却海水ポンプ、配管/弁、ストレーナ) 復水補給水系 (復水移送ポンプ、配管/弁) 直接戻水系 (復水補給水 復水貯蔵タンク系) </td> <td>(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> <tr> <td>2) 原子炉冷却材中放射線物質濃度を通常運転に支障のない程度に低く抑える構造物、系統及び機器</td> <td>1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放散防止機能 2) 原子炉冷却材の浄化機能</td> <td>燃料被覆管 原子炉冷却材浄化系、復水浄化系</td> <td> 燃料被覆管上/下部増設タイロッド 原子炉冷却材浄化系 (再生熱交換器、非再生熱交換器、ポンプ、ろ過脱塩装置、配管、弁) 復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁) </td> <td> (左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み) </td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	構造物、系統又は機能	構造物、系統又は機器	PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構造物、系統及び機器	4) プラント運転補助機能	炉内ボイラ設備、計装用圧縮空気系	原子炉補機冷却水系 (MS-1 関連以外) (配管/弁) タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却ポンプ、熱交換器、配管/弁) 直接戻水系 (タービン補機冷却水系) タービン補機冷却海水系 (タービン補機冷却海水ポンプ、配管/弁、ストレーナ) 復水補給水系 (復水移送ポンプ、配管/弁) 直接戻水系 (復水補給水 復水貯蔵タンク系)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	2) 原子炉冷却材中放射線物質濃度を通常運転に支障のない程度に低く抑える構造物、系統及び機器	1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放散防止機能 2) 原子炉冷却材の浄化機能	燃料被覆管 原子炉冷却材浄化系、復水浄化系	燃料被覆管上/下部増設タイロッド 原子炉冷却材浄化系 (再生熱交換器、非再生熱交換器、ポンプ、ろ過脱塩装置、配管、弁) 復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁)	(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み)		<p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・プラント設計の相違による。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																			
分類	定義	構造物、系統又は機能	構造物、系統又は機器																				
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構造物、系統及び機器	4) プラント運転補助機能	炉内ボイラ設備、計装用圧縮空気系	原子炉補機冷却水系 (MS-1 関連以外) (配管/弁) タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却ポンプ、熱交換器、配管/弁) 直接戻水系 (タービン補機冷却水系) タービン補機冷却海水系 (タービン補機冷却海水ポンプ、配管/弁、ストレーナ) 復水補給水系 (復水移送ポンプ、配管/弁) 直接戻水系 (復水補給水 復水貯蔵タンク系)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																		
	2) 原子炉冷却材中放射線物質濃度を通常運転に支障のない程度に低く抑える構造物、系統及び機器	1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放散防止機能 2) 原子炉冷却材の浄化機能	燃料被覆管 原子炉冷却材浄化系、復水浄化系	燃料被覆管上/下部増設タイロッド 原子炉冷却材浄化系 (再生熱交換器、非再生熱交換器、ポンプ、ろ過脱塩装置、配管、弁) 復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁)	(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない) (左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み)																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																													
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(15/17)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1272 1078"> <thead> <tr> <th colspan="3">新電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">MF-3</td> <td rowspan="5">1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能</td> <td rowspan="5">1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能</td> <td rowspan="5">逃がし安全弁（逃がし弁機能）、タービンバイパス弁</td> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能）</td> <td>原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管</td> <td rowspan="5">(原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機能は自動減圧系により代替が可能である)</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能））</td> <td>駆動用差動圧（アキムレータ、アキムレータから主蒸気逃がし安全弁までの配管、弁）</td> <td rowspan="2">タービンバイパス弁</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器からタービンバイパス弁までの主蒸気配管</td> <td rowspan="2">[当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している]</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（タービンバイパス系）</td> <td>駆動用差動圧（アキムレータ、アキムレータからタービンバイパス弁までの配管、弁）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材再循環系（再循環ポンプトリップ機能）、制御棒挿入機構</td> <td>原子炉再循環流量制御系（ポンプトリップ機能）</td> <td>制御棒引抜監視装置（制御棒引抜阻止インターロック）</td> <td>選択制御棒挿入機構</td> <td rowspan="2">[当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している]</td> </tr> <tr> <td>2) 出力上昇の抑制機能</td> <td>2) 出力上昇の抑制機能</td> <td>原子炉冷却材の補給機能</td> <td>制御棒駆動水圧系（冷却材の補給）（ポンプ、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから制御棒駆動機構までの配管、弁）</td> <td>直接関連系（新制御棒駆動水圧系（冷却材の補給））</td> <td>ポンプサクションフィルタ</td> <td>ポンプミニмумフロ</td> <td>タービンの配管、弁</td> <td rowspan="2">(原子炉冷却材の補給機能としては、非常用炉心冷却系により代替が可能である)</td> </tr> <tr> <td>3) 原子炉冷却材の補給機能</td> <td>3) 原子炉冷却材の補給機能</td> <td>制御棒駆動水圧系、原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給）（ポンプ、タービン、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから注水先までの配管、弁）</td> <td>タービンへの蒸気供給配管、弁</td> <td>直接関連系（原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給））</td> <td>ポンプミニмумフロ</td> <td>タービンの配管、弁</td> <td>潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管</td> <td>(原子炉隔離時冷却系としてMF-1で抽出済み)</td> </tr> <tr> <td>4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能</td> <td>4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能</td> <td>原子炉再循環ポンプMGセット</td> <td>DWRには対象機能なし（ADRのみ）</td> <td>(対象外)</td> <td>(対象外)</td> </tr> <tr> <td>5) タービントリップ</td> <td>5) タービントリップ</td> <td>制御には対象機能なし</td> <td>(対象外)</td> <td>(対象外)</td> <td>(対象外)</td> </tr> </tbody> </table>	新電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	MF-3	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	逃がし安全弁（逃がし弁機能）、タービンバイパス弁	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能）	原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管	(原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機能は自動減圧系により代替が可能である)	直接関連系（主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能））	駆動用差動圧（アキムレータ、アキムレータから主蒸気逃がし安全弁までの配管、弁）	タービンバイパス弁	原子炉圧力容器からタービンバイパス弁までの主蒸気配管	[当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している]	直接関連系（タービンバイパス系）	駆動用差動圧（アキムレータ、アキムレータからタービンバイパス弁までの配管、弁）	原子炉冷却材再循環系（再循環ポンプトリップ機能）、制御棒挿入機構	原子炉再循環流量制御系（ポンプトリップ機能）	制御棒引抜監視装置（制御棒引抜阻止インターロック）	選択制御棒挿入機構	[当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している]	2) 出力上昇の抑制機能	2) 出力上昇の抑制機能	原子炉冷却材の補給機能	制御棒駆動水圧系（冷却材の補給）（ポンプ、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから制御棒駆動機構までの配管、弁）	直接関連系（新制御棒駆動水圧系（冷却材の補給））	ポンプサクションフィルタ	ポンプミニмумフロ	タービンの配管、弁	(原子炉冷却材の補給機能としては、非常用炉心冷却系により代替が可能である)	3) 原子炉冷却材の補給機能	3) 原子炉冷却材の補給機能	制御棒駆動水圧系、原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給）（ポンプ、タービン、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから注水先までの配管、弁）	タービンへの蒸気供給配管、弁	直接関連系（原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給））	ポンプミニмумフロ	タービンの配管、弁	潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管	(原子炉隔離時冷却系としてMF-1で抽出済み)	4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能	4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能	原子炉再循環ポンプMGセット	DWRには対象機能なし（ADRのみ）	(対象外)	(対象外)	5) タービントリップ	5) タービントリップ	制御には対象機能なし	(対象外)	(対象外)	(対象外)		<p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u></p> <p>・プラント設計の相違による。</p>
新電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																											
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																												
MF-3	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	逃がし安全弁（逃がし弁機能）、タービンバイパス弁	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能）	原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管	(原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機能は自動減圧系により代替が可能である)																																																										
				直接関連系（主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能））	駆動用差動圧（アキムレータ、アキムレータから主蒸気逃がし安全弁までの配管、弁）		タービンバイパス弁	原子炉圧力容器からタービンバイパス弁までの主蒸気配管	[当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している]																																																							
				直接関連系（タービンバイパス系）	駆動用差動圧（アキムレータ、アキムレータからタービンバイパス弁までの配管、弁）																																																											
				原子炉冷却材再循環系（再循環ポンプトリップ機能）、制御棒挿入機構	原子炉再循環流量制御系（ポンプトリップ機能）		制御棒引抜監視装置（制御棒引抜阻止インターロック）	選択制御棒挿入機構	[当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している]																																																							
				2) 出力上昇の抑制機能	2) 出力上昇の抑制機能		原子炉冷却材の補給機能	制御棒駆動水圧系（冷却材の補給）（ポンプ、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから制御棒駆動機構までの配管、弁）		直接関連系（新制御棒駆動水圧系（冷却材の補給））	ポンプサクションフィルタ	ポンプミニмумフロ	タービンの配管、弁	(原子炉冷却材の補給機能としては、非常用炉心冷却系により代替が可能である)																																																		
3) 原子炉冷却材の補給機能	3) 原子炉冷却材の補給機能	制御棒駆動水圧系、原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給）（ポンプ、タービン、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから注水先までの配管、弁）	タービンへの蒸気供給配管、弁	直接関連系（原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給））	ポンプミニмумフロ	タービンの配管、弁	潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管	(原子炉隔離時冷却系としてMF-1で抽出済み)																																																							
4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能	4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能	原子炉再循環ポンプMGセット	DWRには対象機能なし（ADRのみ）	(対象外)	(対象外)																																																											
5) タービントリップ	5) タービントリップ	制御には対象機能なし	(対象外)	(対象外)	(対象外)																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(16/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MS-3</td> <td>2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td>1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能</td> <td>原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明</td> <td> 緊急時対策所 空調系 データ収集装置 通信連絡設備 資料及び器材 遮蔽設備 試料採取系（原子炉冷却材放射性物質濃度サンプリング分析、原子炉格納容器内空間気放射性物質濃度サンプリング分析） 通信連絡設備（1つの専用回路を含む複数の回路を有する通信連絡設備） 放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エア排気放射線モニタ） 放射線監視設備（上記以外） 事故時監視計器の一部 </td> <td> （緊急時対策所及びその直結関連設備の機器については、水密化された設備がない緊急時対策施設内に設置されるため、溢水の影響を受けない） （原子炉冷却材放射性物質濃度については、原子炉冷却材浄化機能により代替が可能であり、原子炉格納容器内空間気放射性物質濃度については、事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替が可能である） （左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である） （気体廃棄物処理設備エア排気放射線モニタは事故時のプラント操作のための情報の把握機能として考慮） （左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である） </td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	緊急時対策所 空調系 データ収集装置 通信連絡設備 資料及び器材 遮蔽設備 試料採取系（原子炉冷却材放射性物質濃度サンプリング分析、原子炉格納容器内空間気放射性物質濃度サンプリング分析） 通信連絡設備（1つの専用回路を含む複数の回路を有する通信連絡設備） 放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エア排気放射線モニタ） 放射線監視設備（上記以外） 事故時監視計器の一部	（緊急時対策所及びその直結関連設備の機器については、水密化された設備がない緊急時対策施設内に設置されるため、溢水の影響を受けない） （原子炉冷却材放射性物質濃度については、原子炉冷却材浄化機能により代替が可能であり、原子炉格納容器内空間気放射性物質濃度については、事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替が可能である） （左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である） （気体廃棄物処理設備エア排気放射線モニタは事故時のプラント操作のための情報の把握機能として考慮） （左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である）		<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計の相違による。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}															
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器															
MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	緊急時対策所 空調系 データ収集装置 通信連絡設備 資料及び器材 遮蔽設備 試料採取系（原子炉冷却材放射性物質濃度サンプリング分析、原子炉格納容器内空間気放射性物質濃度サンプリング分析） 通信連絡設備（1つの専用回路を含む複数の回路を有する通信連絡設備） 放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エア排気放射線モニタ） 放射線監視設備（上記以外） 事故時監視計器の一部	（緊急時対策所及びその直結関連設備の機器については、水密化された設備がない緊急時対策施設内に設置されるため、溢水の影響を受けない） （原子炉冷却材放射性物質濃度については、原子炉冷却材浄化機能により代替が可能であり、原子炉格納容器内空間気放射性物質濃度については、事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替が可能である） （左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である） （気体廃棄物処理設備エア排気放射線モニタは事故時のプラント操作のための情報の把握機能として考慮） （左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である）														
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(17/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MS-3</td> <td>2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td>1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能</td> <td>原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明</td> <td> 消火系（水消火設備、ガス消火設備） 消火ポンプ 消火水槽、消火タラシ 直接関連系（消火系） 火災検出装置（受信機含む） 防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁（消火設備の機能を維持担保するために必要なもの） 安全避難通路 直接関連系（安全避難通路） 非常用照明 </td> <td> （左記機器は他の消火設備により代替が可能である） （消火ポンプは他の消火設備により代替が可能であり、火災検出装置については復旧により対応が可能である。それ以外については静的機器であるため溢水による影響を受けない） （左記機器は静的機器のため溢水による影響を受けない） （左記機器は懐中電灯等の可搬型照明により代替が可能である） </td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器については、溢水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	消火系（水消火設備、ガス消火設備） 消火ポンプ 消火水槽、消火タラシ 直接関連系（消火系） 火災検出装置（受信機含む） 防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁（消火設備の機能を維持担保するために必要なもの） 安全避難通路 直接関連系（安全避難通路） 非常用照明	（左記機器は他の消火設備により代替が可能である） （消火ポンプは他の消火設備により代替が可能であり、火災検出装置については復旧により対応が可能である。それ以外については静的機器であるため溢水による影響を受けない） （左記機器は静的機器のため溢水による影響を受けない） （左記機器は懐中電灯等の可搬型照明により代替が可能である）		<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計の相違による。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}															
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器															
MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	消火系（水消火設備、ガス消火設備） 消火ポンプ 消火水槽、消火タラシ 直接関連系（消火系） 火災検出装置（受信機含む） 防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁（消火設備の機能を維持担保するために必要なもの） 安全避難通路 直接関連系（安全避難通路） 非常用照明	（左記機器は他の消火設備により代替が可能である） （消火ポンプは他の消火設備により代替が可能であり、火災検出装置については復旧により対応が可能である。それ以外については静的機器であるため溢水による影響を受けない） （左記機器は静的機器のため溢水による影響を受けない） （左記機器は懐中電灯等の可搬型照明により代替が可能である）														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>防護対象設備のうち溢水影響評価の対象</p>	<p>防護対象設備のうち溢水影響評価の対象</p>	<p>防護対象設備のうち溢水影響評価の対象</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p>
<p>図 1.2-1 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー</p>	<p>図 3-1 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー</p>	<p>図 3-1 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
表 1.2-1 溢水影響評価の対象外とする理由		表 3-4 溢水影響評価の対象外とする理由		表 3-4 溢水影響評価の対象外とする理由			
各ステップの項目	理由	各ステップの項目	理由	各ステップの項目	理由		
①フェイルポジションで安全機能に影響しない設備	フェイルアブイズでも安全機能に影響しない電動弁、フェイルポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁等、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は溢水影響がないと評価した。	① 溢水により機能喪失しない	容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないと評価した。	①溢水により機能喪失しない	容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないと評価した。	【大飯】 記載表現の相違 【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映	
②原子炉格納容器内の設備	原子炉格納容器内に設置される設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度、圧力及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。又は、溢水事象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないものは溢水影響がないと評価した。	② PCV 内耐環境仕様 の設備	PCV 内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。 なお、対象設備が耐環境仕様であることの確認は、メーカー試験等で行った事故時の環境条件を模擬した試験結果を確認することにより行った。	②原子炉格納容器内 耐環境仕様の設備	原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。 なお、対象設備が耐環境仕様であることの確認は、メーカー試験等で行った事故時の環境条件を模擬した試験結果を確認することにより行った。		【女川】 設備名称の相違
③水の影響を受けない設備	容器、熱交換器、フィルタ、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、静的機器は溢水影響がないと評価した。	③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない	状態監視のみの現場指示計、フェイル・アブ・イズでも安全機能に影響しない電動弁、あるいはフェイル・ポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁など、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は、溢水影響がないと評価した。	③動作機能の喪失により安全機能に影響しない	状態監視のみの現場指示計、フェイル・アブ・イズでも安全機能に影響しない電動弁、あるいはフェイル・ポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁など、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は、溢水影響がないと評価した。		
④他の設備で代替できる設備	他の設備により機能が代替できる設備は機能喪失しても安全機能に影響しない。具体的には、補助給水隔離弁が機能喪失しても上流側に設置されている補助給水流量調節弁は補助給水隔離弁と別区画にあり隔離機能を有する。	④ 他の設備で代替できる	他の設備により機能が代替できる設備は、機能喪失しても安全機能に影響しない。	④他の設備で代替できる	他の設備により機能が代替できる設備は、機能喪失しても安全機能に影響しない。		
(添付資料 1.2-1) 重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統 (添付資料 1.2-2) 防護対象設備と機能喪失高さ一覧							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3. 4 防護対象設備を防護するための設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水及びその他の溢水に対して、溢水防護対象設備が以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けても、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とするとともに、使用済燃料プールのスロッシングにおける水位低下を考慮しても、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能等が維持できる設計とする。</p> <p>また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度及び放射線量を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <p>3. 4. 1 没水の影響に対する設計方針</p> <p>防護対象設備が没水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 漏えい検知システム等により溢水の発生を早期に検知し、中央制御室からの遠隔操作(自動又は手動)又は現場操作により漏えい箇所を早期に隔離できる設計とする。</p> <p>b. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動S_sによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>c. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。</p> <p>d. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動 S_s による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。</p>	<p>3. 4 防護対象設備を防護するための設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水及びその他の溢水に対して、溢水防護対象設備が以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けても、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とするとともに、使用済燃料ピットのスロッシングにおける水位低下を考慮しても、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能等が維持できる設計とする。</p> <p>また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度及び放射線量を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <p>3. 4. 1 没水の影響に対する設計方針</p> <p>防護対象設備が没水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 漏えい検知システム等により溢水の発生を早期に検知し、中央制御室からの遠隔操作(自動又は手動)又は現場操作により漏えい箇所を早期に隔離できる設計とする。</p> <p>b. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>c. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。</p> <p>d. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。</p>	<p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-2-3より抜粋</p> <p>e. その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知器による早期検知や床目皿からの排水等により、溢水防護対象設備の安全機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>e. その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知システムや床ドレンファンネルからの排水等により早期に検知し、溢水防護対象設備の安全機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(2) 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 溢水防護対象設備の設置高さを嵩上げし、評価の各段階における保守性と併せて考慮した上で、溢水防護対象設備の機能喪失高さが、発生した溢水による水位を十分な裕度を持って上回る設計とする。</p> <p>b. 溢水防護対象設備周囲に堰を設置し、溢水防護対象設備が没水しない設計とする。設置する堰については、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに、溢水の要因となる地震や火災等により生じる環境や荷重条件に対して当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>3. 4. 2 被水の影響に対する設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動S_sによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動S_sによる</p>	<p>e. その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知器による早期検知や床目皿からの排水等により、溢水防護対象設備の安全機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(2) 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 溢水防護対象設備の設置高さを嵩上げし、評価の各段階における保守性と併せて考慮した上で、溢水防護対象設備の機能喪失高さが、発生した溢水による水位を十分な裕度を持って上回る設計とする。</p> <p>b. 溢水防護対象設備周囲に堰を設置し、溢水防護対象設備が没水しない設計とする。設置する堰については、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに、溢水の要因となる地震や火災等により生じる環境や荷重条件に対して当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>3. 4. 2 被水の影響に対する設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動による地</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 島根2号炉審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 消火水の放水による溢水に対しては、溢水防護対象設備が設置されている溢水防護区画において固定式消火設備等の水消火を行わない消火手段を採用することにより、被水の影響が発生しない設計とする。また、水消火を行う場合には、水消火による被水の影響を最小限にとどめるため、溢水防護対象設備に対して不用意な放水を行わないことを消火活動における運用及び留意事項として「火災防護計画」に定める。</p> <p>(2) 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有する機器への取替えを行う。</p> <p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置を行う。</p> <p>3. 4. 3 蒸気の影響に対する設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の蒸気放出に対して、壁、扉等による流入防止対策を図り蒸気の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉等は、溢水により発生する蒸気に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動S_sによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、破損形状を特定することにより蒸気放出による影響を軽減する設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動S_sによる地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外</p>	<p>地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 消火水の放水による溢水に対しては、溢水防護対象設備が設置されている溢水防護区画においてガス消火設備等の水消火を行わない消火手段を採用することにより、被水の影響が発生しない設計とする。また、水消火を行う場合には、水消火による被水の影響を最小限にとどめるため、溢水防護対象設備に対して不用意な放水を行わないことを消火活動における運用及び留意事項として「火災防護計画」に定める。</p> <p>(2) 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有する機器への取替えを行う。</p> <p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置を行う。</p> <p>3. 4. 3 蒸気の影響に対する設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の蒸気放出に対して、壁、扉等による流入防止対策を図り蒸気の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉等は、溢水により発生する蒸気に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、破損形状を特定することにより蒸気放出による影響を軽減する設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外す</p>	<p>震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 消火水の放水による溢水に対しては、溢水防護対象設備が設置されている溢水防護区画においてガス消火設備等の水消火を行わない消火手段を採用することにより、被水の影響が発生しない設計とする。また、水消火を行う場合には、水消火による被水の影響を最小限にとどめるため、溢水防護対象設備に対して不用意な放水を行わないことを消火活動における運用及び留意事項として「火災防護計画」に定める。</p> <p>(2) 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有する機器への取替えを行う。</p> <p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置を行う。</p> <p>3. 4. 3 蒸気の影響に対する設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の蒸気放出に対して、壁、扉等による流入防止対策を図り蒸気の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉等は、溢水により発生する蒸気に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、破損形状を特定することにより蒸気放出による影響を軽減する設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外す</p>	<p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>することにより蒸気放出による影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 蒸気の漏えいを検知し、中央制御室からの遠隔隔離（自動又は手動）を行うための自動検知遠隔隔離システムを設置し、漏えい蒸気を早期隔離することで蒸気影響を緩和する設計とする。</p> <p>また、自動検知遠隔隔離システムだけでは溢水防護対象設備の健全性が確保されない場合には、破損想定箇所に防護カバーを設置することで漏えい蒸気量を抑制して、溢水防護区画内雰囲気温度への影響を軽減する設計とする。</p> <p>e. 主蒸気管破断事故時等には、建屋内外の差圧によるブローアウトパネルの開放により、溢水防護区画内において蒸気影響を軽減する設計とする。</p> <p>(2) 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 蒸気放出の影響に対して耐性を有しない溢水防護対象設備については、蒸気曝露試験又は机上評価によって蒸気放出の影響に対して耐性を有することが確認された機器への取替えを行う。</p> <p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での蒸気条件を考慮しても安全機能を損なわないことを蒸気曝露試験等により確認した保護カバーやパッキン等による蒸気防護措置を行う。</p>	<p>ることにより蒸気放出による影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 蒸気の漏えいを検知し、中央制御室からの遠隔隔離（自動又は手動）を行うための配管漏えい検知システムを設置し、漏えい蒸気を早期隔離することで蒸気影響を緩和する設計とする。</p> <p>また、配管漏えい検知システムだけでは溢水防護対象設備の健全性が確保されない場合には、破損想定箇所に防護カバーを設置することで漏えい蒸気量を抑制して、溢水防護区画内雰囲気温度への影響を軽減する設計とする。</p> <p>(2) 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 蒸気放出の影響に対して耐性を有しない溢水防護対象設備については、蒸気曝露試験又は机上評価によって蒸気放出の影響に対して耐性を有することが確認された機器への取替えを行う。</p> <p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での蒸気条件を考慮しても安全機能を損なわないことを蒸気曝露試験等により確認した保護カバーやパッキン等による蒸気防護措置を行う。</p>	<p>【女川】 <u>設備名称の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u></p> <p>・女川は原子炉建屋原子炉棟の蒸気影響評価において、ブローアウトパネルが速やかに開放し、建屋内圧が著しく上昇することはないことを前提条件としている。一方、泊の主蒸気管室における蒸気影響評価では、ブローアウトパネルが設定圧力で速やかに動作しないことも考慮し、主蒸気管室が設計耐圧まで上昇する前提としていることから、泊のブローアウトパネルは溢水影響を軽減するための設備には該当しない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.4 その他の溢水</p> <p>その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知システム等により早期に検知し、防護対象設備の安全機能が損なわれない程度の溢水に抑える設計となっていることを確認した。 （添付資料1.4.4）その他漏えい事象に関する確認について</p>	<p>3. 4. 4 その他の溢水に対する設計方針</p> <p>地下水の流入、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包するエリア内及び建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えいに対して、漏えい検知システムや床ドレンファンネルからの排水等により早期に検知し、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-2-3より抜粋 e. その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知器による早期検知や床目皿からの排水等により、溢水防護対象設備の安全機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>3. 4. 4 その他の溢水に対する設計方針</p> <p>地下水の流入、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包するエリア内及び建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えいに対して、漏えい検知器による早期検知や床目皿からの排水等により、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p>	<p>【大飯】 記載箇所の相違 泊及び女川に対応する記載を比較するため、項目の記載順を入れ替えた。</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違 島根2号炉審査実績の反映</p>
<p>1.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>防護対象設備が設置されている、壁、扉及び堰又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離されている区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画として設定した。すべての防護対象設備が対象となっていることを確認するために、設置許可基準第12条で要求される重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統について系統図から設備（機器）を抽出するとともに、それらの機器の配置状況を示す図書（弁は配管図、機器は機器配置図等）から溢水防護区画を設定した。また、溢水防護区画については設計図書（障壁、堰、又はその組み合わせ）を用いて設定し、この中でアクセス通路については図面等で図示されていることを確認した。</p>	<p>4 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>4. 1 溢水防護区画の設定</p> <p>防護対象設備が設置されている、壁、扉及び堰又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離されている区画、並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画として設定した。すべての防護対象設備が対象となっていることを確認するために、設置許可基準規則第十二条（安全施設）で要求される重要度の特に高い安全機能を有する系統及び使用済燃料プールの冷却機能及び給水機能を有する系統について、系統図（P&ID）から設備（機器）を抽出するとともに、それらの機器の配置状況を示す図書（配管施工図や機器配置図等）から溢水防護区画を設定した。溢水防護区画については設計図書（壁、扉及び堰又はそれらの組み合わせ）を用いて設定し、この中でアクセス通路については、図面等で図示されていることを確認した。溢水防護区画図について、添付資料7に示す。</p>	<p>4 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>4. 1 溢水防護区画の設定</p> <p>防護対象設備が設置されている、壁、扉及び堰又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離されている区画、並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画として設定した。すべての防護対象設備が対象となっていることを確認するために、設置許可基準規則第十二条（安全施設）で要求される重要度の特に高い安全機能を有する系統及び使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統について、系統図から設備（機器）を抽出するとともに、それらの機器の配置状況を示す図書（配管施工図や機器配置図等）から溢水防護区画を設定した。溢水防護区画については設計図書（壁、扉及び堰又はそれらの組み合わせ）を用いて設定し、この中でアクセス通路については、図面等で図示されていることを確認した。溢水防護区画図について、添付資料7に示す。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設備名称の相違 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>防護対象設備が設置されている建屋において、床面開口部（機器ハッチ、階段等）及び溢水影響評価において期待することのできる設備（水密扉、堰等）の抽出を行い、溢水経路を設定した。溢水経路の設定に当たっては、溢水防護区画内漏えいと溢水防護区画外漏えいを想定して設定した。</p>	<p>4. 2 滞留面積の算出 4. 1にて設定した各区画について、溢水が発生した場合に滞留可能な床面をその面積として算出した。算出に当たっては、当該区画内に設置されている各機器により占有されている領域等を考慮し、保守的な有効面積を算出した。詳細については、添付資料8に示す。</p> <p>4. 3 溢水経路の設定 防護対象設備が設置されている建屋において、床開口部（機器ハッチ、階段等）及び溢水影響評価において期待することのできる設備（水密扉や堰等）の抽出を行い、溢水経路を設定した。溢水経路の設定に当たっては、溢水防護区画内漏えいと溢水防護区画外漏えいを想定して設定した。また、評価対象区画からの定量的な溢水流出を確認できる開口部等については、その効果を考慮した。 溢水経路を構成する壁、扉、堰、床段差等は、基準地震動S_sによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理及び水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとした。 なお、溢水が長期間滞留する区画境界の壁にひび割れが生じる場合は、ひび割れからの浸水量を算出し、溢水評価に影響を与えないことを確認した。 貫通部に実施した流出及び流入防止対策も同様に、基準地震動S_sによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとした。 火災により貫通部の止水機能が損なわれる場合には、当該貫通部からの消火水の流入を考慮する。消火活動により区画の扉を開放する場合は、開放した扉からの消火水の伝播を考慮した。 また、定期検査作業に伴う防護対象設備の待機除外や扉の開放等、プラントの保守管理上やむを得ぬ措置の実施により、影響評価上設定したプラント状態と一時的に異なる状態となった場合については、重大事故等対処施設の利用も含めた対応も考慮し、その状態を踏まえた必要な安全機能が損なわれない運用とする（別添2参照）。 溢水影響評価において止水を期待できる設備について、添</p>	<p>4. 2 滞留面積の算出 4. 1にて設定した各区画について、溢水が発生した場合に滞留可能な床面をその面積として算出した。算出に当たっては、当該区画内に設置されている各機器により占有されている領域等を考慮し、保守的な有効面積を算出した。詳細については、添付資料8に示す。</p> <p>4. 3 溢水経路の設定 防護対象設備が設置されている建屋において、床開口部（機器ハッチ、階段等）及び溢水影響評価において期待することのできる設備（水密扉や堰等）の抽出を行い、溢水経路を設定した。溢水経路の設定に当たっては、溢水防護区画内漏えいと溢水防護区画外漏えいを想定して設定した。また、評価対象区画からの定量的な溢水流出を確認できる開口部については、その効果を考慮した。 溢水経路を構成する壁、扉、堰、床段差等は、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理及び水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとした。 なお、溢水が長期間滞留する区画境界の壁にひび割れが生じる場合は、ひび割れからの浸水量を算出し、溢水評価に影響を与えないことを確認した。 貫通部に実施した流出及び流入防止対策も同様に、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとした。 火災により貫通部の止水機能が損なわれる場合には、当該貫通部からの消火水の流入を考慮する。消火活動により区画の扉を開放する場合は、開放した扉からの消火水の伝播を考慮した。 また、定期事業者検査作業に伴う防護対象設備の待機除外や扉の開放等、プラントの保守管理上やむを得ぬ措置の実施により、影響評価上設定したプラント状態と一時的に異なる状態となった場合については、重大事故等対処施設の利用も含めた対応も考慮し、その状態を踏まえた必要な安全機能が損なわれない運用とする（別添2参照）。 溢水影響評価において止水を期待できる設備について、添</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 ・女川は床ドレン、機器ハッチからも定量的な溢水流出を考慮しているのに対し、泊は床開口部以外には定量的な溢水流出に期待していないことから、「等」は記載していない。</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) 溢水防護区内漏えいの溢水経路</p> <p>溢水防護区内漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、溢水防護区内の水位が最も高くなるよう、当該区画から他区画への流出がないように保守的に溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン</p> <p>床ドレン配管が設置され他の区画とつながっている場合であっても、他の区画への流出は想定しない。</p> <p>b. 床面開口部及び床面貫通部</p> <p>溢水防護区画床面に床面開口部又は床面貫通部が設置されている場合であっても床面開口部又は床面貫通部から他の区画への流出は考慮しない。ただし、明らかに流出が期待できることを定量的に確認できる場合は溢水防護区画から他の区画への流出を考慮する。</p> <p>c. 壁貫通部</p> <p>溢水防護区画の境界壁の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合であっても、その貫通部からの流出は考慮しない。</p> <p>d. 扉</p> <p>溢水防護区画に扉が設置されている場合であっても、当該扉から隣室への流出は考慮しない。</p> <p>e. 排水設備</p> <p>溢水防護区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(2) 溢水防護区画外漏えいの溢水経路</p> <p>溢水防護区画外漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象設備の存在する溢水防護区画の水位が最も高くなるように保守的に溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン</p> <p>溢水防護区画の床ドレン配管が他の区画とつながっている</p>	<p>付資料9に示す。溢水防護区画図上に溢水の伝播経路を考慮した溢水伝播経路図を添付資料10に示し、各区画の接続状況や滞留面積等をブロック図上に整理した溢水伝播フロー図を添付資料11に示す。また、開口部等からの流出流量の評価について、添付資料12に示す。</p> <p>(1) 溢水防護区内漏えいの溢水経路</p> <p>溢水防護区内漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護区画内の水位が最も高くなるよう、当該溢水区画から他区画への流出がないように溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン</p> <p>床ドレン配管が設置され、他の区画とつながっている場合であっても、他の区画への流出は想定しない。ただし、消火水の放水による溢水評価において、同一区画に目皿が複数ある場合は、床ドレン一箇所の閉塞を考慮した上で、他の床ドレン配管からの単位時間あたりの流出を考慮し、溢水水位を評価した。</p> <p>b. 床面開口部及び床貫通部</p> <p>評価対象区画床面に床開口部又は床貫通部が設置されている場合であっても、床面開口部又は床貫通部から他の区画への流出は考慮しない。ただし、明らかに流出が期待できることを定量的に確認できる場合は、評価対象区画から他の区画への流出を考慮した。</p> <p>c. 壁貫通部</p> <p>評価対象区画の境界壁の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合であっても、その貫通部からの流出は考慮しない。</p> <p>d. 扉</p> <p>評価対象区画に扉が設置されている場合であっても、当該扉から隣室への流出は考慮しない。</p> <p>e. 排水設備</p> <p>評価対象区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(2) 溢水防護区画外漏えいの溢水経路</p> <p>溢水防護区画外漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象設備の存在する溢水防護区画の水位が最も高くなるように溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン</p> <p>評価対象区画の床ドレン配管が他の区画とつながっている</p>	<p>付資料9に示す。溢水防護区画図上に溢水の伝播経路を考慮した溢水伝播経路図を添付資料10に示し、各区画の接続状況や滞留面積等をブロック図上に整理した溢水伝播フロー図を添付資料31に示す。また、開口部等からの流出流量の評価について、添付資料11に示す。</p> <p>(1) 溢水防護区内漏えいの溢水経路</p> <p>溢水防護区内漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護区画内の水位が最も高くなるよう、当該溢水区画から他区画への流出がないように溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン</p> <p>床ドレン配管が設置され、他の区画とつながっている場合であっても、他の区画への流出は想定しない。</p> <p>b. 床面開口部及び床貫通部</p> <p>評価対象区画床面に床開口部又は床貫通部が設置されている場合であっても、床面開口部又は床貫通部から他の区画への流出は考慮しない。ただし、明らかに流出が期待できることを定量的に確認できる場合は、評価対象区画から他の区画への流出を考慮した。</p> <p>c. 壁貫通部</p> <p>評価対象区画の境界壁の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合であっても、その貫通部からの流出は考慮しない。</p> <p>d. 扉</p> <p>評価対象区画に扉が設置されている場合であっても、当該扉から隣室への流出は考慮しない。</p> <p>e. 排水設備</p> <p>評価対象区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(2) 溢水防護区画外漏えいの溢水経路</p> <p>溢水防護区画外漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象設備の存在する溢水防護区画の水位が最も高くなるように溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン</p> <p>評価対象区画の床ドレン配管が他の区画とつながっている</p>	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊は同一区画内に複数の目皿がある場合においても、評価の保守性を大きくとる観点から目皿による溢水の流出は考慮していない。 (大飯と同様)</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 大飯は溢水防護区画と記載しているが、泊及び女川はガイドの記載を踏襲し、評価対象区画としている。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>場合は、水位差による流入量を考慮する。</p> <p>ただし、溢水防護区画内に設置されているドレン配管に逆止弁を設置している場合は、その効果を考慮する。</p> <p>b. 天井面開口部及び貫通部</p> <p>溢水防護区画の天井面に開口部又は貫通部がある場合は、上部の区画で発生した溢水量の全量が流入するものとする。</p> <p>ただし、開口部又は貫通部に流出防止対策を施している場合は、溢水防護区画への流入は考慮しない。</p> <p>c. 壁貫通部</p> <p>溢水防護区画の境界壁に貫通部が設置されている場合であって、隣の区画の溢水による水位が貫通部より高い位置にある場合は、隣室との水位差によって発生する流入量を考慮する。</p> <p>d. 扉</p> <p>溢水防護区画に扉が設置されている場合は、水位差による流入量を考慮する。</p> <p>ただし、水密扉については、水圧による水密性を確保でき、その水位に耐えられる強度を有しており、流入を考慮しない。</p> <p>e. 堰</p> <p>溢水が発生している区画に堰が設置され、他に流出経路が存在しない場合は、当該区画で発生した溢水は堰の高さまで蓄積されるものとする。</p> <p>f. 排水設備</p> <p>溢水防護区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(3) 溢水伝播</p> <p>上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを經由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p> <p>(添付資料1.3-1) 溢水防護区画の設定 (添付資料1.3-2) 溢水経路と溢水経路概念図 (添付資料1.3-3) 溢水影響評価で止水を期待できる設備</p>	<p>場合は、水位差による流入量を考慮した。</p> <p>ただし、評価対象区画内に設置されているドレン配管に逆止弁を設置している場合は、その効果を考慮した。</p> <p>b. 天井面開口部及び貫通部</p> <p>評価対象区画の天井面に開口部又は貫通部がある場合は、上部の区画で発生した溢水量の全量が流入するものとした。</p> <p>ただし、開口部又は貫通部に流出防止処置を施している場合は、評価対象区画への流入は考慮しない。</p> <p>c. 壁貫通部</p> <p>評価対象区画の境界壁の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合は、その貫通部からの流入を考慮した。</p> <p>ただし、境界壁の貫通部に流出防止処置を施している場合は、評価対象区画への流入は考慮しない。</p> <p>d. 扉</p> <p>評価対象区画に扉が設置されている場合は、水位差による流入量を考慮した。</p> <p>ただし、水密扉については、水圧に対し水密性が確保でき、その水圧に耐えられる強度を有しているため、流入を考慮しない。</p> <p>e. 堰</p> <p>溢水が発生している区画に堰が設置されており、他に流出経路が存在しない場合は、当該区画で発生した溢水は堰の高さまで蓄積されるものとした。</p> <p>f. 排水設備</p> <p>評価対象区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(3) 溢水伝播</p> <p>上層階の溢水は階段あるいは開口部を經由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p>場合は、水位差による流入量を考慮した。</p> <p>ただし、評価対象区画内に設置されているドレン配管に逆止弁を設置している場合は、その効果を考慮した。</p> <p>b. 天井面開口部及び貫通部</p> <p>評価対象区画の天井面に開口部又は貫通部がある場合は、上部の区画で発生した溢水量の全量が流入するものとした。</p> <p>ただし、開口部又は貫通部に流出防止処置を施している場合は、評価対象区画への流入は考慮しない。</p> <p>c. 壁貫通部</p> <p>評価対象区画の境界壁の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合は、その貫通部からの流入を考慮した。</p> <p>ただし、境界壁の貫通部に流出防止処置を施している場合は、評価対象区画への流入は考慮しない。</p> <p>d. 扉</p> <p>評価対象区画に扉が設置されている場合は、水位差による流入量を考慮した。</p> <p>ただし、水密扉については、水圧に対し水密性が確保でき、その水圧に耐えられる強度を有しているため、流入を考慮しない。</p> <p>e. 堰</p> <p>溢水が発生している区画に堰が設置されており、他に流出経路が存在しない場合は、当該区画で発生した溢水は堰の高さまで蓄積されるものとした。</p> <p>f. 排水設備</p> <p>評価対象区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(3) 溢水伝播</p> <p>上層階の溢水は階段あるいは開口部を經由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 大阪は溢水防護区画と記載しているが、泊及び女川はガイドの記載を踏襲し、評価対象区画としている。</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4 評価に用いる各項目の溢水影響評価</p> <p>1.4.1 想定破損による溢水</p> <p>1.4.1.1 想定破損による溢水源</p> <p>大飯3号炉及び4号炉における原子炉周辺建屋、制御建屋の流体を内包する配管を検討対象とし、建屋内の系統図から抽出し、溢水ガイド付録Aにしたがい、高エネルギー配管と低エネルギー配管に分類した。結果を表1.4.1.1-1及び表1.4.1.1-2に示す。</p> <p>溢水ガイドの記載のとおり、溢水源は高エネルギー、低エネルギー配管であり、応力評価により貫通クラック、完全全周破断等の破損形状を定め、溢水影響を評価（没水、蒸気）した。</p> <div data-bbox="129 614 645 829" data-label="Diagram"> <p>図 1.4.1.1-1 溢水源の配管リスト抽出フロー</p> </div> <div data-bbox="100 925 689 1189" data-label="Diagram"> <p>図 1.4.1.1-2 配管の想定破損形状</p> </div>	<p>5 想定破損評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>5.1 想定破損による溢水源</p> <p>(1) 破損を想定する配管の分類</p> <p>防護対象設備が設置されている建屋内の水系配管（油系統配管含む）について、高エネルギー配管^{※1}と低エネルギー配管^{※2}の分類フローに基づき、高エネルギー配管と低エネルギー配管に分類した。分類した結果を添付資料13に示す。溢水ガイドの記載のとおり、高エネルギー配管は完全全周破断、低エネルギー配管は貫通クラックを想定し、溢水影響を評価（没水評価及び蒸気評価）した。</p> <p>なお、一部の配管について、溢水ガイド附属書A「流体を内包する配管の破損による溢水の詳細評価手法について」の規定^{※3}を適用した。</p> <p>※1 「高エネルギー配管」は、呼び径25A(1B)を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が95℃を超えるか又は運転圧力が1.9MPa[gage]を超える配管。ただし、被水、蒸気については配管径に関係なく影響を評価した。なお、高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さければ、低エネルギー配管として扱う。</p> <p>※2 「低エネルギー配管」は、呼び径25A(1B)を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が95℃以下で、かつ運転圧力が1.9MPa[gage]以下の配管。（ただし静水頭圧の配管は除く）</p> <p>※3 溢水ガイド附属書Aでは、配管の発生応力S_nが許容応力S_aに対する条件を満足すれば、以下の想定が可能であることを規定している（以下、摘要）。</p> <p>【高エネルギー配管（ターミナルエンドを除く）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管 <ul style="list-style-type: none"> (a) クラス2, 3又は非安全系配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.4S_a \Rightarrow$ 想定破損なし $0.4S_a < S_n \leq 0.8S_a \Rightarrow$ 貫通クラック <p>【低エネルギー配管】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管 <ul style="list-style-type: none"> (a) クラス2, 3又は非安全系配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.4S_a \Rightarrow$ 想定破損なし 	<p>5 想定破損評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>5.1 想定破損による溢水源</p> <p>(1) 破損を想定する配管の分類</p> <p>防護対象設備が設置されている建屋内の水系配管（油系統配管含む）について、高エネルギー配管^{※1}と低エネルギー配管^{※2}の分類フローに基づき、高エネルギー配管と低エネルギー配管に分類した。分類した結果を添付資料12に示す。溢水ガイドの記載のとおり、高エネルギー配管は完全全周破断、低エネルギー配管は貫通クラックを想定し、溢水影響を評価（没水評価及び蒸気評価）した。</p> <p>なお、一部の配管について、溢水ガイド附属書A「流体を内包する配管の破損による溢水の詳細評価手法について」の規定^{※3}を適用した。</p> <p>※1 「高エネルギー配管」は、呼び径25A(1B)を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が95℃を超えるか又は運転圧力が1.9MPa[gage]を超える配管。ただし、被水、蒸気については配管径に関係なく影響を評価した。なお、高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さければ、低エネルギー配管として扱う。</p> <p>※2 「低エネルギー配管」は、呼び径25A(1B)を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が95℃以下で、かつ運転圧力が1.9MPa[gage]以下の配管。（ただし静水頭圧の配管は除く）</p> <p>※3 溢水ガイド附属書Aでは、配管の発生応力S_nが許容応力S_aに対する条件を満足すれば、以下の想定が可能であることを規定している（以下、摘要）。</p> <p>【高エネルギー配管（ターミナルエンドを除く）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管 <ul style="list-style-type: none"> (a) クラス2, 3又は非安全系配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.4S_a \Rightarrow$ 想定破損なし $0.4S_a < S_n \leq 0.8S_a \Rightarrow$ 貫通クラック <p>【低エネルギー配管】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管 <ul style="list-style-type: none"> (a) クラス2, 3又は非安全系配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.4S_a \Rightarrow$ 想定破損なし 	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.1.2 想定破損による溢水影響評価</p> <p>1.4.1.2.1 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>(1) 高エネルギー配管の破損形状の評価</p> <p>破損の想定はターミナルエンドと一般部（ターミナルエンド以外）について実施した。</p> <p>大阪3号炉及び4号炉における高エネルギー配管の破損の形状については、溢水ガイド附属書Aの高エネルギー配管の評価対象（25A以上）に対し、ターミナルエンドは完全全周破断、ターミナルエンド以外（一般部）は、許容応力の0.8倍又は、0.4倍に応じた破損形状とする旨の記載にしたがって評価している。</p> <p>応力評価は、配管仕様（内圧、自重、地震等）から標準支持間隔法により選定した代表配管ブロックについて3次元はりモデル解析で行う。また、代表とならなかった配管ブロックについても標準支持間隔法により、相対的な発生応力の確認を行う。標準支持間隔法では、評価対象となる配管系統が敷設される「建屋、階高、配管仕様」ごとに、「内圧」、「自重」、「地震動(1/3)Sa」により生じる一次応力が評価基準値以下となる標準支持間隔を算出し、対象配管ブロックの支持間隔と標準支持間隔を比較することで、単純支持はりのモデルによる二次応力評価とあわせて、発生応力（一次+二次応力が許容応力の0.8倍又は0.4倍以内であることを確認する。</p> <p>高エネルギー配管の破損形状の評価フローを図1.4.1.2.1-1に示す。</p>	<p>(2) 高エネルギー配管の破損形状の想定</p> <p>原則として、高エネルギー配管は「完全全周破断」を想定する。</p> <p>ただし、蒸気評価において、区画番号：R-1F-5, R-1F-12, R-B1F-1, R-B2F-1, R-B2F-5, R-B3F-2, C-1F-1及びC-1F-3に設置されている加熱蒸気系の配管、区画番号：R-B1F-1, R-B2F-1に設置されている加熱蒸気復水戻り系配管については、配管の発生応力Snを許容応力Saに対して、条件（$Sn \leq 0.4Sa$）に満足するように対策を講ずることとし、想定破損除外を適用した。</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外について、添付資料14に示す。</p> <p>なお、想定破損の除外を適用するに当たっては、評価対象範囲内にターミナルエンドが設置されていないことを確認している。</p>	<p>(2) 高エネルギー配管の破損形状の想定</p> <p>原則として、高エネルギー配管は「完全全周破断」を想定する。</p> <p>ただし、没水評価において、区画番号：3RB-F-N2に設置されている蒸気発生器ブローダウン系配管の一部（主蒸気管室外）及び主蒸気系（主蒸気管室外）については、配管の発生応力Snを許容応力Saに対して、条件（$Sn \leq 0.4Sa$）を満足することが確認できたことから、想定破損除外を適用した。</p> <p>また、蒸気評価において、区画番号：3RB-F-N2に設置されている蒸気発生器ブローダウン系配管の一部（主蒸気管室外）及び主蒸気系（主蒸気管室外）については、配管の発生応力Snを許容応力Saに対して、条件（$Sn \leq 0.4Sa$）を満足することが確認できたことから、想定破損除外を適用した。区画番号：3AB-D-N1, 3AB-D-2, 3RB-D-1, 3RB-D-2, 3RB-D-3, 3AB-H-1, 3AB-H-N4, 3AB-F-1, 3AB-F-N7, 3RB-E-2, 3RB-E-1, 3RB-F-N2に設置されている補助蒸気系配管については、配管の発生応力Snを許容応力Saに対して、条件（$0.4Sa < Sn \leq 0.8Sa$）を満足することが確認できたことから、破損形状は貫通クラックを想定した。</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて、添付資料13に示す。</p> <p>なお、想定破損の除外を適用するに当たっては、評価対象範囲内にターミナルエンドが設置されていないことを確認している。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は蒸気発生器ブローダウン系配管の一部（主蒸気管室外）及び主蒸気系（主蒸気管室外）については没水評価でも想定破損除外を適用している。</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>区画番号・系統名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・女川は想定破損除外を適用するにあたり対策を講ずるとしているが、泊は評価で満足しているため対策は講じていない。</p> <p>・泊では評価ガイドに従い、高エネルギー配管である補助蒸気系の応力評価を実施し、応力評価の結果により破損形態を低エネルギー配管相当である貫通クラックとして想定している。（大阪と同様）</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																							
<p>表 1.4.1.1-1 配管破損を想定する高エネルギー配管の抽出結果</p> <table border="1" data-bbox="208 231 595 630"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>溢水評価における対象範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">化学体積制御系</td> <td>封水注入配管</td> </tr> <tr> <td>充てん配管</td> </tr> <tr> <td>抽出配管</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主蒸気系</td> <td>主蒸気管</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし弁</td> </tr> <tr> <td>主蒸気隔離弁バイパス配管</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ドレン配管</td> </tr> <tr> <td>タービン動補助給水ポンプ駆動用蒸気配管</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主給水系</td> <td>主給水管</td> </tr> <tr> <td>主給水バイパス配管</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>蒸気発生器ブローダウン配管</td> </tr> <tr> <td>ブローダウン系</td> <td>〈貫通部～アングル弁〉</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>補助給水配管</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>補助蒸気供給配管</td> </tr> </tbody> </table>	系統名	溢水評価における対象範囲	化学体積制御系	封水注入配管	充てん配管	抽出配管	主蒸気系	主蒸気管	主蒸気逃がし弁	主蒸気隔離弁バイパス配管	主蒸気ドレン配管	タービン動補助給水ポンプ駆動用蒸気配管	主給水系	主給水管	主給水バイパス配管	蒸気発生器	蒸気発生器ブローダウン配管	ブローダウン系	〈貫通部～アングル弁〉	補助給水系	補助給水配管	補助蒸気系	補助蒸気供給配管			<p>【大飯】 <u>記載方針の相違</u> ・女川審査実績の反映 泊は添付資料13「高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて」に記載している。</p>
系統名	溢水評価における対象範囲																									
化学体積制御系	封水注入配管																									
	充てん配管																									
	抽出配管																									
主蒸気系	主蒸気管																									
	主蒸気逃がし弁																									
	主蒸気隔離弁バイパス配管																									
	主蒸気ドレン配管																									
	タービン動補助給水ポンプ駆動用蒸気配管																									
主給水系	主給水管																									
	主給水バイパス配管																									
蒸気発生器	蒸気発生器ブローダウン配管																									
ブローダウン系	〈貫通部～アングル弁〉																									
補助給水系	補助給水配管																									
補助蒸気系	補助蒸気供給配管																									
<p>図 1.4.1.2.1-1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																	
<p>(2) 低エネルギー配管の破損形状の評価</p> <p>大飯3号炉及び4号炉における低エネルギー配管の破損の形状については、溢水ガイド附属書Aの低エネルギー配管の評価対象（25A以上）に対し、許容応力の0.4倍を超える場合は貫通クラックを想定する旨の記載にしたがって評価している。</p> <p>応力評価は、配管仕様（内圧、自重、地震等）から標準支持間隔法により選定した代表配管ブロックについて3次元はりモデル解析で行う。また、代表とならなかった配管ブロックについても標準支持間隔法により、相対的な発生応力の確認を行う。</p> <p>標準支持間隔法では、評価対象となる配管系統が敷設される「建屋、階高、配管仕様」ごとに、「内圧」、「自重」、「地震動(1/3)Sd」により生じる一次応力が評価基準値以下となる標準支持間隔を算出し、対象配管ブロックの支持間隔と標準支持間隔を比較することで、単純支持はりのモデルによる二次応力評価とあわせて、発生応力（一次＋二次応力）が許容応力の0.8倍又は0.4倍以内であることを確認する。</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の評価フローは、図1.4.1.2.1-1と同じである。</p>	<p>(3) 低エネルギー配管の破損形状の想定</p> <p>原則として、低エネルギー配管は「貫通クラック」を想定する。</p> <p>ただし、区画番号:R-2F-1-1に設置されている換気空調補機常用冷却水系配管、区画番号:R-B3F-3、R-B3F-6及びR-B3F-7に設置されている残留熱除去系配管、区画番号:R-B3F-4に設置されている低圧炉心スプレイ系配管、区画番号:R-B3F-5に設置されている高圧炉心スプレイ系配管、区画番号:R-B3F-2に設置されている原子炉隔離時冷却系配管については、配管の発生応力S_nが許容応力S_aに対する条件（$S_n \leq 0.4S_a$）を満足することが確認できたことから、想定破損除外を適用した。低エネルギー配管の想定破損除外の評価結果について、添付資料15に示す。</p>	<p>(3) 低エネルギー配管の破損形状の想定</p> <p>原則として、低エネルギー配管は「貫通クラック」を想定する。</p> <p>ただし、防護対象設備が設置される原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋及び循環水ポンプ建屋に設置されている循環水管を除く低エネルギー配管については、配管の発生応力S_nが許容応力S_aに対する条件（$S_n \leq 0.4S_a$）を満足することが確認できたことから、想定破損除外を適用した。循環水管については、溢水ガイドに従い伸縮継手部の貫通クラックを想定した。低エネルギー配管の想定破損除外の評価結果について、添付資料14に示す。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違 【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・泊は防護対象設備が設置される建屋に設置されている低エネルギー配管は応力評価による想定破損除外を適用していることから、女川のような区画番号ではなく建屋名称を記載している。</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>																	
<p>表 1.4.1.1-2 配管破損を想定する低エネルギー配管の抽出結果</p> <table border="1" data-bbox="219 869 542 1225"> <thead> <tr> <th>系統名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉補機冷却系</td></tr> <tr><td>格納容器スプレイ系</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td></tr> <tr><td>冷水系</td></tr> <tr><td>1次系汚濁水系</td></tr> <tr><td>1次系放射性ドレン系（機器ドレン）</td></tr> <tr><td>1次系放射性ドレン系（床ドレン）</td></tr> <tr><td>原水消火水系</td></tr> <tr><td>1次系補給水系</td></tr> <tr><td>余熱除去系</td></tr> <tr><td>燃料取神用水系</td></tr> <tr><td>燃料ピット冷却浄化系</td></tr> <tr><td>安全注入系</td></tr> <tr><td>液体廃棄物処理系</td></tr> <tr><td>固体廃棄物処理系</td></tr> <tr><td>補助給水系（低圧配管該当部分）</td></tr> </tbody> </table> <p>（添付資料 1.4.1-1）想定破損による溢水源</p>	系統名	原子炉補機冷却系	格納容器スプレイ系	化学体積制御系	冷水系	1次系汚濁水系	1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	1次系放射性ドレン系（床ドレン）	原水消火水系	1次系補給水系	余熱除去系	燃料取神用水系	燃料ピット冷却浄化系	安全注入系	液体廃棄物処理系	固体廃棄物処理系	補助給水系（低圧配管該当部分）			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 泊は添付資料14「低エネルギー配管の想定破損除外について」に記載している。</p>
系統名																				
原子炉補機冷却系																				
格納容器スプレイ系																				
化学体積制御系																				
冷水系																				
1次系汚濁水系																				
1次系放射性ドレン系（機器ドレン）																				
1次系放射性ドレン系（床ドレン）																				
原水消火水系																				
1次系補給水系																				
余熱除去系																				
燃料取神用水系																				
燃料ピット冷却浄化系																				
安全注入系																				
液体廃棄物処理系																				
固体廃棄物処理系																				
補助給水系（低圧配管該当部分）																				

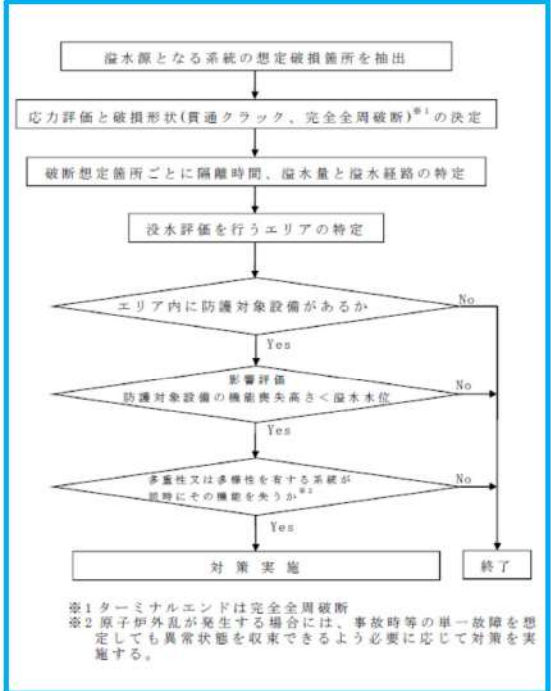
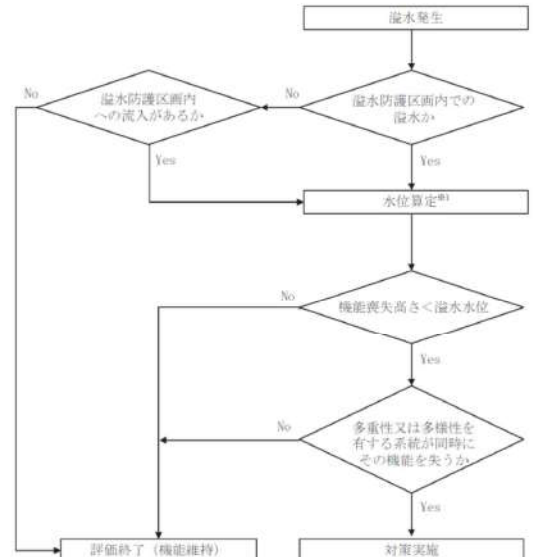
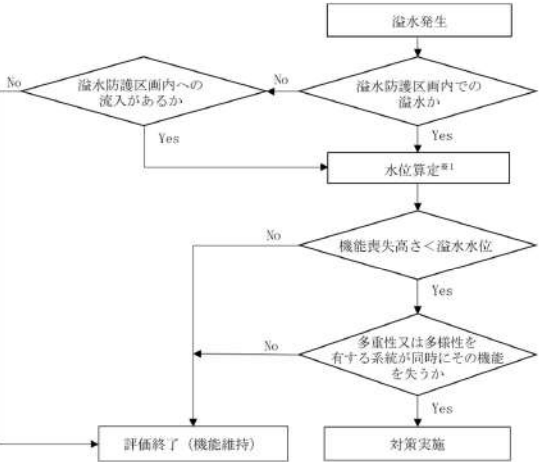
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.4.1.2.1-1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>	<p>(4) 減肉等による破損の評価について</p> <p>(2) 及び(3)項の評価結果により想定破損除外を行う箇所については、減肉、腐食、又は疲労による破損を別途想定し、非破壊検査によって当該部分の損傷状態を定期的実施管理することにより、減肉による破損の想定を除外した。</p> <p>減肉等による破損の評価結果について、添付資料16に示す。</p>	<p>(4) 減肉等による破損の評価について</p> <p>(2) 及び(3)項の評価結果により想定破損除外を行う箇所については、減肉、腐食、又は疲労による破損を別途想定し、非破壊検査によって当該部分の損傷状態を定期的実施管理することにより、減肉による破損の想定を除外した。</p> <p>減肉等による破損の評価結果について、添付資料15に示す。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p> <p>泊は添付資料13「高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて」に記載している。</p>
			<p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価フロー 高エネルギー配管、低エネルギー配管の溢水量に基づき、溢水経路上のエリアの没水評価を実施する。(図1.4.1.2.1-2)</p>  <p>図1.4.1.2.1-2 想定破損による没水影響評価フロー</p> <p>(4) 高エネルギー配管の没水影響評価 溢水源となりうる系統ごとに系統上の想定破損箇所に対して溢水経路図を作成し、フロアごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さの比較により没水影響を評価した。 溢水量については、応力評価の結果により想定した破損形状による溢水を想定し、異常の検知、事象の判断及び漏えい箇所の特定並びに漏えい箇所の隔離等により漏えい停止するまでの時間（運転員の状況確認及び隔離操作を含む。）に保守性を考慮して設定し、溢水量を算出したところ、溢水源に基づいて評価した評価対象区画における最高水位が、防護対象設備</p>	<p>5.2 想定破損による没水影響評価 (1) 想定破損による没水影響評価フロー 高エネルギー配管、低エネルギー配管の溢水量に基づき、溢水経路上のエリアの没水評価を実施した。評価に用いる溢水量は、区画内にある溢水源のうち、最も溢水量が大きくなる系統を溢水源として設定した。 図5-1に想定破損による没水影響評価フローを示す。</p>  <p>図5-1 想定破損による没水影響評価フロー</p> <p>(2) 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価結果 溢水源となりうる系統毎に系統上の想定破損箇所に対して溢水伝播フロー図を作成し、区画毎に溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さの比較により没水影響を評価した。 高エネルギー配管の没水評価では、完全全周破断による溢水を想定し、隔離による漏えい停止に必要な時間から溢水量を算定した。想定する破損箇所は溢水評価上最も保守的となる位置での破損を想定し、設置レベル等にかかわらず、評価対象となるすべての区画に対して同じ値を用いて評価を実施した。</p>	<p>5. 2 想定破損による没水影響評価 (1) 想定破損による没水影響評価フロー 高エネルギー配管、低エネルギー配管の溢水量に基づき、溢水経路上のエリアの没水評価を実施した。評価に用いる溢水量は、区画内にある溢水源のうち、最も溢水量が大きくなる系統を溢水源として設定した。 図5-1に想定破損による没水影響評価フローを示す。</p>  <p>図5-1 想定破損による没水影響評価フロー</p> <p>(2) 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価結果 溢水源となりうる系統ごとに系統上の想定破損箇所に対して溢水経路図を作成し、区画ごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さの比較により没水影響を評価した。 高エネルギー配管の没水評価では、完全全周破断による溢水を想定し、隔離による漏えい停止に必要な時間から溢水量を算定した。想定する破損箇所は溢水評価上最も保守的となる位置での破損を想定し、設置レベル等にかかわらず、評価対象となるすべての区画に対して同じ値を用いて評価を実施した。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊（PWR）は溢水経路図を作成し溢水伝播経路を確認している。 （大飯と同様）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由		
<p>表 1.4.1.2.1-1 大飯3号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その3</p>								
系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R上[m])	②機軸喪失高さ (R上[m])	影響評価	判定
主給水系統	主給水管 （貫通部～配管）	12分0秒						
	主給水バイパス （貫通部～配管）	17分50秒						
補給給水系統	補給給水配管 （注水配管分岐～配管）	17分						
補給蒸気系統	補給蒸気供給配管	1分						

<p>表 1.4.1.2.1-1 大飯3号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その4</p>								
系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R上[m])	②機軸喪失高さ (R上[m])	影響評価	判定
蒸気発生器プロング配管系統	蒸気発生器プロング配管 （貫通部～配管）	17分						
	補給給水配管 （注水配管分岐～配管）	17分						
補給蒸気系統	補給蒸気供給配管	1分						

<p>表 1.4.1.2.1-2 大飯4号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その1</p>								
系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R上[m])	②機軸喪失高さ (R上[m])	影響評価	判定
冷却水配管系統	冷却水配管 （注水配管分岐～配管）	17分						
	冷却水配管 （注水配管分岐～配管）	17分						
蒸気発生器配管系統	蒸気発生器配管 （注水配管分岐～配管）	17分						
	蒸気発生器配管 （注水配管分岐～配管）	17分						

【大飯】
 記載方針の相違
 ・女川審査実績の反映
 泊は添付資料17「想定破損による没水影響評価結果」に記載している。

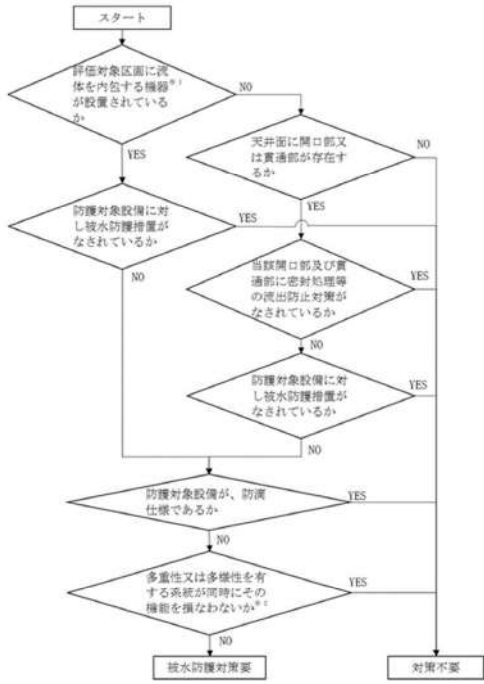
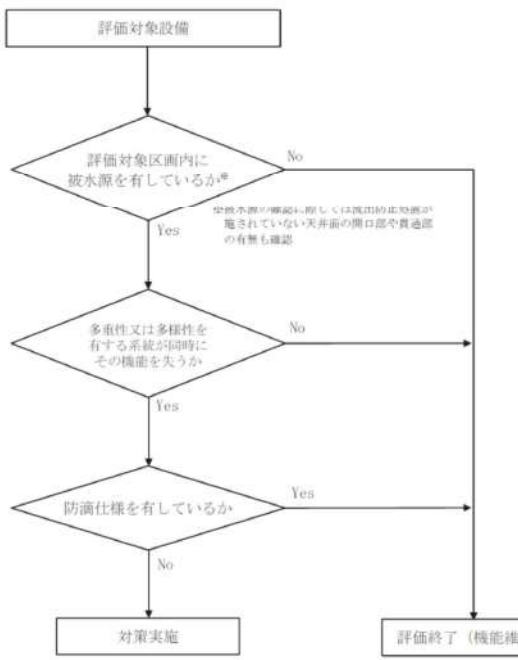
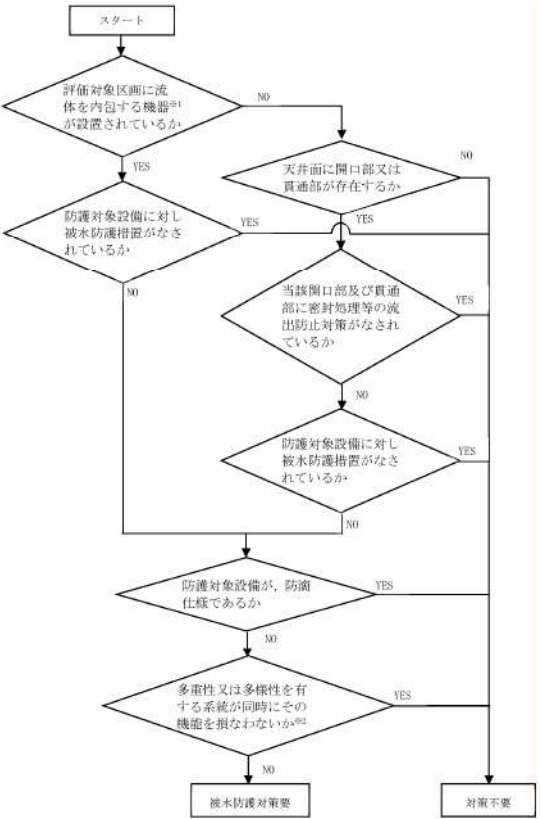
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
<p>表 1.4.1.2.1-2 大飯4号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>隔離時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①没水水位 (R.L.[m])</th> <th>②機器喪失高さ (R.L.[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主蒸気系</td> <td>主蒸気ライン 三方配管等 で検知に5分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。</td> <td>12分5秒</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)</td> <td>1.049</td> <td>8.75</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>主蒸気送給し弁 主蒸気送給弁 バイパス配管 (主蒸気管分岐 →隔離弁)</td> <td>17分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主給水系</td> <td>主給水ライン 三方配管等 で検知に5分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。</td> <td>12分5秒</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)</td> <td>1.015</td> <td>8.75</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>主給水バイパス 配管(一回路) タービン駆動給 水ポンプ駆動 弁バイパス配管 (主蒸気管分岐 →隔離弁)</td> <td>17分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>①没水水位は防護対象設備の機器喪失高さより低いこと。②1号機は機器喪失高さより低いこと。</p>	系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L.[m])	②機器喪失高さ (R.L.[m])	影響評価	判定	主蒸気系	主蒸気ライン 三方配管等 で検知に5分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。	12分5秒	33.6 (26.0)	4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)	1.049	8.75	①×②	A	主蒸気送給し弁 主蒸気送給弁 バイパス配管 (主蒸気管分岐 →隔離弁)	17分							主給水系	主給水ライン 三方配管等 で検知に5分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。	12分5秒	33.6 (26.0)	4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)	1.015	8.75	①×②	A	主給水バイパス 配管(一回路) タービン駆動給 水ポンプ駆動 弁バイパス配管 (主蒸気管分岐 →隔離弁)	17分									<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 泊は添付資料17「想定破損による 没水影響評価結果」に記載してい る。</p>																	
系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L.[m])	②機器喪失高さ (R.L.[m])	影響評価	判定																																																							
主蒸気系	主蒸気ライン 三方配管等 で検知に5分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。	12分5秒	33.6 (26.0)	4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)	1.049	8.75	①×②	A																																																							
	主蒸気送給し弁 主蒸気送給弁 バイパス配管 (主蒸気管分岐 →隔離弁)	17分																																																													
主給水系	主給水ライン 三方配管等 で検知に5分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。	12分5秒	33.6 (26.0)	4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)	1.015	8.75	①×②	A																																																							
	主給水バイパス 配管(一回路) タービン駆動給 水ポンプ駆動 弁バイパス配管 (主蒸気管分岐 →隔離弁)	17分																																																													
<p>表 1.4.1.2.1-2 大飯4号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>隔離時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①没水水位 (R.L.[m])</th> <th>②機器喪失高さ (R.L.[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主給水系</td> <td>主給水管 (貫通部→逆止 弁)</td> <td>12分5秒</td> <td>33.8 (26.0)</td> <td>4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)</td> <td>1.106</td> <td>8.75</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>主給水バイパス 配管(貫通部→上流 分岐)</td> <td>17分50秒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低エネルギー配管</td> <td>低エネルギー配管 子母トリップ (一回路)で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止機 械で5分</td> <td>17分50秒</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)</td> <td>1.027</td> <td>8.75</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>低エネルギー配管 子母トリップ (二回路)で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止機 械で5分</td> <td>17分50秒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>①没水水位は防護対象設備の機器喪失高さより低いこと。②1号機は機器喪失高さより低いこと。</p>	系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L.[m])	②機器喪失高さ (R.L.[m])	影響評価	判定	主給水系	主給水管 (貫通部→逆止 弁)	12分5秒	33.8 (26.0)	4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)	1.106	8.75	①×②	A	主給水バイパス 配管(貫通部→上流 分岐)	17分50秒							低エネルギー配管	低エネルギー配管 子母トリップ (一回路)で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止機 械で5分	17分50秒	33.6 (26.0)	4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)	1.027	8.75	①×②	A	低エネルギー配管 子母トリップ (二回路)で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止機 械で5分	17分50秒																										
系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L.[m])	②機器喪失高さ (R.L.[m])	影響評価	判定																																																							
主給水系	主給水管 (貫通部→逆止 弁)	12分5秒	33.8 (26.0)	4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)	1.106	8.75	①×②	A																																																							
	主給水バイパス 配管(貫通部→上流 分岐)	17分50秒																																																													
低エネルギー配管	低エネルギー配管 子母トリップ (一回路)で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止機 械で5分	17分50秒	33.6 (26.0)	4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)	1.027	8.75	①×②	A																																																							
	低エネルギー配管 子母トリップ (二回路)で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止機 械で5分	17分50秒																																																													
<p>表 1.4.1.2.1-2 大飯4号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その4</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>隔離時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①没水水位 (R.L.[m])</th> <th>②機器喪失高さ (R.L.[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">低エネルギー配管</td> <td>低エネルギー配管 子母トリップ (一回路)で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止機 械で5分</td> <td>17分</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)</td> <td>1.094</td> <td>8.75</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>低エネルギー配管 子母トリップ (二回路)で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止機 械で5分</td> <td>17分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補助給水系</td> <td>補助給水配管 (主給水管分岐 →逆止弁)</td> <td>17分</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)</td> <td>1.908</td> <td>8.75</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>補助給水配管 (主給水管分岐 →逆止弁)</td> <td>17分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">隔離弁</td> <td>隔離弁</td> <td>17.1分</td> <td>17.1</td> <td>4A, 4B 燃料貯蔵用ポンプ</td> <td>0.094</td> <td>0.47</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>隔離弁</td> <td>28.1分</td> <td>28.1</td> <td>4A, 4B 中圧制御室循環ファン</td> <td>0.012</td> <td>0.20</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>	系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L.[m])	②機器喪失高さ (R.L.[m])	影響評価	判定	低エネルギー配管	低エネルギー配管 子母トリップ (一回路)で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止機 械で5分	17分	33.6 (26.0)	4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)	1.094	8.75	①×②	A	低エネルギー配管 子母トリップ (二回路)で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止機 械で5分	17分							補助給水系	補助給水配管 (主給水管分岐 →逆止弁)	17分	33.6 (26.0)	4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)	1.908	8.75	①×②	A	補助給水配管 (主給水管分岐 →逆止弁)	17分							隔離弁	隔離弁	17.1分	17.1	4A, 4B 燃料貯蔵用ポンプ	0.094	0.47	①×②	A	隔離弁	28.1分	28.1	4A, 4B 中圧制御室循環ファン	0.012	0.20	①×②	A			
系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L.[m])	②機器喪失高さ (R.L.[m])	影響評価	判定																																																							
低エネルギー配管	低エネルギー配管 子母トリップ (一回路)で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止機 械で5分	17分	33.6 (26.0)	4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)	1.094	8.75	①×②	A																																																							
	低エネルギー配管 子母トリップ (二回路)で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止機 械で5分	17分																																																													
補助給水系	補助給水配管 (主給水管分岐 →逆止弁)	17分	33.6 (26.0)	4タービン駆動給水 ポンプ駆動弁A,B (0F-06~07DA, B)	1.908	8.75	①×②	A																																																							
	補助給水配管 (主給水管分岐 →逆止弁)	17分																																																													
隔離弁	隔離弁	17.1分	17.1	4A, 4B 燃料貯蔵用ポンプ	0.094	0.47	①×②	A																																																							
	隔離弁	28.1分	28.1	4A, 4B 中圧制御室循環ファン	0.012	0.20	①×②	A																																																							
<p>(5) 低エネルギー配管の没水影響評価</p> <p>低エネルギー配管は、対象配管の最大支持間隔における発生応力が評価基準値以内にあり、破損の想定を要する低エネルギー配管はなく、没水は発生しないことを確認した。</p> <p>(添付資料 1.4.1-2 想定破損による溢水影響評価(没水影響評価))</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 泊は添付資料17「想定破損による 没水影響評価結果」に記載してい る。</p>																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価</p> <p>被水影響評価については、防護対象設備に対して、想定破損の有無によらずに溢水源となる配管からの飛散による被水、天井面の開口部又は貫通部（密封処理等の流出防止対策がなされているものを除く）からの被水影響を検討した。</p> <p>飛散距離については、溢水ガイドでは管内圧力、重力を考慮した弾道計算モデルが示されている。そこで、本評価では被水源との距離によらずに防護対象設備と同じ区画内にある溢水源を検討対象とすることとし、対象の有無を現場ウォークダウンにより確認し、以下の①～⑤の項目を確認した。ここで、溢水防護区画において被水による影響を評価するための区画を評価対象区画という。</p>  <p>※1 蒸気を内包する場合は蒸気影響の項で評価する。 ※2 原子炉外乱が発生する場合には、事故時等の単一故障を想定しても異常状態を取束できるよう必要に応じて対策を実施する。</p> <p>図1.4.1.2.2-1 被水影響評価フロー</p>	<p>5. 3 想定破損による被水影響評価</p> <p>(1) 想定破損による被水影響評価フロー</p> <p>評価対象区画内の通過配管の想定破損による直接の被水、天井面の開口部又は貫通部からの被水を考慮し、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <p>飛散距離については、溢水ガイドでは管内圧力、重力を考慮した弾道計算モデルが示されているが、本評価では被水源との距離によらず、被水影響のある防護対象設備を検討対象とした。</p> <p>図5-2に想定破損による被水影響評価フローを示す。</p>  <p>図5-2 想定破損による被水影響評価フロー</p>	<p>5. 3 想定破損による被水影響評価</p> <p>(1) 想定破損による被水影響評価フロー</p> <p>評価対象区画内の通過配管の想定破損による直接の被水、天井面の開口部又は貫通部からの被水を考慮し、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <p>飛散距離については、溢水ガイドでは管内圧力、重力を考慮した弾道計算モデルが示されているが、本評価では被水源との距離によらず、被水影響のある防護対象設備を検討対象とした。</p> <p>図5-2に想定破損による被水影響評価フローを示す。</p>  <p>※1 蒸気を内包する場合は蒸気影響の項で評価する。 ※2 原子炉外乱が発生する場合には、事故時等の単一故障を想定しても異常状態を取束できるよう必要に応じて対策を実施する。</p> <p>図5-2 想定破損による被水影響評価フロー</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違 【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊では、溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い、被水源（開口部を含む）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④）、防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し、最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>②評価対象区画に流体を内包する機器が設置されていない場合は、天井面に開口部又は貫通部が存在しないこと。</p> <p>③評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、かつ、天井面に開口部又は貫通部が存在する場合は、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていること。</p> <p>①評価対象区画に流体を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること。</p> <p>④評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていない場合にあつては、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること。</p> <p>⑤上記①～④を満足しない場合は、防護対象設備が防滴仕様であること。</p> <p>⑥上記①～⑤を満足しない場合は、被水防護対策を実施した。</p> <p>ただし、多重性又は多様性を有し各々が別区画に設置している防護対象設備で、同時にその機能を損なわない場合は機能が維持されるものとし、タンク、熱交換器、フィルタ等被水しても機能喪失しない静的機器についても機能が維持されるものとする。</p>	<p>(2) 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価結果 被水影響評価は以下の観点で確認を行い、一部必要となる被水防護対策(保護カバーの設置、コーキング処理等)を実施することにより、被水により防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>a. 防護対象設備が設置されている評価対象区画内に被水源を有しているか。 なお、被水源の確認に際しては流出防止処置が施されていない天井面の開口部や貫通部の有無も確認する。</p> <p>c. 防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級(IPコード)」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有しているか。</p> <p>b. 当該設備の機能喪失により多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないか。</p> <p>想定破損による被水影響評価結果について、添付資料20に示す。また、評価結果から必要となる設備対策について、添付資料21に示す。</p>	<p>(2) 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価結果 被水影響評価は以下の観点で確認を行い、一部必要となる被水防護対策(保護カバーの設置、コーキング処理等)を実施することにより、被水により防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>a. 防護対象設備が設置されている評価対象区画内に被水源を有しているか。 なお、被水源の確認に際しては流出防止処置が施されていない天井面の開口部や貫通部の有無も確認する。</p> <p>b. 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか。</p> <p>c. 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていない場合にあつては、防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか。</p> <p>d. 防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級(IPコード)」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有しているか。</p> <p>e. 当該設備の機能喪失により多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないか。</p> <p>想定破損による被水影響評価結果について、添付資料18に示す。</p>	<p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u> 被水影響評価フローは前述の通り大阪と同様であるが、女川の審査実績を踏まえ、女川の被水影響評価の記載方針を取り入れた。図5-2「被水影響評価フロー」に基づく判定項目及び順序には相違は無い。</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊では、溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い、被水源（開口部を含む）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④）、防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し、最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。（大阪と同様）</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> ・図5-2「被水影響評価フロー」の相違により、b.とc.の記載順序が異なる。 ・泊は被水影響評価結果から必要となる設備対策は無いことから、女川の添付資料21に該当する資料は作成していない。なお、防護対象設備の防滴仕様等の詳細については補足説明資料16「防滴仕様の被水評価における妥当性について」に示している。</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p>

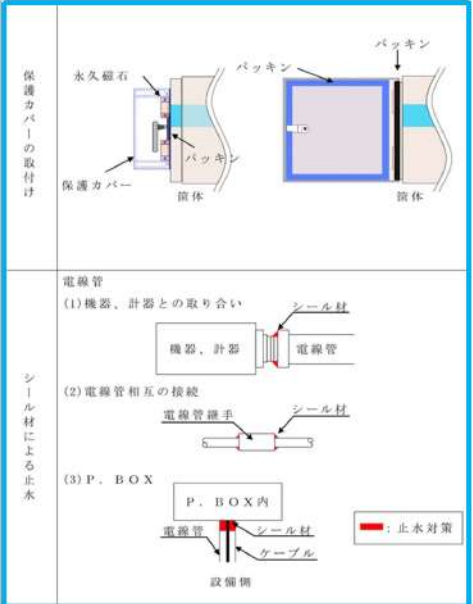
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
<p>なお、溢水ガイドで要求している「中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路にあつては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても接近の可能性が失われないことを確認する。」については、（補足資料）「15運転員のアクセス性(温度、放射線、薬品、漂流物)」にて評価する。以上の評価から被水防護対策が必要なものについては、保護カバーの設置等、必要な対策を行う。評価フローを図1.4.1.2.2-1に示す。</p> <p>評価結果のうち一部を表1.4.1.2.2-1,2に示す。被水防護対策は、図1.4.1.2.2-2に示すように、保護カバーの取付け、シール材による止水等を行っている。</p> <p>（添付資料1.4.1-3）想定破損による溢水影響評価(被水影響評価)</p> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>(図1.4.1.2.2-1 被水影響評価フロー)</p> </div> <p>表 1.4.1.2.2-1 大飯3号炉 被水影響評価結果（一部抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="152 766 645 1098"> <thead> <tr> <th>防護対象</th> <th>溢水源</th> <th>判定</th> <th>判定理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ 現場操作箱</td> <td>スプリンクラー</td> <td>○</td> <td>被水防護対策</td> </tr> <tr> <td>3 原子炉トリップ遮断 器盤(3RTS)</td> <td>なし</td> <td>○</td> <td>天井面に開口部 又は、貫通部がない。</td> </tr> <tr> <td>3A ディーゼル発電機制 御盤(3DGC-A)</td> <td>なし</td> <td>○</td> <td>天井面の開口部 又は貫通部には 密封処理。</td> </tr> <tr> <td>3A, 3B 制御用空気格納 容器隔離弁 (3V-1A-508A, B)</td> <td>スプリンクラー</td> <td>○</td> <td>トレン分離され ており複数系統 が同時に機能喪 失しない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 1.4.1.2.2-2 大飯4号炉 被水影響評価結果（一部抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="152 1157 645 1473"> <thead> <tr> <th>防護対象</th> <th>溢水源</th> <th>判定</th> <th>判定理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4A, 4B, 4C, 4D 空調用冷水ポンプ 現場操作箱</td> <td>スプリンクラー</td> <td>○</td> <td>被水防護対策</td> </tr> <tr> <td>4 原子炉トリップ遮断 器盤(4RTS)</td> <td>なし</td> <td>○</td> <td>天井面に開口部 又は、貫通部がない。</td> </tr> <tr> <td>4A ディーゼル発電機制 御盤(4DGC-A)</td> <td>なし</td> <td>○</td> <td>天井面の開口部 又は貫通部には 密封処理。</td> </tr> <tr> <td>4A, 4B 制御用空気格納 容器隔離弁 (4V-1A-508A, B)</td> <td>スプリンクラー</td> <td>○</td> <td>トレン分離され ており複数系統 が同時に機能喪 失しない。</td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	溢水源	判定	判定理由	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ 現場操作箱	スプリンクラー	○	被水防護対策	3 原子炉トリップ遮断 器盤(3RTS)	なし	○	天井面に開口部 又は、貫通部がない。	3A ディーゼル発電機制 御盤(3DGC-A)	なし	○	天井面の開口部 又は貫通部には 密封処理。	3A, 3B 制御用空気格納 容器隔離弁 (3V-1A-508A, B)	スプリンクラー	○	トレン分離され ており複数系統 が同時に機能喪 失しない。	防護対象	溢水源	判定	判定理由	4A, 4B, 4C, 4D 空調用冷水ポンプ 現場操作箱	スプリンクラー	○	被水防護対策	4 原子炉トリップ遮断 器盤(4RTS)	なし	○	天井面に開口部 又は、貫通部がない。	4A ディーゼル発電機制 御盤(4DGC-A)	なし	○	天井面の開口部 又は貫通部には 密封処理。	4A, 4B 制御用空気格納 容器隔離弁 (4V-1A-508A, B)	スプリンクラー	○	トレン分離され ており複数系統 が同時に機能喪 失しない。			<p>【大飯】 記載方針の相違 泊は補足説明資料11「運転員のアクセス性」に記載している。</p> <p>【大飯】 記載箇所の相違 大飯の図1.4.1.2.2-1は横並びのため前頁に記載箇所を移動した。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 泊は補足説明資料16「防滴仕様の被水評価における妥当性について」に記載している。</p>
防護対象	溢水源	判定	判定理由																																								
3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ 現場操作箱	スプリンクラー	○	被水防護対策																																								
3 原子炉トリップ遮断 器盤(3RTS)	なし	○	天井面に開口部 又は、貫通部がない。																																								
3A ディーゼル発電機制 御盤(3DGC-A)	なし	○	天井面の開口部 又は貫通部には 密封処理。																																								
3A, 3B 制御用空気格納 容器隔離弁 (3V-1A-508A, B)	スプリンクラー	○	トレン分離され ており複数系統 が同時に機能喪 失しない。																																								
防護対象	溢水源	判定	判定理由																																								
4A, 4B, 4C, 4D 空調用冷水ポンプ 現場操作箱	スプリンクラー	○	被水防護対策																																								
4 原子炉トリップ遮断 器盤(4RTS)	なし	○	天井面に開口部 又は、貫通部がない。																																								
4A ディーゼル発電機制 御盤(4DGC-A)	なし	○	天井面の開口部 又は貫通部には 密封処理。																																								
4A, 4B 制御用空気格納 容器隔離弁 (4V-1A-508A, B)	スプリンクラー	○	トレン分離され ており複数系統 が同時に機能喪 失しない。																																								

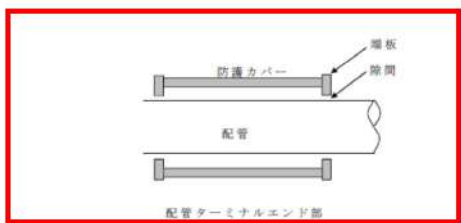
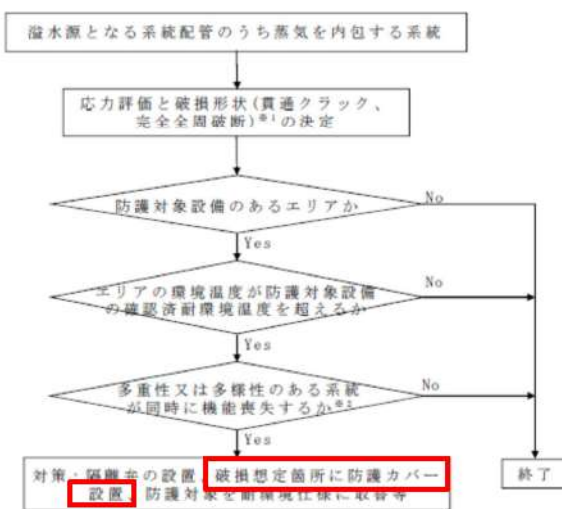
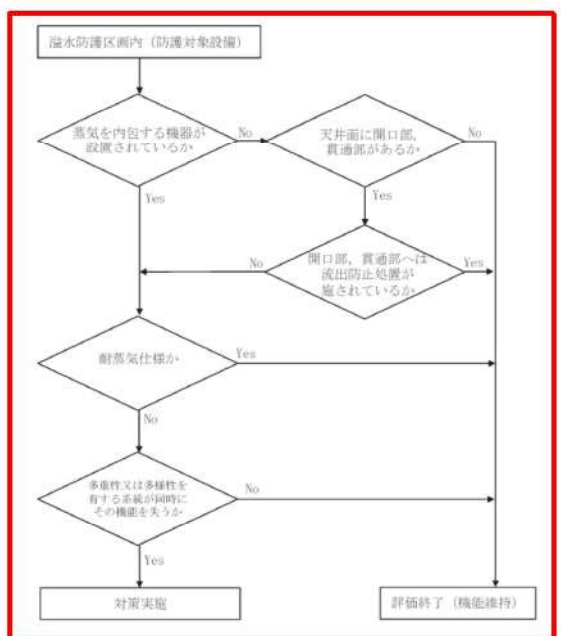
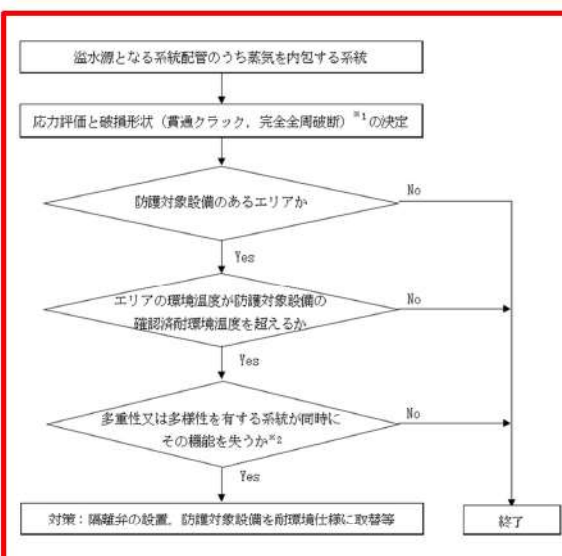
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図1.4.1.1.2.2-2 被水防護対策概略図（例）</p>	<p>5. 4 想定破損による蒸気影響評価</p> <p>(1) 想定破損による蒸気影響評価フロー</p> <p>機器の破損に起因する蒸気による防護対象設備への影響について、蒸気の発生源の有無、伝播、防護対象設備の耐環境仕様等の観点から、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p>	<p>5. 4 想定破損による蒸気影響評価</p> <p>(1) 想定破損による蒸気影響評価フロー</p> <p>機器の破損に起因する蒸気による防護対象設備への影響について、蒸気の発生源の有無、伝播、防護対象設備の耐環境仕様等の観点から、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>泊は補足説明資料16「防滴仕様の被水評価における妥当性について」に記載している。</p>
<p>1.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価</p> <p>溢水源となる配管のうち、蒸気を内包する配管に対し、系統ごとにすべての想定破損箇所（貫通ラック又は完全全周破断。ただし、ターミナルエンドは完全全周破断）のエリアにおいて、防護対象設備があれば、蒸気影響評価を実施した。なお、系統隔離により蒸気量を制限しているものについては、漏えい検知及び隔離手段に応じた隔離時間を設定し、環境温度を算出した。</p> <p>蒸気影響評価の結果、対策が必要なものは以下の対策を実施する。</p> <p>①隔離弁の設置等により蒸気流出量を制限する。</p> <p>②破断配管からの蒸気流出量を制限し、防護区画の環境影響を軽減する。具体的には破損想定箇所に防護カバーを設置する。（防護カバーは2重管の形状をしており、破断時に防護カバーと配管の隙間を狭く制限することで蒸気流出量を制限する。）</p>	<p>【東海第二】</p> <p>まとめ資料 p.9条-別添1-109より抜粋</p> <p>このとき、熱流体解析コードを用い、実機を模擬した空調条件や解析区画を設定して解析を実施し、防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。また、破損想定箇所の近傍に防護対象設備が設置されている場合は、漏えい蒸気の直接噴出による防護対象設備への影響も考慮するとともに、溢水を起因とする運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故に対処するために必要な機器の単一故障も考慮する。</p> <p>図5-3に想定破損による蒸気影響評価フローを示す。</p>	<p>このとき、熱流体解析コードを用い、実機を模擬した空調条件や解析区画を設定して解析を実施し、防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。また、破損想定箇所の近傍に防護対象設備が設置されている場合は、漏えい蒸気の直接噴出による防護対象設備への影響も考慮するとともに、溢水を起因とする運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故に対処するために必要な機器の単一故障も考慮する。</p> <p>図5-3に想定破損による蒸気影響評価フローを示す。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では熱流体解析コードを用いた蒸気伝播解析を実施し、溢水防護対象設備に対する蒸気影響を評価している。また、直接噴出による防護対象設備への影響も考慮している。（先行PWRと同様、記載は東海第二と同様）</p> <p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では蒸気の対策として防護カバーを設置していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>③耐環境性がある計器に取り替える。 以上による評価結果のうち、防護区画の環境温度が最も高くなった結果を表1.4.1.2.3-1,2に示す。</p>  <p>図1.4.1.2.3-1配管ターミナルエンド部の防護カバーの構造例</p>  <p>図1.4.1.2.3-2 蒸気影響評価フロー</p>	 <p>図5-3 想定破損による蒸気影響評価フロー</p>	 <p>図5-3 想定破損による蒸気影響評価フロー</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 泊では蒸気の対策として防護カバーを設置していない。</p> <p>設計方針の相違 ・泊では蒸気伝播解析により防護対象設備が設置される区画の環境温度を確認し、防護対象設備の耐環境温度を超えないことを確認しているため、女川とは評価フローが異なる。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 泊では蒸気の対策として防護カバーを設置していない。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>表1.4.1.2.3-1 大飯3号炉 蒸気影響評価の結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>想定範囲</th> <th>防護対象設備</th> <th>隔離</th> <th>最大温度</th> <th>影響評価</th> <th>判定#1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>抽出配管/非生命再冷却器入口</td> <td>3 充てん格納容器隔離弁 (3V-CS-157)他</td> <td>遠隔手動</td> <td>95</td> <td>蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>補助蒸気供給配管</td> <td>3A 中央制御室空調ファン他</td> <td>自動</td> <td>102</td> <td>蒸気漏えいによる環境温度の変化は急であるが、温度センサで検知し、自動隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ローダウンスンシステム</td> <td>蒸気発生器ローダウンスン配管</td> <td>3A 制御用空気供給母管圧力 (3PT-1800)他</td> <td>遠隔手動</td> <td>95</td> <td>蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 耐蒸気性能試験及び直接噴射による影響評価にて、すべての防護対象設備について 120℃の耐蒸気性能を有することを確認している。</p>	系統	想定範囲	防護対象設備	隔離	最大温度	影響評価	判定#1	化学体積制御系	抽出配管/非生命再冷却器入口	3 充てん格納容器隔離弁 (3V-CS-157)他	遠隔手動	95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○	補助蒸気系	補助蒸気供給配管	3A 中央制御室空調ファン他	自動	102	蒸気漏えいによる環境温度の変化は急であるが、温度センサで検知し、自動隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○	蒸気発生器ローダウンスンシステム	蒸気発生器ローダウンスン配管	3A 制御用空気供給母管圧力 (3PT-1800)他	遠隔手動	95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○	<p>(2) 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価結果</p> <p>蒸気影響評価は以下の観点で確認を行い、想定破損の除外を適用すること、一部必要となる設備対策を実施することにより、蒸気により防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>a. 防護対象区画内に蒸気を内包する設備がないか。 b. 防護対象区画の天井面に開口部又は貫通部がないか。 c. 防護対象設備が耐蒸気仕様を有しているか。 d. 当該設備の機能喪失により多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないか。</p> <p>想定破損による蒸気影響評価結果について、添付資料22に示す。また、評価結果から必要となる設備対策について、添付資料23に示す。</p>	<p>(2) 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価結果</p> <p>蒸気影響評価は以下の観点で確認を行い、想定破損の除外を適用すること、一部必要となる設備対策を実施することにより、蒸気により防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>a. 防護対象区画内に蒸気を内包する設備がないか。 b. 防護対象区画の環境温度が防護対象設備の確認済耐環境温度を超えないか。 c. 当該設備の機能喪失により多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないか。</p> <p>想定破損による蒸気影響評価結果について、添付資料19に示す。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違 女川審査実績の反映 泊は補足説明資料20「蒸気拡散解析による蒸気影響評価結果」に記載している。</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違 ・泊では蒸気伝播解析により防護対象設備が設置される区画の環境温度を確認し、防護対象設備の耐環境温度を超えないことを確認している。(大飯と同様。大飯はフロアの2番目のひし形に記載)</p> <p>記載方針の相違 防護対象設備が退場機使用であることを確認していることは同じであるが、泊はフローに示すとおり蒸気伝播解析により確認しているため、当該記載をしている。(大飯と同様であり、大飯はフローに記載)</p> <p>記載表現の相違 記載方針の相違</p> <p>泊は蒸気影響評価結果から必要となる設備対策は無いことから、女川の添付資料22に該当する資料は作成していない。</p>
系統	想定範囲	防護対象設備	隔離	最大温度	影響評価	判定#1																									
化学体積制御系	抽出配管/非生命再冷却器入口	3 充てん格納容器隔離弁 (3V-CS-157)他	遠隔手動	95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○																									
補助蒸気系	補助蒸気供給配管	3A 中央制御室空調ファン他	自動	102	蒸気漏えいによる環境温度の変化は急であるが、温度センサで検知し、自動隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○																									
蒸気発生器ローダウンスンシステム	蒸気発生器ローダウンスン配管	3A 制御用空気供給母管圧力 (3PT-1800)他	遠隔手動	95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○																									
<p>表1.4.1.2.3-2 大飯4号炉 蒸気影響評価の結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>想定範囲</th> <th>防護対象設備</th> <th>隔離</th> <th>最大温度</th> <th>影響評価</th> <th>判定#1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>抽出配管/非生命再冷却器入口</td> <td>4 充てん格納容器隔離弁 (4V-CS-157)他</td> <td>遠隔手動</td> <td>95</td> <td>蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>補助蒸気供給配管</td> <td>4A 中央制御室空調ファン他</td> <td>自動</td> <td>95</td> <td>蒸気漏えいによる環境温度の変化は急であるが、温度センサで検知し、自動隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ローダウンスンシステム</td> <td>蒸気発生器ローダウンスン配管</td> <td>4A 制御用空気供給母管圧力 (4PT-1800)他</td> <td>遠隔手動</td> <td>95</td> <td>蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 耐蒸気性能試験及び直接噴射による影響評価にて、すべての防護対象設備について 120℃の耐蒸気性能を有することを確認している。</p> <p>(添付資料 1.4.1-4) 想定破損による溢水影響評価(蒸気影響評価)</p>	系統	想定範囲	防護対象設備	隔離	最大温度	影響評価	判定#1	化学体積制御系	抽出配管/非生命再冷却器入口	4 充てん格納容器隔離弁 (4V-CS-157)他	遠隔手動	95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○	補助蒸気系	補助蒸気供給配管	4A 中央制御室空調ファン他	自動	95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は急であるが、温度センサで検知し、自動隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○	蒸気発生器ローダウンスンシステム	蒸気発生器ローダウンスン配管	4A 制御用空気供給母管圧力 (4PT-1800)他	遠隔手動	95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○			
系統	想定範囲	防護対象設備	隔離	最大温度	影響評価	判定#1																									
化学体積制御系	抽出配管/非生命再冷却器入口	4 充てん格納容器隔離弁 (4V-CS-157)他	遠隔手動	95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○																									
補助蒸気系	補助蒸気供給配管	4A 中央制御室空調ファン他	自動	95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は急であるが、温度センサで検知し、自動隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○																									
蒸気発生器ローダウンスンシステム	蒸気発生器ローダウンスン配管	4A 制御用空気供給母管圧力 (4PT-1800)他	遠隔手動	95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.2 放水による溢水</p> <p>1.4.2.1 放水による溢水源</p> <p>溢水ガイドに記載のとおり発電所内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水を想定し、防護対象設備に対する影響を評価した。</p> <p>1.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>発電所内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火活動のために設置される消火栓からの放水及びスプリンクラーからの放水による溢水を想定した。</p> <p>消火活動における溢水量については、防護対象設備が設置されているすべての建屋（原子炉周辺建屋及び制御建屋）において、消火活動が連続して実施される時間及びスプリンクラーの放水時間を次のとおり見込んで算出した。</p> <p>発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火栓からの放水、スプリンクラーからの放水及び格納容器スプレイ系からの放水があるが、格納容器スプレイ系については原子炉格納容器内のみで生じ、防護対象設備は耐環境性があることから格納容器スプレイ系の動作により発生する溢水により原子炉格納容器内の防護対象設備が安全機能を損なうことはない。なお、格納容器スプレイ系の作動回路は、チャンネルの単一故障を想定してもその機能を失うことがなく、かつ、誤信号発生による誤動作を防止する設計とする。</p> <p>具体的には、原子炉格納容器圧力異常高の「2 out of 4」信号による自動作動又は中央制御室盤上の操作スイッチ2個を同時に操作することによる手動作動とする設計とする。</p>	<p>6 消火水の放水評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>6.1 消火水の放水による溢水源</p> <p>女川原子力発電所2号炉には、自動作動するスプリンクラーが設置されていないことから、火災発生時に消火栓による消火活動を行う区画における放水による溢水を想定し、防護対象設備に対する影響を評価した。</p> <p>格納容器スプレイについては、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから、溢水源として考慮しない。</p> <p>6.2 消火水の放水による没水影響評価</p> <p>発電所内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火活動のために設置される消火栓からの放水による溢水を想定した。</p> <p>消火水の放水による溢水影響評価対象区画を添付資料24に示す。火災が発生した区画（以下「溢水発生区画」という。）に存在する防護対象設備は、保守的に火災に伴う放水の影響により機能喪失しているものと想定した。ただし、火災発生箇所からの離隔距離が十分大きい場合や、同一区画内で火災が発生しても影響がないような対策がとられている場合はその限りではないものとした。</p>	<p>6 消火水の放水評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>6.1 消火水の放水による溢水源</p> <p>泊発電所3号炉には、自動作動するスプリンクラーが設置されていないことから、火災発生時に消火栓による消火活動を行う区画における放水による溢水を想定し、防護対象設備に対する影響を評価した。</p> <p>格納容器スプレイについては、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから、溢水源として考慮しない。</p> <p>6.2 消火水の放水による没水影響評価</p> <p>発電所内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火活動のために設置される消火栓からの放水による溢水を想定した。</p> <p>消火水の放水による溢水影響評価対象区画を添付資料20に示す。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【女川・大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 設計方針の相違</p> <p>・大飯は防護対象設備が設置される建屋内にスプリンクラーが設置されているが、女川及び泊には設置されていない。</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>泊では消火活動時に防護対象設備へ配慮して放水する運用であること、消火水放水に対しても被水防護対策を実施していることから、消火水の放水により防護対象設備が機能喪失することは想定していない。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 記載箇所の相違</p> <p>泊は前頁6.1項にスプリンクラー及び格納容器スプレイについて記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) 消火栓からの放水による溢水</p> <p>原則として3時間の消火活動を想定して溢水量を算出するが、火災源が小さいエリアについては、日本電気協会電気指針「原子力発電所の火災防護指針（JEAG4607-2010）」解説-4-5(1)の規定による「火災荷重」及び「等価火災時間」を考慮し、消火活動における溢水量を以下のとおり評価した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 260L/min×0.5時間=7.8m³ ・ 260L/min×1.0時間=15.6m³ ・ 260L/min×1.5時間=23.4m³ ・ 260L/min×2.0時間=31.2m³ ・ 260L/min×3.0時間=46.8m³ <p>消火活動における消火栓からのホース引き回し経路から、扉の開放が想定される場合には、隣接エリアについても滞留エリアとして考慮した。</p> <p>流水経路については放水がある当該フロア及び下階等影響の及ぶエリアを考慮した。</p> <p>消火活動による放水量をもとに放水による溢水影響を各防護区画について評価した結果、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した。</p> <p>各建屋、各フロアで管理区域、非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、評価を実施した。</p>	<p>消火活動における溢水量については、3時間の放水により想定される溢水量を、消防法施行令に基づく必要水量及び実放水試験の結果を踏まえ屋内は54m³、屋外は141m³とそれぞれ設定した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料 p9条-別添1-6-1より抜粋</p> <p>6.1 溢水量の算定</p> <p>(2) 放水時間</p> <p>消火活動における消火水の放水時間は、評価ガイドに従い原則3時間に設定した。ただし、火災源が小さい一部の区画については、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JIEAG4607-2010）」解説-4-5（1）（表4-3 火災荷重と等価時間について）に従い、放水時間を設定した。</p> <p>(3) 溢水量</p> <p>溢水流量と放水時間から評価に用いる消火栓からの溢水量を以下のとおりとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溢水量（屋内消火栓）= 15.6 [m³/h] × 放水時間 ・ 溢水量（屋外消火栓）= 42.0 [m³/h] × 放水時間 </div> <p>溢水量算出の考え方について、添付資料25に示す。</p> <p>溢水経路については放水がある当該フロア及び下階など影響の及ぶエリアを考慮した。</p> <p>各建屋、各フロアで管理区域/非管理区域毎に、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、評価を実施した結果、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した。</p> <p>消火水の放水による没水影響評価結果を添付資料26に示す。</p>	<p>消火活動における消火水の放水時間は、溢水ガイドに従い原則3時間に設定した。ただし、火災源が小さい一部の区画については、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JIEAG4607-2010）」解説-4-5（1）（表4-3 火災荷重と等価時間について）に従い、放水時間を設定した。溢水流量と放水時間から評価に用いる消火栓からの溢水量を以下のとおりとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溢水量（屋内消火栓）= 150L/min×2箇所×放水時間 ・ 溢水量（屋外消火栓）= 390L/min×2箇所×放水時間 <p>溢水量算出の考え方について、添付資料21に示す。</p> <p>消火活動における消火栓からのホース引き回し経路から、扉の開放が想定される場合には、隣接エリアについても滞留エリアとして考慮した。</p> <p>溢水経路については放水がある当該フロア及び下階等影響の及ぶエリアを考慮した。</p> <p>各建屋、各フロアで管理区域/非管理区域ごとに、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、評価を実施した結果、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した。</p> <p>消火水の放水による没水影響評価結果を添付資料22に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消火水の放水時間について、女川は一律3時間の放水を想定しているのに対し、泊は3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さいエリアについては可燃物量を考慮し、「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算定している。（先行PWR、島根2号炉と同様） <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【島根・大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消火水の放水量については、女川の審査実績を反映した。（詳細は添付資料21「消火水の放水における放水量について」に記載している。） <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪審査実績の反映 ・ 泊では消火水放水時の溢水伝播について、消火栓からのホース引き回し経路を考慮していることを記載している。（大阪と同様） <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) スプリンクラーからの放水による溢水</p> <p>a. 溢水量の設定</p> <p>溢水量については、火災防護に関する基本方針で示されている放水量を用いるとともに、火災発生時の中央制御室での警報発信後からスプリンクラーの放水停止に要する時間(30分)までを放水時間として設定し以下のとおり評価した。</p> $720\text{m}^3/\text{min} \times 30\text{min} = 21,600$ $= 21.6\text{m}^3$ <p>※今回、原則として火災防護に関する基本方針で示されている放水量を用いる。ただし、詳細評価を実施する場合には、現場での消火設備の設置状況に応じた評価を行う。</p> <p>b. 放水時間の設定</p> <p>(a) 火災発生時の対応に要する時間</p>  <p>図1.4.2.2.1-1 火災発生時の対応に要する時間</p> <p>(b) 時間評価における保守性について</p> <p>時間評価における保守性については、火災発生時の中央制御室での警報発信後から、(1)現場到着時間の設定について、現場到着までの時間が長くなるように、中央制御室からの移動距離が長いE.L.+26.0mエリアを選定し評価を実施した。さらに、(2)スプリンクラーの放水時間について、運転員は現場到着後に火災状況をすぐに確認でき、現場より中央制御室の運転員に予作動弁閉止（閉止時間約1分）を依頼して、放水の停止を行うので溢水量の低減は可能であるが、余裕を見てスプリンクラーの放水停止までの時間を10分と設定した。</p> <p>また、溢水防護区画外のスプリンクラーが動作し、溢水防護区画に消火水が流入する可能性も考慮した。</p> <p>なお、複数区画でのスプリンクラーからの同時放水が想定されるのは、耐震B、Cクラスの機器の地震随伴火災、及び高エネルギー配管破損による誤動作であるが、以下の設計に</p>	<p>なお、火災そのものによる防護対象設備への影響に関しては設置許可基準規則第八条「火災による損傷の防止」に関する審査にて評価することとし、ここでは放水による溢水影響を評価した。</p>	<p>なお、火災そのものによる防護対象設備への影響に関しては設置許可基準規則第八条「火災による損傷の防止」に関する審査にて評価することとし、ここでは放水による溢水影響を評価した。</p>	<p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> ・大飯は防護対象設備が設置される建屋内にスプリンクラーが設置されているが、女川及び泊には設置されていない</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>より、複数区画でのスプリンクラーからの同時放水は想定しない。</p> <p>○地震時に火災源になるおそれがあるB、Cクラス機器（油内包機器及び電気盤）について、火災の発生防止対策を講じる設計としている。具体的には、油内包機器について、基準地震動Ssによる地震力に対して、当該機器が損壊し内包している油が外部へ漏えいしないことを確認し、その結果、損壊する機器に対しては、損壊しないような改良、もしくはガス式消火装置を設置する設計としている。電気盤については、火災の発生に備えて、ハロンガス消火装置、又は盤内にエアロゾル消火装置を設置し、早期に自動消火できる設計としている。</p> <p>○高エネルギー配管破損時の誤動作を防止するため、スプリンクラーヘッドの開放温度は、高エネルギー配管破損時の室内温度の評価値を上回る設計としている。</p> <p>（添付資料1.4.2-1）消火活動に係る時間設定の考え方 （添付資料1.4.2-2）消火活動に係る放水による溢水影響評価 （添付資料1.4.2-3）消火活動に係る放水による溢水経路図（代表）</p>	<p>6. 3 消火水の放水による被水影響評価</p> <p>消火水の放水に伴う被水影響は事象として想定し得るが、消火水の放水による溢水の伝播経路は、想定破損による溢水の伝播経路に包含されており、想定破損による被水影響評価に包含される。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【女川】（再掲）</p> <p>5. 3 想定破損による被水影響評価</p> <p>（1）想定破損による被水影響評価フロー</p> <p>評価対象区画内の通過配管の想定破損による直接の被水、天井面の開口部又は貫通部からの被水を考慮し、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <p>飛散距離については、溢水ガイドでは管内圧力、重力を考慮した弾道計算モデルが示されているが、本評価では被水源との距離によらず、被水影響のある防護対象設備を検討対象とした。</p> <p>図5-2に想定破損による被水影響評価フローを示す。</p> <p>想定破損による被水影響評価結果について、添付資料20に示す。</p> </div>	<p>6. 3 消火水の放水による被水影響評価</p> <p>評価対象区画内の消火水の放水による直接の被水、天井面の開口部又は貫通部からの被水を考慮し、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <p>飛散距離については、溢水ガイドでは管内圧力、重力を考慮した弾道計算モデルが示されているが、本評価では被水源との距離によらず、被水影響のある防護対象設備を検討対象とした。</p> <p>消火水の放水による被水影響評価フローは、図5-2と同じであり、被水源は「流体を内包する機器」から「消火水放水」に読み替える。</p> <p>消火水の放水による被水影響評価結果について、添付資料18に示す。</p>	<p>【大阪】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪は防護対象設備が設置される建屋内にスプリンクラーが設置されているが、女川及び泊には設置されていない。 <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は消火水放水に伴う被水は想定破損の評価に包絡されるとしているのに対し、泊では、消火水を放水するエリアの防護対象設備に対して被水影響を確認している。 評価は「5.3 想定破損による被水影響評価」の被水源を想定破損配管から消火水放水に置き換えたのみであるので、5.3項の記載を踏襲した。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.3 地震による溢水</p> <p>1.4.3.1 地震による溢水源</p> <p>溢水ガイドにしたがい、流体を内包する機器（配管及び容器）を溢水源の検討対象とした。</p> <p>1.4.3.2 地震による溢水影響評価</p> <p>1.4.3.2.1 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>溢水ガイドにしたがい、耐震Sクラスの機器については、基準地震動Ssによる地震力によって破損は生じないことから地震による溢水源としない。また、耐震B、Cクラスの機器のうち、耐震Sクラスの機器と同様に基準地震動Ssによる地震力に対して耐震強度評価により耐震性が確保されるもの（水位制限によるものを含む。）又は耐震対策工事により耐震性を確保するものについては溢水源としない。</p> <p>一方、溢水源と想定する場合の機器の破損による溢水量は、漏えい検知による停止や配管ルートに基づく流出範囲の限定には期待せず、配管については完全全周破断により系統の全保有水量が流出、容器については容器内保有水の全量が流出するものとした。</p> <p>基準地震動Ssにおける溢水源とする機器の抽出フローを図1.4.3.2.1-1に示す。</p>	<p>7 地震時評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>7.1 地震起因による溢水源</p> <p>地震に起因する溢水は、地震により破損する機器（配管、容器等）及び使用済燃料プール等のスロッシングを溢水源として考慮した。なお、使用済燃料プール等のスロッシングによる溢水量については、「8 使用済燃料プール等のスロッシング後の機能維持評価」に算出結果を示す。</p> <p>また、以下の評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p> <p>7.2 地震起因による没水影響評価</p> <p>7.2.1 地震起因による没水影響評価の前提条件</p> <p>地震起因による没水影響評価において、基準地震動 Ss による地震力が作用した際のプラント状態を、以下のとおり想定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉は、「地震加速度大」によってスクラムしている ・常用電源の喪失(外部電源喪失) ・耐震 B、C クラス設備の機能喪失 <p>耐震Sクラス機器については、基準地震動Ssによる地震力によって破損は生じないことから地震による溢水源としない。また、耐震B、Cクラス機器のうち、耐震Sクラス機器と同様に基準地震動Ssによる地震力によって耐震評価を実施してバウンダリ機能の確保が確認されたもの、又は補強工事により耐震性を確保するものについては溢水源としない。</p> <p>地震時に溢水源とする機器の抽出フローを図7-1に示す。</p> <p>地震に起因する溢水源リストを添付資料27に示す。</p>	<p>7 地震時評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>7.1 地震起因による溢水源</p> <p>地震に起因する溢水は、地震により破損する機器（配管、容器等）及び使用済燃料ビット等のスロッシングを溢水源として考慮した。なお、使用済燃料ビット等のスロッシングによる溢水量については、「8. 使用済燃料ビット等のスロッシング後の機能維持評価」に算出結果を示す。</p> <p>また、以下の評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p> <p>7.2 地震起因による没水影響評価</p> <p>7.2.1 地震起因による没水影響評価の前提条件</p> <p>耐震Sクラス機器については、基準地震動による地震力によって破損は生じないことから地震による溢水源としない。また、耐震B、Cクラス機器のうち、耐震Sクラス機器と同様に基準地震動による地震力によって耐震評価を実施してバウンダリ機能の確保が確認されたもの、又は補強工事により耐震性を確保するものについては溢水源としない。</p> <p>一方、溢水源と想定する場合の機器の破損による溢水量は、漏えい検知による停止や配管ルートに基づく流出範囲の限定には期待せず、配管については完全全周破断により系統の全保有水量が流出、容器については容器内保有水の全量が流出するものとした。</p> <p>地震時に溢水源とする機器の抽出フローを図7-1に示す。</p> <p>地震に起因する溢水源リストを添付資料23に示す。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・大阪審査実績の反映 泊は基準地震動によるプラント状態によらず機器の耐震性から地震に起因する溢水源を判断することを前提条件としている。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大阪・女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・大阪審査実績の反映 ・泊は系統機器の保有水全量を溢水量として考慮していることを記載している。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																			
<p>図 1.4.3.2.1-1 地震時に溢水源とする機器の抽出フロー</p> <p>(添付資料 1.4.3-1) 地震時の溢水源(原子炉周辺建屋、制御建屋)</p>	<p>図7-1 地震時に溢水源とする機器の抽出フロー</p>	<p>図7-1 地震時に溢水源とする機器の抽出フロー</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>																			
<p>これにより、原子炉周辺建屋及び制御建屋に設置されている耐震B、Cクラスの配管及び容器のうち、溢水源として想定する機器について、その溢水量とともに表1.4.3.2.1-1に示す。</p> <table border="1"> <caption>表 1.4.3.2.1-1 大阪3号炉及び4号炉地震時の溢水源</caption> <thead> <tr> <th>配管及び容器</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂タンク</td> <td>0.23</td> </tr> <tr> <td>冷却材混床式脱塩塔</td> <td rowspan="3">48.07^{※1}</td> </tr> <tr> <td>冷却材陽イオン脱塩塔</td> </tr> <tr> <td>冷却材脱塩塔入口フィルタ</td> </tr> <tr> <td>冷却材フィルタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系薬品タンク</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>48.32</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料</td> <td rowspan="2">41.12^{※2}</td> </tr> <tr> <td>ビットスロッシング</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>89.44</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 系統の全保有水量が調べたものとした。 ※2 「2 使用済燃料ビットの安全確保」に記載</p>	配管及び容器	溢水量 (m ³)	樹脂タンク	0.23	冷却材混床式脱塩塔	48.07 ^{※1}	冷却材陽イオン脱塩塔	冷却材脱塩塔入口フィルタ	冷却材フィルタ		1次系薬品タンク	0.02	合計	48.32	使用済燃料	41.12 ^{※2}	ビットスロッシング	総計	89.44			<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 泊は添付資料23「地震に起因する溢水源リスト」に記載している。</p>
配管及び容器	溢水量 (m ³)																					
樹脂タンク	0.23																					
冷却材混床式脱塩塔	48.07 ^{※1}																					
冷却材陽イオン脱塩塔																						
冷却材脱塩塔入口フィルタ																						
冷却材フィルタ																						
1次系薬品タンク	0.02																					
合計	48.32																					
使用済燃料	41.12 ^{※2}																					
ビットスロッシング																						
総計	89.44																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																
<p>原子炉周辺建屋及び制御建屋の溢水量を表1.4.3.2.1-2のとおり算出した。</p> <table border="1" data-bbox="174 244 622 395"> <caption>表1.4.3.2.1-2 地震時の溢水量</caption> <thead> <tr> <th colspan="3">溢水量(m³)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">原子炉周辺建屋</th> <th rowspan="2">制御建屋</th> </tr> <tr> <th>大阪3号炉</th> <th>大阪4号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>89.44</td> <td>89.44</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価対象の防護対象設備のある区画内で溢水が発生し、溢水が流出していく「溢水防護区画内漏えい」と評価対象の防護対象設備のある区画外で溢水が発生し、溢水が流入してくる「溢水防護区画外漏えい」を想定した溢水経路を設定した。</p> <p>影響評価に用いる溢水水位の算出は、溢水経路上の溢水防護区画のすべてに対して行い、溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した（表1.4.3.2.1-3、表1.4.3.2.1-4）。</p> <p>表1.4.3.2.1-3 大阪3号炉 地震による没水影響評価</p> <table border="1" data-bbox="183 1037 604 1455"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>① 溢水水位 (床[m])</th> <th>② 防護対象設備</th> <th>③ 機能喪失高さ (床[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">原子炉周辺建屋</td> <td>39.0</td> <td>3 原子炉補機冷却水サージタンク水位 III、IV (3LT-1200,1201)</td> <td>1.09</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>33.6</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>防護対象無し</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>26.0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>防護対象無し</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">17.1</td> <td rowspan="2">0.096</td> <td>3A,3B よう薬除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A,B)</td> <td rowspan="2">0.55</td> <td rowspan="2">①<②</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>3A,3B よう薬除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A,B)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.096</td> <td>3A,3B 燃料取扱用水ポンプ*</td> <td>0.47</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>0.154</td> <td>3C 売てんポンプ</td> <td>0.31</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3A,3B 使用済燃料ピットポンプ*</td> <td>0.71</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3.5</td> <td>0.498</td> <td>3A 高圧注入ポンプ</td> <td>0.50</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>中東川燃料ピットの安全確保</p>	溢水量(m ³)			原子炉周辺建屋		制御建屋	大阪3号炉	大阪4号炉	89.44	89.44	0	建屋	① 溢水水位 (床[m])	② 防護対象設備	③ 機能喪失高さ (床[m])	影響評価	判定	原子炉周辺建屋	39.0	3 原子炉補機冷却水サージタンク水位 III、IV (3LT-1200,1201)	1.09	①<②	○	33.6	-	-	防護対象無し	○	26.0	-	-	防護対象無し	○	17.1	0.096	3A,3B よう薬除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A,B)	0.55	①<②	○	3A,3B よう薬除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A,B)		0.096	3A,3B 燃料取扱用水ポンプ*	0.47	①<②	○	10.0	0.154	3C 売てんポンプ	0.31	①<②	○			3A,3B 使用済燃料ピットポンプ*	0.71	①<②	○	3.5	0.498	3A 高圧注入ポンプ	0.50	①<②	○	<p>7.2.2 地震起因による没水影響評価</p> <p>溢水量の算出に当たっては、漏水が生じるとした機器のうち溢水防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとして評価した。また、地震による設備の破損が複数個所で同時に発生する可能性を考慮し、隔離による漏えい停止には期待できないものとして、建屋内の各区画において設備が破損した場合の溢水量を算定し、溢水が発生した区画からの伝播（上階から下階への伝播）を考慮し、溢水経路を設定し、溢水経路上の評価対象区画のすべてに対して影響評価に用いる溢水水位の算出を行った。</p> <p>以上を踏まえ、溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した。</p> <p>地震起因による没水影響評価結果を添付資料28に示す。また、耐震B、Cクラス機器の耐震評価について、添付資料29に示す。</p>	<p>7.2.2 地震起因による没水影響評価</p> <p>溢水量の算出に当たっては、漏水が生じるとした機器のうち溢水防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとして評価した。また、地震による設備の破損が複数個所で同時に発生する可能性を考慮し、隔離による漏えい停止には期待できないものとして、建屋内の各区画において設備が破損した場合の溢水量を算定し、溢水が発生した区画からの伝播（上階から下階への伝播）を考慮し、溢水経路を設定し、溢水経路上の評価対象区画のすべてに対して影響評価に用いる溢水水位の算出を行った。</p> <p>以上を踏まえ、溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した。</p> <p>地震起因による没水影響評価結果を添付資料24に示す。また、耐震B、Cクラス機器の耐震評価について、添付資料25に示す。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 泊は添付資料23「地震に起因する溢水源リスト」に記載している。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 泊は添付資料24「地震起因による没水影響評価結果」に記載している。</p>
溢水量(m ³)																																																																			
原子炉周辺建屋		制御建屋																																																																	
大阪3号炉	大阪4号炉																																																																		
89.44	89.44	0																																																																	
建屋	① 溢水水位 (床[m])	② 防護対象設備	③ 機能喪失高さ (床[m])	影響評価	判定																																																														
原子炉周辺建屋	39.0	3 原子炉補機冷却水サージタンク水位 III、IV (3LT-1200,1201)	1.09	①<②	○																																																														
	33.6	-	-	防護対象無し	○																																																														
	26.0	-	-	防護対象無し	○																																																														
	17.1	0.096	3A,3B よう薬除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A,B)	0.55	①<②	○																																																													
			3A,3B よう薬除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A,B)																																																																
		0.096	3A,3B 燃料取扱用水ポンプ*	0.47	①<②	○																																																													
	10.0	0.154	3C 売てんポンプ	0.31	①<②	○																																																													
		3A,3B 使用済燃料ピットポンプ*	0.71	①<②	○																																																														
3.5	0.498	3A 高圧注入ポンプ	0.50	①<②	○																																																														

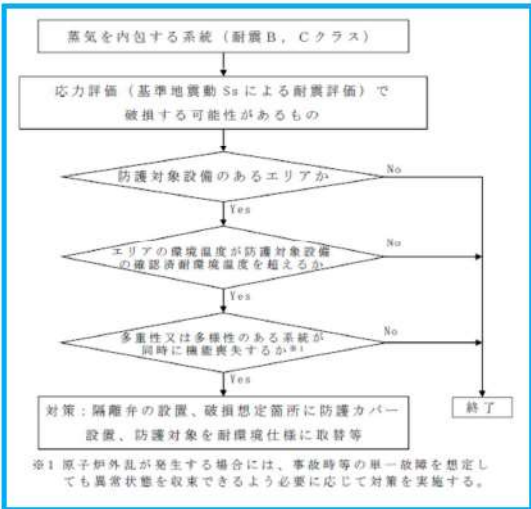
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																	
<p>表1.4.3.2.1-4 大飯4号炉 地震による没水影響評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>① 没水水位 (床+ [m])</th> <th>防護対象設備</th> <th>②機能 喪失高さ (床+ [m])</th> <th>影響 評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">原子炉 周辺 建屋</td> <td>39.0</td> <td>0.004</td> <td>4 原子炉補機冷却水 サージタンク水位 Ⅲ、Ⅳ (4LT-1200, 1201)</td> <td>0.99</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>33.6</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>防護対 象無し</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>26.0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>防護対 象無し</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉 周辺 建屋</td> <td>17.1</td> <td>0.095</td> <td>4A, 4B よう薬除去薬 品注入ライン第2止 め弁 (4V-CP-056A, B)</td> <td>0.52</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>17.1</td> <td>0.095</td> <td>4A, 4B 燃料取替 用水ポンプ*1</td> <td>0.47</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉 周辺 建屋</td> <td>10.0</td> <td>0.170</td> <td>4C 光てんポンプ</td> <td>0.29</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>0.170</td> <td>4A, 4B 使用済燃料 ピットポンプ*1</td> <td>0.72</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉 周辺 建屋</td> <td>3.5</td> <td>0.516</td> <td>4A 高圧注入ポンプ (対策前)</td> <td>0.50</td> <td>①>②</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>3.5</td> <td>0.516</td> <td>4A 高圧注入ポンプ (対策後)</td> <td>0.80*2</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 使用済燃料ピットの安全確保 *2 4A 高圧注入ポンプに対し、0.800m の堰の対策を実施する。</p>	建屋	E.L. + [m]	① 没水水位 (床+ [m])	防護対象設備	②機能 喪失高さ (床+ [m])	影響 評価	判定	原子炉 周辺 建屋	39.0	0.004	4 原子炉補機冷却水 サージタンク水位 Ⅲ、Ⅳ (4LT-1200, 1201)	0.99	①<②	○	33.6	—	—	—	防護対 象無し	○	26.0	—	—	—	防護対 象無し	○	原子炉 周辺 建屋	17.1	0.095	4A, 4B よう薬除去薬 品注入ライン第2止 め弁 (4V-CP-056A, B)	0.52	①<②	○	17.1	0.095	4A, 4B 燃料取替 用水ポンプ*1	0.47	①<②	○	原子炉 周辺 建屋	10.0	0.170	4C 光てんポンプ	0.29	①<②	○	10.0	0.170	4A, 4B 使用済燃料 ピットポンプ*1	0.72	①<②	○	原子炉 周辺 建屋	3.5	0.516	4A 高圧注入ポンプ (対策前)	0.50	①>②	×	3.5	0.516	4A 高圧注入ポンプ (対策後)	0.80*2	①<②	○	<p>7. 3 地震起因による被水影響評価</p> <p>地震起因による被水影響評価については、以下の理由により評価不要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護対象設備が設置されている区画・エリアにおいて、地震時溢水源となるものは、①使用済燃料プール等のスロッシングによる溢水、②原子炉補機冷却水系防食剤添加タンク(A)、(B)、③高圧炉心スプレイ補機冷却水系防食剤添加タンクである。 ・地震時溢水源の内、①については、区画番号:R-3F-1における想定破損による被水影響評価結果に包含される。 ・地震時溢水源②、③については、通常時系統とは隔離されており静水頭であること、また、タンク容量がそれぞれ200L、5Lと小さく、想定破損による被水評価に包含される。 	<p>7. 3 地震起因による被水影響評価</p> <p>評価対象区画内の地震起因による直接の被水、天井面の開口部又は貫通部からの被水を考慮し、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <p>飛散距離については、溢水ガイドでは管内圧力、重力を考慮した弾道計算モデルが示されているが、本評価では被水源との距離によらず、被水影響のある防護対象設備を検討対象とした。</p> <p>地震起因による被水影響評価フローは図5-2と同じである。</p> <p>地震起因による被水影響評価結果について、添付資料18に示す。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は地震起因による被水は想定破損の評価に包絡されるとしているのに対し、泊では、耐震B,Cクラス機器が設置されるリアの防護対象設備に対して被水影響を確認している。 ・評価は「5.3 想定破損による被水影響評価」の被水源を想定破損配管から地震起因による溢水源に置き換えたのみであるので、5.3項の記載を踏襲した。
建屋	E.L. + [m]	① 没水水位 (床+ [m])	防護対象設備	②機能 喪失高さ (床+ [m])	影響 評価	判定																																																														
原子炉 周辺 建屋	39.0	0.004	4 原子炉補機冷却水 サージタンク水位 Ⅲ、Ⅳ (4LT-1200, 1201)	0.99	①<②	○																																																														
	33.6	—	—	—	防護対 象無し	○																																																														
	26.0	—	—	—	防護対 象無し	○																																																														
原子炉 周辺 建屋	17.1	0.095	4A, 4B よう薬除去薬 品注入ライン第2止 め弁 (4V-CP-056A, B)	0.52	①<②	○																																																														
	17.1	0.095	4A, 4B 燃料取替 用水ポンプ*1	0.47	①<②	○																																																														
原子炉 周辺 建屋	10.0	0.170	4C 光てんポンプ	0.29	①<②	○																																																														
	10.0	0.170	4A, 4B 使用済燃料 ピットポンプ*1	0.72	①<②	○																																																														
原子炉 周辺 建屋	3.5	0.516	4A 高圧注入ポンプ (対策前)	0.50	①>②	×																																																														
	3.5	0.516	4A 高圧注入ポンプ (対策後)	0.80*2	①<②	○																																																														
<p>1.4.3.2.2 地震による溢水影響評価のうち被水影響評価</p> <p>被水については溢水源から溢水量を特定せずに評価するため、地震による被水影響評価は想定破損による被水影響評価と同じである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【女川】〈再掲〉</p> <p>5. 3 想定破損による被水影響評価</p> <p>(1) 想定破損による被水影響評価フロー</p> <p>評価対象区画内の通過配管の想定破損による直接の被水、天井面の開口部又は貫通部からの被水を考慮し、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <p>飛散距離については、溢水ガイドでは管内圧力、重力を考慮した弾道計算モデルが示されているが、本評価では被水源との距離によらず、被水影響のある防護対象設備を検討対象とした。</p> <p>図5-2に想定破損による被水影響評価フローを示す。</p> <p>想定破損による被水影響評価結果について、添付資料20に示す。</p> </div>																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価</p> <p>蒸気を内包する耐震B、Cクラスの系統については、溢水ガイドに基づく評価フロー(図1.4.3.2.3-1)にしたがい、蒸気影響評価を実施する。</p> <p>蒸気を内包する耐震B、Cクラスの系統は、基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性を確保する。(表1.4.3.2.3-1)。</p>  <p>図 1.4.3.2.3-1 蒸気影響評価フロー</p> <p>表1.4.3.2.3-1 地震による蒸気影響評価対象系統</p>	<p>7. 4 地震起因による蒸気影響評価</p> <p>高エネルギー流体を内包する機器のうち、基準地震動Ssによって破損が生じる可能性のある機器について破損を想定し、その発生蒸気による影響を評価する。</p> <p>ただし、本評価は、複数系統・複数箇所の同時破損を考慮する点が「5.4 想定破損による蒸気影響評価」と異なるのみで、蒸気の発生区域や影響範囲は想定破損時の評価と同様である。したがって、地震時の蒸気影響評価は想定破損による蒸気影響評価に含まれる。</p> <p>なお、蒸気流出の可能性のある耐震B、Cクラス機器のうち、蒸気を内包する系統(加熱蒸気系)については、基準地震動Ssによる地震力に対して耐震評価を実施してバウンダリ機能の確保を確認する、若しくは補強工事を実施することにより耐震性を確保するため破損が発生せず、蒸気影響はない。</p>	<p>7. 4 地震起因による蒸気影響評価</p> <p>高エネルギー流体を内包する機器のうち、基準地震動によって破損が生じる可能性のある機器について破損を想定し、その発生蒸気による影響を評価する。</p> <p>ただし、蒸気流出の可能性のある耐震B、Cクラス機器のうち、蒸気を内包する系統については、基準地震動による地震力に対して耐震評価を実施してバウンダリ機能の確保を確認する、若しくは補強工事を実施することにより耐震性を確保するため破損が発生せず、蒸気影響はない。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊は地震起因により蒸気流出する可能性がある耐震B、Cクラス機器については、すべて基準地震動に対する耐震性を確認しており、蒸気影響がないことを確認している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯・女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 泊は添付資料23「地震に起因する溢水源リスト」に記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																		
<table border="1" data-bbox="208 188 580 671"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>漏水評価における対象範囲</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">化学体積調整系</td> <td>貯水注入配管</td> <td>蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。</td> </tr> <tr> <td>充てん配管</td> <td>蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主蒸気系</td> <td>排気配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主蒸気過熱器</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主蒸気隔離弁バイパス配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ドレン配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主給水系</td> <td>タービン動補給給水ポンプ駆動用蒸気配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主給水管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">蒸気発生器ブローダウン系</td> <td>主給水バイパス配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～アングル部）</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補助給水系</td> <td>補助給水配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気供給配管</td> <td>—*</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="219 619 568 671">* 蒸気影響評価フローにしたがい、応力評価（基準地震動 Se1 による耐震評価）で破壊する可能性がないことを確認するため蒸気影響評価対象外とする。</p>	系統名	漏水評価における対象範囲	備考	化学体積調整系	貯水注入配管	蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。	充てん配管	蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。	主蒸気系	排気配管	—*	主蒸気管	—*	主蒸気過熱器	—*	主蒸気隔離弁バイパス配管	—*	主蒸気ドレン配管	—*	主給水系	タービン動補給給水ポンプ駆動用蒸気配管	—*	主給水管	—*	蒸気発生器ブローダウン系	主給水バイパス配管	—*	蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～アングル部）	—*	補助給水系	補助給水配管	—*	補助蒸気供給配管	—*			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>泊は添付資料23「地震に起因する溢水源リスト」に記載している。</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・泊の海水ポンプ室は循環水ポンプ建屋内に設置されていることから、防護対象設備が設置される建屋における設計方針に包絡されている。 ・泊の海水ポンプ室の設水影響評価の詳細については、補足説明資料34「循環水ポンプ建屋における溢水影響評価について」に記載している。
系統名	漏水評価における対象範囲	備考																																			
化学体積調整系	貯水注入配管	蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。																																			
	充てん配管	蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。																																			
主蒸気系	排気配管	—*																																			
	主蒸気管	—*																																			
	主蒸気過熱器	—*																																			
	主蒸気隔離弁バイパス配管	—*																																			
	主蒸気ドレン配管	—*																																			
主給水系	タービン動補給給水ポンプ駆動用蒸気配管	—*																																			
	主給水管	—*																																			
蒸気発生器ブローダウン系	主給水バイパス配管	—*																																			
	蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～アングル部）	—*																																			
補助給水系	補助給水配管	—*																																			
	補助蒸気供給配管	—*																																			
<p>4 海水ポンプエリアの溢水影響評価</p> <p>海水ポンプエリアの防護対象設備は海水ポンプである。海水ポンプエリアの溢水影響評価については、地震時の溢水及び放水による溢水においては、排水ルートが機能しないと仮定して評価する。</p> <p>溢水影響評価として、海水ポンプエリアにある低エネルギー配管の想定破損による溢水、消火栓からの放水による溢水及び地震時のCクラス配管からの溢水を想定し、防護対象設備の機能喪失高さまで到達しないことを確認する。</p> <p>4.1 海水ポンプエリアの溢水源と溢水量</p> <p>海水ポンプエリアの流体を内包する耐震Cクラス（Bクラスはない）の溢水源と溢水量を表4.1-1に記載する。</p> <table border="1" data-bbox="168 1193 629 1334"> <caption>表 4.1-1 海水ポンプエリアの溢水源と溢水量</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淡水系</td> <td>169</td> </tr> <tr> <td>海水電解装置系</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>173</td> </tr> </tbody> </table>		溢水量 (m ³)	淡水系	169	海水電解装置系	4	合計	173																													
	溢水量 (m ³)																																				
淡水系	169																																				
海水電解装置系	4																																				
合計	173																																				

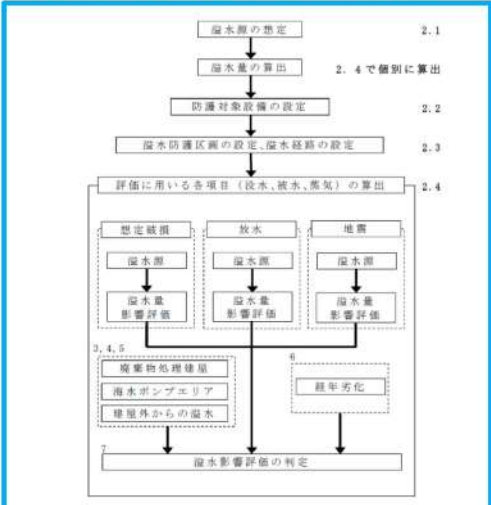
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p>4.2 海水ポンプエリアの想定破損による溢水影響評価</p> <p>4.2.1 海水ポンプエリアの想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>海水ポンプエリアにある低エネルギー配管の想定破損による溢水を考慮した。配管破損形状は、貫通クラックとして1系統における単一の破損を想定し、系統ごとに溢水流量が最も大きくなる位置での破損を想定して溢水流量を算出した。</p> <p>算出した溢水流量（20m³/h）と海水ポンプエリアの床面に設置されている海水ポンプエリア浸水防止蓋からの排水流量（115m³/h）を比較した結果、海水ポンプエリア浸水防止蓋からの排水流量の方が大きいことから、海水ポンプの機能喪失高さ（E.L.+4.65m）まで水位が上昇しないことを確認した。</p> <p>4.3 海水ポンプエリアの放水による溢水影響評価</p> <p>4.3.1 海水ポンプエリアの放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>消火栓からの溢水量を下記のとおり算出した。</p> <p>・700/min×3時間=126m³</p> <p>地震による没水影響評価では全機器の破損を想定した溢水量を173m³として評価を実施するため、放水による没水影響評価は、地震による没水影響評価で包絡されることを確認した。</p> <p>4.4 海水ポンプエリアの地震による溢水影響評価</p> <p>4.4.1 海水ポンプエリアの地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>全機器の破損を想定した溢水量(173m³)が流出したと仮定し、溢水水位を算出した。</p> <p>海水ポンプエリアの床面積：240m²</p> <p>以上より、海水ポンプエリアの溢水水位を以下とおり評価した。</p> <p>海水ポンプエリアの溢水水位：約0.73m(=173m³/240m²)</p> <p>さらに、表4.4.1-1のとおり機能喪失高さに至らないことを確認した。</p> <p>表 4.4.1-1 海水ポンプエリアの没水影響評価結果</p> <table border="1" data-bbox="174 1329 645 1401"> <thead> <tr> <th></th> <th>溢水水位</th> <th>機能喪失高さ</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水ポンプ</td> <td>E.L.+3.23m[※]</td> <td>E.L.+4.65m</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※海水ポンプエリアの床面：E.L.+2.50m</p>		溢水水位	機能喪失高さ	判定	海水ポンプ	E.L.+3.23m [※]	E.L.+4.65m	○			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・泊の海水ポンプ室は循環水ポンプ建屋内に設置されていることから、防護対象設備が設置される建屋における設計方針に包絡されている。 ・泊の海水ポンプ室の没水影響評価の詳細については、補足説明資料34「循環水ポンプ建屋における溢水影響評価について」に記載している。
	溢水水位	機能喪失高さ	判定								
海水ポンプ	E.L.+3.23m [※]	E.L.+4.65m	○								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>なお、3、4号炉海水ポンプ室前面の入力津波高さT.P.+6.3mに対し、海水ポンプエリア床面はT.P.+2.5mであるが、床面貫通部には海水ポンプエリア浸水防止蓋を設置しているため、津波による流入はない。</p> <p>(添付資料4) 海水ポンプエリアの溢水影響評価</p> <p>2 使用済燃料ピットの安全確保</p> <p>使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統の防護対象設備については、原子炉施設の溢水影響評価において、想定する機器の破損により生じる溢水、消火水系からの放水による溢水及び地震時の機器の破損による溢水に対して機能喪失しないことを確認する。</p> <p>なお、使用済燃料ピットの検討においては、防護対象設備が使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統に限られているものの、「原子炉施設の安全確保」であげた溢水源、溢水量、溢水経路等に影響を受ける可能性があるため、検討は「原子炉施設の安全確保」を含んだ全範囲について行う。</p> <p>ただし、検討内容及び結果が「原子炉施設の安全確保」と同じになる箇所は、内容が同様である旨を記載する。</p>  <p>図2-1 溢水影響評価の全体（使用済燃料ピットの安全確保）</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.1 溢水源の想定</p> <p>「1.1 溢水源の想定」と同じである。溢水ガイドに記載のとおり、溢水の発生要因別に以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水 （添付資料1.1） 溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）</p> <p>2.2 防護対象設備の設定</p> <p>「1.2 防護対象設備の設定」と同じである。使用済燃料ピットを保安規定で定められた水温（65℃以下）に維持する必要があるため、使用済燃料ピットの冷却機能の維持に必要な設備を防護対象設備として選定した。</p> <p>また、使用済燃料からの放射線に対する遮蔽機能に必要な水位が確保されるように、使用済燃料ピットへの給水機能の維持に必要な設備を防護対象設備として選定した。</p> <p>（添付資料1.2-1） 重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統 （添付資料1.2-2） 防護対象設備と機能喪失高さ一覧</p> <p>2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>防護対象設備が設置されている、壁、扉及び堰又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離されている区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画として設定した。すべての防護対象設備が対象となっていることを確認するために、設置許可基準第12条で要求される重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統について系統図から設備（機器）を抽出するとともに、それらの機器の配置状況を示す図書（弁は配管図、機器は機器配置図等）から溢水防護区画を設定した。また、溢水防護区画については設計図書（障壁、堰又はその組み合わせ）を用いて設定し、この中でアクセス通路については図面等で図示されていることを確認した。</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) 溢水防護区画内漏えいの溢水経路</p> <p>溢水防護区画内漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護区画内の水位が最も高くなるよう、当該区画から他区画への流出がないように溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン</p> <p>床ドレン配管が設置され他の区画とつながっている場合であっても、他の区画への流出は想定しない。</p> <p>b. 床面開口部及び床面貫通部</p> <p>溢水防護区画床面に床面開口部又は床面貫通部が設置されている場合であっても床面開口部又は床面貫通部から他の区画への流出は考慮しない。ただし、明らかに流出が期待できることを定量的に確認できる場合は溢水防護区画から他の区画への流出を考慮する。</p> <p>c. 壁貫通部</p> <p>溢水防護区画の境界壁の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合であっても、その貫通部からの流出は考慮しない。</p> <p>d. 扉</p> <p>溢水防護区画に扉が設置されている場合であっても、当該扉から隣室への流出は考慮しない。</p> <p>e. 排水設備</p> <p>溢水防護区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(2) 溢水防護区画外漏えいの溢水経路</p> <p>溢水防護区画外漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象設備の存在する溢水防護区画の水位が最も高くなるように溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン</p> <p>溢水防護区画の床ドレン配管が他の区画とつながっている場合は、水位差による流入量を考慮する。</p> <p>ただし、溢水防護区画内に設置されているドレン配管に逆止弁を設置している場合は、その効果を考慮する。</p> <p>b. 天井面開口部及び貫通部</p> <p>溢水防護区画の天井面に開口部又は貫通部がある場合は、上部の区画で発生した溢水量の全量が流入するものとする。</p> <p>ただし、開口部又は貫通部に流出防止対策を施している場合は、溢水防護区画への流入は考慮しない。</p> <p>c. 壁貫通部</p> <p>溢水防護区画の境界壁に貫通部が設置されている場合であって、</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>隣の区画の溢水による水位が貫通部より高い位置にある場合は、隣室との水位差によって発生する流入量を考慮する。</p> <p>d. 扉 溢水防護区画に扉が設置されている場合は、水位差による流入量を考慮する。 ただし、水密扉については、水圧による水密性を確保でき、その水圧に耐えられる強度を有しており、流入を考慮しない。</p> <p>e. 堰 溢水が発生している区画に堰が設置され、他に流出経路が存在しない場合は、当該区画で発生した溢水は堰の高さまで蓄積されるものとする。</p> <p>f. 排水設備 溢水防護区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(3) 溢水伝播 上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。 (添付資料1.3-1) 溢水防護区画の設定 (添付資料1.3-2) 溢水経路と溢水経路概念図 (添付資料1.3-3) 溢水影響評価で止水を期待できる設備</p> <p>2.4 評価に用いる各項目の溢水評価 2.4.1 想定破損による溢水 2.4.1.1 想定破損による溢水源 「1.4.1.1 想定破損による溢水源」と同じである。 (添付資料1.4.1-1) 想定破損による溢水源 2.4.1.2 想定破損による溢水影響評価 2.4.1.2.1 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価 想定破損による没水評価フローを含め、「1.4.1.2.1 想定破損による溢水影響のうち没水影響評価」と同じである。</p>			<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・大阪は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 2.4.1.2.1-1 想定破損による没水評価フロー</p> <p>※1ターミナルエンドは完全全周破断 ※2原子が外乱が発生する場合には、事故時等の単一故障を想定しても異常状態を取戻できるよう必要に応じて対策を実施する。</p>			<p>【大飯】 <u>記載方針の相違</u> ・女川審査実績の反映 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ビットの安全確保」に分けて記載している。</p>
<p>(1) 高エネルギー配管の没水影響評価</p> <p>溢水源となりうる系統ごとに系統上の想定破損箇所に対して溢水経路図を作成し、フロアごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さの比較により没水影響を評価した。</p> <p>系統隔離により溢水量を制限しているものについては、検知及び隔離手段に応じた隔離時間を設定し溢水量を算出したところ、溢水源に基づいて評価した溢水防護区画における最高水位が、防護対象設備の機能喪失高さを超えないことを確認した。評価結果を表2.4.1.2.1-1、表2.4.1.2.1-2に示す。</p> <p>また、中央制御室には運転員が常駐しており中央制御室からの運転操作が可能であり、現場確認が必要な設備へのアクセス通路にあつては、歩行に影響のない水位であること及び必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																										
<p>表 2.4.1.2.1-1 大飯3号炉 高エネルギー配管の浸水影響評価 その1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>漏洩時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①浸水水位 (E.L.+[m])</th> <th>②機器喪失高さ (E.L.+[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">冷却水配管</td> <td rowspan="2">炉水注入配管</td> <td>15分</td> <td>17.1</td> <td>3A 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.024</td> <td>6.47</td> <td>①/②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>16.8</td> <td>3A 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.038</td> <td>6.71</td> <td>①/②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却水配管</td> <td rowspan="2">高圧蒸気発生機用ポンプ</td> <td>10分</td> <td>17.1</td> <td>3A 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.048</td> <td>6.47</td> <td>①/②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>16.8</td> <td>3A 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.077</td> <td>6.71</td> <td>①/②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却水配管</td> <td rowspan="2">炉水排出管</td> <td>10分</td> <td>17.1</td> <td>3A 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.023</td> <td>6.47</td> <td>①/②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>16.8</td> <td>3A 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.017</td> <td>6.71</td> <td>①/②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>①：浸水水位(設備の最高高さ)より高いこと、②：ポンプの浸水水位より高い時に漏洩していること。</p>								系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①浸水水位 (E.L.+[m])	②機器喪失高さ (E.L.+[m])	影響評価	判定	冷却水配管	炉水注入配管	15分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.024	6.47	①/②	A	10分	16.8	3A 燃料油循環ポンプ	6.038	6.71	①/②	A	冷却水配管	高圧蒸気発生機用ポンプ	10分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.048	6.47	①/②	A	10分	16.8	3A 燃料油循環ポンプ	6.077	6.71	①/②	A	冷却水配管	炉水排出管	10分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.023	6.47	①/②	A	10分	16.8	3A 燃料油循環ポンプ	6.017	6.71	①/②	A
系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①浸水水位 (E.L.+[m])	②機器喪失高さ (E.L.+[m])	影響評価	判定																																																								
冷却水配管	炉水注入配管	15分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.024	6.47	①/②	A																																																								
		10分	16.8	3A 燃料油循環ポンプ	6.038	6.71	①/②	A																																																								
冷却水配管	高圧蒸気発生機用ポンプ	10分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.048	6.47	①/②	A																																																								
		10分	16.8	3A 燃料油循環ポンプ	6.077	6.71	①/②	A																																																								
冷却水配管	炉水排出管	10分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.023	6.47	①/②	A																																																								
		10分	16.8	3A 燃料油循環ポンプ	6.017	6.71	①/②	A																																																								
<p>表 2.4.1.2.1-2 大飯3号炉 高エネルギー配管の浸水影響評価 その2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>漏洩時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①浸水水位 (E.L.+[m])</th> <th>②機器喪失高さ (E.L.+[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助冷却水配管</td> <td>高圧センサー検知による、初期段階のため、初期段階で検知可能。</td> <td>5分</td> <td>17.1</td> <td>3A 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.064</td> <td>6.47</td> <td>①/②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>①：浸水水位(設備の最高高さ)より高いこと、②：ポンプの浸水水位より高い時に漏洩していること。</p>								系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①浸水水位 (E.L.+[m])	②機器喪失高さ (E.L.+[m])	影響評価	判定	補助冷却水配管	高圧センサー検知による、初期段階のため、初期段階で検知可能。	5分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.064	6.47	①/②	A																																							
系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①浸水水位 (E.L.+[m])	②機器喪失高さ (E.L.+[m])	影響評価	判定																																																								
補助冷却水配管	高圧センサー検知による、初期段階のため、初期段階で検知可能。	5分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.064	6.47	①/②	A																																																								
<p>表 2.4.1.2.1-2 大飯4号炉 高エネルギー配管の浸水影響評価 その1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>漏洩時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①浸水水位 (E.L.+[m])</th> <th>②機器喪失高さ (E.L.+[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">冷却水配管</td> <td rowspan="2">炉水注入配管</td> <td>15分</td> <td>17.1</td> <td>3A 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.023</td> <td>6.47</td> <td>①/②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>16.8</td> <td>3A 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.042</td> <td>6.72</td> <td>①/②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却水配管</td> <td rowspan="2">高圧蒸気発生機用ポンプ</td> <td>10分</td> <td>17.1</td> <td>3A 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.069</td> <td>6.47</td> <td>①/②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>16.8</td> <td>3A 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.065</td> <td>6.72</td> <td>①/②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却水配管</td> <td rowspan="2">炉水排出管</td> <td>10分</td> <td>17.1</td> <td>3A 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.023</td> <td>6.47</td> <td>①/②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>16.8</td> <td>3A 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.000</td> <td>6.72</td> <td>①/②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>①：浸水水位(設備の最高高さ)より高いこと、②：ポンプの浸水水位より高い時に漏洩していること。</p>								系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①浸水水位 (E.L.+[m])	②機器喪失高さ (E.L.+[m])	影響評価	判定	冷却水配管	炉水注入配管	15分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.023	6.47	①/②	A	10分	16.8	3A 燃料油循環ポンプ	6.042	6.72	①/②	A	冷却水配管	高圧蒸気発生機用ポンプ	10分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.069	6.47	①/②	A	10分	16.8	3A 燃料油循環ポンプ	6.065	6.72	①/②	A	冷却水配管	炉水排出管	10分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.023	6.47	①/②	A	10分	16.8	3A 燃料油循環ポンプ	6.000	6.72	①/②	A
系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①浸水水位 (E.L.+[m])	②機器喪失高さ (E.L.+[m])	影響評価	判定																																																								
冷却水配管	炉水注入配管	15分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.023	6.47	①/②	A																																																								
		10分	16.8	3A 燃料油循環ポンプ	6.042	6.72	①/②	A																																																								
冷却水配管	高圧蒸気発生機用ポンプ	10分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.069	6.47	①/②	A																																																								
		10分	16.8	3A 燃料油循環ポンプ	6.065	6.72	①/②	A																																																								
冷却水配管	炉水排出管	10分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.023	6.47	①/②	A																																																								
		10分	16.8	3A 燃料油循環ポンプ	6.000	6.72	①/②	A																																																								
<p>表 2.4.1.2.1-2 大飯4号炉 高エネルギー配管の浸水影響評価 その2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>漏洩時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①浸水水位 (E.L.+[m])</th> <th>②機器喪失高さ (E.L.+[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助冷却水配管</td> <td>高圧センサーで検知による、初期段階のため、初期段階で検知可能。</td> <td>5分</td> <td>17.1</td> <td>3A 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.064</td> <td>6.47</td> <td>①/②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>①：浸水水位(設備の最高高さ)より高いこと、②：ポンプの浸水水位より高い時に漏洩していること。</p>								系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①浸水水位 (E.L.+[m])	②機器喪失高さ (E.L.+[m])	影響評価	判定	補助冷却水配管	高圧センサーで検知による、初期段階のため、初期段階で検知可能。	5分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.064	6.47	①/②	A																																							
系統名	想定範囲	漏洩時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①浸水水位 (E.L.+[m])	②機器喪失高さ (E.L.+[m])	影響評価	判定																																																								
補助冷却水配管	高圧センサーで検知による、初期段階のため、初期段階で検知可能。	5分	17.1	3A 燃料油循環ポンプ	6.064	6.47	①/②	A																																																								

【大飯】
 記載方針の相違
 ・女川審査実績の反映
 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ビットの安全確保」に分けて記載している。

(2) 低エネルギー配管の浸水影響評価
 低エネルギー配管は、対象配管の最大支持間隔における発生応力が、評価基準値以内にあり、破損の想定を要する低エネルギー配管系統はなく、浸水は発生しないことを確認した。
 (添付資料1.4.1-2 想定破損による溢水影響評価(浸水影響評価))

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

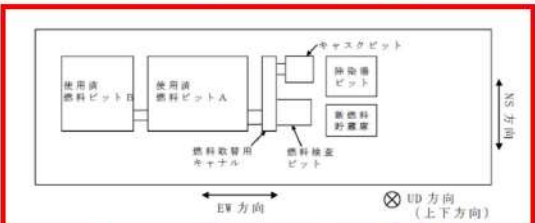
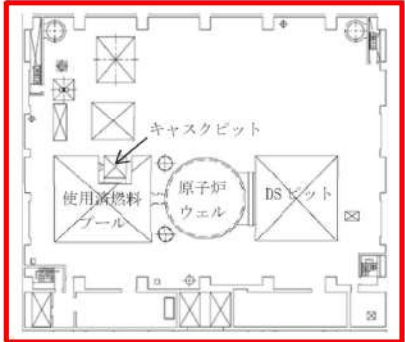
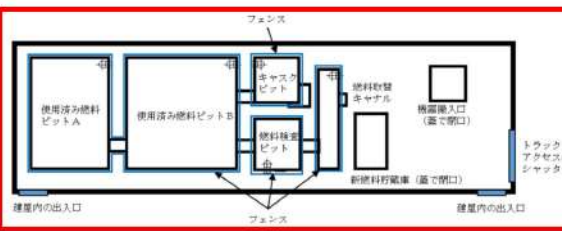
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価 「1.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価」と同じである。 (添付資料1.4.1-3) 想定破損による溢水影響評価(被水影響評価)</p> <p>2.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 「1.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価」と同じである。 (添付資料1.4.1-4) 想定破損による溢水影響評価(蒸気影響評価)</p> <p>2.4.2 放水による溢水 2.4.2.1 放水による溢水源 「1.4.2.1 放水による溢水源」と同じである。</p> <p>2.4.2.2 放水による溢水影響評価 2.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価 「1.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価」と同じである。 (添付資料1.4.2-1) 消火活動に係る時間設定の考え方 (添付資料1.4.2-2) 消火活動に係る放水による溢水影響評価 (添付資料1.4.2-3) 消火活動に係る放水による溢水経路図(代表)</p> <p>2.4.3 地震による溢水 2.4.3.1 地震による溢水源 「1.4.3.1 地震による溢水源」と同じである。 (添付資料1.4.3-1) 地震時の溢水源(原子炉周辺建屋、制御建屋)</p> <p>2.4.3.2 地震による溢水影響評価 2.4.3.2.1 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価 評価対象の防護対象設備のある区画内で溢水が発生し、溢水が流出していく「溢水防護区画内漏えい」と評価対象の防護対象設備のある区画外で溢水が発生し、溢水が流入してくる「溢水防護区画外漏えい」を想定した溢水経路を設定した。 影響評価に用いる溢水水位の算出は、溢水経路上の溢水防護区画に対して行い、溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、防護対象設備が機能</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<p>喪失に至らないことを確認した（表2.4.3.2.1-1、表2.4.3.2.1-2）。</p> <div data-bbox="201 236 613 743" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>表 2.4.3.2.1-1 大飯3号炉 地震による浸水影響評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>E.L. + ① 浸水水位 [m] (床上[m])</th> <th>② 防護対象設備</th> <th>機電喪失高さ (床上[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>3A, 3B 燃料取替用水ポンプ</td> <td>0.47</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10.0</td> <td>3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>0.71</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2.4.3.2.1-2 大飯4号炉 地震による浸水影響評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>E.L. + ① 浸水水位 [m] (床上[m])</th> <th>② 防護対象設備</th> <th>機電喪失高さ (床上[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>4A, 4B 燃料取替用水ポンプ</td> <td>0.47</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10.0</td> <td>4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>0.72</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>（別添資料1.4.3-2）耐震B、Cクラス機器の耐震強度評価方法及び評価結果 （別添資料1.4.3-3）地震に起因する浸水影響評価結果及び浸水経路図</p> <p>2.4.3.2.2 地震による溢水影響評価のうち被水影響評価 被水については溢水源から溢水量を特定せずに評価するため、地震による被水影響の検討は想定破損による被水影響評価と同じである。</p> <p>2.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 「1.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価」と同じである。</p> </div>	建屋	E.L. + ① 浸水水位 [m] (床上[m])	② 防護対象設備	機電喪失高さ (床上[m])	影響評価	判定	原子炉周辺建屋	17.1	3A, 3B 燃料取替用水ポンプ	0.47	①<②	○		10.0	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	0.71	①<②	○	建屋	E.L. + ① 浸水水位 [m] (床上[m])	② 防護対象設備	機電喪失高さ (床上[m])	影響評価	判定	原子炉周辺建屋	17.1	4A, 4B 燃料取替用水ポンプ	0.47	①<②	○		10.0	4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ	0.72	①<②	○			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・大飯は「1 原子炉施設の安全確保」と「2 使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。</p>
建屋	E.L. + ① 浸水水位 [m] (床上[m])	② 防護対象設備	機電喪失高さ (床上[m])	影響評価	判定																																		
原子炉周辺建屋	17.1	3A, 3B 燃料取替用水ポンプ	0.47	①<②	○																																		
	10.0	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	0.71	①<②	○																																		
建屋	E.L. + ① 浸水水位 [m] (床上[m])	② 防護対象設備	機電喪失高さ (床上[m])	影響評価	判定																																		
原子炉周辺建屋	17.1	4A, 4B 燃料取替用水ポンプ	0.47	①<②	○																																		
	10.0	4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ	0.72	①<②	○																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.4.4 使用済燃料ピットのスロッシングによる水位低下の評価</p> <p>基準地震動Ssによって発生する使用済燃料ピットからのスロッシングによる溢水量と機器の破損による溢水量を合計したものに對し、使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統の防護対象設備が没水により機能喪失しないことを確認する。また、溢水後の水位に對し、使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温65℃以下）及び遮蔽機能に必要な水位が確保されていることを確認する。</p> <p>使用済燃料ピットのあるフロアレベルの全体をモデル化範囲とし、スロッシングによる溢水量を評価するために、使用済燃料ピットだけでなく、燃料取替用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットのすべてが水張りされた状態で、初期水位を使用済燃料ピット水位高警報設定値（H.W.L.）とした3次元流動解析により溢水量を算出し、さらにそれら溢水量が使用済燃料ピットのみから流出したものととして保守的な評価を行う。</p> <p>使用済燃料ピット周辺の概要を図2.4.4-1に示す。</p>  <p>図2.4.4-1 使用済燃料ピット周辺の概要図</p>	<p>8 使用済燃料プール等のスロッシング後の機能維持評価</p> <p>使用済燃料プールの冷却及び給水系統の防護対象設備については、これまでの溢水影響評価において、機能喪失しないことを確認している。</p> <p>ここでは、基準地震動Ssにおけるスロッシングによる使用済燃料プール等からの溢水量がプール外に流出した際の使用済燃料プール水位を求め、プール冷却（保安規定で定めた水温65℃以下）機能及び使用済燃料の遮蔽機能維持に必要な水位が確保されていることを確認する。</p> <p>なお、以下の評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p> <p>8.1 解析評価</p> <p>基準地震動Ssに対する使用済燃料プール、原子炉ウエル及び蒸気乾燥器気水分離器ピット（以下「DSピット」という。）のスロッシングによる溢水量を推定するため、3次元流動解析を実施した。</p> <p>使用済燃料プール、原子炉ウエル及びDSピットが設置される原子炉建屋3階の機器配置図を図8-1、使用済燃料プールの概要図を図8-2に示す。</p>  <p>図8-1 原子炉建屋3階の機器配置図</p>	<p>8 使用済燃料ピット等のスロッシング後の機能維持評価</p> <p>使用済燃料ピットの冷却及び給水系統の防護対象設備については、これまでの溢水影響評価において、機能喪失しないことを確認している。</p> <p>ここでは、基準地震動におけるスロッシングによる使用済燃料ピット等からの溢水量がピット外に流出した際の使用済燃料ピット水位を求め、ピット冷却（保安規定で定めた水温65℃以下）機能及び使用済燃料の遮蔽機能維持に必要な水位が確保されていることを確認する。</p> <p>なお、以下の評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p> <p>8.1 解析評価</p> <p>基準地震動に対する使用済燃料ピット、燃料取替用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピット（以下「使用済燃料ピット等」という。）のスロッシングによる溢水量を推定するため、3次元流動解析を実施した。</p> <p>使用済燃料ピット等が設置される原子炉建屋（T.P.33.1m）の使用済燃料ピット周辺の機器配置図を図8-1、使用済燃料ピットの概要図を図8-2に示す。</p>  <p>図8-1 使用済燃料ピット周辺の機器配置図</p>	<p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 泊は「表8-1 解析条件」に解析方法を記載しているが、モデル化範囲、水張状態、初期水位の設定方法は女川と同様である。</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p> <p>【大飯・女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p> <p>【女川・大飯】 記載表現の相違</p>

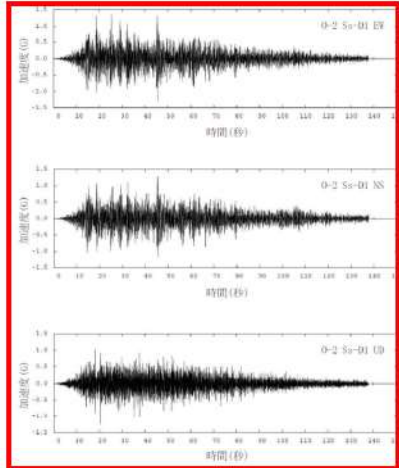
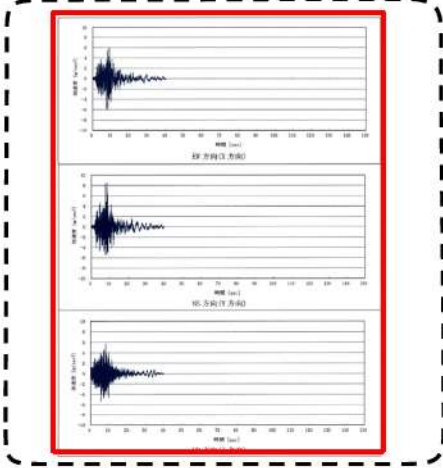
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>評価用地震動は、基準地震動S_sによる原子炉周辺建屋（E.L. +33.6m）の応答を用い、水平1方向と鉛直方向の地震力の組合せ（EW方向及びUD方向、NS方向及びUD方向）を基本として、溢水量が多くなる地震動を地震波の継続時間の観点からS_s-1を、ピットの水の固有周期における応答加速度の観点から、S_s-1, S_s-10を評価対象として選定した上で、使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量を評価する。なお、水平2方向と鉛直方向の地震力の組合せ（EW方向、NS方向及びUD方向）については、別途影響確認を行う。</p>	<div data-bbox="779 199 1182 518" data-label="Image"> </div> <p>図8-2 使用済燃料プールの概略図</p> <p>(1) 評価用地震動</p> <p>基準地震動のうち、使用済燃料プール及び原子炉ウエルDSピットの固有周期での応答が最も大きいS_s-D1を用いて評価を実施した。</p> <p>使用済燃料プール及び原子炉ウエルDSピットが存在する標高近傍の水平方向床応答スペクトルを図8-3、評価用地震動として選定したS_s-D1の時刻歴加速度波形を図8-4に示す。</p>	<div data-bbox="1294 199 1814 518" data-label="Image"> </div> <p>図8-2 使用済燃料ピット等の概要図</p> <div data-bbox="1294 590 1854 853" data-label="Text" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料ピットのスロッシング評価については、現時点で確定している基準地震動のうち、使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量が最大となるS_s3-2（金ヶ崎地震動）を用いた評価結果を示す。 以下の破線囲部分¹は、基準振動確定後に評価を実施し、今後追加となる基準地震動によるスロッシング量がS_s3-2によるスロッシング量を上回る場合には、記載の見直しを行う。 </div> <p>(1) 評価用地震動</p> <p>応答スペクトルに基づく地震動評価結果による基準地震動（以下「応答スペクトルベース」という）、断層モデルを用いた手法による地震動評価結果による基準地震動及び震源を特定せず策定する基準地震動（以下「断層モデルベース等」という）を用いて評価を実施した。</p> <p>使用済燃料ピット等が存在する標高近傍の水平方向床応答スペクトルを図8-3、時刻歴加速度波形の一例として¹基準地震動S_s3-2（金ヶ崎地震動）の時刻歴加速度波形を図8-4に示す。</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違による。</p> <p>【女川】 <u>設備名称の相違</u> <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川・大飯】 <u>設計方針の相違（評価用地震動について）</u> ・泊の使用済燃料ピットの固有周期において応答が大きいと考えられる地震動が複数あることから、現時点で確定している基準地震動については、代表ケースを選定せずすべての地震動について解析を実施している。 ・女川は応答加速度の観点からS_s-1の1波を評価用地震動としており、大飯は地震波継続時間の観点からS_s-1、応答加速度の観点からS_s-10をそれぞれ選定し、2波を評価用地震動としている。</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 泊は上記のとおり現時点で確定している基準地震動についてはすべての地震動について解析を実施しているため、評価に用いた時刻歴波形は一例としてS_s3-2のものを記載している。</p> <p>【大飯】 <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">図8-3 水平方向の床応答スペクトル</p>	<p style="text-align: center;">追而【地震津波側審査の反映】</p> <p style="text-align: center;">下図については基準地震動確定後に最新版を反映する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> </div> <p style="text-align: center;">図8-3 水平方向の床応答スペクトル</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

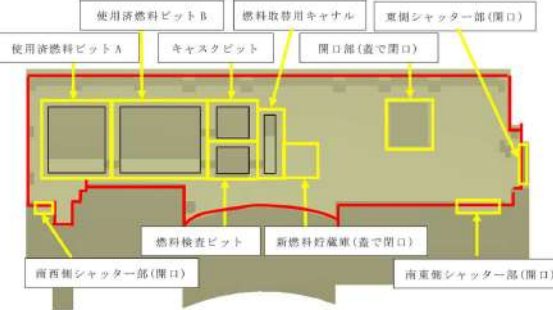
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図8-4 評価用地震動 (Ss-D1) の時刻歴加速度波形</p>	<p style="text-align: center;">追而【地震津波側審査の反映】</p> <p style="text-align: center;">下図については基準地震動確定後の評価結果により必要に応じて見直しを行う。</p>  <p>図8-4 基準地震動Ss3-2の時刻歴加速度波形</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違による。</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p>
<p>(添付資料2「使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価」)</p> <p>2.2 解析条件 解析条件は表1 に示す通りである。なお、解析モデル諸元を表2、表3 に、解析モデル図を図2、図3 に示す。</p>	<p>(2) 解析条件 溢水量を算出するための解析条件を表8-1に示す。また、解析モデル諸元を表8-2～表8-4に、解析モデル図を図8-5～図8-8に示す。</p>	<p>(2) 解析条件 溢水量を算出するための解析条件を表8-1に示す。また、解析モデル諸元を表8-2及び表8-3に、解析モデル図を図8-5～図8-7に示す。</p>	<p>【大阪】 <u>記載箇所の相違</u> 大阪との比較のため、「添付資料2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価」の記載を貼り付けた。 <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映</p> <p>【大阪・女川】 <u>記載表現の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
<p style="text-align: center;">表1 モデル化範囲 解析条件 (1/2)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">モデル化範囲</td> <td>・使用済燃料ピットのあるフロアレベルの全体（図1）</td> </tr> <tr> <td>境界条件</td> <td>・シャッター位置からは水が流出するものとする。 ・上部は開放とする。他は壁による境界を設定。</td> </tr> <tr> <td>初期水位</td> <td>・E.L.+33.21m(使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L)</td> </tr> <tr> <td>評価用地震動</td> <td>・応答スペクトルに基づく地震動評価結果による基準地震動 Ss(以下、応答スペクトルベース)、断層モデルを用いた手法による地震動評価結果による基準地震動 Sa 及び震源を特定せず策定する基準地震動 Ss(以下、断層モデルベース等) による原子炉周辺建屋 E.L.+33.6m の応答を使用する。 ・応答スペクトルベース（1波）、断層モデルベース等（18波）に対し、水平1方向と鉛直方向の地震力の組合せ（EW方向及びUD方向、NS方向及びUD方向）を基本として、時刻歴により評価する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">表1 モデル化範囲 解析条件 (2/2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>解析コード</td> <td>・FLOW-3D Ver.9.2.1（流体解析ソフトウェア 参考参照） ・自由表面（及び2流体界面）の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。（2次元メッシュ図：図3、解析モデル諸元：表2、3）</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。</td> </tr> </table>	モデル化範囲	・使用済燃料ピットのあるフロアレベルの全体（図1）	境界条件	・シャッター位置からは水が流出するものとする。 ・上部は開放とする。他は壁による境界を設定。	初期水位	・E.L.+33.21m(使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L)	評価用地震動	・応答スペクトルに基づく地震動評価結果による基準地震動 Ss(以下、応答スペクトルベース)、断層モデルを用いた手法による地震動評価結果による基準地震動 Sa 及び震源を特定せず策定する基準地震動 Ss(以下、断層モデルベース等) による原子炉周辺建屋 E.L.+33.6m の応答を使用する。 ・応答スペクトルベース（1波）、断層モデルベース等（18波）に対し、水平1方向と鉛直方向の地震力の組合せ（EW方向及びUD方向、NS方向及びUD方向）を基本として、時刻歴により評価する。	表1 モデル化範囲 解析条件 (2/2)		解析コード	・FLOW-3D Ver.9.2.1（流体解析ソフトウェア 参考参照） ・自由表面（及び2流体界面）の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。（2次元メッシュ図：図3、解析モデル諸元：表2、3）	その他	・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。	<p style="text-align: center;">表8-1 解析条件</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">モデル化範囲</td> <td>・使用済燃料プール、原子炉ウエル、DSピット</td> </tr> <tr> <td>境界条件</td> <td>・使用済燃料プール等の周辺に設置されているカーブ上端高さ（燃料取替床の床面高さ+0.1m）以上に上昇し、プール外側に溢れた水を溢水量として計算</td> </tr> <tr> <td>初期水位</td> <td>・通常水位 (N.W.L.)、O.P.+32.895m（オーバーフロー水位）</td> </tr> <tr> <td>評価用地震動</td> <td>・原子炉建屋 O.P.+22.5m の応答を使用 ・基準地震動 Ss (Ss=U)：応答スペクトルに基づく地震動) に対し、NS 方向と UD 方向、EW 方向と UD 方向の時刻歴を用いる。</td> </tr> <tr> <td>解析コード</td> <td>・Fluent Ver.14.5 (汎用流体解析コード) ・自由表面（及び2流体界面）の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することができる。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>・使用済燃料プール等の内部の構造物はキャスクピットと底面段差を考慮するが、使用済燃料貯蔵ラック、蒸気乾燥器及びシュラウドヘッドは考慮しない。 ・キャスクピット内プールは中実構造とする。 ・プール周囲に設置されているフェンス等による溢水の抑制効果は考慮しない。 ・使用済燃料プール内部の水は通常水位で一定で管理されているものとする。</td> </tr> </table>	モデル化範囲	・使用済燃料プール、原子炉ウエル、DSピット	境界条件	・使用済燃料プール等の周辺に設置されているカーブ上端高さ（燃料取替床の床面高さ+0.1m）以上に上昇し、プール外側に溢れた水を溢水量として計算	初期水位	・通常水位 (N.W.L.)、O.P.+32.895m（オーバーフロー水位）	評価用地震動	・原子炉建屋 O.P.+22.5m の応答を使用 ・基準地震動 Ss (Ss=U)：応答スペクトルに基づく地震動) に対し、NS 方向と UD 方向、EW 方向と UD 方向の時刻歴を用いる。	解析コード	・Fluent Ver.14.5 (汎用流体解析コード) ・自由表面（及び2流体界面）の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することができる。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。	その他	・使用済燃料プール等の内部の構造物はキャスクピットと底面段差を考慮するが、使用済燃料貯蔵ラック、蒸気乾燥器及びシュラウドヘッドは考慮しない。 ・キャスクピット内プールは中実構造とする。 ・プール周囲に設置されているフェンス等による溢水の抑制効果は考慮しない。 ・使用済燃料プール内部の水は通常水位で一定で管理されているものとする。	<p style="text-align: center;">表8-1 解析条件</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">モデル化範囲</td> <td>・使用済燃料ピットのあるフロアレベル全体 ・建築図からピット及び配管寸法を読み取り、ピット形状を模倣した。</td> </tr> <tr> <td>境界条件</td> <td>・シャッター位置及び室内外への出入口からは水が流出するものとする。 ・上部は大気開放条件とする。 ・その他のモデル化範囲外周は境界を設定し、溢水の跳ね返りを考慮する。 ・蓋で閉口している床面開口部（新燃料貯蔵庫、機器搬入口）からの流出は考慮しない。また、排水ドレイン口は全閉とする。</td> </tr> <tr> <td>初期水位</td> <td>T.P.32.73m（使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L.）</td> </tr> <tr> <td>評価用地震動</td> <td>・以下の基準地震動による燃料取扱棟（T.P.33.1m）の応答時刻歴波を使用する。 応答スペクトルベース：Ss-1 断層モデルベース等：Ss2-1、Ss2-2、Ss2-3、Ss2-4 Ss3-1a30_n、Ss3-1a30_y（東駒山地震動） Ss3-2a30_ew、Ss3-2a30_ns（金ヶ崎地震動） Ss3-3a30_ew、Ss3-3a30_ns（一関東地震動） ・特定の方向性を持たない応答スペクトルベースに対しては、水平1方向と鉛直方向（NS+UD及びEW+UD）を組合せ、時刻歴により評価を行う。 ・断層モデルベース等に対しては、水平2方向（NS及びEW）と鉛直方向（UD）を組合せ、時刻歴により評価を行う。</td> </tr> <tr> <td>解析コード</td> <td>FLOW-3D Ver.9.2.1（流体解析ソフトウェア） ・自由表面（及び2流体界面）の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。 ・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。 ・使用済燃料ピットA、使用済燃料ピットB、燃料取替用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットの寸法が変更された状態とする。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> </table>	モデル化範囲	・使用済燃料ピットのあるフロアレベル全体 ・建築図からピット及び配管寸法を読み取り、ピット形状を模倣した。	境界条件	・シャッター位置及び室内外への出入口からは水が流出するものとする。 ・上部は大気開放条件とする。 ・その他のモデル化範囲外周は境界を設定し、溢水の跳ね返りを考慮する。 ・蓋で閉口している床面開口部（新燃料貯蔵庫、機器搬入口）からの流出は考慮しない。また、排水ドレイン口は全閉とする。	初期水位	T.P.32.73m（使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L.）	評価用地震動	・以下の基準地震動による燃料取扱棟（T.P.33.1m）の応答時刻歴波を使用する。 応答スペクトルベース：Ss-1 断層モデルベース等：Ss2-1、Ss2-2、Ss2-3、Ss2-4 Ss3-1a30_n、Ss3-1a30_y（東駒山地震動） Ss3-2a30_ew、Ss3-2a30_ns（金ヶ崎地震動） Ss3-3a30_ew、Ss3-3a30_ns（一関東地震動） ・特定の方向性を持たない応答スペクトルベースに対しては、水平1方向と鉛直方向（NS+UD及びEW+UD）を組合せ、時刻歴により評価を行う。 ・断層モデルベース等に対しては、水平2方向（NS及びEW）と鉛直方向（UD）を組合せ、時刻歴により評価を行う。	解析コード	FLOW-3D Ver.9.2.1（流体解析ソフトウェア） ・自由表面（及び2流体界面）の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。 ・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。 ・使用済燃料ピットA、使用済燃料ピットB、燃料取替用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットの寸法が変更された状態とする。	その他		<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 【モデル化範囲、境界条件及びその他】（大飯と同様） ・女川は使用済燃料プールのみをモデル化しているのに対し、泊は使用済燃料ピットのあるフロア全体をモデル化範囲とし、エリアの外壁からの溢水の跳ね返りを考慮しているが、泊では初期条件として使用済燃料ピットに水張りされた条件としており、さらに、溢水量は、ピットからの溢水量が最大到達時のピーク値を用いることにより保守的な評価としている。 【初期水位】（大飯と同様） ・プラント設計の相違により、設定値が異なる。 【評価用地震動】 ・9-別添1-79の「<u>設計方針の相違</u>（評価用地震動について）」と同様。 ・泊の断層モデルベース等の地震動による評価では、断層モデルベース波は特定の方向性を有する地震動であることから、水平2方向+鉛直方向の同時入力により解析を実施している。 ・なお、特定の方向性を持たないスペクトルベースの地震動については、女川と同様の評価手法としている。 【解析コード】（大飯と同様） ・使用している解析コードが異なるが、共にVOF法を用いた解析コードであり、同様の検証を行っている。</p>
モデル化範囲	・使用済燃料ピットのあるフロアレベルの全体（図1）																																								
境界条件	・シャッター位置からは水が流出するものとする。 ・上部は開放とする。他は壁による境界を設定。																																								
初期水位	・E.L.+33.21m(使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L)																																								
評価用地震動	・応答スペクトルに基づく地震動評価結果による基準地震動 Ss(以下、応答スペクトルベース)、断層モデルを用いた手法による地震動評価結果による基準地震動 Sa 及び震源を特定せず策定する基準地震動 Ss(以下、断層モデルベース等) による原子炉周辺建屋 E.L.+33.6m の応答を使用する。 ・応答スペクトルベース（1波）、断層モデルベース等（18波）に対し、水平1方向と鉛直方向の地震力の組合せ（EW方向及びUD方向、NS方向及びUD方向）を基本として、時刻歴により評価する。																																								
表1 モデル化範囲 解析条件 (2/2)																																									
解析コード	・FLOW-3D Ver.9.2.1（流体解析ソフトウェア 参考参照） ・自由表面（及び2流体界面）の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。（2次元メッシュ図：図3、解析モデル諸元：表2、3）																																								
その他	・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。																																								
モデル化範囲	・使用済燃料プール、原子炉ウエル、DSピット																																								
境界条件	・使用済燃料プール等の周辺に設置されているカーブ上端高さ（燃料取替床の床面高さ+0.1m）以上に上昇し、プール外側に溢れた水を溢水量として計算																																								
初期水位	・通常水位 (N.W.L.)、O.P.+32.895m（オーバーフロー水位）																																								
評価用地震動	・原子炉建屋 O.P.+22.5m の応答を使用 ・基準地震動 Ss (Ss=U)：応答スペクトルに基づく地震動) に対し、NS 方向と UD 方向、EW 方向と UD 方向の時刻歴を用いる。																																								
解析コード	・Fluent Ver.14.5 (汎用流体解析コード) ・自由表面（及び2流体界面）の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することができる。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。																																								
その他	・使用済燃料プール等の内部の構造物はキャスクピットと底面段差を考慮するが、使用済燃料貯蔵ラック、蒸気乾燥器及びシュラウドヘッドは考慮しない。 ・キャスクピット内プールは中実構造とする。 ・プール周囲に設置されているフェンス等による溢水の抑制効果は考慮しない。 ・使用済燃料プール内部の水は通常水位で一定で管理されているものとする。																																								
モデル化範囲	・使用済燃料ピットのあるフロアレベル全体 ・建築図からピット及び配管寸法を読み取り、ピット形状を模倣した。																																								
境界条件	・シャッター位置及び室内外への出入口からは水が流出するものとする。 ・上部は大気開放条件とする。 ・その他のモデル化範囲外周は境界を設定し、溢水の跳ね返りを考慮する。 ・蓋で閉口している床面開口部（新燃料貯蔵庫、機器搬入口）からの流出は考慮しない。また、排水ドレイン口は全閉とする。																																								
初期水位	T.P.32.73m（使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L.）																																								
評価用地震動	・以下の基準地震動による燃料取扱棟（T.P.33.1m）の応答時刻歴波を使用する。 応答スペクトルベース：Ss-1 断層モデルベース等：Ss2-1、Ss2-2、Ss2-3、Ss2-4 Ss3-1a30_n、Ss3-1a30_y（東駒山地震動） Ss3-2a30_ew、Ss3-2a30_ns（金ヶ崎地震動） Ss3-3a30_ew、Ss3-3a30_ns（一関東地震動） ・特定の方向性を持たない応答スペクトルベースに対しては、水平1方向と鉛直方向（NS+UD及びEW+UD）を組合せ、時刻歴により評価を行う。 ・断層モデルベース等に対しては、水平2方向（NS及びEW）と鉛直方向（UD）を組合せ、時刻歴により評価を行う。																																								
解析コード	FLOW-3D Ver.9.2.1（流体解析ソフトウェア） ・自由表面（及び2流体界面）の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。 ・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。 ・使用済燃料ピットA、使用済燃料ピットB、燃料取替用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットの寸法が変更された状態とする。																																								
その他																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p>表2 解析領域とメッシュ数</p> <table border="1" data-bbox="143 252 654 370"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EW 方向 0.0~71.9 [m]</td> <td rowspan="3">240(EW)×90(NS)×70(UD) =1,512,000</td> </tr> <tr> <td>NS 方向 -23.3~ 0.0 [m]</td> </tr> <tr> <td>UD 方向 19.5~36.6 [m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3 物性値</p> <table border="1" data-bbox="250 730 546 842"> <thead> <tr> <th colspan="2">水 (SI 単位系)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘性係数</td> <td>0.001[Pa・s]</td> </tr> <tr> <td>密度</td> <td>1,000[kg/m³]</td> </tr> </tbody> </table>	解析領域	メッシュ数	EW 方向 0.0~71.9 [m]	240(EW)×90(NS)×70(UD) =1,512,000	NS 方向 -23.3~ 0.0 [m]	UD 方向 19.5~36.6 [m]	水 (SI 単位系)		粘性係数	0.001[Pa・s]	密度	1,000[kg/m ³]	<p>表8-2 使用済燃料プールの解析領域とメッシュ数</p> <table border="1" data-bbox="779 242 1196 344"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>総メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NS 方向 0~92.4[m]</td> <td rowspan="3">5,730,000</td> </tr> <tr> <td>EW 方向 0~94.235[m]</td> </tr> <tr> <td>UD 方向 0~26.92[m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>表8-3 原子炉ウェル及びD5ピットの解析領域とメッシュ数</p> <table border="1" data-bbox="734 418 1240 520"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>総メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NS 方向^{※1} -46.2~46.2[m]</td> <td rowspan="3">5,890,000</td> </tr> <tr> <td>EW 方向^{※1} -45.89~59.27[m]</td> </tr> <tr> <td>UD 方向^{※2} 4.2~26.92[m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 水平方向の原点は、原子炉ウェルの中心点を0[m]とした。 ※2 UD方向の原点は、使用済燃料プールの底面を0[m]とした。</p> <p>表8-4 物性値</p> <table border="1" data-bbox="815 772 1160 865"> <thead> <tr> <th colspan="2">水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘性係数</td> <td>0.00067[Pa・s]</td> </tr> <tr> <td>密度</td> <td>990[kg/m³]</td> </tr> </tbody> </table>	解析領域	総メッシュ数	NS 方向 0~92.4[m]	5,730,000	EW 方向 0~94.235[m]	UD 方向 0~26.92[m]	解析領域	総メッシュ数	NS 方向 ^{※1} -46.2~46.2[m]	5,890,000	EW 方向 ^{※1} -45.89~59.27[m]	UD 方向 ^{※2} 4.2~26.92[m]	水		粘性係数	0.00067[Pa・s]	密度	990[kg/m ³]	<p>表8-2 使用済燃料ピットの解析領域とメッシュ数</p> <table border="1" data-bbox="1294 245 1845 373"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X 方向 -0.5~58.9[m]</td> <td rowspan="3">[機密情報]</td> </tr> <tr> <td>Y 方向 -20.5~2.8[m]</td> </tr> <tr> <td>Z 方向 19.9~36.1[m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>[機密情報] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>表8-3 物性値</p> <table border="1" data-bbox="1406 769 1742 874"> <thead> <tr> <th colspan="2">水 (SI 単位系)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘性係数</td> <td>0.001 [Pa・s]</td> </tr> <tr> <td>密度</td> <td>1,000 [kg/m³]</td> </tr> </tbody> </table>  <p>図8-5 使用済燃料ピット等の解析領域（赤線）</p>	解析領域	メッシュ数	X 方向 -0.5~58.9[m]	[機密情報]	Y 方向 -20.5~2.8[m]	Z 方向 19.9~36.1[m]	水 (SI 単位系)		粘性係数	0.001 [Pa・s]	密度	1,000 [kg/m ³]	<p>【大飯】 記載箇所の相違 大飯との比較のため、「添付資料2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価」の記載を貼り付けた。</p> <p>【女川】 設備名称の相違 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p> <p>【大飯・女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯・女川】 記載方針の相違 泊は使用済燃料ピットのあるフロア全体をモデル化範囲として示している。</p>
解析領域	メッシュ数																																												
EW 方向 0.0~71.9 [m]	240(EW)×90(NS)×70(UD) =1,512,000																																												
NS 方向 -23.3~ 0.0 [m]																																													
UD 方向 19.5~36.6 [m]																																													
水 (SI 単位系)																																													
粘性係数	0.001[Pa・s]																																												
密度	1,000[kg/m ³]																																												
解析領域	総メッシュ数																																												
NS 方向 0~92.4[m]	5,730,000																																												
EW 方向 0~94.235[m]																																													
UD 方向 0~26.92[m]																																													
解析領域	総メッシュ数																																												
NS 方向 ^{※1} -46.2~46.2[m]	5,890,000																																												
EW 方向 ^{※1} -45.89~59.27[m]																																													
UD 方向 ^{※2} 4.2~26.92[m]																																													
水																																													
粘性係数	0.00067[Pa・s]																																												
密度	990[kg/m ³]																																												
解析領域	メッシュ数																																												
X 方向 -0.5~58.9[m]	[機密情報]																																												
Y 方向 -20.5~2.8[m]																																													
Z 方向 19.9~36.1[m]																																													
水 (SI 単位系)																																													
粘性係数	0.001 [Pa・s]																																												
密度	1,000 [kg/m ³]																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="152 194 654 545" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="286 552 510 576" data-label="Caption"> <p>図2 解析モデルの概要図</p> </div> <div data-bbox="161 778 618 1270" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="107 1299 672 1361" data-label="Text"> <p>※メッシュ設定は、図に示すように気液界面及び建屋構造物不連続部を密に設定している。</p> </div> <div data-bbox="295 1402 501 1428" data-label="Caption"> <p>図3 2次元メッシュ図</p> </div>	<div data-bbox="757 207 1205 542" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="797 552 1171 576" data-label="Caption"> <p>図8-5 使用済燃料プールの解析モデル図</p> </div> <div data-bbox="752 616 1205 887" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="757 892 1209 916" data-label="Caption"> <p>図8-6 原子炉ウェル及びDSピットの解析モデル図</p> </div> <div data-bbox="766 970 1187 1484" data-label="Image"> </div>	<div data-bbox="1326 194 1827 545" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1379 552 1756 576" data-label="Caption"> <p>図8-6 使用済燃料ピットの解析モデル図</p> </div> <div data-bbox="1312 874 1836 1235" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1281 1267 1845 1326" data-label="Text"> <p>※メッシュ設定は、図に示すように気液界面及び建屋構造物不連続部を密に設定している。</p> </div> <div data-bbox="1357 1367 1778 1393" data-label="Caption"> <p>図8-7 使用済燃料ピットの3次元メッシュ図</p> </div> <div data-bbox="1281 1445 1859 1471" data-label="Text"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯・女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違による。</p> <p>【大飯・女川】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設備名称の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 女川は原子炉ウェル及びDSピットを使用済燃料プールとは別にモデル化し解析を実施しているのに対し、泊は使用済燃料ピット等を一体としてモデル化し解析を実施している。（大飯と同様）</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 大飯審査実績の反映</p> <p>【大飯】 <u>記載箇所の相違</u> 大飯との比較のため、「添付資料2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価」の記載（青破線枠内）を貼り付けた。</p> <p><u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映</p>

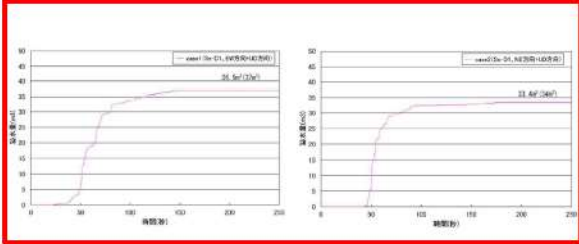
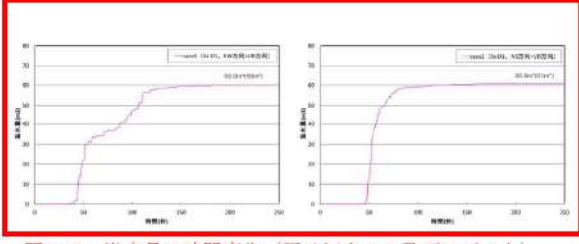

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																										
<p>基準地震動Ssにおける使用済燃料ピットのスロッシングによる最大到達溢水時の溢水量を表2.4.4-1に、使用済燃料ピット水位を表2.4.4-2に示す。</p> <p>表2.4.4-1 スロッシングによる溢水量</p> <table border="1" data-bbox="123 933 676 1013"> <tr> <td>基準地震動 Ss</td> <td>EW 方向、UD 方向</td> <td>41.12m³</td> </tr> <tr> <td>基準地震動 Ss</td> <td>NS 方向、UD 方向</td> <td>5.48m³</td> </tr> </table>	基準地震動 Ss	EW 方向、UD 方向	41.12m ³	基準地震動 Ss	NS 方向、UD 方向	5.48m ³	<p>8.2 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <p>基準地震動Ssに対する使用済燃料プール及び原子炉ウェル・DSピットのスロッシングによる溢水量を表8-5に示す。また、スロッシングによる溢水量の時間変化を図8-9及び図8-10に示す。</p> <p>地震起因による溢水影響評価に用いる溢水量は、使用済燃料プールの溢水量の多いEW+UD方向の解析結果にさらに10%の余裕を見込んだ上で、小数第1位を切り上げ処理し、41m³とした。また、同様に、定検時に水が張られる原子炉ウェル・DSピットも含めたスロッシングによる溢水量は107m³とした。</p> <p>表8-5 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <table border="1" data-bbox="705 933 1263 1061"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価ケース</th> <th colspan="2">解析結果[m³]</th> <th rowspan="2">評価に用いる溢水量[m³]</th> </tr> <tr> <th>使用済燃料プール</th> <th>原子炉ウェル及びDSピット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">Ss-D1</td> <td>Case1：EW+UD 方向</td> <td>37</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>Case2：NS+UD 方向</td> <td>34</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 原子炉ウェル・DSピットも含めた溢水量</p>	評価ケース	解析結果[m ³]		評価に用いる溢水量[m ³]	使用済燃料プール	原子炉ウェル及びDSピット	Ss-D1	Case1：EW+UD 方向	37	60	Case2：NS+UD 方向	34	61	<p>8.2 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スロッシングによる溢水量（解析結果）については、現時点で確定している基準地震動のうち、溢水量が最大となる Ss3-2（金ヶ崎地震動）を用いた評価結果を示す。 ・以下の破線部分は、基準振動確定後に評価を実施し、今後追加となる基準地震動によるスロッシング量が Ss3-2 のスロッシング量を上回る場合には、記載の見直しを行う。 </div> <p>基準地震動のうち、使用済燃料ピット等のスロッシングによる溢水量が最大となった【基準地震動Ss3-2】における溢水量（ピーク値）を表8-5に示す。また、スロッシングによる溢水量の時間変化を図8-8に示す。</p> <p>地震起因による溢水影響評価に用いる溢水量は、水平2方向（EW及びNS）及び鉛直方向（UD）の組合せによる解析結果にさらに10%の余裕を見込んだ上で、小数第1位を切り上げ処理し、35m³とした。</p> <p>表8-5 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <table border="1" data-bbox="1288 933 1854 1045"> <thead> <tr> <th>評価ケース</th> <th>解析結果 [m³]</th> <th>評価に用いる溢水量 [m³]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ss3-2</td> <td>EW+NS+UD 方向</td> <td>31.30</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	評価ケース	解析結果 [m ³]	評価に用いる溢水量 [m ³]	Ss3-2	EW+NS+UD 方向	31.30	35	<p>【大飯・女川】 <u>記載表現・設備名称の相違</u> 【女川】 <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の使用済燃料ピットの固有周期において応答が大きいと考えられる地震動が複数あることから、現時点で確定している基準地震動については、代表ケースを選定せずにすべての地震動について解析を実施している。 ・泊は使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量は、ピットからの溢水量が最大となるピーク値を用いることにより保守的な評価としている。（大飯と同様） <p>【大飯・女川】 <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果の相違による。 ・プラント設計の相違による。 ・評価に用いる地震動は、女川は特定の方向性を持たないスペクトルベースの地震動（Ss-1）、泊は特定の方向性を有する断層モデルベース等の地震動（Ss3-2）という相違がある。泊で用いるSs3-2は、EW方向及びNS方向それぞれに観測された地震波があるため、これらと鉛直方向との組合せにより、3方向同時入力により解析を実施している。なお、特定の方向性を持たないスペクトルベースの地震動（Ss-1）については、女川と同様の評価手法にて評価を実施しており、Ss3-2による溢水量を超えないことを確認している。（補足説明資料32で説明）
基準地震動 Ss	EW 方向、UD 方向	41.12m ³																											
基準地震動 Ss	NS 方向、UD 方向	5.48m ³																											
評価ケース	解析結果[m ³]		評価に用いる溢水量[m ³]																										
	使用済燃料プール	原子炉ウェル及びDSピット																											
Ss-D1	Case1：EW+UD 方向	37	60																										
	Case2：NS+UD 方向	34	61																										
評価ケース	解析結果 [m ³]	評価に用いる溢水量 [m ³]																											
Ss3-2	EW+NS+UD 方向	31.30	35																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
	 <p>図8-9 溢水量の時間変化（使用済燃料プール）</p>  <p>図8-10 溢水量の時間変化（原子炉ウエル及びDSビット）</p>	 <p>図8-8 溢水量の時間変化（使用済燃料ビット）</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・泊は使用済燃料ビットのスロッシングによる溢水量は、ビットからの溢水量が最大となるピーク値を用いることにより保守的な評価としている。（大飯と同様） ・評価結果の相違による。</p> <p>【女川】 <u>設備名称の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・プラント設計の相違による。</p>								
<p>表2.4.4-2 溢水時の使用済燃料ビット水位</p> <table border="1" data-bbox="174 1029 672 1225"> <tr> <td>初期ビット水位</td> <td>11.91m</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット水位低警報設定値 (L.W.L)</td> <td>(E.L. + 33.06m)</td> </tr> <tr> <td>地震後のビット水位 基準地震動 Ss EW方向、UD方向</td> <td>11.76m (E.L. + 32.91m)</td> </tr> <tr> <td>地震後のビット水位 基準地震動 Ss NS方向、UD方向</td> <td>11.89m (E.L. + 33.04m)</td> </tr> </table> <p>※1 ビット水位(EW方向、UD方向)=11.76m $= 11.91\text{m}(\text{初期ビット水位}) - 41.12\text{m}^3(\text{溢水量}) / 290.08\text{m}^2(\text{ビットの面積})$</p> <p>※2 ビット水位(EW方向、UD方向)=11.89m $= 11.91\text{m}(\text{初期ビット水位}) - 5.48\text{m}^3(\text{溢水量}) / 290.08\text{m}^2(\text{ビットの面積})$</p>	初期ビット水位	11.91m	使用済燃料ビット水位低警報設定値 (L.W.L)	(E.L. + 33.06m)	地震後のビット水位 基準地震動 Ss EW方向、UD方向	11.76m (E.L. + 32.91m)	地震後のビット水位 基準地震動 Ss NS方向、UD方向	11.89m (E.L. + 33.04m)			<p>【大飯】 <u>記載箇所の相違</u> 女川審査実績の反映 ・泊は後述の8.3にて使用済燃料ビットの水位を記載している。</p>
初期ビット水位	11.91m										
使用済燃料ビット水位低警報設定値 (L.W.L)	(E.L. + 33.06m)										
地震後のビット水位 基準地震動 Ss EW方向、UD方向	11.76m (E.L. + 32.91m)										
地震後のビット水位 基準地震動 Ss NS方向、UD方向	11.89m (E.L. + 33.04m)										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
<p>2.4.5 使用済燃料ピットのスロッシングに対する冷却機能及び給水機能の維持の確認</p> <p>使用済燃料ピットの最大到達溢水時の溢水量が、使用済燃料ピット低水位警報設定値（L.W.L）からピット外に流出したと仮定した場合の使用済燃料ピット水位を求め、使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温65℃）の維持に必要な水位が確保されていることを確認した結果を表2.4.5-1に示す。</p> <p>また、使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な防護対象設備が没水により機能喪失しないことを確認した結果を表2.4.5-2に示す。</p> <p>表 2.4.5-1 溢水時における使用済燃料ピットの冷却機能の維持の確認結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>方向</th> <th>地震後のピット水位 [m]</th> <th>冷却機能の維持に必要な水位^{※1} [m]</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準地震動 Ss</td> <td>11.76^{※2}</td> <td>10.99</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>EW 方向、UD 方向</td> <td>(E.L. +32.91)</td> <td>(E.L. +32.14)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温 65℃）の維持に必要な水位を、使用済燃料ピットポンプ吸込側のピット接続配管の上端レベルとした。</p> <p>※2 ピット水位（EW 方向、UD 方向）= 11.76m = 11.91m（初期ピット水位）- 41.12m3（溢水量）/ 290.08m2（ピットの面積）</p> <p>表 2.4.5-2 溢水時における使用済燃料ピットへの冷却機能及び給水機能維持の確認結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象機器</th> <th>設置場所</th> <th>溢水水位 [m]</th> <th>機能喪失高さ [m]</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料ピットポンプ</td> <td rowspan="2">原子炉 周辺建屋</td> <td>3号炉 0.154</td> <td>3号炉 0.71</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.170</td> <td>4号炉 0.72</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料ピットポンプ現場操作盤</td> <td rowspan="2">原子炉 周辺建屋</td> <td>3号炉 0.154</td> <td>3号炉 1.20</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.170</td> <td>4号炉 1.20</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料取替用水ポンプ</td> <td rowspan="2">原子炉 周辺建屋</td> <td>3号炉 0.096</td> <td>3号炉 0.47</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.095</td> <td>4号炉 0.47</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料取替用水ポンプ現場操作盤</td> <td rowspan="2">原子炉 周辺建屋</td> <td>3号炉 0.096</td> <td>3号炉 1.20</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.095</td> <td>4号炉 1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「表 2.4.3.2.1-1 大飯3号炉 地震による没水影響評価」及び「表 2.4.3.2.1-2 大飯4号炉 地震による没水影響評価」より。</p>	方向	地震後のピット水位 [m]	冷却機能の維持に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果	基準地震動 Ss	11.76 ^{※2}	10.99	○	EW 方向、UD 方向	(E.L. +32.91)	(E.L. +32.14)	対象機器	設置場所	溢水水位 [m]	機能喪失高さ [m]	評価結果	使用済燃料ピットポンプ	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.154	3号炉 0.71	○	4号炉 0.170	4号炉 0.72	使用済燃料ピットポンプ現場操作盤	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.154	3号炉 1.20	○	4号炉 0.170	4号炉 1.20	燃料取替用水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.096	3号炉 0.47	○	4号炉 0.095	4号炉 0.47	燃料取替用水ポンプ現場操作盤	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.096	3号炉 1.20	○	4号炉 0.095	4号炉 1.20	<p>8. 3 使用済燃料プール等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認</p> <p>(1) スロッシングによる使用済燃料プール水位低下及び必要水位</p> <p>使用済燃料プール等からのスロッシングによる溢水がプール外に流出した際の使用済燃料プール水位及びプール冷却並びに遮蔽に必要な水位を表8-6に示す。使用済燃料プール単独でのスロッシング影響を考慮した場合の方が、使用済燃料プール水位がより低下するため、以下では使用済燃料プール単独のスロッシングによる影響を評価した。</p> <p>表8-6 スロッシング発生後の使用済燃料プール水位及び必要水位</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>初期プール水位 (m)</td> <td>11.515 (0.P.+32.895)</td> </tr> <tr> <td>スロッシング発生後のプール水位^{※1} (m)</td> <td>11.245 (使用済燃料プール単独のスロッシングを考慮した場合) (0.P.+32.625)</td> </tr> <tr> <td>スロッシング発生後のプール水位^{※2} (m)</td> <td>11.255 (原子炉ウエル・DSピットのスロッシングも考慮した場合) (0.P.+32.635)</td> </tr> <tr> <td>プール冷却に必要な水位^{※3} (m)</td> <td>11.515 (0.P.+32.895)</td> </tr> <tr> <td>遮蔽に必要な水位^{※4} (m)</td> <td>7.958 (0.P.+29.338)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 初期プール水位からの水位低下量 (0.27m) は、溢水量 (41m³) を使用済燃料プールの面積で除し、小数第3位を切り上げて算出した。</p> <p>※2 初期プール水位からの水位低下量 (0.26m) は、溢水量 (107m³) を使用済燃料プール・原子炉ウエル・DSピットの合計面積で除し、小数第3位を切り上げて算出した。</p> <p>※3 保安規定で定められている、水温 (65℃以下) が保たれるために必要な水位として、保守的にオーバーフロー水位を設定した。</p> <p>※4 使用済燃料を考慮した、使用済燃料プール水面の設計基準線量率 (≦0.05 mSv/h) を満足する水位。</p>	初期プール水位 (m)	11.515 (0.P.+32.895)	スロッシング発生後のプール水位 ^{※1} (m)	11.245 (使用済燃料プール単独のスロッシングを考慮した場合) (0.P.+32.625)	スロッシング発生後のプール水位 ^{※2} (m)	11.255 (原子炉ウエル・DSピットのスロッシングも考慮した場合) (0.P.+32.635)	プール冷却に必要な水位 ^{※3} (m)	11.515 (0.P.+32.895)	遮蔽に必要な水位 ^{※4} (m)	7.958 (0.P.+29.338)	<p>8. 3 使用済燃料ピット等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認</p> <p>(1) スロッシングによる使用済燃料ピット水位低下及び必要水位</p> <p>使用済燃料ピット等からのスロッシングによる溢水量（ピーク値）が、使用済燃料ピット低水位警報設定値（L.W.L）からピット外に流出した際の使用済燃料ピット水位及びピット冷却並びに遮蔽に必要な水位を表8-6に示す。使用済燃料ピット単独でのスロッシング影響を考慮した場合の方が、使用済燃料ピット水位がより低下するため、以下では使用済燃料ピット単独のスロッシングによる影響を評価した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">追而【地震津波側審査の反映】</p> <p>下表の「破線部分」については基準地震動確定後の評価結果により必要に応じて見直しを行う。</p> </div> <p>表8-6 スロッシング発生後の使用済燃料ピット水位及び必要水位</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>初期ピット水位 T.P. [m] ^{※1}</td> <td>32.58</td> </tr> <tr> <td>スロッシング発生後のピット水位 T.P. [m]</td> <td>32.36</td> </tr> <tr> <td>ピット冷却に必要な水位^{※2} T.P. [m]</td> <td>31.62</td> </tr> <tr> <td>遮蔽に必要な水位^{※3} T.P. [m]</td> <td>29.74</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料ピット低水位警報設定値（L.W.L）</p> <p>※2 使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温 65℃）の維持に必要な水位（使用済燃料ピットポンプ吸込側のピット接続配管の上端レベル）</p> <p>※3 使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能（水面の設計基準線量率≦0.01mSv/h）に必要な水位</p>	初期ピット水位 T.P. [m] ^{※1}	32.58	スロッシング発生後のピット水位 T.P. [m]	32.36	ピット冷却に必要な水位 ^{※2} T.P. [m]	31.62	遮蔽に必要な水位 ^{※3} T.P. [m]	29.74	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量は、ピットからの溢水量が最大となるピーク値を用いることにより保守的な評価としている。（大飯と同様） ・また、解析の初期条件としては使用済燃料ピットの高水位レベルとして評価を行っているが、スロッシング発生後のピット水位の評価では、保守的に低水位警報レベルから水位低下するものとして評価を実施している。（大飯と同様） <p>【大飯・女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果の相違による。 ・プラント設計の相違による。 <p>【大飯】 記載箇所の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な防護対象設備が没水により機能喪失しないことの確認結果を添付資料24「地震起因による没水影響評価結果」に記載している。
方向	地震後のピット水位 [m]	冷却機能の維持に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果																																																														
基準地震動 Ss	11.76 ^{※2}	10.99	○																																																														
EW 方向、UD 方向	(E.L. +32.91)	(E.L. +32.14)																																																															
対象機器	設置場所	溢水水位 [m]	機能喪失高さ [m]	評価結果																																																													
使用済燃料ピットポンプ	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.154	3号炉 0.71	○																																																													
		4号炉 0.170	4号炉 0.72																																																														
使用済燃料ピットポンプ現場操作盤	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.154	3号炉 1.20	○																																																													
		4号炉 0.170	4号炉 1.20																																																														
燃料取替用水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.096	3号炉 0.47	○																																																													
		4号炉 0.095	4号炉 0.47																																																														
燃料取替用水ポンプ現場操作盤	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.096	3号炉 1.20	○																																																													
		4号炉 0.095	4号炉 1.20																																																														
初期プール水位 (m)	11.515 (0.P.+32.895)																																																																
スロッシング発生後のプール水位 ^{※1} (m)	11.245 (使用済燃料プール単独のスロッシングを考慮した場合) (0.P.+32.625)																																																																
スロッシング発生後のプール水位 ^{※2} (m)	11.255 (原子炉ウエル・DSピットのスロッシングも考慮した場合) (0.P.+32.635)																																																																
プール冷却に必要な水位 ^{※3} (m)	11.515 (0.P.+32.895)																																																																
遮蔽に必要な水位 ^{※4} (m)	7.958 (0.P.+29.338)																																																																
初期ピット水位 T.P. [m] ^{※1}	32.58																																																																
スロッシング発生後のピット水位 T.P. [m]	32.36																																																																
ピット冷却に必要な水位 ^{※2} T.P. [m]	31.62																																																																
遮蔽に必要な水位 ^{※3} T.P. [m]	29.74																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>(2) ブルー冷却に必要な水位の確保について</p> <p>地震起因による溢水影響評価において、残留熱除去系による使用済燃料プールへの冷却機能・給水機能が維持されることを確認しているが、表8-6より、地震後の使用済燃料プール水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、使用済燃料プール水の温度上昇に対する時間余裕と、系統切替操作にかかる時間を評価し、使用済燃料プール水温が保安規定で定める水温(65℃)を上回らないことを、以下のとおり確認した。</p> <p>使用済燃料プール水の温度上昇に対する時間余裕については、有効性評価で想定している、原子炉停止後に最短時間(原子炉停止後10日)で取り出された全炉心分の燃料と、過去に取り出された貯蔵燃料が、使用済燃料貯蔵ラックに最大数保管されていることを想定し、また地震に伴うスロッシングによる溢水量41(m³)を使用済燃料プールの初期保有水量から差し引いた状態にて算出した。使用済燃料プール水温度が65℃に到達するまでの時間余裕を表8-7にまとめる。なお、初期水温は40℃と想定した。また、残留熱除去系による使用済燃料プールへの給水に要する時間を表8-8示す。</p> <p>以上により、使用済燃料プール水温度上昇に対する時間余裕の中で、残留熱除去系によるプールへの給水が完了し、またブルー冷却機能も維持されていることから、使用済燃料プール水温が保安規定で定める水温(65℃)を上回ることはない。</p> <p style="text-align: center;">表8-7 使用済燃料プール水温度と時間余裕</p> <table border="1" data-bbox="725 1002 1249 1056"> <tr> <td>使用済燃料プール水</td> <td>65℃到達時間(h)</td> <td>100℃到達時間(h) (参考)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5</td> <td>13</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表8-8 残留熱除去系による使用済燃料プールへの給水に要する時間</p> <table border="1" data-bbox="725 1171 1232 1311"> <tr> <td>現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)</td> <td>50(分)^{#1}</td> </tr> <tr> <td>給水流量</td> <td>300 (m³/h) ^{#2}</td> </tr> <tr> <td>給水完了時間</td> <td>2時間^{#3}</td> </tr> </table> <p><small>※1 残留熱除去系への系統切替手順は運転手順書にて定められている。また現場所要時間(漏えい箇所の特定、系統切替操作)が50分程度であること及び系統切替操作時の運転員によるアクセス性について問題ないことを確認している(補足説明資料10参照)。 ※2 運転手順書にて定める、残留熱除去系ポンプ1台の運転時流量 ※3 現場所要時間(漏えい箇所の特定、系統切替操作)及び給水時間に余裕を考慮し設定</small></p>	使用済燃料プール水	65℃到達時間(h)	100℃到達時間(h) (参考)		5	13	現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)	50(分) ^{#1}	給水流量	300 (m ³ /h) ^{#2}	給水完了時間	2時間 ^{#3}	<p>(2) ピット冷却に必要な水位の確保について</p> <p>表8-6より、使用済燃料ピットの冷却に必要な水位が確保されていることを確認した。</p>	<p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は使用済燃料プールのスロッシング後、燃料プールの水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、燃料プール冷却ポンプが停止し、使用済燃料プール冷却機能が喪失する。そのため、系統切替操作によるブルーへの給水が必要であることから、スロッシング後の使用済燃料プール冷却・給水に係る手順を定めている。 ・泊では、使用済燃料ピットのスロッシング後においても使用済燃料ピットの冷却機能が喪失することはないため、女川のようなピットの冷却・給水機能を維持するための運用手順は不要である。
使用済燃料プール水	65℃到達時間(h)	100℃到達時間(h) (参考)													
	5	13													
現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)	50(分) ^{#1}														
給水流量	300 (m ³ /h) ^{#2}														
給水完了時間	2時間 ^{#3}														

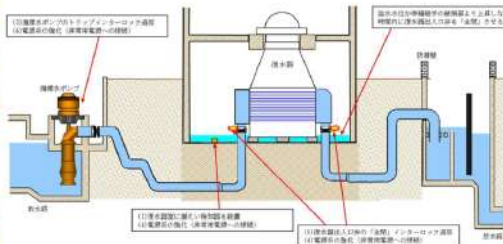
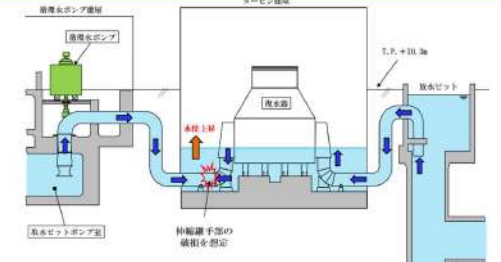
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p>使用済燃料ピットの最大到達溢水時の溢水量が、使用済燃料ピット低水位警報設定値（L.W.L）からピット外に流出したと仮定した場合の使用済燃料ピット水位を求め、使用済燃料からの放射線に対する遮蔽に必要な水位が確保されていることを確認した結果を表2.4.5-3に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>表 2.4.5-3 溢水時における使用済燃料からの放射線に対する遮蔽機能の確認結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">方向</th> <th style="width: 25%;">地震後のピット水位 [m]</th> <th style="width: 25%;">遮蔽に必要な水位^{※1} [m]</th> <th style="width: 25%;">評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準地震動 S₀ EW 方向、UD 方向</td> <td>11.76^{※2} (E.L. + 32.91)</td> <td>9.24 (E.L. + 30.39)</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料ピットの水面の設計基準値（≦0.02mSv/h）を満足するために必要な水位</p> <p>※2 ピット水位（EW 方向、UD 方向）= 11.76m = 11.91m（初期ピット水位）- 41.12m³（溢水量）/ 290.08m²（ピットの面積）</p> <p>（添付資料2）使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価</p> </div> <p>5. 防護対象設備が設置されている建屋の外からの溢水影響評価 タービン建屋（循環水管、津波）、屋外タンク及び湧水（原子炉周辺建屋）からの溢水が、防護対象設備の設置されている建屋（原子炉周辺建屋及び制御建屋）に及ぼす影響を確認した。</p>	方向	地震後のピット水位 [m]	遮蔽に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果	基準地震動 S ₀ EW 方向、UD 方向	11.76 ^{※2} (E.L. + 32.91)	9.24 (E.L. + 30.39)	○	<p>(3) 遮蔽に必要な水位の確保について 表8-6より、使用済燃料プールの遮蔽に必要な水位が確保されていることを確認した。</p>	<p>(3) 遮蔽に必要な水位の確保について 表8-6より、使用済燃料ピットの遮蔽に必要な水位が確保されていることを確認した。</p>	<p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大阪】 記載箇所の相違 女川審査実績の反映 ・泊では表8-6で遮蔽に必要な水位の確認結果を記載している。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
方向	地震後のピット水位 [m]	遮蔽に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果								
基準地震動 S ₀ EW 方向、UD 方向	11.76 ^{※2} (E.L. + 32.91)	9.24 (E.L. + 30.39)	○								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>5.1 タービン建屋からの溢水影響評価</p> <p>5.1.1 タービン建屋の溢水源と溢水量</p> <p>循環水管の伸縮継手部及び2次系機器を溢水源とする。</p> <p>循環水管の伸縮継手部からの溢水については、伸縮継手部の全円周状の破損を考慮する。算出した溢水流量は以下のとおり。</p> <p>表5.1.1-1 循環水管の伸縮継手部の溢水流量</p> <table border="1" data-bbox="114 443 683 523"> <thead> <tr> <th>内径(mm)D</th> <th>継手幅(mm)w</th> <th>溢水流量(m³/h)Q/ユニット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,200</td> <td>150</td> <td>102,112</td> </tr> </tbody> </table> <p>循環水ポンプ停止までの時間については、地震発生からポンプ停止までの時間を考慮する。想定した時間は以下のとおり。なお、中央制御室における遠隔停止機能が喪失した場合も考慮し、現地停止操作等の時間を②、③に含めている。</p> <p>表5.1.1-2 循環水ポンプ停止までの時間</p> <table border="1" data-bbox="163 762 642 927"> <tbody> <tr> <td>①地震発生事象確認</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>②地震発生による異常の認知時間</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>③循環水ポンプ停止</td> <td>6分</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26分</td> </tr> </tbody> </table> <p>算出した溢水流量及び想定したポンプ停止までの時間から溢水量を算出した結果は以下のとおり。</p> <p>(溢水流量) × (隔離までの時間) = (溢水量) $102,112(\text{m}^3/\text{h}) \times 26/60(\text{h}) = \text{約}44,300(\text{m}^3)$</p> <p>表5.1.1-3 循環水管の伸縮継手部の溢水量</p> <table border="1" data-bbox="114 1166 683 1246"> <thead> <tr> <th></th> <th>溢水量(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地震による破損</td> <td>約44,300×2ユニット=約88,600</td> </tr> </tbody> </table> <p>2次系機器の保有水量を算出した主な機器は以下のとおり。 容器：復水器、主油タンク、低圧給水加熱器、高圧給水加熱器 脱気器タンク、タービン建屋周辺タンク等 配管：給水管、復水管、海水管、飲料水配管、消火水配管等</p>	内径(mm)D	継手幅(mm)w	溢水流量(m ³ /h)Q/ユニット	4,200	150	102,112	①地震発生事象確認	10分	②地震発生による異常の認知時間	10分	③循環水ポンプ停止	6分	合計	26分		溢水量(m ³)	地震による破損	約44,300×2ユニット=約88,600	<p>9. タービン建屋からの溢水影響評価</p> <p>9.1 評価条件</p> <p>溢水源となりうる機器が存在するタービン建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋及び制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。なお、タービン建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。また、タービン建屋管理区域内に循環水系配管が設置されていることを考慮し、タービン建屋における事象進展を以下のとおり想定した。</p> <p>(1) 地震により循環水系配管の伸縮継手部及び耐震B、Cクラス機器が破損し、溢水が発生する。</p> <p>(2) 耐震B、Cクラス機器の破損による溢水は瞬時に滞留し、循環水系配管の伸縮継手部からの溢水は循環水ポンプ停止まで継続する。</p> <p>(3) 地震に伴い、津波が来襲することを考慮する。</p> <div data-bbox="712 943 1256 1302" style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> <p>(記載箇所を変更)</p>  <p>図9-1 循環水系における対策内容</p> </div>	<p>9. タービン建屋からの溢水影響評価</p> <p>9.1 評価条件</p> <p>溢水源となりうる機器が存在するタービン建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>なお、タービン建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。また、タービン建屋内に循環水管が設置されていることを考慮し、タービン建屋における事象進展は以下のとおり想定した。</p> <p>(1) 地震により循環水管の伸縮継手部及び耐震Cクラス機器が破損し、溢水が発生する。</p> <p>(2) 耐震Cクラス機器の破損による溢水は瞬時に滞留し、循環水管の伸縮継手部からの溢水は循環水ポンプ停止まで継続する。</p> <p>(3) 地震に伴い、津波が来襲することを考慮する。</p> <p>タービン建屋の溢水概念図を図9-1に示す。</p> <div data-bbox="1294 959 1839 1254" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">  <p>図9-1 タービン建屋の溢水概念図</p> </div>	<p>【大飯】 記載表現の相違 【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 ・タービン建屋における溢水評価方針は大飯と同様であり、大飯が記載している溢水量算出等の詳細については、補足説明資料35「タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について」に記載している。 【女川】 建屋名称の相違 設備名称の相違 【女川】 設計方針の相違 泊のタービン建屋には管理区域は設置されていない。 設計方針の相違 泊のタービン建屋内にある機器・配管はすべてCクラス機器である。 【女川】 記載箇所・記載方針の相違 女川は後段の「(2)循環水系における対策内容」に循環水系を自動隔離するためのインターロックの説明として本図を掲載しているが、泊は同様の対策は無いため、タービン建屋における循環水管からの溢水概念図として本図を掲載している。</p>
内径(mm)D	継手幅(mm)w	溢水流量(m ³ /h)Q/ユニット																			
4,200	150	102,112																			
①地震発生事象確認	10分																				
②地震発生による異常の認知時間	10分																				
③循環水ポンプ停止	6分																				
合計	26分																				
	溢水量(m ³)																				
地震による破損	約44,300×2ユニット=約88,600																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p>表5.1.1-4 2次系機器の保有水量</p> <table border="1" data-bbox="114 209 683 331"> <tr> <th colspan="2">保有水量</th> <th rowspan="2">保有水量合計(m³)※3</th> </tr> <tr> <th>配管(m³)※1</th> <th>容器(m³)※2</th> </tr> <tr> <td>約3,260</td> <td>約8,380</td> <td>約11,700m³</td> </tr> </table> <p>※1 配管：約1,630m³×2ユニット=3,260m³</p> <p>※2 容器：タービン建屋内機器+タービン建屋周辺タンク =タービン建屋内機器（約2,940m³×2ユニット） +タービン建屋周辺タンク（約2,500m³） =約5,880m³+約2,500m³=約8,380m³</p> <p>※3 保有水量合計：3,260m³+8,380m³<11,700m³</p> <p>次に循環水ポンプ停止から津波襲来前までの溢水量を考慮する。朔望平均満潮位及び潮位のばらつきを考慮した水位（E.L.+0.49m）とタービン建屋内の溢水水位（E.L.+8.4m）を比較した結果、タービン建屋内の溢水水位の方が高いことから、この期間の外部からの流入はない。</p>	保有水量		保有水量合計(m ³)※3	配管(m ³)※1	容器(m ³)※2	約3,260	約8,380	約11,700m ³	<p>9. 2 評価に用いる各項目の算出</p> <p>9. 2. 1 タービン建屋における溢水源 配管計装線図（P&ID）を用いて、タービン建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料13に示す。</p> <p>9. 2. 2 タービン建屋における溢水量 以下のとおり、管理区域エリア、非管理区域エリア各々について地震に起因する機器の破損に伴う溢水量を算出した。算出結果を添付資料17に示す。</p> <p>(i) 管理区域エリア 管理区域エリアにおいて、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。その結果、各系統の溢水量の合計は、6,843m³となった。</p> <p>a. 手動隔離は期待しない。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>c. 給水系の溢水量算出は、①配管破断⇒②原子炉水位低（L2）⇒③主蒸気 隔離弁「閉」⇒④復水器ホットウェル水位低下⇒⑤低圧復水ポンプトリップ⇒⑥高圧復水ポンプトリップ⇒⑦原子炉給水ポンプトリップとし、③から⑦までの漏えい量は復水器ホットウェル水位の変化量（NWL～LLWL）とした。また、①から③までの漏えい時間は60秒と想定した。</p> <p>d. ヒータードレン系については地震スクラム⇒主蒸気隔離弁「閉」⇒タービントリップ⇒ドレン発生停止とした。</p> <p>e. 循環水系については、今回追加設置するインターロックによる自動隔離を考慮し、復水器入口の伸縮継手部の全周破損に伴う漏えい開始20秒後に復水器室にて漏えいを検知し、循環水ポンプトリップ⇒漏えい検知の30秒後に循環水ポンプ吐き出し停止となり漏えいが止まるものとして算定した。</p>	<p>9. 2 評価に用いる各項目の算出</p> <p>9. 2. 1 タービン建屋における溢水源 系統図及び機器配置図を用いて、タービン建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料12に示す。</p> <p>9. 2. 2 タービン建屋における溢水量 以下のとおり、タービン建屋における地震に起因する機器の破損に伴う溢水量を算出した。算出結果を添付資料16に示す。</p> <p>地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。その結果、各系統の溢水量の合計は、28,370m³となった。</p> <p>a. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>b. 循環水管については、地震発生からポンプ停止までの時間を考慮し、循環水ポンプ出口の伸縮継手部の全周破損に伴う漏えい開始から46分後に循環水ポンプ吐き出し停止となり漏えいが止まるものとして算定した。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 ・タービン建屋における溢水評価方針は大飯と同様であり、大飯が記載している溢水量算出等の詳細については、補足説明資料35「タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について」に記載している。</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載表現の相違 【女川】 設計方針の相違 ・評価結果の相違による。 ・泊のタービン建屋には管理区域は設置されていない。 ・泊ではタービン建屋における循環水管からの漏えいに対して運転員による手動隔離操作に期待している。 ・泊のタービン建屋内の耐震Cクラス機器のうち、隔離による漏えい停止に期待している系統は循環水系のみであることから、女川の給水系及びヒータードレン系に対応する系統はない。 ・女川は循環水系からの溢水に対して、インターロックによる自動隔離を考慮して溢水量を算出している。 ・一方泊では、運転員による手動操作による漏えい停止を実施することから、漏えい検知から隔離操作完了までの時間を保守的に設定している。（大飯と同様、大飯との比較結果は補足説明資料35にて説明する）</p>
保有水量		保有水量合計(m ³)※3									
配管(m ³)※1	容器(m ³)※2										
約3,260	約8,380	約11,700m ³									

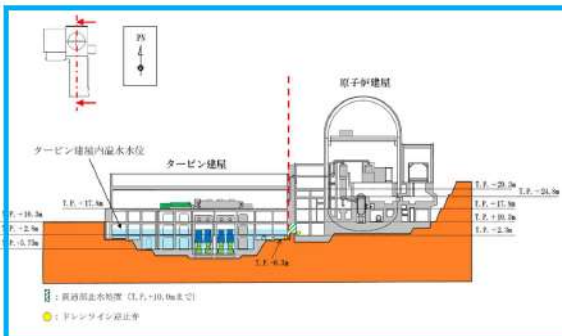
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>さらに津波襲来時の溢水量を考慮する。</p> <p>津波襲来時の取水側水位（E.L.+6.9m：「津波に対する施設評価」による）及び放水ビット水位（E.L.+8.3m：「津波に対する施設評価」による）とタービン建屋内の溢水水位（E.L.+8.4m）を比較した結果、タービン建屋内の溢水水位の方が高いことから、この期間の外部からの流入はない。</p> <p>なお、敷地高さはE.L.+9.7mであり、津波襲来による敷地への流入はない。</p> <p>5.1.2 タービン建屋の想定破損による溢水影響評価</p> <p>5.1.2.1 タービン建屋の想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>想定破損は単一機器の破損を想定するが、地震による没水影響評価では全機器の破損を想定した溢水量で実施するため、地震による没水影響評価で包絡される。</p>	<p>なお、津波による影響に関しては、津波来襲前に復水器水室出入口弁を全閉することにより、津波がタービン建屋内に浸入しないため、影響はない。</p> <p>(2) 非管理区域エリア</p> <p>非管理区域エリアにおいて、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。その結果、各系統の溢水量の合計は、824m³となった。</p> <p>a. 手動隔離は期待しない。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>c. タービン補機冷却海水系については、今回追加設置するインターロックによる自動隔離を考慮し、配管破損に伴う漏えい開始30秒後にタービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室にて漏えいを検知し、タービン補機冷却海水ポンプトリップ⇒漏えい検知の30秒後にタービン補機冷却海水ポンプ吐き出し停止となり漏えいが止まるものとして算定した。なお、津波による影響に関しては、津波来襲前にタービン補機冷却海水ポンプ吐出弁を全閉することにより、津波がタービン建屋内に浸入しないため、影響はない。</p> <p>9. 2. 3 タービン建屋における溢水経路</p> <p>タービン建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、床ハッチ、開口部等を経由し、最終的には最地下階に貯留される。タービン建屋における溢水経路図を添付資料30に示す。</p>	<p>追而【地震津波側審査の反映】</p> <p>タービン建屋からの溢水評価については、循環水管の伸縮継手破損部からの津波流入を考慮していることから、以下の破線囲部分は基準津波確定後の評価結果を反映する。</p> <p>さらに津波来襲時の溢水量を考慮する。</p> <p>津波来襲時の取水側水位（T.P. []m）及び放水ビット水位（T.P. []m）とタービン建屋内の溢水水位（T.P. 5.7m）を比較した結果、タービン建屋内への津波流入量は [11,870] m³となった。</p> <p>9. 2. 3 タービン建屋における溢水経路</p> <p>タービン建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、グレーチングが設置された開口部等を経由し、最終的には最地下階に貯留される。タービン建屋における溢水経路を添付資料26に示す。</p>	<p>【女川・大飯】 <u>設計方針の相違</u></p> <p>・女川は津波来襲前に復水器水室出入口弁を全閉するため津波は流入しない。</p> <p>・大飯はタービン建屋内溢水水位が取水・放水ビット水位よりも高いため、津波は流入しない。</p> <p>・一方泊は、取水・放水ビット水位がタービン建屋内の溢水水位よりも高いことから、津波の流入を考慮している。</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u></p> <p>泊のタービン建屋には管理区域は設置されていないため、管理区域エリアと非管理区域エリアに分けた記載はしていない。</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u></p> <p>タービン建屋の床面はグレーチング構造となっている箇所が多数あり、溢水はグレーチング開口を経由し最地下階に滞留するため、当該記載をしている。</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																					
<p>5.1.3 タービン建屋の放水による溢水影響評価</p> <p>5.1.3.1 タービン建屋の放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>地震による没水影響評価では全機器の破損を想定した溢水量で実施するため、地震による没水影響評価で包絡される。</p> <p>5.1.4 タービン建屋の地震による溢水影響評価</p> <p>5.1.4.1 タービン建屋の地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>溢水を保有するためのタービン建屋の空間容積は、E.L.+9.7m（タービン建屋からの流出高さ）以下のタービン建屋体積から、欠損部体積を差し引き算出する。具体的には、タービン建屋体積は、柱スパン寸法から算出し、欠損部体積は、建屋構築物の体積、機器及び配管とし、複雑な形状のものは、保守的に最大寸法から体積を算出した。</p> <p>欠損部体積を算出した主な設備は以下のとおり。</p> <p>建屋構築物：柱基礎、壁、復水器基礎、タービン架台脚部、循環水管基礎等</p> <p>機器：ポンプ、タンク、盤等</p> <p>配管：循環水管、復水管等</p> <p>表5.1.1.4-1 タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積</p> <table border="1" data-bbox="112 922 678 1029"> <thead> <tr> <th>ユニット</th> <th>地下体積(m³)</th> <th>欠損部体積(m³)</th> <th>空間容積(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3号炉</td> <td>約 109,200</td> <td>約 43,000</td> <td>約 66,200</td> </tr> <tr> <td>4号炉</td> <td>約 76,800</td> <td>約 25,500</td> <td>約 51,300</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;">合計約117,500m³</td> </tr> </tbody> </table> <p>2次系機器の破損による溢水量と循環水管の伸縮継手部からの溢水量を加算した場合においても、タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積より小さいことから、タービン建屋内に貯水可能であり、建屋外へ流出することがないことを確認した。</p> <p>100,300m³ < 117,500m³ (溢水量) (タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積)</p> <p>(添付資料5.1) タービン建屋からの溢水影響評価</p>	ユニット	地下体積(m³)	欠損部体積(m³)	空間容積(m³)	3号炉	約 109,200	約 43,000	約 66,200	4号炉	約 76,800	約 25,500	約 51,300	合計約117,500m³				<p>9.3 評価結果</p> <p>9.3.1 タービン建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>(1) 管理区域エリア</p> <p>管理区域エリアにおける没水水位は、最地下階（復水器室、共通エリア）で2.2mとなり、溢水経路上にある、原子炉建屋付属棟及び制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、タービン建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、タービン建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表9-1に管理区域エリアにおける評価結果を示す。</p> <p>表9-1 管理区域エリアにおける評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="701 614 1261 766"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画 名称</th> <th rowspan="2">基準床レベル</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>復水器室 共通エリア</td> <td>0.P. +0.8m</td> <td>6,003^{※1}</td> <td>2,761.9</td> <td>2.2^{※2}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 復水器廻りの欄干部の容積、840m³を考慮した値 ※2 床面のコンクリート増し打ち分の最大値、55mmを考慮した値</p> <p>(2) 非管理区域エリア</p> <p>非管理区域エリアにおける没水水位は、最地下階（タービン補機冷却水系熱交換器室・ポンプ室）で2.1mとなり、溢水経路上にある、制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、非管理区域エリアにおける没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、非管理区域からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表9-2に非管理区域エリアにおける評価結果を示す。</p> <p>表9-2 非管理区域エリアにおける評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="701 1337 1261 1476"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画 名称</th> <th rowspan="2">基準床レベル</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室</td> <td>0.P. -0.2m</td> <td>824</td> <td>410.9</td> <td>2.1</td> </tr> </tbody> </table>	区画 名称	基準床レベル	溢水量 (m³)	滞留面積 (m²)	没水水位 (m)	①	②	①/②	復水器室 共通エリア	0.P. +0.8m	6,003 ^{※1}	2,761.9	2.2 ^{※2}	区画 名称	基準床レベル	溢水量 (m³)	滞留面積 (m²)	没水水位 (m)	①	②	①/②	タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室	0.P. -0.2m	824	410.9	2.1	<p>9.3 評価結果</p> <p>9.3.1 タービン建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>タービン建屋における没水水位は、T.P. 8.3mとなり、溢水経路上にある、原子炉建屋との境界（貫通部等）に対しては溢水防護措置（ドレンライン逆止弁の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、タービン建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表9-1にタービン建屋における評価結果を示す。また、タービン建屋断面図を図9-2に示す。</p> <p>表9-1 タービン建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="1283 646 1854 758"> <thead> <tr> <th>フロア</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>空間容積 (m³)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B1F (T.P. 2.8m)</td> <td>52,860</td> <td>61,500</td> <td>T.P. 8.3m</td> </tr> <tr> <td>B2F (T.P. -1.7m)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>  <p>図9-2 タービン建屋断面図</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映により、泊はタービン建屋の溢水影響評価結果を補足説明資料35に記載している。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 ・泊のタービン建屋には管理区域は設置されていない。 ・評価結果の相違による。 ・対策設備の相違による。</p> <p>【女川】 建屋名称の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・泊のタービン建屋には管理区域は設置されていないため、管理区域エリアと非管理区域エリアに分けた記載はしていない。 ・泊は防護対象設備が設置される原子炉建屋との境界を明示するため、タービン建屋の断面図を図9-2示している。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊のタービン建屋には管理区域は設置されていないため、管理区域エリアと非管理区域エリアに分けた記載はしていない。</p>	フロア	溢水量 (m³)	空間容積 (m³)	没水水位 (m)	B1F (T.P. 2.8m)	52,860	61,500	T.P. 8.3m	B2F (T.P. -1.7m)			
ユニット	地下体積(m³)	欠損部体積(m³)	空間容積(m³)																																																					
3号炉	約 109,200	約 43,000	約 66,200																																																					
4号炉	約 76,800	約 25,500	約 51,300																																																					
合計約117,500m³																																																								
区画 名称	基準床レベル	溢水量 (m³)	滞留面積 (m²)	没水水位 (m)																																																				
		①	②	①/②																																																				
復水器室 共通エリア	0.P. +0.8m	6,003 ^{※1}	2,761.9	2.2 ^{※2}																																																				
区画 名称	基準床レベル	溢水量 (m³)	滞留面積 (m²)	没水水位 (m)																																																				
		①	②	①/②																																																				
タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室	0.P. -0.2m	824	410.9	2.1																																																				
フロア	溢水量 (m³)	空間容積 (m³)	没水水位 (m)																																																					
B1F (T.P. 2.8m)	52,860	61,500	T.P. 8.3m																																																					
B2F (T.P. -1.7m)																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																				
	<p>9. 3. 2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>(1) タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <p>タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備について表9-3に整理する。</p> <p>表9-3 タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="703 443 1265 783"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉建屋</td> <td rowspan="2">1F</td> <td>T/B 連絡通路層(東側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路層(西側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">制御建屋</td> <td>1F</td> <td>T/B 連絡通路層</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>T/B 連絡通路層</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B2F</td> <td>T/B 連絡通路層</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">タービン建屋</td> <td rowspan="3">1F</td> <td>大物搬入用</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大物搬入用横扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>共通エリア【東側】(No.1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>T/B B1F エリア</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B2F</td> <td>T/B B2F エリア</td> <td>止水壁</td> <td>既設(改造)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 循環水系における対策内容</p> <p>循環水系における対策内容を図9-1 に示す。なお、今回追加するインターロックは、誤動作を防止するために、地震スクラム信号と復水器室漏えい検知信号のand 条件を設定することから、本インターロック動作時には、既にスクラムしており、安全解析への影響はないが、仮に誤動作した場合を想定し、以下のとおり検討を行った。</p> <p>本インターロックが誤動作した場合には、復水器の真空度が低下して、タービントリップのインターロックが作動し、一時的にタービンバイパス弁は作動するものの短時間で閉止する。この状況は「負荷の喪失（発電機負荷遮断、タービンバイパス弁不作動）」の解析結果に包絡する（原子炉圧力の上昇が緩慢であることから厳しい結果にはならない）ことから、安全解析への影響はない。</p> <p style="text-align: center;">(記載箇所を変更)</p> <p style="text-align: center;">図9-1 循環水系における対策内容</p>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	1F	T/B 連絡通路層(東側)	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路層(西側)	水密扉	新設	1	制御建屋	1F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1	B1F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1	B2F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1	タービン建屋	1F	大物搬入用	堰	新設	1	大物搬入用横扉	堰	新設	1	共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1	B1F	T/B B1F エリア	堰	新設	1	B2F	T/B B2F エリア	止水壁	既設(改造)	1	<p>9. 3. 2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>(1) タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <p>タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備について表9-2に整理する。</p> <p>表9-2 タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1285 443 1854 533"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>T.P.2.3m</td> <td>ドレンライン逆止弁</td> <td>逆止弁</td> <td>新設</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	T.P.2.3m	ドレンライン逆止弁	逆止弁	新設	4	<p>相違理由</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 対策設備の相違による。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊では、循環水管からの溢水に対しては、運転員による手動操作により漏えい停止を実施することから、女川のような循環水系における対策内容の記載はしていない。 (大飯と同様)</p> <p>【女川】 記載箇所・記載方針の相違 ・女川は「(2) 循環水系における対策内容」に循環水系を自動隔離するためのインターロックの説明として本図を掲載しているが、泊は同様の対策は無いため、前段の「9.1 評価条件」タービン建屋における循環水管からの溢水概念図として本図を掲載している。 ・女川の図9-1は泊との横並びのため移動した。</p>
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																		
原子炉建屋	1F	T/B 連絡通路層(東側)	水密扉	新設	1																																																																		
		T/B 連絡通路層(西側)	水密扉	新設	1																																																																		
制御建屋	1F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1																																																																		
	B1F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1																																																																		
	B2F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1																																																																		
タービン建屋	1F	大物搬入用	堰	新設	1																																																																		
		大物搬入用横扉	堰	新設	1																																																																		
		共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1																																																																		
	B1F	T/B B1F エリア	堰	新設	1																																																																		
	B2F	T/B B2F エリア	止水壁	既設(改造)	1																																																																		
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																		
原子炉建屋	T.P.2.3m	ドレンライン逆止弁	逆止弁	新設	4																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価</p> <p>3.1 評価目的</p> <p>廃棄物処理建屋内には防護対象設備はないが、想定破損による溢水、放水による溢水及び地震起因による溢水が隣接する原子炉周辺建屋へ影響しないことを確認する。</p> <p>3.2 廃棄物処理建屋の溢水源</p> <p>系統図を用いて廃棄物処理建屋内に存在する溢水源となる機器及び配管を抽出した。</p> <p>3.3 廃棄物処理建屋の想定破損による溢水影響評価</p> <p>3.3.1 廃棄物処理建屋の想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>廃棄物処理建屋にある高エネルギー配管及び低エネルギー配管の想定破損による溢水を考慮した。</p> <p>配管破損形状は、高エネルギー配管については完全全周破断とし、低エネルギー配管については貫通クラックとして、1 系統における単一の破損を想定した。</p> <p>また、系統ごとに溢水流量が最も大きくなる位置での破損を想定し溢水流量を算出するとともに、事象を検知し漏えい停止までの漏えい量を考慮して溢水量を算出した結果、消火水系の溢水量が最大であることから、貫通クラックが発生した場合について、溢水影響を評価したが、地震による没水影響評価では溢水量をE.L. +26.0mで117.7m³、E.L. +17.5mで164.3m³として評価を実施するため、想定破損による没水影響評価は、地震による没水影響評価に包絡されることを確認した。</p>	<p>10 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>溢水源となりうる機器が存在する原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（非管理区域））及び制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行う。</p> <p>なお、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行う。</p> <p>(2) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水源</p> <p>配管計装線図（P&ID）を用いて、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料13に示す。</p> <p>(3) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水量</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。算出結果を添付資料17に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は3,557m³となった。</p> <p>(a) 手動隔離は期待しない。</p> <p>(b) 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p>	<p>10 電気建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>溢水源となりうる機器が存在する電気建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋及び原子炉補助建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行う。</p> <p>なお、電気建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行う。</p> <p>(2) 電気建屋における溢水源</p> <p>系統図及び機器配置図を用いて、電気建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料12に示す。</p> <p>(3) 電気建屋における溢水量</p> <p>電気建屋において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。算出結果を添付資料16に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は730m³となった。</p> <p>(a) 隔離操作により漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて漏水量を設定する。</p> <p>(b) 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大飯・女川】</p> <p>建屋名称の相違</p> <p>女川と泊で対象となる建屋は異なるが、どちらも防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に対する評価であることから比較対象とした。</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【大飯・女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・泊の想定破損による溢水量は添付資料16「系統別溢水量算出結果」に記載している。</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・評価結果の相違による。</p> <p>・泊は地震起因の溢水評価にて運転員の隔離操作による漏えい停止を考慮した評価としている。（補足説明資料14「地震時溢水評価の隔離時間の妥当性について」で説明）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
<p>系統ごとの溢水量を表3.3.1-1に記載する。</p> <table border="1" data-bbox="138 204 674 555"> <caption>表 3.3.1-1 廃棄物処理建屋の想定破損による溢水量</caption> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消火水系</td> <td>97.5</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>47.3</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理系</td> <td>43.7</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>47.6</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>31.3</td> </tr> <tr> <td>1次系温水、飲料水系</td> <td>32.2</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>51.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>3.4 廃棄物処理建屋の放水による溢水影響評価</p> <p>3.4.1 廃棄物処理建屋の放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>消火栓からの溢水量を下記のとおり算出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・260/min×3.0時間=46.8m³ <p>また、スプリンクラーからの放水による溢水量を以下のとおり算出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・720^g/min×30min=21,600=21.6m³ <p>※ 今回、原則として火災防護に関する基本方針で示されている放水量を用いる。ただし、詳細評価を実施する場合には、現場での消火設備の設置状況に応じた評価を行う。</p> <p>放水による没水影響を評価したが、地震による没水影響評価では溢水量をE.L.+26.0mで117.7m³、E.L.+17.5mで164.3m³として評価を実施するため、放水による没水影響評価は、地震による没水影響評価で包絡されることを確認した。</p> <p>3.5 廃棄物処理建屋の地震による溢水影響評価</p> <p>3.5.1 廃棄物処理建屋の地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>溢水ガイドにしたがい、流体を内包する機器（配管及び容器）を溢水源の対象とした。</p> <p>廃棄物処理建屋E.L.+26.0m、E.L.+17.5m、E.L.+10.0m、E.L.+4.9mの各フロアにおいて、地震時の溢水量低減対策を考慮し、機器（配管及び容器）からの漏えい量を溢水量として算出した。（表3.5.1-1）</p>	系統	溢水量 (m ³)	消火水系	97.5	化学体積制御系	47.3	廃棄物処理系	43.7	1次系補給水系	47.6	1次系洗浄水系	31.3	1次系温水、飲料水系	32.2	補助蒸気系	51.5			<p>【大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・泊の消火水の放水における放水量は添付資料2「消火水の放水における放水量」に記載している。</p> <p>【大飯】</p> <p><u>記載箇所の相違</u></p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・泊の地震時の溢水量は前頁の「(3) 電気建屋における溢水量」に記載している。</p>
系統	溢水量 (m ³)																		
消火水系	97.5																		
化学体積制御系	47.3																		
廃棄物処理系	43.7																		
1次系補給水系	47.6																		
1次系洗浄水系	31.3																		
1次系温水、飲料水系	32.2																		
補助蒸気系	51.5																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
<p>表 3.5.1-1 廃棄物処理建屋の地震による溢水量</p> <table border="1" data-bbox="206 210 568 368"> <thead> <tr> <th>E.L. + (m)</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26.0</td> <td>117.7</td> </tr> <tr> <td>17.5</td> <td>164.3</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>1,841.0</td> </tr> <tr> <td>4.9</td> <td>1,875.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>溢水は、上層階から機器ハッチや階段を經由し、廃棄物処理建屋のE.L. +4.9m及び防護対象設備が設置されていない制御建屋のE.L. +7.0mに滞留する。</p>	E.L. + (m)	溢水量 (m ³)	26.0	117.7	17.5	164.3	10.0	1,841.0	4.9	1,875.3	<p>(4) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水経路</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、床ハッチ、開口部等を經由し、最終的には最地下階である地下3階及び地下中3階に貯留される。原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水経路図を添付資料31に示す。</p>	<p>(4) 電気建屋における溢水経路</p> <p>電気建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、開口部等を經由し、最終的には最地下階であるT.P. 2.3mに貯留される。電気建屋における溢水経路図を添付資料27に示す。</p> <p>(5) 原子炉補機冷却海水放水路</p> <p>電気建屋における没水水位の評価において、原子炉補機冷却海水系等の排水経路である原子炉補機冷却海水放水路は、基準地震動による地震力に対して通水機能を確保する設計とすることを考慮する。また、原子炉補機冷却海水放水路及び一次系放水ビットには津波を遡上させない方針とすることから、電気建屋内への津波流入は考慮しない。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 建屋名称の相違</p> <p>【大阪・女川】 設計方針の相違 ・泊の電気建屋には床ハッチは設置されていないことから記載していない。 ・プラント設計の相違による。</p> <p>【大阪・女川】 設計方針の相違 ・泊の電気建屋には、図10-1に示す通り地下部に一次系放水ビットを設置している。 ・一次系放水ビットへ流入した系統水は、通常時に補機放水路に排水する設計としており、地震時及び津波時において、補機放水路を溢水評価でどのように考慮するか記載している。</p>
E.L. + (m)	溢水量 (m ³)												
26.0	117.7												
17.5	164.3												
10.0	1,841.0												
4.9	1,875.3												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
<p>機器（配管及び容器）から漏えいした溢水量がすべて流出したと仮定し、廃棄物処理建屋の各フロアの機器ハッチ及び階段堰から下層階へ流出することなく各フロアに滞留すると想定した場合の溢水水位を算出した結果、防護対象設備を設置している原子炉周辺建屋に溢水が伝播しないことを確認した。（表3.5.1-2）</p>	<p>(5) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水影響評価結果</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における没水水位は、地下3階エリアでは3.7m（満水）、地下中3階エリアでは1.6m となり、溢水経路上にある、原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（非管理区域））及び制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表10-1に原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における評価結果を示す。</p>	<p>(6) 電気建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>電気建屋における没水水位は、最地下階である T.P. 2.3m で 5.5m となるが、電気建屋地下部に設置された一次系放水ピット隔壁にひび割れが生じ、ピット内包水が電気建屋内に漏水する可能性を考慮し、没水水位は保守的に原子炉補機冷却海水放水水路の流路開口上端の T.P. 8.7m とする。溢水経路上にある、原子炉建屋及び原子炉補助建屋との境界（貫通部等）に対しては、電気建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、電気建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表10-1に電気建屋における評価結果を示す。また、電気建屋の溢水概念図を図10-1に示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 泊の電気建屋には、図10-1に示す通り地下部に一次系放水ピットが設置されているため、電気建屋との隔壁にひび割れが生じ、ピット内包水が電気建屋内に漏水する可能性を考慮している。没水水位は保守的に一次系放水ピット開口部の上端（図10-1参照）の T.P. 11.9m とし、原子炉建屋及び原子炉補助建屋との境界には T.P. 11.9m まで浸水防護措置を施している。</p>																																																								
<p>表 3.5.1-2 廃棄物処理建屋の地震による溢水影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>E.L. + (m)</th> <th>フロア滞留面積 (m²)</th> <th>溢水量 (m³) / 水位 (m)</th> <th>貯水可能量* (m³) / 堰高さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26.0</td> <td>1,115.4</td> <td>117.7 / 0.106</td> <td>278.8 / 0.25</td> </tr> <tr> <td>17.5</td> <td>930.5</td> <td>164.3 / 0.177</td> <td>279.1 / 0.30</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>-</td> <td>1,841.0 / -</td> <td>当該フロアに水密扉が設置されているので原子炉周辺建屋に伝播しない。</td> </tr> <tr> <td>4.9</td> <td>-</td> <td>1,875.3 / -</td> <td>伝播経路なし。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ E.L. +26.0m、E.L. +17.5m までの貯水可能量は、原子炉周辺建屋との通路部に設置した堰高さにより算出</p>	E.L. + (m)	フロア滞留面積 (m ²)	溢水量 (m ³) / 水位 (m)	貯水可能量* (m ³) / 堰高さ (m)	26.0	1,115.4	117.7 / 0.106	278.8 / 0.25	17.5	930.5	164.3 / 0.177	279.1 / 0.30	10.0	-	1,841.0 / -	当該フロアに水密扉が設置されているので原子炉周辺建屋に伝播しない。	4.9	-	1,875.3 / -	伝播経路なし。	<p>表10-1 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における評価結果（没水）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">基準床レベル</th> <th colspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下3階エリア</td> <td></td> <td>O.P. -8.1m</td> <td>2,701</td> <td>730</td> <td>3.7(満水)</td> </tr> <tr> <td>地下中3階エリア</td> <td></td> <td>O.P. -3.3m</td> <td>856</td> <td>556</td> <td>1.6</td> </tr> </tbody> </table>	区画	名称	基準床レベル	溢水量 (m ³)		没水水位 (m)	①	②	地下3階エリア		O.P. -8.1m	2,701	730	3.7(満水)	地下中3階エリア		O.P. -3.3m	856	556	1.6	<p>表10-1 電気建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">フロア</th> <th colspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">T.P. 2.3m</td> <td>307</td> <td>64 (T.P. 2.3m～T.P. 7.1m)</td> <td>4.8 (満水)</td> </tr> <tr> <td>423</td> <td>685 (T.P. 7.1m～T.P. 10.0m)</td> <td>5.5 (4.8+0.7)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>6.4^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 電気建屋地下部に設置された一次系放水ピットから電気建屋内へ漏水した場合を想定し、電気建屋内の溢水水位が一次系放水ピットと同じレベルまで上昇することを考慮。溢水水位は保守的に原子炉補機冷却海水放水水路の流路開口上端の T.P. 8.7m とした。</p>	フロア	溢水量 (m ³)		没水水位 (m)	①	②	T.P. 2.3m	307	64 (T.P. 2.3m～T.P. 7.1m)	4.8 (満水)	423	685 (T.P. 7.1m～T.P. 10.0m)	5.5 (4.8+0.7)	-	-	6.4 ^{※1}	<p>【大飯・女川】 設計方針の相違 ・評価結果の相違による。</p>
E.L. + (m)	フロア滞留面積 (m ²)	溢水量 (m ³) / 水位 (m)	貯水可能量* (m ³) / 堰高さ (m)																																																								
26.0	1,115.4	117.7 / 0.106	278.8 / 0.25																																																								
17.5	930.5	164.3 / 0.177	279.1 / 0.30																																																								
10.0	-	1,841.0 / -	当該フロアに水密扉が設置されているので原子炉周辺建屋に伝播しない。																																																								
4.9	-	1,875.3 / -	伝播経路なし。																																																								
区画	名称	基準床レベル	溢水量 (m ³)		没水水位 (m)																																																						
			①	②																																																							
地下3階エリア		O.P. -8.1m	2,701	730	3.7(満水)																																																						
地下中3階エリア		O.P. -3.3m	856	556	1.6																																																						
フロア	溢水量 (m ³)		没水水位 (m)																																																								
	①	②																																																									
T.P. 2.3m	307	64 (T.P. 2.3m～T.P. 7.1m)	4.8 (満水)																																																								
	423	685 (T.P. 7.1m～T.P. 10.0m)	5.5 (4.8+0.7)																																																								
	-	-	6.4 ^{※1}																																																								
		<p>図10-1 電気建屋の溢水概念図</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 泊は防護対象設備が設置される建屋との境界及び溢水水源の配置を明示するため、電気建屋の溢水概念図を示している。</p>																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

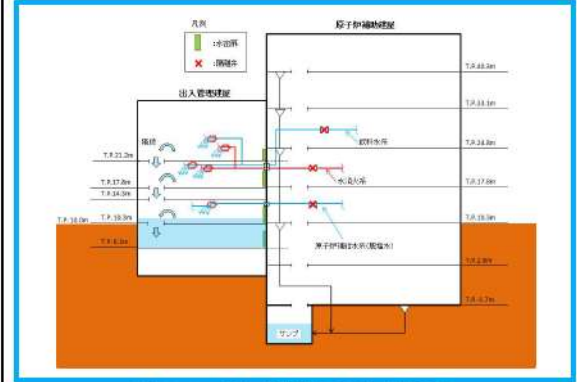
第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																															
<p>3.6 廃棄物処理建屋の溢水影響評価のまとめ</p> <p>想定破損、地震及び放水による溢水量をフロアごとに評価し、廃棄物処理建屋から原子炉周辺建屋への溢水の流出がないことを確認した。</p> <p>また、中央制御室には運転員が常駐しており中央制御室からの運転操作が可能であり、現場確認が必要な設備へのアクセス通路にあっては、歩行に影響のない水位であること及び必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。</p> <p>（添付資料3） 廃棄物処理建屋の溢水影響評価</p>	<p>(6) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表10-2に整理する。</p> <p>表10-2 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="712 1029 1243 1300"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア(管理区域))</td> <td>B3F</td> <td>2T-1 トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">1F</td> <td>BW 制御室扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 共通エリア</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 共通エリア(大物搬入用)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HWH 熱交換器・ポンプ室</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路扉(東側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア(管理区域))	B3F	2T-1 トレンチ	水密扉	新設	1	1F	BW 制御室扉	水密扉	新設	1	1F 共通エリア	水密扉	新設	1	1F 共通エリア(大物搬入用)	水密扉	新設	1	HWH 熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路扉(東側)	水密扉	新設	1	<p>※ 一次系放水ピット隔壁にひび割れが生じ、建屋内に漏えいする可能性を考慮し、電気建屋内の溢水水位は原子炉補機冷却海水放水水路の流路開口上端の T.P. 8.7m とした。ここで、下記に示す各系の合計通水流量（合計：7,263 m³/h）を原子炉補機冷却海水放水水路で排水した場合においても、一次系放水ピット水位は T.P. 8.2m であり、原子炉補機冷却海水放水水路が満水になることはないため、電気建屋の没水水位である T.P. 8.7m は保守的な設定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉補機冷却海水系：6,800 m³/h（原子炉補機冷却海水ポンプの4台起動時） 液体廃棄物処理系：30 m³/h（ポンプ定格流量） 地下水排水系：25 m³/h（ // ） 飲料水系：18 m³/h（ // ） 水消火系：390 m³/h（ // ） <p>図10-1 電気建屋の溢水概念図</p> <p>(7) 電気建屋からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>電気建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表10-2に整理する。</p> <p>表10-2 電気建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1294 1029 1854 1428"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉補助建屋</td> <td>T.P. 2.3m</td> <td>水密扉 No. 68 (A-G 階段室⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P. 10.3m</td> <td>水密扉 No. 85 (常用系インバーター室⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 87 (A-F 階段室⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">TP. 17.8m</td> <td>水密扉 No. 142 (A-G 階段室⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 143 (原子炉補助建屋⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋</td> <td>T.P. 4.35m</td> <td>水密扉 No. 69 (原子炉補機冷却水ポンプエリア⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 10.3m</td> <td>水密扉 No. 93 (トラックアクセスエリア⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 17.8m</td> <td>水密扉 No. 140 (原子炉建屋⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉補助建屋	T.P. 2.3m	水密扉 No. 68 (A-G 階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 10.3m	水密扉 No. 85 (常用系インバーター室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	水密扉 No. 87 (A-F 階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	TP. 17.8m	水密扉 No. 142 (A-G 階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	水密扉 No. 143 (原子炉補助建屋⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	原子炉建屋	T.P. 4.35m	水密扉 No. 69 (原子炉補機冷却水ポンプエリア⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 10.3m	水密扉 No. 93 (トラックアクセスエリア⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 17.8m	水密扉 No. 140 (原子炉建屋⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 対策設備の相違による。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 ・泊の運転員のアクセス性については、補足説明資料11「運転員のアクセス性」に記載している。</p>
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																													
原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア(管理区域))	B3F	2T-1 トレンチ	水密扉	新設	1																																																																													
	1F	BW 制御室扉	水密扉	新設	1																																																																													
		1F 共通エリア	水密扉	新設	1																																																																													
		1F 共通エリア(大物搬入用)	水密扉	新設	1																																																																													
		HWH 熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1																																																																													
		T/B 連絡通路扉(東側)	水密扉	新設	1																																																																													
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																													
原子炉補助建屋	T.P. 2.3m	水密扉 No. 68 (A-G 階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
	T.P. 10.3m	水密扉 No. 85 (常用系インバーター室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
		水密扉 No. 87 (A-F 階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
	TP. 17.8m	水密扉 No. 142 (A-G 階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
水密扉 No. 143 (原子炉補助建屋⇔電気建屋)		水密扉	新設	1																																																																														
原子炉建屋	T.P. 4.35m	水密扉 No. 69 (原子炉補機冷却水ポンプエリア⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
	T.P. 10.3m	水密扉 No. 93 (トラックアクセスエリア⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
	T.P. 17.8m	水密扉 No. 140 (原子炉建屋⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>11 補助ボイラー建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>溢水源となりうる機器が存在する補助ボイラー建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>なお、補助ボイラー建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に含まれることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。</p> <p>(2) 補助ボイラー建屋における溢水源</p> <p>配管計装線図（P&ID）を用いて、補助ボイラー建屋に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料13に示す。</p> <p>(3) 補助ボイラー建屋における溢水量</p> <p>補助ボイラー建屋において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。溢水量算出結果を添付資料17に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は、319m³となった。</p> <p>a. 手動隔離は期待しない。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>(4) 補助ボイラー建屋における溢水経路</p> <p>補助ボイラー建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段を経由し、最終的には最地下階である地下1階及び地上1階に貯留される。補助ボイラー建屋における溢水経路図を添付資料32に示す。</p>	<p>11 出入管理建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>溢水源となりうる機器が存在する出入管理建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉補助建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>なお、出入管理建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に含まれることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。</p> <p>(2) 出入管理建屋における溢水源</p> <p>系統図及び機器配置図を用いて、出入管理建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料12に示す。</p> <p>(3) 出入管理建屋における溢水量</p> <p>出入管理建屋において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。溢水量算出結果を添付資料16に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は1,070m³となった。</p> <p>a. 隔離操作により漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて漏水量を設定する。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>(4) 出入管理建屋における溢水経路</p> <p>出入管理建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室を経由し、最終的には最地下階であるT.P.6.3mに貯留される。出入管理建屋における溢水経路図を添付資料28に示す。</p>	<p>【女川】 <u>建屋名称の相違</u> 女川と泊で対象となる建屋は異なるが、どちらも防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に対する評価であることから比較対象とした。</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u> 評価結果の相違による。 <u>設計方針の相違</u> 泊は運転員の隔離操作による漏えい停止を考慮した評価としている。（補足説明資料14「地震時溢水評価の隔離時間の妥当性について」で説明）</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違による。</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																															
	<p>(5) 補助ボイラー建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>補助ボイラー建屋における没水水位は、地上1階エリアで0.3mとなり、溢水経路上にある、制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、補助ボイラー建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、補助ボイラー建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表11-1 に補助ボイラー建屋における評価結果を示す。</p> <p>表11-1 補助ボイラー建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="696 549 1272 708"> <thead> <tr> <th colspan="2">区画</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>基準床レベル</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地上1階エリア</td> <td>O.P. +15.0m</td> <td>57^{※1}</td> <td>237</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 地震に起因する機器の破損に伴う溢水量319m³から地下1階の貯留量262m³を除いた値</p>	区画		溢水量 (m³)	滞留面積 (m²)	没水水位 (m)	名称	基準床レベル	①	②	①/②	地上1階エリア	O.P. +15.0m	57 ^{※1}	237	0.3	<p>(5) 出入管理建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>出入管理建屋における没水水位は、T.P.6.3mで2.9m（満水）、T.P.10.3mで0.9mとなり、溢水経路上にある、原子炉補助建屋との境界（貫通部等）に対しては、出入管理建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、出入管理建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表11-1 に出入管理建屋における評価結果を示す。また、出入管理建屋の溢水概念図を図11-1に示す。</p> <p>表11-1 出入管理建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="1279 549 1854 683"> <thead> <tr> <th>フロア</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <td></td> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>T.P.6.3m</td> <td>1070</td> <td>128</td> <td>2.9（満水）</td> </tr> <tr> <td>T.P.10.3m</td> <td>690</td> <td>863</td> <td>0.9</td> </tr> </tbody> </table>  <p>図 11-1 出入管理建屋の溢水概念図</p>	フロア	溢水量 (m³)	滞留面積 (m²)	没水水位 (m)		①	②	①/②	T.P.6.3m	1070	128	2.9（満水）	T.P.10.3m	690	863	0.9	<p>【女川】 建屋名称の相違 【女川】 設計方針の相違 評価結果の相違による。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は防護対象設備が設置される建屋との境界及び溢水源の配置を明示するため、出入管理建屋の溢水伝搬概念図を示している。</p>
区画		溢水量 (m³)	滞留面積 (m²)	没水水位 (m)																														
名称	基準床レベル	①	②	①/②																														
地上1階エリア	O.P. +15.0m	57 ^{※1}	237	0.3																														
フロア	溢水量 (m³)	滞留面積 (m²)	没水水位 (m)																															
	①	②	①/②																															
T.P.6.3m	1070	128	2.9（満水）																															
T.P.10.3m	690	863	0.9																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																												
	<p>(6) 補助ボイラー建屋からの溢水影響を防止する対策内容 補助ボイラー建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表11-2 に整理する。</p> <p>表11-2 補助ボイラー建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="696 384 1279 491"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制御建屋</td> <td>1F</td> <td>補助ボイラー建屋連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	制御建屋	1F	補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設	1	<p>(6) 出入管理建屋からの溢水影響を防止する対策内容 出入管理建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表11-2に整理する。</p> <p>表11-2 出入管理建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1283 373 1865 644"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">原子炉補助建屋</td> <td>T.P. 6. 3m</td> <td>水密扉 No. 73 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 10. 3m</td> <td>水密扉 No. 77 (管理区域メイン出入口⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 10. 3m</td> <td>水密扉 No. 78 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 17. 8m</td> <td>水密扉 No. 141 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 21. 2m</td> <td>水密扉 No. 144 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉補助建屋	T.P. 6. 3m	水密扉 No. 73 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 10. 3m	水密扉 No. 77 (管理区域メイン出入口⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 10. 3m	水密扉 No. 78 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 17. 8m	水密扉 No. 141 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 21. 2m	水密扉 No. 144 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	<p>【女川】 建屋名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 対策設備の相違による。</p>
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																										
制御建屋	1F	補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設	1																																										
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																										
原子炉補助建屋	T.P. 6. 3m	水密扉 No. 73 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										
	T.P. 10. 3m	水密扉 No. 77 (管理区域メイン出入口⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										
	T.P. 10. 3m	水密扉 No. 78 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										
	T.P. 17. 8m	水密扉 No. 141 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										
	T.P. 21. 2m	水密扉 No. 144 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<p>12 1号炉制御建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに 溢水源となりうる機器が存在する1号炉制御建屋において溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している2号炉制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>(2) 評価の前提条件 a. 1号炉制御建屋における溢水量の評価、溢水経路の評価は実施せず、地下階はすべて水没することを想定した。 b. 地上部（グラントレベルより上）の各階における溢水量については、4mの水没を想定した。</p> <p>(3) 1号炉制御建屋からの溢水影響評価 2号炉制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、1号炉制御建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、1号炉制御建屋からの溢水による影響がないことを確認した。 表12-1 に想定した各階における没水水位を示す。</p> <p style="text-align: center;">表12-1 1号炉制御建屋における没水水位の想定</p> <table border="1" data-bbox="739 917 1220 1109"> <thead> <tr> <th>階層</th> <th>設置床レベル (m)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3階</td> <td>0.P. +23.5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2階</td> <td>0.P. +19.5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>1階</td> <td>0.P. +15.0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>地下1階</td> <td>0.P. +10.5</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>地下2階</td> <td>0.P. +5.0</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>地下3階</td> <td>0.P. +1.5</td> <td>17.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 1号炉制御建屋からの溢水影響を防止する対策内容 1号炉制御建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表12-2に整理する。</p> <p style="text-align: center;">表12-2 1号炉制御建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="716 1332 1265 1492"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2号炉制御建屋</td> <td>3F</td> <td>1号MCR境界</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2F</td> <td>1号C/B連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>1号C/B連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>B2F</td> <td>1号C/B連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	階層	設置床レベル (m)	没水水位 (m)	3階	0.P. +23.5	4	2階	0.P. +19.5	4	1階	0.P. +15.0	4	地下1階	0.P. +10.5	8.5	地下2階	0.P. +5.0	14	地下3階	0.P. +1.5	17.5	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	2号炉制御建屋	3F	1号MCR境界	水密扉	新設	1	2F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	1	1F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	2	B2F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	1		<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違 泊には該当する建屋がない。</p>
階層	設置床レベル (m)	没水水位 (m)																																																	
3階	0.P. +23.5	4																																																	
2階	0.P. +19.5	4																																																	
1階	0.P. +15.0	4																																																	
地下1階	0.P. +10.5	8.5																																																	
地下2階	0.P. +5.0	14																																																	
地下3階	0.P. +1.5	17.5																																																	
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																														
2号炉制御建屋	3F	1号MCR境界	水密扉	新設	1																																														
	2F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	1																																														
	1F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	2																																														
	B2F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	1																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>5.2 屋外タンクからの溢水影響評価</p> <p>屋外タンク自体は防護対象設備ではないが、地震に起因する破損によって溢水源となりうる屋外タンクから発生する溢水が防護対象設備が設置されている建屋に流入しないことを確認する。</p> <p>なお、想定破損による溢水、放水による溢水については、地震起因による溢水に包絡される。</p> <p>5.2.1 溢水源の抽出</p> <p>発電所敷地内の溢水源となりうるすべての屋外タンクを、図5.2.1-1に示す。このうち、溢水影響のある溢水源について抽出する。地震起因による溢水源としたタンクの抽出フローを図5.2.1-2に示す。</p>  <p>図5.2.1-1 溢水源となりうる屋外タンク</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>13 屋外タンクからの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>屋外タンク（屋外にあり溢水源となりうる設備を含む）自体は防護対象ではないが、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋（廃棄物処理エリア（管理区域）を除く）、制御建屋、海水ポンプ室、復水貯蔵タンク（CST）エリア及び軽油タンク（LOT）エリアに及ぼす影響を確認する。</p> <p>(2) 屋外タンクの抽出</p> <p>女川原子力発電所にある溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置を図13-1に、タンク容量を表13-1に示す。</p> <p>なお、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるタンク（軽油タンク及び復水貯蔵タンク）は抽出対象から除外する。</p>  <p>図13-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置図</p>	<p>12 屋外タンクからの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>屋外タンク（屋外にあり溢水源となりうる設備を含む）自体は防護対象ではないが、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋及び循環水ポンプ建屋に及ぼす影響を確認する。</p> <p>なお、原子炉補機冷却海水等の系統排水については、敷地に流出させない方針とすることから溢水源として想定しない。</p> <p>(2) 屋外タンクの抽出</p> <p>泊発電所にある溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置を図12-1に、タンク容量を表12-1に示す。</p>  <p>図12-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置図</p>	<p>【大阪・女川】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 建屋名称の相違 記載方針の相違</p> <p>泊では屋外タンク以外の溢水源を敷地に流出させない方針を明記している。（記載内容は要検討）</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大阪・女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>泊では、A、B-2次系純水タンク、A、B-ろ過水タンク及び3A、3B-ろ過水タンクの本体は耐震性が確保されているが、接続配管は耐震性が確保されていないことから、完全全周破断を想定したタンク保有水量の全量を溢水量として考慮している。</p> <p>【大阪・女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉							女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉				相違理由
表5.2.2-1 溢水の影響のあるタンク（区分D、区分E）							表13-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの容量（1/2）						表12-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの容量				<p>【大飯・女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯・女川】 設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違による。</p>
No.	タンク名称	ユニット	基数	容量 (m ³)	区分	溢水量 (m ³)	No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)	No.	タンク名称	基数	容量 (m ³)	
2	1次系純水タンク	2号炉	1基	424	E	424	1	No.1 純水タンク	1	0.P. +15.1	1,000	1,000	1	A-2次系純水タンク	1	1,600	1,600
7	主復水タンク	2号炉	1基	1,150	E	1,150	2	No.2 純水タンク	1	0.P. +15.4	2,000	2,000	2	B-2次系純水タンク	1	1,600	1,600
12	ヒドラジン原液タンク	2号炉	1基	12	E	12	3	1.2号ろ過水タンク	1	0.P. +15.1	2,000	2,000	3	3A-ろ過水タンク	1	1,600	1,600
23	淡水サージタンク	3号炉 4号炉	1基	100	D/E	100	4	再生純水タンク	1	0.P. +15.1	1,000	0 ※1	4	3B-ろ過水タンク	1	1,600	1,600
24	飲料水タンク	3号炉 4号炉	1基	30	D/E	30	5	No.1 サプレッション プール水貯蔵タンク	1	0.P. +15.3	2,000	0 ※1	5	A-ろ過水タンク	1	1,600	1,600
27	復水処理建屋	3号炉 4号炉	2基	138.2	D/E	276.4	6	No.2 サプレッション プール水貯蔵タンク	1	0.P. +15.3	1,000	0 ※1	6	B-ろ過水タンク	1	1,600	1,600
28	構内排水設備	3号炉 4号炉	1基	48	E	48	7	3号純水タンク	1	0.P. +15.1	1,000	1,000	7	1号及び2号炉 補助ボイラー燃料タンク	1	600	450*
29	構内排水B次亜塩素酸 ソーダ貯槽(予備)	3号炉 4号炉	1基	36	E	36	8	3号ろ過水タンク	1	0.P. +15.1	2,000	2,000	8	3号炉 補助ボイラー燃料タンク	1	735	410*
30	構内排水B塩酸貯槽	3号炉 4号炉	1基	6	E	6	9,10	原水タンク	2	0.P. +70.04	4,000	8,000	9	1号炉 タービン油計量タンク	1	70	70
31	構内排水B苛性ソーダ 貯槽	3号炉 4号炉	1基	6	E	6	11-1	1号復水浄化系復水脱 塩装置硫酸貯槽	1	0.P. +16.1	5.4	5.4	10	3号炉 タービン油計量タンク	1	110	0*
32	純水装置硫酸貯槽	3号炉 4号炉	1基	8.9	E	8.9	11-2	1号復水浄化系復水脱 塩装置苛性ソーダ貯槽	1	0.P. +16.2	20	20	合計			10,530	
33	純水装置苛性ソーダ貯 槽	3号炉 4号炉	1基	41	E	41	12	1号第1調整槽	1	0.P. +15.0	2.2	2.2	*評価に用いる容量は、発電所の所則類に反映し、運用容量を超過しないように管理する。 なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である（別添2参照）。				
39	タービン建屋海水電解 装置受液槽	3号炉 4号炉	1基	3.5	D/E	3.5	13-1	2号復水浄化系復水脱 塩装置苛性ソーダ貯槽	1	0.P. +16.0	32	0 ※1					
40	1、2アニオン排水タン ク	1号炉 2号炉	1基	121	E	121	13-2	2号復水浄化系復水脱 塩装置硫酸貯槽	1	0.P. +16.6	7.5	0 ※1					
41	1、2カチオン排水タン ク	1号炉 2号炉	2基	105	E	210	13-3	2号硫酸計量槽	1	0.P. +15.8	0.3	0 ※1					
溢水量合計						約 2,480	14	2号バック入り第1調 合装置	1	0.P. +15.4	1	1					
							15	3号各種薬液貯槽及び 移送系硫酸貯槽	1	0.P. +16.0	2.2	0 ※1					
							16	3号各種薬液貯槽及び 移送系苛性ソーダ貯槽	1	0.P. +16.0	10.5	0 ※1					
							17	3号第1調整槽	1	0.P. +15.3	0.1	0.1					
							18-1	PAC貯槽	1	0.P. +18.3	2	2					
							18-2	硫酸貯槽	1	0.P. +17.3	3.9	3.9					
							18-3	苛性ソーダ貯槽	1	0.P. +15.7	7	7					
							18-4	H帯再生用硫酸貯槽	1	0.P. +16.8	0.3	0.3					
							19	1,2号給排水建屋	1	0.P. +14.8	375.21	375.21					
							20	3号給排水建屋	1	0.P. +14.8	404.88	404.88					
							21-1	高濃水槽（給湯系統）	1	0.P. +33.3	6	6					
							21-2	高濃水槽（給水系統）	1	0.P. +33.3	8	8					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																							
<p>【区分の考え方】</p> <p>(1) 溢水影響がないもの</p> <p>①地震による溢水源としないタンク(区分A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性を確保するもの又は耐震対策工事により、耐震性を確保するもの。 <p>②地震により破損するが、評価対象外とするタンク(区分B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漏えいの際に気化又は固化する物質を内包しているタンク ・地形等を踏まえ防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播しないタンク <p>③空運用を行うタンク(区分C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラントの運用にて空としているタンク ・溢水影響を防止するために、空運用を行うタンク <p>(2) 溢水影響を評価するもの</p> <p>④4号側の防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播するタンク(区分D)</p> <p>⑤3号側の防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播するタンク(区分E)</p> <p>⑥タービン建屋に溢水が伝播するタンク(区分D及び区分E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水は、タービン建屋に流入する。タービン建屋に流入するタンクは、④⑤項の区分D及び区分Eである。 	<p>表13-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンク容量(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>タンク名称</th> <th>基数</th> <th>設置高さ(m)</th> <th>容量(m³)</th> <th>評価に用いる容量(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>22-1</td><td>No.1 高架水槽</td><td>1</td><td>O.P. +34.7</td><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>22-2</td><td>No.2 高架水槽</td><td>1</td><td>O.P. +34.7</td><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>23-1</td><td>上水高架水槽</td><td>1</td><td>-</td><td>9.2</td><td>9.2</td></tr> <tr><td>23-2</td><td>雑用水高架水槽</td><td>1</td><td>-</td><td>13.7</td><td>13.7</td></tr> <tr><td>24-1</td><td>高架水槽(飲料用)</td><td>1</td><td>O.P. +34.8</td><td>1.2</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>24-2</td><td>高架水槽(雑用)</td><td>1</td><td>O.P. +34.8</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>24-3</td><td>氷蓄熱槽(PAI-1)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.01</td><td>1.01</td></tr> <tr><td>24-4</td><td>氷蓄熱槽(PAI-3)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-5</td><td>氷蓄熱槽(PAI-4)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-6</td><td>高架水槽(飲料水)</td><td>1</td><td>O.P. +36.55</td><td>1.5</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>24-7</td><td>高架水槽(雑用水)</td><td>1</td><td>O.P. +36.55</td><td>2.2</td><td>2.2</td></tr> <tr><td>24-8</td><td>氷蓄熱槽(PAI-1)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-9</td><td>氷蓄熱槽(PAI-2)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-10</td><td>氷蓄熱槽(PAI-3)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>25</td><td>主復水器用電解鉄イオン注入装置電解槽</td><td>2</td><td>O.P. +15.613</td><td>3.4</td><td>6.8</td></tr> <tr><td>26</td><td>氷蓄熱槽(PAI-1)</td><td>1</td><td>O.P. +14.95</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>27</td><td>受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +15.3</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr><td>28-1</td><td>上水受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +62.9</td><td>37</td><td>37</td></tr> <tr><td>28-2</td><td>雑用水受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +62.9</td><td>55</td><td>55</td></tr> <tr><td>28-3</td><td>受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +62.9</td><td>0.5</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>29</td><td>燃料小出槽</td><td>1</td><td>O.P. +58.592</td><td>0.95</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>30</td><td>給水タンク</td><td>1</td><td>-</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>31</td><td>配水池</td><td>1</td><td>O.P. +69.7</td><td>300</td><td>300</td></tr> <tr><td>32-1</td><td>ろ過タンク(浄水)</td><td>1</td><td>O.P. +69.7</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr><td>32-2</td><td>ろ過タンク(浄水)</td><td>1</td><td>O.P. +69.7</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>33</td><td>消火水タンク</td><td>1</td><td>O.P. +14.8</td><td>230</td><td>230</td></tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">合計容量(m³)</td> <td>17,540</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 評価に用いる容量は、発電所の所則順に反映し、運用容量を超過しないように管理する。なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。(別添2参照)</p>	No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)	22-1	No.1 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8	22-2	No.2 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8	23-1	上水高架水槽	1	-	9.2	9.2	23-2	雑用水高架水槽	1	-	13.7	13.7	24-1	高架水槽(飲料用)	1	O.P. +34.8	1.2	1.2	24-2	高架水槽(雑用)	1	O.P. +34.8	2.0	2.0	24-3	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.01	1.01	24-4	氷蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-5	氷蓄熱槽(PAI-4)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-6	高架水槽(飲料水)	1	O.P. +36.55	1.5	1.5	24-7	高架水槽(雑用水)	1	O.P. +36.55	2.2	2.2	24-8	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-9	氷蓄熱槽(PAI-2)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-10	氷蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	25	主復水器用電解鉄イオン注入装置電解槽	2	O.P. +15.613	3.4	6.8	26	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +14.95	1.49	1.49	27	受水槽	1	O.P. +15.3	6	6	28-1	上水受水槽	1	O.P. +62.9	37	37	28-2	雑用水受水槽	1	O.P. +62.9	55	55	28-3	受水槽	1	O.P. +62.9	0.5	0.5	29	燃料小出槽	1	O.P. +58.592	0.95	0.95	30	給水タンク	1	-	2	2	31	配水池	1	O.P. +69.7	300	300	32-1	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	6	6	32-2	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	4	4	33	消火水タンク	1	O.P. +14.8	230	230	合計容量(m ³)				17,540		<p>【大飯・女川】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違による。</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・大飯は溢水源となりうる屋外タンクを区分ごとに分類し、評価対象とするタンクを抽出しており、抽出フロー及び抽出結果を示しているが、泊は屋外タンクすべてを溢水源として抽出している。
No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)																																																																																																																																																																					
22-1	No.1 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8																																																																																																																																																																					
22-2	No.2 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8																																																																																																																																																																					
23-1	上水高架水槽	1	-	9.2	9.2																																																																																																																																																																					
23-2	雑用水高架水槽	1	-	13.7	13.7																																																																																																																																																																					
24-1	高架水槽(飲料用)	1	O.P. +34.8	1.2	1.2																																																																																																																																																																					
24-2	高架水槽(雑用)	1	O.P. +34.8	2.0	2.0																																																																																																																																																																					
24-3	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.01	1.01																																																																																																																																																																					
24-4	氷蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
24-5	氷蓄熱槽(PAI-4)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
24-6	高架水槽(飲料水)	1	O.P. +36.55	1.5	1.5																																																																																																																																																																					
24-7	高架水槽(雑用水)	1	O.P. +36.55	2.2	2.2																																																																																																																																																																					
24-8	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
24-9	氷蓄熱槽(PAI-2)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
24-10	氷蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
25	主復水器用電解鉄イオン注入装置電解槽	2	O.P. +15.613	3.4	6.8																																																																																																																																																																					
26	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +14.95	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
27	受水槽	1	O.P. +15.3	6	6																																																																																																																																																																					
28-1	上水受水槽	1	O.P. +62.9	37	37																																																																																																																																																																					
28-2	雑用水受水槽	1	O.P. +62.9	55	55																																																																																																																																																																					
28-3	受水槽	1	O.P. +62.9	0.5	0.5																																																																																																																																																																					
29	燃料小出槽	1	O.P. +58.592	0.95	0.95																																																																																																																																																																					
30	給水タンク	1	-	2	2																																																																																																																																																																					
31	配水池	1	O.P. +69.7	300	300																																																																																																																																																																					
32-1	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	6	6																																																																																																																																																																					
32-2	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	4	4																																																																																																																																																																					
33	消火水タンク	1	O.P. +14.8	230	230																																																																																																																																																																					
合計容量(m ³)				17,540																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 5.2.1-2 屋外タンクの抽出フロー</p>			<p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> ・女川審査実績の反映 ・大飯は溢水源となりうる屋外タンクを区分ごとに分類し、評価対象とするタンクを抽出しており、抽出フロー及び抽出結果を示しているが、泊は屋外タンクすべてを溢水源として抽出している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																														
<p>5.2.2 溢水影響評価</p> <p>溢水の影響のあるタンクとして抽出した区分D、区分Eのタンクから地震起因により発生した溢水は、屋外トレンチを経由してタービン建屋に流入するもの又は直接タービン建屋に流入するものである。そのタンクの容量を表5.2.2-1に示す。</p> <p>なお、区分Dのタンクはすべて3号側へ伝播することから、区分Eにも分類される。よって、区分Eの合計がタービン建屋に伝播する溢水量(2,480m³)である。</p> <p>タービン建屋に伝播する溢水は、「5.1タービン建屋からの溢水影響評価」において評価を実施している。</p> <p>さらに、タービン建屋に流入しない想定とした評価の場合、3号側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水を評価する。</p> <p>敷地は、中央道路から海へ向かって勾配があり排水される設計であるが、保守的に一時的に滞留するものとする。3号側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水量は、区分Eより溢水量合計2,480m³であり表5.2.2-2に示すとおり、溢水水位はE.L.+10.5mとなるが、防護対象設備が設置されている建屋は、E.L.+11.4mまでの流入防止対策(水密扉の設置)を実施しており、溢水は流入しない。</p>	<p>(3) 評価の前提条件</p> <p>a. 敷地内に広がった溢水は雨水排水路からの流出や地盤への浸透は考慮しない。</p> <p>b. タンクから漏えいした溢水は敷地全体に均一に広がるものとする。</p> <p>(4) 屋外タンクによる溢水影響評価</p> <p>屋外の溢水影響評価に影響を及ぼす大型の水源(1000m³以上の大型タンク)については、最高使用圧力が静水頭であり、想定破損による評価が除外できる。このため、屋外タンクによる溢水影響評価においては、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されないタンクについて、複数同時破損を想定した溢水影響評価を実施した。</p> <p>その結果、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋、制御建屋、海水ポンプ室及び復水貯蔵タンクエリアに影響を及ぼさないことを確認した。</p> <p>なお、軽油タンクエリアについては、軽油タンクの地下化工事に伴い、水密構造とすることから、溢水影響がないと評価した。</p> <p>表13-2に屋外タンクによる溢水影響評価結果を示す。</p>	<p>(3) 評価の前提条件</p> <p>a. 敷地内に広がった溢水は雨水排水路からの流出や地盤への浸透は考慮しない。</p> <p>b. タンクから漏えいした溢水は敷地全体に均一に広がるものとする。</p> <p>(4) 屋外タンクによる溢水影響評価</p> <p>屋外の溢水影響評価に影響を及ぼす大型の水源(1,000m³以上の大型タンク)については、最高使用圧力が静水頭であり、想定破損による評価が除外できる。このため、屋外タンクによる溢水影響評価においては、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されないタンクについて、複数同時破損を想定した溢水影響評価を実施した。</p> <p>その結果、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋及び循環水ポンプ建屋に影響を及ぼさないことを確認した。なお、原子炉建屋及び原子炉補助建屋には、屋外に接する開口は無いことから、それぞれ隣接するタービン建屋及び出入管理建屋の出入口高さが最大浸水深を上回ることを確認した。</p> <p>A1、A2-燃料油貯油槽タンク室及びB1、B2-燃料油貯油槽タンク室については、タンク室内に設置されているディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料油配管は静的機器であることから、溢水影響がないと評価した。</p> <p>表12-2に屋外タンクによる溢水影響評価結果を示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映 ・泊は屋外タンクの保有水がタービン建屋に流入するようke円として評価していることを補足説明資料35「タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について」に記載している。</p> <p>【女川】 建屋名称の相違 設備名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>・泊の原子炉建屋、原子炉補助建屋には、屋外から直接出入するための出入口は無いため、隣接するタービン建屋及び出入管理建屋の出入口を水位測定箇所として評価を実施している。</p> <p>・泊の燃料油貯油槽タンク室は、女川の軽油タンクエリアのような水密構造では無いが、仮に室内に溢水が流出した場合でも溢水影響は無いことを確認している。</p>																																														
<p>表 5.2.2-2 3号原子炉周辺建屋周りの溢水影響評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>3号側の防護対象設備が設置されている建屋外の滞留面積</th> <th>溢水量合計</th> <th>溢水水位</th> <th>防護対象設備が設置されている建屋の流入防止対策高さ</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,300m²</td> <td>2,480m³</td> <td>E.L.+10.5m[※]</td> <td>E.L.+11.4m</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※溢水水位 E.L.+10.5m=E.L.+9.7m+約0.8m(=2,480m³/3,300m²)</p>	3号側の防護対象設備が設置されている建屋外の滞留面積	溢水量合計	溢水水位	防護対象設備が設置されている建屋の流入防止対策高さ	評価	3,300m ²	2,480m ³	E.L.+10.5m [※]	E.L.+11.4m	○	<p>表13-2 屋外タンクによる溢水影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>カーブ高さ(m)</th> <th>溢水量(m³)</th> <th>敷地面積(m²)</th> <th>敷地浸水深^{※1}(m)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>0.33^{※1}</td> <td rowspan="4">17,540</td> <td rowspan="4">115,000</td> <td rowspan="4">0.16</td> <td rowspan="4">○</td> </tr> <tr> <td>制御建屋</td> <td>0.33^{※1}</td> </tr> <tr> <td>海水ポンプ室</td> <td>0.20^{※2}(0.60^{※3})</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク</td> <td>0.20^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 建屋外壁扉の下端レベルから敷地レベル0.P.+14.8mを引いた値 ※2 海水ポンプ室ピット上端から敷地レベル0.P.+14.8mを引いた値 ※3 海水ポンプ室浸水防止壁上端から敷地レベル0.P.+14.8mを引いた値 ※4 敷地レベル0.P.+14.8mからの浸水深</p>		カーブ高さ(m)	溢水量(m ³)	敷地面積(m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価	原子炉建屋	0.33 ^{※1}	17,540	115,000	0.16	○	制御建屋	0.33 ^{※1}	海水ポンプ室	0.20 ^{※2} (0.60 ^{※3})	復水貯蔵タンク	0.20 ^{※1}	<p>表12-2 屋外タンクによる溢水影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>建屋開口高さ(m)</th> <th>溢水量(m³)</th> <th>敷地面積(m²)</th> <th>敷地浸水深^{※1}(m)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋(タービン建屋入口)</td> <td>0.30^{※1}</td> <td rowspan="4">10,530</td> <td rowspan="4">116,800</td> <td rowspan="4">0.10</td> <td rowspan="4">○</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機建屋</td> <td>0.30^{※1}</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋(出入管理建屋入口)</td> <td>0.30^{※1}</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ建屋</td> <td>0.30^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 建屋入口高さから敷地レベルT.P.10.0mを引いた値 ※2 敷地レベルT.P.10.0mからの浸水深</p>	建屋	建屋開口高さ(m)	溢水量(m ³)	敷地面積(m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価	原子炉建屋(タービン建屋入口)	0.30 ^{※1}	10,530	116,800	0.10	○	ディーゼル発電機建屋	0.30 ^{※1}	原子炉補助建屋(出入管理建屋入口)	0.30 ^{※1}	循環水ポンプ建屋	0.30 ^{※1}	<p>【女川・大飯】 設計方針の相違 評価結果の相違による。</p>
3号側の防護対象設備が設置されている建屋外の滞留面積	溢水量合計	溢水水位	防護対象設備が設置されている建屋の流入防止対策高さ	評価																																													
3,300m ²	2,480m ³	E.L.+10.5m [※]	E.L.+11.4m	○																																													
	カーブ高さ(m)	溢水量(m ³)	敷地面積(m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価																																												
原子炉建屋	0.33 ^{※1}	17,540	115,000	0.16	○																																												
制御建屋	0.33 ^{※1}																																																
海水ポンプ室	0.20 ^{※2} (0.60 ^{※3})																																																
復水貯蔵タンク	0.20 ^{※1}																																																
建屋	建屋開口高さ(m)	溢水量(m ³)	敷地面積(m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価																																												
原子炉建屋(タービン建屋入口)	0.30 ^{※1}	10,530	116,800	0.10	○																																												
ディーゼル発電機建屋	0.30 ^{※1}																																																
原子炉補助建屋(出入管理建屋入口)	0.30 ^{※1}																																																
循環水ポンプ建屋	0.30 ^{※1}																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p>5.2.3 鯨谷タンクエリアについて</p> <p>原子炉施設西方の鯨谷タンクエリア（約E.L.+80.0m）に設置されているタンク群については、各タンクの水位を下げて運用する。その諸元を表1に示す。</p> <p>また地震時については、淡水タンク下部及び飲料水タンク下部に接続されている配管すべてが地震により破損すると仮定し、評価した。</p> <p>淡水タンクから生じた溢水は、鯨谷タンクエリア内に設置する立坑及び排水トンネルを通じて構外へ排水することから原子炉施設側へ伝播しないことを確認した。</p> <p>表 5.2.3-1 鯨谷タンクエリアに設置されている屋外タンク</p> <table border="1" data-bbox="152 582 672 778"> <thead> <tr> <th>タンク名称</th> <th>No.1 淡水タンク</th> <th>No.2,3 淡水タンク</th> <th>2次系純水タンク</th> <th>C-2次系純水タンク</th> <th>飲料水タンク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ユニット</td> <td>1、2号炉</td> <td>1、2号炉</td> <td>1、2号炉</td> <td>3、4号炉</td> <td>1、2号炉</td> </tr> <tr> <td>基数</td> <td>1基</td> <td>2基</td> <td>2基</td> <td>1基</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>設置高さ(m)</td> <td>E.L.+81.0</td> <td>E.L.+81.0</td> <td>E.L.+72.5</td> <td>E.L.+81.0</td> <td>E.L.+72.5</td> </tr> <tr> <td>容量(m³)</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>3,000</td> <td>7,500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>内径(mm)</td> <td>34,870</td> <td>34,870</td> <td>19,380</td> <td>29,050</td> <td>9,670</td> </tr> <tr> <td>高さ(mm) (鋼板高さ)</td> <td>12,180</td> <td>12,180</td> <td>10,660</td> <td>12,180</td> <td>7,620</td> </tr> <tr> <td>運用水位[※] (mm) [容量]</td> <td>0 [0m³]</td> <td>8,380 [8,000m³]</td> <td>0 [0m³]</td> <td>0 [0m³]</td> <td>680 [50m³]</td> </tr> </tbody> </table> <p>※運用水位については、発電所の所則類に反映し、運用水位を超過しないように管理する。</p> <p>5.2.4 まとめ</p> <p>屋外タンクから発生する溢水が防護対象設備が設置されている建屋に溢水が流入しないことを確認した。</p> <p>なお、万一これらタンクの溢水が防護対象設備が設置されている建屋に到達したとしても流入防止対策（水密性を有する貫通部のシール充てん、水密扉の設置）を実施しており、溢水は流入しない。</p> <p>（添付資料5.2）屋外タンクからの溢水影響評価</p>	タンク名称	No.1 淡水タンク	No.2,3 淡水タンク	2次系純水タンク	C-2次系純水タンク	飲料水タンク	ユニット	1、2号炉	1、2号炉	1、2号炉	3、4号炉	1、2号炉	基数	1基	2基	2基	1基	1基	設置高さ(m)	E.L.+81.0	E.L.+81.0	E.L.+72.5	E.L.+81.0	E.L.+72.5	容量(m ³)	10,000	10,000	3,000	7,500	500	内径(mm)	34,870	34,870	19,380	29,050	9,670	高さ(mm) (鋼板高さ)	12,180	12,180	10,660	12,180	7,620	運用水位 [※] (mm) [容量]	0 [0m ³]	8,380 [8,000m ³]	0 [0m ³]	0 [0m ³]	680 [50m ³]			<p>【大飯】 設計方針の相違 鯨谷タンクエリアは大飯固有の評価エリアである。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
タンク名称	No.1 淡水タンク	No.2,3 淡水タンク	2次系純水タンク	C-2次系純水タンク	飲料水タンク																																														
ユニット	1、2号炉	1、2号炉	1、2号炉	3、4号炉	1、2号炉																																														
基数	1基	2基	2基	1基	1基																																														
設置高さ(m)	E.L.+81.0	E.L.+81.0	E.L.+72.5	E.L.+81.0	E.L.+72.5																																														
容量(m ³)	10,000	10,000	3,000	7,500	500																																														
内径(mm)	34,870	34,870	19,380	29,050	9,670																																														
高さ(mm) (鋼板高さ)	12,180	12,180	10,660	12,180	7,620																																														
運用水位 [※] (mm) [容量]	0 [0m ³]	8,380 [8,000m ³]	0 [0m ³]	0 [0m ³]	680 [50m ³]																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>5.3 湧水サンプからの溢水影響評価</p> <p>原子炉周辺建屋周辺の地下水は、導水管により原子炉周辺建屋内の湧水サンプに集められる。湧水サンプには、耐震性を有する2台のポンプを設置しており、海水管を経由して海へ排水することが可能である。</p> <p>なお、湧水サンプ室は非常に剛性の高い基礎盤の一部であり、基準地震動Ssに対しても湧水サンプ室を構成する壁は弾性範囲にある。</p> <p>また、安全上重要な機器が設置されている原子炉周辺建屋壁においても、グラウンドレベル以下についても湧水サンプと同様に弾性範囲にあることから、湧水が浸水することはない。</p> <p>（添付資料5.3）湧水サンプからの溢水影響評価</p>	<p>14 地下水による影響評価</p> <p>(1) 通常時の地下水の排水</p> <p>原子炉建屋周辺の地下水は、以下のとおり排水される。（図14-1参照）</p> <p>a. 建屋底面に接する地盤からの湧水は、基礎底面下のサブドレンにより建屋周辺の集水管に集水し、集水管の流末に設置されている揚水井戸から揚水ポンプ（揚水井戸1箇所）により縦排水管を通して屋外排水溝に排水される。</p> <p>b. 建屋周辺の地盤からの湧水は、直接集水管に集水し、集水管の流末に設置されている揚水井戸から揚水ポンプにより縦排水管を通して屋外排水溝に排水される。</p> <div data-bbox="719 746 1263 991" data-label="Diagram"> <p>この図は、原子炉建屋の地下水位低下設備の概要を示しています。建屋の基礎底面にはサブドレンが設置されており、そこから集水管へと繋がります。集水管の流末には揚水井戸があり、そこから揚水ポンプが設置されています。また、建屋周辺の地盤からの湧水は、直接集水管に集水し、揚水井戸から揚水ポンプにより縦排水管を通して屋外排水溝に排水されます。</p> </div> <p>図14-1 地下水位低下設備の概要</p>	<p>13 地下水による影響評価</p> <p>(1) 通常時の地下水の排水</p> <p>原子炉建屋周辺の地下水は、以下のとおり排水される（図13-1、図13-2参照）。</p> <p>a. 建屋底面に接する地盤からの湧水は、基礎底面下の集水管及びサブドレンに集水し、集水管の流末に設置されている湧水ビットから湧水ビットポンプ（湧水ビット1箇所）により排水配管を通して一次系放水ビットに排水される。</p> <p>b. 建屋周辺の地盤からの湧水は、基礎底面下の集水管のうち、外郭に設置された集水管に集水し、集水管の流末に設置されている湧水ビットから湧水ビットポンプにより排水管を通して一次系放水ビットに排水される。</p> <div data-bbox="1301 746 1845 991" data-label="Diagram"> <p>この図は、原子炉建屋の地下水排水設備の概要を示しています。原子炉建屋の基礎底面には集水管とサブドレンが設置されており、そこから湧水ビットへと繋がります。湧水ビットには湧水ビットポンプが設置されています。また、建屋周辺の地盤からの湧水は、外郭に設置された集水管に集水し、湧水ビットから湧水ビットポンプにより排水管を通して一次系放水ビットに排水されます。</p> </div> <div data-bbox="1301 1066 1845 1358" data-label="Diagram"> <p>この図は、原子炉建屋の地下水排水設備の配置を示しています。原子炉建屋の周辺には、原子炉補助建屋、原子炉建屋、出入管理建屋、電気建屋、タービン建屋、ディーゼル発電機建屋、A1、A2-燃料油貯油槽タンク室が配置されています。集水管、サブドレン、湧水ビット、湧水ビットポンプ、排水配管の配置も示されています。</p> </div> <p>図13-1 地下水排水設備の概要</p> <p>図13-2 地下水排水設備の配置</p>	<p>【大阪・女川】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p> <p>・泊は地下水排水設備の配置図も示す。</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>泊の地下水排水設備と女川の地下水位低下設備は、共に基礎底面から集水した地下水をポンプにより排水する設計である。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 揚水ポンプ停止時における地下水による影響</p> <p>以下に示す理由により、揚水ポンプ停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定した場合でも、地下水が防護対象設備を設置している区画へ流入することはない。</p> <p>a. 地下外壁にはアスファルト防水を施しており、更に防水層の上に保護板を設置し、防水層が切れないように配慮している。</p> <p>b. 安全上重要な機器が設置されている原子炉建屋、制御建屋の地下外壁については、地震時に想定される残留ひび割れの評価結果から、「原子炉施設における建築物の維持管理指針・同解説（日本建築学会）」に示される、コンクリート構造物の使用性（水密）の観点から設定されたひび割れ幅の評価基準値【0.2mm未満】を満足することを確認している。</p>	<p>(2) 湧水ビットポンプ停止時における地下水による影響</p> <p>地下水排水設備については、想定される事象等を考慮し、信頼性向上対策を施すことで、供用期間のすべての状態において機能喪失しない設計とするものの、仮に湧水ビットポンプ停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定した場合でも、以下に示す理由により、地下水が防護対象設備を設置している区画へ流入することはない。</p> <p>a. 地下外壁にはアスファルト防水を施しており、さらに防水層の上に保護板を設置し、防水層が切れないように配慮している。</p> <p>b. 安全上重要な機器が設置されている原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋の地下外壁については、地震時に想定される残留ひび割れの評価結果から、「原子炉施設における建築物の維持管理指針・同解説（日本建築学会）」に示される、コンクリート構造物の使用性（水密）の観点から設定されたひび割れ幅の評価基準値【0.2mm未満】を満足することを確認している。</p> <p>c. 原子炉補助建屋と湧水ビットの境界（湧水ビットポンプ設置床）に対しては、溢水防護措置（ドレンライン逆止弁の設置等）を講ずることにより、湧水ビットから原子炉補助建屋内に地下水が伝播しないよう配慮している。</p> <p>d. A1、A2—燃料油貯油槽タンク室及びB1、B2—燃料油貯油槽タンク室については、タンク室内に設置されているディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料油配管は静的機器であることから、地下水の流入による溢水影響がないと評価した。</p> <p>e. 安全上重要な機器が設置されている循環水ポンプ建屋のうち取水ビットポンプ室の側壁については、止水機能が要求される構造部材として、「水道施設耐震工法指針・解説2009」に規定されている照査基準のとおり、漏水が生じるような顕著な（部材を貫通するような）ひび割れが発生しないよう、目標性能としては鉄筋が降伏しないこと及び発生せん断力がせん断耐力以下になることを確認している。</p>	<p>【女川】</p> <p><u>設備名称の相違</u></p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>泊は地下水排水設備を供用期間の全ての状態において機能喪失しない設計とすることを記載している。（女川の地下水水位低下設備も機能喪失しない設計であることは泊と同様）</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】</p> <p><u>建屋名称の相違</u></p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は溢水防護対象設備を内包する原子炉補助建屋の最下階に湧水ビットが設置されており、湧水ビット上部の湧水ビットポンプ設置床を介した建屋内への地下水の流入を防止する設計としている。</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊の燃料油貯油槽タンク室は静的機器である防護対象設備のみを内包しており、仮に室内に地下水が流入した場合でも溢水影響は無いことを確認している。</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊の原子炉補機冷却海水ポンプが設置される取水ビットポンプ室は、日本コンクリート学会の指針に則り、残留ひび割れの評価を行い、評価基準値を満足することを確認している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																												
	<p>なお、地下水位低下設備については、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とする。</p> <p>15 放射性物質を含む液体の漏えいの防止 管理区域内で発生した溢水は、建屋の最地下階に貯留されるため、貯留される地下階の範囲及び溢水の伝播経路となる範囲について、前章までの溢水影響評価結果を基に、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、機器の破損等により生じた放射性物質を含んだ液体が、管理区域外に伝播しないことを確認した。</p> <p>表15-1に放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備について整理する。また、その設置場所について添付資料33に示す。</p> <p>なお、使用済燃料プール、原子炉ウエル及びDSピットのスロッシングによる溢水を考慮しても、発生する溢水量は区画番号：R-3F-1において考慮している最大溢水量（原子炉補機冷却水系の想定破損による溢水量：265m³）以下であり、想定破損による溢水影響評価に基づき、原子炉建屋原子炉棟の溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、発生した溢水が管理区域外へ伝播しないことを確認した。</p> <p>表15-1 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="719 1161 1272 1493"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>フロア</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td rowspan="2">1F</td> <td>R/B大物搬入用扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉棟</td> <td>R/B大物搬入用小扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟</td> <td>1F</td> <td>HWH熱交換器・ポンプ室</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））</td> <td rowspan="3">1F</td> <td>主排気ダクト連絡トンネル</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 共通エリア</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 共通エリア大物搬入用</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>RW制御室扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td rowspan="2">1F</td> <td>入退域エリア【管理区域ヘルメット置場】</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー建屋連絡階段</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	1F	R/B大物搬入用扉	水密扉	新設	1	原子炉棟	R/B大物搬入用小扉	水密扉	新設	1	原子炉建屋付属棟	1F	HWH熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1	原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））	1F	主排気ダクト連絡トンネル	水密扉	新設	1	1F 共通エリア	水密扉	新設	1	1F 共通エリア大物搬入用	水密扉	新設	1			RW制御室扉	水密扉	新設	1	制御建屋	1F	入退域エリア【管理区域ヘルメット置場】	水密扉	新設	1	補助ボイラー建屋連絡階段	水密扉	新設	1	<p>14 放射性物質を含む液体の漏えいの防止 管理区域内で発生した溢水は、建屋の最地下階に貯留されるため、貯留される地下階の範囲及び溢水の伝播経路となる範囲について、前章までの溢水影響評価結果を基に、溢水防護措置（止水板の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、機器の破損等により生じた放射性物質を含んだ液体が、管理区域外に伝播しないことを確認した。</p> <p>表14-1に放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備について整理する。また、その設置場所について添付資料29に示す。</p> <p>なお、使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水も考慮し、機器の破損等により生じた放射性物質を含んだ液体の最大溢水量（地震起因による溢水量：56m³）を想定し、原子炉建屋及び原子炉補助建屋の溢水防護措置（止水板の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、発生した溢水が管理区域外へ伝播しないことを確認した。</p> <p>表14-1 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1294 1161 1848 1493"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>フロア</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋</td> <td>3FL T.P. 33. 1m</td> <td>33. 1m（区画境界②）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3FL T.P. 33. 1m</td> <td>33. 1m（区画境界③）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3FL T.P. 33. 1m</td> <td>33. 1m（区画境界④）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉補助建屋</td> <td>B1FL T.P. 2. 8m</td> <td>止水板 2.8-A</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1FL T.P. 10. 3m</td> <td>管理区域出入口口堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3FL T.P. 33. 1m</td> <td>33. 5m（区画境界）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	3FL T.P. 33. 1m	33. 1m（区画境界②）堰	堰	既設	1	3FL T.P. 33. 1m	33. 1m（区画境界③）堰	堰	既設	1	3FL T.P. 33. 1m	33. 1m（区画境界④）堰	堰	既設	1	原子炉補助建屋	B1FL T.P. 2. 8m	止水板 2.8-A	止水板	新設	1	1FL T.P. 10. 3m	管理区域出入口口堰	堰	既設	1		3FL T.P. 33. 1m	33. 5m（区画境界）堰	堰	既設	1	<p>【大飯】 記載方針の相違 泊は地下水排水設備を供用期間の全ての状態において機能喪失しない設計とすることを(2)項の冒頭で記載している。(女川の地下水位低下設備も機能喪失しない設計であることは泊と同様)</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 対策設備の相違による。 記載表現の相違 設備名称の相違 設計方針の相違 評価結果の相違により、溢水量が最大となる事象が女川は想定破損、泊は地震起因による溢水となっている。 建屋名称の相違 設計方針の相違 対策設備の相違による。</p>
設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数																																																																																										
原子炉建屋	1F	R/B大物搬入用扉	水密扉	新設	1																																																																																										
原子炉棟		R/B大物搬入用小扉	水密扉	新設	1																																																																																										
原子炉建屋付属棟	1F	HWH熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1																																																																																										
原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））	1F	主排気ダクト連絡トンネル	水密扉	新設	1																																																																																										
		1F 共通エリア	水密扉	新設	1																																																																																										
		1F 共通エリア大物搬入用	水密扉	新設	1																																																																																										
		RW制御室扉	水密扉	新設	1																																																																																										
制御建屋	1F	入退域エリア【管理区域ヘルメット置場】	水密扉	新設	1																																																																																										
		補助ボイラー建屋連絡階段	水密扉	新設	1																																																																																										
設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数																																																																																										
原子炉建屋	3FL T.P. 33. 1m	33. 1m（区画境界②）堰	堰	既設	1																																																																																										
	3FL T.P. 33. 1m	33. 1m（区画境界③）堰	堰	既設	1																																																																																										
	3FL T.P. 33. 1m	33. 1m（区画境界④）堰	堰	既設	1																																																																																										
原子炉補助建屋	B1FL T.P. 2. 8m	止水板 2.8-A	止水板	新設	1																																																																																										
	1FL T.P. 10. 3m	管理区域出入口口堰	堰	既設	1																																																																																										
	3FL T.P. 33. 1m	33. 5m（区画境界）堰	堰	既設	1																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>6 経年劣化事象の検討</p> <p>原子力発電所で使用されている設備については、機器、弁等の定期的な開放点検時の配管内部の目視点検、漏えい試験、日常点検（巡視点検）等により有意な劣化がないことを確認するとともに、クラス1～3配管については供用期間中検査において非破壊試験、漏えい試験等により有意な欠陥等がないことを確認している。また、このような保全に加え、過去の運転経験に基づき個別の経年劣化事象に着目した評価及び点検並びに予防保全を実施している。</p> <p>このように、経年劣化事象は適切に把握されており、評価対象箇所に経年劣化がある場合は、取替等による経年劣化事象の解消又は劣化事象に応じた評価の実施が可能である。</p> <p>（添付資料6）経年劣化事象の検討</p>		<p>15 経年劣化事象の検討</p> <p>原子力発電所で使用されている設備については、機器、弁等の定期的な開放点検時の配管内部の目視点検、漏えい試験、日常点検（巡視点検）等により有意な劣化がないことを確認するとともに、クラス1～3配管については供用期間中検査において非破壊試験、漏えい試験等により有意な欠陥等がないことを確認している。また、このような保全に加え、過去の運転経験に基づき個別の経年劣化事象に着目した評価及び点検並びに予防保全を実施している。</p> <p>このように、経年劣化事象は適切に把握されており、評価対象箇所に経年劣化がある場合は、取替等による経年劣化事象の解消又は劣化事象に応じた評価の実施が可能である。</p>	<p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p> <p>泊は最新PWRの審査実績の反映として、大阪と同様に経年劣化事象について記載している。</p>
<p>7 溢水影響評価の判定</p> <p>内部溢水に対して、原子炉施設の安全機能並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能が失われないことを確認した。</p>		<p>16 溢水影響評価の判定</p> <p>内部溢水に対して、原子炉施設の安全機能並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能が失われないことを確認した。</p>	<p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p> <p>泊は最新PWRの審査実績の反映として、大阪と同様に評価の判定について記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<p style="text-align: right;">添付資料1</p> <p>表1 発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源</p> <table border="1" data-bbox="770 256 1178 1449"> <thead> <tr> <th data-bbox="770 1321 943 1449">没水</th> <th data-bbox="770 963 943 1316">想定破損</th> <th data-bbox="770 606 943 959">消火水の放水</th> <th data-bbox="770 256 943 601">地震起因の破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="949 1321 1077 1449">被水</td> <td data-bbox="949 963 1077 1316">耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※1</td> <td data-bbox="949 606 1077 959">消火栓からの放水</td> <td data-bbox="949 256 1077 601"> ▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシングング </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1084 1321 1178 1449">蒸気</td> <td data-bbox="1084 963 1178 1316">耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※1</td> <td data-bbox="1084 606 1178 959">消火栓からの放水</td> <td data-bbox="1084 256 1178 601"> ▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシングング </td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 軸系系統も考慮する。</p>	没水	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損	被水	耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※1	消火栓からの放水	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシングング	蒸気	耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※1	消火栓からの放水	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシングング	<p style="text-align: right;">添付資料1</p> <p>表1 発生要因及び評価項目ごとに想定する溢水源</p> <table border="1" data-bbox="1301 256 1722 1422"> <thead> <tr> <th data-bbox="1301 1321 1473 1422">没水</th> <th data-bbox="1301 963 1473 1316">想定破損</th> <th data-bbox="1301 606 1473 959">消火水の放水</th> <th data-bbox="1301 256 1473 601">地震起因の破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1480 1321 1615 1422">被水</td> <td data-bbox="1480 963 1615 1316">耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※1</td> <td data-bbox="1480 606 1615 959">消火栓からの放水</td> <td data-bbox="1480 256 1615 601"> ▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシングング </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1621 1321 1722 1422">蒸気</td> <td data-bbox="1621 963 1722 1316">耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※1</td> <td data-bbox="1621 606 1722 959">消火栓からの放水</td> <td data-bbox="1621 256 1722 601"> ▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシングング </td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 油系系統も考慮する。 ※2 呼び径25A (1B) を超える配管であって、運転温度が95℃を超えるか、又は、運転圧力が1.9MPaを超える配管ただし、蒸気の影響については配管後に関係なく評価する ※3 蒸気評価の対象となる溢水源の考え方は没水・被水評価と同じであるが、蒸気を内包する配管として高エネルギー配管を対象とする</p>	没水	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損	被水	耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※1	消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシングング	蒸気	耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※1	消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシングング	<p>【女川】 記載表現の相違 設備名称の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は、溢水影響評価ガイドの記載を踏まえた蒸気影響評価における高エネルギー配管の取扱いについて、注記に記載している。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査表紙の反映</p>
没水	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損																								
被水	耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※1	消火栓からの放水	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシングング																								
蒸気	耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※1	消火栓からの放水	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシングング																								
没水	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損																								
被水	耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※1	消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシングング																								
蒸気	耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※1	消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシングング																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>添付資料 1.1</p> <p>溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）</p> <p>原子炉周辺建屋、制御建屋における溢水源となりうる機器は以下のとおり。</p> <table border="1" data-bbox="156 502 645 1204"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>機器名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10">3号炉原子炉周辺建屋</td><td>E.L.+42.0m</td><td>3号原子炉機械冷却水サージタンク 配管</td></tr> <tr><td>E.L.+39.0m</td><td>3号樹脂タンク 配管</td></tr> <tr><td>E.L.+33.6m</td><td>3号使用済燃料ピット 配管</td></tr> <tr><td rowspan="6">E.L.+26.0m</td><td>3号冷却材循環式脱塩塔</td></tr> <tr><td>3号冷却材脱イオン脱塩塔</td></tr> <tr><td>3号冷却材脱塩塔入口フィルタ</td></tr> <tr><td>3号冷却材フィルタ</td></tr> <tr><td>3号封水注入フィルタ</td></tr> <tr><td>3号使用済燃料ピット脱塩塔</td></tr> <tr><td rowspan="10">E.L.+18.5m</td><td>3号使用済燃料ピットフィルタ</td></tr> <tr><td>3号ブローダウンタンク</td></tr> <tr><td>3号格納容器冷却ユニット</td></tr> <tr><td>3号還水ピット 配管</td></tr> <tr><td>3号燃料取替用水ピット 配管</td></tr> <tr><td>3号封水冷却器</td></tr> <tr><td>3号体積制御タンク</td></tr> <tr><td>3号1次系薬品タンク</td></tr> <tr><td>3号ほう酸補給タンク</td></tr> <tr><td>3号非再生冷却器</td></tr> <tr><td rowspan="10">E.L.+17.1m</td><td>3号試料冷却器</td></tr> <tr><td>3号ブローダウン試料冷却器</td></tr> <tr><td>3号安全補給装置冷却ユニット</td></tr> <tr><td>3号ほう酸除去薬品タンク</td></tr> <tr><td>3号pH調整剤タンク</td></tr> <tr><td>3号燃料取替用水ポンプ 配管</td></tr> <tr><td>3号使用済燃料ピット冷却器</td></tr> <tr><td>3号ほう酸タンク</td></tr> <tr><td>3号格納容器スプレイ冷却器</td></tr> <tr><td>3号熱除去冷却器</td></tr> <tr><td rowspan="10">E.L.+10.0m</td><td>3号ほう酸フィルタ</td></tr> <tr><td>3号シリンドラ冷却水タンク</td></tr> <tr><td>3号燃料非冷却水タンク</td></tr> <tr><td>3号燃料非冷却水冷却器</td></tr> <tr><td>3号清水加熱器</td></tr> <tr><td>3号ほう酸ポンプ</td></tr> <tr><td>3号ほう酸ポンプ</td></tr> <tr><td>3号使用済燃料ピットポンプ</td></tr> <tr><td>3号電動補助給水ポンプ</td></tr> <tr><td>3号還水循環ポンプ</td></tr> <tr><td>3号燃料非冷却水ポンプ 配管</td></tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	機器名称	3号炉原子炉周辺建屋	E.L.+42.0m	3号原子炉機械冷却水サージタンク 配管	E.L.+39.0m	3号樹脂タンク 配管	E.L.+33.6m	3号使用済燃料ピット 配管	E.L.+26.0m	3号冷却材循環式脱塩塔	3号冷却材脱イオン脱塩塔	3号冷却材脱塩塔入口フィルタ	3号冷却材フィルタ	3号封水注入フィルタ	3号使用済燃料ピット脱塩塔	E.L.+18.5m	3号使用済燃料ピットフィルタ	3号ブローダウンタンク	3号格納容器冷却ユニット	3号還水ピット 配管	3号燃料取替用水ピット 配管	3号封水冷却器	3号体積制御タンク	3号1次系薬品タンク	3号ほう酸補給タンク	3号非再生冷却器	E.L.+17.1m	3号試料冷却器	3号ブローダウン試料冷却器	3号安全補給装置冷却ユニット	3号ほう酸除去薬品タンク	3号pH調整剤タンク	3号燃料取替用水ポンプ 配管	3号使用済燃料ピット冷却器	3号ほう酸タンク	3号格納容器スプレイ冷却器	3号熱除去冷却器	E.L.+10.0m	3号ほう酸フィルタ	3号シリンドラ冷却水タンク	3号燃料非冷却水タンク	3号燃料非冷却水冷却器	3号清水加熱器	3号ほう酸ポンプ	3号ほう酸ポンプ	3号使用済燃料ピットポンプ	3号電動補助給水ポンプ	3号還水循環ポンプ	3号燃料非冷却水ポンプ 配管	<p>添付資料 2</p> <p>溢水源となりうる機器のリスト</p> <p>原子炉建屋原子炉棟，原子炉建屋付属棟，原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア），制御建屋，海水ポンプ室，復水貯蔵タンクエリア，軽油タンクエリア，タービン建屋及び補助ボイラー建屋に設置される流体を内包する容器（タンク，熱交換器，空調ユニット等）及び配管を抽出した結果を表1～5に示す。</p> <p>表1 溢水源となりうる機器リスト（原子炉建屋）(1/5)</p> <table border="1" data-bbox="698 518 1270 1220"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">原子炉棟</td><td rowspan="20">B2F</td><td>内</td><td>R/C バロメトリックコンデンサ</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>R/C 真空タンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>R/C 潤滑油冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>循環ポンプモータ軸受冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>循環ポンプメカニカルシール冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>LPCS ポンプメカニカルシール冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>LPCS ポンプ軸受冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUW ポンプ冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>R/A LCW サンプ冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>F/MW ポンプ軸受冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>R/A 室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>R/C ポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>F/MW ポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUW 再生熱交換器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUW 非再生熱交換器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>LPCS ポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>HPCS ポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>CRD サクションフィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>制御棟駆動水フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td rowspan="10">原子炉建屋</td><td rowspan="10">B1F</td><td>内</td><td>CRD ポンプ室空調機</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>制御棟駆動水ポンプ用オイルクーラー</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>PLR ポンプシールバージ系ろ過器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>内</td><td>CRD スクラム排出容器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>DC-MEC 2A 室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUW フリコートタンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>内</td><td>残留熱除去系熱交換器</td><td>S</td></tr> <tr><td rowspan="10">原子炉建屋</td><td rowspan="10">IF</td><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>内</td><td>残留熱除去系熱交換器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUW ろ過脱塩器</td><td>B</td></tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分			原子炉棟	B2F	内	R/C バロメトリックコンデンサ	S	内	R/C 真空タンク	S	内	R/C 潤滑油冷却器	S	内	循環ポンプモータ軸受冷却器	S	内	循環ポンプメカニカルシール冷却器	S	内	LPCS ポンプメカニカルシール冷却器	S	内	LPCS ポンプ軸受冷却器	S	内	CUW ポンプ冷却器	B	内	R/A LCW サンプ冷却器	B	内	F/MW ポンプ軸受冷却器	B	内	R/A 室空調機	S	内	R/C ポンプ室空調機	S	内	F/MW ポンプ室空調機	S	内	配管	-	内	CUW 再生熱交換器	B	内	CUW 非再生熱交換器	B	内	LPCS ポンプ室空調機	S	内	HPCS ポンプ室空調機	S	内	CRD サクションフィルタ	B	内	制御棟駆動水フィルタ	B	原子炉建屋	B1F	内	CRD ポンプ室空調機	B	内	制御棟駆動水ポンプ用オイルクーラー	B	内	PLR ポンプシールバージ系ろ過器	B	内	配管	-	内	CRD スクラム排出容器	B	内	DC-MEC 2A 室空調機	S	内	CUW フリコートタンク	B	内	配管	-	内	配管	-	内	残留熱除去系熱交換器	S	原子炉建屋	IF	内	配管	-	内	残留熱除去系熱交換器	S	内	CUW ろ過脱塩器	B	<p>添付資料 2</p> <p>溢水源となりうる機器のリスト</p> <p>原子炉建屋，原子炉補助建屋，ディーゼル発電機建屋，循環水ポンプ建屋，タービン建屋，出入管理建屋及び電気建屋に設置される流体を内包する容器（タンク，熱交換器，空調ユニット等）及び配管を抽出した結果を表1～5に示す。</p> <p>表1 溢水源となりうる機器リスト（原子炉建屋）</p> <table border="1" data-bbox="1288 518 1859 1157"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10">原子炉建屋</td><td rowspan="10">T.P.2.3m</td><td>外</td><td>原子炉補機冷却水冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>外</td><td>原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ</td><td>S</td></tr> <tr><td>外</td><td>兼液混合タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>空調用冷凍機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>空調用冷水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="10">原子炉建屋</td><td rowspan="10">T.P.10.3m</td><td>内</td><td>ガス圧箱装置</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>廃ガス除塵装置</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>使用済燃料ピット冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>使用済燃料ピットポンプ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>1次系補給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="10">原子炉建屋</td><td rowspan="10">T.P.17.8m</td><td>外</td><td>燃料油サービスタンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>非再生冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>サンプル冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>ブローダウンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>1次系純水タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内・外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="10">原子炉建屋</td><td rowspan="10">T.P.24.8m</td><td>内</td><td>格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>燃料取替用水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>ブローダウンサンプル冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="10">原子炉建屋</td><td rowspan="10">T.P.33.1m</td><td>外</td><td>飲料水タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>外</td><td>原子炉補機冷却水サージタンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>外</td><td>空調用冷水膨張タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分			原子炉建屋	T.P.2.3m	外	原子炉補機冷却水冷却器	S	外	原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ	S	外	兼液混合タンク	C	外	空調用冷凍機	C	外	空調用冷水ポンプ	C	外	配管	-	原子炉建屋	T.P.10.3m	内	ガス圧箱装置	B	内	廃ガス除塵装置	B	内	使用済燃料ピット冷却器	B	内	使用済燃料ピットポンプ	B	内	1次系補給水ポンプ	C	内	配管	-	原子炉建屋	T.P.17.8m	外	燃料油サービスタンク	S	内	非再生冷却器	B	内	サンプル冷却器	C	内	ブローダウンタンク	C	内	1次系純水タンク	C	内・外	配管	-	原子炉建屋	T.P.24.8m	内	格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器	C	内	燃料取替用水加熱器	B	内	ブローダウンサンプル冷却器	C	内	配管	-	原子炉建屋	T.P.33.1m	外	飲料水タンク	C	外	配管	-	外	原子炉補機冷却水サージタンク	S	外	空調用冷水膨張タンク	C	外	配管	-	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>流体を内包する設備及びそれを内包する建屋の違いによる</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>流体を内容する設備の違いによる</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>
建屋	フロア	機器名称																																																																																																																																																																																																																																																																												
3号炉原子炉周辺建屋	E.L.+42.0m	3号原子炉機械冷却水サージタンク 配管																																																																																																																																																																																																																																																																												
	E.L.+39.0m	3号樹脂タンク 配管																																																																																																																																																																																																																																																																												
	E.L.+33.6m	3号使用済燃料ピット 配管																																																																																																																																																																																																																																																																												
	E.L.+26.0m	3号冷却材循環式脱塩塔																																																																																																																																																																																																																																																																												
		3号冷却材脱イオン脱塩塔																																																																																																																																																																																																																																																																												
		3号冷却材脱塩塔入口フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																												
		3号冷却材フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																												
		3号封水注入フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																												
		3号使用済燃料ピット脱塩塔																																																																																																																																																																																																																																																																												
	E.L.+18.5m	3号使用済燃料ピットフィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																												
3号ブローダウンタンク																																																																																																																																																																																																																																																																														
3号格納容器冷却ユニット																																																																																																																																																																																																																																																																														
3号還水ピット 配管																																																																																																																																																																																																																																																																														
3号燃料取替用水ピット 配管																																																																																																																																																																																																																																																																														
3号封水冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																														
3号体積制御タンク																																																																																																																																																																																																																																																																														
3号1次系薬品タンク																																																																																																																																																																																																																																																																														
3号ほう酸補給タンク																																																																																																																																																																																																																																																																														
3号非再生冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																														
E.L.+17.1m	3号試料冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号ブローダウン試料冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号安全補給装置冷却ユニット																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号ほう酸除去薬品タンク																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号pH調整剤タンク																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号燃料取替用水ポンプ 配管																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号使用済燃料ピット冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号ほう酸タンク																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号格納容器スプレイ冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号熱除去冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																													
E.L.+10.0m	3号ほう酸フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号シリンドラ冷却水タンク																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号燃料非冷却水タンク																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号燃料非冷却水冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号清水加熱器																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号ほう酸ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号ほう酸ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号使用済燃料ピットポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号電動補助給水ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																													
	3号還水循環ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																													
3号燃料非冷却水ポンプ 配管																																																																																																																																																																																																																																																																														
設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																																																																																																																																																																																																										
建屋	フロア	区分																																																																																																																																																																																																																																																																												
原子炉棟	B2F	内	R/C バロメトリックコンデンサ	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	R/C 真空タンク	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	R/C 潤滑油冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	循環ポンプモータ軸受冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	循環ポンプメカニカルシール冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	LPCS ポンプメカニカルシール冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	LPCS ポンプ軸受冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	CUW ポンプ冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	R/A LCW サンプ冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	F/MW ポンプ軸受冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	R/A 室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	R/C ポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	F/MW ポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	CUW 再生熱交換器	B																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	CUW 非再生熱交換器	B																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	LPCS ポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	HPCS ポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	CRD サクションフィルタ	B																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	制御棟駆動水フィルタ	B																																																																																																																																																																																																																																																																										
原子炉建屋	B1F	内	CRD ポンプ室空調機	B																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	制御棟駆動水ポンプ用オイルクーラー	B																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	PLR ポンプシールバージ系ろ過器	B																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	CRD スクラム排出容器	B																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	DC-MEC 2A 室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	CUW フリコートタンク	B																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	残留熱除去系熱交換器	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
原子炉建屋	IF	内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	残留熱除去系熱交換器	S																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	CUW ろ過脱塩器	B																																																																																																																																																																																																																																																																										
		設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																																																																																																																																																																																																								
		建屋	フロア	区分																																																																																																																																																																																																																																																																										
		原子炉建屋	T.P.2.3m	外	原子炉補機冷却水冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																								
				外	原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ	S																																																																																																																																																																																																																																																																								
				外	兼液混合タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																								
				外	空調用冷凍機	C																																																																																																																																																																																																																																																																								
				外	空調用冷水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																								
外	配管			-																																																																																																																																																																																																																																																																										
原子炉建屋	T.P.10.3m			内	ガス圧箱装置	B																																																																																																																																																																																																																																																																								
				内	廃ガス除塵装置	B																																																																																																																																																																																																																																																																								
				内	使用済燃料ピット冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																								
				内	使用済燃料ピットポンプ	B																																																																																																																																																																																																																																																																								
		内	1次系補給水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																										
		内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
		原子炉建屋	T.P.17.8m	外	燃料油サービスタンク	S																																																																																																																																																																																																																																																																								
				内	非再生冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																								
				内	サンプル冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																								
				内	ブローダウンタンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																								
内	1次系純水タンク			C																																																																																																																																																																																																																																																																										
内・外	配管			-																																																																																																																																																																																																																																																																										
原子炉建屋	T.P.24.8m			内	格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																								
				内	燃料取替用水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																																								
				内	ブローダウンサンプル冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																								
				内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																								
		原子炉建屋	T.P.33.1m	外	飲料水タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																								
				外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																								
				外	原子炉補機冷却水サージタンク	S																																																																																																																																																																																																																																																																								
				外	空調用冷水膨張タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																								
				外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉			相違理由			
			表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋)(2/5)								【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる 【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映			
建屋	フロア	機器名称	設置場所 建屋	フロア	管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス							
3号炉 原子炉 周辺建屋	E.L. +3.5m	3号清水冷却器	原子炉棟	1F	内	燃料プール冷却浄化系熱交換器	B							
		3号潤滑油冷却器				R/A MS トンネル室空調機	B							
		3号全熱除去ポンプ				CRD 自動交換機制御室ファンコイルユニット	B							
		3号高圧注入ポンプ				ISI 及びPCV L/T室ファンコイルユニット	B							
		3号格納容器スプレイポンプ				FPC ポンプ室空調機	S							
		3号タービン動補助給水ポンプ				FPC フリコートタンク	B							
		配管				内	配管	-						
		4号原子炉補機冷却水サージタンク				内	配管	-						
		配管				内	配管	-						
		4号樹脂タンク				内	配管	-						
4号炉 原子炉 周辺建屋	E.L. +42.0m	4号使用済燃料ピット	原子炉棟	MEF	2F	ほう酸水注入系貯蔵タンク	S							
	E.L. +39.0m	配管				内	ほう酸水注入系アストタンク	C						
	E.L. +33.6m	配管				4号冷却材湿床式脱塩塔	内	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器	B					
								4号冷却材湿イオン脱塩塔	内	CAMS サンプリングラック除湿機・冷却器	S			
								4号冷却材脱塩塔入口フィルタ	内	CAMS 室空調機	S			
								4号冷却材フィルタ	内	SCTS 室空調機	S			
								4号封水注入フィルタ	内	FCS 室空調機	S			
								4号使用済燃料ピット脱塩塔	内	HPCW サージタンク	S			
								4号使用済燃料ピットフィルタ	内	配管	-			
								4号ブローダウンタンク	内	配管	-			
								4号格納容器冷却ユニット	内	配管	-			
								4号復水ピット	内	配管	-			
	E.L. +18.5m	4号燃料取替用水ピット				MEF	3F	燃料交換機制御室空調機	C					
	配管	内						燃料交換機制御室給気加熱コイル	C					
	4号封水冷却器	内						炉内温水系サージタンク	C					
	4号体積制御タンク	内						配管	-					
	4号1次系薬品タンク	内						HPCW サージタンク	S					
	4号ほう酸補給タンク	内						配管	-					
	4号非再生冷却器	内						HPCW サージタンク	B					
	4号試料冷却器	内						配管	-					
E.L. +17.1m	配管	4号ブローダウン試料冷却器	4F	RCW 熱交換器	S									
				4号安全補機室冷却ユニット	外			RCW 防食剤添加タンク(A)	C					
				4号よう薬除去薬品タンク	外	RCW 防食剤添加タンク(B)	C							
				4号pH調整剤タンク	外	RCW ポンプ(A)室空調機	S							
				4号燃料取替用水ポンプ	外	RCW ポンプ(B)室空調機	S							
				配管	外	RSW ストレーナ	S							
					外	HPCW 防食剤添加タンク	C							
					外	HPCW 熱交換器	S							
					外	配管	-							
					外	PLR 電源装置室空調機	C							
	外	PLR-VVVF 冷却器	C											
	外	IA・SA 圧縮機室空調機	C											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉		相違理由			
			表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋)(3/5)							<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>			
建屋	フロア	機器名称	設置場所 建屋	フロア	管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス						
4号炉 原子炉 周辺建屋	E.L. +10.0m	4号使用済燃料ピット冷却器	付属棟	B3F	外	IA中間冷却器	C						
		4号ほう酸タンク				IA空気圧縮機	C						
4号格納容器スプレイ冷却器		IA後部冷却器				C							
4号全熱除去冷却器		SA空気圧縮機				C							
4号ほう酸フィルタ		SA中間冷却器				C							
4号シリンダ冷却水タンク		SA後部冷却器				C							
4号燃料弁冷却水タンク		配管				—							
4号燃料弁冷却水冷却器		B1F				外	DG潤滑油冷却器	S					
4号清水加熱器		外				DG潤滑油加熱器	S						
4号ほう酸ポンプ		外				DG清水冷却器	S						
4号ろてんポンプ		外				DG清水加熱器	S						
4号使用済燃料ピットポンプ		外				配管	—						
4号電動補助給水ポンプ		1F				外	DG機関付空気冷却器(R側)	S					
4号温水循環ポンプ		外				DG機関付空気冷却器(L側)	S						
4号燃料弁冷却水ポンプ	外	HPCSDG 機関付空気冷却器	S										
配管	外	DG清水膨張タンク	S										
制御建屋	E.L. +3.5m	4号清水冷却器	付属棟	1F	外	DG機関付空注油タンク	S						
		4号潤滑油冷却器				DG燃料油下レンタンク	C						
	4号全熱除去ポンプ	DG機関付動弁注油タンク				S							
	4号高圧注入ポンプ	HPCSDG 潤滑油冷却器				S							
	4号格納容器スプレイポンプ	外				HPCSDG 潤滑油加熱器	S						
	4号タービン動補給水ポンプ	外				HPCSDG 発電機軸受潤滑油冷却器	S						
	配管	外				HPCSDG 清水冷却器	S						
	E.L. +40.5m	E.L. +38.6m				4号空調用冷水膨張タンク	E.L. +26.1m	外	HPCSDG 清水加熱器	S			
						配管			外	HPCSDG 清水膨張タンク	S		
						安全補機開閉器室空調ユニット			外	HPCSDG 潤滑油補給タンク	C		
						3号中央制御室空調ユニット			外	HPCSDG 燃料油下レンタンク	C		
	E.L. +26.1m	E.L. +10.0m				4号中央制御室空調ユニット	E.L. +7.0m	外	所内温水系防食剤添加タンク	C			
						放射線管理室冷却ユニット			外	所内温水系温水熱交換器	C		
						出入管理室温水タンク			外	所内温水系バックアップ熱交換器	C		
出入管理室温水ポンプ			外	配管	—								
E.L. +10.0m	E.L. +7.0m	3号空調用冷凍機	E.L. +7.0m	外	T/B 給気冷却加熱コイル	C							
		4号空調用冷凍機			送風機室空調機	C							
		3号空調用冷水ポンプ			R/A 給気冷却加熱コイル	C							
		4号空調用冷水ポンプ			R/A 給気冷却加熱コイル	C							
E.L. +7.0m	E.L. +7.0m	3号原子炉補機冷却水冷却器	E.L. +7.0m	外	HECW 冷凍機	S							
		4号原子炉補機冷却水冷却器			HECW 防食剤添加タンク	S							
		3号原子炉補機冷却水ポンプ			HECW サージタンク	S							
		4号原子炉補機冷却水ポンプ											
配管													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉	相違理由																																																																																									
表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋)(4/5)																																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>区分</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="11">付属棟</td> <td rowspan="11">フロア</td> <td rowspan="11">外</td> <td>原子炉補機(A)室給気冷却コイル</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(B)室給気冷却コイル</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(A)室給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(B)室給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(HPCS)室給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>DG燃料デイトンク</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>HPCSDG燃料デイトンク</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="27">付属棟 (廃棄物 処理エリア)</td> <td rowspan="11">ICF</td> <td rowspan="11">内</td> <td>HCW収集タンク(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCW収集タンク(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCW収集タンク(C)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液貯蔵タンク(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液貯蔵タンク(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液貯蔵タンク(C)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>CONWシール水タンク</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="16">MBF</td> <td rowspan="16">内</td> <td>HCW調整タンク</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCWサンプルタンク(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCWサンプルタンク(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>SD収集タンク(A)</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>SD収集タンク(B)</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>浄化系沈降分離槽(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>浄化系沈降分離槽(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵槽(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵槽(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>復水回収装置コンデンサ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>復水回収装置フラッシュタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>LCW収集槽(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>LCW収集槽(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>LCWサンプル槽(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>LCWサンプル槽(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">B2F</td> <td rowspan="3">内</td> <td>HCW蒸発濃縮装置加熱器(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCW蒸発濃縮装置加熱器(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>								設置場所	管理区域	区分	機器名称	耐震クラス	付属棟	フロア	外	原子炉補機(A)室給気冷却コイル	S	原子炉補機(B)室給気冷却コイル	S	原子炉補機(A)室給気加熱コイル	C	原子炉補機(B)室給気加熱コイル	C	原子炉補機(HPCS)室給気加熱コイル	C	DG燃料デイトンク	S	HPCSDG燃料デイトンク	S	配管	-	配管	-	配管	-	付属棟 (廃棄物 処理エリア)	ICF	内	HCW収集タンク(A)	B	HCW収集タンク(B)	B	HCW収集タンク(C)	B	濃縮廃液貯蔵タンク(A)	B	濃縮廃液貯蔵タンク(B)	B	濃縮廃液貯蔵タンク(C)	B	CONWシール水タンク	B	配管	-	MBF	内	HCW調整タンク	B	HCWサンプルタンク(A)	B	HCWサンプルタンク(B)	B	SD収集タンク(A)	C	SD収集タンク(B)	C	浄化系沈降分離槽(A)	B	浄化系沈降分離槽(B)	B	使用済樹脂貯蔵槽(A)	B	使用済樹脂貯蔵槽(B)	B	復水回収装置コンデンサ	C	復水回収装置フラッシュタンク	C	LCW収集槽(A)	B	LCW収集槽(B)	B	LCWサンプル槽(A)	B	LCWサンプル槽(B)	B	配管	-	B2F	内	HCW蒸発濃縮装置加熱器(A)	B	HCW蒸発濃縮装置加熱器(B)	B	配管	-
設置場所	管理区域	区分	機器名称	耐震クラス																																																																																												
付属棟	フロア	外	原子炉補機(A)室給気冷却コイル	S																																																																																												
			原子炉補機(B)室給気冷却コイル	S																																																																																												
			原子炉補機(A)室給気加熱コイル	C																																																																																												
			原子炉補機(B)室給気加熱コイル	C																																																																																												
			原子炉補機(HPCS)室給気加熱コイル	C																																																																																												
			DG燃料デイトンク	S																																																																																												
			HPCSDG燃料デイトンク	S																																																																																												
			配管	-																																																																																												
			配管	-																																																																																												
			配管	-																																																																																												
			付属棟 (廃棄物 処理エリア)	ICF	内	HCW収集タンク(A)	B																																																																																									
HCW収集タンク(B)	B																																																																																															
HCW収集タンク(C)	B																																																																																															
濃縮廃液貯蔵タンク(A)	B																																																																																															
濃縮廃液貯蔵タンク(B)	B																																																																																															
濃縮廃液貯蔵タンク(C)	B																																																																																															
CONWシール水タンク	B																																																																																															
配管	-																																																																																															
MBF	内	HCW調整タンク				B																																																																																										
		HCWサンプルタンク(A)				B																																																																																										
		HCWサンプルタンク(B)				B																																																																																										
		SD収集タンク(A)		C																																																																																												
		SD収集タンク(B)		C																																																																																												
		浄化系沈降分離槽(A)		B																																																																																												
		浄化系沈降分離槽(B)		B																																																																																												
		使用済樹脂貯蔵槽(A)		B																																																																																												
		使用済樹脂貯蔵槽(B)		B																																																																																												
		復水回収装置コンデンサ		C																																																																																												
		復水回収装置フラッシュタンク		C																																																																																												
		LCW収集槽(A)		B																																																																																												
		LCW収集槽(B)		B																																																																																												
		LCWサンプル槽(A)		B																																																																																												
		LCWサンプル槽(B)		B																																																																																												
		配管		-																																																																																												
B2F	内	HCW蒸発濃縮装置加熱器(A)		B																																																																																												
		HCW蒸発濃縮装置加熱器(B)		B																																																																																												
		配管		-																																																																																												
<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>流体を内包する設備の違いによる</p>																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋) (5/5)																																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">付属棟 (廃棄物 処理エリ ア)</td> <td rowspan="10">B1F</td> <td>内</td> <td>HCV 蒸発濃縮装置蒸発缶(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCV 蒸発濃縮装置蒸発缶(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCV 蒸発濃縮装置デミスタ(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCV 蒸発濃縮装置デミスタ(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCV 蒸発濃縮装置復水器(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCV 蒸発濃縮装置復水器(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>中和苛性タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>中和硫酸タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1F</td> <td>内</td> <td>LCW ろ過器(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>LCW ろ過器(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>LCW 脱塩器(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>LCW 脱塩器(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCV 脱塩器</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>RW 制御室給気冷却コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>混合槽室空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>廃棄物処理系制御室換気空調系冷水供給装置 膨張タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>RW 制御室給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内・外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2F</td> <td>内</td> <td>排風機室空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分			付属棟 (廃棄物 処理エリ ア)	B1F	内	HCV 蒸発濃縮装置蒸発缶(A)	B	内	HCV 蒸発濃縮装置蒸発缶(B)	B	内	HCV 蒸発濃縮装置デミスタ(A)	B	内	HCV 蒸発濃縮装置デミスタ(B)	B	内	HCV 蒸発濃縮装置復水器(A)	B	内	HCV 蒸発濃縮装置復水器(B)	B	内	中和苛性タンク	C	内	中和硫酸タンク	C	内	配管	-	内	配管	-	1F	内	LCW ろ過器(A)	B	内	LCW ろ過器(B)	B	内	LCW 脱塩器(A)	B	内	LCW 脱塩器(B)	B	内	HCV 脱塩器	B	外	RW 制御室給気冷却コイル	C	内	混合槽室空調機	C	外	廃棄物処理系制御室換気空調系冷水供給装置 膨張タンク	C	外	RW 制御室給気加熱コイル	C	内・外	配管	-	2F	内	排風機室空調機	C	内	配管	-		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>
設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																		
建屋	フロア	区分																																																																																				
付属棟 (廃棄物 処理エリ ア)	B1F	内	HCV 蒸発濃縮装置蒸発缶(A)	B																																																																																		
		内	HCV 蒸発濃縮装置蒸発缶(B)	B																																																																																		
		内	HCV 蒸発濃縮装置デミスタ(A)	B																																																																																		
		内	HCV 蒸発濃縮装置デミスタ(B)	B																																																																																		
		内	HCV 蒸発濃縮装置復水器(A)	B																																																																																		
		内	HCV 蒸発濃縮装置復水器(B)	B																																																																																		
		内	中和苛性タンク	C																																																																																		
		内	中和硫酸タンク	C																																																																																		
		内	配管	-																																																																																		
		内	配管	-																																																																																		
	1F	内	LCW ろ過器(A)	B																																																																																		
		内	LCW ろ過器(B)	B																																																																																		
		内	LCW 脱塩器(A)	B																																																																																		
		内	LCW 脱塩器(B)	B																																																																																		
		内	HCV 脱塩器	B																																																																																		
		外	RW 制御室給気冷却コイル	C																																																																																		
		内	混合槽室空調機	C																																																																																		
		外	廃棄物処理系制御室換気空調系冷水供給装置 膨張タンク	C																																																																																		
		外	RW 制御室給気加熱コイル	C																																																																																		
		内・外	配管	-																																																																																		
2F	内	排風機室空調機	C																																																																																			
	内	配管	-																																																																																			

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大阪発電所3 / 4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由					
				表2 溢水源となりうる機器リスト（制御建屋）				表2 溢水源となりうる機器リスト（原子炉補助建屋）(1/2)				【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる					
設置場所		管理区域		機器名称		耐震クラス		設置場所		管理区域			機器名称		耐震クラス		
建屋	フロア	区分						建屋	フロア	区分							
制御建屋	B2F	外	常用電気品室給気冷却加熱コイル	C	原子炉補助建屋	T.P.-1.7m	内	洗浄排水タンク	C	T.P. 2.8m	内	冷却材貯蔵タンク	B	T.P. 10.3m	内	ほう酸回収装置	B
			中央制御室給気冷却コイル	S			内	洗浄排水ポンプ	C		内	廃液蒸留水タンク	C		内	ほう酸回収装置	B
			計測制御(A)室給気冷却コイル	S			内	洗浄排水フィルタ	C		内	廃液蒸留水ポンプ	C		内	重鉛注入装置	B
			計測制御(B)室給気冷却コイル	S			内	補助蒸気復水モータ冷却器	C		内	洗浄排水蒸留水タンク	C		内	余熱除去冷却器	S
			中央制御室給気加熱コイル	C			内	補助蒸気ドレンタンク	C		内	洗浄排水蒸留水ポンプ	C		内	格納容器スプレイ冷却器	S
			計測制御電源室給気加熱コイル	C			内	補助蒸気ドレンポンプ	C		内	酸性ドレンタンク	B		内	pH調整剤貯蔵タンク	S
			配管	-			内	配管	-		内	酸性ドレンポンプ	B		内	配管	-
	ME2F	外	配管	-			内	使用済樹脂貯蔵タンク	B		内	ほう酸注入タンク	S				
	B1F	外	配管	-			内	ほう酸回収装置給水ポンプ	B		内	ほう酸タンク	S				
			入退域エリア(クリーン)空調機	C			内	廃液給水ポンプ	B		内	ほう酸フィルタ	S				
			脱衣エリアファンコイルユニット	C		内	酸性下レンタンク放射性ゾーダ計量タンク	C	内	冷却材混床式脱塩塔	B						
	1F	外	入退域エリア(クリーン)空調機	C		内	安全補機室冷却ユニット	C	内	配管	-						
			下足エリアファンコイルユニット	C		内	配管	-	内	よう素除去薬品タンク	S						
	2F	外	女性用更衣室エリアファンコイルユニット	C		内	よう素除去薬品タンク	S	内	封水冷却器	B						
			女性用更衣室エリアファンコイルユニット	C		内	ほう酸注入装置	B	内	ほう酸回収装置	B						
			配管	-		内	重鉛注入装置	B	内	余熱除去冷却器	S						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																											
		<p>表2 溢水源となりうる機器リスト（原子炉補助建屋）(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="27">原子炉補助建屋</td><td rowspan="17">T.P. 17. 8m</td><td>内</td><td>冷却材陽イオン脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>冷却材脱塩塔入口フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>冷却材フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>体積制御タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>ほう酸回収装置泥床式脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>ほう酸回収装置陽イオン脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>1次系薬品タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>洗浄排水濃縮液タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>洗浄排水濃縮液ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>濃縮液タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>濃縮液ポンプ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>廃液フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>廃液蒸留水脱塩塔</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>使用済燃料ビット脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>使用済燃料ビットフィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="7">T.P. 24. 8m</td><td>内</td><td>廃液貯蔵ビットか性ソーダ計量タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>廃液蒸発装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>洗浄排水蒸発装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>安全補機閉塞室給気ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>中央制御室給気ユニット</td><td>S</td></tr> <tr><td>外</td><td>試料採取室給気ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>出入管理室冷却ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>ほう酸補給タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内・外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="2">T.P. 33. 1m</td><td>内</td><td>樹脂タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>外</td><td>1次系か性ソーダタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>T.P. 2. 8m ~24. 8m</td><td>内・外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>T.P. 2. 8m ~24. 8m</td><td>内</td><td>セメント固化装置</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分		原子炉補助建屋	T.P. 17. 8m	内	冷却材陽イオン脱塩塔	B	内	冷却材脱塩塔入口フィルタ	B	内	冷却材フィルタ	B	内	体積制御タンク	B	内	ほう酸回収装置泥床式脱塩塔	B	内	ほう酸回収装置陽イオン脱塩塔	B	内	ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ	B	内	1次系薬品タンク	B	内	洗浄排水濃縮液タンク	C	内	洗浄排水濃縮液ポンプ	C	内	濃縮液タンク	B	内	濃縮液ポンプ	B	内	廃液フィルタ	B	内	廃液蒸留水脱塩塔	C	内	使用済燃料ビット脱塩塔	B	内	使用済燃料ビットフィルタ	B	内	配管	-	T.P. 24. 8m	内	廃液貯蔵ビットか性ソーダ計量タンク	C	内	廃液蒸発装置	C	内	洗浄排水蒸発装置	C	内	洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置	C	外	安全補機閉塞室給気ユニット	C	外	中央制御室給気ユニット	S	外	試料採取室給気ユニット	C	外	出入管理室冷却ユニット	C	内	ほう酸補給タンク	C	内・外	配管	-	T.P. 33. 1m	内	樹脂タンク	B	外	1次系か性ソーダタンク	C	T.P. 2. 8m ~24. 8m	内・外	配管	-	T.P. 2. 8m ~24. 8m	内	セメント固化装置	-	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>
設置場所	管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																																											
建屋	フロア	区分																																																																																																												
原子炉補助建屋	T.P. 17. 8m	内	冷却材陽イオン脱塩塔	B																																																																																																										
		内	冷却材脱塩塔入口フィルタ	B																																																																																																										
		内	冷却材フィルタ	B																																																																																																										
		内	体積制御タンク	B																																																																																																										
		内	ほう酸回収装置泥床式脱塩塔	B																																																																																																										
		内	ほう酸回収装置陽イオン脱塩塔	B																																																																																																										
		内	ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ	B																																																																																																										
		内	1次系薬品タンク	B																																																																																																										
		内	洗浄排水濃縮液タンク	C																																																																																																										
		内	洗浄排水濃縮液ポンプ	C																																																																																																										
		内	濃縮液タンク	B																																																																																																										
		内	濃縮液ポンプ	B																																																																																																										
		内	廃液フィルタ	B																																																																																																										
		内	廃液蒸留水脱塩塔	C																																																																																																										
		内	使用済燃料ビット脱塩塔	B																																																																																																										
		内	使用済燃料ビットフィルタ	B																																																																																																										
		内	配管	-																																																																																																										
	T.P. 24. 8m	内	廃液貯蔵ビットか性ソーダ計量タンク	C																																																																																																										
		内	廃液蒸発装置	C																																																																																																										
		内	洗浄排水蒸発装置	C																																																																																																										
		内	洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置	C																																																																																																										
		外	安全補機閉塞室給気ユニット	C																																																																																																										
		外	中央制御室給気ユニット	S																																																																																																										
		外	試料採取室給気ユニット	C																																																																																																										
	外	出入管理室冷却ユニット	C																																																																																																											
	内	ほう酸補給タンク	C																																																																																																											
	内・外	配管	-																																																																																																											
T.P. 33. 1m	内	樹脂タンク	B																																																																																																											
	外	1次系か性ソーダタンク	C																																																																																																											
T.P. 2. 8m ~24. 8m	内・外	配管	-																																																																																																											
T.P. 2. 8m ~24. 8m	内	セメント固化装置	-																																																																																																											
	<p>表3 溢水源となりうる機器リスト(海水ポンプ室、復水貯蔵タンクエリア及び軽油タンクエリア)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>海水ポンプ室</td><td>-</td><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>復水貯蔵タンクエリア</td><td>-</td><td>内</td><td>復水貯蔵タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>軽油タンクエリア</td><td>-</td><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>軽油タンクエリア</td><td>-</td><td>外</td><td>軽油タンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>軽油タンクエリア</td><td>-</td><td>外</td><td>配管</td><td>S</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分		海水ポンプ室	-	外	配管	-	復水貯蔵タンクエリア	-	内	復水貯蔵タンク	B	軽油タンクエリア	-	内	配管	-	軽油タンクエリア	-	外	軽油タンク	S	軽油タンクエリア	-	外	配管	S	<p>表3 溢水源となりうる機器リスト（ディーゼル発電機建屋、循環水ポンプ建屋）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>-</td><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="4">循環水ポンプ建屋</td><td>T.P. 10. 3m 以下</td><td>外</td><td>原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナー</td><td>S</td></tr> <tr><td>T.P. 10. 3m</td><td>外</td><td>海水電解装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>-</td><td>外</td><td>海水淡水化設備</td><td>C</td></tr> <tr><td>-</td><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分		ディーゼル発電機建屋	-	外	配管	-	循環水ポンプ建屋	T.P. 10. 3m 以下	外	原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナー	S	T.P. 10. 3m	外	海水電解装置	C	-	外	海水淡水化設備	C	-	外	配管	-	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>																																												
設置場所	管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																																											
建屋	フロア	区分																																																																																																												
海水ポンプ室	-	外	配管	-																																																																																																										
復水貯蔵タンクエリア	-	内	復水貯蔵タンク	B																																																																																																										
軽油タンクエリア	-	内	配管	-																																																																																																										
軽油タンクエリア	-	外	軽油タンク	S																																																																																																										
軽油タンクエリア	-	外	配管	S																																																																																																										
設置場所	管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																																											
建屋	フロア	区分																																																																																																												
ディーゼル発電機建屋	-	外	配管	-																																																																																																										
循環水ポンプ建屋	T.P. 10. 3m 以下	外	原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナー	S																																																																																																										
	T.P. 10. 3m	外	海水電解装置	C																																																																																																										
	-	外	海水淡水化設備	C																																																																																																										
	-	外	配管	-																																																																																																										

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																						
	<p>表4 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th>クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>タービン</td><td rowspan="20">B2F</td><td>内</td><td>CF 逆洗受タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td rowspan="19">建屋</td><td>内</td><td>主復水器(ホットウェル側)</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>給圧第1給水加熱器ドレン冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>高圧第1給水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>起動用真空ポンプウォータージェネレータ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>起動用真空ポンプシール水冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>主復水器(本室)</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>復水回収タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>OG 蒸排ガス節電水クーラ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>活性炭式希ガスホールドアップ塔室空調機</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>BF-T 油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>高圧油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>油清浄機</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>BF-T 油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>BF-T 補助油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>高圧油圧ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>TCW 防食剤添加タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>TCW 熱交換器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内・外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="19">B1F</td><td>内</td><td>グランド蒸気復水器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>排ガス復水器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>排ガス予熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>高圧第2給水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>湿分分離ドレンタンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>復水ろ過器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>主タービン油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>MF-BFP 油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>BF-CF 油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>主油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>油補給タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>HSCW 防食剤添加タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>換気空調補機常用冷却水系ターボ冷凍機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>換気空調補機常用冷却水系冷凍機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>冷凍機室空調機</td><td>C</td></tr> <tr><td>内・外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="4">1F</td><td>内</td><td>蒸気式空気抽出器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>給圧第3給水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>給圧第4給水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>給圧第4給水加熱器</td><td>B</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震	建屋	フロア	区分	クラス	タービン	B2F	内	CF 逆洗受タンク	B	建屋	内	主復水器(ホットウェル側)	B	内	給圧第1給水加熱器ドレン冷却器	B	内	高圧第1給水加熱器	B	内	起動用真空ポンプウォータージェネレータ	B	内	起動用真空ポンプシール水冷却器	B	内	主復水器(本室)	B	内	復水回収タンク	B	内	OG 蒸排ガス節電水クーラ	B	内	活性炭式希ガスホールドアップ塔室空調機	C	内	BF-T 油冷却器	C	内	高圧油冷却器	C	内	油清浄機	C	内	BF-T 油タンク	C	内	BF-T 補助油タンク	C	内	高圧油圧ユニット	C	外	TCW 防食剤添加タンク	C	外	TCW 熱交換器	C	内・外	配管	-	B1F	内	グランド蒸気復水器	B	内	排ガス復水器	B	内	排ガス予熱器	B	内	高圧第2給水加熱器	B	内	湿分分離ドレンタンク	B	内	復水ろ過器	B	内	主タービン油冷却器	C	内	MF-BFP 油冷却器	C	内	BF-CF 油冷却器	C	内	主油タンク	C	内	油補給タンク	C	外	HSCW 防食剤添加タンク	C	外	換気空調補機常用冷却水系ターボ冷凍機	C	外	換気空調補機常用冷却水系冷凍機	C	外	冷凍機室空調機	C	内・外	配管	-	1F	内	蒸気式空気抽出器	B	内	給圧第3給水加熱器	B	内	給圧第4給水加熱器	B	内	給圧第4給水加熱器	B	<p>表4 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(1/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th>クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">タービン建屋</td><td rowspan="10">B2F</td><td>外</td><td>復水回収タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>復水器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>海水ブースタポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>復水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>タービンローダウンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>温水排水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>海水ビット排水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>定常淡水ビット排水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="10">B1F</td><td>外</td><td>復水ブースタポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>タービン動主給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>タービン動主給水ポンプ油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>タービン動主給水ポンプ油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>電動主給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>給水ブースタポンプ(タービン動用)</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>給水ブースタポンプ(電動用)</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>主油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>油清浄機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>油清浄機ドレンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>スチームコンバータ給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>スチームコンバータ給水タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>スチームコンバータドレンクーラ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>スチームコンバータドレンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>スチームコンバータ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>所内用空気圧縮機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>所内用空気除湿装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>所内用空気冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>SG フロー復水冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>湿分分離器ドレンポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>復水器真空ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>低圧給水加熱器ドレンポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>軸受冷却水冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>軸受冷却水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>アンモニア原液タンク</td><td>C</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震	建屋	フロア	区分	クラス	タービン建屋	B2F	外	復水回収タンク	C	外	復水器	C	外	海水ブースタポンプ	C	外	復水ポンプ	C	外	タービンローダウンタンク	C	外	温水排水ポンプ	C	外	海水ビット排水ポンプ	C	外	定常淡水ビット排水ポンプ	C	外	配管	-	B1F	外	復水ブースタポンプ	C	外	タービン動主給水ポンプ	C	外	タービン動主給水ポンプ油タンク	C	外	タービン動主給水ポンプ油冷却器	C	外	電動主給水ポンプ	C	外	給水ブースタポンプ(タービン動用)	C	外	給水ブースタポンプ(電動用)	C	外	主油タンク	C	外	油清浄機	C	外	油清浄機ドレンタンク	C	外	油冷却器	C	外	スチームコンバータ給水ポンプ	C	外	スチームコンバータ給水タンク	C	外	スチームコンバータドレンクーラ	C	外	スチームコンバータドレンタンク	C	外	スチームコンバータ	C	外	所内用空気圧縮機	C	外	所内用空気除湿装置	C	外	所内用空気冷却器	C	外	SG フロー復水冷却器	C	外	湿分分離器ドレンポンプ	C	外	復水器真空ポンプ	C	外	低圧給水加熱器ドレンポンプ	C	外	軸受冷却水冷却器	C	外	軸受冷却水ポンプ	C	外	アンモニア原液タンク	C	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>
設置場所	管理区域	機器名称	耐震																																																																																																																																																																																																																																																						
建屋	フロア	区分	クラス																																																																																																																																																																																																																																																						
タービン	B2F	内	CF 逆洗受タンク	B																																																																																																																																																																																																																																																					
建屋		内	主復水器(ホットウェル側)	B																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	給圧第1給水加熱器ドレン冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	高圧第1給水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	起動用真空ポンプウォータージェネレータ	B																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	起動用真空ポンプシール水冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	主復水器(本室)	B																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	復水回収タンク	B																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	OG 蒸排ガス節電水クーラ	B																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	活性炭式希ガスホールドアップ塔室空調機	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	BF-T 油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	高圧油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	油清浄機	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	BF-T 油タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	BF-T 補助油タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	高圧油圧ユニット	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		外	TCW 防食剤添加タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		外	TCW 熱交換器	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		内・外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																					
		B1F	内	グランド蒸気復水器	B																																																																																																																																																																																																																																																				
内	排ガス復水器		B																																																																																																																																																																																																																																																						
内	排ガス予熱器		B																																																																																																																																																																																																																																																						
内	高圧第2給水加熱器		B																																																																																																																																																																																																																																																						
内	湿分分離ドレンタンク		B																																																																																																																																																																																																																																																						
内	復水ろ過器		B																																																																																																																																																																																																																																																						
内	主タービン油冷却器		C																																																																																																																																																																																																																																																						
内	MF-BFP 油冷却器		C																																																																																																																																																																																																																																																						
内	BF-CF 油冷却器		C																																																																																																																																																																																																																																																						
内	主油タンク		C																																																																																																																																																																																																																																																						
内	油補給タンク		C																																																																																																																																																																																																																																																						
外	HSCW 防食剤添加タンク		C																																																																																																																																																																																																																																																						
外	換気空調補機常用冷却水系ターボ冷凍機		C																																																																																																																																																																																																																																																						
外	換気空調補機常用冷却水系冷凍機		C																																																																																																																																																																																																																																																						
外	冷凍機室空調機		C																																																																																																																																																																																																																																																						
内・外	配管		-																																																																																																																																																																																																																																																						
1F	内		蒸気式空気抽出器	B																																																																																																																																																																																																																																																					
	内		給圧第3給水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																					
	内		給圧第4給水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																					
	内	給圧第4給水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																						
設置場所	管理区域	機器名称	耐震																																																																																																																																																																																																																																																						
建屋	フロア	区分	クラス																																																																																																																																																																																																																																																						
タービン建屋	B2F	外	復水回収タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		外	復水器	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		外	海水ブースタポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		外	復水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		外	タービンローダウンタンク	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		外	温水排水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		外	海水ビット排水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		外	定常淡水ビット排水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																					
		B1F	外	復水ブースタポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																				
	外		タービン動主給水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																					
	外		タービン動主給水ポンプ油タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																					
	外		タービン動主給水ポンプ油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																					
	外		電動主給水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																					
	外		給水ブースタポンプ(タービン動用)	C																																																																																																																																																																																																																																																					
	外		給水ブースタポンプ(電動用)	C																																																																																																																																																																																																																																																					
	外		主油タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																					
	外		油清浄機	C																																																																																																																																																																																																																																																					
	外		油清浄機ドレンタンク	C																																																																																																																																																																																																																																																					
	外	油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																						
外	スチームコンバータ給水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																							
外	スチームコンバータ給水タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																							
外	スチームコンバータドレンクーラ	C																																																																																																																																																																																																																																																							
外	スチームコンバータドレンタンク	C																																																																																																																																																																																																																																																							
外	スチームコンバータ	C																																																																																																																																																																																																																																																							
外	所内用空気圧縮機	C																																																																																																																																																																																																																																																							
外	所内用空気除湿装置	C																																																																																																																																																																																																																																																							
外	所内用空気冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																							
外	SG フロー復水冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																							
外	湿分分離器ドレンポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																							
外	復水器真空ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																							
外	低圧給水加熱器ドレンポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																							
外	軸受冷却水冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																							
外	軸受冷却水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																							
外	アンモニア原液タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																															
	<p>表4 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>前置クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">タービン建屋</td> <td rowspan="14">1F</td> <td>内</td> <td>低圧第1給水加熱器ドレンタンク</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>凝分分離加熱器</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>凝分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>凝分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>復水脱塩塔</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>樹脂ストレーナ</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>固定子巻線冷却水装置貯水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>固定子巻線冷却水装置冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>復水器室空調機(B)</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>空気抽出器室空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>SCR 凝室空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>相分離母線冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>発電機水素ガス冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>低圧第1給水加熱器</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>低圧第2給水加熱器</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>復水器室空調機(A)</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr><td rowspan="4">2F</td> <td>内</td> <td>グラント蒸気発生器</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>TCW サージタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr><td>内</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	前置クラス	建屋	フロア	区分		タービン建屋	1F	内	低圧第1給水加熱器ドレンタンク	B	内	凝分分離加熱器	B	内	凝分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク	B	内	凝分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク	B	内	復水脱塩塔	B	内	樹脂ストレーナ	B	内	固定子巻線冷却水装置貯水槽	C	内	固定子巻線冷却水装置冷却器	C	内	固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔	C	内	復水器室空調機(B)	C	内	空気抽出器室空調機	C	内	SCR 凝室空調機	C	内	相分離母線冷却器	C	内	発電機水素ガス冷却器	C	内	低圧第1給水加熱器	B	内	低圧第2給水加熱器	B	内	復水器室空調機(A)	C	内	配管	-	2F	内	グラント蒸気発生器	B	内	TCW サージタンク	C	内	配管	-	内	配管	-	<p>表4 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>前置クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="40">タービン建屋</td> <td rowspan="16">B1F</td> <td>外</td> <td>ヒドドラジン原液タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>ヒドドラジタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>アンモニオタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>2次系補給水ポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>カチオン再生塔</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>混合樹脂受入槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>樹脂補給ホッパ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>アニオン再生塔</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>スクラバ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>第6高圧給水加熱器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>高圧油供給装置</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>脱気器再循環ポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>低圧給水加熱器ドレンタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>SG ブロー熱回収フラッシュタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>凝分分離加熱器ドレンタンク#1</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>凝分分離加熱器ドレンタンク#2</td> <td>C</td> </tr> <tr><td rowspan="14">1F</td> <td>外</td> <td>凝分分離器ドレンタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>復水器水室空気抜きポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>復水脱塩塔</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>復水器過器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>レジンキャッチャ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>レジントラップ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>樹脂混合用空気貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>制御用空気貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>塩酸貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>塩酸計量槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>塩酸スクラバ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>苛性ソーダ計量槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>苛性ソーダ貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>ジャッキングオイルポンプユニット</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr><td rowspan="2">2F</td> <td>外</td> <td>第3低圧給水加熱器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外</td> <td>第4低圧給水加熱器</td> <td>C</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	前置クラス	建屋	フロア	区分		タービン建屋	B1F	外	ヒドドラジン原液タンク	C	外	ヒドドラジタンク	C	外	アンモニオタンク	C	外	2次系補給水ポンプ	C	外	カチオン再生塔	C	外	混合樹脂受入槽	C	外	樹脂補給ホッパ	C	外	アニオン再生塔	C	外	スクラバ	C	外	配管	-	外	第6高圧給水加熱器	C	外	高圧油供給装置	C	外	脱気器再循環ポンプ	C	外	低圧給水加熱器ドレンタンク	C	外	SG ブロー熱回収フラッシュタンク	C	外	凝分分離加熱器ドレンタンク#1	C	外	凝分分離加熱器ドレンタンク#2	C	1F	外	凝分分離器ドレンタンク	C	外	復水器水室空気抜きポンプ	C	外	復水脱塩塔	C	外	復水器過器	C	外	レジンキャッチャ	C	外	レジントラップ	C	外	樹脂混合用空気貯槽	C	外	制御用空気貯槽	C	外	塩酸貯槽	C	外	塩酸計量槽	C	外	塩酸スクラバ	C	外	苛性ソーダ計量槽	C	外	苛性ソーダ貯槽	C	外	ジャッキングオイルポンプユニット	C	外	配管	-	2F	外	第3低圧給水加熱器	C	外	第4低圧給水加熱器	C	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>
設置場所	管理区域	機器名称	前置クラス																																																																																																																																																																																															
建屋	フロア	区分																																																																																																																																																																																																
タービン建屋	1F	内	低圧第1給水加熱器ドレンタンク	B																																																																																																																																																																																														
		内	凝分分離加熱器	B																																																																																																																																																																																														
		内	凝分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク	B																																																																																																																																																																																														
		内	凝分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク	B																																																																																																																																																																																														
		内	復水脱塩塔	B																																																																																																																																																																																														
		内	樹脂ストレーナ	B																																																																																																																																																																																														
		内	固定子巻線冷却水装置貯水槽	C																																																																																																																																																																																														
		内	固定子巻線冷却水装置冷却器	C																																																																																																																																																																																														
		内	固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔	C																																																																																																																																																																																														
		内	復水器室空調機(B)	C																																																																																																																																																																																														
		内	空気抽出器室空調機	C																																																																																																																																																																																														
		内	SCR 凝室空調機	C																																																																																																																																																																																														
		内	相分離母線冷却器	C																																																																																																																																																																																														
		内	発電機水素ガス冷却器	C																																																																																																																																																																																														
	内	低圧第1給水加熱器	B																																																																																																																																																																																															
	内	低圧第2給水加熱器	B																																																																																																																																																																																															
	内	復水器室空調機(A)	C																																																																																																																																																																																															
	内	配管	-																																																																																																																																																																																															
	2F	内	グラント蒸気発生器	B																																																																																																																																																																																														
		内	TCW サージタンク	C																																																																																																																																																																																														
内		配管	-																																																																																																																																																																																															
内		配管	-																																																																																																																																																																																															
設置場所	管理区域	機器名称	前置クラス																																																																																																																																																																																															
建屋	フロア	区分																																																																																																																																																																																																
タービン建屋	B1F	外	ヒドドラジン原液タンク	C																																																																																																																																																																																														
		外	ヒドドラジタンク	C																																																																																																																																																																																														
		外	アンモニオタンク	C																																																																																																																																																																																														
		外	2次系補給水ポンプ	C																																																																																																																																																																																														
		外	カチオン再生塔	C																																																																																																																																																																																														
		外	混合樹脂受入槽	C																																																																																																																																																																																														
		外	樹脂補給ホッパ	C																																																																																																																																																																																														
		外	アニオン再生塔	C																																																																																																																																																																																														
		外	スクラバ	C																																																																																																																																																																																														
		外	配管	-																																																																																																																																																																																														
		外	第6高圧給水加熱器	C																																																																																																																																																																																														
		外	高圧油供給装置	C																																																																																																																																																																																														
		外	脱気器再循環ポンプ	C																																																																																																																																																																																														
		外	低圧給水加熱器ドレンタンク	C																																																																																																																																																																																														
		外	SG ブロー熱回収フラッシュタンク	C																																																																																																																																																																																														
		外	凝分分離加熱器ドレンタンク#1	C																																																																																																																																																																																														
	外	凝分分離加熱器ドレンタンク#2	C																																																																																																																																																																																															
	1F	外	凝分分離器ドレンタンク	C																																																																																																																																																																																														
		外	復水器水室空気抜きポンプ	C																																																																																																																																																																																														
		外	復水脱塩塔	C																																																																																																																																																																																														
		外	復水器過器	C																																																																																																																																																																																														
		外	レジンキャッチャ	C																																																																																																																																																																																														
		外	レジントラップ	C																																																																																																																																																																																														
		外	樹脂混合用空気貯槽	C																																																																																																																																																																																														
		外	制御用空気貯槽	C																																																																																																																																																																																														
		外	塩酸貯槽	C																																																																																																																																																																																														
		外	塩酸計量槽	C																																																																																																																																																																																														
		外	塩酸スクラバ	C																																																																																																																																																																																														
		外	苛性ソーダ計量槽	C																																																																																																																																																																																														
		外	苛性ソーダ貯槽	C																																																																																																																																																																																														
		外	ジャッキングオイルポンプユニット	C																																																																																																																																																																																														
	外	配管	-																																																																																																																																																																																															
	2F	外	第3低圧給水加熱器	C																																																																																																																																																																																														
		外	第4低圧給水加熱器	C																																																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
		<p>表4 溢水源となりうる機器リスト（タービン建屋）(3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">管理区域 区分</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">耐震 クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">タービン建屋</td> <td rowspan="3">2F</td> <td>外</td> <td>水分分離加熱器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>軸受冷却水スタンドパイプ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3F</td> <td>外</td> <td>脱気器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>循環水管伸縮継手</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>外</td> <td>屋外タンク</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス	建屋	フロア	タービン建屋	2F	外	水分分離加熱器	C	外	配管	-	外	軸受冷却水スタンドパイプ	C	3F	外	脱気器	C	外	配管	-	外	循環水管伸縮継手	C	-	外	屋外タンク	-	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>																																												
設置場所		管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス																																																																											
建屋	フロア																																																																														
タービン建屋	2F	外	水分分離加熱器	C																																																																											
		外	配管	-																																																																											
		外	軸受冷却水スタンドパイプ	C																																																																											
	3F	外	脱気器	C																																																																											
		外	配管	-																																																																											
		外	循環水管伸縮継手	C																																																																											
-	外	屋外タンク	-																																																																												
	<p>表5 溢水源となりうる機器リスト(補助ボイラー建屋)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">管理区域 区分</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">耐震 クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">補助ボイラー建屋</td> <td rowspan="4">B1F</td> <td>外</td> <td>加圧貯水槽兼呼水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>消火水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>呼水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>排水ピット</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">1F</td> <td>外</td> <td>補助ボイラードレン冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー蒸気発生器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラーブロー水冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー給水サンプリングクーラ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2F</td> <td>外</td> <td>グランド蒸気発生器ドレンクーラ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー蒸気だめ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー給水ドレンタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー脱気器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー蒸気ドラム</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー建屋給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス	建屋	フロア	補助ボイラー建屋	B1F	外	加圧貯水槽兼呼水槽	C	外	消火水槽	C	外	呼水槽	C	外	排水ピット	C	1F	外	補助ボイラードレン冷却器	C	外	補助ボイラー蒸気発生器	C	外	補助ボイラーブロー水冷却器	C	外	補助ボイラー給水サンプリングクーラ	C	外	配管	-	2F	外	グランド蒸気発生器ドレンクーラ	C	外	補助ボイラー蒸気だめ	C	外	補助ボイラー給水ドレンタンク	C	外	補助ボイラー脱気器	C	外	補助ボイラー蒸気ドラム	C	外	補助ボイラー建屋給気加熱コイル	C	外	配管	-	<p>表5 溢水源となりうる機器リスト（出入管理建屋，電気建屋）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">管理区域 区分</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">耐震 クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出入管理建屋</td> <td>-</td> <td>内・外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>電気建屋</td> <td>-</td> <td>外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス	建屋	フロア	出入管理建屋	-	内・外	配管	-	電気建屋	-	外	配管	-	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>
設置場所		管理区域 区分	機器名称				耐震 クラス																																																																								
建屋	フロア																																																																														
補助ボイラー建屋	B1F	外	加圧貯水槽兼呼水槽	C																																																																											
		外	消火水槽	C																																																																											
		外	呼水槽	C																																																																											
		外	排水ピット	C																																																																											
	1F	外	補助ボイラードレン冷却器	C																																																																											
		外	補助ボイラー蒸気発生器	C																																																																											
		外	補助ボイラーブロー水冷却器	C																																																																											
		外	補助ボイラー給水サンプリングクーラ	C																																																																											
		外	配管	-																																																																											
	2F	外	グランド蒸気発生器ドレンクーラ	C																																																																											
		外	補助ボイラー蒸気だめ	C																																																																											
		外	補助ボイラー給水ドレンタンク	C																																																																											
		外	補助ボイラー脱気器	C																																																																											
外	補助ボイラー蒸気ドラム	C																																																																													
外	補助ボイラー建屋給気加熱コイル	C																																																																													
外	配管	-																																																																													
設置場所		管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス																																																																											
建屋	フロア																																																																														
出入管理建屋	-	内・外	配管	-																																																																											
電気建屋	-	外	配管	-																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料3）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>【大阪3/4号炉】1.8.2.1 溢水源及び溢水量の想定（抜粋）p2-9-10</p> <p>(2) 消火水の放水による溢水 消火栓からの放水については、3時間の放水により想定される溢水量若しくは、火災源が小さい場合においては、その可燃性物質の量及び等価火災時間を考慮した消火活動に伴う放水により想定される溢水量を設定する。</p> <p>【島根2号炉】2.3.2 消火水の放水による溢水（抜粋）p9条-9 消火設備等のうち、消火栓からの放水量については、3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さい場合においては、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)の規定による「火災荷重」及び「等価火災時間」を用いて溢水量を設定する。</p> <p>【伊方3号炉】1.7.2 溢水源及び溢水量を設定するための方針（抜粋）p9条-10 また、運転員による中央制御室及び補機制御室からの手動操作により漏えい停止を期待する場合は、漏えい停止までの適切な隔離時間を考慮し、配管の破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。ここで、漏水量は、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて設定する。</p> <p>【大阪3/4号炉】まとめ資料 p2-9-別1-52より抜粋 1.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 蒸気を内包する耐震B、Cクラスの系統は、基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性を確保する。</p>	<p>添付資料3</p> <p>表1 想定する溢水量一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震起因の破損</th> <th>消火水の放水</th> <th>想定破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 複数（系統&箇所）同時破損を考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 手動隔離には期待しない 破損する系統の保有水量を各建屋毎に算定 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価） </td> <td> 火災荷重に係わらず一律3時間の放水を想定 実放水量の確認結果 264.90/min に保守性を考慮 ⇒ 3000/min×60min×3時間=54m³の放水を考慮 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） </td> <td> 機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価） </td> </tr> <tr> <td>被水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	地震起因の破損	消火水の放水	想定破損	複数（系統&箇所）同時破損を考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 手動隔離には期待しない 破損する系統の保有水量を各建屋毎に算定 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価）	火災荷重に係わらず一律3時間の放水を想定 実放水量の確認結果 264.90/min に保守性を考慮 ⇒ 3000/min×60min×3時間=54m ³ の放水を考慮 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価）	被水			被水			蒸気			<p>添付資料3</p> <p>表1 想定する溢水量一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震起因の破損</th> <th>消火水の放水</th> <th>想定破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 複数（系統&箇所）同時破損を考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 手動隔離を考慮（漏えい停止までの流出量を考慮） ⇒ 破損する系統の保有水量を各建屋ごと算定 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） </td> <td> 消火栓からの放水時間を原則3時間と想定 火災源が小さい一帯の区画については日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)（表4-3 火災荷重と等価時間）についてに従い、放水時間を設定 実放水量の確認結果 251.7L/min に保守性を考慮 ⇒ 《屋内消火栓》 ・300L/min×60min×放水時間 ・780L/min×60min×放水時間 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） </td> <td> 機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価） </td> </tr> <tr> <td>被水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	地震起因の破損	消火水の放水	想定破損	複数（系統&箇所）同時破損を考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 手動隔離を考慮（漏えい停止までの流出量を考慮） ⇒ 破損する系統の保有水量を各建屋ごと算定 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	消火栓からの放水時間を原則3時間と想定 火災源が小さい一帯の区画については日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)（表4-3 火災荷重と等価時間）についてに従い、放水時間を設定 実放水量の確認結果 251.7L/min に保守性を考慮 ⇒ 《屋内消火栓》 ・300L/min×60min×放水時間 ・780L/min×60min×放水時間 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価）	被水			被水			蒸気			<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 消火水の放水時間について、女川は一律3時間の放水を想定しているのに対し、泊は3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さいエリアについては可燃物量を考慮し、「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算定している。（先行PWR、島根2号炉と同様）</p> <p>設計方針の相違 泊発電所3号炉では、地震発生後に運転員によるパトロールを実施し、溢水源となりうる機器からの漏えいが確認された場合には手動操作による漏えい停止を実施することから、漏えい検知から隔離操作完了までの時間を保守的に設定し、溢水量を算出している。（伊方3号炉と同様）</p> <p>設計方針の相違 泊では蒸気が発生する高エネルギー配管については、基準地震動に対して、耐震性を確保しているため、地震起因の破損により蒸気は発生しない。（大阪と同様）</p>
地震起因の破損	消火水の放水	想定破損																															
複数（系統&箇所）同時破損を考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 手動隔離には期待しない 破損する系統の保有水量を各建屋毎に算定 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価）	火災荷重に係わらず一律3時間の放水を想定 実放水量の確認結果 264.90/min に保守性を考慮 ⇒ 3000/min×60min×3時間=54m ³ の放水を考慮 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価）																															
被水																																	
被水																																	
蒸気																																	
地震起因の破損	消火水の放水	想定破損																															
複数（系統&箇所）同時破損を考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 手動隔離を考慮（漏えい停止までの流出量を考慮） ⇒ 破損する系統の保有水量を各建屋ごと算定 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	消火栓からの放水時間を原則3時間と想定 火災源が小さい一帯の区画については日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)（表4-3 火災荷重と等価時間）についてに従い、放水時間を設定 実放水量の確認結果 251.7L/min に保守性を考慮 ⇒ 《屋内消火栓》 ・300L/min×60min×放水時間 ・780L/min×60min×放水時間 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価）																															
被水																																	
被水																																	
蒸気																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由														
<p style="text-align: right;">添付資料 1.2-2</p> <p style="text-align: center;">防護対象設備と機能喪失高さ一覧</p> <p>1. はじめに 溢水水位及び機能喪失高さの考え方を示し、全防護対象設備の機能喪失高さ一覧を記載する。</p> <p>2. 溢水水位 影響評価に用いる溢水水位の算定は、溢水経路上の溢水防護区画のすべてに対して行う。 溢水水位：H は、下式に基づき算出する。 $H=Q/A$ Q:溢水量(m3) A:滞留面積(m2) 滞留面積は、コンクリート基礎等の範囲を除く有効面積を滞留面積として評価する。(図1)</p> <p>3. 機能喪失高さ 各機器における機能喪失高さの考え方を表1にまとめるとともに図2にポンプの例を示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 各設備の機能喪失高さの考え方</p> <table border="1" data-bbox="114 1029 685 1422"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ダンパ</td> <td>各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ (操作盤含む)</td> <td>①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は前タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>ファン</td> <td>モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>盤内の最低高さの計器類の下端部</td> </tr> <tr> <td>計器</td> <td>計器本体下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ (操作盤含む)	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は前タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方	ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方	盤	盤内の最低高さの計器類の下端部	計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方	<p style="text-align: right;">添付資料 4</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 4</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載表現の相違 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・女川及び泊は、機能喪失高さの考え方について添付資料5に記載する。
機器	機能喪失高さ																
弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																
ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																
ポンプ (操作盤含む)	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は前タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方																
ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方																
盤	盤内の最低高さの計器類の下端部																
計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図1 機能喪失高さと滞留面積の考え方</p> <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違 女川及び泊は、機能喪失高さの考え方について添付資料5に記載する。</p>

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由	
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（1/9）						表1 防護対象設備一覧（1/27）						表1 防護対象設備一覧（1/35）						【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。	
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床高[m]	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床高[m]	系統	設備	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所		安全機能
補助給水系	3A, 3B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60	補助給水系	3A, 3B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.64	0.64	補助給水系	タービン動補助給水ポンプ (3F-W1)	3B-B-N4	原子炉建屋	0.05	0.67	個別	⑤
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (3V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.74	1.14	補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (3V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.74	1.14	補助給水系	A-電動補助給水ポンプ (3F-W2A)	3B-B-N6	原子炉建屋	0.30	0.66	基本	⑤
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (3TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26	補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (3TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26	補助給水系	B-電動補助給水ポンプ (3F-W2B)	3B-B-N7	原子炉建屋	0.30	0.67	基本	⑤
補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助 給水流量 (3FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.16	1.06	補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助 給水流量 (3FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.16	1.06	補助給水系	A-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582A)	3B-B-N6	原子炉建屋	4.35	4.66	基本	⑤
補助給水系	3復水ピット水位Ⅲ, IV (3LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45	補助給水系	3復水ピット水位Ⅲ, IV (3LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45	補助給水系	B-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582B)	3B-B-N4	原子炉建屋	4.35	4.63	基本	⑤
補助給水系	3復水ピット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	補助給水系	3復水ピット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	補助給水系	C-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582C)	3B-B-N7	原子炉建屋	4.39	4.69	基本	⑤
化学体積制御系	3A, 3B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.64	0.64	化学体積制御系	3A, 3B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.64	0.64	化学体積制御系	タービン動補助給水ポンプ駆動 蒸気入口弁 A (3V-MS-582A)	3B-B-N4	原子炉建屋	4.50	5.05	基本	⑤
化学体積制御系	3C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.31	0.31	化学体積制御系	3C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.31	0.31	化学体積制御系	タービン動補助給水ポンプ駆動 蒸気入口弁 B (3V-MS-582B)	3B-B-N4	原子炉建屋	4.50	5.04	基本	⑤
化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御盤 (3CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00	化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御盤 (3CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00	補助給水系	A-補助給水隔離弁 (3V-FW-589A)	3B-D-N51	原子炉建屋	0.50	0.79	基本	⑤⑥
化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御補助 盤 (3CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80	化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御補助 盤 (3CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80	補助給水系	B-補助給水隔離弁 (3V-FW-589B)	3B-D-N51	原子炉建屋	0.50	0.81	基本	⑤⑥
化学体積制御系	3A, 3B, 3C1, 3C2充てんポンプ 現場操作箱 (3LB-5, 6, 7, 8)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	3A, 3B, 3C1, 3C2充てんポンプ 現場操作箱 (3LB-5, 6, 7, 8)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	補助給水系	C-補助給水隔離弁 (3V-FW-589C)	3B-D-N51	原子炉建屋	0.50	0.81	基本	⑤⑥
化学体積制御系	3充てんポンプ入口燃料取扱 用水ピット側補助弁A, B (3LCV-121D, E)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	3充てんポンプ入口燃料取扱 用水ピット側補助弁A, B (3LCV-121D, E)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	補助給水系	A-補助給水ライン流量 (II) (3FT-3766)	3B-B-N1	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	⑤⑦
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.57	0.57	化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.57	0.57	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②木炭昇降機機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④ピット冷却機能 ⑤放射物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御喪失からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能							
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (3LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (3LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20								
化学体積制御系	3充てんライン止め弁 (3V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03	化学体積制御系	3充てんライン止め弁 (3V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03								
化学体積制御系	3体積制御タンク出口第1止め 弁 (3LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.24	1.14	化学体積制御系	3体積制御タンク出口第1止め 弁 (3LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.24	1.14								
化学体積制御系	3体積制御タンク出口第2止め 弁 (3LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.23	1.13	化学体積制御系	3体積制御タンク出口第2止め 弁 (3LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.23	1.13								
化学体積制御系	3緊急ほう酸注入ライン補助 弁 (3V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.64	4.54	化学体積制御系	3緊急ほう酸注入ライン補助 弁 (3V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.64	4.54								
化学体積制御系	3充てんライン格納容器隔離 弁 (3V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04	化学体積制御系	3充てんライン格納容器隔離 弁 (3V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04								
化学体積制御系	3-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (3V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	20.98	3.88	化学体積制御系	3-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (3V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	20.98	3.88								
化学体積制御系	3封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	化学体積制御系	3封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-								

【島根2号炉】

まとめ資料 p9条-別添1-添付1-8より抜粋

表2-2 溢水防護対象設備リスト (1/11)

系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [m]	機能喪失 高さ [m]	設定 箇所	設置区画
原子炉補機冷却系	W214-12A	A1-DG 冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-02F-04N
原子炉補機冷却系	W214-13A	A2-DG 冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-02F-04N
原子炉補機冷却系	W214-12B	B1-DG 冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-02F-06N
原子炉補機冷却系	W214-13B	B2-DG 冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-02F-06N
原子炉補機冷却系	P214-1A	A-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16204	個別	R-1F-14N
原子炉補機冷却系	P214-1C	C-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16204	個別	R-1F-14N
原子炉補機冷却系	P214-1B	B-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16200	個別	R-1F-15N
原子炉補機冷却系	P214-1D	D-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16200	個別	R-1F-15N
原子炉補機冷却系	W214-7A	A-08R 熱交換冷却水出口弁	原子炉建物	EL 23800	EL 29656	個別	R-2F-09N
原子炉補機冷却系	W214-7B	B-08R 熱交換冷却水出口弁	原子炉建物	EL 23800	EL 28884	個別	R-2F-10N
原子炉補機冷却系	W214-3A	A-0CW 常用補機冷却水出口切替弁	原子炉建物	EL 23800	EL 26800	個別	R-2F-20N
原子炉補機冷却系	W214-3B	B-0CW 常用補機冷却水出口切替弁	原子炉建物	EL 23800	EL 26800	個別	R-2F-20N
原子炉補機冷却系	W214-1A	A-0CW 常用補機冷却水入口切替弁	原子炉建物	EL 8800	EL 11090	個別	R-01F-11N
原子炉補機冷却系	W214-1B	B-0CW 常用補機冷却水入口切替弁	原子炉建物	EL 8800	EL 11090	個別	R-01F-11N
原子炉補機高水	W215-2A	A-0CW 熱交換水出口弁	原子炉建物	EL 15300	EL 16210	個別	R-1F-14N
原子炉補機高水	W215-2B	B-0CW 熱交換水出口弁	原子炉建物	EL 15300	EL 16820	個別	R-1F-15N

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(2/9)					表1 防護対象設備一覧 (2/27)					表1 防護対象設備一覧 (2/35)					【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違				
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	設置建屋	E.L. ^① [m]	機能 ^②	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^③ [m]	個別測定高さ ^④ [m]	設定箇所	安全機能	・ 泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・ 設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違
化学体積制御系	3A, 3B封水注入フィルタ	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	反応炉心スプレッド	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796A)	原子炉建屋	9.610	③	補助給水系	B-補助給水ライン流量 (III) (3FT-3776)	3B-D-N1	原子炉建屋	1.03	1.00	個別	③⑦	設計方針の相違 ・ 泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・ 設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。
化学体積制御系	3封水ストレーナ	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	反応炉心スプレッド	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796B)	原子炉建屋	9.610	③⑤	補助給水系	C-補助給水ライン流量 (IV) (3FT-3786)	3B-D-N1	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	③⑦	
化学体積制御系	3体積制御タンク	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796C)	原子炉建屋	9.610	③⑤	補助給水系	補助給水ピット水位 (I) (3LT-3750)	3B-D-N3	原子炉建屋	1.03	1.00	個別	③⑦	
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸タンク水位 (3LT-206, 208)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.21	1.11	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796D)	原子炉建屋	9.610	③	補助給水系	補助給水ピット水位 (II) (3LT-3751)	3B-D-N3	原子炉建屋	1.03	1.00	個別	③⑦	
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸タンク	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796E)	原子炉建屋	9.610	③	関連設備	タービン動機補助給水ポンプ 起動盤トレンA (3TDA)	3B-D-N1	原子炉建屋	0.37	0.47	基本	③⑤	
化学体積制御系	3ほう酸フィルタ	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796F)	原子炉建屋	9.610	③	関連設備	タービン動機補助給水ポンプ 起動盤トレンB (3TDB)	3B-D-N1	原子炉建屋	0.37	0.46	基本	③⑤	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.31	0.81	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796G)	原子炉建屋	9.610	③⑤	関連設備	補助給水ポンプ出口流量 調節弁盤トレンA (3AFPA)	3B-D-N1	原子炉建屋	0.43	0.53	基本	③⑤	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ現場操作箱 (3IB-14, 15)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796H)	原子炉建屋	9.610	③	関連設備	補助給水ポンプ出口流量 調節弁盤トレンB (3AFPB)	3B-D-N1	原子炉建屋	0.43	0.52	基本	③⑤	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ出口流量 (3PT-601, 611)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.60	1.10	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796I)	原子炉建屋	9.610	③	化学体積制御系	A-充てんポンプ (3CSP1A)	3AB-H-8	原子炉補助 建屋	0.63	0.68	個別	②	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプミニマム フローライン止め弁 (3FCV-601, 611)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.96	0.86	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796J)	原子炉建屋	9.610	③⑤	化学体積制御系	B-充てんポンプ (3CSP1B)	3AB-H-6	原子炉補助 建屋	0.63	0.68	個別	②	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796K)	原子炉建屋	9.610	③⑤	化学体積制御系	C-充てんポンプ (3CSP1C)	3AB-H-4	原子炉補助 建屋	0.63	0.68	個別	②	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.54	0.44	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796L)	原子炉建屋	9.610	③⑤	化学体積制御系	体積制御タンク出口第1止め弁 (3LCV-121B)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.68	1.03	基本	②	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気圧縮機	原子炉 周辺建屋	17.1	17.70	0.60	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796M)	原子炉建屋	9.610	③⑤	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能								
制御用空気系	3A, 3B制御用空気乾燥器 (3IAHA, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796N)	原子炉建屋	9.610	③⑤									
制御用空気系	3A, 3B制御用空気ため (3IATA, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796O)	原子炉建屋	9.610	③									
制御用空気系	3A-C, 3B-C制御用空気母管連絡弁 (3V-1A-501A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.80	0.70	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796P)	原子炉建屋	9.610	③									
制御用空気系	3A, 3B制御用空気主蒸気逃がし弁等 供給ライン止め弁 (3V-1A-505A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.77	0.67	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796Q)	原子炉建屋	9.610	③									
制御用空気系	3A, 3B 制御用空気格納容器隔離弁 (3V-1A-508A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.99	0.89	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796R)	原子炉建屋	9.610	③									
制御用空気系	3A, 3B制御用空気供給母管圧力 (3PT-1800, 1810)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.05	0.95	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796S)	原子炉建屋	9.610	③									
原子炉補機冷却系	3A, 3B余熱除去冷却器冷却水止め弁 (3V-CC-114A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.72	1.72	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796T)	原子炉建屋	9.610	③									
原子炉補機冷却系	3原子炉補機冷却水サージ タンク水位III, IV (3LT-1200, 1201)	原子炉 周辺建屋	39.0	40.09	1.09	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796U)	原子炉建屋	9.610	③									
原子炉補機冷却系	3原子炉補機冷却水サージ タンク	原子炉 周辺建屋	42.0	-	-	原子炉隔離時の処理	3AFCポンプ出口流量制御装置 (3A-4796V)	原子炉建屋	9.610	③									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(3/9)					表1 防護対象設備一覧 (3/27)					表1 防護対象設備一覧 (3/35)					<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・浴では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである</p> <p>「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>				
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能	
原子炉補助冷却系	3A, 3B原子炉補助冷却水冷却器	制御建屋	7.0	-	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-001	原子炉補助冷却系	1.375 ^{※1}	④	化学体積制御系	体積制御タンク出口第2止め弁 (3LCV-121C)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.67	1.02	基本	②	
原子炉補助冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補助冷却水ポンプ	制御建屋	7.0	9.10	2.10	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-002	原子炉補助冷却系	1.345 ^{※1}	④	化学体積制御系	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁A (3LCV-121D)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.56	0.91	基本	②
原子炉補助冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補助冷却水ポンプ現場操作箱 (3LB-20, 21, 22, 23)	制御建屋	7.0	9.90	2.90	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-003	原子炉補助冷却系	1.375 ^{※1}	④	化学体積制御系	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁B (3LCV-121E)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.56	0.91	基本	②
原子炉補助冷却系	3A・C, 3B・C原子炉補助冷却水戻り母管連絡弁 (3V-CC-043A, B)	制御建屋	7.0	9.29	2.29	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-004	原子炉補助冷却系	0.595	④	化学体積制御系	充てんラインC/A外側止め弁 (3V-CS-175)	3RB-E-2	原子炉建屋	0.60	0.97	基本	②
原子炉補助冷却系	3A・C, 3B・C原子炉補助冷却水供給母管連絡弁 (3V-CC-056A, B)	制御建屋	7.0	9.28	2.28	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-005	原子炉補助冷却系	0.595	④	化学体積制御系	充てんラインC/A外側隔離弁 (3V-CS-177)	3RB-E-2	原子炉建屋	0.60	0.97	基本	②⑤
原子炉補助冷却系	34廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁 (3号機側) (34V-CC-600, 601)	原子炉周辺建屋	17.1	18.09	0.99	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-006	原子炉補助冷却系	0.405	②⑤	化学体積制御系	A-ほう酸ポンプ (3CSP2A)	3AB-F-21	原子炉補助建屋	0.43	0.59	基本	②
原子炉補助冷却系	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁 (3V-CC-178A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.89	1.89	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-007	原子炉補助冷却系	0.405	②⑤	化学体積制御系	B-ほう酸ポンプ (3CSP2B)	3AB-F-20	原子炉補助建屋	0.43	0.59	基本	②
原子炉補助冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁 (3V-CC-403)	原子炉周辺建屋	17.1	22.41	5.31	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-008	原子炉補助冷却系	1.145	②⑤	化学体積制御系	緊急ほう酸注入弁 (3V-CS-541)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.50	0.75	基本	②
原子炉補助冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁 (3V-CC-429)	原子炉周辺建屋	17.1	22.42	5.32	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-009	原子炉補助冷却系	1.145	②⑤	化学体積制御系	A-ほう酸タンク水位 (I) (3LT-206)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	1.03	1.00	個別	②⑦
原子炉補助冷却系	3-CRM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁 (3V-CC-342)	原子炉周辺建屋	17.1	22.12	5.02	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-010	原子炉補助冷却系	0.925	④	化学体積制御系	B-ほう酸タンク水位 (II) (3LT-208)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	1.03	0.99	個別	②⑦
原子炉補助冷却系	3 CRM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁 (3V-CC-365)	原子炉周辺建屋	17.1	22.13	5.03	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-011	原子炉補助冷却系	0.925	④	化学体積制御系	1次冷却材ポンプ排水戻りラインC/A外側隔離弁 (3V-CS-255)	3RB-E-2	原子炉建屋	0.86	0.89	基本	⑤
原子炉補助冷却系	3A・D, 3B・C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁 (3V-CC-189A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	21.22	4.12	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-012	原子炉補助冷却系	0.900	④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプ (3RSP1A)	3AB-L-6	原子炉補助建屋	0.75	0.83	基本	③④
原子炉補助冷却系	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁 (3V-CC-198A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	17.1	21.12	4.02	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-013	原子炉補助冷却系	0.900	④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②非臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
原子炉補助冷却系	3A, 3B原子炉補助冷却水冷却器海水止め弁 (3V-SW-570A, B)	制御建屋	7.0	9.70	2.70	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-014	原子炉補助冷却系	0.415	⑤								
原子炉補助冷却系	3海水ポンプ出口3A, 3B, 3C, 3D海水ストレーナ (3S-SW-01A, B, C, D)	海水ポンプエリア	1.0	-	-	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-015	原子炉補助冷却系	0.665	⑥⑦								
原子炉補助冷却系	3A, 3B, 3C海水ポンプ	海水ポンプエリア	2.5	4.65	2.15	原子炉補助冷却系	原子炉格納容器内設置設備	3-016	原子炉補助冷却系	0.895	③④⑤⑥								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由		
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(4/9)						表1 防護対象設備一覧 (4/27)						表1 防護対象設備一覧 (4/35)						<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>		
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	設備番号	設置階層	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置階層	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]		設定箇所	安全機能
原子炉補機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (31B-26, 27, 28, 29)	海水ポンプエリア	2.5	6.50	4.00	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) バイパス弁 (E11-1900B)	B-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.400	④⑤⑥⑦	余熱除去系	B-余熱除去ポンプ (3B2MP1B)	3AB-L-5	原子炉補助建屋	0.75	0.83	基本	④④	
電気盤	3主盤 (原子炉盤) (3MCB)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) 出口弁 (E11-1900B)	B-12-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.360	④⑤⑥⑦	余熱除去系	A-余熱除去ポンプミニフロー弁 (3FCV-601)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	2.95	3.25	基本	④④	
電気盤	3原子炉補助盤 (3RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) スーパー加熱調整弁 (E11-1906B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	4.190	④⑤⑥⑦	余熱除去系	B-余熱除去ポンプミニフロー弁 (3FCV-611)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	2.95	3.23	基本	④④	
電気盤	3原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (3RPR-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) スーパー加熱調整弁 (E11-1910B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	4.190	④⑤⑥⑦	余熱除去系	A-余熱除去ポンプ出口流量 (I) (3FT-601)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	1.03	1.01	個別	④④	
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤 (3RPI-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.95	0.15	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) 停止弁 (E11-1911B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	10.117	④⑤⑥⑦	余熱除去系	B-余熱除去ポンプ出口流量 (II) (3FT-611)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	1.03	1.00	個別	④④	
電気盤	3安全保護シーケンス盤 (3SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	22.00	0.20	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) 停止弁 (E11-1912B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	9.860	④⑤⑥⑦	余熱除去系	A-余熱除去ポンプRWSF側入口弁 (3V-RH-051A)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	1.03	1.00	個別	④④	
電気盤	3所内盤 (3HSB)	制御建屋	21.8	21.90	0.10	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) ミニマムフロー弁 (E11-1916B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	11.203	④⑤⑥⑦	余熱除去系	B-余熱除去ポンプRWSF側入口弁 (3V-RH-051B)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	0.70	1.75	個別	④	
電気盤	事故時放射線監視盤 3RMS (3PRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.87	0.07	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) ミニマムフロー弁 (E11-1920B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	9.373	④⑤⑥⑦	余熱除去系	A-余熱除去ポンプRWSF側入口弁 (3V-RH-051B)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	0.70	1.78	個別	④	
電気盤	3原子炉トリップ遮断器盤 (3RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.14	0.04	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) 出口流量監視器 (E11-1924B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	1.160	④⑤⑥⑦	余熱除去系	B-余熱除去ポンプRWSF側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	0.70	1.77	個別	④	
電気盤	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4 ソレノイド分電盤 (3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) 出口流量監視器 (E11-1926B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	9.610	④⑤	余熱除去系	B-余熱除去ポンプRWSF側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	0.70	1.78	個別	④	
電気盤	3A, 3Bドロップ弁盤 (3BCP-A-DRP, 3BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) 出口流量監視器 (E11-1928B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	6.890 ^{※3}	④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプ再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-058A)	3EB-J-2	原子炉建屋	2.90	4.08	基本	④⑤	
電気盤	3A, 3B直流発電機 (3DMP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) 出口流量監視器 (E11-1930B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	6.850	④⑤	余熱除去系	B-余熱除去ポンプ再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-058B)	3EB-J-1	原子炉建屋	2.90	3.85	個別	④⑤	
電気盤	3A, 3B直流分電盤 (3DDP-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) 出口流量監視器 (E11-1934B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	6.530	④⑤	制御用空気系	A-制御用空気圧縮機 (3IAE1A)	3BD-H-20	原子炉建屋	0.40	0.44	基本	⑥	
電気盤	3A, 3B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) ミニマムフロー弁 (E11-1936B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	6.373	④⑤									
電気盤	3A, 3B充電器盤 (3BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) 出口流量監視器 (E11-1940B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	6.930 ^{※3}	④									
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルクラッドスイッチギア (3MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) 出口流量監視器 (E11-1944B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	1.900 ^{※3}	④⑤									
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ (3PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) 出口流量監視器 (E11-1948B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	1.060	④⑤									
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントローラセンタ (3RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) 出口流量監視器 (E11-1952B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	9.870	④⑤									
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用電測盤 (1) ~ (3) (31BC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) 出口流量監視器 (E11-1956B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟	2.370	④⑤									
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤 (31PD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	原子炉補機冷却系	3B2熱交換器 (B) 出口流量監視器 (E11-1960B)	B-12-10	原子炉建屋 原子炉棟											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由		
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（5 / 9）						表1 防護対象設備一覧（5/27）						表1 防護対象設備一覧（5/35）						【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違		
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^① [m]	機能 ^②	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^③ [m]	個別測定高さ ^④ [m]	設定箇所	安全機能	・ 泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6、7号炉と同様） ・ 設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電源切替盤 (3ISP-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	16.13	0.33	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス (322-9000)	3-801-F	原子炉建屋	9.545	①④	制御用空気系	B-制御用空気圧縮機 (31AE1B)	32B-H-33	原子炉建屋	0.40	0.45	基本	⑤	
電気盤	3AC, 3BD計装用後備分電盤 (31BD-AC, BD)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス (322-9000)	3-802-F	原子炉建屋	9.575	①④	制御用空気系	A-制御用空気Cヘッダ供給弁 (3V-1A-501A)	32B-H-32	原子炉建屋	0.50	0.80	基本	⑤	
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機コントロールセンタ (3GCC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.24	0.24	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス (322-9010)	3-803-1B	原子炉建屋	9.633	①④	制御用空気系	B-制御用空気Cヘッダ供給弁 (3V-1A-501B)	32B-H-32	原子炉建屋	0.50	0.80	基本	⑤	
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル機関	原子炉周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.91	0.41	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス (322-9010)	3-803-1B	原子炉建屋	9.633	①④	制御用空気系	A-制御用空気主蒸気逃がし弁供給弁 (3V-1A-505A)	32B-H-33	原子炉建屋	0.50	0.77	基本	⑤	
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機	原子炉周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.84	0.34	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス (322-9010)	3-803-1B	原子炉建屋	9.633	①④	制御用空気系	A-制御用空気ヘッダ圧力 (III) (3PT-1800)	32B-F-2	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	⑤	
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機制御盤 (3DGC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.10	0.10	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス (322-9700A)	3-822-F	原子炉建屋	1.175	①④	制御用空気系	B-制御用空気ヘッダ圧力 (IV) (3PT-1810)	32B-F-2	原子炉建屋	1.03	1.01	個別	⑤	
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイス冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	高圧炉心スプレイス	格納容器スプレイス冷却器 (322-4301A)	CS-4	基本設置高さ	1.015	①④	関連設備	A-制御用空気圧縮機 (31APA)	32B-H-32	原子炉建屋	0.30	0.30	基本	⑤	
格納容器スプレイス	3よう素除去薬品タンク	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	高圧炉心スプレイス	格納容器スプレイス冷却器 (322-4301B)	CS-4	基本設置高さ	1.015	①④	関連設備	B-制御用空気圧縮機容量調節盤 (31APB)	32B-H-32	原子炉建屋	0.80	0.79	個別	⑤	
格納容器スプレイス	3格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV (3PT-950, 951, 952, 953)	原子炉周辺建屋	17.1	22.08	4.98	高圧炉心スプレイス	サブセッションプール本設取付設備 (322-4304B)	3-823-F	原子炉建屋	0.600	①④	関連設備	A-制御用空気圧縮機容量調節盤 (31APB)	32B-H-32	原子炉建屋	0.80	0.80	基本	⑤	
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.31	0.81	高圧炉心スプレイス	サブセッションプール本設取付設備 (322-4304B)	3-823-F	原子炉建屋	0.600	①④	制御用空気系	A-制御用空気C/V外側隔離弁 (3V-1A-510A)	32B-F-2	原子炉建屋	0.75	0.75	基本	⑤⑥	
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスポンプ現場操作箱 (3LB-18, 19)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	高圧炉心スプレイス	サブセッションプール本設取付設備 (322-4304B)	3-823-F	原子炉建屋	0.600	①④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急停止機能 ③未臨界維持機能 ④原子炉停止後の除熱機能 ⑤炉心冷却機能 ⑥放射性物質の閉じ込め機能 ⑦安全上特に重要な関連機能 ⑧事故時のプラント状態の把握機能 ⑨制御室外からの安全停止機能 ⑩ビット冷却機能 ⑪ビット給水機能								
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスポンプ燃料取替用水ビット側入口止め弁 (3V-CP-001A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.95	1.95	15号取水注入系	15号取水注入系ポンプ (3) (324-5000A)	3-20-3-A	原子炉建屋	9.125	⑤									
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスポンプ再循環サブ側入口格納容器隔離弁 (3V-CP-003A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	12.08	2.08	15号取水注入系	15号取水注入系ポンプ (4) (324-5000B)	3-20-3-B	原子炉建屋	9.125	⑤									
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスヘッダ冷却器出口格納容器隔離弁 (3V-CP-024A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.97	1.87	15号取水注入系	15号取水注入系ポンプ (5) (324-5000C)	3-20-3-C	原子炉建屋	9.635	⑤									
格納容器スプレイス	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.65	0.55	15号取水注入系	15号取水注入系ポンプ (6) (324-5000D)	3-20-3-D	原子炉建屋	9.640	⑤									
格納容器スプレイス	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-050A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.65	0.55	15号取水注入系	15号取水注入系ポンプ (7) (324-5000E)	3-20-3-E	原子炉建屋	9.440	⑤									
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.00	0.50	15号取水注入系	15号取水注入系ポンプ (8) (324-5000F)	3-20-3-F	原子炉建屋	9.125	⑤									
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱 (3LB-12, 13)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	15号取水注入系	15号取水注入系ポンプ (9) (324-5000G)	3-20-3-G	原子炉建屋	9.125	⑤									
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁 (3V-SI-002A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.93	1.93	15号取水注入系	15号取水注入系ポンプ (10) (324-5000H)	3-20-3-H	原子炉建屋	9.125	⑤									
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁 (3V-SI-015A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	15号取水注入系	15号取水注入系ポンプ (11) (324-5000I)	3-20-3-I	原子炉建屋	1.000	⑤									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由					
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(6/9)				表1 防護対象設備一覧 (6/27)				表1 防護対象設備一覧 (6/35)				【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違					
系統	設備	設置建屋	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. + [m] 床上 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	
安全注入系	3A, 3B高压注入ポンプミニマムフローライン第2止弁 (3V-SI-016A, B)	原子炉周辺建屋	6.6 7.38 0.78	ほう動水注入	ほう動水注入系(0)標準準備弁 (3D-7000)	3-2F-0-1	原子炉建屋	1.065	⑤	制御用空気系	B-制御用空気C/V外側隔離弁 (3V-IA-510B)	3B-F-2	原子炉建屋	0.75	6.75	基本	⑤⑥
安全注入系	3A, 3B高压注入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (3V-SI-093A, B)	原子炉周辺建屋	10.0 11.82 1.82	原子炉格納容器隔離弁	右側ドレンライン第二隔離弁 (3D-7100)	3-41F-0-1	原子炉建屋	9.570	⑤	原子炉補機冷却水系	A-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIA)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	⑤
安全注入系	3A, 3B余熱除去ポンプRWSピット及び再循環サンプ側入口弁 (3V-SI-096A, B)	原子炉周辺建屋	10.0 11.93 1.93	原子炉格納容器隔離弁	33Kドレンライン第二隔離弁 (3D-7100)	3-41F-0-1	原子炉建屋	11.216	⑤	原子炉補機冷却水系	B-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIB)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	⑤
安全注入系	3A高压注入流量(I), 3B高压注入流量(II) (3PT-962, 963)	原子炉周辺建屋	10.0 11.10 1.10	原子炉格納容器隔離弁	33Kドレンライン第二隔離弁 (3D-7100)	3-41F-0-1	原子炉建屋	9.903	⑤	原子炉補機冷却水系	C-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIC)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.80	2.88	基本	⑤
安全注入系	3燃料取替用水ピット水位 I, II, III, IV (3LT-1400, 1401, 1402, 1403)	原子炉周辺建屋	17.1 18.18 1.08	原子炉格納容器隔離弁	33Kドレンライン第二隔離弁 (3D-7100)	3-41F-0-1	原子炉建屋	9.445	⑤	原子炉補機冷却水系	D-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPID)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	⑤
安全注入系、燃料取替用水系	3燃料取替用水ピット	原子炉周辺建屋	18.5 - -	排気ガス処理系	排気ガス処理系(燃料供給機) (3B-3000A)	3-2F-0-1	原子炉建屋	9.904	⑤	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水戻り母管A側連絡弁 (3V-CC-044A)	3B-K-N4	原子炉建屋	1.30	2.65	基本	⑤
燃料取替用水系	3A, 3B燃料取替用水ポンプ	原子炉周辺建屋	17.1 17.57 0.47	排気ガス処理系	排気ガス処理系(燃料供給機) (3B-3000B)	3-2F-0-1	原子炉建屋	9.400	⑤	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水戻り母管B側連絡弁 (3V-CC-044B)	3B-K-N1	原子炉建屋	1.30	2.66	基本	⑤
燃料取替用水系	3A, 3B燃料取替用水ポンプ現場操作箱 (3LB-33, 34)	原子炉周辺建屋	17.1 18.30 1.20	排気ガス処理系	排気ガス処理系(燃料供給機) (3B-3000C)	3-2F-0-1	原子炉建屋	9.145	⑤	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管A側連絡弁 (3V-CC-055A)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.65	3.99	基本	⑤
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B使用済燃料ピット冷却器	原子炉周辺建屋	10.0 - -	排気ガス処理系	排気ガス処理系(燃料供給機) (3B-3000D)	3-2F-0-1	原子炉建屋	9.135	⑤	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管B側連絡弁 (3V-CC-055B)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.65	4.00	基本	⑤
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B使用済燃料ピット	原子炉周辺建屋	33.6 - -	排気ガス処理系	排気ガス処理系(燃料供給機) (3B-3000E)	3-2F-0-1	原子炉建屋	1.230	⑤	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管C側連絡弁 (3V-CC-055C)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.65	4.00	基本	⑤
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B使用済燃料ピットポンプ	原子炉周辺建屋	10.0 10.71 0.71	排気ガス処理系	排気ガス処理系(燃料供給機) (3B-3000F)	3-2F-0-1	原子炉建屋	1.230	⑤	原子炉補機冷却水系							
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B使用済燃料ピットポンプ現場操作箱 (3LB-24, 25)	原子炉周辺建屋	10.0 11.20 1.20	排気ガス処理系	排気ガス処理系(燃料供給機) (3B-3000G)	3-2F-0-1	原子炉建屋	2.430	⑤	原子炉補機冷却水系							
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気透かし弁 (3PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉周辺建屋	26.0 37.37 11.37	排気ガス処理系	排気ガス処理系(燃料供給機) (3B-3000H)	3-2F-0-1	原子炉建屋	1.445	⑤								
主蒸気系	I, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D主蒸気圧力 (3PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉周辺建屋	29.0 30.00 1.00	排気ガス処理系	排気ガス処理系(燃料供給機) (3B-3000I)	3-2F-0-1	原子炉建屋	1.445	⑤								
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	33.6 36.78 3.18	排気ガス処理系	排気ガス処理系(燃料供給機) (3B-3000J)	3-2F-0-1	原子炉建屋	1.495	⑤								
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D付属バルブ)	原子炉周辺建屋	29.0 29.52 0.52	排気ガス処理系	排気ガス処理系(燃料供給機) (3B-3000K)	3-2F-0-1	原子炉建屋	1.475	⑤								
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷凍機	制御建屋	10.0 10.59 0.59	排気ガス処理系	3425ドレン回収装置 (3B-4700A)	3-2F-0-1	原子炉建屋	1.245	⑤								
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0 10.54 0.54	排気ガス処理系	3425ドレン回収装置 (3B-4700B)	3-2F-0-1	原子炉建屋	1.250	⑤								
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ現場操作箱 (3LB-102, 104, 105, 106)	制御建屋	10.0 11.20 1.20														

【大飯】
 記載方針の相違
 女川審査実績の反映
 【女川・大飯】
 記載方針の相違
 設計方針の相違
 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである
 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。
 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）
 ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違
 【女川】
 設計方針の相違
 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。

※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ
 ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ
 ①緊急時停止機能
 ②未臨界維持機能
 ③原子炉停止後の除熱機能
 ④炉心冷却機能
 ⑤放射性物質の閉じ込め機能
 ⑥安全上特に重要な関連機能
 ⑦事故時のプラント状態の把握機能
 ⑧制御室からの安全停止機能
 ⑨ピット冷却機能
 ⑩ピット給水機能

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由																																																																																																																																																																																															
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(7/9)						表1 防護対象設備一覧 (7/27)						表1 防護対象設備一覧 (7/35)						<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>																																																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ E.L. + [m]</th> <th>機能喪失高さ[※] E.L. + [m]</th> <th>床上[m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷水系</td> <td>3空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (3V-CH-032, 033)</td> <td>制御建屋</td> <td>10.0</td> <td>11.21</td> <td>1.21</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2878, 2879)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.32</td> <td>1.22</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>34C, 34D安全補機開閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2809, 2801)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.58</td> <td>1.48</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3換気空調機 (3VB)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.97</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ファン</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.35</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱 (3LB-101, 102)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.30</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ (3D-VS-603A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>30.03</td> <td>3.93</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量 (3FS-2910, 2911)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.42</td> <td>1.32</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3中央制御室温度 (1), (2) (3TS-2908, 2909)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>23.21</td> <td>1.41</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環ファン</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>26.34</td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱 (3LB-95, 96)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.30</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.53</td> <td>1.43</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環流量調節ダンパ (3HCD-2885, 2886)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.52</td> <td>1.42</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環ダンパ流量設定 (3HC-2885, 2886)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.85</td> <td>1.75</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>34A, 34B安全補機開閉器室空調ファン</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.88</td> <td>1.78</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.88</td> <td>1.78</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>34A, 34B, 34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン現場操作箱 (34LE-13, 14, 20, 21)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.33</td> <td>1.23</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3安全系電気盤室給気止めダンパA, B (3D-VS-532, 533)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>29.36</td> <td>3.26</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3安全系電気盤室排気止めダンパA (3D-VS-536)</td> <td>制御建屋</td> <td>28.7</td> <td>30.96</td> <td>2.26</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3安全系電気盤室排気止めダンパB (3D-VS-537)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>29.50</td> <td>3.40</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B安全補機開閉器室温度 (3TS-2817, 2818)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>17.20</td> <td>1.40</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン</td> <td>原子炉周辺の建屋</td> <td>17.1</td> <td>17.40</td> <td>0.30</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	冷水系	3空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (3V-CH-032, 033)	制御建屋	10.0	11.21	1.21	冷水系	3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2878, 2879)	制御建屋	26.1	27.32		1.22	冷水系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2809, 2801)	制御建屋	26.1	27.58	1.48	換気空調系	3換気空調機 (3VB)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン	制御建屋	26.1	27.35	1.25	換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱 (3LB-101, 102)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ (3D-VS-603A, B)	制御建屋	26.1	30.03	3.93	換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量 (3FS-2910, 2911)	制御建屋	26.1	27.42	1.32	換気空調系	3中央制御室温度 (1), (2) (3TS-2908, 2909)	制御建屋	21.8	23.21	1.41	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン	制御建屋	26.1	26.34	0.24	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱 (3LB-95, 96)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A, B)	制御建屋	26.1	27.53	1.43	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環流量調節ダンパ (3HCD-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.52	1.42	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ダンパ流量設定 (3HC-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.85	1.75	換気空調系	34A, 34B安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	換気空調系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	換気空調系	34A, 34B, 34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン現場操作箱 (34LE-13, 14, 20, 21)	制御建屋	26.1	27.33	1.23	換気空調系	3安全系電気盤室給気止めダンパA, B (3D-VS-532, 533)	制御建屋	26.1	29.36	3.26	換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパA (3D-VS-536)	制御建屋	28.7	30.96	2.26	換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパB (3D-VS-537)	制御建屋	26.1	29.50	3.40	換気空調系	3A, 3B安全補機開閉器室温度 (3TS-2817, 2818)	制御建屋	15.8	17.20	1.40	換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	原子炉周辺の建屋	17.1	17.40	0.30	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>A-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117A)</td> <td>3AB-K-1</td> <td>0.60</td> <td>1.28</td> <td>基本</td> <td>④④</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>B-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117B)</td> <td>3AB-K-4</td> <td>0.60</td> <td>1.29</td> <td>基本</td> <td>④④</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>A-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177A)</td> <td>3AB-K-4</td> <td>0.60</td> <td>1.27</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177B)</td> <td>3AB-K-4</td> <td>0.60</td> <td>1.30</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151A)</td> <td>3BB-H-1</td> <td>0.55</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151B)</td> <td>3BB-H-4</td> <td>0.55</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159A)</td> <td>3BB-H-4</td> <td>0.55</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159B)</td> <td>3BB-H-4</td> <td>0.55</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>BA, WD及びLDコバが補機冷却水戻りライン第1止め弁 (3V-CC-351)</td> <td>3AB-F-1</td> <td>0.02</td> <td>1.02</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②緊急時降圧機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能</p> <p>⑥安全上特に重要な閉鎖機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	原子炉補機冷却水系	A-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117A)	3AB-K-1	0.60	1.28	基本	④④	原子炉補機冷却水系	B-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117B)	3AB-K-4	0.60	1.29	基本	④④	原子炉補機冷却水系	A-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177A)	3AB-K-4	0.60	1.27	基本	⑤	原子炉補機冷却水系	B-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177B)	3AB-K-4	0.60	1.30	基本	⑤	原子炉補機冷却水系	A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151A)	3BB-H-1	0.55	1.10	基本	⑥	原子炉補機冷却水系	B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151B)	3BB-H-4	0.55	1.10	基本	⑥	原子炉補機冷却水系	A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159A)	3BB-H-4	0.55	1.10	基本	⑥	原子炉補機冷却水系	B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159B)	3BB-H-4	0.55	1.10	基本	⑥	原子炉補機冷却水系	BA, WD及びLDコバが補機冷却水戻りライン第1止め弁 (3V-CC-351)	3AB-F-1	0.02	1.02	基本
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]																																																																																																																																																																																																												
冷水系	3空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (3V-CH-032, 033)	制御建屋	10.0	11.21	1.21																																																																																																																																																																																																												
冷水系	3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2878, 2879)	制御建屋	26.1	27.32	1.22																																																																																																																																																																																																												
冷水系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2809, 2801)	制御建屋	26.1	27.58	1.48																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3換気空調機 (3VB)	制御建屋	21.8	21.97	0.17																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン	制御建屋	26.1	27.35	1.25																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱 (3LB-101, 102)	制御建屋	26.1	27.30	1.20																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ (3D-VS-603A, B)	制御建屋	26.1	30.03	3.93																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量 (3FS-2910, 2911)	制御建屋	26.1	27.42	1.32																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3中央制御室温度 (1), (2) (3TS-2908, 2909)	制御建屋	21.8	23.21	1.41																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン	制御建屋	26.1	26.34	0.24																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱 (3LB-95, 96)	制御建屋	26.1	27.30	1.20																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A, B)	制御建屋	26.1	27.53	1.43																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環流量調節ダンパ (3HCD-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.52	1.42																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ダンパ流量設定 (3HC-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.85	1.75																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	34A, 34B安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	34A, 34B, 34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン現場操作箱 (34LE-13, 14, 20, 21)	制御建屋	26.1	27.33	1.23																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3安全系電気盤室給気止めダンパA, B (3D-VS-532, 533)	制御建屋	26.1	29.36	3.26																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパA (3D-VS-536)	制御建屋	28.7	30.96	2.26																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパB (3D-VS-537)	制御建屋	26.1	29.50	3.40																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3A, 3B安全補機開閉器室温度 (3TS-2817, 2818)	制御建屋	15.8	17.20	1.40																																																																																																																																																																																																												
換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	原子炉周辺の建屋	17.1	17.40	0.30																																																																																																																																																																																																												
系統	設備	区画番号	設置高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	A-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117A)	3AB-K-1	0.60	1.28	基本	④④																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	B-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117B)	3AB-K-4	0.60	1.29	基本	④④																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	A-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177A)	3AB-K-4	0.60	1.27	基本	⑤																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	B-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177B)	3AB-K-4	0.60	1.30	基本	⑤																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151A)	3BB-H-1	0.55	1.10	基本	⑥																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151B)	3BB-H-4	0.55	1.10	基本	⑥																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159A)	3BB-H-4	0.55	1.10	基本	⑥																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159B)	3BB-H-4	0.55	1.10	基本	⑥																																																																																																																																																																																																											
原子炉補機冷却水系	BA, WD及びLDコバが補機冷却水戻りライン第1止め弁 (3V-CC-351)	3AB-F-1	0.02	1.02	基本	⑥																																																																																																																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由		
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（8/9）						表1 防護対象設備一覧（8/27）						表1 防護対象設備一覧（8/35）						【大阪】 記載方針の相違 【女川・大阪】 記載方針の相違		
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上 [m]	系統	設備	区分番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区分番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能	【大阪】 記載方針の相違 【女川・大阪】 記載方針の相違 設計方針の相違
換気空調系	3A, 3B副用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱 (3LB-90, 91)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVプロセッサ (A) 入口流量監視装置 (13A-470040)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	BA, WD及びD.E.エベロ補機冷却水 戻りライン第2止め弁 (3V-CC-352)	3AB-F-1	原子炉補助 建屋	0.62	1.01	基本	⑥	・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違
換気空調系	3副用空気圧縮機室排気ダンパA, B (3D-VS-431A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	21.65	4.55	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVプロセッサ (A) 入口流量監視装置 (13A-470040)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (III) (3LT-1200)	3EB-A-N2	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	⑥	【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。
換気空調系	3副用空気圧縮機室温度 (1), (2), (3), (4) (3TS-2771, 2772, 2773, 2774)	原子炉周辺建屋	17.1	18.50	1.40	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-A-N2	原子炉建屋	1.03	1.00	個別	⑥	
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.43	0.33	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-A-N2	原子炉建屋	1.03	1.00	個別	⑥	
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン現場操作箱 (3LB-86, 87)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	A, B-C/V再循環ユニット補機 冷却水入口C/V外側隔離弁 (3V-CC-203A)	3EB-D-2	原子炉建屋	1.00	1.18	基本	⑤	
換気空調系	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B (3D-VS-411A, B)	原子炉周辺建屋	21.3	23.30	2.00	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	C, D-C/V再循環ユニット補機 冷却水入口C/V外側隔離弁 (3V-CC-203B)	3EB-D-3	原子炉建屋	1.20	1.39	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室温度 (1), (2) (3TS-2741, 2742, 2743, 2744)	原子炉周辺建屋	10.0	11.40	1.40	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤	
換気空調系	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼルの発電機室給気ファン	原子炉周辺建屋	33.6	33.91	0.31	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-2	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤	
換気空調系	3A1-A2, 3B1-B2ディーゼルの発電機室給気ファン現場操作箱 (3LB-84, 85)	原子炉周辺建屋	33.6	34.82	1.22	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-2	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤	
換気空調系	3ディーゼルの発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2 (3D-VS-401A, B, 403A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	13.59	3.59	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-2	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3Bディーゼルの発電機室温度 (1), (2), (3), (4) (3TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714)	原子炉周辺建屋	10.0	11.18	1.18	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3B安全補機室冷却ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.93	0.83	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3B安全補機室冷却ファン現場操作箱 (3LB-82, 83)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3B安全補機室温度 (1), (2) (3TS-2680, 2681, 2690, 2691)	原子炉周辺建屋	10.0	11.28	1.28	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3B安全補機室排気ダンパ (3D-VS-105A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	22.61	5.51	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン	原子炉周辺建屋	10.0	10.59	0.59	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン現場操作箱 (3LB-77, 78)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	原子炉周辺建屋	10.0	10.46	0.46	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室温度調節計 (3TC-2601, 2611)	原子炉周辺建屋	10.0	10.70	0.70	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV調整器 (A) 内部ゾナ温度監視装置 (13A-31004-2)	0-2F-2-0	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク 水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く） (9/9)				表1 防護対象設備一覧 (9/27)				表1 防護対象設備一覧 (9/35)				<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6、7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ E.L. + [m]</th> <th colspan="3">機能喪失高さ[※] E.L. + [m] 床上[m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調系</td><td>3号炉酸タンク室温度(1),(2),(3),(4)(3TS-2602, 2603, 2612, 2613)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.29</td><td>1.29</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3B中央制御室非常用循環ファン</td><td>制御建屋</td><td>29.3</td><td>29.90</td><td>0.60</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱(3LB-97, 98)</td><td>制御建屋</td><td>29.3</td><td>30.50</td><td>1.20</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ(3D-VS-602A, B)</td><td>制御建屋</td><td>29.3</td><td>29.66</td><td>0.36</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ(3HC-D-2874, 2875)</td><td>制御建屋</td><td>29.3</td><td>30.76</td><td>1.46</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ(3HC-D-2889, 2890)</td><td>制御建屋</td><td>29.3</td><td>29.67</td><td>0.37</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3B中央制御室事故時前環流量調節ダンパ(3HC-D-2891, 2892)</td><td>制御建屋</td><td>29.3</td><td>31.29</td><td>1.99</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3B中央制御室非常用循環ファン出口流量(3FS-2904, 2905)</td><td>制御建屋</td><td>26.1</td><td>27.44</td><td>1.34</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定(3HC-2874, 2875)</td><td>制御建屋</td><td>29.3</td><td>30.90</td><td>1.60</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定(3HC-2889, 2890)</td><td>制御建屋</td><td>29.3</td><td>30.49</td><td>1.19</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3B中央制御室事故時前環ダンパ流量設定(3HC-2891, 2892)</td><td>制御建屋</td><td>29.3</td><td>31.45</td><td>2.15</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3Bアンユラス空気浄化ファン(3VSF9A, B)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>20.9</td><td>21.47</td><td>0.57</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3Bアンユラス空気浄化ファン現場操作箱(3LB-52, 53)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>20.9</td><td>22.10</td><td>1.20</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3Bアンユラス排気ダンパ(3D-VS-101A, B)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>20.9</td><td>21.37</td><td>0.47</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3Bアンユラス戻りダンパ(3D-VS-104A, B)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>19.24</td><td>2.14</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3Bアンユラス全量排気弁(3Y-VS-102A, B)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>20.9</td><td>22.97</td><td>2.07</td><td></td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>3A, 3Bアンユラス少量排気弁(3Y-VS-103A, B)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>20.9</td><td>23.25</td><td>2.35</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※ 没水しても機能喪失しない設備は、機能喪失高さを「-」とする。</p>	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]			換気空調系	3号炉酸タンク室温度(1),(2),(3),(4)(3TS-2602, 2603, 2612, 2613)	原子炉周辺建屋	10.0		11.29	1.29		換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン	制御建屋	29.3	29.90	0.60		換気空調系	3A, B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱(3LB-97, 98)	制御建屋	29.3	30.50	1.20		換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ(3D-VS-602A, B)	制御建屋	29.3	29.66	0.36		換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ(3HC-D-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.76	1.46		換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ(3HC-D-2889, 2890)	制御建屋	29.3	29.67	0.37		換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時前環流量調節ダンパ(3HC-D-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.29	1.99		換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン出口流量(3FS-2904, 2905)	制御建屋	26.1	27.44	1.34		換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定(3HC-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.90	1.60		換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定(3HC-2889, 2890)	制御建屋	29.3	30.49	1.19		換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時前環ダンパ流量設定(3HC-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.45	2.15		換気空調系	3A, 3Bアンユラス空気浄化ファン(3VSF9A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.47	0.57		換気空調系	3A, 3Bアンユラス空気浄化ファン現場操作箱(3LB-52, 53)	原子炉周辺建屋	20.9	22.10	1.20		換気空調系	3A, 3Bアンユラス排気ダンパ(3D-VS-101A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.37	0.47		換気空調系	3A, 3Bアンユラス戻りダンパ(3D-VS-104A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	19.24	2.14		換気空調系	3A, 3Bアンユラス全量排気弁(3Y-VS-102A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	22.97	2.07		換気空調系	3A, 3Bアンユラス少量排気弁(3Y-VS-103A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	23.25	2.35		<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>E.L.^①[m]</th> <th>機能^②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉内循環気調節弁(T49-3F1904)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.105</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口流量制御弁(T49-3F1903)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.105</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口流量制御弁(T49-3F1902)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.105</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1901)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.105</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-1)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-2)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-3)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-4)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-5)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-6)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-7)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-8)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-9)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-10)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-11)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-12)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-13)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-14)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-15)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-16)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-17)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-18)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-19)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-20)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-21)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-22)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-23)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-24)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-25)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-26)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-27)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-28)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-29)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-30)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-31)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-32)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-33)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-34)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-35)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-36)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-37)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-38)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-39)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-40)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-41)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-42)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-43)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-44)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-45)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-46)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-47)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-48)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-49)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-50)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-51)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-52)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-53)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-54)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-55)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-56)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-57)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-58)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-59)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-60)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-61)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-62)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-63)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-64)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-65)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-66)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-67)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-68)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-69)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-70)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-71)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-72)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-73)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-74)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-75)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-76)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-77)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-78)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-79)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-80)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-81)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-82)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-83)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-84)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-85)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-86)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-87)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-88)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-89)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-90)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-91)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-92)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-93)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-94)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-95)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-96)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-97)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-98)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-99)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td>PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-100)</td><td>F-2F-2-3</td><td>原子炉建屋</td><td>8.145</td><td>㊦</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^① [m]	機能 ^②	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉内循環気調節弁(T49-3F1904)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.105	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口流量制御弁(T49-3F1903)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.105	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口流量制御弁(T49-3F1902)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.105	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1901)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.105	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-1)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-2)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-3)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-4)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-5)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-6)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-7)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-8)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-9)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-10)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-11)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-12)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-13)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-14)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-15)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-16)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-17)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-18)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-19)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-20)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-21)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-22)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-23)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-24)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-25)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-26)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-27)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-28)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-29)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-30)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-31)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-32)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-33)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-34)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-35)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-36)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-37)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-38)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-39)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-40)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-41)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-42)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-43)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-44)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-45)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-46)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-47)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-48)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-49)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-50)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-51)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-52)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-53)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-54)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-55)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-56)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-57)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-58)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-59)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-60)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-61)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-62)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-63)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-64)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-65)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-66)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-67)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-68)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-69)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-70)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-71)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-72)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-73)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-74)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-75)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-76)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-77)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-78)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-79)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-80)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-81)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-82)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-83)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-84)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-85)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-86)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-87)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-88)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-89)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-90)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-91)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-92)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-93)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-94)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-95)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-96)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-97)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-98)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-99)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-100)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^①[m]</th> <th>個別測定高さ^②[m]</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉補機冷却水系統</td><td>余剰抽出冷却器等補機冷却水入口C/V外側隔離弁(3Y-CC-422)</td><td>3BE-E-1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.38</td><td>1.45</td><td>基本</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水系統</td><td>余剰抽出冷却器等補機冷却水出口C/V外側隔離弁(3Y-CC-430)</td><td>3BE-E-1</td><td>原子炉建屋</td><td>0.88</td><td>0.90</td><td>基本</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水系統</td><td>1次冷却材ポンプ補機冷却水入口止め弁(3Y-CC-501)</td><td>3BE-E-1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.12</td><td>1.27</td><td>基本</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水系統</td><td>1次冷却材ポンプ補機冷却水出口C/V外側隔離弁(3Y-CC-503)</td><td>3BE-E-1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.12</td><td>1.28</td><td>基本</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水系統</td><td>1次冷却材ポンプ補機冷却水出口C/V外側隔離弁(3Y-CC-525)</td><td>3BE-E-1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.12</td><td>1.25</td><td>基本</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>A-光電器盤(3CFA)</td><td>3AB-II-58</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.10</td><td>0.10</td><td>個別</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>B-光電器盤(3CFB)</td><td>3AB-II-51</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.10</td><td>0.10</td><td>個別</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>運転コンソール(3MCE)</td><td>3AB-F-58</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.20</td><td>0.20</td><td>基本</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>共通要因故障対策E型空操作盤(3CMFLP)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>㊦</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>A-共通要因故障対策空操作盤(3CMFA)</td><td>3AB-F-58</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.37</td><td>0.33</td><td>個別</td><td>㊦</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①安全上特に重要な関連機能 ②事故時のアラート状態の把握機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能</p> <p>⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のアラート状態の把握機能 ⑧制御室からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット結水機能</p> <p>■枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^① [m]	個別測定高さ ^② [m]	設定箇所	安全機能	原子炉補機冷却水系統	余剰抽出冷却器等補機冷却水入口C/V外側隔離弁(3Y-CC-422)	3BE-E-1	原子炉建屋	1.38	1.45	基本	㊦	原子炉補機冷却水系統	余剰抽出冷却器等補機冷却水出口C/V外側隔離弁(3Y-CC-430)	3BE-E-1	原子炉建屋	0.88	0.90	基本	㊦	原子炉補機冷却水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水入口止め弁(3Y-CC-501)	3BE-E-1	原子炉建屋	1.12	1.27	基本	㊦	原子炉補機冷却水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水出口C/V外側隔離弁(3Y-CC-503)	3BE-E-1	原子炉建屋	1.12	1.28	基本	㊦	原子炉補機冷却水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水出口C/V外側隔離弁(3Y-CC-525)	3BE-E-1	原子炉建屋	1.12	1.25	基本	㊦	関連設備	A-光電器盤(3CFA)	3AB-II-58	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	㊦	関連設備	B-光電器盤(3CFB)	3AB-II-51	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	㊦	関連設備	運転コンソール(3MCE)	3AB-F-58	原子炉補助建屋	0.20	0.20	基本	㊦	関連設備	共通要因故障対策E型空操作盤(3CMFLP)						㊦	関連設備	A-共通要因故障対策空操作盤(3CMFA)	3AB-F-58	原子炉補助建屋	0.37	0.33	個別
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
換気空調系	3号炉酸タンク室温度(1),(2),(3),(4)(3TS-2602, 2603, 2612, 2613)	原子炉周辺建屋	10.0	11.29	1.29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン	制御建屋	29.3	29.90	0.60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱(3LB-97, 98)	制御建屋	29.3	30.50	1.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ(3D-VS-602A, B)	制御建屋	29.3	29.66	0.36																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ(3HC-D-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.76	1.46																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ(3HC-D-2889, 2890)	制御建屋	29.3	29.67	0.37																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時前環流量調節ダンパ(3HC-D-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.29	1.99																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン出口流量(3FS-2904, 2905)	制御建屋	26.1	27.44	1.34																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定(3HC-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.90	1.60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定(3HC-2889, 2890)	制御建屋	29.3	30.49	1.19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時前環ダンパ流量設定(3HC-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.45	2.15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3Bアンユラス空気浄化ファン(3VSF9A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.47	0.57																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3Bアンユラス空気浄化ファン現場操作箱(3LB-52, 53)	原子炉周辺建屋	20.9	22.10	1.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3Bアンユラス排気ダンパ(3D-VS-101A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.37	0.47																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3Bアンユラス戻りダンパ(3D-VS-104A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	19.24	2.14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3Bアンユラス全量排気弁(3Y-VS-102A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	22.97	2.07																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
換気空調系	3A, 3Bアンユラス少量排気弁(3Y-VS-103A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	23.25	2.35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^① [m]	機能 ^②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉内循環気調節弁(T49-3F1904)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.105	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口流量制御弁(T49-3F1903)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.105	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口流量制御弁(T49-3F1902)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.105	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1901)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.105	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-1)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-2)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-3)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-4)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-5)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-6)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-7)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-8)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-9)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-10)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-11)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-12)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-13)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-14)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-15)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-16)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-17)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-18)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-19)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-20)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-21)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-22)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-23)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-24)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-25)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-26)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-27)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-28)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-29)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-30)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-31)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-32)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-33)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-34)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-35)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-36)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-37)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-38)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-39)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-40)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-41)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-42)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-43)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-44)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-45)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-46)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-47)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-48)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-49)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-50)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-51)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-52)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-53)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-54)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-55)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-56)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-57)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-58)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-59)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-60)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-61)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-62)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-63)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-64)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-65)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-66)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-67)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-68)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-69)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-70)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-71)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-72)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-73)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-74)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-75)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-76)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-77)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-78)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-79)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-80)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-81)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-82)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-83)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-84)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-85)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-86)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-87)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-88)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-89)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-90)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-91)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-92)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-93)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-94)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-95)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-96)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-97)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-98)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-99)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可燃性ガス濃度検知系	PCS 3号炉入口温度監視(T49-3F1900-100)	F-2F-2-3	原子炉建屋	8.145	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^① [m]	個別測定高さ ^② [m]	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却水系統	余剰抽出冷却器等補機冷却水入口C/V外側隔離弁(3Y-CC-422)	3BE-E-1	原子炉建屋	1.38	1.45	基本	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却水系統	余剰抽出冷却器等補機冷却水出口C/V外側隔離弁(3Y-CC-430)	3BE-E-1	原子炉建屋	0.88	0.90	基本	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水入口止め弁(3Y-CC-501)	3BE-E-1	原子炉建屋	1.12	1.27	基本	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水出口C/V外側隔離弁(3Y-CC-503)	3BE-E-1	原子炉建屋	1.12	1.28	基本	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水出口C/V外側隔離弁(3Y-CC-525)	3BE-E-1	原子炉建屋	1.12	1.25	基本	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
関連設備	A-光電器盤(3CFA)	3AB-II-58	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
関連設備	B-光電器盤(3CFB)	3AB-II-51	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
関連設備	運転コンソール(3MCE)	3AB-F-58	原子炉補助建屋	0.20	0.20	基本	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
関連設備	共通要因故障対策E型空操作盤(3CMFLP)						㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
関連設備	A-共通要因故障対策空操作盤(3CMFA)	3AB-F-58	原子炉補助建屋	0.37	0.33	個別	㊦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3ノ4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く） (1/9)							表1 防護対象設備一覧 (10/27)							表1 防護対象設備一覧 (10/35)							<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6、7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ E.L.+[m]</th> <th>機能喪失高さ[※] E.L.+[m]</th> <th>床上[m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>補助給水系</td><td>4A,4B電動補助給水ポンプ</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.60</td><td>0.60</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4タービン動補助給水ポンプ</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>3.5</td><td>4.16</td><td>0.66</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4タービン動補助給水ポンプ起動弁A,B (4V-MS-570A,B)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>33.6</td><td>34.75</td><td>1.15</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4タービン動補助給水ポンプ起動盤A,B (4TDF-A,B)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.26</td><td>0.26</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4A,4B,4C,4D蒸気発生器補助給水流量 (4FT-3716,3726,3736,3746)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>18.21</td><td>1.11</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4復水ビット水位Ⅲ,Ⅳ (4LT-3760,3761)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>26.0</td><td>26.45</td><td>0.45</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4復水ビット</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>26.0</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4A,4B充てんポンプ</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.65</td><td>0.65</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4C充てんポンプ</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.29</td><td>0.29</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4C充てんポンプ速度制御盤 (4CSG)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.00</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4C充てんポンプ速度制御補助盤 (4CSAC)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.80</td><td>0.80</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4A,4B,4C1,4C2充てんポンプ現場操作箱 (4LB-5,6,7,8)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.20</td><td>1.20</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側補助弁A,B (4LCV-121D,E)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.19</td><td>1.19</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4A,4Bほう酸ポンプ</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.62</td><td>0.62</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4A,4Bほう酸ポンプ現場操作箱 (4LB-9,10)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.20</td><td>1.20</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4充てんライン止め弁 (4V-CS-155)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.03</td><td>1.03</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4体積制御タンク出口第1止め弁 (4LCV-121B)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>18.26</td><td>1.16</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4体積制御タンク出口第2止め弁 (4LCV-121C)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>18.27</td><td>1.17</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4緊急ほう酸注入ライン補助弁 (4V-CS-573)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>21.57</td><td>4.47</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4充てんライン格納容器隔離弁 (4V-CS-157)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>22.14</td><td>5.04</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁 (4V-CS-312)</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>22.00</td><td>4.90</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4封水冷却器</td><td>原子炉周辺建屋</td><td>17.1</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L.+[m]	機能喪失高さ [※] E.L.+[m]	床上[m]	補助給水系	4A,4B電動補助給水ポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.60	0.60	補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.16	0.66	補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ起動弁A,B (4V-MS-570A,B)		原子炉周辺建屋	33.6	34.75	1.15	補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ起動盤A,B (4TDF-A,B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.26	0.26	補助給水系	4A,4B,4C,4D蒸気発生器補助給水流量 (4FT-3716,3726,3736,3746)	原子炉周辺建屋	17.1	18.21	1.11	補助給水系	4復水ビット水位Ⅲ,Ⅳ (4LT-3760,3761)	原子炉周辺建屋	26.0	26.45	0.45	補助給水系	4復水ビット	原子炉周辺建屋	26.0	-	-	化学体積制御系	4A,4B充てんポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.65	0.65	化学体積制御系	4C充てんポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.29	0.29	化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御盤 (4CSG)	原子炉周辺建屋	10.0	11.00	1.00	化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御補助盤 (4CSAC)	原子炉周辺建屋	10.0	10.80	0.80	化学体積制御系	4A,4B,4C1,4C2充てんポンプ現場操作箱 (4LB-5,6,7,8)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	4充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側補助弁A,B (4LCV-121D,E)	原子炉周辺建屋	10.0	11.19	1.19	化学体積制御系	4A,4Bほう酸ポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.62	0.62	化学体積制御系	4A,4Bほう酸ポンプ現場操作箱 (4LB-9,10)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	4充てんライン止め弁 (4V-CS-155)	原子炉周辺建屋	10.0	11.03	1.03	化学体積制御系	4体積制御タンク出口第1止め弁 (4LCV-121B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.26	1.16	化学体積制御系	4体積制御タンク出口第2止め弁 (4LCV-121C)	原子炉周辺建屋	17.1	18.27	1.17	化学体積制御系	4緊急ほう酸注入ライン補助弁 (4V-CS-573)	原子炉周辺建屋	17.1	21.57	4.47	化学体積制御系	4充てんライン格納容器隔離弁 (4V-CS-157)	原子炉周辺建屋	17.1	22.14	5.04	化学体積制御系	4-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁 (4V-CS-312)	原子炉周辺建屋	17.1	22.00	4.90	化学体積制御系	4封水冷却器	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>E.L.^{※1}[m]</th> <th>機能^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>緊急時電源供給(外部)</td><td>原子炉本設(2号機)② (SC1-4792B)</td><td>R-01F-1</td><td>原子炉建屋</td><td>9.360</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990A)</td><td>R-02-2-5</td><td>原子炉建屋</td><td>9.360</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990B)</td><td>R-02-2-6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.560</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990A)</td><td>R-02-2-5</td><td>原子炉建屋</td><td>1.818</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990B)</td><td>R-02-2-6</td><td>原子炉建屋</td><td>0.423</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990A)</td><td>R-02-2-5</td><td>原子炉建屋</td><td>1.305</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990B)</td><td>R-02-2-6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.305</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990A)</td><td>R-02-2-5</td><td>原子炉建屋</td><td>0.375</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990B)</td><td>R-02-2-6</td><td>原子炉建屋</td><td>0.403</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系(FASS)聯合(バイパス)弁 (SC2-991)</td><td>R-02-2-5</td><td>原子炉建屋</td><td>2.033</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系(FASS)聯合(入口止め)弁 (SC2-992)</td><td>R-02-2-5</td><td>原子炉建屋</td><td>2.305</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系(FASS)聯合(取り止め)弁 (SC2-993)</td><td>R-02-2-5</td><td>原子炉建屋</td><td>2.696</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系(FASS)聯合(取り止め)弁 (SC2-994)</td><td>R-02-2-5</td><td>原子炉建屋</td><td>2.696</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系モード(A) (SC2-981,9A2)</td><td>R-02-2-5</td><td>原子炉建屋</td><td>0.940</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系モード(B) (SC2-981,9B2)</td><td>R-02-2-5</td><td>原子炉建屋</td><td>0.900</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系モード(A) (SC2-981,9A2)</td><td>R-02-2-5</td><td>原子炉建屋</td><td>0.900</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系モード(B) (SC2-981,9B2)</td><td>R-02-2-5</td><td>原子炉建屋</td><td>0.940</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系モード(A) (SC2-981,9A2)</td><td>R-02-2-5</td><td>原子炉建屋</td><td>1.896</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系モード(B) (SC2-981,9B2)</td><td>R-02-2-6</td><td>原子炉建屋</td><td>0.845</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系モード(A) (SC2-981,9A2)</td><td>R-02-2</td><td>原子炉建屋</td><td>2.160</td><td>②</td></tr> <tr><td>緊急時電源供給(内部)</td><td>XAM電源系モード(B) (SC2-981,9B2)</td><td>R-02-6</td><td>原子炉建屋</td><td>0.933</td><td>②</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	緊急時電源供給(外部)	原子炉本設(2号機)② (SC1-4792B)	R-01F-1	原子炉建屋	9.360	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990A)	R-02-2-5	原子炉建屋	9.360	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990B)	R-02-2-6	原子炉建屋	1.560	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990A)	R-02-2-5	原子炉建屋	1.818	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990B)	R-02-2-6	原子炉建屋	0.423	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990A)	R-02-2-5	原子炉建屋	1.305	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990B)	R-02-2-6	原子炉建屋	1.305	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990A)	R-02-2-5	原子炉建屋	0.375	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990B)	R-02-2-6	原子炉建屋	0.403	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(FASS)聯合(バイパス)弁 (SC2-991)	R-02-2-5	原子炉建屋	2.033	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(FASS)聯合(入口止め)弁 (SC2-992)	R-02-2-5	原子炉建屋	2.305	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(FASS)聯合(取り止め)弁 (SC2-993)	R-02-2-5	原子炉建屋	2.696	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(FASS)聯合(取り止め)弁 (SC2-994)	R-02-2-5	原子炉建屋	2.696	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(A) (SC2-981,9A2)	R-02-2-5	原子炉建屋	0.940	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(B) (SC2-981,9B2)	R-02-2-5	原子炉建屋	0.900	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(A) (SC2-981,9A2)	R-02-2-5	原子炉建屋	0.900	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(B) (SC2-981,9B2)	R-02-2-5	原子炉建屋	0.940	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(A) (SC2-981,9A2)	R-02-2-5	原子炉建屋	1.896	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(B) (SC2-981,9B2)	R-02-2-6	原子炉建屋	0.845	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(A) (SC2-981,9A2)	R-02-2	原子炉建屋	2.160	②	緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(B) (SC2-981,9B2)	R-02-6	原子炉建屋	0.933	②	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>関連設備</td><td>B-共通要因故障対策操作盤 (SCMPB)</td><td>3AB-F-N8</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.37</td><td>0.33</td><td>個別</td><td>②</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>A-中央制御室外原子炉停止盤 (3EPA)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>②</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>B-中央制御室外原子炉停止盤 (3EPB)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>②</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>A-換気空調系集中監視盤 (3LVP-A)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>②</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>B-換気空調系集中監視盤 (3LVP-B)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>②</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>工学的安全施設作動盤 (トレンA) (3EFA)</td><td>3AB-F-N13</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>基本</td><td>②</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>工学的安全施設作動盤 (トレンB) (3EFB)</td><td>3AB-F-N2</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>基本</td><td>②</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>A-1次冷却材ポンプ母線計測盤 (3R1A)</td><td>3B-B-N5</td><td>原子炉建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>個別</td><td>②</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>B-1次冷却材ポンプ母線計測盤 (3R1B)</td><td>3B-B-N5</td><td>原子炉建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>個別</td><td>②</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>C-1次冷却材ポンプ母線計測盤 (3R1C)</td><td>3B-B-N5</td><td>原子炉建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>個別</td><td>②</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI) (3RTI)</td><td>3B-F-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>0.06</td><td>0.06</td><td>個別</td><td>②</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII) (3RTII)</td><td>3B-F-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>0.06</td><td>0.06</td><td>個別</td><td>②</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	関連設備	B-共通要因故障対策操作盤 (SCMPB)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	0.37	0.33	個別	②	関連設備	A-中央制御室外原子炉停止盤 (3EPA)						②	関連設備	B-中央制御室外原子炉停止盤 (3EPB)						②	関連設備	A-換気空調系集中監視盤 (3LVP-A)						②	関連設備	B-換気空調系集中監視盤 (3LVP-B)						②	関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンA) (3EFA)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	基本	②	関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンB) (3EFB)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	基本	②	関連設備	A-1次冷却材ポンプ母線計測盤 (3R1A)	3B-B-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	②	関連設備	B-1次冷却材ポンプ母線計測盤 (3R1B)	3B-B-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	②	関連設備	C-1次冷却材ポンプ母線計測盤 (3R1C)	3B-B-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	②	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI) (3RTI)	3B-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	②	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII) (3RTII)	3B-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L.+[m]	機能喪失高さ [※] E.L.+[m]	床上[m]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
補助給水系	4A,4B電動補助給水ポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.60	0.60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.16	0.66																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ起動弁A,B (4V-MS-570A,B)	原子炉周辺建屋	33.6	34.75	1.15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ起動盤A,B (4TDF-A,B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.26	0.26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
補助給水系	4A,4B,4C,4D蒸気発生器補助給水流量 (4FT-3716,3726,3736,3746)	原子炉周辺建屋	17.1	18.21	1.11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
補助給水系	4復水ビット水位Ⅲ,Ⅳ (4LT-3760,3761)	原子炉周辺建屋	26.0	26.45	0.45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
補助給水系	4復水ビット	原子炉周辺建屋	26.0	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4A,4B充てんポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.65	0.65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4C充てんポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.29	0.29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御盤 (4CSG)	原子炉周辺建屋	10.0	11.00	1.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御補助盤 (4CSAC)	原子炉周辺建屋	10.0	10.80	0.80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4A,4B,4C1,4C2充てんポンプ現場操作箱 (4LB-5,6,7,8)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側補助弁A,B (4LCV-121D,E)	原子炉周辺建屋	10.0	11.19	1.19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4A,4Bほう酸ポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.62	0.62																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4A,4Bほう酸ポンプ現場操作箱 (4LB-9,10)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4充てんライン止め弁 (4V-CS-155)	原子炉周辺建屋	10.0	11.03	1.03																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4体積制御タンク出口第1止め弁 (4LCV-121B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.26	1.16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4体積制御タンク出口第2止め弁 (4LCV-121C)	原子炉周辺建屋	17.1	18.27	1.17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4緊急ほう酸注入ライン補助弁 (4V-CS-573)	原子炉周辺建屋	17.1	21.57	4.47																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4充てんライン格納容器隔離弁 (4V-CS-157)	原子炉周辺建屋	17.1	22.14	5.04																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁 (4V-CS-312)	原子炉周辺建屋	17.1	22.00	4.90																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学体積制御系	4封水冷却器	原子炉周辺建屋	17.1	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(外部)	原子炉本設(2号機)② (SC1-4792B)	R-01F-1	原子炉建屋	9.360	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990A)	R-02-2-5	原子炉建屋	9.360	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990B)	R-02-2-6	原子炉建屋	1.560	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990A)	R-02-2-5	原子炉建屋	1.818	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990B)	R-02-2-6	原子炉建屋	0.423	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990A)	R-02-2-5	原子炉建屋	1.305	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990B)	R-02-2-6	原子炉建屋	1.305	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990A)	R-02-2-5	原子炉建屋	0.375	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(タンク)制御弁 (SC2-990B)	R-02-2-6	原子炉建屋	0.403	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(FASS)聯合(バイパス)弁 (SC2-991)	R-02-2-5	原子炉建屋	2.033	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(FASS)聯合(入口止め)弁 (SC2-992)	R-02-2-5	原子炉建屋	2.305	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(FASS)聯合(取り止め)弁 (SC2-993)	R-02-2-5	原子炉建屋	2.696	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系(FASS)聯合(取り止め)弁 (SC2-994)	R-02-2-5	原子炉建屋	2.696	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(A) (SC2-981,9A2)	R-02-2-5	原子炉建屋	0.940	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(B) (SC2-981,9B2)	R-02-2-5	原子炉建屋	0.900	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(A) (SC2-981,9A2)	R-02-2-5	原子炉建屋	0.900	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(B) (SC2-981,9B2)	R-02-2-5	原子炉建屋	0.940	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(A) (SC2-981,9A2)	R-02-2-5	原子炉建屋	1.896	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(B) (SC2-981,9B2)	R-02-2-6	原子炉建屋	0.845	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(A) (SC2-981,9A2)	R-02-2	原子炉建屋	2.160	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
緊急時電源供給(内部)	XAM電源系モード(B) (SC2-981,9B2)	R-02-6	原子炉建屋	0.933	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	B-共通要因故障対策操作盤 (SCMPB)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	0.37	0.33	個別	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	A-中央制御室外原子炉停止盤 (3EPA)						②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	B-中央制御室外原子炉停止盤 (3EPB)						②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	A-換気空調系集中監視盤 (3LVP-A)						②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	B-換気空調系集中監視盤 (3LVP-B)						②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンA) (3EFA)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	基本	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンB) (3EFB)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	基本	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	A-1次冷却材ポンプ母線計測盤 (3R1A)	3B-B-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	B-1次冷却材ポンプ母線計測盤 (3R1B)	3B-B-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	C-1次冷却材ポンプ母線計測盤 (3R1C)	3B-B-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI) (3RTI)	3B-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII) (3RTII)	3B-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

※1:保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ
 ※2:没水により機能喪失する床面からの高さ

※1:没水により機能喪失する床面からの高さ(床面上部500mm未満)

- ① 緊急停止機能
- ② 緊急停止維持機能
- ③ 緊急停止機能
- ④ 原子炉停止後の除熱機能
- ⑤ 炉心冷却機能
- ⑥ 放射性物質の閉じ込め機能

- ⑦ 安全上特に重要な関連機能
- ⑧ 事故時のプラント状態の把握機能
- ⑨ 制御室外からの安全停止機能
- ⑩ ピット冷却機能
- ⑪ ピット給水機能

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（2/9）							表1 防護対象設備一覧（11/27）							表1 防護対象設備一覧（11/35）							【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床高[m]		系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能 [※]		系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能	
化学体積制御系	4A, 4B封水注入フィルタ	原子炉周辺建屋	26.0	-	-	原子炉建屋	2.943	③	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤（チャンネルIII）（3RTIII）	3RD-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑥					
化学体積制御系	4封水ストレーナ	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	原子炉建屋	3.000	③	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤（チャンネルIV）（3RTIV）	3RD-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑥					
化学体積制御系	4体積制御タンク	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	原子炉建屋	1.795	③	関連設備	原子炉安全保護盤（チャンネルI）（3P I）	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥					
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク水位（4LT-206, 208）	原子炉周辺建屋	17.1	18.18	1.08	原子炉建屋	3.500	③	関連設備	原子炉安全保護盤（チャンネルII）（3P II）	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥					
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	原子炉建屋	3.643	③	関連設備	原子炉安全保護盤（チャンネルIII）（3P III）	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥					
化学体積制御系	4ほう酸フィルタ	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	原子炉建屋	3.643	③	関連設備	原子炉安全保護盤（チャンネルIV）（3P IV）	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥					
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.31	0.81	原子炉建屋	10.243	③	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤（3SFA）	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥					
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ現場操作箱（4IB-14, 15）	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	原子炉建屋	10.243	③	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤（3SFB）	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥					
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ出口流量（4FT-601, 611）	原子炉周辺建屋	3.5	4.61	1.11	原子炉建屋	3.300	③	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤（3SFA）	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥					
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ最小ムフローライン止め弁（4FCV-601, 611）	原子炉周辺建屋	17.1	17.98	0.88	原子炉建屋	3.230	③	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤（3SFB）	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥					
余熱除去系	4A, 4B余熱除去冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	原子炉建屋	1.003	③	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤（3SFA）	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.05	0.05	個別	⑥					
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機制御盤（41AC-A, B）	原子炉周辺建屋	17.1	17.54	0.44	原子炉建屋	0.000	③	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤（3SFB）	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.05	0.05	個別	⑥					
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機	原子炉周辺建屋	17.1	17.72	0.62	原子炉建屋	0.000	③	関連設備	安全系マルチプレクサ（トレンA）（3SWCA）	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥					
制御用空気系	4A, 4B制御用空気乾燥器（41AIIA, B）	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	原子炉建屋	0.000	③	関連設備	安全系マルチプレクサ（トレンB）（3SWCB）	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑥					
制御用空気系	4A, 4B制御用空気ため（41ATIA, B）	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	原子炉建屋	0.000	③	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③放射線物質の閉じ込め機能												
制御用空気系	4A-C, 4B-C制御用空気母管連絡弁（4V-1A-501A, B）	原子炉周辺建屋	17.1	17.78	0.68	原子炉建屋	0.000	③	注3：安全上特に重要な国産機系 注4：事故時のプラント状態の把握機能 注5：制御室外からの安全停止機能 注6：ピット冷却機能 注7：ピット給水機能												
制御用空気系	4A, 4B制御用空気主蒸気逃がし弁等供給ライン止め弁（4V-1A-505A, B）	原子炉周辺建屋	17.1	17.76	0.66	原子炉建屋	0.000	③													
制御用空気系	4A, 4B 制御用空気格納容器隔離弁（4V-1A-508A, B）	原子炉周辺建屋	17.1	17.88	0.78	原子炉建屋	0.000	③													
制御用空気系	4A, 4B制御用空気供給母管圧力（4FT-1800, 1810）	原子炉周辺建屋	17.1	18.20	1.10	原子炉建屋	0.000	③													
原子炉補機冷却系	4A, 4B余熱除去冷却器冷却水止め弁（4V-CC-114A, B）	原子炉周辺建屋	10.0	11.69	1.69	原子炉建屋	0.000	③													
原子炉補機冷却系	4原子炉補機冷却水サージタンク水位III, IV（4LT-1200, 1201）	原子炉周辺建屋	39.0	39.99	0.99	原子炉建屋	0.000	③													
原子炉補機冷却系	4原子炉補機冷却水サージタンク	原子炉周辺建屋	42.0	-	-	原子炉建屋	0.000	③													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(3/9)					表1 防護対象設備一覧 (12/27)					表1 防護対象設備一覧 (12/35)					【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違				
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L.+[m]	機能喪失高さ [※] E.L.+[m] 床土[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^① [m]	機能 ^②	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^③ (n)	個別測定高さ ^④ (m)	設定箇所	安全機能	【大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・治では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器	制御建屋	7.0	-	原子炉補機冷却系	冷却器	R-2F-2	原子炉補機冷却器	6.000	②	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンAグループ1）(3SLCA1)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ	制御建屋	7.0	9.08	2.08	原子炉補機冷却系	冷却器	R-2F-2	原子炉補機冷却器	6.000	②	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンAグループ2）(3SLCA2)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱(4LB-20, 21, 22, 23)	制御建屋	7.0	9.90	2.90	原子炉補機冷却系	冷却器	C-2F-1	制御建屋	6.865	②	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンAグループ3）(3SLCA3)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4A・C, 4B・C原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁(4V-CC-043A, B)	制御建屋	7.0	9.33	2.33	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ(3P)	R-1F-3	原子炉補機冷却器	6.115	②	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンBグループ1）(3SLCB1)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4A・C, 4B・C原子炉補機冷却水供給母管連絡弁(4V-CC-056A, B)	制御建屋	7.0	9.33	2.33	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ(3P)	R-1F-3	原子炉補機冷却器	6.115	②	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンBグループ2）(3SLCB2)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁(4号機側)(4V-CC-605, 606)	原子炉周辺建屋	17.1	17.97	0.87	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ(3P)	R-1F-3	原子炉補機冷却器	6.403	②	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンBグループ3）(3SLCB3)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4A, 4B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁(4V-CC-178A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.85	1.85	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ(3P)	R-1F-3	原子炉補機冷却器	6.403	②	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンBグループ3）(3SLCB3)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁(4V-CC-403)	原子炉周辺建屋	17.1	22.40	5.30	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ(3P)	R-1F-3	原子炉補機冷却器	6.575	②	関連設備	A-1計装用インバータ (31VA)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁(4V-CC-429)	原子炉周辺建屋	17.1	22.40	5.30	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ(3P)	R-1F-3	原子炉補機冷却器	6.575	②	関連設備	B-1計装用インバータ (31VB)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁(4V-CC-365)	原子炉周辺建屋	17.1	22.11	5.01	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ(3P)	R-1F-3	原子炉補機冷却器	6.140	②	関連設備	C-1計装用インバータ (31VC)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁(4V-CC-342)	原子炉周辺建屋	17.1	22.13	5.03	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ(3P)	R-1F-3	原子炉補機冷却器	6.575	②	関連設備	D-1計装用インバータ (31VD)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
原子炉補機冷却系	4A・D, 4B・C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁(4V-CC-189A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	22.20	5.10	燃料プールの補助系	燃料プールの冷却水ポンプ(3P)	R-2F-3	原子炉補機冷却器	6.165	②	関連設備	A-1-1計装用交流分電盤 (31DPA1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.23	基本	⑤
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁(4V-CC-198A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	17.1	22.08	4.98	燃料プールの補助系	燃料プールの冷却水ポンプ(3P)	R-2F-3	原子炉補機冷却器	6.165	②	関連設備	A-2-1計装用交流分電盤 (31DPA2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	⑤
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁(4V-SW-570A, B)	制御建屋	7.0	9.69	2.69	換気空調系	圧入機	R-2F-2	原子炉補機冷却器	6.000	②③④⑤⑥	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未断界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
原子炉補機冷却系	4海水ポンプ出口4A, 4B, 4C, 4D海水ストレーナ(4S-SW-01A, B, C, D)	海水ポンプエリア	1.0	-	-	換気空調系	圧入機	R-2F-2	原子炉補機冷却器	6.000	②③④⑤⑥	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未断界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C海水ポンプ	海水ポンプエリア	2.5	4.65	2.15	換気空調系	排気機	R-2F-4	原子炉補機冷却器	6.000	②③④⑤⑥	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未断界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ビット給水機能							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由			
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（4/9）						表1 防護対象設備一覧（13/27）						表1 防護対象設備一覧（13/35）						【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違			
系統	設備	設置建屋	設置高さ		機能喪失高さ [※]	系統	設備	設備番号	設置建屋	E.L. ^① [m]	機能 ^②	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^③ (m)	個別測定高さ ^④ (m)	設定箇所	安全機能	・ 泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・ 設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違	
			E.L. + [m]	E.L. + [m]																	
原子炉補助冷却系	4A, 4B1, 4B2, 4C海水ポンプ現場操作箱（4LB-26, 27, 28, 29）	海水ポンプエリア	2.5	6.40	3.90	原子炉補給機(1)駆動用ケーシング(1)	8-2F-1	原子炉補給機(1)建屋	0.900	②③④⑤⑥	原子炉補給機(1)駆動用ケーシング(1)	8-2F-1	原子炉補給機(1)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥	【大飯】 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。	
電気盤	4主盤（原子炉盤）（4MCB）	制御建屋	21.8	21.96	0.16	原子炉補給機(2)駆動用ケーシング(2)	8-2F-4	原子炉補給機(2)建屋	0.900	②③④⑤⑥	原子炉補給機(2)駆動用ケーシング(2)	8-2F-4	原子炉補給機(2)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.21	基本	⑥		・ 泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。
電気盤	4原子炉補助盤（4RAB）	制御建屋	21.8	21.98	0.18	原子炉補給機(3)駆動用ケーシング(3)	8-2F-1	原子炉補給機(3)建屋	0.900	②	原子炉補給機(3)駆動用ケーシング(3)	8-2F-1	原子炉補給機(3)建屋	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	⑥	上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）	
電気盤	4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV（4RPR-I, II, III, IV）	制御建屋	21.8	21.97	0.17	原子炉補給機(4)駆動用ケーシング(4)	8-2F-2	原子炉補給機(4)建屋	0.900	②	原子炉補給機(4)駆動用ケーシング(4)	8-2F-2	原子炉補給機(4)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥		・ 設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤（4RPL-A, B, C, D）	制御建屋	21.8	21.98	0.18	原子炉補給機(5)駆動用ケーシング(5)	8-2F-3	原子炉補給機(5)建屋	0.100	②	原子炉補給機(5)駆動用ケーシング(5)	8-2F-3	原子炉補給機(5)建屋	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	⑥	【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。	
電気盤	4安全保護シーケンス盤 AG1, AG2, BG1, BG2（4SFS-A1, A2, B1, B2）	制御建屋	21.8	21.97	0.17	原子炉補給機(6)駆動用ケーシング(6)	8-2F-6	原子炉補給機(6)建屋	0.900	②③④⑤⑥	原子炉補給機(6)駆動用ケーシング(6)	8-2F-6	原子炉補給機(6)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥		
電気盤	4所内盤（4HSB）	制御建屋	21.8	21.90	0.10	原子炉補給機(7)駆動用ケーシング(7)	8-2F-7	原子炉補給機(7)建屋	0.115	②	原子炉補給機(7)駆動用ケーシング(7)	8-2F-7	原子炉補給機(7)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥		
電気盤	事故時放射線監視盤 4RMS（4PRMS-III, IV）	制御建屋	21.8	21.86	0.06	原子炉補給機(8)駆動用ケーシング(8)	8-2F-8	原子炉補給機(8)建屋	0.105	②④	原子炉補給機(8)駆動用ケーシング(8)	8-2F-8	原子炉補給機(8)建屋	3AB-H-N0	原子炉補助建屋	0.34	0.35	基本	⑥		
電気盤	4原子炉トリップ遮断器盤（4RTS）	原子炉周辺建屋	17.1	17.15	0.05	原子炉補給機(9)駆動用ケーシング(9)	8-2F-9	原子炉補給機(9)建屋	0.105	②④	原子炉補給機(9)駆動用ケーシング(9)	8-2F-9	原子炉補給機(9)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.34	0.33	個別	⑥		
電気盤	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4ソレノイド分電盤（4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4）	制御建屋	15.8	16.09	0.29	原子炉補給機(10)駆動用ケーシング(10)	8-2F-10	原子炉補給機(10)建屋	0.105	②	原子炉補給機(10)駆動用ケーシング(10)	8-2F-10	原子炉補給機(10)建屋	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.34	0.33	基本	⑥		
電気盤	4A, 4Bドロップ盤（4BCP-A-DRP, 4BCP-B-DRP）	制御建屋	15.8	15.89	0.09	原子炉補給機(11)駆動用ケーシング(11)	8-2F-11	原子炉補給機(11)建屋	0.105	②	原子炉補給機(11)駆動用ケーシング(11)	8-2F-11	原子炉補給機(11)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.34	0.33	個別	⑥		
電気盤	4A, 4B直流き電盤（4DMP-A, B）	制御建屋	15.8	15.89	0.09	原子炉補給機(12)駆動用ケーシング(12)	8-2F-12	原子炉補給機(12)建屋	0.105	②	原子炉補給機(12)駆動用ケーシング(12)	8-2F-12	原子炉補給機(12)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.34	0.33	個別	⑥		
電気盤	4A, 4B直流分電盤（4DDF-A, B）	制御建屋	15.8	16.28	0.48	原子炉補給機(13)駆動用ケーシング(13)	8-2F-13	原子炉補給機(13)建屋	0.120	②	原子炉補給機(13)駆動用ケーシング(13)	8-2F-13	原子炉補給機(13)建屋	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.22	0.23	基本	⑥		
電気盤	4A, 4B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80	原子炉補給機(14)駆動用ケーシング(14)	8-2F-14	原子炉補給機(14)建屋	0.120	②	原子炉補給機(14)駆動用ケーシング(14)	8-2F-14	原子炉補給機(14)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.22	0.22	基本	⑥		
電気盤	4A, 4B充電器盤（4BCP-A, B）	制御建屋	15.8	15.89	0.09	原子炉補給機(15)駆動用ケーシング(15)	8-2F-15	原子炉補給機(15)建屋	0.900	②	原子炉補給機(15)駆動用ケーシング(15)	8-2F-15	原子炉補給機(15)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.22	0.22	基本	⑥		
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルクラッドスイッチギア（4MC-A1, A2, B1, B2）	制御建屋	15.8	15.95	0.15	原子炉補給機(16)駆動用ケーシング(16)	8-2F-16	原子炉補給機(16)建屋	0.105	②	原子炉補給機(16)駆動用ケーシング(16)	8-2F-16	原子炉補給機(16)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.22	0.22	基本	⑥		
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ（4PC-A1, A2, B1, B2）	制御建屋	15.8	15.86	0.06	原子炉補給機(17)駆動用ケーシング(17)	8-2F-17	原子炉補給機(17)建屋	0.120	②③④⑤⑥	原子炉補給機(17)駆動用ケーシング(17)	8-2F-17	原子炉補給機(17)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.22	0.22	基本	⑥		
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉制御センター（4RCC-A1, A2, B1, B2）	制御建屋	15.8	16.01	0.21	原子炉補給機(18)駆動用ケーシング(18)	8-2F-18	原子炉補給機(18)建屋	0.120	②③④⑤⑥	原子炉補給機(18)駆動用ケーシング(18)	8-2F-18	原子炉補給機(18)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.22	0.22	基本	⑥		
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤（1）～（3）（4IBC-A, B, C, D）	制御建屋	15.8	15.90	0.10	原子炉補給機(19)駆動用ケーシング(19)	8-2F-19	原子炉補給機(19)建屋	0.120	②③④⑤⑥	原子炉補給機(19)駆動用ケーシング(19)	8-2F-19	原子炉補給機(19)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.22	0.22	基本	⑥		
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用分電盤（4IPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, B1, B2）	制御建屋	15.8	16.09	0.29	原子炉補給機(20)駆動用ケーシング(20)	8-2F-20	原子炉補給機(20)建屋	0.120	②③④⑤⑥	原子炉補給機(20)駆動用ケーシング(20)	8-2F-20	原子炉補給機(20)建屋	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.22	0.22	基本	⑥		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（5/9）					表1 防護対象設備一覧（14/27）					表1 防護対象設備一覧（14/35）					<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6、7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることを相違はない。</p>				
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	設置番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋		基本設定高さ ^{※1} 高さ[m]	個別測定高さ ^{※2} 高さ[m]	設定箇所	安全機能
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用交流電源切替盤 (4ISP-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	16.13	0.33	電気注入手	原子炉格納機(A)駆動機(注) (T11-0002)	0-402-0	原子炉補助建屋	0.140	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	関連設備	ゾレノイド分電盤トレンA1 (3SDA1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑥
電気盤	4AC, 4BD計装用後備分電盤 (41BD-AC, BD)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	電気注入手	原子炉格納機(A)駆動機(注) (T11-0004)	0-02-12	原子炉補助建屋	0.115	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	関連設備	ゾレノイド分電盤トレンA2 (3SDA2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑥
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンタ (4GCC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.26	0.26	電気注入手	原子炉格納機(A)駆動機(注) (T11-0002)	0-02-12	原子炉補助建屋	0.120	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	関連設備	ゾレノイド分電盤トレンA3 (3SDA3)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑥
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関	原子炉周辺建屋	3.5 (本体10.0)	3.91	0.41	電気注入手	原子炉格納機(B)駆動機(注) (T11-0002)	0-02-13	原子炉補助建屋	0.115	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	関連設備	ゾレノイド分電盤トレンA4 (3SDA4)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑥
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機	原子炉周辺建屋	3.5 (本体10.0)	3.83	0.33	電気注入手	原子炉格納機(C)駆動機(注) (T11-0004)	0-02-14	原子炉補助建屋	0.110	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	関連設備	ゾレノイド分電盤トレンB1 (3SDB1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.18	個別	⑥
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機制御盤 (4DGC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.10	0.10	電気注入手	原子炉格納機(D)駆動機(注) (T11-0002)	0-02-14	原子炉補助建屋	0.110	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	関連設備	ゾレノイド分電盤トレンB2 (3SDB2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.19	個別	⑥
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイ冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	電気注入手	原子炉格納機(A)駆動機(注) (T11-0002)	0-02-0	0.000	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	関連設備	ゾレノイド分電盤トレンB3 (3SDB3)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.19	個別	⑥	
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイ冷却器	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	電気注入手	原子炉格納機(B)駆動機(注) (T11-0004)	0-02-20	1.000	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	関連設備	ゾレノイド分電盤トレンB4 (3SDB4)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.18	個別	⑥	
格納容器スプレイ系	4格納容器圧力 (広域) (4PT-950, 951, 952, 953)	原子炉周辺建屋	17.1	22.09	4.99	電気注入手	原子炉格納機(C)駆動機(注) (T11-0004)	0-02-0	0.115	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	関連設備	ゾレノイド分電盤トレンA	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥	
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.33	0.83	電気注入手	原子炉格納機(D)駆動機(注) (T11-0004)	0-402-0	0.120	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	関連設備	A-直流コントロールセンタ (3DCB)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥	
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ現場操作箱 (4LB-18, 19)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	電気注入手	原子炉格納機(A)駆動機(注) (T11-0002)	0-402-0	0.120	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	関連設備	B-直流コントロールセンタ (3DCA)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥	
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ燃料取替用水ビット側入口止め弁 (4V-CP-001A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.91	1.91	電気注入手	原子炉格納機(B)駆動機(注) (T11-0004)	0-02-15	0.120	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	関連設備	A1-原子炉コントロールセンタ (3RCC-A1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥	
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (4V-CP-003A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	12.06	2.06	電気注入手	原子炉格納機(C)駆動機(注) (T11-0004)	0-02-15	0.115	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	関連設備	A2-原子炉コントロールセンタ (3RCC-A2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥	
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイヘッド冷却器出口格納容器隔離弁 (4V-CP-024A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.96	1.86	電気注入手	原子炉格納機(D)駆動機(注) (T11-0004)	0-02-14	0.090	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能									
格納容器スプレイ系	4A, 4Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (4V-CP-054A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.64	0.54	電気注入手	原子炉格納機(A)駆動機(注) (T11-0002)	0-02-0	0.800	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能									
格納容器スプレイ系	4A, 4Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (4V-CP-056A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.62	0.52	電気注入手	原子炉格納機(B)駆動機(注) (T11-0004)	0-02-20	1.000	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能									
安全注入手	4A, 4B高压注入ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.00	0.50	電気注入手	原子炉格納機(C)駆動機(注) (T11-0004)	0-02-0	0.115	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能									
安全注入手	4A, 4B高压注入ポンプ現場操作箱 (4LB-12, 13)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	電気注入手	原子炉格納機(D)駆動機(注) (T11-0004)	0-02-0	0.120	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能									
安全注入手	4A, 4B高压注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁 (4V-S1-002A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.94	1.94	電気注入手	原子炉格納機(A)駆動機(注) (T11-0002)	0-02-0	0.800	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能									
安全注入手	4A, 4B高压注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁 (4V-S1-015A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	電気注入手	原子炉格納機(B)駆動機(注) (T11-0004)	0-02-0	0.800	①緊急時停止機能 ②事故時のプラント状態の把握機能 ③制御室外からの安全停止機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由	
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(6/9)						表1 防護対象設備一覧 (15/27)						表1 防護対象設備一覧 (15/35)						<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大阪】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>	
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床 [m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]		設定箇所
安全注入系	4A, 4B 高压注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁 (4V-SI-016A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	電気空調系	原子炉補機(3PCC)駆動機(3)	3P-1	原子炉補機	5.120	③④⑤⑥	関連設備	B1-原子炉コントロールセンター(3RCC-B1)	34B-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑤
安全注入系	4A, 4B 高压注入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (4V-SI-093A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.83	1.83	電気空調系	原子炉補機(3PCC)駆動機(2)	3P-2	原子炉補機	5.140	③④⑤⑥	関連設備	B2-原子炉コントロールセンター(3RCC-B2)	34B-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑤
安全注入系	4A, 4B 余熱除去ポンプRWSビット及び再循環サンプ側入口弁 (4V-SI-096A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.99	1.99	電気空調系	原子炉補機(3PCC)駆動機(1)	3P-14	原子炉補機	5.125	③④⑤⑥	関連設備	A1-ババワコントロールセンター(3PCC-A1)	34B-H-N6	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	⑤
安全注入系	4A 高压注入流量(T), 4B 高压注入流量(II) (4PT-962, 963)	原子炉周辺建屋	10.0	11.08	1.08	電気空調系	原子炉補機(3PCC)駆動機(1)	3P-15	原子炉補機	5.025	③④⑤⑥	関連設備	A2-ババワコントロールセンター(3PCC-A2)	34B-H-N6	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	⑤
安全注入系	4燃料取替用水ビット水位 I, II, III, IV (4LT-1400, 1401, 1402, 1403)	原子炉周辺建屋	17.1	18.10	1.00	電気空調系	中央制御室空調機(A)	C-021-1	制御室	5.110	⑦	関連設備	B1-ババワコントロールセンター(3PCC-B1)	34B-H-N1	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	⑤
安全注入系、燃料取替用水系	4燃料取替用水ビット	原子炉周辺建屋	18.5	-	-	電気空調系	中央制御室空調機(A)	C-021-2	制御室	5.110	⑦	関連設備	B2-ババワコントロールセンター(3PCC-B2)	34B-H-N1	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	⑤
燃料取替用水系	4A, 4B 燃料取替用水ポンプ	原子炉周辺建屋	17.1	17.57	0.47	電気空調系	中央制御室再燃燃焼機(A)	C-021-3	制御室	5.125	⑦	関連設備	A-6.6kVメタクラ(3MC-A)	34B-H-N6	原子炉補助建屋	0.15	0.15	個別	⑤
燃料取替用水系	4A, 4B 燃料取替用水ポンプ現場操作箱 (4LB-33, 34)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	電気空調系	中央制御室再燃燃焼機(B)	C-021-3	制御室	5.150	⑦	関連設備	B-6.6kVメタクラ(3MC-B)	34B-H-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.15	個別	⑤
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B 使用済燃料ビット冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	電気空調系	中央制御室再燃燃焼機(燃料)	C-021-1	制御室	5.060	⑦	原子炉補機冷却海水系	A-原子炉補機冷却海水ポンプ(3SRP1A)	3CWP-B-N01	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑥
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B 使用済燃料ビット	原子炉周辺建屋	33.6	-	-	電気空調系	中央制御室少量再燃燃焼機(A)	C-021-1	制御室	5.625	⑦	原子炉補機冷却海水系	B-原子炉補機冷却海水ポンプ(3SRP1B)	3CWP-B-N01	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑥
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B 使用済燃料ビットポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.72	0.72	電気空調系	中央制御室少量再燃燃焼機(B)	C-021-1	制御室	5.650	⑦	原子炉補機冷却海水系	C-原子炉補機冷却海水ポンプ(3SRP1C)	3CWP-B-N02	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑥
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B 使用済燃料ビットポンプ現場操作箱 (4LB-24, 25)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	電気空調系	中央制御室再燃燃焼機(燃料)	C-021-1	制御室	5.960	⑦	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D 主蒸気透がし弁 (4PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉周辺建屋	26.0	37.33	11.33	電気空調系	中央制御室再燃燃焼機(燃料)	C-021-1	制御室	5.125	⑦								
主蒸気系	I, II, III, IV, 4A, 4B, 4C, 4D 主蒸気圧力 (4PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉周辺建屋	29.0	30.00	1.00	電気空調系	中央制御室再燃燃焼機(A)燃料ポンプ	C-021-1	制御室	5.960	⑦								
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D 主蒸気隔離弁 (4V-MS-533A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	33.6	36.78	3.18	電気空調系	中央制御室再燃燃焼機(B)燃料ポンプ	C-021-1	制御室	5.700	⑦								
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D 主蒸気隔離弁 (4V-MS-533A, B, C, D 付属パネル)	原子炉周辺建屋	29.0	29.40	0.40	電気空調系	中央制御室再燃燃焼機(燃料)	C-021-1	制御室	5.960	⑦								
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D 空調用冷凍機	制御建屋	10.0	10.59	0.59	電気空調系	中央制御室再燃燃焼機(B)	C-021-1	制御室	5.960	⑦								
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D 空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0	10.55	0.55	電気空調系	中央制御室再燃燃焼機(B)	C-021-1	制御室	5.960	⑦								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(7/9)

系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上 [m]
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ現場操作箱 (4LB-103, 104, 105, 106)	制御建屋	10.0	11.20	1.20
冷水系	4空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (4V-OH-032, 033)	制御建屋	10.0	11.14	1.14
冷水系	4A, 4B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (4TCV-2878, 2879)	制御建屋	26.1	27.42	1.32
冷水系	34A, 34B安全補機閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2798, 2799)	制御建屋	26.1	27.65	1.55
換気空調系	4換気空調盤 (4VB)	制御建屋	21.8	21.97	0.17
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン	制御建屋	26.1	27.30	1.20
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン現場操作箱 (4LB-101, 102)	制御建屋	26.1	27.30	1.20
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン出口ダンパ (4D-VS-603A, B)	制御建屋	26.1	30.30	4.20
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン出口流量 (4FS-2910, 2911)	制御建屋	26.1	27.40	1.30
換気空調系	4中央制御室温度(1), (2) (4TS-2908, 2909)	制御建屋	21.8	23.20	1.40
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ファン	制御建屋	26.1	26.36	0.26
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ファン現場操作箱 (4LB-95, 96)	制御建屋	26.1	27.30	1.20
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ファン入口ダンパ (4D-VS-604A, B)	制御建屋	26.1	28.00	1.90
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環流量調節ダンパ (4HCP-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.52	1.42
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ダンパ流量設定 (4HC-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.40	1.30
換気空調系	34A, 34B安全補機閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78
換気空調系	34C, 34D安全補機閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78
換気空調系	34A, 34B, 34C, 34D安全補機閉器室空調ファン現場操作箱 (34LB-13, 14, 20, 21)	制御建屋	26.1	27.33	1.23
換気空調系	4安全系電気盤室給気止めダンパA (4D-VS-532, 533)	制御建屋	26.1	29.21	3.11
換気空調系	4安全系電気盤室排気止めダンパA (4D-VS-536)	制御建屋	28.7	31.07	2.37
換気空調系	4安全系電気盤室排気止めダンパB (4D-VS-537)	制御建屋	26.1	29.50	3.40
換気空調系	4A, 4B安全補機閉器室温度 (4TS-2917, 2918)	制御建屋	15.8	17.23	1.43

女川原子力発電所2号炉
表1 防護対象設備一覧 (16/27)

系統	設備	設備番号	設置建屋	E.L. [m]	機能 [※]
換気空調系	計測用発電機(A) 専送機層(A) (131-0501A)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(B) 専送機層(B) (131-0501B)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(C) 専送機層(C) (131-0501C)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(D) 専送機層(D) (131-0501D)	C-021-0	制御建屋	9.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(E) 専送機層(E) (131-0501E)	C-021-0	制御建屋	9.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(F) 専送機層(F) (131-0501F)	C-021-0	制御建屋	9.190	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(G) 専送機層(G) (131-0501G)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(H) 専送機層(H) (131-0501H)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(I) 専送機層(I) (131-0501I)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(J) 専送機層(J) (131-0501J)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(K) 専送機層(K) (131-0501K)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(L) 専送機層(L) (131-0501L)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(M) 専送機層(M) (131-0501M)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(N) 専送機層(N) (131-0501N)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(O) 専送機層(O) (131-0501O)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(P) 専送機層(P) (131-0501P)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(Q) 専送機層(Q) (131-0501Q)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(R) 専送機層(R) (131-0501R)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(S) 専送機層(S) (131-0501S)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(T) 専送機層(T) (131-0501T)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(U) 専送機層(U) (131-0501U)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(V) 専送機層(V) (131-0501V)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(W) 専送機層(W) (131-0501W)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(X) 専送機層(X) (131-0501X)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(Y) 専送機層(Y) (131-0501Y)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
換気空調系	計測用発電機(Z) 専送機層(Z) (131-0501Z)	C-021-0	制御建屋	9.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

泊発電所3号炉
表1 防護対象設備一覧 (16/35)

系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能
原子炉補機冷却海水系	D-原子炉補機冷却海水ポンプ (SSAP1D)	30F19-B-102	循環水ポンプ棟屋	0.20	1.50	個別	㊸
原子炉補機冷却海水系	A-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水出口止め弁 (3V-SW-571A)	38B-K-N4	原子炉棟屋	0.70	0.76	基本	㊸
原子炉補機冷却海水系	B-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水出口止め弁 (3V-SW-571B)	38B-K-N4	原子炉棟屋	0.70	0.75	基本	㊸
原子炉補機冷却海水系	C-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水出口止め弁 (3V-SW-571C)	38B-K-N1	原子炉棟屋	0.70	0.76	基本	㊸
原子炉補機冷却海水系	D-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水出口止め弁 (3V-SW-571D)	38B-K-N1	原子炉棟屋	0.70	0.75	基本	㊸
非常用所内電源系	A-ディーゼル発電機 (3DG-E-N2)	3DG-E-N2	ディーゼル発電機棟屋	0.30	0.38	基本	㊸
非常用所内電源系	B-ディーゼル発電機 (3DG-E-N1)	3DG-E-N1	ディーゼル発電機棟屋	0.30	0.37	基本	㊸
非常用所内電源系	A-ディーゼル機関 (3DGE1A)	3DG-E-N2	ディーゼル発電機棟屋	0.20	0.32	基本	㊸
非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-E-N1	ディーゼル発電機棟屋	0.20	0.32	基本	㊸

相違理由
【大飯】
記載方針の相違
女川審査実績の反映
【女川・大飯】
記載方針の相違
設計方針の相違
・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。
上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）
・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違
【女川】
設計方針の相違
安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由								
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(8/9)				表1 防護対象設備一覧 (17/27)				表1 防護対象設備一覧 (17/35)				<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである</p> <p>「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>								
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床高[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※3} [m]	個別測定高さ ^{※4} [m]	設定箇所	安全機能	
換気空調系	4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.41	0.31	原子炉格納容器取水系(A)	制御用ポンプタンク(A)本体取組取付設備(742-L3H1A)	8-3P-1	原子炉格納容器取水	0.110 ^{※5}	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用								
換気空調系	4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱(4LB-90, 91)	原子炉周辺建屋	17.1	18.40	1.30	原子炉格納容器取水系(A)	制御用ポンプタンク(A)本体取組取付設備(742-L3H1B)	8-3P-1	原子炉格納容器取水	0.110 ^{※5}	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用	A-蓄電池(3BATA)	3AB-H-N7	原子炉補助建屋	0.57	0.57	基本	⑥	
換気空調系	4制御用空気圧縮機室排気ダンパ(A, B (4D-VS-431A, B))	原子炉周辺建屋	17.1	21.50	4.40	原子炉格納容器取水系(A)	制御用ポンプタンク(A)本体取組取付設備(742-L3H1C)	8-3P-1	原子炉格納容器取水	0.110 ^{※5}	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用	B-蓄電池(3BATE)	3AB-H-N3	原子炉補助建屋	0.57	0.57	基本	⑥	
換気空調系	4制御用空気圧縮機室温度(1), (2), (3), (4) (4TS-2771, 2772, 2773, 2774)	原子炉周辺建屋	17.1	18.48	1.38	原子炉格納容器取水系(A)	制御用ポンプタンク(A)本体取組取付設備(742-FD344)	8-3P-11	原子炉格納容器取水	0.555	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	関連設備	A-ディーゼル発電機 コントロールセンタ(3GOC-A)	3PB-H-N11	原子炉建屋	0.10	0.10	個別	⑥	
換気空調系	4A, 4B電動補助給水ポンプ室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.43	0.33	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ(A)(742-C001A)	8-3P-12	高水タンク室	0.275	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	関連設備	B-ディーゼル発電機 コントロールセンタ(3GOC-B)	3PB-H-N10	原子炉建屋	0.10	0.10	個別	⑥	
換気空調系	4A, 4B電動補助給水ポンプ室給気ファン現場操作箱(4LB-86, 87)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ(A)(742-C001B)	8-3P-12	高水タンク室	0.290	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用	A-ディーゼル発電機制御装置 コントロールセンタ(3GCA)	3PB-H-N11	原子炉建屋	0.07	0.07	個別	⑥	
換気空調系	4電動補助給水ポンプ室排気ダンパ(A, B (4D-VS-411A, B))	原子炉周辺建屋	21.3	23.76	2.46	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ(A)(742-C001C)	8-3P-11	高水タンク室	0.370	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用	B-ディーゼル発電機制御装置 コントロールセンタ(3GCB)	3PB-H-N10	原子炉建屋	0.10	0.10	個別	⑥	
換気空調系	4A, 4B電動補助給水ポンプ室温度(1), (2) (4TS-2741, 2742, 2743, 2744)	原子炉周辺建屋	10.0	11.44	1.44	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ(A)(742-C001D)	8-3P-11	高水タンク室	0.405	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用	A-ディーゼル発電機制御装置 コントロールセンタ(3GCA)	3PB-H-N11	原子炉建屋	0.07	0.07	個別	⑥	
換気空調系	4A1, 4A2, 4B1, 4B2ディーゼル発電機室給気ファン	原子炉周辺建屋	33.6	33.91	0.31	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ(A)(742-C001E)	8-3P-11	高水タンク室	0.582	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用	B-ディーゼル発電機制御装置 コントロールセンタ(3GCB)	3PB-H-N10	原子炉建屋	0.07	0.07	個別	⑥	
換気空調系	4A1-A2, 4B1-B2ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱(4LB-84, 85)	原子炉周辺建屋	33.6	34.83	1.23	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ(A)(742-C001F)	8-3P-11	高水タンク室	0.582	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	A-格納容器スプレイポンプ (3CFF1A)	3AB-L-7	原子炉補助建屋	0.63	0.83	基本	⑥	
換気空調系	4ディーゼル発電機室排気ダンパ(A1, A2, B1, B2 (4D-VS-401A, B, 403A, B))	原子炉周辺建屋	10.0	14.00	4.00	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ(A)(742-C001G)	8-3P-11	高水タンク室	0.745	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	B-格納容器スプレイポンプ (3CFF1B)	3AB-L-4	原子炉補助建屋	0.63	0.82	基本	⑥	
換気空調系	4A, 4Bディーゼル発電機室温度(1), (2), (3), (4) (4TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714)	原子炉周辺建屋	10.0	11.18	1.18	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ(A)(742-C001H)	8-3P-11	高水タンク室	0.995	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	A-格納容器スプレイ冷却器 山ロク外側側面弁 (3V-CP-013A)	3PB-E-2	原子炉建屋	1.12	1.29	基本	⑥	
換気空調系	4A, 4B安全補機室冷却ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.92	0.82	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ(A)(742-C001I)	8-3P-11	高水タンク室	0.642	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④緊急停止機能 ⑤緊急停止機能 ⑥緊急停止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能 ※3：安全上特に重要な関連機能 ※4：事故時のプラント状態の把握機能 ※5：制御室外からの安全停止機能 ※6：ビット冷却機能 ※7：放射性物質の閉じ込め機能								
換気空調系	4A, 4B安全補機室冷却ファン現場操作箱(4LB-82, 83)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ(A)(742-C001J)	8-3P-11	高水タンク室	0.545	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩									
換気空調系	4A, 4B安全補機室温度(1), (2) (4TS-2680, 2681, 2690, 2691)	原子炉周辺建屋	10.0	11.28	1.28	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ(A)(742-C001K)	8-3P-11	高水タンク室	0.545	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩									
換気空調系	4A, 4B安全補機室排気ダンパ(4D-VS-105A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	22.63	5.53	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ(A)(742-FD345)	8-3P-11	高水タンク室	0.480	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩									
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室空調ファン	原子炉周辺建屋	10.0	10.59	0.59	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ(A)(742-FD346)	8-3P-11	高水タンク室	0.535	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩									
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室空調ファン現場操作箱(4LB-77, 78)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ(A)(742-FD347)	8-3P-11	高水タンク室	0.535	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩									
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室空調ファン給気加熱フィル	原子炉周辺建屋	10.0	10.46	0.46	原子炉格納容器取水系(A)	非常用給気(3)高水タンク室(742-FD348)	8-3P-11	高水タンク室	0.535	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(9/9)					表1 防護対象設備一覧 (18/27)					表1 防護対象設備一覧 (18/35)					【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・浴では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。 ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。				
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L.+[m]	機能喪失高さ [※] E.L.+[m] 床上[m]	系統	設備	設置番号	設置建屋	E.L.[m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (a)	個別測定高さ ^{※2} (b)	設定箇所	安全機能	
換気空調系	4A,4Bほう酸ポンプ室温度調節計(4TC-2601,2611)	原子炉周辺建屋	10.0	10.70	0.70	原子炉格納容器排水系(3)	格納容器(3)内排水ポンプ(3) (3F-1903B)	3F-19-11	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器	B-格納容器スプレィ冷却器	3B3-E-2	原子炉建屋	1.12	1.44	基本	⑤
換気空調系	4ほう酸タンク室温度(1),(2),(3),(4)(4TS-2602,2603,2612,2613)	原子炉周辺建屋	10.0	11.30	1.30	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.713	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	出口C/V外側隔離弁(3V-CP-013B)						
換気空調系	4A,4B中央制御室非常用循環ファン	制御建屋	29.3	29.93	0.63	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.713	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054A)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.52	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱(4LB-97,98)	制御建屋	29.3	30.50	1.20	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-14	原子炉格納容器建屋	9.565	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ(4D-YS-602A,B)	制御建屋	29.3	29.65	0.35	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ(4HCD-2874,2875)	制御建屋	29.3	30.79	1.49	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ(4HCD-2889,2890)	制御建屋	29.3	29.68	0.38	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ(4HCD-2891,2892)	制御建屋	29.3	31.28	1.98	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4B中央制御室非常用循環ファン出口流量(4FS-2904,2905)	制御建屋	26.1	27.42	1.32	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定(4HC-2874,2875)	制御建屋	29.3	30.91	1.61	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定(4HC-2889,2890)	制御建屋	29.3	30.51	1.21	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4B中央制御室事故時循環ダンパ流量設定(4HC-2891,2892)	制御建屋	29.3	31.31	2.01	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4Bアニュラス空気浄化ファン(4VFS9A,B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.46	0.56	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱(4LB-52,53)	原子炉周辺建屋	20.9	22.10	1.20	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4Bアニュラス排気ダンパ(4D-YS-101A,B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.35	0.45	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4Bアニュラス展りダンパ(4D-YS-104A,B)	原子炉周辺建屋	17.1	19.21	2.11	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4Bアニュラス全量排気弁(4V-YS-102A,B)	原子炉周辺建屋	20.9	22.98	2.08	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A,4Bアニュラス少量排気弁(4V-YS-103A,B)	原子炉周辺建屋	20.9	23.27	2.37	原子炉格納容器排水系(3)	303K格納容器(3)内排水圧力調整弁(3F-1903B)	3F-19-4	原子炉格納容器建屋	9.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレィ系	よう素除去薬品タンク注入ライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤

※ 没水しても機能喪失しない設備は、機能喪失高さを「-」とする。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																														
	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (19/27)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>機能^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高圧中心スプレイ補給内排水</td> <td>高圧中心スプレイタンク排水ポンプ用サーボスイッチ (3F4-13000)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 原子炉層</td> <td>6.070</td> <td>②③④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレイ補給内排水</td> <td>高圧中心スプレイタンク水位差圧伝送器 (3F4-13001)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 原子炉層</td> <td>6.110[※]</td> <td>②③④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレイ補給内排水</td> <td>高圧中心スプレイ補給内排水ポンプ (3F4-13002)</td> <td>3F-1F-4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレイ補給内排水</td> <td>高圧中心スプレイ補給内排水ポンプ (3F4-13003)</td> <td>3F-1F-4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.385</td> <td>②③④⑤</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(A)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) 制動機(C)-1 (3Z1-7301A)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(A)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) 制動機(C)-1 (3Z1-7301C)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(A)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.110</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(A)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.110</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(A)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.220</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(A)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.220</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(A)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.200</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(A)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.180</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(A)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.385</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(A)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.445</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(A)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.490</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(A)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>1.175</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(B)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) 制動機(C)-2 (3Z1-7301B)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(B)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) 制動機(C)-2 (3Z1-7301D)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(B)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301B)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.110</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(B)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301D)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.110</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(B)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301B)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.220</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(B)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301D)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.220</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(B)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301B)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.180</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>電気空調補給機内常用内排水(B)</td> <td>電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301D)</td> <td>0F-0</td> <td>原子炉建屋 行機層</td> <td>0.435</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	機能 ^{※2}	高圧中心スプレイ補給内排水	高圧中心スプレイタンク排水ポンプ用サーボスイッチ (3F4-13000)	0F-0	原子炉建屋 原子炉層	6.070	②③④⑤	高圧中心スプレイ補給内排水	高圧中心スプレイタンク水位差圧伝送器 (3F4-13001)	0F-0	原子炉建屋 原子炉層	6.110 [※]	②③④⑤	高圧中心スプレイ補給内排水	高圧中心スプレイ補給内排水ポンプ (3F4-13002)	3F-1F-4	原子炉建屋	0.000	②③④⑤	高圧中心スプレイ補給内排水	高圧中心スプレイ補給内排水ポンプ (3F4-13003)	3F-1F-4	原子炉建屋	0.385	②③④⑤	電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) 制動機(C)-1 (3Z1-7301A)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) 制動機(C)-1 (3Z1-7301C)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.110	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.110	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.200	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.180	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.385	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.445	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.490	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)	0F-0	原子炉建屋 行機層	1.175	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) 制動機(C)-2 (3Z1-7301B)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) 制動機(C)-2 (3Z1-7301D)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301B)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.110	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301D)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.110	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301B)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301D)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301B)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.180	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301D)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.435	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (19/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉</td> <td>格納容器 スプレイ</td> <td>3B-F-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.85</td> <td>1.12</td> <td>基本</td> <td>②③</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット</td> <td>A-使用済燃料ピットポンプ (3SFP1A)</td> <td>3B-B-7</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.69</td> <td>0.75</td> <td>基本</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット</td> <td>B-使用済燃料ピットポンプ (3SFP1B)</td> <td>3B-B-7</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.69</td> <td>0.76</td> <td>基本</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>A-高圧注入ポンプ (3SIP1A)</td> <td>3AB-L-9 (3AB-L-9)</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.33</td> <td>0.32</td> <td>個別</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>B-高圧注入ポンプ (3SIP1B)</td> <td>3AB-L-2 (3AB-L-3)</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.33</td> <td>0.32</td> <td>個別</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料取替用 水ピット側入口弁</td> <td>3AB-B-9 (3V-S1-002A)</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>1.84</td> <td>個別</td> <td>②④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>B-高圧注入ポンプ燃料取替用 水ピット側入口弁</td> <td>3AB-B-2 (3V-S1-002B)</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>1.84</td> <td>個別</td> <td>②④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>A-高圧注入ポンプ第1ミニロー弁 (3V-S1-014A)</td> <td>3AB-K-22</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.72</td> <td>0.72</td> <td>基本</td> <td>②④</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：設水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	原子炉	格納容器 スプレイ	3B-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	②③	使用済燃料ピット	A-使用済燃料ピットポンプ (3SFP1A)	3B-B-7	原子炉建屋	0.69	0.75	基本	②	使用済燃料ピット	B-使用済燃料ピットポンプ (3SFP1B)	3B-B-7	原子炉建屋	0.69	0.76	基本	②	高圧注入系	A-高圧注入ポンプ (3SIP1A)	3AB-L-9 (3AB-L-9)	原子炉補助建屋	0.33	0.32	個別	②④	高圧注入系	B-高圧注入ポンプ (3SIP1B)	3AB-L-2 (3AB-L-3)	原子炉補助建屋	0.33	0.32	個別	②④	高圧注入系	A-高圧注入ポンプ燃料取替用 水ピット側入口弁	3AB-B-9 (3V-S1-002A)	原子炉補助建屋	0.80	1.84	個別	②④⑤	高圧注入系	B-高圧注入ポンプ燃料取替用 水ピット側入口弁	3AB-B-2 (3V-S1-002B)	原子炉補助建屋	0.80	1.84	個別	②④⑤	高圧注入系	A-高圧注入ポンプ第1ミニロー弁 (3V-S1-014A)	3AB-K-22	原子炉補助建屋	0.72	0.72	基本	②④	<p>【女川】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	機能 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																												
高圧中心スプレイ補給内排水	高圧中心スプレイタンク排水ポンプ用サーボスイッチ (3F4-13000)	0F-0	原子炉建屋 原子炉層	6.070	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																												
高圧中心スプレイ補給内排水	高圧中心スプレイタンク水位差圧伝送器 (3F4-13001)	0F-0	原子炉建屋 原子炉層	6.110 [※]	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																												
高圧中心スプレイ補給内排水	高圧中心スプレイ補給内排水ポンプ (3F4-13002)	3F-1F-4	原子炉建屋	0.000	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																												
高圧中心スプレイ補給内排水	高圧中心スプレイ補給内排水ポンプ (3F4-13003)	3F-1F-4	原子炉建屋	0.385	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) 制動機(C)-1 (3Z1-7301A)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) 制動機(C)-1 (3Z1-7301C)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.110	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.110	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.200	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.180	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.385	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.445	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301A)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.490	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(A)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301C)	0F-0	原子炉建屋 行機層	1.175	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) 制動機(C)-2 (3Z1-7301B)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) 制動機(C)-2 (3Z1-7301D)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301B)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.110	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301D)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.110	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301B)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301D)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301B)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.180	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
電気空調補給機内常用内排水(B)	電気空調補給機内常用内排水ポンプ兼冷却機(C) (3Z1-7301D)	0F-0	原子炉建屋 行機層	0.435	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																												
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																										
原子炉	格納容器 スプレイ	3B-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	②③																																																																																																																																																																																																																										
使用済燃料ピット	A-使用済燃料ピットポンプ (3SFP1A)	3B-B-7	原子炉建屋	0.69	0.75	基本	②																																																																																																																																																																																																																										
使用済燃料ピット	B-使用済燃料ピットポンプ (3SFP1B)	3B-B-7	原子炉建屋	0.69	0.76	基本	②																																																																																																																																																																																																																										
高圧注入系	A-高圧注入ポンプ (3SIP1A)	3AB-L-9 (3AB-L-9)	原子炉補助建屋	0.33	0.32	個別	②④																																																																																																																																																																																																																										
高圧注入系	B-高圧注入ポンプ (3SIP1B)	3AB-L-2 (3AB-L-3)	原子炉補助建屋	0.33	0.32	個別	②④																																																																																																																																																																																																																										
高圧注入系	A-高圧注入ポンプ燃料取替用 水ピット側入口弁	3AB-B-9 (3V-S1-002A)	原子炉補助建屋	0.80	1.84	個別	②④⑤																																																																																																																																																																																																																										
高圧注入系	B-高圧注入ポンプ燃料取替用 水ピット側入口弁	3AB-B-2 (3V-S1-002B)	原子炉補助建屋	0.80	1.84	個別	②④⑤																																																																																																																																																																																																																										
高圧注入系	A-高圧注入ポンプ第1ミニロー弁 (3V-S1-014A)	3AB-K-22	原子炉補助建屋	0.72	0.72	基本	②④																																																																																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																
	<p align="center">表1 防護対象設備一覧 (20/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置種別</th> <th>E.L.^{※1}(m)</th> <th>機能^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>電気空調機用配管内部水</td><td>高圧冷却機(1)冷水出口高差 (322-F2002)</td><td>B-03-4</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>電気空調機用配管内部水</td><td>高圧冷却機(2)冷水出口高差 (322-F2003)</td><td>B-03-4</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>電気空調機用配管内部水</td><td>高圧冷却機(3)冷水出口高差 (322-F2004)</td><td>B-03-4</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>1.175</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>原子炉制御室制御盤</td><td>原子炉制御室制御盤 (301)</td><td>C-02-1</td><td>制御室</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>原子炉制御室端子盤</td><td>原子炉制御室端子盤 (302)</td><td>C-02-1</td><td>制御室</td><td>9.200</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>原子炉制御室端子盤</td><td>原子炉制御室端子盤 (303)</td><td>C-02-2</td><td>制御室</td><td>9.200</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>原子炉制御室端子盤</td><td>原子炉制御室端子盤 (304)</td><td>C-02-2</td><td>制御室</td><td>9.200</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>原子炉制御室原子炉炉心監視装置</td><td>原子炉制御室原子炉炉心監視装置 (305)</td><td>C-04-F-1</td><td>制御室</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(A)</td><td>圧入 モーター A-2C (322-F101)</td><td>B-03-F-6</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(A)</td><td>圧入 F/C 4-2C (322-F101)</td><td>B-03-F-6</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(A)</td><td>圧入 400V MFC 2C-1 (322-F102)</td><td>B-03-F-4</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(A)</td><td>圧入 400V MFC 2C-2 (322-F103)</td><td>B-03-F-4</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(A)</td><td>圧入 400V MFC 2C-3 (322-F104)</td><td>B-03-F-4</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(A)</td><td>圧入 400V MFC 2C-4 (322-F105)</td><td>B-03-F-4</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(A)</td><td>圧入 400V MFC 2C-5 (322-F106)</td><td>B-03-F-4</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(A)</td><td>圧入 400V MFC 2C-1 (322-F107)</td><td>C-03-F-3</td><td>制御室</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(A)</td><td>圧入 400V MFC 2C-2 (322-F108)</td><td>C-03-F-3</td><td>制御室</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(A)</td><td>圧入 400V MFC 2C-3 (322-F109)</td><td>C-03-F-3</td><td>制御室</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(A)</td><td>圧入 400V MFC 2C-4 (322-F110)</td><td>C-03-F-3</td><td>制御室</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(B)</td><td>圧入 モーター B-2B (322-F102)</td><td>B-03-F-10</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(B)</td><td>圧入 F/C 4-2B (322-F102)</td><td>B-03-F-10</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(B)</td><td>圧入 400V MFC 2B-1 (322-F103)</td><td>B-03-F-12</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> <tr><td>非常用AC(B)</td><td>圧入 400V MFC 2B-2 (322-F104)</td><td>B-03-F-12</td><td>原子炉建屋 付属機</td><td>9.000</td><td>②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：圧水により機能喪失する床面からの高さ（E.L.は高さ0.000mを基準） ※2：①緊急停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④緊急停止機能 ⑤緊急停止機能 ⑥緊急停止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能 ⑪緊急停止機能 ⑫緊急停止機能 ⑬緊急停止機能 ⑭緊急停止機能 ⑮緊急停止機能 ⑯緊急停止機能 ⑰緊急停止機能 ⑱緊急停止機能</p>	系統	設備	区画番号	設置種別	E.L. ^{※1} (m)	機能 ^{※2}	電気空調機用配管内部水	高圧冷却機(1)冷水出口高差 (322-F2002)	B-03-4	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	電気空調機用配管内部水	高圧冷却機(2)冷水出口高差 (322-F2003)	B-03-4	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	電気空調機用配管内部水	高圧冷却機(3)冷水出口高差 (322-F2004)	B-03-4	原子炉建屋 付属機	1.175	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	原子炉制御室制御盤	原子炉制御室制御盤 (301)	C-02-1	制御室	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	原子炉制御室端子盤	原子炉制御室端子盤 (302)	C-02-1	制御室	9.200	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	原子炉制御室端子盤	原子炉制御室端子盤 (303)	C-02-2	制御室	9.200	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	原子炉制御室端子盤	原子炉制御室端子盤 (304)	C-02-2	制御室	9.200	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	原子炉制御室原子炉炉心監視装置	原子炉制御室原子炉炉心監視装置 (305)	C-04-F-1	制御室	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(A)	圧入 モーター A-2C (322-F101)	B-03-F-6	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(A)	圧入 F/C 4-2C (322-F101)	B-03-F-6	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-1 (322-F102)	B-03-F-4	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-2 (322-F103)	B-03-F-4	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-3 (322-F104)	B-03-F-4	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-4 (322-F105)	B-03-F-4	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-5 (322-F106)	B-03-F-4	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-1 (322-F107)	C-03-F-3	制御室	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-2 (322-F108)	C-03-F-3	制御室	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-3 (322-F109)	C-03-F-3	制御室	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-4 (322-F110)	C-03-F-3	制御室	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(B)	圧入 モーター B-2B (322-F102)	B-03-F-10	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(B)	圧入 F/C 4-2B (322-F102)	B-03-F-10	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(B)	圧入 400V MFC 2B-1 (322-F103)	B-03-F-12	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	非常用AC(B)	圧入 400V MFC 2B-2 (322-F104)	B-03-F-12	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	<p align="center">表1 防護対象設備一覧 (20/35)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置種別</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>高圧注入系</td><td>A-高圧注入ポンプ第2ミニンロー弁 (3V-SI-015A)</td><td>3AB-K-22</td><td>原子炉補助 建屋</td><td>0.72</td><td>0.72</td><td>基本</td><td>②④</td></tr> <tr><td>高圧注入系</td><td>B-高圧注入ポンプ第1ミニンロー弁 (3V-SI-014B)</td><td>3AB-K-12</td><td>原子炉補助 建屋</td><td>0.72</td><td>0.73</td><td>基本</td><td>②④</td></tr> <tr><td>高圧注入系</td><td>B-高圧注入ポンプ第2ミニンロー弁 (3V-SI-015B)</td><td>3AB-K-13</td><td>原子炉補助 建屋</td><td>0.72</td><td>0.73</td><td>基本</td><td>②④</td></tr> <tr><td>高圧注入系</td><td>A-高圧注入ポンプ出口C/V外側隔離弁 (3V-SI-020A)</td><td>3AB-K-21</td><td>原子炉補助 建屋</td><td>0.93</td><td>1.01</td><td>個別</td><td>②④</td></tr> <tr><td>高圧注入系</td><td>B-高圧注入ポンプ出口C/V外側隔離弁 (3V-SI-020B)</td><td>3AB-K-13</td><td>原子炉補助 建屋</td><td>0.93</td><td>1.00</td><td>個別</td><td>②④</td></tr> <tr><td>高圧注入系</td><td>ほう酸注入タンク入口弁A (3V-SI-032A)</td><td>3AB-F-23</td><td>原子炉補助 建屋</td><td>0.89</td><td>0.98</td><td>基本</td><td>②④</td></tr> <tr><td>高圧注入系</td><td>ほう酸注入タンク入口弁B (3V-SI-032B)</td><td>3AB-F-23</td><td>原子炉補助 建屋</td><td>0.89</td><td>0.98</td><td>基本</td><td>②④</td></tr> <tr><td>高圧注入系</td><td>ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A (3V-SI-036A)</td><td>3BB-E-2</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>1.10</td><td>基本</td><td>②④⑤</td></tr> <tr><td>高圧注入系</td><td>ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B (3V-SI-036B)</td><td>3BB-E-2</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>1.09</td><td>基本</td><td>②④⑤</td></tr> <tr><td>高圧注入系</td><td>補助高圧注入ラインC/V外側隔離弁 (3V-SI-051)</td><td>3BB-E-2</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>1.10</td><td>基本</td><td>④⑤</td></tr> <tr><td>高圧注入系</td><td>A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-054A)</td><td>3BB-J-2</td><td>原子炉建屋</td><td>2.90</td><td>3.86</td><td>基本</td><td>④⑤</td></tr> <tr><td>高圧注入系</td><td>B-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-054B)</td><td>3BB-J-1</td><td>原子炉建屋</td><td>2.90</td><td>4.07</td><td>個別</td><td>④⑤</td></tr> <tr><td>燃料取扱用水系</td><td>A-燃料取扱用水ポンプ (SRFP1A)</td><td>3BB-D-1</td><td>原子炉建屋</td><td>0.51</td><td>0.53</td><td>基本</td><td>⑧</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：投水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全弁に重要な閉鎖機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置種別	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	高圧注入系	A-高圧注入ポンプ第2ミニンロー弁 (3V-SI-015A)	3AB-K-22	原子炉補助 建屋	0.72	0.72	基本	②④	高圧注入系	B-高圧注入ポンプ第1ミニンロー弁 (3V-SI-014B)	3AB-K-12	原子炉補助 建屋	0.72	0.73	基本	②④	高圧注入系	B-高圧注入ポンプ第2ミニンロー弁 (3V-SI-015B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	0.72	0.73	基本	②④	高圧注入系	A-高圧注入ポンプ出口C/V外側隔離弁 (3V-SI-020A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	0.93	1.01	個別	②④	高圧注入系	B-高圧注入ポンプ出口C/V外側隔離弁 (3V-SI-020B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	0.93	1.00	個別	②④	高圧注入系	ほう酸注入タンク入口弁A (3V-SI-032A)	3AB-F-23	原子炉補助 建屋	0.89	0.98	基本	②④	高圧注入系	ほう酸注入タンク入口弁B (3V-SI-032B)	3AB-F-23	原子炉補助 建屋	0.89	0.98	基本	②④	高圧注入系	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A (3V-SI-036A)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	②④⑤	高圧注入系	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B (3V-SI-036B)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.09	基本	②④⑤	高圧注入系	補助高圧注入ラインC/V外側隔離弁 (3V-SI-051)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	④⑤	高圧注入系	A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-054A)	3BB-J-2	原子炉建屋	2.90	3.86	基本	④⑤	高圧注入系	B-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-054B)	3BB-J-1	原子炉建屋	2.90	4.07	個別	④⑤	燃料取扱用水系	A-燃料取扱用水ポンプ (SRFP1A)	3BB-D-1	原子炉建屋	0.51	0.53	基本	⑧	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置種別	E.L. ^{※1} (m)	機能 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																														
電気空調機用配管内部水	高圧冷却機(1)冷水出口高差 (322-F2002)	B-03-4	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
電気空調機用配管内部水	高圧冷却機(2)冷水出口高差 (322-F2003)	B-03-4	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
電気空調機用配管内部水	高圧冷却機(3)冷水出口高差 (322-F2004)	B-03-4	原子炉建屋 付属機	1.175	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
原子炉制御室制御盤	原子炉制御室制御盤 (301)	C-02-1	制御室	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
原子炉制御室端子盤	原子炉制御室端子盤 (302)	C-02-1	制御室	9.200	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
原子炉制御室端子盤	原子炉制御室端子盤 (303)	C-02-2	制御室	9.200	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
原子炉制御室端子盤	原子炉制御室端子盤 (304)	C-02-2	制御室	9.200	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
原子炉制御室原子炉炉心監視装置	原子炉制御室原子炉炉心監視装置 (305)	C-04-F-1	制御室	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(A)	圧入 モーター A-2C (322-F101)	B-03-F-6	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(A)	圧入 F/C 4-2C (322-F101)	B-03-F-6	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-1 (322-F102)	B-03-F-4	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-2 (322-F103)	B-03-F-4	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-3 (322-F104)	B-03-F-4	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-4 (322-F105)	B-03-F-4	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-5 (322-F106)	B-03-F-4	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-1 (322-F107)	C-03-F-3	制御室	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-2 (322-F108)	C-03-F-3	制御室	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-3 (322-F109)	C-03-F-3	制御室	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(A)	圧入 400V MFC 2C-4 (322-F110)	C-03-F-3	制御室	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(B)	圧入 モーター B-2B (322-F102)	B-03-F-10	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(B)	圧入 F/C 4-2B (322-F102)	B-03-F-10	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(B)	圧入 400V MFC 2B-1 (322-F103)	B-03-F-12	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
非常用AC(B)	圧入 400V MFC 2B-2 (322-F104)	B-03-F-12	原子炉建屋 付属機	9.000	②③④⑤⑥ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱																																																																																																																																																																																																																																																														
系統	設備	区画番号	設置種別	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系	A-高圧注入ポンプ第2ミニンロー弁 (3V-SI-015A)	3AB-K-22	原子炉補助 建屋	0.72	0.72	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系	B-高圧注入ポンプ第1ミニンロー弁 (3V-SI-014B)	3AB-K-12	原子炉補助 建屋	0.72	0.73	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系	B-高圧注入ポンプ第2ミニンロー弁 (3V-SI-015B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	0.72	0.73	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系	A-高圧注入ポンプ出口C/V外側隔離弁 (3V-SI-020A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	0.93	1.01	個別	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系	B-高圧注入ポンプ出口C/V外側隔離弁 (3V-SI-020B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	0.93	1.00	個別	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系	ほう酸注入タンク入口弁A (3V-SI-032A)	3AB-F-23	原子炉補助 建屋	0.89	0.98	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系	ほう酸注入タンク入口弁B (3V-SI-032B)	3AB-F-23	原子炉補助 建屋	0.89	0.98	基本	②④																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A (3V-SI-036A)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	②④⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B (3V-SI-036B)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.09	基本	②④⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系	補助高圧注入ラインC/V外側隔離弁 (3V-SI-051)	3BB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系	A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-054A)	3BB-J-2	原子炉建屋	2.90	3.86	基本	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
高圧注入系	B-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-054B)	3BB-J-1	原子炉建屋	2.90	4.07	個別	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料取扱用水系	A-燃料取扱用水ポンプ (SRFP1A)	3BB-D-1	原子炉建屋	0.51	0.53	基本	⑧																																																																																																																																																																																																																																																												

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第9条 溢水による損傷の防止等 (別添1 添付資料4)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>表1 防護対象設備一覧 (25/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設備番号</th> <th>設置場所</th> <th>SL¹⁾(m)</th> <th>機能²⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>機関連検度 (3) ボジションスイッチ (3K3-FS236)</td><td>0-17-18</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.820</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>燃料ハンドラム取込装置 (3) ボジションスイッチ (3K3-FS236)</td><td>0-17-18</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.820</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>機関付直巻ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-FS238-1)</td><td>0-17-18</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>1.853</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>機関付直巻ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-FS238-2)</td><td>0-17-18</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>1.853</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>機関 (3) A12 潤滑油圧力スイッチ (3K3-FS177F-1)</td><td>0-17-18</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>1.035</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>機関 (3) A11 潤滑油圧力スイッチ (3K3-FS177F-2)</td><td>0-17-18</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>1.035</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>装置用 (3) 1) 減圧器 (3K3-FS269)</td><td>0-17-18</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.810</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>3/5 (3) 第一起動弁 (3K3-S0-F312)</td><td>0-17-18</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.733</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>3/5 (3) 第二起動弁 (3K3-S0-F313)</td><td>0-17-18</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.733</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>3/5 (3) 第一止弁 (3K3-S0-F314)</td><td>0-17-18</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.733</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>3/5 (3) 第二止弁 (3K3-S0-F315)</td><td>0-17-18</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.733</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>機関 (3) (3)12 ディーゼル油冷却温度スイッチ (3K3-FS268)</td><td>0-17-18</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>1.853</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>機関付直巻ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-FS238)</td><td>0-17-18</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>1.853</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)1-P25(3)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.000</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)2-P25(3)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.000</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)3-P25(3)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.000</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)4-P25(3)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.000</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)5-P25(3)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.000</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPC3 非非用ディーゼル発電機 M4層 (3)1-P25(3)</td><td>0-12-F-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.000</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPC3 非非用ディーゼル発電機 M5層 (3)1-P25(3)</td><td>0-12-F-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.000</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPC3 非非用ディーゼル発電機 PT-1層 (3)1-P25(3)</td><td>0-12-F-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.000</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPC3 非非用ディーゼル発電機 PT-2層 (3)1-P25(3)</td><td>0-12-F-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.000</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>排水冷却器 (3)4-30(3)</td><td>0-17-18</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.803</td><td>①②③④</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：図面より機能喪失する床面からの高さ (※1.高さ0.000を考慮) ※2：①緊急停止機能 ②冷却水維持機能 ③冷却停止機能 ④燃料供給停止機能 ⑤燃料供給停止機能 ⑥燃料供給停止機能 ⑦燃料供給停止機能 ⑧燃料供給停止機能 ⑨燃料供給停止機能 ⑩燃料供給停止機能 ⑪燃料供給停止機能 ⑫燃料供給停止機能 ⑬燃料供給停止機能 ⑭燃料供給停止機能 ⑮燃料供給停止機能 ⑯燃料供給停止機能 ⑰燃料供給停止機能 ⑱燃料供給停止機能 ⑲燃料供給停止機能 ⑳燃料供給停止機能 ㉑燃料供給停止機能 ㉒燃料供給停止機能 ㉓燃料供給停止機能 ㉔燃料供給停止機能 ㉕燃料供給停止機能 ㉖燃料供給停止機能 ㉗燃料供給停止機能 ㉘燃料供給停止機能 ㉙燃料供給停止機能 ㉚燃料供給停止機能 ㉛燃料供給停止機能 ㉜燃料供給停止機能 ㉝燃料供給停止機能 ㉞燃料供給停止機能 ㉟燃料供給停止機能</p>	系統	設備	設備番号	設置場所	SL ¹⁾ (m)	機能 ²⁾	発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関連検度 (3) ボジションスイッチ (3K3-FS236)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.820	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	発電用ディーゼル発電設備 (3)	燃料ハンドラム取込装置 (3) ボジションスイッチ (3K3-FS236)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.820	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関付直巻ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-FS238-1)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	1.853	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関付直巻ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-FS238-2)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	1.853	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) A12 潤滑油圧力スイッチ (3K3-FS177F-1)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	1.035	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) A11 潤滑油圧力スイッチ (3K3-FS177F-2)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	1.035	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	発電用ディーゼル発電設備 (3)	装置用 (3) 1) 減圧器 (3K3-FS269)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.810	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第一起動弁 (3K3-S0-F312)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.733	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第二起動弁 (3K3-S0-F313)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.733	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第一止弁 (3K3-S0-F314)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.733	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第二止弁 (3K3-S0-F315)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.733	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) (3)12 ディーゼル油冷却温度スイッチ (3K3-FS268)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	1.853	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関付直巻ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-FS238)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	1.853	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)1-P25(3)	0-14-15	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)2-P25(3)	0-14-15	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)3-P25(3)	0-14-15	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)4-P25(3)	0-14-15	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)5-P25(3)	0-14-15	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機 M4層 (3)1-P25(3)	0-12-F-4	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機 M5層 (3)1-P25(3)	0-12-F-4	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機 PT-1層 (3)1-P25(3)	0-12-F-4	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機 PT-2層 (3)1-P25(3)	0-12-F-4	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	排水冷却器 (3)4-30(3)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.803	①②③④	<p>表1 防護対象設備一覧 (25/35)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置場所</th> <th>基本設定高さ¹⁾(m)</th> <th>個別測定高さ²⁾(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)</td><td>30B-F-N10</td><td>原子炉建屋</td><td>0.20</td><td>0.19</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調</td><td>B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59B)</td><td>30B-F-N10</td><td>原子炉建屋</td><td>0.20</td><td>0.19</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調</td><td>C-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59C)</td><td>30B-F-N8</td><td>原子炉建屋</td><td>0.20</td><td>0.19</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調</td><td>D-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59D)</td><td>30B-F-N8</td><td>原子炉建屋</td><td>0.20</td><td>0.19</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)</td><td>30B-F-N8</td><td>原子炉建屋</td><td>0.20</td><td>0.19</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)</td><td>30B-F-N10</td><td>原子炉建屋</td><td>5.07</td><td>4.11</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調</td><td>B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59B)</td><td>30B-F-N8</td><td>原子炉建屋</td><td>5.07</td><td>4.11</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)</td><td>30B-F-N10</td><td>原子炉建屋</td><td>1.44</td><td>1.44</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調</td><td>B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59B)</td><td>30B-F-N8</td><td>原子炉建屋</td><td>1.44</td><td>1.44</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)</td><td>30G-F-N2</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.67</td><td>5.80</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)</td><td>30G-F-N2</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.67</td><td>5.79</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)</td><td>30G-F-N2</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.17</td><td>5.21</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調</td><td>A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)</td><td>30G-F-N2</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.17</td><td>5.21</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調</td><td>B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59B)</td><td>30G-F-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.67</td><td>5.16</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：図面により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②冷却水維持機能 ③冷却停止機能 ④燃料供給停止機能 ⑤燃料供給停止機能 ⑥燃料供給停止機能 ⑦燃料供給停止機能 ⑧燃料供給停止機能 ⑨燃料供給停止機能 ⑩燃料供給停止機能 ⑪燃料供給停止機能 ⑫燃料供給停止機能 ⑬燃料供給停止機能 ⑭燃料供給停止機能 ⑮燃料供給停止機能 ⑯燃料供給停止機能 ⑰燃料供給停止機能 ⑱燃料供給停止機能 ⑲燃料供給停止機能 ⑳燃料供給停止機能 ㉑燃料供給停止機能 ㉒燃料供給停止機能 ㉓燃料供給停止機能 ㉔燃料供給停止機能 ㉕燃料供給停止機能 ㉖燃料供給停止機能 ㉗燃料供給停止機能 ㉘燃料供給停止機能 ㉙燃料供給停止機能 ㉚燃料供給停止機能 ㉛燃料供給停止機能 ㉜燃料供給停止機能 ㉝燃料供給停止機能 ㉞燃料供給停止機能 ㉟燃料供給停止機能 ㊱安全上特に重要な関連機能 ㊲事故時のプラント状態の把握機能 ㊳制御室外からの安全停止機能 ㊴ピット冷却機能 ㊵ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置場所	基本設定高さ ¹⁾ (m)	個別測定高さ ²⁾ (m)	設定箇所	安全機能	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30B-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤	換気空調	B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59B)	30B-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤	換気空調	C-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59C)	30B-F-N8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤	換気空調	D-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59D)	30B-F-N8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30B-F-N8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30B-F-N10	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑤	換気空調	B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59B)	30B-F-N8	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑤	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30B-F-N10	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑤	換気空調	B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59B)	30B-F-N8	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑤	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30G-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.80	基本	⑤	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30G-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.79	基本	⑤	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30G-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑤	換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30G-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑤	換気空調	B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59B)	30G-F-N1	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.16	基本	⑤	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u> ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。(島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様) ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 ・安全機能に関しては、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	設備番号	設置場所	SL ¹⁾ (m)	機能 ²⁾																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関連検度 (3) ボジションスイッチ (3K3-FS236)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.820	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	燃料ハンドラム取込装置 (3) ボジションスイッチ (3K3-FS236)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.820	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関付直巻ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-FS238-1)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	1.853	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関付直巻ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-FS238-2)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	1.853	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) A12 潤滑油圧力スイッチ (3K3-FS177F-1)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	1.035	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) A11 潤滑油圧力スイッチ (3K3-FS177F-2)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	1.035	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	装置用 (3) 1) 減圧器 (3K3-FS269)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.810	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第一起動弁 (3K3-S0-F312)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.733	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第二起動弁 (3K3-S0-F313)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.733	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第一止弁 (3K3-S0-F314)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.733	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第二止弁 (3K3-S0-F315)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.733	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) (3)12 ディーゼル油冷却温度スイッチ (3K3-FS268)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	1.853	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関付直巻ポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-FS238)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	1.853	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)1-P25(3)	0-14-15	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)2-P25(3)	0-14-15	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)3-P25(3)	0-14-15	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)4-P25(3)	0-14-15	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機冷却制御装置 (3)5-P25(3)	0-14-15	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機 M4層 (3)1-P25(3)	0-12-F-4	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機 M5層 (3)1-P25(3)	0-12-F-4	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機 PT-1層 (3)1-P25(3)	0-12-F-4	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPC3 非非用ディーゼル発電機 PT-2層 (3)1-P25(3)	0-12-F-4	原子炉建屋 行機構	0.000	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (3)	排水冷却器 (3)4-30(3)	0-17-18	原子炉建屋 行機構	0.803	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																						
系統	設備	区画番号	設置場所	基本設定高さ ¹⁾ (m)	個別測定高さ ²⁾ (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30B-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調	B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59B)	30B-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調	C-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59C)	30B-F-N8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調	D-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59D)	30B-F-N8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30B-F-N8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30B-F-N10	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調	B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59B)	30B-F-N8	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30B-F-N10	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調	B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59B)	30B-F-N8	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30G-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.80	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30G-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.79	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30G-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59A)	30G-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調	B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3WSF59B)	30G-F-N1	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.16	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>表1 防護対象設備一覧 (26/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設備番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>高さ^{※1}(m)</th> <th>機能^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-4010)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.940</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>高圧中心ホブレイド発電機 (344-0001)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.245</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>高圧中心ホブレイド発電機 (344-0002)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.965</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0003)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.905</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0100)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.940</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.370</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>燃料移送ポンプ (344-0200)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.410</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>オイルパン (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.970</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.145</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.145</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.907</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>燃料ポンプ (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.970</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>2.455</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>2.455</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.485</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.485</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.145</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.745</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.745</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.230</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.230</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>2.455</td><td>④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)</td><td>機油冷却装置 (344-0300)</td><td>0-07-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.485</td><td>④⑤⑥</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	設備番号	設置棟屋	高さ ^{※1} (m)	機能 ^{※2}	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-4010)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.940	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	高圧中心ホブレイド発電機 (344-0001)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	1.245	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	高圧中心ホブレイド発電機 (344-0002)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.965	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0003)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.905	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0100)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.940	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.370	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	燃料移送ポンプ (344-0200)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.410	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	オイルパン (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.970	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.145	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.145	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.907	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	燃料ポンプ (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.970	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	2.455	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	2.455	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	1.485	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	1.485	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.145	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.745	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.745	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.230	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.230	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	2.455	④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	1.485	④⑤⑥	<p>表1 防護対象設備一覧 (26/35)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調系</td><td>B-ディーゼル発電機室内 空気温度 (2) (3TS-2750)</td><td>3DG-01-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.07</td><td>5.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-ディーゼル発電機室内 空気温度 (3) (3TS-2753)</td><td>3DG-01-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>0.92</td><td>4.41</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-ディーゼル発電機室内 空気温度 (4) (3TS-2754)</td><td>3DG-01-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>0.92</td><td>4.42</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40A)</td><td>3RB-01-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>4.4</td><td>4.55</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40B)</td><td>3RB-01-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>4.4</td><td>4.54</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHCD-2670)</td><td>3RB-01-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>4.90</td><td>4.53</td><td>個別</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHCD-2680)</td><td>3RB-01-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>4.90</td><td>4.54</td><td>個別</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ/流量設定器 (SHC-2670)</td><td>3RB-01-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>5.44</td><td>5.44</td><td>基本</td><td>④</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ/流量設定器 (SHC-2680)</td><td>3RB-01-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>5.44</td><td>5.45</td><td>基本</td><td>④</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室内 空気温度 (1) (3TS-2671)</td><td>3RB-01-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.39</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室内 空気温度 (2) (3TS-2672)</td><td>3RB-01-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.40</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室内 空気温度 (1) (3TS-2681)</td><td>3RB-01-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.40</td><td>基本</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：放水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能</p> <p>⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-ディーゼル発電機室内 空気温度 (2) (3TS-2750)	3DG-01-N1	ディーゼル発電機建屋	1.07	5.16	基本	⑥	換気空調系	B-ディーゼル発電機室内 空気温度 (3) (3TS-2753)	3DG-01-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.41	基本	⑥	換気空調系	B-ディーゼル発電機室内 空気温度 (4) (3TS-2754)	3DG-01-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.42	基本	⑥	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40A)	3RB-01-N6	原子炉建屋	4.4	4.55	基本	③	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40B)	3RB-01-N7	原子炉建屋	4.4	4.54	基本	③	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHCD-2670)	3RB-01-N6	原子炉建屋	4.90	4.53	個別	③	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHCD-2680)	3RB-01-N7	原子炉建屋	4.90	4.54	個別	③	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ/流量設定器 (SHC-2670)	3RB-01-N6	原子炉建屋	5.44	5.44	基本	④	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ/流量設定器 (SHC-2680)	3RB-01-N7	原子炉建屋	5.44	5.45	基本	④	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室内 空気温度 (1) (3TS-2671)	3RB-01-N6	原子炉建屋	1.42	5.39	基本	③	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室内 空気温度 (2) (3TS-2672)	3RB-01-N6	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室内 空気温度 (1) (3TS-2681)	3RB-01-N7	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6、7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	設備番号	設置棟屋	高さ ^{※1} (m)	機能 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-4010)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.940	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	高圧中心ホブレイド発電機 (344-0001)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	1.245	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	高圧中心ホブレイド発電機 (344-0002)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.965	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0003)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.905	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0100)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.940	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.370	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	燃料移送ポンプ (344-0200)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.410	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	オイルパン (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.970	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.145	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.145	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.907	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	燃料ポンプ (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.970	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	2.455	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	2.455	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	1.485	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	1.485	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.145	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.745	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.745	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.230	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	0.230	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	2.455	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
発電用ディーゼル発電設備 (DPSG)	機油冷却装置 (344-0300)	0-07-15	原子炉建屋 行機庫	1.485	④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																						
系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-ディーゼル発電機室内 空気温度 (2) (3TS-2750)	3DG-01-N1	ディーゼル発電機建屋	1.07	5.16	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-ディーゼル発電機室内 空気温度 (3) (3TS-2753)	3DG-01-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.41	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-ディーゼル発電機室内 空気温度 (4) (3TS-2754)	3DG-01-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.42	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40A)	3RB-01-N6	原子炉建屋	4.4	4.55	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40B)	3RB-01-N7	原子炉建屋	4.4	4.54	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHCD-2670)	3RB-01-N6	原子炉建屋	4.90	4.53	個別	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHCD-2680)	3RB-01-N7	原子炉建屋	4.90	4.54	個別	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ/流量設定器 (SHC-2670)	3RB-01-N6	原子炉建屋	5.44	5.44	基本	④																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ/流量設定器 (SHC-2680)	3RB-01-N7	原子炉建屋	5.44	5.45	基本	④																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室内 空気温度 (1) (3TS-2671)	3RB-01-N6	原子炉建屋	1.42	5.39	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室内 空気温度 (2) (3TS-2672)	3RB-01-N6	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室内 空気温度 (1) (3TS-2681)	3RB-01-N7	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																		
	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (27/27)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>E.L¹⁾(m)</th> <th>機能²⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調系</td><td>換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4733)</td><td>0-07-0</td><td>原子炉建屋2号棟</td><td>3.284</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4734)</td><td>0-07-0</td><td>原子炉建屋2号棟</td><td>3.050</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4735)</td><td>0-07-0</td><td>原子炉建屋2号棟</td><td>3.230</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4736)</td><td>0-07-0</td><td>原子炉建屋2号棟</td><td>3.494</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4741)</td><td>0-07-10</td><td>原子炉建屋2号棟</td><td>3.976</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4742)</td><td>0-07-10</td><td>原子炉建屋2号棟</td><td>3.975</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4743)</td><td>0-07-10</td><td>原子炉建屋2号棟</td><td>6.439</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4747)</td><td>0-07-10</td><td>原子炉建屋2号棟</td><td>3.973</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4748)</td><td>0-07-10</td><td>原子炉建屋2号棟</td><td>3.974</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4750)</td><td>0-07-10</td><td>原子炉建屋2号棟</td><td>6.439</td><td>⑤</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※1：設水により機能喪失する床面からの高さ（E.L）高さ0.905mを考慮 ※2：①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧新炉室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置棟屋	E.L ¹⁾ (m)	機能 ²⁾	換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4733)	0-07-0	原子炉建屋2号棟	3.284	⑤	換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4734)	0-07-0	原子炉建屋2号棟	3.050	⑤	換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4735)	0-07-0	原子炉建屋2号棟	3.230	⑤	換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4736)	0-07-0	原子炉建屋2号棟	3.494	⑤	換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4741)	0-07-10	原子炉建屋2号棟	3.976	⑤	換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4742)	0-07-10	原子炉建屋2号棟	3.975	⑤	換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4743)	0-07-10	原子炉建屋2号棟	6.439	⑤	換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4747)	0-07-10	原子炉建屋2号棟	3.973	⑤	換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4748)	0-07-10	原子炉建屋2号棟	3.974	⑤	換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4750)	0-07-10	原子炉建屋2号棟	6.439	⑤	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (27/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>基本設定高さ^{※1)}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2)}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2652)</td><td>30B-H-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.41</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42A)</td><td>30B-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>4.50</td><td>4.64</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42B)</td><td>30B-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>4.50</td><td>4.64</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2701)</td><td>30B-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>5.00</td><td>4.64</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2711)</td><td>30B-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.00</td><td>4.63</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3MC-2701)</td><td>30B-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>5.74</td><td>5.76</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3MC-2711)</td><td>30B-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.74</td><td>5.75</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)</td><td>30B-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)</td><td>30B-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)</td><td>30B-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)</td><td>30B-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.40</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-安全補機閉器室給気ファン(3VSF27A)</td><td>30B-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.15</td><td>2.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-安全補機閉器室給気ファン(3VSF27B)</td><td>30B-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.15</td><td>2.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：設水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧新炉室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1)} (m)	個別測定高さ ^{※2)} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2652)	30B-H-N7	原子炉建屋	1.42	5.41	基本	③	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42A)	30B-H-N2	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42B)	30B-H-N3	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2701)	30B-H-N2	原子炉建屋	5.00	4.64	個別	⑥	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2711)	30B-H-N3	原子炉建屋	5.00	4.63	個別	⑥	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3MC-2701)	30B-H-N2	原子炉建屋	5.74	5.76	基本	⑥	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3MC-2711)	30B-H-N3	原子炉建屋	5.74	5.75	基本	⑥	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)	30B-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)	30B-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)	30B-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)	30B-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥	換気空調系	A-安全補機閉器室給気ファン(3VSF27A)	30B-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥	換気空調系	B-安全補機閉器室給気ファン(3VSF27B)	30B-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥	<p>【女川】</p> <p style="color: green;">記載方針の相違</p> <p style="color: red;">設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置棟屋	E.L ¹⁾ (m)	機能 ²⁾																																																																																																																																																																																
換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4733)	0-07-0	原子炉建屋2号棟	3.284	⑤																																																																																																																																																																																
換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4734)	0-07-0	原子炉建屋2号棟	3.050	⑤																																																																																																																																																																																
換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4735)	0-07-0	原子炉建屋2号棟	3.230	⑤																																																																																																																																																																																
換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4736)	0-07-0	原子炉建屋2号棟	3.494	⑤																																																																																																																																																																																
換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4741)	0-07-10	原子炉建屋2号棟	3.976	⑤																																																																																																																																																																																
換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4742)	0-07-10	原子炉建屋2号棟	3.975	⑤																																																																																																																																																																																
換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4743)	0-07-10	原子炉建屋2号棟	6.439	⑤																																																																																																																																																																																
換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4747)	0-07-10	原子炉建屋2号棟	3.973	⑤																																																																																																																																																																																
換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4748)	0-07-10	原子炉建屋2号棟	3.974	⑤																																																																																																																																																																																
換気空調系	換気室内空気圧縮機モータ系(3)10号サンプム入り設備等(10-00-4750)	0-07-10	原子炉建屋2号棟	6.439	⑤																																																																																																																																																																																
系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1)} (m)	個別測定高さ ^{※2)} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2652)	30B-H-N7	原子炉建屋	1.42	5.41	基本	③																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42A)	30B-H-N2	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42B)	30B-H-N3	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2701)	30B-H-N2	原子炉建屋	5.00	4.64	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2711)	30B-H-N3	原子炉建屋	5.00	4.63	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3MC-2701)	30B-H-N2	原子炉建屋	5.74	5.76	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3MC-2711)	30B-H-N3	原子炉建屋	5.74	5.75	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)	30B-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)	30B-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)	30B-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)	30B-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-安全補機閉器室給気ファン(3VSF27A)	30B-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-安全補機閉器室給気ファン(3VSF27B)	30B-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥																																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (28/35)</p> <table border="1" data-bbox="1281 247 1861 837"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2790)</td> <td>3AB-F-N13</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2791)</td> <td>3AB-F-N2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-蓄電池室排気ファン (3VSP31A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.52</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-蓄電池室排気ファン (3VSP31B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.51</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室前扉ファン (3VSP20A)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.17</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室前扉ファン (3VSP20B)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.18</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室給気ファン (3VSP21A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>1.12</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室給気ファン (3VSP21B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>1.13</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>3.79</td> <td>3.83</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>3.79</td> <td>3.83</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室前扉ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室前扉ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.26</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室前扉風量調節ダンパ (3BFD-2836)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" data-bbox="1281 869 1861 949"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ビット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ビット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	A-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2790)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸	換気空調系	B-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2791)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸	換気空調系	A-蓄電池室排気ファン (3VSP31A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.52	個別	㊸	換気空調系	B-蓄電池室排気ファン (3VSP31B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.51	個別	㊸	換気空調系	A-中央制御室前扉ファン (3VSP20A)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.15	0.17	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室前扉ファン (3VSP20B)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.15	0.18	基本	㊸	換気空調系	A-中央制御室給気ファン (3VSP21A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.12	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室給気ファン (3VSP21B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.13	基本	㊸	換気空調系	A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸	換気空調系	A-中央制御室前扉ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸	換気空調系	B-中央制御室前扉ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.26	個別	㊸	換気空調系	A-中央制御室前扉風量調節ダンパ (3BFD-2836)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ビット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ビット給水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																						
換気空調系	A-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2790)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2791)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-蓄電池室排気ファン (3VSP31A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.52	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-蓄電池室排気ファン (3VSP31B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.51	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室前扉ファン (3VSP20A)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.15	0.17	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-中央制御室前扉ファン (3VSP20B)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.15	0.18	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室給気ファン (3VSP21A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.12	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-中央制御室給気ファン (3VSP21B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.13	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室前扉ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-中央制御室前扉ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.26	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室前扉風量調節ダンパ (3BFD-2836)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸																																																																																																																						
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																																												
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																																												
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																																																												
④炉心冷却機能	⑨ビット冷却機能																																																																																																																												
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ビット給水機能																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (29/35)</p> <table border="1" data-bbox="1285 245 1856 874"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室循環風量調節ダンパ (3HC-D-2837)</td> <td>3AB-D-N5C</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2836)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2837)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>中央制御室内空気温度 (2) (3TS-2846)</td> <td>3AB-F-N8</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>中央制御室内空気温度 (3) (3TS-2847)</td> <td>3AB-F-N8</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室非常用循環ファン (3V3F22A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.54</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室非常用循環ファン (3V3F22B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.54</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2867)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.35</td> <td>1.34</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2868)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.35</td> <td>1.34</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-Y5-602A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.70</td> <td>0.36</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-Y5-602B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.70</td> <td>0.38</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-D-2823)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>5.34</td> <td>5.31</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" data-bbox="1308 916 1765 986"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>④安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-中央制御室循環風量調節ダンパ (3HC-D-2837)	3AB-D-N5C	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	⑥	換気空調系	A-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2836)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥	換気空調系	B-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2837)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥	換気空調系	中央制御室内空気温度 (2) (3TS-2846)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	⑥	換気空調系	中央制御室内空気温度 (3) (3TS-2847)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	⑥	換気空調系	A-中央制御室非常用循環ファン (3V3F22A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	⑥	換気空調系	B-中央制御室非常用循環ファン (3V3F22B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	⑥	換気空調系	A-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2867)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	⑥	換気空調系	B-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2868)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	⑥	換気空調系	A-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-Y5-602A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.36	個別	⑥	換気空調系	B-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-Y5-602B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.38	個別	⑥	換気空調系	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-D-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	⑥	①緊急時停止機能	④安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																														
換気空調系	B-中央制御室循環風量調節ダンパ (3HC-D-2837)	3AB-D-N5C	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	⑥																																																																																																														
換気空調系	A-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2836)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥																																																																																																														
換気空調系	B-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2837)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥																																																																																																														
換気空調系	中央制御室内空気温度 (2) (3TS-2846)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	⑥																																																																																																														
換気空調系	中央制御室内空気温度 (3) (3TS-2847)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	⑥																																																																																																														
換気空調系	A-中央制御室非常用循環ファン (3V3F22A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	⑥																																																																																																														
換気空調系	B-中央制御室非常用循環ファン (3V3F22B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	⑥																																																																																																														
換気空調系	A-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2867)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	⑥																																																																																																														
換気空調系	B-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量 (3FS-2868)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	⑥																																																																																																														
換気空調系	A-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-Y5-602A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.36	個別	⑥																																																																																																														
換気空調系	B-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-Y5-602B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.38	個別	⑥																																																																																																														
換気空調系	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-D-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	⑥																																																																																																														
①緊急時停止機能	④安全上特に重要な関連機能																																																																																																																				
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																																				
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																																																				
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																																																				
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																								
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (30/35)</p> <table border="1" data-bbox="1283 247 1859 869"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-2824)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>5.34</td> <td>5.31</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2823)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.64</td> <td>1.65</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2824)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.64</td> <td>1.65</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2850)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.94</td> <td>4.62</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2851)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.94</td> <td>5.00</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2850)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2851)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>試料採取室排気隔離ダンパ (3D-VS-653)</td> <td>3AB-B-1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.15</td> <td>3.29</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>試料採取室排気風量制御ダンパ (3FCD-2905)</td> <td>3AB-B-1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.15</td> <td>3.61</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3A)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.49</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3B)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.49</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.53</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能</p> <p>⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	⑥	換気空調系	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	⑥	換気空調系	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	⑥	換気空調系	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	4.62	個別	⑥	換気空調系	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	5.00	基本	⑥	換気空調系	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥	換気空調系	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥	換気空調系	試料採取室排気隔離ダンパ (3D-VS-653)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.29	個別	⑥	換気空調系	試料採取室排気風量制御ダンパ (3FCD-2905)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.61	個別	⑥	換気空調系	A-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3A)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	⑥	換気空調系	B-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3B)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	⑥	換気空調系	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.53	基本	⑥	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関しては、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																				
換気空調系	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	⑥																																																																																																				
換気空調系	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	⑥																																																																																																				
換気空調系	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	4.62	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	5.00	基本	⑥																																																																																																				
換気空調系	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥																																																																																																				
換気空調系	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥																																																																																																				
換気空調系	試料採取室排気隔離ダンパ (3D-VS-653)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.29	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系	試料採取室排気風量制御ダンパ (3FCD-2905)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.61	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系	A-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3A)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系	B-原子炉補機冷却水サーージタンク室電気ヒータ (3VSE3B)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.53	基本	⑥																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (31/35)</p> <table border="1" data-bbox="1285 244 1856 746"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.57</td> <td>2.58</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.51</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.57</td> <td>2.58</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A)</td> <td>3RB-II-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.80</td> <td>2.80</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)</td> <td>3RB-II-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.80</td> <td>2.79</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (1) (3TS-2970)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (2) (3TS-2971)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (1) (3TS-2980)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (2) (3TS-2981)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" data-bbox="1305 783 1765 855"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>④安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥	換気空調系	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.51	基本	⑥	換気空調系	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥	換気空調系	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A)	3RB-II-N2	原子炉建屋	2.80	2.80	基本	⑥	換気空調系	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)	3RB-II-N3	原子炉建屋	2.80	2.79	個別	⑥	換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (1) (3TS-2970)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (2) (3TS-2971)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (1) (3TS-2980)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥	換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (2) (3TS-2981)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥	①緊急時停止機能	④安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																						
換気空調系	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.51	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A)	3RB-II-N2	原子炉建屋	2.80	2.80	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)	3RB-II-N3	原子炉建屋	2.80	2.79	個別	⑥																																																																																						
換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (1) (3TS-2970)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (2) (3TS-2971)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (1) (3TS-2980)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																						
換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (2) (3TS-2981)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																						
①緊急時停止機能	④安全上特に重要な関連機能																																																																																												
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																												
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																												
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																												
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (32/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>基本設定高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)</td> <td>3AB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.58</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)</td> <td>3AB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.57</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2930)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2931)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2934)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2935)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>C-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2950)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>C-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2951)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>D-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2954)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>D-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2955)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A) 出口空気温度 (2) (3TS-2933)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.53</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：設水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑦安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑧事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑨制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑩ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑪ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)	3AB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.58	個別	⑥	換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)	3AB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.57	個別	⑥	換気空調系	A-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2930)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	A-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2931)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	B-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2934)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	⑥	換気空調系	B-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2935)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	C-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2950)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	C-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2951)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	D-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2954)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	D-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2955)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	⑥	換気空調系	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A) 出口空気温度 (2) (3TS-2933)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.65	2.53	個別	⑥	①緊急時停止機能	⑦安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑧事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑨制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑩ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑪ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで設水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																						
換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)	3AB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.58	個別	⑥																																																																																																						
換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)	3AB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.57	個別	⑥																																																																																																						
換気空調系	A-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2930)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																																						
換気空調系	A-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2931)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																																						
換気空調系	B-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2934)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																																						
換気空調系	B-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2935)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																																						
換気空調系	C-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2950)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																																						
換気空調系	C-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2951)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																																						
換気空調系	D-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2954)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																																						
換気空調系	D-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2955)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																																						
換気空調系	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A) 出口空気温度 (2) (3TS-2933)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.65	2.53	個別	⑥																																																																																																						
①緊急時停止機能	⑦安全上特に重要な関連機能																																																																																																												
②未臨界維持機能	⑧事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																												
③原子炉停止後の除熱機能	⑨制御室外からの安全停止機能																																																																																																												
④炉心冷却機能	⑩ピット冷却機能																																																																																																												
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑪ピット給水機能																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (33/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B) 出口空気温度(2) (3TS-2937)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.72</td> <td>2.65</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C) 出口空気温度(2) (3TS-2953)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.48</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D) 出口空気温度(2) (3TS-2957)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.72</td> <td>2.64</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5) (3TS-2910)</td> <td>3BD-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6) (3TS-2911)</td> <td>3BD-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.39</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5) (3TS-2920)</td> <td>3BD-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6) (3TS-2921)</td> <td>3BD-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A) 出口空気温度(2) (3TS-2913)</td> <td>3BD-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.89</td> <td>2.82</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度(2) (3TS-2923)</td> <td>3BD-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.89</td> <td>2.82</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>A-空調用冷水ポンプ (SCP1A)</td> <td>3BD-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> ①緊急停止機能 ②未認可維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 </td> <td style="width: 50%; border: none;"> ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能 </td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B) 出口空気温度(2) (3TS-2937)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.72	2.65	個別	⑥	換気空調系	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C) 出口空気温度(2) (3TS-2953)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.65	2.48	個別	⑥	換気空調系	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D) 出口空気温度(2) (3TS-2957)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.72	2.64	個別	⑥	換気空調系	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5) (3TS-2910)	3BD-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤	換気空調系	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6) (3TS-2911)	3BD-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5) (3TS-2920)	3BD-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤	換気空調系	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6) (3TS-2921)	3BD-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥	換気空調系	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A) 出口空気温度(2) (3TS-2913)	3BD-H-N2	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑥	換気空調系	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度(2) (3TS-2923)	3BD-H-N3	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑥	空調用冷水系	A-空調用冷水ポンプ (SCP1A)	3BD-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥	①緊急停止機能 ②未認可維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関しては、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																						
換気空調系	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B) 出口空気温度(2) (3TS-2937)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.72	2.65	個別	⑥																																																																																						
換気空調系	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C) 出口空気温度(2) (3TS-2953)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.65	2.48	個別	⑥																																																																																						
換気空調系	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D) 出口空気温度(2) (3TS-2957)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.72	2.64	個別	⑥																																																																																						
換気空調系	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5) (3TS-2910)	3BD-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤																																																																																						
換気空調系	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6) (3TS-2911)	3BD-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																						
換気空調系	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5) (3TS-2920)	3BD-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑤																																																																																						
換気空調系	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6) (3TS-2921)	3BD-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥																																																																																						
換気空調系	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A) 出口空気温度(2) (3TS-2913)	3BD-H-N2	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑥																																																																																						
換気空調系	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度(2) (3TS-2923)	3BD-H-N3	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑥																																																																																						
空調用冷水系	A-空調用冷水ポンプ (SCP1A)	3BD-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥																																																																																						
①緊急停止機能 ②未認可維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (34/35)</p> <table border="1" data-bbox="1283 244 1865 710"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>A-空調用冷凍機 (3CHE1A)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>B-空調用冷凍機 (3CHE1B)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>C-空調用冷凍機 (3CHE1C)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>D-空調用冷凍機 (3CHE1D)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>A-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)</td> <td>JAB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.96</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>B-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)</td> <td>JAB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.97</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能</p> <p>㊸安全上特に重要な関連機能 ㊹事故時のプラント状態の把握機能 ㊺制御室外からの安全停止機能 ㊻ピット冷却機能 ㊼ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	空調用冷水系	B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸	空調用冷水系	C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸	空調用冷水系	D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸	空調用冷水系	A-空調用冷凍機 (3CHE1A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸	空調用冷水系	B-空調用冷凍機 (3CHE1B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸	空調用冷水系	C-空調用冷凍機 (3CHE1C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸	空調用冷水系	D-空調用冷凍機 (3CHE1D)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸	空調用冷水系	A-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)	JAB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.96	基本	㊸	空調用冷水系	B-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)	JAB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.97	基本	㊸	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																												
空調用冷水系	B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸																																																																												
空調用冷水系	C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸																																																																												
空調用冷水系	D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸																																																																												
空調用冷水系	A-空調用冷凍機 (3CHE1A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸																																																																												
空調用冷水系	B-空調用冷凍機 (3CHE1B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸																																																																												
空調用冷水系	C-空調用冷凍機 (3CHE1C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸																																																																												
空調用冷水系	D-空調用冷凍機 (3CHE1D)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸																																																																												
空調用冷水系	A-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)	JAB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.96	基本	㊸																																																																												
空調用冷水系	B-安全補機閉閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)	JAB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.97	基本	㊸																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

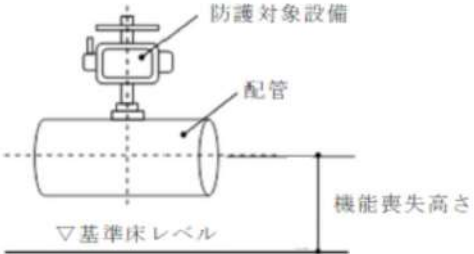
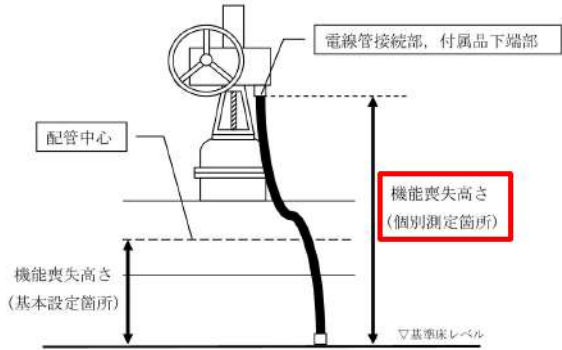
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (35/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>A-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2827)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.77</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>B-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2828)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.77</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.55</td> <td>2.97</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)</td> <td>3EB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.53</td> <td>2.97</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.53</td> <td>2.86</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.98</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.22</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>C-空調用冷凍機盤 (3VCPD)</td> <td>3EB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)</td> <td>3EB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②半臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	空調用冷水系	A-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2827)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	㊸	空調用冷水系	B-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2828)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	㊸	空調用冷水系	空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.55	2.97	基本	㊸	空調用冷水系	空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.53	2.97	基本	㊸	空調用冷水系	空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.53	2.86	基本	㊸	空調用冷水系	空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.65	2.98	基本	㊸	関連設備	A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸	関連設備	B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.22	個別	㊸	関連設備	C-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸	関連設備	D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②半臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																														
空調用冷水系	A-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2827)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	B-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2828)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.55	2.97	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.53	2.97	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.53	2.86	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.65	2.98	基本	㊸																																																																																														
関連設備	A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸																																																																																														
関連設備	B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.22	個別	㊸																																																																																														
関連設備	C-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸																																																																																														
関連設備	D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸																																																																																														
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																				
②半臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																				
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																																				
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																																				
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

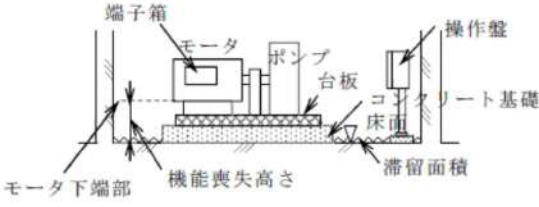
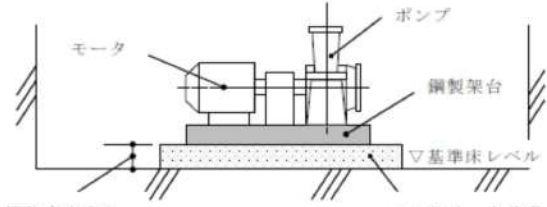
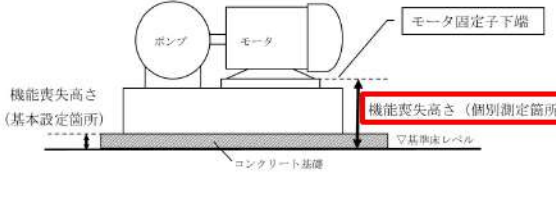

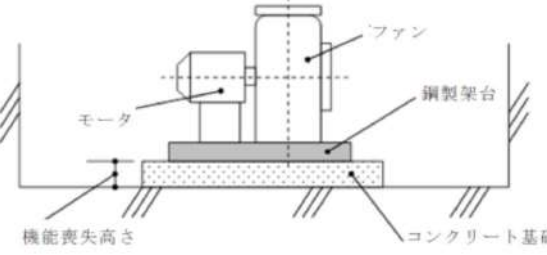
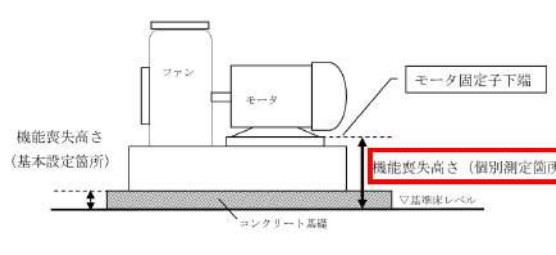
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.2-2</p> <p>3. 機能喪失高さ 各機器における機能喪失高さの考え方を表1にまとめるとともに図2にポンプの例を示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 5</p> <p>機能喪失高さの考え方</p> <p>弁類、ポンプ類、ファン類、電気盤類、計器関係における機能喪失高さ設定の考え方を表1及び図1～図5にそれぞれ示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-1より抜粋</p> <p>1.1 機能喪失高さ</p> <p>機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である「個別設定箇所」に見直す。</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 5</p> <p>機能喪失高さの考え方</p> <p>弁類、ポンプ類、ファン類、電気盤類、計器関係における機能喪失高さ設定の考え方を表1及び図1～図5にそれぞれ示す。</p> <p style="color: red; margin-top: 20px;">機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である「個別測定箇所」に見直す。</p>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 ・上記の機能喪失高さの設定方針は、先行審査プラントである島根2号炉及び柏崎6、7号炉で実績があり、女川2号炉においても、溢水水位に対して防護対象設備の機能喪失高さの裕度が小さい場合には、実際の機能喪失高さを実測することで実際には十分な裕度が確保されていることを確認している。 <p>【島根】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>泊は資料間で「個別測定箇所」と記載統一している。</p> <p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


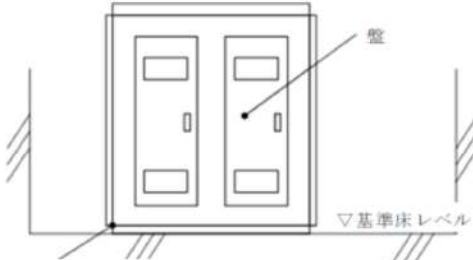
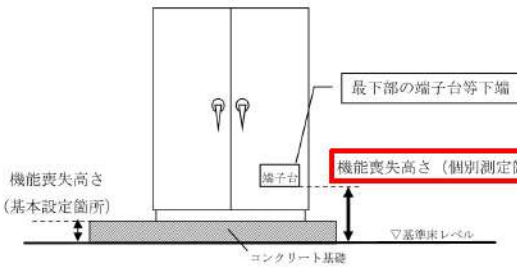

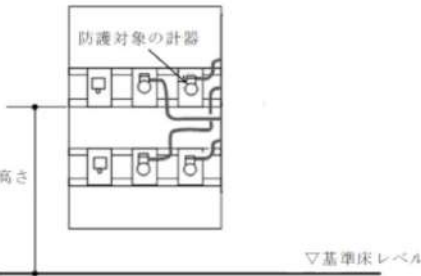
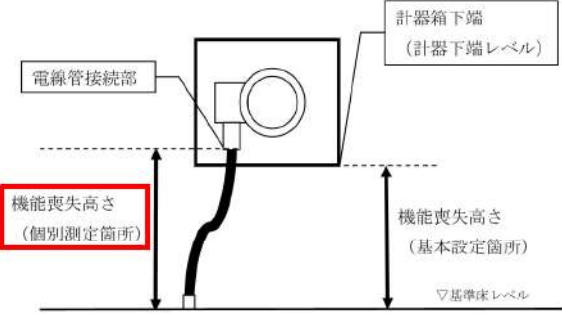
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料5）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p>表1 各設備の機能喪失高さの考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ダンパ</td> <td>各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ（操作盤含む）</td> <td>①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>ファン</td> <td>モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>盤内の最低高さの計器類の下端部</td> </tr> <tr> <td>計器</td> <td>計器本体下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ（操作盤含む）	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方	ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方	盤	盤内の最低高さの計器類の下端部	計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方	<p>表1 機能喪失高さ設定の考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>電気盤類</td> <td>対象機器の設置レベル</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル</td> </tr> </tbody> </table> <p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-1より抜粋</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備</th> <th colspan="2">機能喪失高さ</th> </tr> <tr> <th>基本設定箇所*</th> <th>個別設定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポンプ/電動機</td> <td>・ポンプベース高さ</td> <td>・電動機下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>空気作動弁/電動弁</td> <td>・取付け配管中心高さ</td> <td>・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>・盤ベース高さ</td> <td>・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>計器ラック</td> <td>・計器ドレン弁高さ</td> <td>・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 保守的に機能喪失すると仮定した部位</p>	機器	機能喪失高さ	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電気盤類	対象機器の設置レベル	計器関係	計器下端レベル	設備	機能喪失高さ		基本設定箇所*	個別設定箇所	ポンプ/電動機	・ポンプベース高さ	・電動機下端部 ・電線管接続部下端部	空気作動弁/電動弁	・取付け配管中心高さ	・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部	盤	・盤ベース高さ	・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部	計器ラック	・計器ドレン弁高さ	・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部	<p>表1 機能喪失高さ設定の考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器</th> <th colspan="2">機能喪失高さ</th> </tr> <tr> <th>基本設定箇所*</th> <th>個別測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>ポンプあるいは電動機のいづれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>電動機の下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>電気盤類（操作盤含む）</td> <td>対象機器の設置レベル</td> <td>盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）</td> <td>計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 保守的に機能喪失すると仮定した部位</p>	機器	機能喪失高さ		基本設定箇所*	個別測定箇所	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいづれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方	電気盤類（操作盤含む）	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部	計器関係	計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方	<p>【女川】 設計方針の相違 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
機器	機能喪失高さ																																																																	
弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																																	
ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																																	
ポンプ（操作盤含む）	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方																																																																	
ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方																																																																	
盤	盤内の最低高さの計器類の下端部																																																																	
計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方																																																																	
機器	機能喪失高さ																																																																	
弁類	弁が設置される配管の中心レベル																																																																	
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ																																																																	
ファン類	コンクリート基礎の高さ																																																																	
電気盤類	対象機器の設置レベル																																																																	
計器関係	計器下端レベル																																																																	
設備	機能喪失高さ																																																																	
	基本設定箇所*	個別設定箇所																																																																
ポンプ/電動機	・ポンプベース高さ	・電動機下端部 ・電線管接続部下端部																																																																
空気作動弁/電動弁	・取付け配管中心高さ	・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部																																																																
盤	・盤ベース高さ	・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部																																																																
計器ラック	・計器ドレン弁高さ	・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部																																																																
機器	機能喪失高さ																																																																	
	基本設定箇所*	個別測定箇所																																																																
弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																																
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいづれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部																																																																
ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方																																																																
電気盤類（操作盤含む）	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部																																																																
計器関係	計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方																																																																
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-2より抜粋</p>  <p>図1 弁における機能喪失高さ</p>	 <p>図1 機能喪失高さ（電動弁の例）</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 （島根2号炉と同様）</p>																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	 <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	 <p>図2 機能喪失高さ（ポンプの例）</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川・大飯】 <u>記載方針の相違</u> 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 （島根2号炉と同様）</p>
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-2より抜粋</p>  <p>図1-1 機能喪失高さ（ポンプの例）</p> <p>本資料のうち、詳細な内容は機密に係る事項のため公開できません。</p>	 <p>図3 ファンにおける機能喪失高さ</p>	 <p>図3 機能喪失高さ（ファンの例）</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p>
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 （島根2号炉と同様）</p>

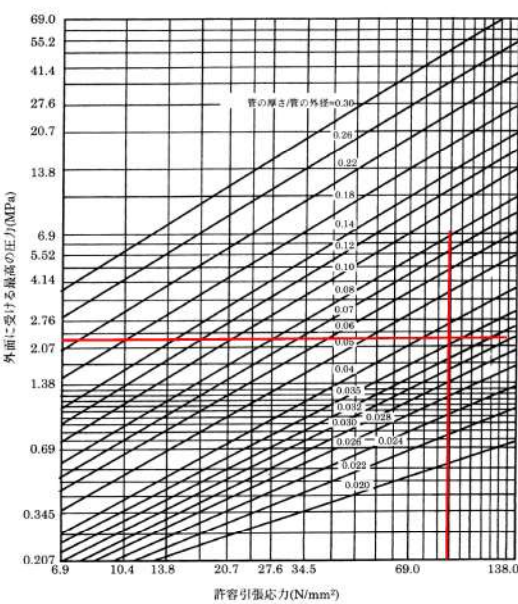
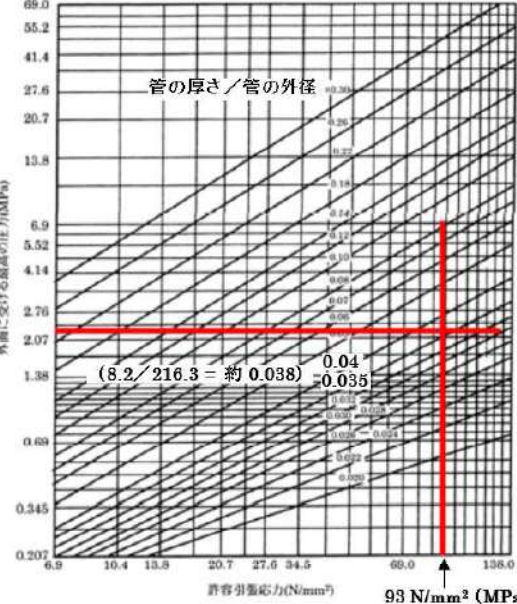
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-3より抜粋</p>  <p>図 1-3 機能喪失高さ（盤の例）</p> <p>本資料のうち、枠囲みの内容は機能に関する事項のため公開できません。</p>	 <p>図 4 電気盤における機能喪失高さ</p>	 <p>図 4 機能喪失高さ（盤の例）</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 （島根2号炉と同様）</p>
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-4より抜粋</p>  <p>図 1-5 機能喪失高さ（計器の例）</p> <p>本資料のうち、枠囲みの内容は機能に関する事項のため公開できません。</p>	 <p>図 5 計器における機能喪失高さ</p>	 <p>図 5 機能喪失高さ（計器の例）</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 （島根2号炉と同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料6</p> <p style="text-align: center;">溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備 別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。 また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について 容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁 例として、配管（材質 STPG370、口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411（2）に基づき評価すると、2MPa以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1参照） 弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。 また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料6</p> <p style="text-align: center;">溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備 別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。 また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について 容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁 例として、配管（材質 STPG370、口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411（2）に基づき評価すると、2MPa以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1参照） 弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。 また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p> <p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p> <p>b. 容器・熱交換器 容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p>	 <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p> <p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p> <p>b. 容器・熱交換器 容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は、配管の材質から許容引張応力（93MPa）が決まり、管の厚さ／管の外径（8.2／216.3＝約0.038）の直線と許容引張応力（93MPa）が交わる点のy軸の値が健全性を確保できる最高の外圧（2MPa以上）となることを読み取り易くするための情報を記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(1/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防護区画番号</th> <th>機器</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-B1F-1</td> <td>CRD アキムレター CRD 窒素容器</td> <td>○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>R-1F-13, R-1F-16</td> <td>清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ</td> <td>○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>R-B1F-7, R-B1F-11</td> <td>清水冷却器 潤滑油冷却器</td> <td>○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さにより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-B1F-1	CRD アキムレター CRD 窒素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。	R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。	R-B1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さにより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価エリア番号</th> <th>機器</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34E-F-23</td> <td>ほう殿注入タンク</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・配管がなく、流入防止措置を講じていることから溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-H-1</td> <td>よう殿除去装置タンク</td> <td>タンク開放部であるベント管より溢水が流入しないことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>34E-A-N2</td> <td>空調用冷水膨張タンク</td> <td>常時管理されていることか、溢水による機械的損傷が生じることはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-N5</td> <td>A、B-原子炉冷却器</td> <td>溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-N6</td> <td>C、D-原子炉冷却器</td> <td>溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-N3</td> <td>冷却器</td> <td>溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-24</td> <td>体積調整タンク</td> <td>溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-H-18</td> <td>ほう殿タンク</td> <td>溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-H-12</td> <td>貯水冷却器</td> <td>溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-18</td> <td>B-冷却器</td> <td>溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-20</td> <td>A-冷却器</td> <td>溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-12</td> <td>B-体積調整器</td> <td>溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。</td> </tr> </tbody> </table>	評価エリア番号	機器	評価	34E-F-23	ほう殿注入タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管がなく、流入防止措置を講じていることから溢水による影響を受けない。	34E-H-1	よう殿除去装置タンク	タンク開放部であるベント管より溢水が流入しないことを確認した。	34E-A-N2	空調用冷水膨張タンク	常時管理されていることか、溢水による機械的損傷が生じることはない。	34E-F-N5	A、B-原子炉冷却器	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。	34E-F-N6	C、D-原子炉冷却器	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。	34E-F-N3	冷却器	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。	34E-F-24	体積調整タンク	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。	34E-H-18	ほう殿タンク	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。	34E-H-12	貯水冷却器	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。	34E-F-18	B-冷却器	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。	34E-F-20	A-冷却器	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。	34E-F-12	B-体積調整器	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価																																																				
R-B1F-1	CRD アキムレター CRD 窒素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。																																																				
R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。																																																				
R-B1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さにより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因もないことを確認した。																																																				
評価エリア番号	機器	評価																																																				
34E-F-23	ほう殿注入タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管がなく、流入防止措置を講じていることから溢水による影響を受けない。																																																				
34E-H-1	よう殿除去装置タンク	タンク開放部であるベント管より溢水が流入しないことを確認した。																																																				
34E-A-N2	空調用冷水膨張タンク	常時管理されていることか、溢水による機械的損傷が生じることはない。																																																				
34E-F-N5	A、B-原子炉冷却器	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。																																																				
34E-F-N6	C、D-原子炉冷却器	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。																																																				
34E-F-N3	冷却器	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。																																																				
34E-F-24	体積調整タンク	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。																																																				
34E-H-18	ほう殿タンク	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。																																																				
34E-H-12	貯水冷却器	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。																																																				
34E-F-18	B-冷却器	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。																																																				
34E-F-20	A-冷却器	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。																																																				
34E-F-12	B-体積調整器	溢水により機器が損傷を受けるおそれはない。																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																													
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 261 741 384">防護区画番号</th> <th data-bbox="703 389 741 767">機器</th> <th data-bbox="703 772 741 1492">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="748 261 853 384">R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19</td> <td data-bbox="748 389 853 767">燃料ダイタンク</td> <td data-bbox="748 772 853 1492">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイタンク油面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="860 261 965 384">-(軽油タンクピット内)</td> <td data-bbox="860 389 965 767">軽油タンク</td> <td data-bbox="860 772 965 1492">○ピット内には配水源となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="972 261 1077 384">R-2F-2-2, R-2F-2-3</td> <td data-bbox="972 389 1077 767">FGS 再結合器 FGS 冷却器 FGS 気水分離器</td> <td data-bbox="972 772 1077 1492">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1084 261 1099 384">R-3F-1</td> <td data-bbox="1084 389 1099 767">スキマサージタンク</td> <td data-bbox="1084 772 1099 1492">○コンクリートへの理込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1106 261 1265 384">R-1F-4</td> <td data-bbox="1106 389 1265 767">燃料ブール冷却浄化系熱交換器</td> <td data-bbox="1106 772 1265 1492">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料ダイタンク	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイタンク油面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	-(軽油タンクピット内)	軽油タンク	○ピット内には配水源となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-2F-2-2, R-2F-2-3	FGS 再結合器 FGS 冷却器 FGS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの理込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。	R-1F-4	燃料ブール冷却浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1285 261 1323 384">評価</th> <th data-bbox="1285 389 1323 767">評価</th> <th data-bbox="1285 772 1323 1492">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1330 261 1346 384">タンク側上部であるピットより溢水が浸入していることと確認した。</td> <td data-bbox="1330 389 1346 767">同一区画内に溢水漏れとなりうる機器・配管はなく、浸入防止措置を講じていることから、溢水による機器の損傷は発生しない。</td> <td data-bbox="1330 772 1346 1492">溢水により機器の損傷が生じることはない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 261 1368 384">-</td> <td data-bbox="1352 389 1368 767">-</td> <td data-bbox="1352 772 1368 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1375 261 1391 384">-</td> <td data-bbox="1375 389 1391 767">-</td> <td data-bbox="1375 772 1391 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1397 261 1413 384">-</td> <td data-bbox="1397 389 1413 767">-</td> <td data-bbox="1397 772 1413 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1420 261 1435 384">-</td> <td data-bbox="1420 389 1435 767">-</td> <td data-bbox="1420 772 1435 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1442 261 1458 384">-</td> <td data-bbox="1442 389 1458 767">-</td> <td data-bbox="1442 772 1458 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1464 261 1480 384">-</td> <td data-bbox="1464 389 1480 767">-</td> <td data-bbox="1464 772 1480 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1487 261 1503 384">-</td> <td data-bbox="1487 389 1503 767">-</td> <td data-bbox="1487 772 1503 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1509 261 1525 384">-</td> <td data-bbox="1509 389 1525 767">-</td> <td data-bbox="1509 772 1525 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1532 261 1547 384">-</td> <td data-bbox="1532 389 1547 767">-</td> <td data-bbox="1532 772 1547 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1554 261 1570 384">-</td> <td data-bbox="1554 389 1570 767">-</td> <td data-bbox="1554 772 1570 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1576 261 1592 384">-</td> <td data-bbox="1576 389 1592 767">-</td> <td data-bbox="1576 772 1592 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1599 261 1615 384">-</td> <td data-bbox="1599 389 1615 767">-</td> <td data-bbox="1599 772 1615 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1621 261 1637 384">-</td> <td data-bbox="1621 389 1637 767">-</td> <td data-bbox="1621 772 1637 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1644 261 1659 384">-</td> <td data-bbox="1644 389 1659 767">-</td> <td data-bbox="1644 772 1659 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 261 1682 384">-</td> <td data-bbox="1666 389 1682 767">-</td> <td data-bbox="1666 772 1682 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1688 261 1704 384">-</td> <td data-bbox="1688 389 1704 767">-</td> <td data-bbox="1688 772 1704 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1711 261 1727 384">-</td> <td data-bbox="1711 389 1727 767">-</td> <td data-bbox="1711 772 1727 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 261 1749 384">-</td> <td data-bbox="1733 389 1749 767">-</td> <td data-bbox="1733 772 1749 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1756 261 1771 384">-</td> <td data-bbox="1756 389 1771 767">-</td> <td data-bbox="1756 772 1771 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1778 261 1794 384">-</td> <td data-bbox="1778 389 1794 767">-</td> <td data-bbox="1778 772 1794 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1800 261 1816 384">-</td> <td data-bbox="1800 389 1816 767">-</td> <td data-bbox="1800 772 1816 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1823 261 1839 384">-</td> <td data-bbox="1823 389 1839 767">-</td> <td data-bbox="1823 772 1839 1492">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1845 261 1861 384">-</td> <td data-bbox="1845 389 1861 767">-</td> <td data-bbox="1845 772 1861 1492">-</td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価	評価	タンク側上部であるピットより溢水が浸入していることと確認した。	同一区画内に溢水漏れとなりうる機器・配管はなく、浸入防止措置を講じていることから、溢水による機器の損傷は発生しない。	溢水により機器の損傷が生じることはない。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価																																																																																														
R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料ダイタンク	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイタンク油面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																																														
-(軽油タンクピット内)	軽油タンク	○ピット内には配水源となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																																														
R-2F-2-2, R-2F-2-3	FGS 再結合器 FGS 冷却器 FGS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																																														
R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの理込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。																																																																																														
R-1F-4	燃料ブール冷却浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																																																														
評価	評価	評価																																																																																														
タンク側上部であるピットより溢水が浸入していることと確認した。	同一区画内に溢水漏れとなりうる機器・配管はなく、浸入防止措置を講じていることから、溢水による機器の損傷は発生しない。	溢水により機器の損傷が生じることはない。																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														
-	-	-																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(3/6)</p> <table border="1" data-bbox="705 263 1265 1340"> <thead> <tr> <th data-bbox="705 1181 974 1340">防護区画番号</th> <th data-bbox="705 853 974 1173">機器</th> <th data-bbox="705 263 974 845">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="981 1181 1265 1340">R-3F-1</td> <td data-bbox="981 853 1265 1173">換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク</td> <td data-bbox="981 263 1265 845">○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり り上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開 放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認し た。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸 水深が低いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="981 853 1265 1173">R-1F-15</td> <td data-bbox="981 263 1265 845">清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ</td> <td data-bbox="981 263 1265 845">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内 に設置されている同区分の非常用ゾーゼル発電設備の最も 低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損 傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、 図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入 しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さ より、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり り上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開 放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認し た。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸 水深が低いことを確認した。	R-1F-15	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内 に設置されている同区分の非常用ゾーゼル発電設備の最も 低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損 傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、 図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入 しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さ より、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取 表形式で整理している。評価判定 の考え方については女川と泊で相 違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価										
R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり り上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開 放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認し た。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸 水深が低いことを確認した。										
R-1F-15	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内 に設置されている同区分の非常用ゾーゼル発電設備の最も 低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損 傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、 図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入 しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さ より、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(4/6)</p> <table border="1" data-bbox="705 263 1265 1356"> <thead> <tr> <th data-bbox="705 1197 974 1356">防護区画番号</th> <th data-bbox="981 1197 1131 1356">機器</th> <th data-bbox="1137 1197 1265 1356">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="705 869 974 1189">R-2F-3</td> <td data-bbox="981 869 1131 1189">高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="1137 869 1265 1189">○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="705 502 974 861">R-B3F-13</td> <td data-bbox="981 502 1131 861">高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="1137 502 1265 861">○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="705 263 974 494">R-M3F-3-1</td> <td data-bbox="981 263 1131 494">原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ</td> <td data-bbox="1137 263 1265 494">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。 ○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-2F-3	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。	R-B3F-13	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	R-M3F-3-1	原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。 ○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。		<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価													
R-2F-3	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。													
R-B3F-13	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													
R-M3F-3-1	原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。 ○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。													

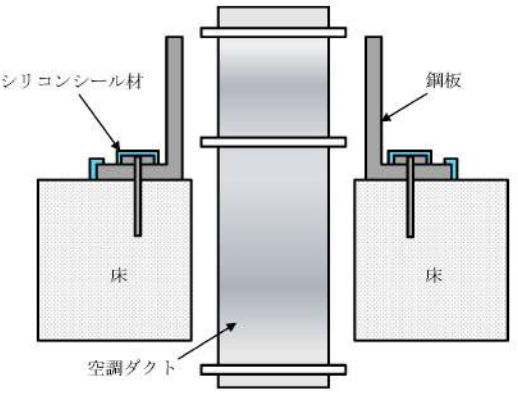
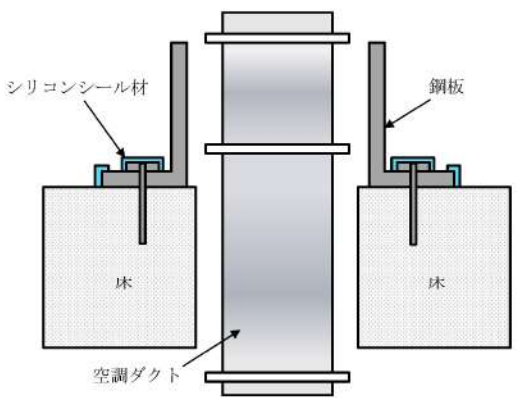
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(5/6)</p>			
<p>評価</p> <p>○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。</p>	<p>○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。 ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いかを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</p>		
<p>機器</p> <p>主蒸気逃し安全弁速し弁機能用アキユムレータ 主蒸気逃し安全弁アキユムレータ(ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ</p>	<p>主蒸気第二隔離弁用アキユムレータ 原子炉補機冷却水サージタンク</p>		
<p>防護区画番号 -(PCV内)</p>	<p>R-B1F-3-2 R-3F-1</p>		
		<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(6/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 263 1279 1212"> <thead> <tr> <th data-bbox="696 263 862 782">評価</th> <th data-bbox="696 786 862 1061">機器</th> <th data-bbox="696 1066 862 1212">防護区画番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="869 263 996 782">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。</td> <td data-bbox="869 786 996 1061">原子炉補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="869 1066 996 1212">R-B3F-11, R-B3F-14</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1003 263 1108 782">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。</td> <td data-bbox="1003 786 1108 1061">残留熱除去系熱交換器</td> <td data-bbox="1003 1066 1108 1212">R-1F-1, R-1F-11</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1115 263 1279 782">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。</td> <td data-bbox="1115 786 1279 1061">ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ</td> <td data-bbox="1115 1066 1279 1212">R-2F-3-1</td> </tr> </tbody> </table>	評価	機器	防護区画番号	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。	原子炉補機冷却水系熱交換器	R-B3F-11, R-B3F-14	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。	残留熱除去系熱交換器	R-1F-1, R-1F-11	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。	ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ	R-2F-3-1		<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
評価	機器	防護区画番号													
○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。	原子炉補機冷却水系熱交換器	R-B3F-11, R-B3F-14													
○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。	残留熱除去系熱交換器	R-1F-1, R-1F-11													
○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。	ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ	R-2F-3-1													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）





大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4-2 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響について より抜粋)</p> <p>3. 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響評価について 耐環境性仕様である原子炉格納容器内防護対象設備については、LOCA時の原子炉格納容器内環境に対して機能維持が図れるよう、以下のことを確認している。確認結果の一覧は別表に示す。</p> <p>(1)被水影響 LOCAに伴い原子炉格納容器内圧力が上昇すると、格納容器スプレイが動作し、スプレイ水により防護対象設備が被水する。原子炉格納容器内防護対象設備は、スプレイ水に対しても機能維持が図れることを、1.に述べた環境試験により確認している。</p> <p>(2)没水影響 LOCAに伴う炉心注入及び格納容器スプレイにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水される。LOCA時に機能要求のある防護対象設備は、1次冷却系の漏えい水の他、これらの保有水全量が原子炉格納容器内にたまった場合においても、没水しない高さに設置している。</p>	<p>(2)②「PCV内耐環境仕様の設備」について 原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.427MPa[gage]、温度：171℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価 設計基準事故時にドライウエル内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレイ水はドライウエル内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価 原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器内のドライウエル下部に溜まった後、ドライウエル下部にあるベント管を通り、サブプレッションチェンバへ流れ込む設計となっている。 高圧炉心スプレイ系の初期水源は復水貯蔵タンクであるが、サブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）又は復水貯蔵タンク水位低で、水源はサブプレッションチェンバに切り替わることから、原子炉冷却材喪失事故時にサブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）よりも高水位まで原子炉格納容器が溢水することは無い。 原子炉格納容器内の防護対象設備は上述したサブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）以上の高さに設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>(2)②「原子炉格納容器内耐環境仕様の設備」について 原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.283MPa [gage]、温度：132℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価 設計基準事故時に原子炉格納容器内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレイ水は原子炉格納容器内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価 原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器最下階まで流下した後、原子炉格納容器再循環サンプへ流れ込む設計となっている。 原子炉冷却材喪失事故に伴う炉心注入及び原子炉格納容器スプレイにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水され、燃料取替用水ピット水位低となり、原子炉格納容器再循環に切り替わる。 原子炉冷却材喪失事故による漏えい水も含めた水の全量が格納容器内に溜まった場合の水位はT.P.15.1mであり、原子炉格納容器内の防護対象設備はT.P.15.1mより高い位置に設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違により、原子炉格納容器内の温度・圧力条件が異なる。</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、原子炉格納容器内で発生する溢水水位の算出過程は異なるが、原子炉格納容器内の防護対象設備が溢水水位以上の高さに設置されており、没水によって機能喪失しない評価としていることに相違はない。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 原子炉格納容器内の防護対象設備を没水しない高さに設置しているのは泊と大飯と同じ。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3)蒸気影響</p> <p>LOCAに伴い原子炉格納容器内には蒸気が充満する。原子炉格納容器内防護対象設備は、蒸気環境下においても機能維持が図れることを、1.に述べた環境試験により確認している。</p> <p>【伊方3号炉】まとめ資料 添付資料1 9条-別添1-添1-28より抜粋</p> <p>3. 蒸気影響評価</p> <p>LOCAに伴ってフラッシュ蒸発した1次冷却材の蒸気により、C/V内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>C/V内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう、設計および試験を実施している。</p>  <p>図-2 LOCA時のC/V内温度、圧力変化（環境条件）</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での再循環配管破断及び主蒸気配管破断時の環境（図3、図4参照）を包絡した条件で行っている。図5に試験条件の代表例を示す。</p>  <p>図3 原子炉格納容器圧力変化（再循環配管破断）</p>  <p>図4 原子炉格納容器温度変化（主蒸気配管破断）</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での原子炉冷却材喪失事故時の環境条件（図3参照）で行っている。図4に試験条件の代表例を示す。</p>  <p>図3 原子炉格納容器圧力変化（原子炉冷却材喪失事故時）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊は原子炉格納容器内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊は原子炉格納容器内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。（伊方と同様）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【伊方】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

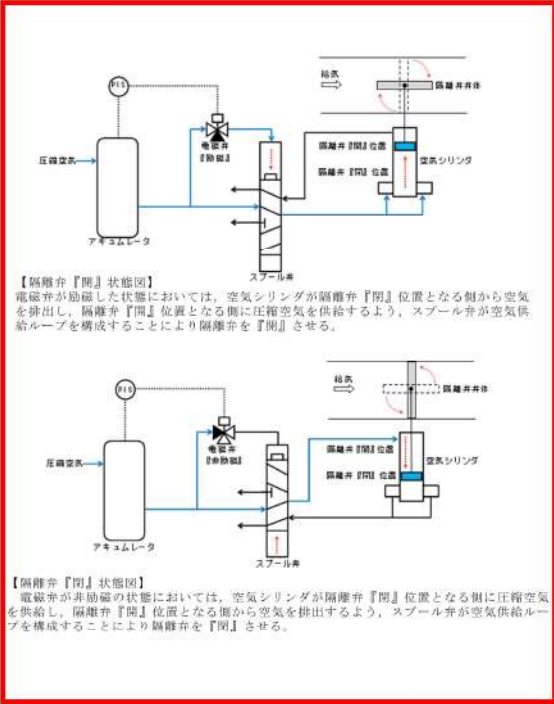
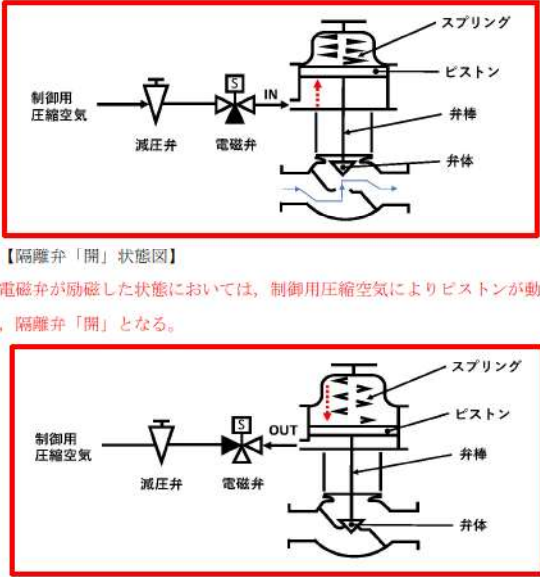
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>4-3 原子炉格納容器内機器の耐環境性試験におけるスプレイ条件について</p> <p>1. 耐環境性試験の試験条件の考え方</p> <p>原則として、米国の民間規格 IEEE-323 を参考に、実機条件及び試験装置条件を考慮して設定する。</p> <p>なお、格納容器スプレイによる被水については、機器のシール性能が確認できれば機能への影響はないものと判断している。</p> <p>表1 実機条件と試験条件の比較</p> <table border="1" data-bbox="129 486 683 638"> <thead> <tr> <th></th> <th>試験条件 (伝送器の例)</th> <th>実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)</th> <th>実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)</th> <th>IEEE-323</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スプレイ 流量</td> <td>63.7 [L/min/m²]</td> <td>13.8 [L/min/m²]</td> <td>12.5 [L/min/m²]</td> <td>6.1 [L/min/m²]</td> </tr> <tr> <td>スプレイ 時間</td> <td>24[h]</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. スプレイ条件の保守性に関する考察</p> <p>格納容器スプレイは下図のとおり、LOCA後の環境温度、圧力が高い条件で24時間実施している。</p> <p>この条件でシール性能に問題のないことを確認できれば、温度、圧力が低下した24時間以降のシール性能についても問題はないと考えられ、IEEE-323にしたがったスプレイ条件は試験条件として妥当と判断している。</p> <p>図1 耐環境性試験プロファイル</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323	スプレイ 流量	63.7 [L/min/m ²]	13.8 [L/min/m ²]	12.5 [L/min/m ²]	6.1 [L/min/m ²]	スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[h]	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p> <p>図5 耐環境性仕様の試験条件（代表例）</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p> <p>図4 耐環境性仕様の試験条件（代表例）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違 記載表現の相違</p>
	試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323														
スプレイ 流量	63.7 [L/min/m ²]	13.8 [L/min/m ²]	12.5 [L/min/m ²]	6.1 [L/min/m ²]														
スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[h]														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした設備は空気作動のもの(A0)と電磁石によるもの(S0)に分類される。次項以降でそれぞれその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p> <p>a. 電磁弁(S0)への影響</p> <p>代表例として移動式炉心内校正装置バージ隔離弁の動作概要を図6に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は電磁石を励磁させる。これにより弁閉状態を維持するばね力に打ち勝って鉄心が電磁石に吸着し、弁開となり、またその状態を保持する。溢水によって当該隔離弁の動作機能が喪失した（電磁石が非励磁になった）場合、ばね力により鉄心は電磁石から離れて弁閉になり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p> <div data-bbox="728 938 1232 1300"> <p>弁“開”状態図 電磁石が励磁すると、鉄心が電磁石に吸着し、弁体が押し下げられて、弁体はシート部より離れる。このときバネは伸ばされ、常に弁「開」側にバネ力が加わった状態となる。</p> <p>弁“閉”状態図 電磁石が非励磁となると、鉄心は電磁石から解放され、バネが縮みバネ力にて弁体がシート部に密着する。</p> </div> <p>図6 移動式炉心内校正装置バージ隔離弁の動作概要図</p>	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした空気作動弁(A0V)について、次項以降でその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 空気作動弁（A0）への影響</p> <p>代表例として原子炉棟給気隔離弁の動作概要を図7に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、圧縮空気によりスプール弁を動作させる。これにより圧縮空気供給ループの構成が変化して隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、スプール弁は通常位置に復帰する。これにより圧縮空気供給ループが変化し、隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁『開』状態図】 電磁弁が励磁した状態においては、空気シリンダが隔離弁『開』位置となる側から空気を供給し、隔離弁『開』位置となる側から圧縮空気を供給するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を『開』させる。</p> <p>【隔離弁『閉』状態図】 電磁弁が非励磁の状態においては、空気シリンダが隔離弁『閉』位置となる側から圧縮空気を供給し、隔離弁『閉』位置となる側から空気を排出するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を『閉』させる。</p> <p>図7 原子炉棟給気隔離弁の動作概要図</p>	<p>a. 空気作動弁（AOV）への影響</p> <p>フェイルポジションが「閉」である空気作動弁（隔離弁）の動作概要を図5に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、制御用圧縮空気によりピストンを動作させる。これにより隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、ピストンは通常位置に復帰する。これにより隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。隔離弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁『開』状態図】 電磁弁が励磁した状態においては、制御用圧縮空気によりピストンが動作し、隔離弁『開』となる。</p> <p>【隔離弁『閉』状態図】 電磁弁が非励磁の状態においては、ピストンは通常位置に復帰し、隔離弁『閉』となる。</p> <p>図5 空気作動弁（隔離弁）の動作概要図</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊は具体的な弁を代表例としてあげるのではなく、空気作動弁（隔離弁）の共通的な動作概要として記載している。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 隔離弁の構造の相違により、記載が異なる。</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 基本的には端子箱が没水した時点で電源が遮断され、電磁弁が作動し、弁のフェイル動作が完了する（電源が落ちれば誤作動はしない）。</p> <p>(b) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(c) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(d) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁作動は可能である。</p> <p>(例 計装用圧縮空気系統圧：約0.7MPa⇒水頭約70m)</p> <p>(4)④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする。代替する設備はすべて逆止弁であり、またQMSに基づいた保全活動により、その機能維持を図っている。図8に系統構成例を示す。</p> <div data-bbox="705 893 1254 1412" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> </div> <p>図8 システム構成例（放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁））</p>	<p>b. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(b) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(c) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁作動は可能である。</p> <p>(4)④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする基準であるが、現状において、泊発電所3号炉の防護対象設備への適用実績はない。</p>	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無いため、記載していない。</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>図4に示したとおり隔離弁の開閉機構が異なるため、泊では女川のような例示は記載していない。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では「他の設備で代替できる」との基準を適用し、溢水評価対象外とした設備は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
(2-1 防護対象設備の抽出の考え方 より抜粋)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/24)	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/9)	【大飯】 記載表現の相違																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>番号</th> <th>溢水影響評価対象</th> <th>スクリーンアウトの考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">1次冷却系</td><td>原子炉容器</td><td></td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器</td><td></td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ</td><td></td><td>×</td><td>①</td></tr> <tr><td>3加圧器</td><td></td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>3A, 3B, 3C加圧器安全弁</td><td>3V-RC-055, 056, 057</td><td>×</td><td>①</td></tr> <tr><td>3A, 3B加圧器遮断弁</td><td>3PV-452A, B</td><td>×</td><td>②</td></tr> <tr><td>3A, 3B加圧器遮断弁弁弁</td><td>3V-RC-054A, B</td><td>×</td><td>①</td></tr> <tr><td>3加圧器遮断シタンクガス分析ライン格納容器内側隔離弁</td><td>3V-RC-077</td><td>×</td><td>②</td></tr> <tr><td>3加圧器遮断シタンクガス分析ライン格納容器外側隔離弁</td><td>3V-RC-079</td><td>×</td><td>①</td></tr> <tr><td>3加圧器遮断シタンク電源供給ライン格納容器内側隔離弁</td><td>3V-RC-084</td><td>×</td><td>①</td></tr> <tr><td>3格納容器内補給水供給ライン格納容器側隔離弁</td><td>3V-RC-095</td><td>×</td><td>①</td></tr> <tr><td>3A, 3B加圧器スプレイ弁</td><td>3PV-451A, B</td><td>×</td><td>①</td></tr> <tr><td>3-1次冷却材圧力</td><td>3PT-429, 430</td><td>×</td><td>②</td></tr> <tr><td>3加圧器水位</td><td>3LT-451, 452, 453, 454</td><td>×</td><td>②</td></tr> <tr><td>3A, B, C, D(ペント)1次冷却材高温側・低温側温度 (広域)</td><td>3TE-410, 415, 420, 425, 430, 435, 439, 445</td><td>×</td><td>②</td></tr> <tr><td>3A, B, C, D(ペント)1次冷却材高温側・低温側温度 (狭域)</td><td>3TE-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D</td><td>×</td><td>②</td></tr> <tr><td>3加圧器圧力</td><td>3PT-451, 452, 453, 454</td><td>×</td><td>②</td></tr> <tr><td>3A, B, C, D(ペント)1次冷却材流量</td><td>3FT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445</td><td>×</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却材ポンプ回転数</td><td>3SE-418A, 428A, 438A, 448A</td><td>×</td><td>②</td></tr> <tr><td rowspan="10">化学体積制御系</td><td>3A, 3Bはろ機ポンプ</td><td></td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>3A, 3B, 3C末ろポンプ</td><td></td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>3体積制御タンク</td><td></td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>3両生熱交換器</td><td></td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>3A, 3Bはろ機タンク</td><td></td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>3はろ機フィルタ</td><td></td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>3封水冷却器</td><td></td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>3A, 3B封水注入フィルタ</td><td></td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>3封水ストレーナ</td><td></td><td>×</td><td>③</td></tr> <tr><td>3体積制御タンク出口第1止め弁</td><td>3LCV-121B</td><td>○</td><td>—</td></tr> <tr><td>3体積制御タンク出口第2止め弁</td><td>3LCV-121C</td><td>○</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	1次冷却系	原子炉容器		×	③	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器		×	③	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ		×	①	3加圧器		×	③	3A, 3B, 3C加圧器安全弁	3V-RC-055, 056, 057	×	①	3A, 3B加圧器遮断弁	3PV-452A, B	×	②	3A, 3B加圧器遮断弁弁弁	3V-RC-054A, B	×	①	3加圧器遮断シタンクガス分析ライン格納容器内側隔離弁	3V-RC-077	×	②	3加圧器遮断シタンクガス分析ライン格納容器外側隔離弁	3V-RC-079	×	①	3加圧器遮断シタンク電源供給ライン格納容器内側隔離弁	3V-RC-084	×	①	3格納容器内補給水供給ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-095	×	①	3A, 3B加圧器スプレイ弁	3PV-451A, B	×	①	3-1次冷却材圧力	3PT-429, 430	×	②	3加圧器水位	3LT-451, 452, 453, 454	×	②	3A, B, C, D(ペント)1次冷却材高温側・低温側温度 (広域)	3TE-410, 415, 420, 425, 430, 435, 439, 445	×	②	3A, B, C, D(ペント)1次冷却材高温側・低温側温度 (狭域)	3TE-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D	×	②	3加圧器圧力	3PT-451, 452, 453, 454	×	②	3A, B, C, D(ペント)1次冷却材流量	3FT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445	×	②	1次冷却材ポンプ回転数	3SE-418A, 428A, 438A, 448A	×	②	化学体積制御系	3A, 3Bはろ機ポンプ		○	—	3A, 3B, 3C末ろポンプ		○	—	3体積制御タンク		×	③	3両生熱交換器		×	③	3A, 3Bはろ機タンク		×	③	3はろ機フィルタ		×	③	3封水冷却器		×	③	3A, 3B封水注入フィルタ		×	③	3封水ストレーナ		×	③	3体積制御タンク出口第1止め弁	3LCV-121B	○	—	3体積制御タンク出口第2止め弁	3LCV-121C	○	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>AC</td><td>748-F001</td><td>バージ用空気供給側隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F002</td><td>D/Wバージ用入口隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F003</td><td>S/Wバージ用入口隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F004</td><td>格納容器外真空遮断弁 (A)</td><td>①</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F004B</td><td>格納容器外真空遮断弁 (B)</td><td>①</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F005A</td><td>格納容器外真空遮断弁 (A)</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F005B</td><td>格納容器外真空遮断弁 (B)</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F010</td><td>補給用蒸気ガス供給側第二隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F011</td><td>D/W補給用蒸気ガス供給側第一隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F012</td><td>S/W補給用蒸気ガス供給側第一隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F016</td><td>バージ用蒸気ガス供給側第二隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F019</td><td>D/Wペント用出口隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F020</td><td>ペント用S/G/T S側隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F021</td><td>ペント用H/V/A C側隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F022</td><td>S/Wペント用出口隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F023</td><td>D/Wペント用出口隔離弁/バイパス弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F024</td><td>S/Wペント用出口隔離弁/バイパス弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F043</td><td>P/C V配圧蒸化ペント用連絡配管隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F708</td><td>事故後サンプリング設備戻り第二隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F709</td><td>事故後サンプリング設備戻り第一隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F7001</td><td>バージ用蒸気供給流量</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-F7019</td><td>圧力抑制室圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-S0-F042A</td><td>真空破壊弁 (A) 計装用空気配管隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-S0-F042B</td><td>真空破壊弁 (B) 計装用空気配管隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-S0-F042C</td><td>真空破壊弁 (C) 計装用空気配管隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-S0-F042D</td><td>真空破壊弁 (D) 計装用空気配管隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>AC</td><td>748-S0-F042E</td><td>真空破壊弁 (E) 計装用空気配管隔離弁</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由 ①漏本により機能を喪失しない。 ②PCV内耐環境仕様設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④他の設備で代替できる。</p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	AC	748-F001	バージ用空気供給側隔離弁	③	AC	748-F002	D/Wバージ用入口隔離弁	③	AC	748-F003	S/Wバージ用入口隔離弁	③	AC	748-F004	格納容器外真空遮断弁 (A)	①	AC	748-F004B	格納容器外真空遮断弁 (B)	①	AC	748-F005A	格納容器外真空遮断弁 (A)	③	AC	748-F005B	格納容器外真空遮断弁 (B)	③	AC	748-F010	補給用蒸気ガス供給側第二隔離弁	③	AC	748-F011	D/W補給用蒸気ガス供給側第一隔離弁	③	AC	748-F012	S/W補給用蒸気ガス供給側第一隔離弁	③	AC	748-F016	バージ用蒸気ガス供給側第二隔離弁	③	AC	748-F019	D/Wペント用出口隔離弁	③	AC	748-F020	ペント用S/G/T S側隔離弁	③	AC	748-F021	ペント用H/V/A C側隔離弁	③	AC	748-F022	S/Wペント用出口隔離弁	③	AC	748-F023	D/Wペント用出口隔離弁/バイパス弁	③	AC	748-F024	S/Wペント用出口隔離弁/バイパス弁	③	AC	748-F043	P/C V配圧蒸化ペント用連絡配管隔離弁	③	AC	748-F708	事故後サンプリング設備戻り第二隔離弁	③	AC	748-F709	事故後サンプリング設備戻り第一隔離弁	③	AC	748-F7001	バージ用蒸気供給流量	③	AC	748-F7019	圧力抑制室圧力	③	AC	748-S0-F042A	真空破壊弁 (A) 計装用空気配管隔離弁	③	AC	748-S0-F042B	真空破壊弁 (B) 計装用空気配管隔離弁	③	AC	748-S0-F042C	真空破壊弁 (C) 計装用空気配管隔離弁	③	AC	748-S0-F042D	真空破壊弁 (D) 計装用空気配管隔離弁	③	AC	748-S0-F042E	真空破壊弁 (E) 計装用空気配管隔離弁	③	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>機器名称</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1次冷却系</td><td>3PCV-452A, B</td><td>加圧器遮断弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却系</td><td>3V-RC-054A, B</td><td>加圧器遮断弁弁弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>1次冷却系</td><td>3V-RC-055, 056, 057</td><td>加圧器安全弁</td><td>①</td></tr> <tr><td>1次冷却系</td><td>3LCV-451, 452</td><td>抽出ライン第1 (2) 止め弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却系</td><td>3LT-451, 452, 453, 454</td><td>加圧器水位</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却系</td><td>3PT-451, 452, 453, 454</td><td>加圧器圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>1次冷却系</td><td>3PT-410, 430</td><td>1次冷却材圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td rowspan="10">1次冷却系</td><td>3TE-411A, 413A, 415A, 421A, 423A, 425A, 431A, 433A, 435A, 441A, 443A, 445A</td><td>1次冷却材高温側温度 (狭域)</td><td>②</td></tr> <tr><td>3TE-411B, 421B, 431B, 441B</td><td>1次冷却材低温側温度 (狭域)</td><td>②</td></tr> <tr><td>3TE-410, 420, 430</td><td>1次冷却材高温側温度 (広域)</td><td>②</td></tr> <tr><td>3TE-417, 427, 437</td><td>1次冷却材低温側温度 (広域)</td><td>②</td></tr> <tr><td>3PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435</td><td>1次冷却材流量</td><td>③</td></tr> <tr><td>3V-RC-077</td><td>加圧器遮断シタンク自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>3V-RC-078</td><td>加圧器遮断シタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>3V-RC-084</td><td>加圧器遮断シタンク電源供給ラインC/V外側隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>3V-RC-093</td><td>加圧器遮断シタンク補給水ラインC/V外側隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td colspan="4">※1 評価対象外とした理由 ①漏本により機能を喪失しない。 ②原子炉格納容器内耐環境仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④その他の設備で代替できる。</td></tr> </tbody> </table>	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}	1次冷却系	3PCV-452A, B	加圧器遮断弁	②	1次冷却系	3V-RC-054A, B	加圧器遮断弁弁弁	③	1次冷却系	3V-RC-055, 056, 057	加圧器安全弁	①	1次冷却系	3LCV-451, 452	抽出ライン第1 (2) 止め弁	②	1次冷却系	3LT-451, 452, 453, 454	加圧器水位	②	1次冷却系	3PT-451, 452, 453, 454	加圧器圧力	②	1次冷却系	3PT-410, 430	1次冷却材圧力	②	1次冷却系	3TE-411A, 413A, 415A, 421A, 423A, 425A, 431A, 433A, 435A, 441A, 443A, 445A	1次冷却材高温側温度 (狭域)	②	3TE-411B, 421B, 431B, 441B	1次冷却材低温側温度 (狭域)	②	3TE-410, 420, 430	1次冷却材高温側温度 (広域)	②	3TE-417, 427, 437	1次冷却材低温側温度 (広域)	②	3PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435	1次冷却材流量	③	3V-RC-077	加圧器遮断シタンク自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②	3V-RC-078	加圧器遮断シタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③	3V-RC-084	加圧器遮断シタンク電源供給ラインC/V外側隔離弁	③	3V-RC-093	加圧器遮断シタンク補給水ラインC/V外側隔離弁	③	※1 評価対象外とした理由 ①漏本により機能を喪失しない。 ②原子炉格納容器内耐環境仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④その他の設備で代替できる。				<p>【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1次冷却系	原子炉容器		×	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器		×	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ		×	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3加圧器		×	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3A, 3B, 3C加圧器安全弁	3V-RC-055, 056, 057	×	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3A, 3B加圧器遮断弁	3PV-452A, B	×	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3A, 3B加圧器遮断弁弁弁	3V-RC-054A, B	×	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3加圧器遮断シタンクガス分析ライン格納容器内側隔離弁	3V-RC-077	×	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3加圧器遮断シタンクガス分析ライン格納容器外側隔離弁	3V-RC-079	×	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3加圧器遮断シタンク電源供給ライン格納容器内側隔離弁	3V-RC-084	×	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3格納容器内補給水供給ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-095	×	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3A, 3B加圧器スプレイ弁	3PV-451A, B	×	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1次冷却材圧力	3PT-429, 430	×	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3加圧器水位	3LT-451, 452, 453, 454	×	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3A, B, C, D(ペント)1次冷却材高温側・低温側温度 (広域)	3TE-410, 415, 420, 425, 430, 435, 439, 445	×	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3A, B, C, D(ペント)1次冷却材高温側・低温側温度 (狭域)	3TE-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D	×	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3加圧器圧力	3PT-451, 452, 453, 454	×	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3A, B, C, D(ペント)1次冷却材流量	3FT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445	×	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	1次冷却材ポンプ回転数	3SE-418A, 428A, 438A, 448A	×	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	化学体積制御系	3A, 3Bはろ機ポンプ		○	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
3A, 3B, 3C末ろポンプ			○	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3体積制御タンク			×	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3両生熱交換器			×	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3A, 3Bはろ機タンク			×	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3はろ機フィルタ			×	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3封水冷却器			×	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3A, 3B封水注入フィルタ			×	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3封水ストレーナ			×	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3体積制御タンク出口第1止め弁		3LCV-121B	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3体積制御タンク出口第2止め弁	3LCV-121C	○	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F001	バージ用空気供給側隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F002	D/Wバージ用入口隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F003	S/Wバージ用入口隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F004	格納容器外真空遮断弁 (A)	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F004B	格納容器外真空遮断弁 (B)	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F005A	格納容器外真空遮断弁 (A)	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F005B	格納容器外真空遮断弁 (B)	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F010	補給用蒸気ガス供給側第二隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F011	D/W補給用蒸気ガス供給側第一隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F012	S/W補給用蒸気ガス供給側第一隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F016	バージ用蒸気ガス供給側第二隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F019	D/Wペント用出口隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F020	ペント用S/G/T S側隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F021	ペント用H/V/A C側隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F022	S/Wペント用出口隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F023	D/Wペント用出口隔離弁/バイパス弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F024	S/Wペント用出口隔離弁/バイパス弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F043	P/C V配圧蒸化ペント用連絡配管隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F708	事故後サンプリング設備戻り第二隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F709	事故後サンプリング設備戻り第一隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F7001	バージ用蒸気供給流量	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-F7019	圧力抑制室圧力	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-S0-F042A	真空破壊弁 (A) 計装用空気配管隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-S0-F042B	真空破壊弁 (B) 計装用空気配管隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-S0-F042C	真空破壊弁 (C) 計装用空気配管隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-S0-F042D	真空破壊弁 (D) 計装用空気配管隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
AC	748-S0-F042E	真空破壊弁 (E) 計装用空気配管隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1次冷却系	3PCV-452A, B	加圧器遮断弁	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1次冷却系	3V-RC-054A, B	加圧器遮断弁弁弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1次冷却系	3V-RC-055, 056, 057	加圧器安全弁	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1次冷却系	3LCV-451, 452	抽出ライン第1 (2) 止め弁	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1次冷却系	3LT-451, 452, 453, 454	加圧器水位	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1次冷却系	3PT-451, 452, 453, 454	加圧器圧力	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1次冷却系	3PT-410, 430	1次冷却材圧力	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1次冷却系	3TE-411A, 413A, 415A, 421A, 423A, 425A, 431A, 433A, 435A, 441A, 443A, 445A	1次冷却材高温側温度 (狭域)	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3TE-411B, 421B, 431B, 441B	1次冷却材低温側温度 (狭域)	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3TE-410, 420, 430	1次冷却材高温側温度 (広域)	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3TE-417, 427, 437	1次冷却材低温側温度 (広域)	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435	1次冷却材流量	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3V-RC-077	加圧器遮断シタンク自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3V-RC-078	加圧器遮断シタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3V-RC-084	加圧器遮断シタンク電源供給ラインC/V外側隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3V-RC-093	加圧器遮断シタンク補給水ラインC/V外側隔離弁	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	※1 評価対象外とした理由 ①漏本により機能を喪失しない。 ②原子炉格納容器内耐環境仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④その他の設備で代替できる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (2/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/9)				【大飯】
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{*1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{*1}	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
化学体積制御系	緊急ほうげん注入ライン補給弁	3V-CS-673	○	—	MC	T48-S0-F02F	真空破断弁 (F) 計装用空気配管隔離弁	③	化学体積制御系	3FCV-138	充てん流量制御弁	③	
	3充てんポンプ入口燃料取替用ホットヘッド側隔離弁	3LY-121B, E	○	—	MC	T48-S0-F708	LSO15 D/W温水水位計装配置 (H) 側隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-167	充てんライン流量制御補助オリフィスバイパス弁	③	
	3充てんライン格納容器隔離弁	3V-CS-157	○	—	MC	T48-S0-F710	LSO15 D/W温水水位計装配置 (L) 側隔離弁	③	化学体積制御系	3CST1	体積制御タンク	①	
	3充てんライン止め弁	3V-CS-155	○	—	MC	T48-S0-F721	露点サンプリング入口第一隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-191	充てんライン止め弁	③	
	3充てんライン流量制御弁	3FCV-158	×	①	MC	T48-S0-F722	露点サンプリング入口第二隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-186	加圧器補助スプレイ弁	②	
	3-1次冷却材ポンプ封水注入ライン直前隔離弁	3FCV-146	×	①	MC	T48-S0-F723	露点サンプリング戻り第二隔離弁	③	化学体積制御系	3CSH1	再生熱交換器	①	
	3抽出ライン第1止め弁	3LY-451	×	②	MC	T48-S0-F724	露点サンプリング戻り第一隔離弁	③	化学体積制御系	3CST5A, B	ほう酸タンク	①	
	3抽出ライン第2止め弁	3LY-452	×	②	MC	T48-S0-F727	融えい検出系放射線モニタ入口第一隔離弁	③	化学体積制御系	3CSF4	ほう酸フィルタ	①	
	3A, 3B, 3C抽出オリフィス出口格納容器第一隔離弁	3V-CS-003A, B, C	×	②	MC	T48-S0-F728	融えい検出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-455A, B	ほう酸タンク出口弁	③	
	3加圧器補助スプレイ弁	3V-CS-169	×	②	MC	T48-S0-F729	融えい検出系放射線モニタ戻り第二隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-460A, B	ほう酸ポンプ出口補給ライン切替弁	③	
	余剰抽出ライン第1止め弁	3V-CS-301	×	②	MC	T48-S0-F730	融えい検出系放射線モニタ戻り第一隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-473A, B	ほう酸ポンプ出口格納ライン切替弁	③	
	余剰抽出ライン第2止め弁	3V-CS-301	×	②	MC	T48-S0-F772	T48-L S O 2.5 D/W水位計装配置 (L) 側隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-473A, B	ほう酸ポンプ出口格納ライン切替弁	③	
	3抽出ライン格納容器第二隔離弁	3V-CS-007	×	①	MC	T48-S0-F774	T48-L S O 2.5 D/W水位計装配置 (H) 側隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-474A, B	ほう酸フィルタ出口A (B) ほう酸タンク戻り弁	③	
	3充てんライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-151	×	①	CMS	E23-0001A	校正ガスボンベサポート	①	化学体積制御系	3V-CS-490A, B	ほう酸ポンプ入口切替弁	③	
	3グループ充てんライン止め弁	3V-CS-163	×	①	CMS	E23-0001B	校正ガスボンベサポート	①	化学体積制御系	3V-CS-004A, B, C	抽出オリフィス出口 C/V 内側隔離弁	②	
	3-1次冷却材ポンプ封水注入ライン直前隔離弁	3V-CS-177	×	①	CRD	C12	制御稼働監視機	①	化学体積制御系	3V-CS-006	抽出ライン格納容器外側隔離弁	③	
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水注入ライン直前隔離弁	3V-CS-190A, B, C, D	×	①	CRD	C12-0001-120	方向制御弁	③	化学体積制御系	3V-CS-208A, B, C, D	3充てんほうげんタンク水位	○	
	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第一隔離弁	3V-CS-310	×	②	CRD	C12-0001-123	方向制御弁	③	化学体積制御系	3LS-205, 208	3充てんほうげんタンク水位	○	
	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第二隔離弁	3V-CS-312	○	—	CRD	C12-0001-125	アキュムレータ	①	化学体積制御系	3CSC	3充てんポンプ速度制御弁	○	
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第一隔離弁	3V-CS-208A, B, C, D	×	②	CRD	C12-0001-126	スタタム入口弁	④	化学体積制御系	3CSMC	3充てんポンプ速度制御補助弁	○	
	3A, 3Bほうげんタンク水位	3LS-205, 208	○	—	CRD	C12-0001-128	電素容器	①	化学体積制御系	3LB-5, 6, 7, 8	3充てんほうげんポンプ速度制御補助弁	○	
	3充てんポンプ速度制御弁	3CSC	○	—	CRD	C12-0001-132	制御稼働動水圧系ラプチュアディスク	①	化学体積制御系	3LB-9, 10	3充てんほうげんポンプ速度制御補助弁	○	
	3充てんポンプ速度制御補助弁	3CSMC	○	—	CRD	C12-0001-135	方向制御弁フィルタ	①	化学体積制御系	3A, 3Bほうげんポンプ速度制御補助弁	○		
	3A, 3B, 3C1, 3C2充てんポンプ規模操作箱	3LB-5, 6, 7, 8	○	—	CRD	C12-0001-138	スタタムバイロット弁	④	化学体積制御系	3A, 3Bほうげんポンプ規模操作箱	○		
	3A, 3Bほうげんポンプ規模操作箱	3LB-9, 10	○	—	CRD	C12-108129	HCUアキュムレータレベルスイッチ	③	化学体積制御系	3A, 3Bほうげんポンプ規模操作箱	○		
3A, 3B高圧注入ポンプ	○	○	—	CRD	C12-P131	HCUアキュムレータ圧力指示計	③	化学体積制御系	3A, 3Bほうげんポンプ規模操作箱	○			
3A, 3B, 3C, 3D高圧注入ポンプ	×	①	—	CRD	C12-95130	HCUアキュムレータ圧力スイッチ	④	化学体積制御系	3A, 3B高圧注入ポンプ	○			
3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁	3V-S1-015A, B	○	—										
3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁	3V-S1-016A, B	○	—										
3A, 3B高圧注入ポンプ格納容器再循環タンク出入口格納容器隔離弁	3V-S1-093A, B	○	—										
3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取替用ホットヘッド弁	3V-S1-002A, B	○	—										
3A, 3B高圧注入ポンプ格納容器再循環タンク出入口弁	3V-S1-093A, B	○	—										
3A, 3B高圧注入ライン格納容器隔離弁	3V-S1-092A, B	×	①										
3A, 3B高圧注入ポンプ出口建替弁	3V-S1-095A, B	×	②										

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②炉内耐腐蝕仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由			
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/24)			表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/9)			【大飯】			
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*1	系統	機器番号	機器名称	理由**		
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ高圧側圧入ライン止め弁	3V-SI-067A, B	×	②	①W	G31-F002	C/U入口ライン第一隔離弁	②	①	高圧注入系	3SIT2	ほう酸注入タンク	①	
	3A, 3B, 3C, 3D蓄圧タンク出口弁	3V-SI-132A, B, C, D	×	②		DG	R43-A001A	清水膨張タンク (A)		①	高圧注入系	3V-SI-061A, B	高圧注入ポンプ出口 C/V 内側隔離弁	②
	格納容器再循環サンプ本庄 (狭域) ・広域	3FT-970, 971, 972, 973	×	②		DC	R43-A001B	清水膨張タンク (B)		①	高圧注入系	3V-SI-062A, B	高圧側高圧注入 (B) ライン止め弁	②
	3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱	3LB-12, 13	○	—		DC	R43-A100A	潤滑油サンプタンク (A)		①	高圧注入系	3V-SI-141	ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁	③
	3A高圧注入流量 (I), 3B高圧注入流量 (II)	3FT-982, 983	○	—		DG	R43-A100B	潤滑油サンプタンク (B)		①	高圧注入系	3V-SI-145, 146	ほう酸注入タンク循環ライン出口第1 (2) 止め弁	③
3燃料取替用水ポンプ水位 1, II, III, IV	3LT-1400, 1401, 1402, 1403	○	—	DG	R43-A101A	機関付動弁注油タンク (A)	①	高圧注入系	3CVT2, 3	格納容器再循環サンプ	①			
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ		○	—	DG	R43-A101B	機関付動弁注油タンク (B)	①	高圧注入系	3LT-620, 630	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	②		
	3A, 3B余熱除去冷却器		×	①	DG	R43-A102A	軽油タンク (A)	①	高圧注入系	3LT-621, 631	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	②		
	3A, 3B余熱除去ポンプミニマムフローライン止め弁	3FCV-601, 611	○	—	DG	R43-A200A	軽油タンク (B)	①	高圧注入系	3SIT1A, B, C	蓄圧タンク	①		
	3A, 3B余熱除去冷却器出口流量設定弁	3BCV-603, 613	×	①	DG	R43-A200B	軽油タンク (C)	①	高圧注入系	3V-SI-123A, B, C	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 内側隔離弁	②		
	3A, 3B余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	3FCV-604, 614	×	①	DG	R43-A200C	軽油タンク (D)	①	高圧注入系	3V-SI-124	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 外側隔離弁	②		
	3A, 3B余熱除去ポンプB, C, Dループ高圧側入口止め弁	3PCV-420, 430	×	②	DG	R43-A200D	軽油タンク (E)	①	高圧注入系	3V-SI-164	蓄圧タンク変速供給ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3A, 3B余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	3V-SI-002A, B	×	②	DG	R43-A200E	軽油タンク (F)	①	高圧注入系	3V-SI-184	安全注入逆止弁テストライン C/V 内側隔離弁	②		
	3A, 3B余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	3V-SI-043A, B	×	①	DC	R43-A200F	燃料デイトンク (A)	①	高圧注入系	3V-SI-185	蓄圧タンク供給ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3A, 3B 余熱除去冷却器出口連絡弁	3V-SI-047A, B	×	②	DG	R43-A201A	燃料デイトンク (B)	①	余熱除去系	3V-SI-186	安全注入逆止弁テストライン C/V 外側隔離弁	③		
	3B, 3Cループ高圧側圧入ライン止め弁	3V-SI-048A, B	×	②	DG	R43-A201B	空気だめ (自動) (A)	①	余熱除去系	3RH1A, B	余熱除去冷却器	①		
3A, 3B余熱除去ポンプ出口流量	3PT-601, 611	○	—	DG	R43-A300A	空気だめ (自動) (B)	①	余熱除去系	3FCV-603, 613	余熱除去冷却器出口流量調節弁	③			
3A, 3B余熱除去ポンプ現場操作箱	3LB-14, 15	○	—	DG	R43-A300B	清水冷却器 (A)	①	余熱除去系	3FCV-604, 614	余熱除去 (A) ライン流量制御弁	③			
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ		○	—	DG	R43-B001A	清水冷却器 (B)	①	余熱除去系	3FCV-410, 430	余熱除去 (B) ライン入口止め弁	②		
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器		×	①	DG	R43-B001B	清水冷却器 (B)	①	余熱除去系	3V-SI-002A, B	余熱除去ポンプ入口 C/V 内側隔離弁	②		
	2より表除去薬品タンク		×	①	DG	R43-B003A-1	機関付空気冷却器 (L側)	①	余熱除去系	3V-SI-020A, B	余熱除去 (B) ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3-内側調整剤タンク		×	①	DG	R43-B003A-2	機関付空気冷却器 (R側)	①	余熱除去系	3V-SI-033A, B	余熱除去冷却器出口 C/V 内側隔離弁	②		
	3A, 3Bより薬除去薬品注入ライン第1止め弁	3V-CP-054A, B	○	—	DG	R43-B003B-1	機関付空気冷却器 (L側)	①	余熱除去系	3V-SI-034A, B	高圧側低圧注入ライン止め弁	②		
	3A, 3Bより薬除去薬品注入ライン第2止め弁	3V-CP-056A, B	○	—	DG	R43-B003B-2	機関付空気冷却器 (R側)	①	主給水系	3LT-460, 461, 472, 473, 480, 481, 482, 483	蒸気発生器水位 (狭域)	②		
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料取替用水ポンプ側入口止め弁	3V-CP-001A, B	○	—	DG	R43-B100A	潤滑油冷却器 (A)	①	主給水系	3LT-464, 474, 484	蒸気発生器水位 (広域)	②		
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンプ挿入口格納容器隔離弁	3V-CP-003A, B	○	—	DG	R43-B100B	潤滑油冷却器 (B)	①						
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器出口格納容器隔離弁	3V-CP-024A, B	○	—	DG	R43-D100A	潤滑油フィルタ (A)	①						
	3格納容器圧力 (広域) 1, II, III, IV	3PT-950, 951, 952, 953	○	—	DG	R43-D100B	潤滑油フィルタ (B)	①						
主蒸気及び予給水系、補助給水系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ現場操作箱	3LB-18, 19	○	—										
	3タービン補助給水ポンプ		○	—										
	3A, 3B電動補助給水ポンプ		○	—										
3戻水ピット		×	①											
3タービン補助給水ポンプ起動弁A, B	3V-M5-570A, B	○	—											
3A, 3B, 3C, 3D補助給水隔離弁	3V-PV-574A, B, C, D	×	②											

【大飯】
 記載表現の相違
 女川審査実績の反映
 設計方針の相違
 プラント設計の違いによる相違

【女川】
 記載表現の相違
 設計方針の相違
 プラント設計の違いによる相違

*1 評価対象外とした理由
 ① 溢水により機能を喪失しない
 ② 原子炉格納容器内環境確保の設備
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④ その他の設備で代替できる

*1 評価対象外とした理由
 ① 溢水により機能を喪失しない
 ② 原子炉格納容器内環境確保の設備
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④ 同様の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由		
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（4/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/24）				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/9）				【大飯】		
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{*1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{*1}			
主蒸気及び 主給水系 補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D電動補助給水ライン流量調節弁	3V-F9-557A, B, C, D	×	①	06	R43-0200A	燃料移送ポンプ入口ストレーナ（A）	①	主蒸気系	30CY-3616, 3626, 3636	主蒸気バイパス隔離弁	③	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
	3復水ピット電動補助給水ポンプ（阻止弁）	3V-F9-580	×	①		R43-0200B	燃料移送ポンプ入口ストレーナ（B）	①		主蒸気系	3V-MS-521A, B, C, S22A, B, C, S23A, B, C, S24A, B, C, S25A, B, C	主蒸気安全弁		①	
	3復水ピットタービン補助給水ポンプ（阻止弁）	3V-F9-581	×	①		R43-0201A	D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ（A）	①			主蒸気系	3V-MS-575A, B		タービン補助給水ポンプ駆動蒸気B（C）	③
	3A, 3B, 3C, 3Dタービン補助給水ライン流量調節弁	30TY-9115, 9125, 9135, 9145	×	①		R43-0201B	D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ（B）	①		主蒸気系		3V-MS-518A, B, C		主蒸気ライン弁弁	③
	3A, 3B, 3C, 3Dタービン補助給水ライン駆動蒸気供給ライン止弁	3V-MS-575A, B	×	①		06	R43-0202A-1	燃料油フィルタ（A）-1			①	主蒸気系		3V-MS-581	非常用タービンプラント蒸気弁弁
	3A, 3B, 3C, 3D主給水隔離弁	3V-F9-592A, B, C, D	×	③		06	R43-0202A-2	燃料油フィルタ（A）-2		①	主蒸気系			3V-MS-601A, B, C	主蒸気隔離弁上流ドレンライン隔離弁
	3復水ピット水位III, IV	3LT-3760, 3761	○	—		06	R43-0202B-1	燃料油フィルタ（B）-1		①		補助給水系		30W-P	補助給水ピット
	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助給水流量	3FT-3716, 3726, 3736, 3746	○	—		06	R43-0202B-2	燃料油フィルタ（B）-2		①	原子炉格納容器 スプレイ系			30CT1	よう素除去薬品タンク
	3A, B, C, D蒸気発生器圧力減水	3LT-464, 474, 484, 494	×	②		06	R43-0300A	始動用空気ストレーナ（A）		①		原子炉格納容器 スプレイ系		30PH1, B	格納容器スプレイ冷却器
	3A, B, C, D蒸気発生器機械減水	3LT-460, 461, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 490, 491, 492, 493	×	②		06	R43-0300B	始動用空気ストレーナ（B）		①	原子炉格納容器 スプレイ系			3V-CP-056A, B	よう素除去薬品タンク注入（B）ライン止め弁後弁
	3タービン補助給水ポンプ駆動蒸気A, B	3TD-A, B	○	—		06	R43-0301A	始動用空気ストレーナ（A）		①		原子炉補機 冷却水系		30CT1	原子炉補機冷却水サージタンク
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁	3V-MS-535A, B, C, D	○	—		06	R43-0301B	始動用空気ストレーナ（B）		①	原子炉補機 冷却水系			30CHA, B, C, D	原子炉補機冷却水冷却器
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気遮断弁	30TY-3615, 3625, 3635, 3645	×	①		06	R43-4PS105A	潤滑油フィルタ差圧スイッチ		③		原子炉補機 冷却水系		3V-CC-054A, B, C, D	原子炉補機冷却水冷却器補助冷却水出口弁
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気遮断弁	3V-F9-5615, 5620, 5635, 5645	○	—		06	R43-4PS105B	潤滑油フィルタ差圧スイッチ		③	原子炉補機 冷却水系			3V-CC-526	1次冷却材ポンプ補助冷却水出口 C/V 内側隔離弁
	3A, 3B, 3C, 3D-1主蒸気安全弁	3V-MS-528A, B, C, D	×	①		06	R43-4PS210A	燃料油フィルタ差圧スイッチ		③		使用済燃料 ピット水浄化 冷却系		3A-SFP, 3B-SFP	使用済燃料ピット
	3A, 3B, 3C, 3D-2主蒸気安全弁	3V-MS-527A, B, C, D	×	①		06	R43-4PS210B	燃料油フィルタ差圧スイッチ		③					
	3A, 3B, 3C, 3D-3主蒸気安全弁	3V-MS-528A, B, C, D	×	①		06	R43-6200A	フレキシブルチューブ		①					
	3A, 3B, 3C, 3D-4主蒸気安全弁	3V-MS-529A, B, C, D	×	①		06	R43-6200B	フレキシブルチューブ		①					
	3A, 3B, 3C, 3D-5主蒸気安全弁	3V-MS-530A, B, C, D	×	①		06	R43-L1S050A	潤水膨脹タンク水位指示計（接点付）		③					
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁上流ドレンライン止弁	3V-MS-585A, B, C, D	×	①		06	R43-L1S050B	潤水膨脹タンク水位指示計（接点付）		③					
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気遮断弁	3V-MS-523A, B, C, D	×	①		06	R43-L1S100A	潤滑油サンプタンク油面指示計（接点付）		③					
	1, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D主蒸気圧力	3PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498	○	—		06	R43-L1S100B	潤滑油サンプタンク油面指示計（接点付）		③					
	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ		○	—		06	R43-L1S201A	軽油貯蔵タンクA液面計		③					
	3原子炉補機冷却水サージタンク		×	①		06	R43-L1S201B	軽油貯蔵タンクB液面計		③					
3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器		×	③	06	R43-L1S105A	機関付動弁注油タンク油面	③								
3A, 3B格納容器スプレイ冷却器冷却水止弁	3V-CC-178A, B	○	—	06	R43-L1S105B	機関付動弁注油タンク油面	③								
3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水母管管線隔離弁	3V-CC-059A, B	○	—	06	R43-L1S106A	機関付動弁注油タンク油面	③								
3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水戻り母管管線隔離弁	3V-CC-043A, B	○	—	06	R43-L1S257A	シリンドラ浸水スイッチ	③								
3A, 3B余熱除去冷却器冷却水止弁	3V-CC-115A, B	○	—												
3-1次冷却材ポンプ冷却水母管ライン管線隔離弁	3V-CC-403	○	—												
3-2次冷却材ポンプ冷却水戻りライン管線隔離弁	3V-CC-427	×	②												

*1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②3年内設置予定の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

*1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内設置設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/9)				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}	
制御用空気系	3A,3B制御用空気乾燥器	3IADHA, B	× ^{※1}	②	06	R43-PS261A	空気がめ圧力（自動）スイッチ	②	06	3V-SS-514, 519	B (C) ループ高温側サンプリングライン C/V 内側隔離弁	②	
	3A,3B制御用空気ため	3IATIA, B	× ^{※1}	②	06	R43-PS261B	空気がめ圧力（自動）スイッチ	②	06	3V-SS-521A	B ループ高温側、加圧器サンプリングライン C/V 外側隔離弁	③	
	3A,3B制御用空気主蒸気過熱し弁等供給ラインための	3V-1A-505A, B	○	—	06	R43-TE331A	非常用D/G (A) 固定点巻線温度 (UHD) 検出器	③	06	3V-SS-521B	C ループ高温側サンプリングライン C/V 内側隔離弁	③	
	3A-C,3B-C制御用空気母管連通弁	3V-1A-501A, B	○	—	06	R43-TE331B	非常用D/G (A) 固定点巻線温度 (VHD) 検出器	③	06	3V-SS-718	PASS 1 次冷却材サンプル戻りライン C/V 外側隔離弁	②	
	3A,3B制御用空気格納容器隔離弁	3V-1A-508A, B	○	—	06	R43-TE332A	非常用D/G (A) 固定点巻線温度 (VHD) 検出器	③	06	3V-DP-001A, B	格納容器減圧ライン格納容器内側隔離弁	②	
	3A,3B格納容器内貯蔵ボラス制御用空気過熱供給止弁	3V-1A-510A, B	×	②	06	R43-TE332B	非常用D/G (B) 固定点巻線温度 (VHD) 検出器	③	06	3V-DP-002A, B	格納容器減圧ライン格納容器外側隔離弁	③	
	3A,3B制御用空気供給母管圧力	3PT-1809, 1810	○	—	06	R43-TE332S	非常用D/G (B) 固定点巻線温度 (VHD) 検出器	③	06	3V-DC-304A, B	格納容器水素パーージ給気ライン格納容器外側隔離弁	③	
	3A,3B制御用空気圧縮機制御弁	3IRC-A, B	○	—	06	R43-TE333A	非常用D/G (A) 固定点巻線温度 (WHD) 検出器	③	06	3V-RM-001	放射線監視設備空気サンプルリング系	②	
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分岐ライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-078	×	②	06	R43-TE333B	非常用D/G (B) 固定点巻線温度 (WHD) 検出器	③	06	3V-RM-002	放射線監視設備空気サンプルリング系	③	
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分岐ライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-079	×	①	06	R43-TE334A	非常用D/G (A) 固定点巻線温度 (UHD) 検出器	③	06	3V-RM-015	放射線監視設備空気サンプルリング系	③	
廃棄物処理系	3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-082	×	②	06	R43-TE334B	非常用D/G (B) 固定点巻線温度 (UHD) 検出器	③	06	3V-BD-025A, B, C	ブローダウン止め弁	③	
	3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-084	×	①	06	R43-TE334S	非常用D/G (A) 固定点巻線温度 (VHD) 検出器	③	06	3V-BD-008A, B, C	蒸気発生器ブローダウン系	③	
	3格納容器冷却材ドレンタンク蒸気供給ライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-094	×	①	06	R43-TE335A	非常用D/G (A) 固定点巻線温度 (WHD) 検出器	③	06	3V-BD-026A, B, C	ブローダウン C/V 外側隔離弁	③	
	3格納容器冷却材ドレンポンプ出口格納容器第1隔離弁	3V-ML-042	×	②	06	R43-TE335B	非常用D/G (B) 固定点巻線温度 (VHD) 検出器	③	06				
	3格納容器冷却材ドレンポンプ出口格納容器第2隔離弁	3V-ML-043	×	①	06	R43-TE336A	非常用D/G (A) 固定点巻線温度 (WHD) 検出器	③	06				
	3格納容器サンプルポンプ出口格納容器第1隔離弁	3V-ML-143	×	②	06	R43-TE336B	非常用D/G (B) 固定点巻線温度 (WHD) 検出器	③	06				
	3格納容器サンプルポンプ出口格納容器第2隔離弁	3V-ML-144	×	①	06	R43-TE336S	非常用D/G (A) 固定点巻線温度 (VHD) 検出器	③	06				
	3消火水ライン格納容器隔離弁	3V-FS-502	×	①	06	R43-TE337A	非常用D/G (A) 固定点巻線温度 (UHD) 検出器	③	06				
	3炉内放射線監視ガスバーン	3V-TG-009	×	②	06	R43-TE337B	非常用D/G (B) 固定点巻線温度 (UHD) 検出器	③	06				
	3炉内放射線監視ガスバーン	3V-TG-008	×	①	06	R43-TE338A	非常用D/G (A) 固定点巻線温度 (VHD) 検出器	③	06				
換気空調系	手動弁 一式		×	②	06	R43-TE338B	非常用D/G (B) 固定点巻線温度 (VHD) 検出器	③	06				
	遮断弁 一式		×	③	06	R43-TE339A	非常用D/G (A) 固定点巻線温度 (WHD) 検出器	③	06				
	3換気空調機	3VB	○	—	06	R43-TE339B	非常用D/G (B) 固定点巻線温度 (WHD) 検出器	③	06				
	3A,3B中央制御室空調ファン		○	—	06	R43-TE341A	非常用D/G (A) 触受温度検出器	③	06				
	3A,3B中央制御室精露ファン		○	—	06	R43-TE341B	非常用D/G (B) 触受温度検出器	③	06				
	3A,3B中央制御室非常用精露ファン	3VSP22A, B	○	—	06	R43-T1051A	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	③	06				
	3A,3B中央制御室外気取入上めダンパ	3D-Y5-601A, B	×	①	06	R43-T1051B	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	③	06				
	3A,3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	3D-Y5-602A, B	○	—	06	R43-T15054A	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計 (接点付)	③	06				
	3A,3B中央制御室空調ファン出口ダンパ	3D-Y5-603A, B	○	—	06	R43-T15054B	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計 (接点付)	③	06				
	3A,3B中央制御室精露ファン入口ダンパ	3D-Y5-604A, B	○	—	06	R43-T15109A	機関入口潤滑油温度指示計 (接点付)	③	06				
3A,3B中央制御室外気取入流量調整ダンパ	3BD-2874, 2875	○	—										
3A,3B中央制御室精露流量調整ダンパ	3BD-2885, 2886	○	—										
3A,3B中央制御室大気放出流量調整ダンパ	3BD-2887, 2888	×	①										
3A,3B中央制御室事故時外気取入流量調整ダンパ	3BD-2889, 2890	○	—										

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②ICV耐震増設仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内耐震増設仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる